

農業農村整備事業標準設計図

令和 3 年 1 0 月

秋田県農林水産部

秋田県農業農村整備事業標準設計図 目次

分類	工種	図面番号	図面名称	設計番号	ページ
秋田県農業農村整備事業標準設計図仕様書					1
			1. 適用		1
			2. 寸法、縮尺、記号		1
			3. 鉄筋の継手長さ		3
			4. 塗装		3
			5. 計画図の表示		3
			6. 施工		3
			7. 契約の変更		3
			平面図に添付するための凡例		4
			かんぱい事業の凡例図①		5
			かんぱい事業の凡例図②		6
			ほ場整備事業等面的工事の記号		7
			ほ場整備事業の凡例図		8
			農道事業の凡例図		9
				(空き)	10
一般構造物編					11
				(空き)	12
	桧	K-01	用排水桧(2次製品)	PDW06-05-F~PDC12-12-N	13
		K-02	〃 寸法表	〃	14
		K-03	分水桧(現場打)	DW0606-05-F~DW1212-15-N	15
		K-04	〃 寸法表(1)	DW0606-05-F~DW0812-15-N	16
		〃	〃 〃 (2)	DW1010-05-F~DW1212-15-N	17

秋田県農業農村整備事業標準設計図 目次

分類	工種	図面番号	図面名称	設計番号	ページ
		K-05	// 鉄筋配置図	DW0606-05-F～DW1212-15-N	18
		K-06	// 鉄筋寸法表	//	19
		K-07	排水交差工(現場打)	DC08-06-F-F～DC20-15-N—N	20
		K-08	// 寸法表	//	21
		K-09	// 鉄筋配置図	//	22
	暗渠工	K-10	ヒューム管型横断暗渠(砂基礎)	HP1-030-03-1～HP1-100-09-2	23
		K-11	// (90度～180度固定基礎)	HP2-030-1-F～HP3-100-2-N	24
		K-12	// (360度固定基礎)	HP4-030-F～HP5-100-N	25
		//	// 寸法表	//	26
		K-13	ポリ管型横断暗渠(砂基礎)	PP1-030-03～PP1-100-09	27
	擁壁工	K-20	積ブロック工(空積)	BL-1-N3KA-H100-F～BL-3-N6KA-H330-N	28
		K-21	積ブロック工(練積)	BL-1-N3NE-H100-F～BL-3-N6NE-H550-N	29
		K-22	// (寸法表) 空積	BL-1-N3KA-H100-F～BL-3-N6KA-H330-N	30
		K-22	// (寸法表) 練積	BL-1-N3NE-H100-F～BL-3-N6NE-H550-N	31
		K-23	重力式擁壁工	GYO—N5H100B15-F～GYO—N5H300B60-N	32
		K-24	// 寸法表	//	33
		K-25	// (前面直)	VGYO—N5H100B15-F～VGTO—N5H200B55-N	34
		K-26	// 寸法表	//	35
		K-27	逆T式擁壁工	TYO—H200B150-F～TYO—H500B600-N	36
	鉄鋼小構造物	K-40	鋼製蓋板縞鋼板(角型)	SG23-S1～SG45-S2	37
		K-41	// 縞鋼板(丸型)	SG23-R1～SG45-R2	38
		K-42	鋼製蓋板エキスパンドメタル	XG21-4-A～XG-24-2-B	39
		K-43	手摺A型	テスリ-A1-L30～テスリ-A3-L20	40
		K-44	B型	テスリ-B1-L30～テスリ-B3-L20	41

秋田県農業農村整備事業標準設計図 目次

分類	工種	図面番号	図面名称	設計番号	ページ
		K-45	C型	テスリ-C1-L30-F～テスリ-C2-L15-N	42
		K-46	D型	テスリ-D1-L30-F～テスリ-D2-L15-N	43
		K-47	ステップA型・B型	ステップA-H〇〇. 〇～ステップB-H〇〇. 〇	44
		K-48	梯子A型・B型	ハシゴA-H〇〇-〇～ハシゴB-H〇〇. 〇	45
		K-49	スクリーン	スクリ-B1000-H1000-P030～スクリ-B3000-H2000-P150	46
		K-50	スクリーン寸法、材料表	スクリ-B1000-H1000-P030～スクリ-B3000-H2000-P150	47
		K-51	ベンチフリューム掛樋	BFF-030-F～BFF-060-N	48
		K-52	鋼製掛樋受台標準仕間L=10M	PFF-040-F～PFF-060-N	49
		K-53	鋼製掛樋受台稼動部詳細図	PFF-040-F～PFF-060-N	50
		K-54	鋼製掛樋(10M)一般図(1)	PF1-040-30-04～PF1-100-65-12	51
		〃	〃(15M)〃(2)	PF2-040-35-11～PF2-100-65-17	52
		〃	〃(20M)〃(3)	PF3-045-45-16～PF3-100-70-20	53
		K-55	鋼製掛樋(10M)製作組立図(1)	PF1-040-30-04～PF1-100-65-12	54
		〃	〃(15M)〃(2)	PF2-040-35-11～PF2-100-65-17	55
		〃	〃(20M)〃(3)	PF3-045-46-16～PF3-100-70-20	56
		K-56	〃主桁継手部寸法表(1)	PF2-040-35-〇〇～PF3-050-45-〇〇	57
		〃	鋼製掛樋主桁継手部寸法表(2)	PF3-050-50-〇〇～PF3-065-50-〇〇	58
		〃	〃〃(3)	PF3-065-50-〇〇～PF2-090-60-〇〇	59
		〃	〃〃(4)	PF3-090-65-〇〇～PF3-100-70-〇〇	60
		K-57	〃上横継手部寸法表	PF2-040-35-〇〇～PF3-100-70-〇〇	61
		K-58	〃製作キャンバー寸法表	PF1-040-30-〇〇～PF3-100-70-〇〇	62
	防護柵工	K-60	格子フェンスB型	KB-1-L20～KB3-L30	63
		K-61	〃内扉D型	KDTビラ	64
		K-62	〃内扉S型	KSTビラ	65

秋田県農業農村整備事業標準設計図 目次

分類	工種	図面番号	図面名称	設計番号	ページ
		K-63	ネットフェンス(A型)	NF-A-2～NF-A-4	66
		K-64	〃(B型)	NF-B-1～NF-B-3	67
		K-65	ネット柵工	NS-062～NS-124	68
		K-67	横断防止柵(間伐材利用)	CGF-A1-15～CGF-A3-15	69
	橋梁工	K-70	鉄筋コンクリート床版橋上部工	SJ-T6-L0200W250～SJ-T14-L1000W550	70
		K-71	〃 寸法表T6	SJ-T6-L0200W250～SJ-T6-L1000W350	71
		〃	〃 寸法表T10	SJ-T10-L0200W400～SJ-T10-L1000W500	72
		〃	〃 寸法表T14	SJ-T14-L0200W450～SJ-T14-L1000W550	73
		K-80	二次製品水路取付及び曲部現場打施工図		74
		K-100	事業用標識(Aタイプ)		75
		K-101	〃(Bタイプ)		76
かんがい排水編					77
				(空き)	78
	水路工	A-03	連節ブロック水路工		79
		A-04	現場打コンクリート水路工		80
		A-05	大型フリューム工	OF-0810～OF-1220	81
		A-06	L型フリューム工	LF-〇〇〇〇-〇〇	82
		A-07	目地詳細図		83
		A-08	鋼製柵渠工		84
		A-09	床版水抜及び側壁水抜(1)	SD1-〇〇.〇〇-F-1～	85
		〃	床版水抜及び側壁水抜(2)	SD2-〇〇.〇〇-1-〇〇	86
		A-10	アンダードレーン(2)		87
	洗場工	A-15	洗場工A型	アライ-A06-T10-F～アライ-A20-T20-N	88
		A-16	洗場工B型	アライ-B06-T10-F～アライ-B20-T20-N	89

秋田県農業農村整備事業標準設計図 目次

分類	工種	図面番号	図面名称	設計番号	ページ
		A-18	洗場工D型	アライ-D10-F～アライ-D30-N	90
		A-19	洗場工寸法表(1)	アライ-A06-T10-F～アライ-B20-T14-N	91
		A-20	洗場工寸法表(2)	アライ-A06-T25-F～アライ-B20-T25-N	92
		A-21	洗場工寸法表(3)	アライ-C2-04-F～アライ-D30-N	93
	パイプライン工	A-40	制水弁ボックス1型		94
		A-42	制水弁ボックス2型		95
		A-45	制水弁ボックス3型		96
		A-46	〃 3型鉄筋配置図(1)		97
		〃	〃 3型鉄筋配置図(2)		98
		〃	〃 3型(数量表)		99
		A-47	制水弁ボックス4型		100
		A-48	〃 4型鉄筋配置図(1)		101
		〃	〃 4型鉄筋配置図(2)		102
		〃	〃 4型(数量表)		103
		A-49	制水弁ボックス付帯施設詳細図		104
		A-50	空気弁ボックス1型	ARV1-75～ARV1-500	105
		A-51	〃 2型	ARV2-75～ARV2-500	106
		A-52	〃 3型	ARV3-600-T10-F～ARV3-600-T14-N	107
		A-53	〃 3型鉄筋配置図	ARV3-600-T10-F～ARV3-600-T14-N	108
		A-55	空気弁設置標準図		109
		A-60	アングルバルブ	AGV-40-08～AGV-65-12	110
		A-61	アルファルファバルブ型給水栓	ALV1-050-08～ALV2-100-12	111
		A-65	水平スラストブロックA型	SLB-A-050-1-06-F～SLB-A-125-4-25-N	112
		A-66	水平スラストブロックA型	SLB-A-150-1-06-F～SLB-A-300-4-25-N	113

秋田県農業農村整備事業標準設計図 目次

分類	工種	図面番号	図面名称	設計番号	ページ
		A-67	// B型	SLB-B-050-1-06-F～SLB-B-125-4-25-N	114
		A-68	// //	SLB-B-150-1-06-F～SLB-B-300-4-25-N	115
		A-69	// C型	SLB-C-050-1.5-06-F～SLB-C-125-4-25-N	116
		A-70	// //	SLB-C-150-1-06-F～SLB-C-300-4-25-N	117
		A-71	鉛直スラストブロックD型	SLB-D-050-4-06-F～SLB-D-300-4-10-N	118
		A-72	// E型	SLB-E-050-1.5-06-F～SLB-E-300-4-25-N	119
ほ場整備編					121
				(空き)	122
	畦畔工	C-01	畦畔工		123
	用水路工	C-03	素掘用水路	UC0-D～UC3-N	124
		C-04	鉄筋コンクリートベンチフリューム水路	BF-030-S～BF-100-N-W	125
		C-05	複水路型鉄筋コンクリートベンチフリューム水路	BFD-050-30～BFD-100-50-W	126
		//	//	BFD-030～BFD-100-W	127
		C-06	既設素掘用水路鉄筋コンクリートベンチフリューム	BFK00-030～BFK05-060	128
		C-07	ベンチフリューム水口工	BFW-030～BFW-60	129
	排水路工	C-10	暫定素掘排水路	UDZ07～UDZ12	130
		C-11	素掘排水路(1)	UD07-D～UD12-S-W	131
		//	// (2)	UD07-N～UD12-S	132
		C-12	鉄筋コンクリート排水フリューム排水路(1)	DF07-504-D-F～DF12-910-S-W-N	133
		C-12	鉄筋コンクリート排水フリューム排水路(2)	DF07-504-N-F～DFK12-910-N-N	134
		//	鉄筋コンクリート排水フリューム排水路(3)	DF07-504-S-M-F～DF12-920-S-M-N	135
		//	鉄筋コンクリート排水フリューム排水路(4)	DF07-504-D-M-F～DF12-920-D-M-N	136
		//	鉄筋コンクリート排水フリューム排水路(5)	DF07-504-N-M-F～DF12-920-N-M-N	137
		C-13	既設素掘排水路コンクリート排水フリューム	DFK07-504-D-F～DFK12-910-N	138

秋田県農業農村整備事業標準設計図 目次

分類	工種	図面番号	図面名称	設計番号	ページ
		C-14	鉄筋コンクリート排水フリューム寸法図	DF07-504-D-F～DF12-920-N-N	139
	道路工	C-20	道路	RB○○○○-○-○	140
	付帯工	C-25	素掘用水路落差工(跳水型)落差0.5M～1.0M	DIS-030-05-S～DIS-050-10-N	141
		C-26	〃 寸法表	〃	142
		C-27	用水路落差工(跳水型)落差0.5M～2.0M	DI-030-05-S～DI-100-10-N	143
		C-28	〃 寸法表(1)	DI-030-05-S～DI-055-20-N	144
		〃	〃 〃 (2)	DI-060-05-S～DI-100-10-N	145
		C-29	円筒落差工	DP-030-15-F-S-F～DP-065-20-N-N-N	146
		C-30	〃 寸法表	〃	147
		C-31	用水路斜流工	BF-SL-030～BF-SL-100	148
		C-34	小排水路組立落差工(1)(排水フリューム)	DFD-504-07-S～DFD-906-10-N	149
		C-35	〃 寸法表	〃	150
		C-36	小排水路組立落差工(2)(排水フリューム)	DFD-504-15-S～DFD-906-20-N	151
		C-37	〃 寸法表	〃	152
		C-38	素掘小排水路組立落差工(1)(排水フリューム)	DFS-504-07-S～DFS-704-10-N	153
		C-39	〃 寸法表	〃	154
		C-40	素掘小排水路組立落差工(2)(排水フリューム)	DFS-504-15-S～DFS-704-20-N	155
		C-41	〃 寸法表	〃	156
		C-42	排水路斜流工	DF-SL-504～DF-SL-906	157
		C-44	勾配可変側溝型暗渠工	KKC-0504-01～KKC-0906-15	158
		C-45	ベンチフリューム型ボックス暗渠工	BFB-030-00-T14-F～BFB-100-09-T20-N	159
		C-46	余水吐工	SW-030-3.0-F～SW-100-1.0-N	160
		C-47	〃 鉄筋配置図	〃	161
		C-50	ベンチフリューム型進入路	BFA2-030-03～BFA6-100-18	162

秋田県農業農村整備事業標準設計図 目次

分類	工種	図面番号	図面名称	設計番号	ページ
		C-51	ヒューム管型進入路	HPA2-030-03～HPA-100-18	163
		C-52	盛土型進入路	BA2-03～BA6-18	164
		C-53	複水路型(1型)進入路	BFDA1-2-030-030-03～BFDA1-6-100-100-18	165
		〃	複水路型(2型)進入路	BFDA2-2-030-030-03～BFDA2-6-100-100-18	166
		C-54	土留壁	HPD-030-1～HPD-100-2	167
		C-55	勾配可変側溝	KKS-0303-〇〇-F～KKS-1010-〇〇-N	168
		C-58	勾配可変側溝型進入路	KKA2-0504-03～KKA2-0906-15	169
		C-59	蓋掛け補強型進入路	DFA2-504-03～DFA6-0905-15	170
	暗渠排水工	C-60	暗渠排水2本配置	A2-	171
		C-61	〃 3 〃	A3-	172
		C-62	〃 4 〃	A4-	173
		C-63	管理閘付暗渠排水2本配置	AK2-	174
		C-64	〃 3 〃	AK3-	175
		C-65	〃 4 〃	AK4-	176
		C-66	暗渠排水単線排水方式	AK1-	177
		C-70	暗渠排水 吸水渠標準断面図(1)	K1-～K2-	178
		〃	暗渠排水 吸水渠標準断面図(2)	K1-～K2-	179
		C-71	暗渠排水 集水渠標準断面図	S1-～S2-	180
		C-72	補助暗渠排水工(片側排水・額縁無し)	TSD1-40-0～TSD1-45-0	181
		C-73	補助暗渠排水工(両側排水・額縁無し)	TSD2-40-0～TSD2-45-0	182
		C-74	補助暗渠排水工(片側排水・額縁有り)	TSD1-40-2～TSD1-45-4	183
		C-75	補助暗渠排水工(両側排水・額縁有り)	TSD2-40-2～TSD2-45-4	184
		C-76	補助暗渠排水工 狭小部詳細図	TSD1-40-0～TSD2-45-4	185
		C-77	補助暗渠排水工 渠線標準断面図	TSD1-40-0～TSD2-45-4	186

秋田県農業農村整備事業標準設計図 目次

分類	工種	図面番号	図面名称	設計番号	ページ
農道編					187
				(空)	188
	道路側溝工	D-01	鉄筋コンクリートU型側溝およびふた	UF-30B-S~PC2-60-C	189
		D-02	鉄筋コンクリートベンチフリューム側溝	BFR-030-S~BFR-100-C	190
		D-03	道路用鉄筋コンクリート側溝	UFD-30A-S~UFD-50B-C	191
		D-04	〃側溝用ふた	UFDF-30A~UFDF-50B	192
	地下排水工	D-06	アンダードレーン	AD-1-04-F~AD-3-03-N	193
	取付道路工	D-07	進入路(HP型)	HPR3-030-06~HPR4-060-21	194
	安全施設工	D-20	ガードレール(標準型・構造物用)	GR-B-2B~GR-C-2BS	195
		〃	〃(標準型・土中用)	GR-B-4B~GR-C-4ES	196
		D-21	〃(耐雪型)	GR-B2-4E~GR-C3-2B	197
		D-22	ガードケーブル(構造物用)	GC-B-4B~GC-C-4B	198
		D-23	〃(土中用)	GC-B-6E~GC-C-6E	199
		D-24	橋梁高欄	GR-BX-090~GR-CK-11S	200
		D-25	安全反射鏡(丸型)	RCM-R108-F~RCM-R210-N	201
		D-26	〃(角型)	RCM-A206-F~RCM-A208-N	202
	道路標識工	D-30	案内標識(1型)	RM1-F~RM1-N	203
		D-31	〃(2型)	RM2-F~RM2-N	204
		D-32	〃(3型)	RM3-S-F~RM3-C-N	205
		D-33	警戒標識	RM4-10-S-F-F~RM4-16-C-N-N	206
	法面保護工	D-40	種子吹付工及びネット併用種子吹付工	SF-1-CA~SF-2-BA NSF-K-1-CA~NSF-S-2-BA	207
		D-41	モルタル吹付工	MF-T10~	208
公害防除特別土地改良編					209
				(空)	210

秋田県農業農村整備事業標準設計図 目次

分類	工種	図面番号	図面名称	設計番号	ページ
	畦畔工	I-01	畦畔工		211
	用水路工	I-06	鉄筋コンクリートベンチフリューム水路	KBF-030-D～KBF-100-N	212
		I-07	複水路型鉄筋コンクリートベンチフリューム水路	KBFD-030-L～KBFD-100-R	213
	排水路工	I-14	鉄筋コンクリート排水フリューム排水路(1)	KFD07-504-D-F～KDF12-910-S-N	214
		I-15	〃(2)	KDF07-504-N-F～KDF12-910-N-N	215
	道路工	I-20	道路覆土(1)	KRB70-N-W-09-D～KRB50-G-S-00-N	216
		I-21	〃(2)	KRB40-N-W-09-D～KRB40-G-S-00-N	217
				(空き)	218
農業集落排水編					219
				(空き)	220
	管路工	S-01	掘削断面(塩ビ管)		221
		S-02	管布設(塩ビ管)		222
		S-03	マンホール		223
		S-04	仮設土留工		224
				(空き)	225

秋田県農業農村整備事業標準設計図仕様書

1. 適 用

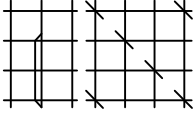
本仕様書は、秋田県農業農村整備事業標準設計図を使用して施工する工事に適用する。

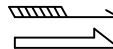
2. 寸法、縮尺、記号

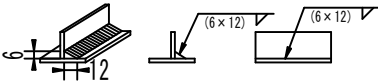
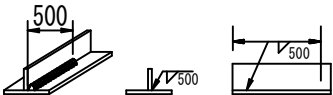
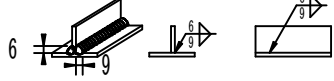
標準設計図の寸法は特に表示する他は、mmとする。

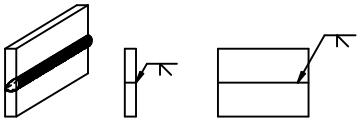
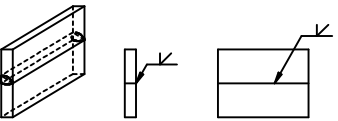
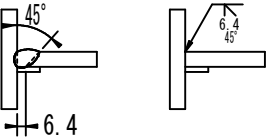
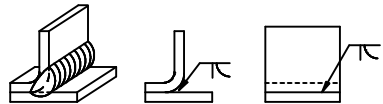
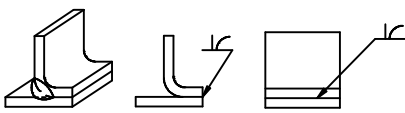
標準設計図の縮尺は不同である。

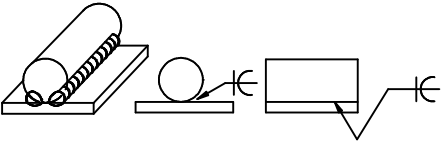
標準設計図の記号

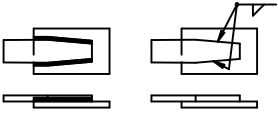
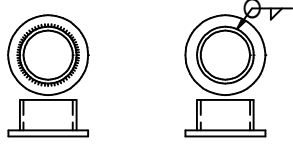
記 号	内 容
一 般	
記号≧数字	以上（ 以上は管理基準にこだわらない ） 高さ、巾 以下は管理基準に規定される
記号≦数字	以下（ 以上は管理基準に規定される ） 高さ、巾 以下は管理基準にこだわらない
数字<記号≦数字	範囲 高さ、巾
≍	程度、おおよそ（重要性がなく検収の対象としない）
D	異形鉄筋の直径 （鉄筋関係に用いた場合）
φ	丸鋼又は鋼製その他パイプの直径
@	鉄筋の中心間隔、階段の間隔等
f ₂₈	コンクリートの呼び強度 （コンクリート関係）
S L	コンクリートのスランプ （コンクリート関係）
Gmax	コンクリート骨材最大寸法 （コンクリート関係）
℄	センターライン
	組立鉄筋
平 面 側 面	

記 号	内 容
	流水の流れる方向
Fix	固 定 端
Mov	可 動 端
鉄鋼構造物関係	
F B	フラットバー・平鋼
L	L 型 鋼
R	プレート、板
U Flg	上フランジ
L Flg	下フランジ
Web	腹 板
Stiff	補 強 材
Sole	支 承
Spl	添接板（継目板）
GUSS	ガセット（継目板）
H T B	高力ボルト

溶 接 記 号				
すみ肉溶接	連続 (1)	記号		直角二等辺三角形と書く
溶 接 部	実 形 図 示			
矢 の 側 または 手 前 側				
矢の反対側 または 向 側				
両 側				
脚 長 6 mm の 場 合				
不等脚の場合、小さい脚の寸法を先に、大きい脚を後に書き、かつこでくくる。 断面の表示が可能な場合は不等脚の方向がわかるように記入する。				
溶接長さ 500 mm の 場 合				
両側脚長 6 mm の 場 合				
両側脚長の異なる場合				

溶 接 記 号			
レ形グループ溶接	記号		垂直線とそれに45度にかかる直線として頭をそろえる。
溶 接 部	実 形 図 示		
矢 の 側 または 手 前 側			
矢の反対側 または 向 側			
T継手、裏あて金使用 間先角度45度 ルート間隔6.4mm の 場 合			
フレアV形グループ溶接 フレアK形	記号		フレアV形グループ溶接は直線と円を書く フレアK形グループ溶接は直線と半円を書く
溶 接 部	実 形 図 示		
矢 の 側 または 手 前 側			
矢の反対側 または 向 側			

溶 接 部	実 形 図 示
両 側	

現 場 溶 接	記 号	・	
全 周 溶 接		○	
全 周 現 場 溶 接		◎	
溶 接 部	実 形 図 示		
現場連続すみ肉溶接の場合			
全周連続すみ肉溶接円管の場合			
全周現場連続すみ肉溶接の場合			

3. 鉄筋の継手長さ

鉄筋の継手長さは30Dとする。

4. 塗 装

塗装は亜鉛メッキを原則とし、仕様は下記による。

処 理 区 分	名 称	該 当 J I S	付 着 量	関連 J I S
亜鉛メッキ (地 肌)	溶融亜鉛メッキ	H8641 2種HDZ50	500g /㎡以上 (片 面)	H0641
下地亜鉛メッキ処理	"	H8641 2種HDZ35	350g /㎡以上 (片 面)	"
	亜鉛メッキ鋼帯	G3302 構造用Z27	275g /㎡以上 (両 面)	

5. 計画図の表示

ほ場整備事業等面的工事にあっては、記号表示によって構造物の種類を示すとともに、計画番号によって規模を表す。

農道事業は一連番号、設計番号（種類、規模を示す）数量で表す。

かんがい排水事業は、所定の位置に設計番号で表す。

鉄鋼小鋼物は、設計番号で表す。

6. 施 工

6. 1 取付部分の施工

同工種の断面変化、異工種間の取付は、監督職員の指示による他は、機能上、構造上、構造物が十分な効用を発揮できるよう施工するものとする。

6. 2 現地との適合

施工にあたっては、協議にもとずき現地に適合するよう施工できるものとする。

(参考) 1. 標準設計図で直角に表示してある構造物等について現地に適合するよう斜めに施工することができる。

2. 現地に適合するよう標準設計図の規格寸法外に施工することができる。

7. 契約の変更

7. 1 契約の変更は原則として計画平面図あるいは標準設計図に示す内容に変更が生じた場合に行うものとする。

(参考) 1. 平面図に示した施工位置及び設計番号が変れば変更する。

2. 分土工および曲部工のように 1 枚の標準図に数種の設計番号が表示されているが適用ベンチフリュームの規格、又は角落しの有無、流水方向等が変っても変更しない。

7. 2 契約金額の変更は原則として、それぞれの設計番号の規格および数量に変更を生じた場合に行うものとする。

但し、軽微な変更にあつては、監督職員と協議の上対応するものとする。

(参考) 1. 平面図に示した設計番号が変れば変更する。

2. 「6.2 現地との適合・1 項及び2項」に該当する範囲内においては変更しない。

平面図に添付するための凡例

設計記号説明

ほ場整備事業等面的工事の記号			
工 種	記 号	工 種	記 号
道 路 工		橋 梁 工	
用 水 路 工		頭 首 工	
排 水 路 工		標 準 設 計 図 の あ る 記 号	
暗 渠 工		標 準 設 計 図 の あ る 記 号	
分 水 樹		標 準 設 計 図 の あ る 記 号	
交 差 工		標 準 設 計 図 の あ る 記 号	
落 差 工		標 準 設 計 図 の あ る 記 号	
進 入 路		標 準 設 計 図 の あ る 記 号	
余 水 吐		標 準 設 計 図 の あ る 記 号	
掛 樋 工		標 準 設 計 図 の あ る 記 号	
土 留 工		標 準 設 計 図 の あ る 記 号	

かんがい排水事業の記号	
工 種	記 号
洗 場 工	
鋼 製 蓋 板	
鋼 製 蓋 板	
鋼 製 蓋 板	
エキスパンドメタル製	

略 称 の 説 明

一 般 構 造 物	
略 称	工 種 説 明
P D W	用排水樹（用水用）
P D C	用排水樹（排水用）
H P	管型横断暗渠
B L	積ブロック工
G Y O	重力式擁壁工
V G Y O	重力式擁壁工（前面直）
T Y O	逆T式擁壁工
S G	鋼製蓋板（綿鋼板）
X G	鋼製蓋板（エキスパンドメタル）
テスリ	手摺
ステップ	ステップ
ハシゴ	梯子
スクリ	スクリーン
B F F	ベンチフリューム掛樋
P F F	鋼製掛樋受台
P F	鋼製掛樋
K B	格子フェンス
N F	ネットフェンス
N S	ネット柵工
S J	鉄筋コンクリート床版橋

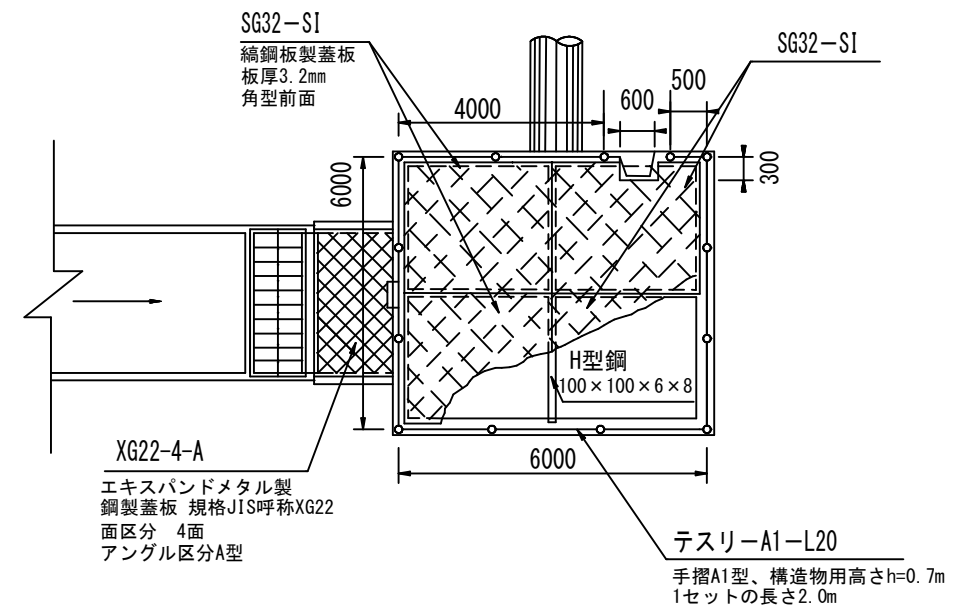
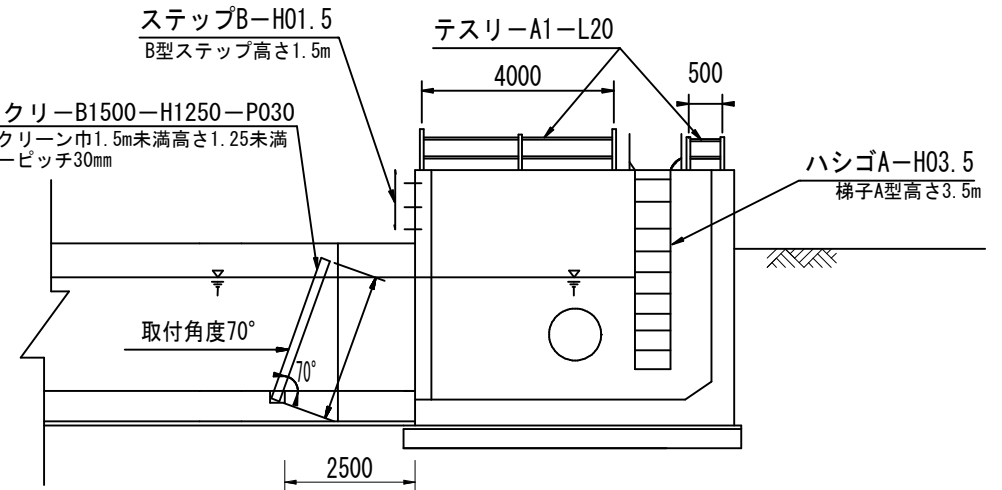
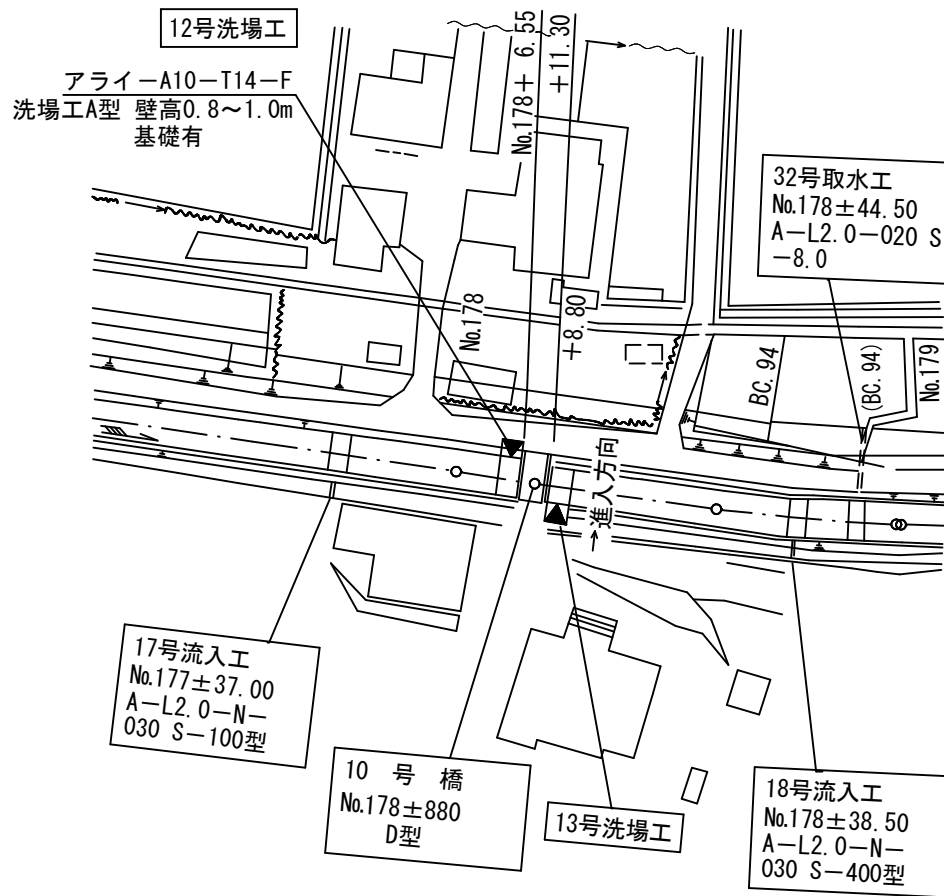
か ん が い 排 水	
略 称	工 種 説 明
S D	床版水抜き及び側壁水抜き
アライ	洗場工
C H V	制水弁ボックス
G A V	樹脂製制水弁ボックス
A R V	空気弁ボックス
A G V	アングルバルブ
A L V	アルファルファバルブ型給水栓
S L B	スラストブロック

ほ 場 整 備	
略 称	工 種 説 明
U C	素掘用水路
B F	鉄筋コンクリートベンチフリューム
B F D	複水路型鉄筋コンクリートベンチフリューム水路
B F K	既設素掘用水路鉄筋コンクリートベンチフリューム水路
B F W	ベンチフリューム水口工
U D Z	暫定素掘排水路
U D	素掘排水路
D F	鉄筋コンクリート排水フリューム排水路
D F K	既設素掘排水路コンクリート排水フリューム
R B	道路
D i S	素掘用水路落差工（跳水型）
D i	用水落差工（跳水型）
D P	円筒落差工
D F D	小排水路組立落差工
D F S	素掘小排水路組立落差工
D F-S L	排水路斜流工
B F B	ベンチフリューム型ボックス暗渠工
S W	余水吐工
B F A	ベンチフリューム型進入路
H P A	ヒューム管型進入路
B A	盛土型進入路
B F D A	複水路型進入路
H P D	土留壁
K K S	勾配可変側溝

道 路 工	
略 称	工 種 説 明
U F	鉄筋コンクリートU型側溝
P C	鉄筋コンクリートU型側溝ふた
B F R	鉄筋コンクリートベンチフリューム側溝
U F D	道路用鉄筋コンクリート側溝
U F D F	道路用鉄筋コンクリート側溝用ふた
U F D C	水路型横断暗渠工
A D	アンダードレーン
H P R	進入路（HP型）
G r	ガードレール
G e	ガードケーブル
	橋梁高欄
R C M	安全反射鏡
R M	案内標識及び警戒標識
S F	種子吹付工
N S F	ネット併用種子吹付工
M F	モルタル吹付工
P C J	PC橋上部工

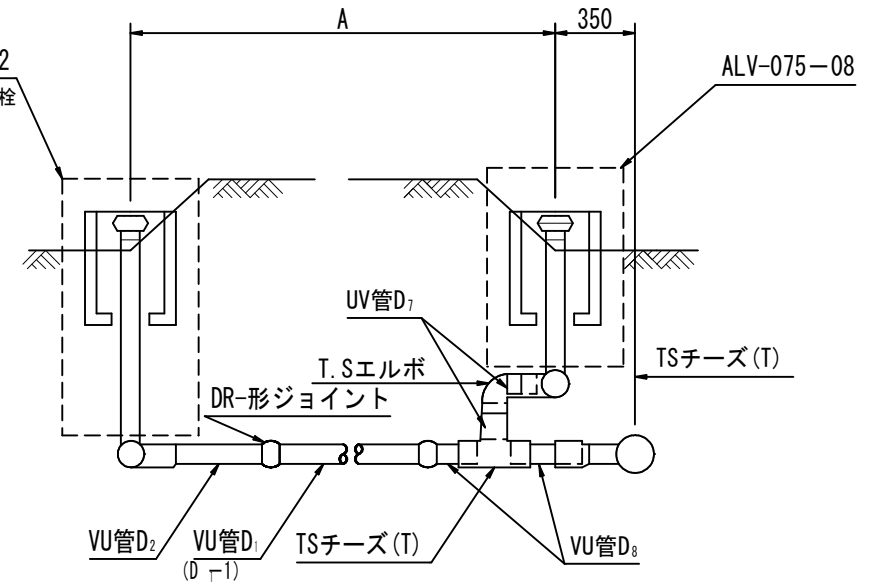
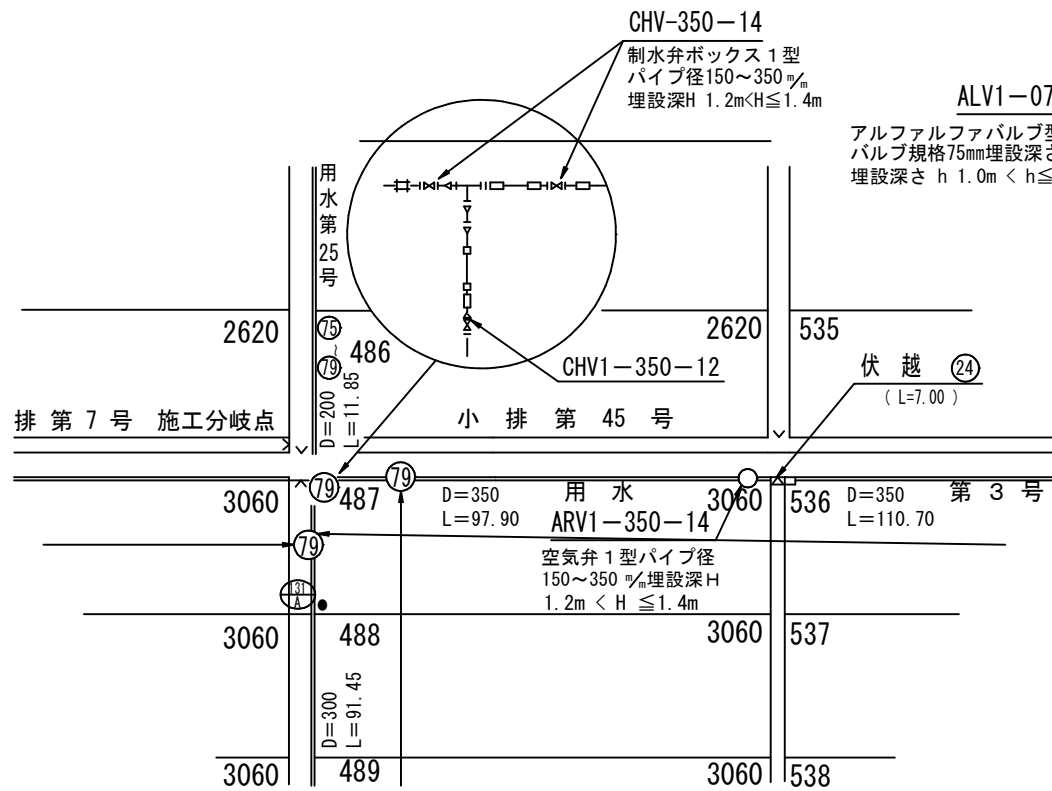
公害防除特別土地改良	
略 称	工 種 説 明
K B F	鉄筋コンクリートベンチフリューム水路
K D F	鉄筋コンクリート排水フリューム
K R B	道路

かんぱい事業の凡例図① 洗場工、鉄鋼小構造物



かんぱい事業の凡例図② パイプライン工

パイプラインの工法、施工場所等によって図面への表示方法が異なるが
ここではほ場整備事業での一般的な例を示す。

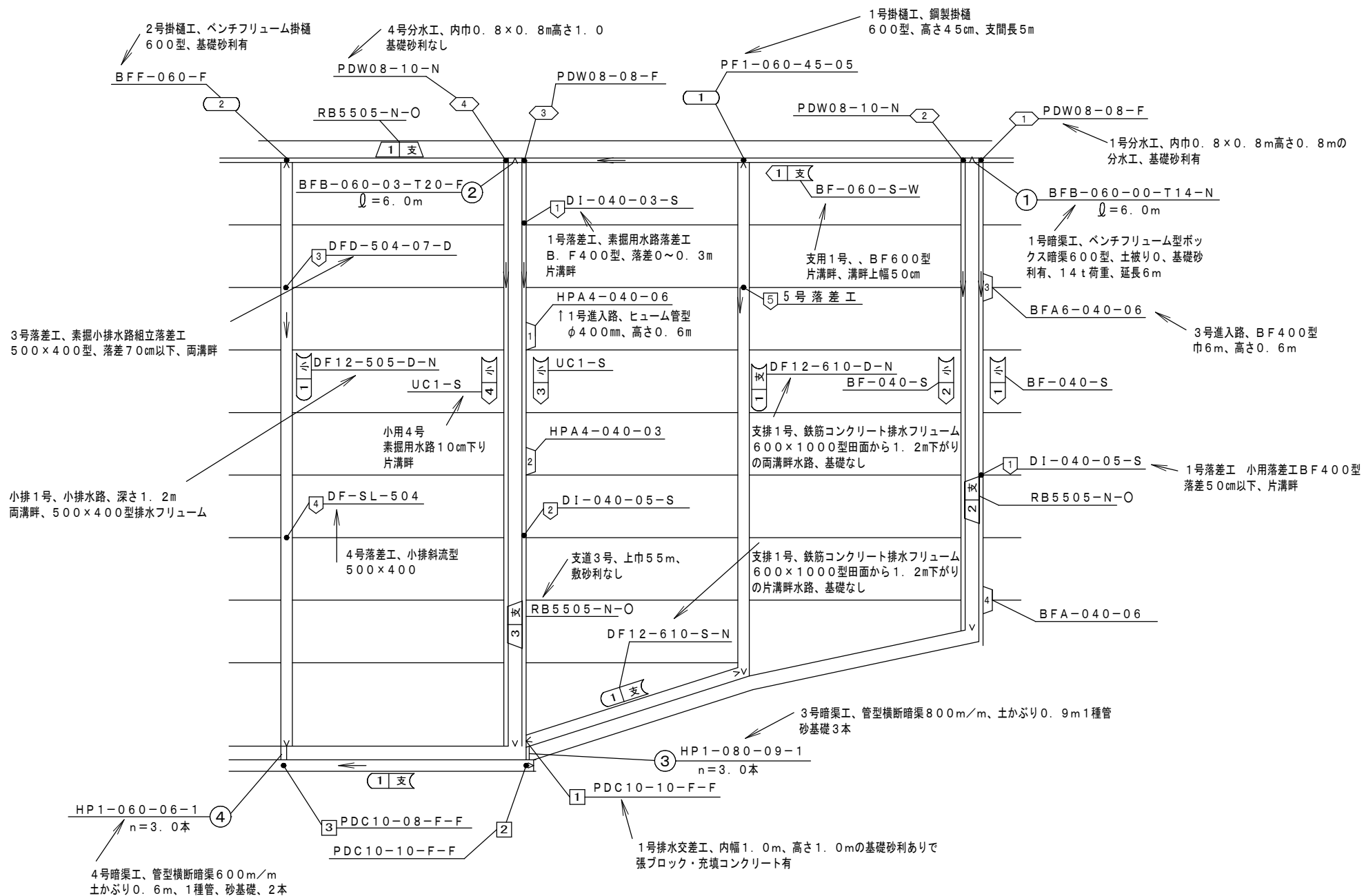


ほ 場 整 備 事 業 等 図 面 的 工 事 の 記 号			
工 種		記 号	内 容 説 明
標準設計図のある記号	道 路 工		幹線道路 6 号
			支線道路 14 号
	用 水 路 工		幹線用水路 3 号
			支線用水路 5 号
			小用水路 7 号
	排 水 路 工		幹線排水路 2 号
			支線排水路 1 号
			小排水路 10 号
	暗 渠 工		暗渠 11 号
	分 水 樹		分水樹 21 号
	交 差 工		交差工 10 号
	落 差 工		落差工 7 号
	進 入 路		進入路 8 号
	余 水 吐		余水吐 7 号
	掛 樋 工		掛樋工 8 号
	土 留 工		道路、水路の土留護岸、河川構造物の護岸、農道の図集使用

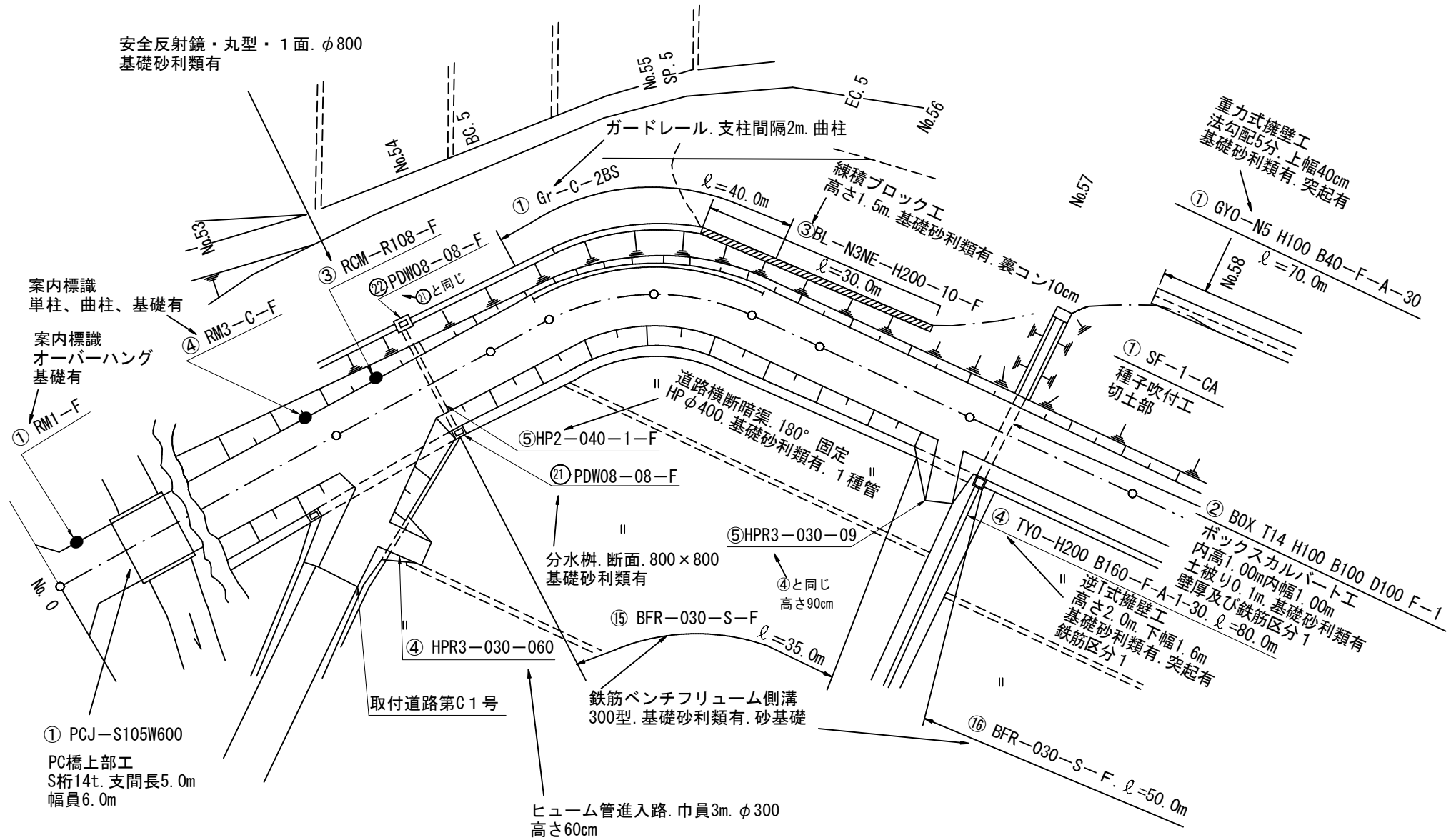
工 種		記 号	内 容 説 明
標準設計図のない記号	橋 梁 工		橋梁工 2 号
	頭 首 工		頭首工の名称又は番号を記入
	揚 水 機		揚水機の名称又は番号を記入
	樋 門 工		樋門工の名称又は番号を記入
	取 付 工		取付工 5 号
	流 水 方 向		用排水路内に記入
	始 点		路線の中央に記入
	終 点		〃

か ん が い 排 水 事 業 の 記 号		
洗 場 工		 洗場工の名称又は番号記入
鋼 製 蓋 板		縞鋼板製
		エキスパンドメタル製

ほ場整備事業の凡例図



農道事業の凡例図



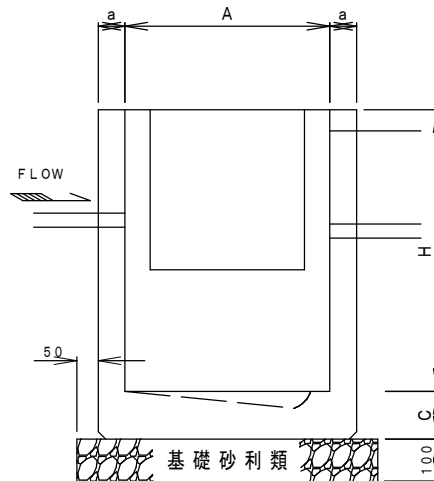
農業農村整備事業標準設計図

一般構造物編

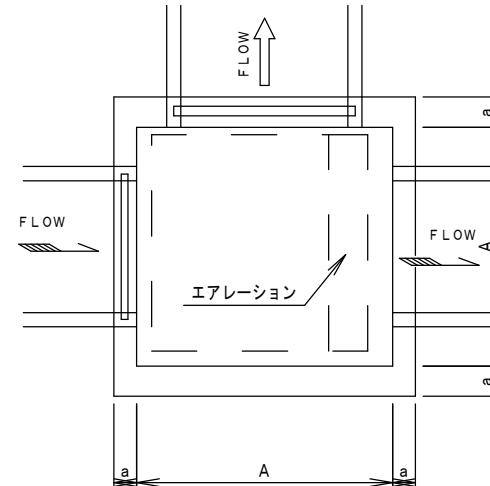
農業農村整備事業標準設計図

用排水柵（２次製品）

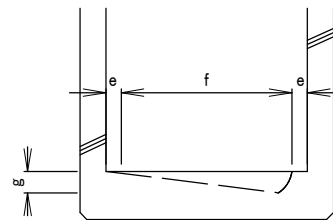
側面図



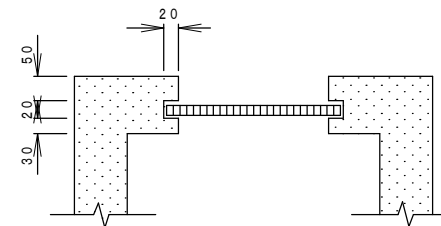
平面図



エアレーション部詳細



角落し詳細図



注意事項

1. 構造物の位置、接続水路の規格形式は計画平面図による。
2. 施工の詳細（水路計画高、角落しの有無、流水方向）は監督職員の指示による。
3. 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
4. 布設方向は柵底版のエアレーション部が下流側になるようにする。
5. 張ブロックを施工する場合の詳細は排水交差工（K-07）による。
6. 水路との接合部及び欠口部等を現場打ちで施工する必要がある場合、現場打ち柵の規格に対応した所定の肉厚と配筋を確保すること。
7. 出来形管理は断面と設置箇所とする。
8. 設計変更は断面毎の設置箇所数の増減により行う。
9. 許容最大盛土高は1.5mとする。

用水柵： P D W ○○-○○-○
 基礎砂利の有無 有 F・無 N
 高さの略号
 内幅の略号
 用排水柵（用排水）の略号
 (Precast Division Work)

排水柵： P D C ○○-○○-○
 基礎砂利の有無 有 F・無 N
 高さの略号
 内幅の略号
 用排水柵（排水用）の略号
 (Precast Drainage Crossing)

関連図番	K-02
	K-07

農業農村整備事業標準設計			2014. 4
工 種	柵	区分	一 般
K-01	用排水柵（２次製品）		
設計番号	PDW06-05-F~PDC12-12-N		

用排水柵（２次製品）寸法表

注 意 事 項

- 適用範囲は、原則として側溝等が直角に接続する場合の規格であり、斜めになる場合には、柵の上位規格を考慮すること。
- 道路用側溝は J I S A - 5 3 4 5 に規定する製品とする。

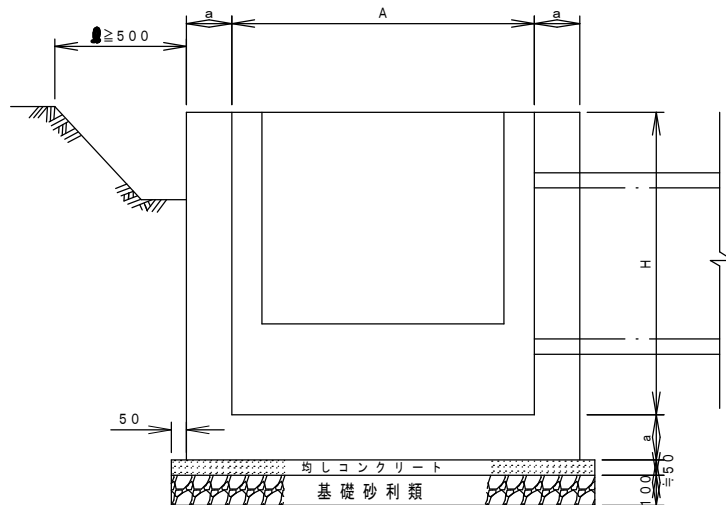
設計番号	寸 法 表 (mm)							適 用 範 囲					
	幅	高さ	側壁厚	底版厚	エアレーション部			側 溝				横 断 暗 渠	
	(A)	(H)	(a)	(c)	(e)	(f)	(g)	ベンチフリューム	U 型 側 溝	道路用側溝	排水フリューム 大型フリューム	ヒューム管	ベンチボックス
PD 06-05	600	500	100	155	65	470	85	BF300 BF350 BF400	UF300A UF300B UF300C UF360A UF360B	UFD300A UFD300B UFD300C		HP300 HP350 HP400	BFB300 BFB350 BFB400
PD 06-06	600	600	100	155	65	470	85						
PD 06-08	600	800	100	155	65	470	70						
PD 08-06	800	600	100	200	80	640	108	BF450 BF500 BF550 BF600	UF450 UF600	UFD400A UFD400B UFD500A UFD500B	高さ 500 幅 400~600	HP450 HP500 HP550 HP600	BFB450 BFB500 BFB550 BFB600
PD 08-08	800	800	100	200	80	640	108				高さ 600~700 幅 400~600		
PD 08-10	800	1000	100	200	80	640	70				高さ 800~900 幅 400~600		
PD 10-08	1000	800	120	200	110	780	122	BF650 BF700 BF800			高さ 500~700 幅 700~800	HP700 HP800	BFB650 BFB700 BFB800
PD 10-10	1000	1000	120	200	110	780	122				高さ 800~900 幅 700~800		
PD 10-12	1000	1200	120	200	110	780	122				高さ 1000 幅 700~800		
PD 12-10	1200	1000	120	200	110	980	125	BF900 BF1000			高さ 500~900 幅 900~1000	HP900 HP1000	BFB900 BFB1000
PD 12-12	1200	1200	120	200	110	980	125				高さ 1000 幅 900~1000		

農業農村整備事業標準設計			2014. 4
工 種	柵	区分	一 般
K-02	用排水柵 寸法表		
設計番号	PDW06-05-F~PDC12-12-N		

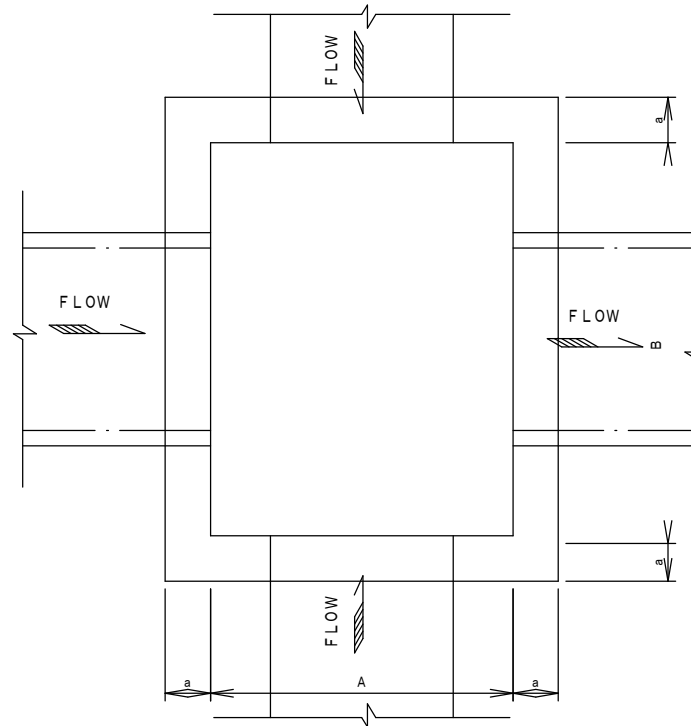
関連図番	K-01

分水柵（現場打）

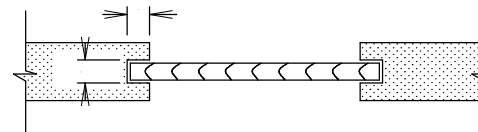
側面図



平面図



角落詳細図



DW ○○○○—○○—○
 分水柵の略号 (Division Work)
 内幅Aの略号
 内幅Bの略号
 壁高の略号
 基礎砂利類の有無 有F・無N

注意事項

1. 構造物の位置、接続水路の型式規格は計画平面図による。
2. 施工の詳細（水路計画高、角落しの有無、流水方向）は監督職員の指示による。
3. 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
4. 鉄筋は異形鉄筋（SD295）とし、かぶりは5cmとする。
5. コンクリートの仕様

種別	σ28	SL	Gmax	セメントの種類
鉄筋コンクリート	21 N/mm ²	12±2.5 cm	2.5 mm	

 コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
6. 出来形管理は断面と設置力所数とする。
7. 設計変更は、断面毎の設置力所数の増減により行う。
8. 許容最大盛土高は1.5mとする。

農業農村整備事業標準設計			2021. 10
工種	柵	区分	一般
K-03	分水柵（現場打）		
設計番号	DW0606-05-F~DW1212-15-N		

関連図番	K-04

分水柵寸法表（１）

設計番号	寸法表 (mm)				適用範囲				
	幅(A)	幅(B)	高(H)	部材厚	側溝			横断暗渠	
	(A)	(B)	(H)	(a)	ベンチフリューム	U型側溝	道路用側溝	ヒュームパイプ	ベンチボックス
DW0606-05-O	600	600	500	130	BF300 BF350 BF400	UF300A UF300B UF300C UF360A UF360B	UFD300A UFD300B UFD300C	HP300 HP350 HP400	BFB300 BFB350 BFB400
DW0606-06-O	600	600	600	130					
DW0606-08-O	600	600	800	130					
DW0808-06-O	800	800	600	130	BF450 BF500 BF550 BF600	UF450 UF600	UFD400A UFD400B UFD500A UFD500B	HP450 HP500 HP550 HP600	BFB450 BFB500 BFB550 BFB600
DW0808-08-O	800	800	800	130					
DW0808-10-O	800	800	1000	150					
DW0808-12-O	800	800	1200	150					
DW0808-15-O	800	800	1500	200	BF450 BF1000			HP450 HP1000	BFB450 BFB1000
DW0812-08-O	800	1200	800	130					
DW0812-10-O	800	1200	1000	150					
DW0812-12-O	800	1200	1200	150					
DW0812-15-O	800	1200	1500	200					

農業農村整備事業標準設計			2002. 4
工 種	柵	区分	一 般
K-04	分水柵寸法表（１）		
設計番号	DW0606-05-F~DW0812-15-N		

関連図番	K-03

分水柵寸法表（２）

設 計 番 号	寸 法 表 (mm)				適 用 範 囲						
	幅 (A)	幅 (B)	高 (H)	部材厚	側 溝			横 断 暗 渠			
	(A)	(B)	(H)	(a)	ベンチフリューム	U 型 側 溝	道 路 用 側 溝	ヒュームパイプ	ベンチボックス		
DW1010-06-O	1000	1000	600	130	BF650 BF700 BF800		UFD400A UFD400B UFD500A UFD500B	HP700 HP800	BFB700 BFB800		
DW1010-08-O	1000	1000	800	130							
DW1010-10-O	1000	1000	1000	150							
DW1010-12-O	1000	1000	1200	150							
DW1010-15-O	1000	1000	1500	200							
DW1212-08-O	1200	1200	800	130	BF900 BF1000					HP900 HP1000	BFB900 BFB1000
DW1212-10-O	1200	1200	1000	150							
DW1212-12-O	1200	1200	1200	150							
DW1212-15-O	1200	1200	1500	200							

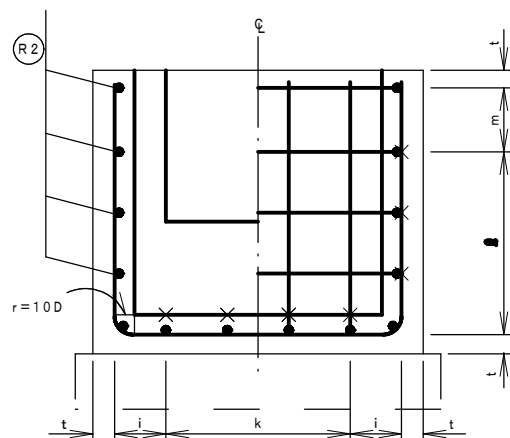
関連図番

K-03

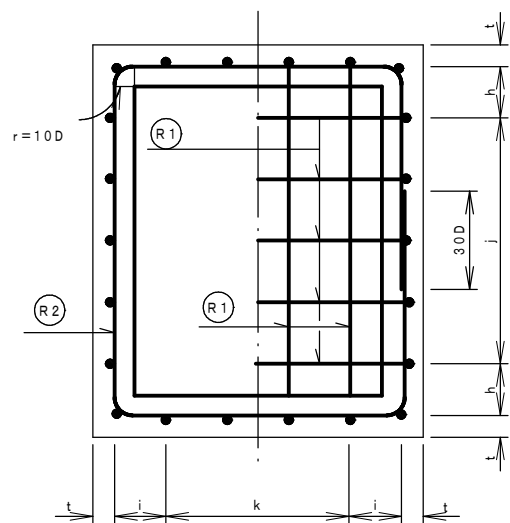
農業農村整備事業標準設計			2002. 4
工 種	柵	区分	一 般
K-04	分水柵寸法表（２）		
設計番号	DW1010-06-F~DW1212-15-N		

分水桝鉄筋配置図

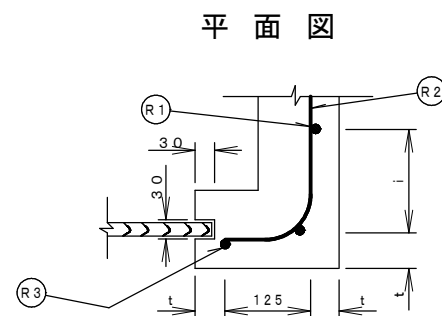
側面図



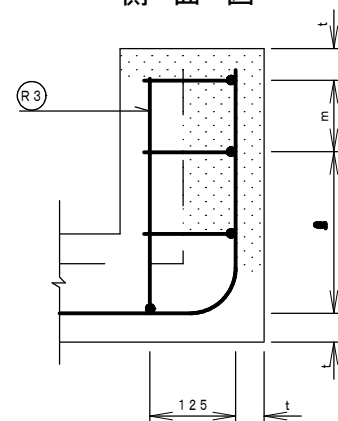
平面図



角落し詳細図



側面図



注意事項

- 鉄筋は異形鉄筋（SD295）とし、かぶりは5cmとする。

農業農村整備事業標準設計			2021. 10
工 種	桝	区分	一 般
K-05	分水桝鉄筋配置図		
設計番号	DW0606-05-F-DW1212-15-N		

関連図番	

分水柵鉄筋寸法表

設 計 番 号	寸 法 表 (mm)											
	(R1)		(R2)		(R3)	h	i	j	k		m	t
DW0606-05-○	D13	@250	D13	@250	D13	130	130	500	500	250	140	50
DW0606-06-○	D13	@250	D13	@250	D13	130	130	500	500	250	190	50
DW0606-08-○	D13	@250	D13	@250	D13	130	130	500	500	500	165	50
DW0808-06-○	D13	@250	D13	@250	D13	230	230	500	500	250	190	50
DW0808-08-○	D13	@250	D13	@250	D13	230	230	500	500	500	165	50
DW0808-10-○	D13	@250	D13	@250	D13	250	250	500	500	750	150	50
DW0808-12-○	D16	@250	D13	@250	D16	240	240	500	500	750	240	60
DW0808-15-○	D16	@200	D13	@200	D16	140	140	800	800	1200	190	60
DW0812-08-○	D13	@250	D13	@250	D13	180	230	1000	500	500	165	50
DW0812-10-○	D13	@250	D13	@250	D13	200	250	1000	500	750	150	50
DW0812-12-○	D16	@250	D13	@250	D16	190	240	1000	500	750	240	60
DW0812-15-○	D16	@200	D13	@200	D16	140	140	1200	800	1200	190	60
DW1010-06-○	D13	@250	D13	@250	D13	205	205	750	750	250	190	50
DW1010-08-○	D13	@250	D13	@250	D13	205	205	750	750	500	165	50
DW1010-10-○	D13	@250	D13	@250	D13	225	225	750	750	750	150	50
DW1010-12-○	D16	@250	D13	@250	D16	215	215	750	750	750	240	60
DW1010-15-○	D16	@200	D13	@200	D16	140	140	1000	1000	1200	190	60
DW1212-08-○	D13	@250	D13	@250	D13	180	180	1000	1000	500	165	50
DW1212-10-○	D13	@250	D13	@250	D13	200	200	1000	1000	750	150	50
DW1212-12-○	D16	@250	D13	@250	D16	190	190	1000	1000	750	240	60
DW1212-15-○	D16	@200	D13	@200	D16	240	240	1200	1200	1200	190	60

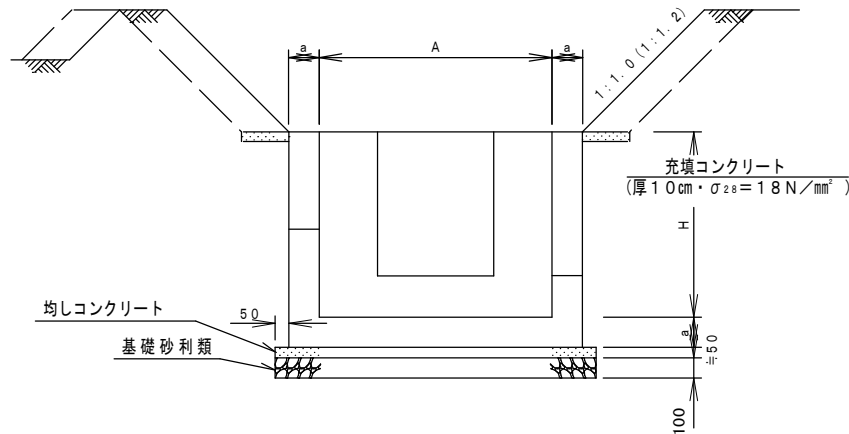
関連図番

K-03
K-05

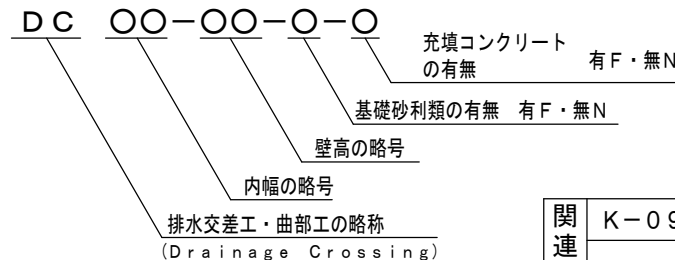
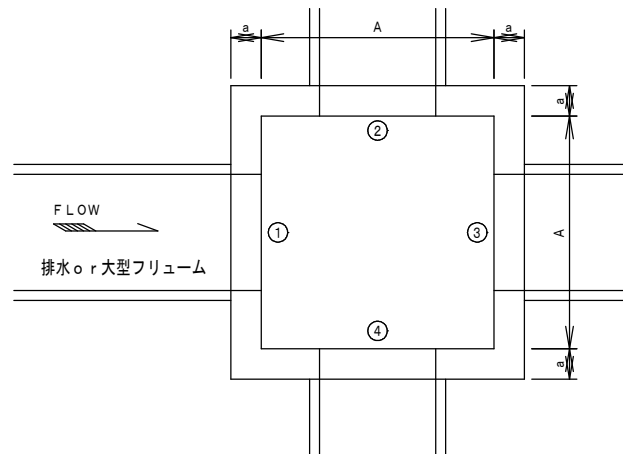
農業農村整備事業標準設計			2002. 4
工 種	柵	区分	一 般
K-06	分水柵鉄筋寸法表		
設計番号	DW0606-05-F~DW1212-15-N		

排水交差工（現場打）

側面図

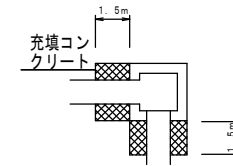


平面図

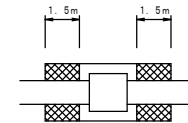


充填コンクリート施工図

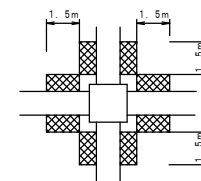
直角型



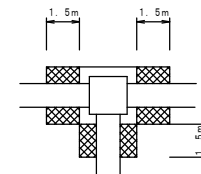
直線型



交差型



T字型



注意事項

1. 構造物の位置、接続水路の型式規格は計画平面図による。
2. 施工の詳細（水路計画高、流水方向）は監督職員の指示による。
3. 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
4. コンクリートの仕様

種別	σ28	SL	Gmax	セメントの種類
鉄筋コンクリート	21 N/mm²	12±2.5 cm	2.5 mm	
無筋コンクリート	18 N/mm²	8±2.5 cm	4.0 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディミキストコンクリート標準使用基準」による。
5. 鉄筋は異形鉄筋（SD295）とし、かぶりは5cmとする。
6. 接続水路が棚渠の場合、構造物中に棚渠のアーチを埋め込んでも、外部に出してもよい。
7. 出来形管理は断面と設置力所数とする。
8. 設計変更は断面毎の設置力所数の増減により行う。
9. 許容最大盛土高は1.5mとする。

農業農村整備事業標準設計			2021.10
工種	柵	区分	一般
K-07	排水交差工（現場打）		
設計番号	DC08-06-F-F~DC20-15-N-N		

関連図番	K-09

排水交差工（排水・大型フリーム）寸法表

注 意 事 項

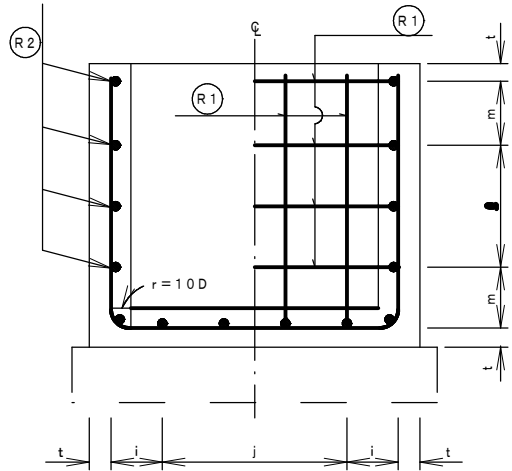
設 計 番 号	寸 法 表			適 用 範 囲	
	幅 (A)	高 (H)	部 材 厚	排水・大型フリーム規格	
	(A)	(H)	(a)	高 さ	幅
DC08-06-O-O	800	600	130	500	400 ~ 600
DC08-08-O-O	800	800	130	600 ~ 700	400 ~ 600
DC08-10-O-O	800	1000	150	800 ~ 900	400 ~ 600
DC08-12-O-O	800	1200	150	1000	400 ~ 600
DC08-15-O-O	800	1500	200	1200	400 ~ 600
DC10-06-O-O	1000	600	130	500	900 ~ 1000
DC10-08-O-O	1000	800	130	600 ~ 700	900 ~ 1000
DC10-10-O-O	1000	1000	150	800 ~ 900	900 ~ 1000
DC10-12-O-O	1000	1200	150	1000	900 ~ 1000
DC10-15-O-O	1000	1500	200	1200	900 ~ 1000
DC15-08-O-O	1500	800	130	600 ~ 700	1100 ~ 1500
DC15-10-O-O	1500	1000	150	800 ~ 900	1100 ~ 1500
DC15-12-O-O	1500	1200	150	1000	1100 ~ 1500
DC15-15-O-O	1500	1500	200	1200	1100 ~ 1500
DC20-08-O-O	2000	800	130	600 ~ 700	1500 ~ 2000
DC20-10-O-O	2000	1000	150	800 ~ 900	1500 ~ 2000
DC20-12-O-O	2000	1200	150	1000	1500 ~ 2000
DC20-15-O-O	2000	1500	200	1200	1500 ~ 2000

農業農村整備事業標準設計			2002. 4
工 種	柵	区分	一 般
K-08	排水交差工寸法表		
設計番号	DC08-06-F-F~DC20-15-N-N		

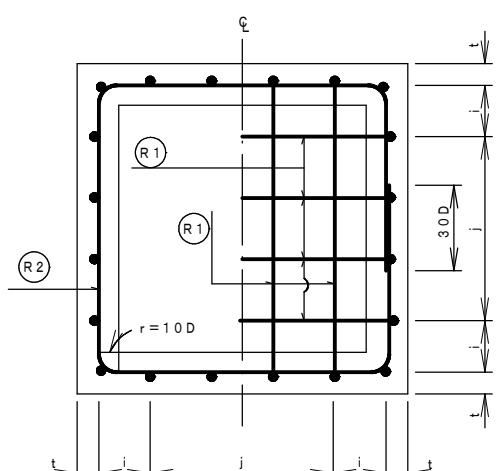
K-07

排水交差工鉄筋配筋図

側面図



平面図



注意事項

- 鉄筋は異形鉄筋（SD295）とし、かぶりは5cmとする。

設計番号	寸 法 表 (mm)						
	(R1)	(R2)	i	j	h	m	t
DC08-06-O	D13 @250	D13 @250	230	500	250	190	50
DC08-08-O	D13 @250	D13 @250	230	500	500	165	50
DC08-10-O	D13 @250	D13 @250	250	500	750	150	50
DC08-12-O	D16 @250	D13 @250	240	500	750	240	60
DC08-15-O	D16 @200	D13 @200	140	800	1200	190	60
DC10-06-O	D13 @250	D13 @250	205	750	250	190	50
DC10-08-O	D13 @250	D13 @250	205	750	500	165	50
DC10-10-O	D13 @250	D13 @250	225	750	750	150	50
DC10-12-O	D16 @250	D13 @250	215	750	750	240	60
DC10-15-O	D16 @200	D13 @200	140	1000	1200	190	60
DC15-08-O	D13 @250	D13 @250	205	1250	500	165	50
DC15-10-O	D13 @250	D13 @250	225	1250	750	150	50
DC15-12-O	D16 @250	D13 @250	215	1250	750	240	60
DC15-15-O	D16 @200	D13 @200	190	1400	1200	190	60
DC20-08-O	D13 @250	D13 @250	205	1750	500	165	50
DC20-10-O	D13 @250	D13 @250	225	1750	750	150	50
DC20-12-O	D16 @250	D13 @250	215	1750	750	240	60
DC20-15-O	D16 @200	D13 @200	140	2000	1200	190	60

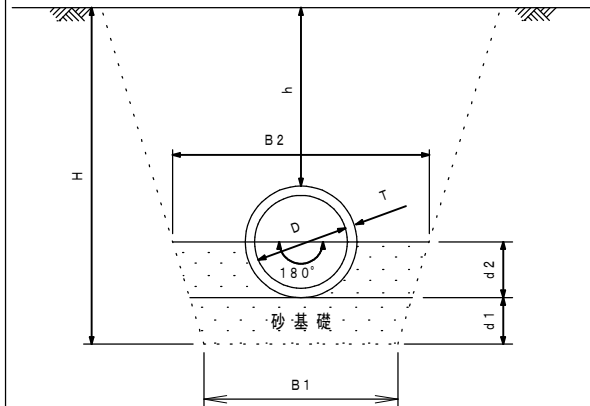
関連図番	K-07

農業農村整備事業標準設計			2021. 10
工 種	柵	区分	一 般
K-09	排水交差工鉄筋配置図		
設計番号	DC08-06-F-F~DC20-15-N-N		

ヒューム管型横断暗渠（砂基礎）

注 意 事 項

1. ヒューム管はJ I S A 5 3 7 2に規定するB型1種管または2種管とする。
2. 砂の材質は特記仕様書による。
3. 上下流水路の取付高は監督職員の指示を受けなければならない。
4. 出来形管理は、断面と延長とする。
5. 設計変更は、断面毎の延長の増減により行う。



設計番号	寸 法 表								
	管内径	1本当り長	肉厚	参考重量	掘削幅	砂基礎 上 幅	砂基礎厚	土かぶり	掘削深
	D (mm)	L (mm)	T (mm)	W (kg)	B1(m)	B2(m)	d1(m)	d2(m)	H (m)
HP1-030-03-O	300	2000	30	165	0.86	1.05	0.15	0.18	0.3
HP1-030-06-O									0.6
HP1-030-09-O									0.9
HP1-035-03-O	350	2000	32	204	0.91	1.12	0.15	0.21	0.3
HP1-035-06-O									0.6
HP1-035-09-O									0.9
HP1-040-03-O	400	2430	35	306	0.96	1.19	0.15	0.24	0.3
HP1-040-06-O									0.6
HP1-040-09-O									0.9
HP1-045-03-O	450	2430	38	373	1.06	1.30	0.15	0.26	0.3
HP1-045-06-O									0.6
HP1-045-09-O									0.9
HP1-050-03-O	500	2430	42	459	1.28	1.57	0.20	0.29	0.3
HP1-050-06-O									0.6
HP1-050-09-O									0.9
HP1-060-03-O	600	2430	50	660	1.38	1.71	0.20	0.35	0.3
HP1-060-06-O									0.6
HP1-060-09-O									0.9
HP1-070-03-O	700	2430	58	899	1.48	1.84	0.20	0.41	0.3
HP1-070-06-O									0.6
HP1-070-09-O									0.9
HP1-080-03-O	800	2430	66	1170	1.63	2.02	0.20	0.47	0.3
HP1-080-06-O									0.6
HP1-080-09-O									0.9
HP1-090-03-O	900	2430	75	1520	1.73	2.16	0.20	0.53	0.3
HP1-090-06-O									0.6
HP1-090-09-O									0.9
HP1-100-03-O	1000	2430	82	1850	1.77	2.29	0.30	0.58	0.3
HP1-100-06-O									0.6
HP1-100-09-O									0.9

HP1-000-00-0

管種規格の略号 1種管1・2種管2

土かぶり (m)

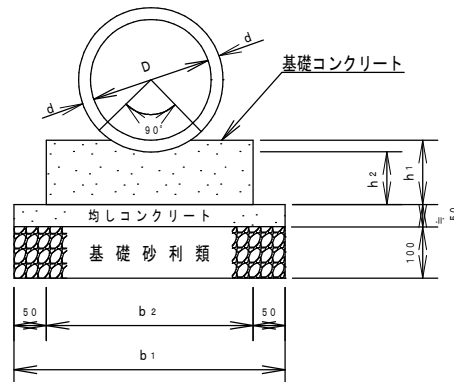
ヒューム管の規格の略号

HP: ヒューム管型横断暗渠 (砂基礎) の略称

関連
図番

農業農村整備事業標準設計			2014. 4
工 種	暗 渠 工	区分	一 般
K-10	ヒューム管型横断暗渠 (砂基礎)		
設計番号	HP1-030-03- ~HP1-100-09-2		

HP2型90度固定基礎



HP2型（管きよ：90度固定基礎）寸法表

設計番号	寸法表 (mm)					
	D	d	b ₁	b ₂	h ₁	h ₂
HP2-030-O-O	300	30	500	400	160	100
HP2-035-O-O	350	32	550	450	170	100
HP2-040-O-O	400	35	600	500	220	150
HP2-045-O-O	450	38	650	550	230	150
HP2-050-O-O	500	42	700	600	240	150
HP2-060-O-O	600	50	800	700	260	150
HP2-070-O-O	700	58	950	850	320	200
HP2-080-O-O	800	66	1050	950	340	200
HP2-090-O-O	900	75	1150	1050	360	200
HP2-100-O-O	1000	82	1300	1200	370	200

注意事項

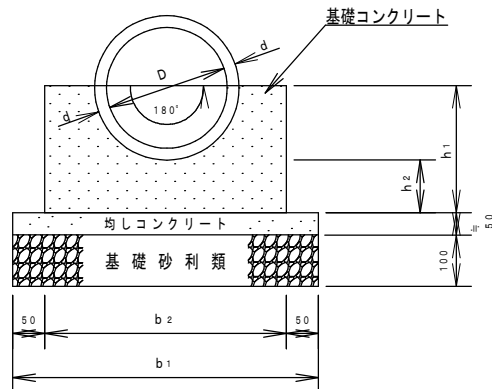
1. ヒューム管はJISA5372に規定するB型1種管又は2種管とする。
2. 砂の材質は特記仕様書による。
3. 上下流水路の取付高は監督職員の指示を受けなければならない。
4. 出来形管理は、断面と延長とする。
5. 設計変更は、断面毎の延長の増減により行う。
6. コンクリートの仕様

種別	σ_{28}	SL	Gmax	セメントの種別
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5	40 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。

HP3型（管きよ：180度固定基礎）寸法表

HP3型180度固定基礎



設計番号	寸法表 (mm)					
	D	d	b ₁	b ₂	h ₁	h ₂
HP3-030-O-O	300	30	600	500	280	100
HP3-035-O-O	350	32	650	550	310	100
HP3-040-O-O	400	35	700	600	390	150
HP3-045-O-O	450	38	800	700	420	150
HP3-050-O-O	500	42	850	750	440	150
HP3-060-O-O	600	50	1000	900	500	150
HP3-070-O-O	700	58	1100	1000	610	200
HP3-080-O-O	800	66	1300	1200	670	200
HP3-090-O-O	900	75	1450	1350	730	200
HP3-100-O-O	1000	82	1550	1450	780	200

HP O - O O O - O - O

基礎砂利類の有無 有 F 無 N

管種規格の略号 1種管 1・2種管 2

ヒューム管の規格の略号

固定基礎の種類による略号

ヒューム管暗渠の略称

関連図番	

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工種	暗渠工	区分	一般
K-11	管型横断暗渠 (90度～180度固定基礎)		
設計番号	HP2-030-1-F～HP3-100-2-N		

注 意 事 項

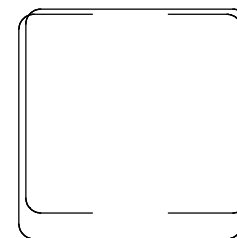
1. ヒューム管は J I S A 5 3 7 2 に規定する B 型 1 種管 2 種管とする。
2. 砂の材質は特記仕様書による。
3. 上下流水路の取付高は監督職員の指示を受けなければならない。
4. 出来形管理は、断面と延長する。
5. 設計変更は、断面毎の延長の増減により行う。
6. コンクリートの仕様

種 別	$\sigma 28$	S L	G m a x	セメントの種類
鉄筋コンクリート	21 $\frac{N}{mm^2}$	12 ± 2.5 $\frac{cm}{m}$	40 mm	

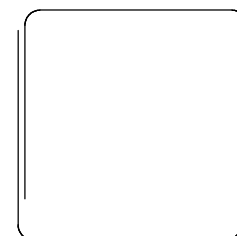
コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。

鉄筋加工図

HP4型 (D400以下)



HP4型 (D450以上) およびHP5型



HP O - O O O - O

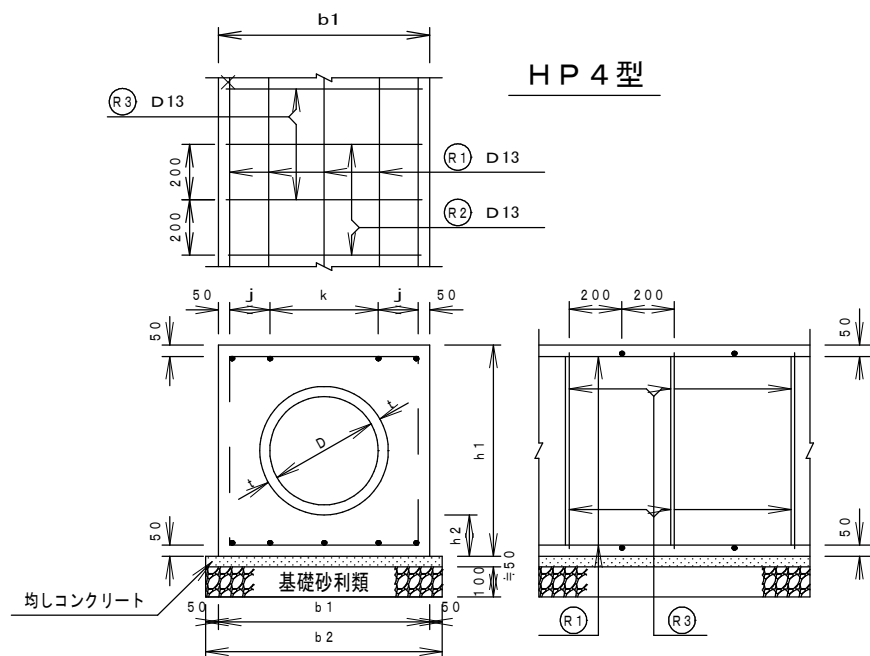
基礎砂利類の有無 有 F 無 N

ヒューム管の規格

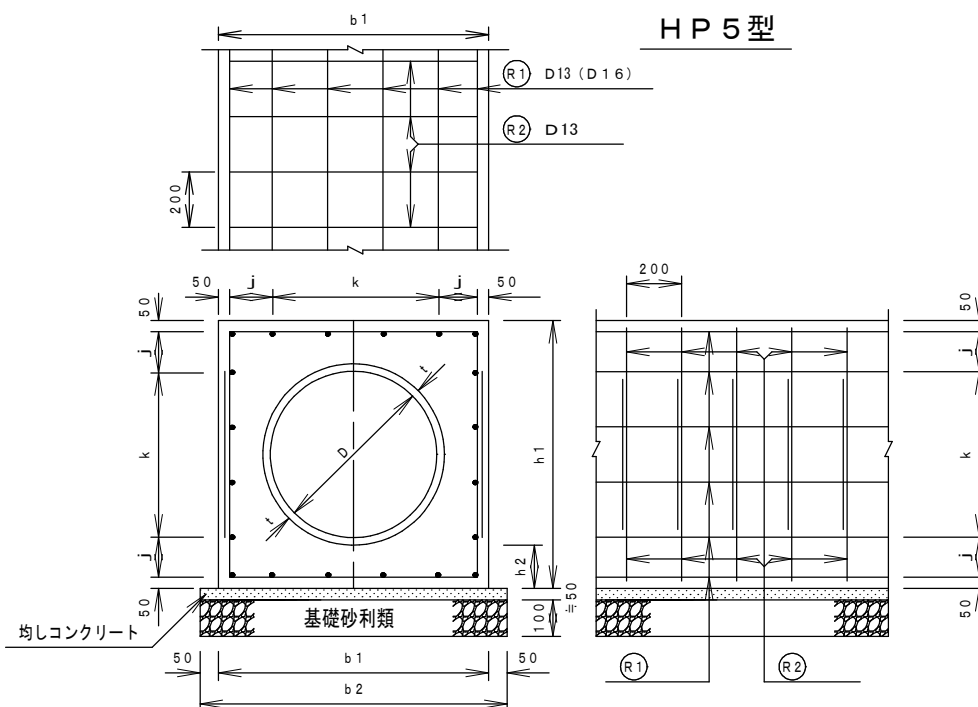
荷重区分による基礎種類の略号

ヒューム管暗渠の略称

HP4型



HP5型



農業農村整備事業標準設計			2018. 10
工 種	暗 渠	工 区 分	一 般
K-12	管型横断暗渠 (360度固定基礎)		
設計番号	HP4-030-F~HP5-100-N		

関連図番	

HP4型（管きよ：360度固定基礎）寸法表

設計番号	寸 法 表								鉄 筋							
	D	t	b ₁	b ₂	h ₁	h ₂	J	k	R ₁		R ₂		R ₃		R ₂ 1本当たり長さ	R ₃ 1本当たり長さ
									径	本数	径	本数	径	本数		
HP4-030-O	300	30	560	660	560	100		460 (=2×230)	D13	6	D13	5	D13	5	460	1440
HP4-035-O	350	32	620	720	620	100	160	200	D13	8	D13	5	D13	5	520	1560
HP4-040-O	400	35	780	880	780	150	140	400 (=2×200)	D13	10	D13	5	D13	5	680	1880
HP4-045-O	450	38	840	940	840	150	170	400 (=2×200)	D13	10	D13	5	D13	5	740	2000
HP4-050-O	500	42	900	1000	900	150		800 (=4×200)	D16	10	D13	5	D13	5	800	2120

HP5型（管きよ：360度固定基礎）寸法表

設計番号	寸 法 表								鉄 筋				
	D	t	b ₁	b ₂	h ₁	h ₂	J	k	R ₁		R ₂		R ₂ 1本当たり長さ
									径	本数	径	本数	
HP5-060-O	600	50	1000	1100	1000	150	150	600 (=3×200)	D13	20	D13	10	2320
HP5-070-O	700	58	1220	1320	1220	200	160	800 (=4×200)	D13	24	D13	10	2760
HP5-080-O	800	66	1340	1440	1340	200	120	1000 (=5×200)	D16	28	D13	10	3000
HP5-090-O	900	75	1460	1560	1460	200	180	1000 (=5×200)	D16	28	D13	10	3240
HP5-100-O	1000	82	1580	1680	1580	200	140	1200 (=6×200)	D16	32	D13	10	3480

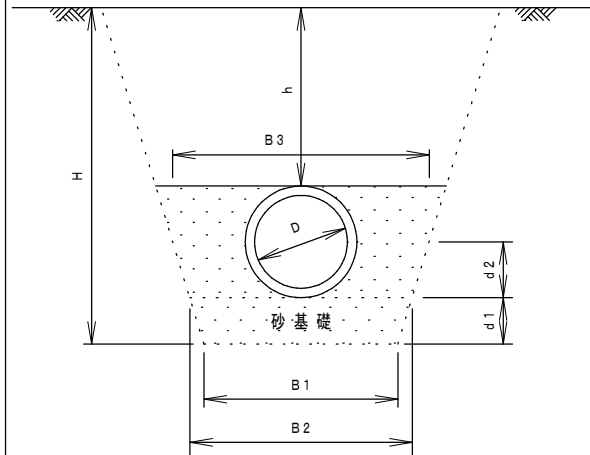
関連図番

農業農村整備事業標準設計			1990. 3	
工 種	暗 渠 工	区 分	一 般	
K-12	管型横断暗渠寸法表 (360度固定基礎)			
設計番号	HP4-030-F~HP5-100-N			

ポリ管型横断暗渠（砂基礎）

注 意 事 項

1. ポリ管は、内面平滑の硬質ポリエチレン製波状管（無孔管）である。
2. 砂の材質は特記仕様書による。
3. 上下流水路の取付高は監督職員の指示を受けなければならない。
4. 出来形管理は、断面と延長とする。
5. 設計変更は、断面毎の延長の増減により行う。



設計番号	寸 法 表							
	管内径	1本当り長	砂基礎 上 幅	砂基礎 上 幅	砂基礎 上 幅	砂基礎厚	土かぶり	掘削深
	D (mm)	L (mm)	B1(m)	B2(m)	B3(m)	d1(m)	d2(m)	H (m)
PP1-030-03	300	5000	0.71	0.80	1.02	0.15	0.36	0.3
PP1-030-06								0.6
PP1-030-09								0.9
PP1-035-03	350	5000	0.76	0.85	1.10	0.15	0.41	0.3
PP1-035-06								0.6
PP1-035-09								0.9
PP1-040-03	400	5000	0.81	0.90	1.18	0.15	0.47	0.3
PP1-040-06								0.6
PP1-040-09								0.9
PP1-045-03	450	5000	0.86	0.95	1.27	0.15	0.53	0.3
PP1-045-06								0.6
PP1-045-09								0.9
PP1-050-03	500	5000	0.88	1.00	1.35	0.20	0.58	0.3
PP1-050-06								0.6
PP1-050-09								0.9
PP1-060-03	600	5000	0.98	1.10	1.52	0.20	0.70	0.3
PP1-060-06								0.6
PP1-060-09								0.9
PP1-070-03	700	5000	1.08	1.20	1.69	0.20	0.82	0.3
PP1-070-06								0.6
PP1-070-09								0.9
PP1-080-03	800	5000	1.18	1.30	1.86	0.20	0.93	0.3
PP1-080-06								0.6
PP1-080-09								0.9
PP1-090-03	900	5000	1.28	1.40	2.03	0.20	1.05	0.3
PP1-090-06								0.6
PP1-090-09								0.9
PP1-100-03	1000	5000	1.32	1.50	2.20	0.30	1.16	0.3
PP1-100-06								0.6
PP1-100-09								0.9

PP1-000-00

土かぶり (m)

ポリコルゲート管の規格の略号

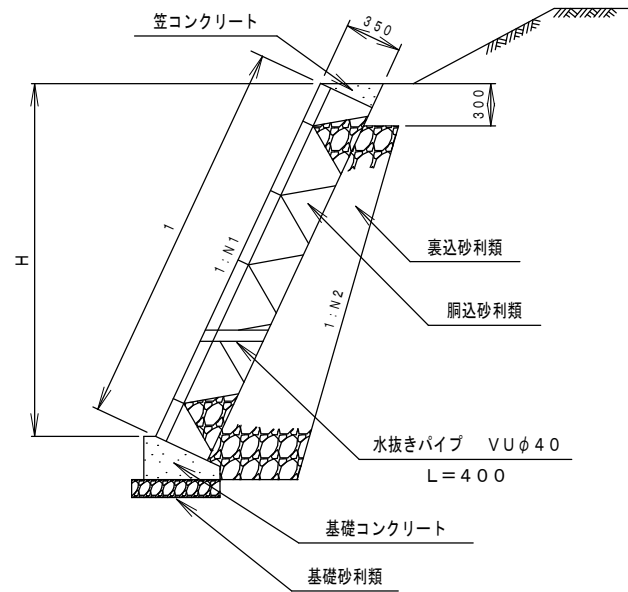
PP: ポリコルゲート管型暗渠（砂基礎）の略称

関	
連	
図	
番	

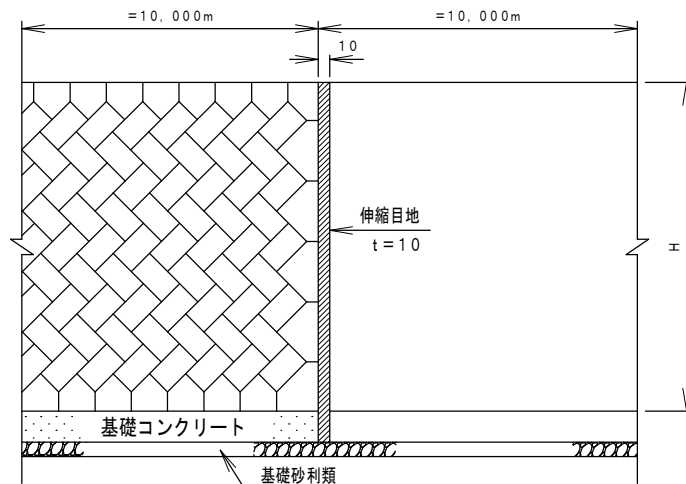
農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	暗 渠 工	区分	一 般
K-13	ポリ管型横断暗渠（砂基礎）		
設計番号	PP1-030-03~PP1-100-09		

積ブロック工（空積）

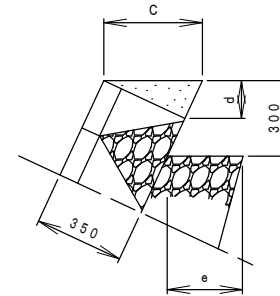
断面図



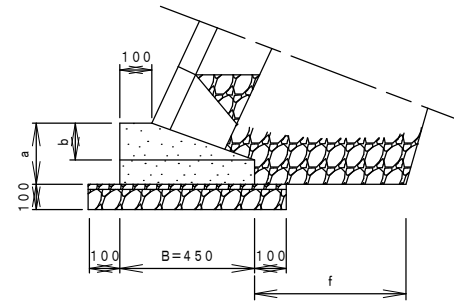
正面図



笠コンクリート詳細図



基礎コンクリート詳細図



BL-O-NOKA-H000-O

基礎砂利類の有無 有F・無N

ブロック積高さの略号

空積・・・KA

ブロック法勾配の略号

土質区分 1：礫質土 2：砂質土 3：粘性土

積ブロックの略号

関連図番

K-22

注意事項

1. 設置位置の詳細、施工標高および端部処理は監督職員の指示による。
2. 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
3. コンクリートの仕様

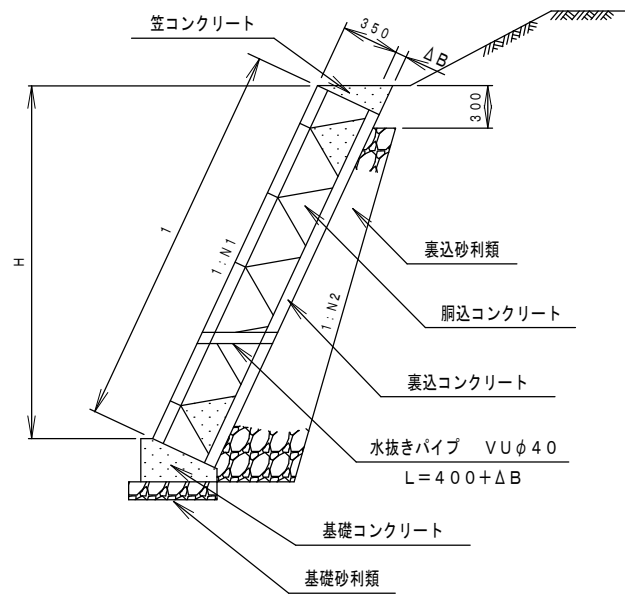
種別	σ28	SL	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5 cm	40 mm	

 コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
4. コンクリートブロックは、JISA5371に規定する製品とする。
5. 伸縮継目は標準として、1スパンを=10.00mとし、伸縮目地材はエラストックフィラー（t=10mm）を使用する。但し、スパン割の結果=10.0mに満たない端数が生ずる場合は、監督職員の指示による。
6. 水抜きパイプは、3mに1カ所を標準とし、塩ビ管VUφ40mm、L=400を使用する。但し、湧水のある場所等については監督職員の指示による。
7. 水抜きパイプの塩ビ管は、壁面に沿って切りそろえること。
8. 出来形管理は、断面と施工延長とする。
9. 設計変更は、規格毎の施工延長の増減により行う。

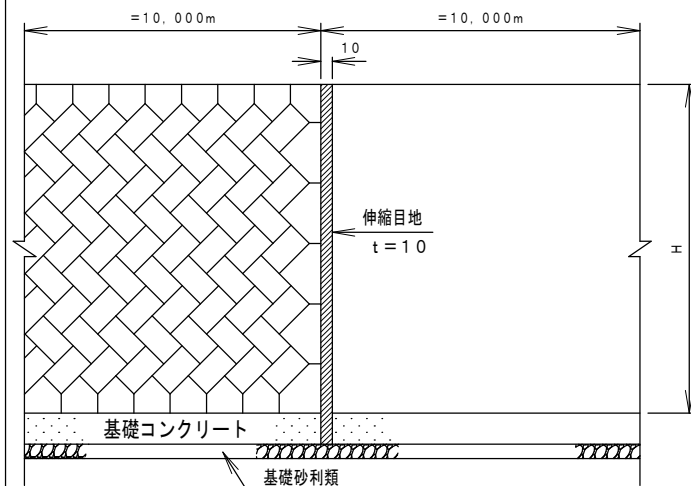
農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工種	擁壁工	区分	一般
K-20	積ブロック工（空積）		
設計番号	BL-1-N3KA-H100-F ~BL-3-N6KA-H330-N		

積ブロック工（練積）

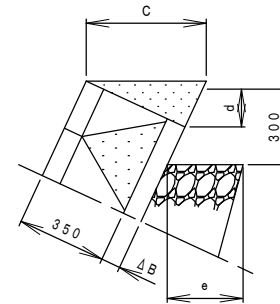
断面図



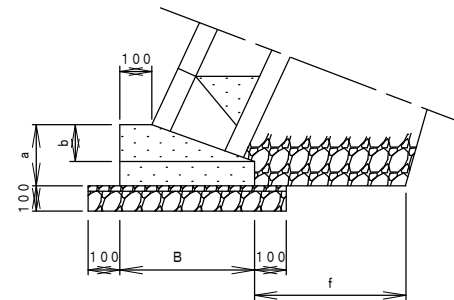
正面図



笠コンクリート詳細図



基礎コンクリート詳細図



BL-O-NONE-HOOO-OO-O

基礎砂利類の有無 有F・無N

裏込コンクリート厚の略号

ブロック積高さの略号

練積・・・NE

ブロック法勾配の略号

土質区分 1:礫質土 2:砂質土 3:粘性土

積ブロックの略号

関連図番	K-22

注意事項

- 設置位置の詳細、施工標高および端部処理は監督職員の指示による。
- 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
- コンクリートの仕様

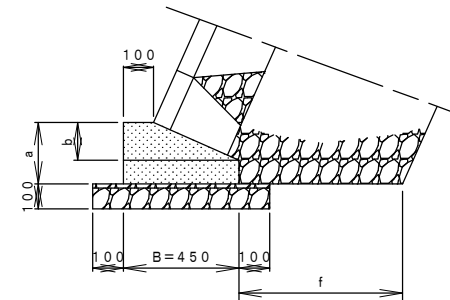
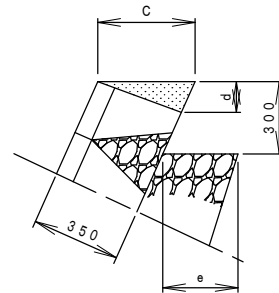
種別	σ28	SL	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5 cm	40 mm	N

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
- コンクリートブロックは、JISA 5371に規定する製品とする。
- 伸縮継目は標準として、1スパンを＝10.00mとし、伸縮目地材はエラストックフィラー（t＝10mm）を使用する。但し、スパン割の結果＝10.0mに満たない端数が生ずる場合は監督職員の指示による。
- 水抜きパイプは、3mに1カ所を標準とし、塩ビ管VUφ40mm、L＝400＋ΔBを使用する。但し、湧水のある場所等については監督職員の指示による。
- 水抜きパイプの塩ビ管は、壁面に沿って切りそろえること。
- 出来形管理は、断面と施工延長とする。
- 設計変更は、規格毎の施工延長の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計		2015. 4	
工種	擁壁工	区分	一般
K-21	積ブロック工（練積）		
設計番号	BL-1-N3NE-H100-OO-F ～BL-3-N6NE-H550-20N		

空積ブロック工

空積寸法表 (mm) a & b & c & d & e & B					
記号	法 勾 配	N3	N4	N5	N6
a	H ≤ 3000	300	300	300	300
	H > 3000	400	400	400	400
b		100	140	170	210
c		370	380	390	410
d		100	130	160	180
e	礫質土	240	240	250	260
	砂質土	350	360	370	390
	粘性土	460	470	490	510
B		450			



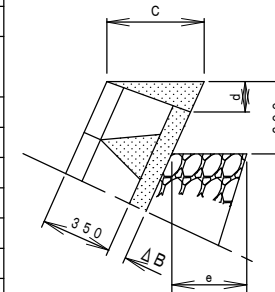
空積寸法表 (mm) f & H & I & n																		
設計番号	ブロック 段数 n	ブロック 法長 l	ブロック積高 H				裏込砂利下幅 f (礫質土)				裏込砂利下幅 f (砂質土)				裏込砂利下幅 f (粘性土)			
			N3	N4	N5	N6	N3	N4	N5	N6	N3	N4	N5	N6	N3	N4	N5	N6
BL-1-3-NOKA-H100-H110-O	3	1220	1100	1100	1000	1000	270	260	260	260	390	380	380	390	540	540	550	560
BL-1-3-NOKA-H120-H140-O	4	1500	1400	1300	1300	1200	310	310	300	310	440	430	440	450	600	600	610	630
BL-1-3-NOKA-H150-H170-O	5	1790	1700	1600	1600	1500	350	310	310	310	490	440	440	450	660	600	610	630
BL-1-3-NOKA-H170-H190-O	6	2070	1900	1900	1800	1700	350	350	350	360	490	490	490	510	660	670	680	700
BL-1-3-NOKA-H200-H220-O	7	2350	2200	2100	2100	2000	400	350	350	360	540	490	500	510	720	670	680	700
BL-1-3-NOKA-H220-H250-O	8	2640	2500	2400	2300	2200	400	390	400	400	540	540	550	560	730	730	750	770
BL-1-3-NOKA-H250-H280-O	9	2920	2800	2700	2600	2500	440	440	400	400	590	590	550	570	780	790	750	770
BL-1-3-NOKA-H270-H300-O	10	3200	3000	2900	2800	2700	410	440	440	450	560	600	610	620	750	790	800	830
BL-1-3-NOKA-H300-H330-O	11	3490	3300	3200	3100	3000	450	440	430	450	620	610	610	620	810	810	820	830

関連図番	K-20

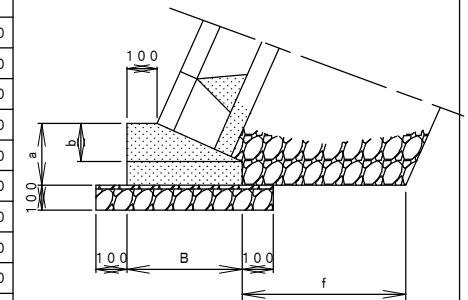
農業農村整備事業標準設計			1995. 6
工 種	擁 壁 工	区分	一 般
K-22	積ブロック工 (寸法表) 空 積		
設計番号	BL-1-N3KA-H100-F ~BL-3-N6KA-H330-N		

練積ブロック工

練 積 寸 法 表 (mm) a&b&c&d&e&B																	
裏コン厚		0 0cm				1 0cm				1 5cm				2 0cm			
法 勾 配		N 3	N 4	N 5	N 6	N 3	N 4	N 5	N 6	N 3	N 4	N 5	N 6	N 3	N 4	N 5	N 6
記 号																	
a	H≤3000	300	300	300	300	300	300	300	350	300	300	350	400	300	300	350	400
	H>3000	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400
b		100	140	170	210	130	180	220	270	150	200	250	300	160	220	270	330
C		370	380	390	410	470	480	500	520	520	540	560	580	570	590	610	640
d		100	130	160	180	130	170	200	230	140	190	220	260	160	200	250	280
e	礫 質 土	230	240	250	260	230	240	250	260	230	240	250	260	230	240	250	260
	砂 質 土	340	360	370	380	340	360	370	380	340	360	370	380	340	360	370	380
	粘 性 土	460	470	490	510	460	470	490	510	460	470	490	510	460	470	490	510
B		4 5 0				5 5 0				6 0 0				6 5 0			



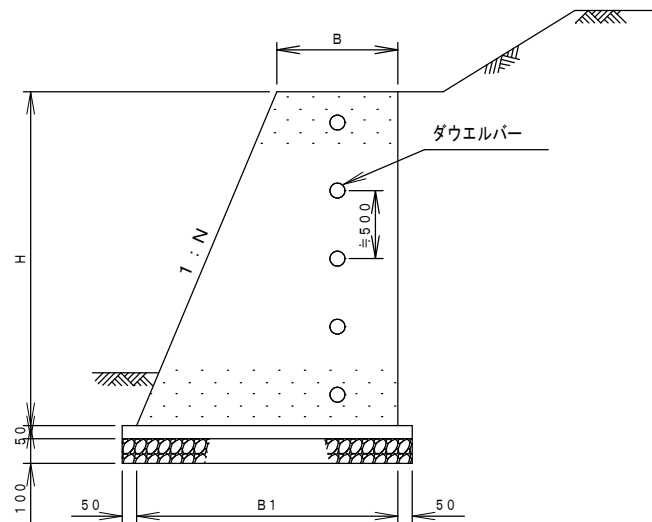
練積寸法表 (mm) f & H & l & n																			
設計番号		ブロック 段数 n	ブロック 法長 l	ブロック積高 H				裏込砂利下幅 f (礫質土)				裏込砂利下幅 f (砂質土)				裏込砂利下幅 f (粘性土)			
				N3	N4	N5	N6	N3	N4	N5	N6	N3	N4	N5	N6	N3	N4	N5	N6
BL-1-3-NONE-H100-H110-OO-O		3	1220	1100	1100	1000	1000	260	260	260	260	390	380	380	390	540	540	550	560
BL-1-3-NONE-H120-H140-OO-O		4	1500	1400	1300	1300	1200	310	310	300	310	440	430	440	450	600	600	610	630
BL-1-3-NONE-H150-H170-OO-O		5	1790	1700	1600	1600	1500	350	310	310	310	490	440	440	450	660	600	610	630
BL-1-3-NONE-H170-H190-OO-O		6	2070	1900	1900	1800	1700	350	350	350	360	490	490	490	510	660	670	680	700
BL-1-3-NONE-H200-H220-OO-O		7	2350	2200	2100	2100	2000	400	350	350	360	540	490	500	510	720	670	680	700
BL-1-3-NONE-H220-H250-OO-O		8	2640	2500	2400	2300	2200	400	390	400	400	540	540	550	560	730	730	750	770
BL-1-3-NONE-H250-H280-OO-O		9	2920	2800	2700	2600	2500	440	440	400	400	590	590	550	570	780	790	750	770
BL-1-3-NONE-H270-H300-OO-O		10	3200	3000	2900	2800	2700	410	440	440	450	560	600	610	620	750	790	800	830
BL-1-3-NONE-H300-H330-OO-O		11	3490	3300	3200	3100	3000	450	440	430	450	620	610	610	620	810	810	820	830
BL-1-3-NONE-H320-H360-OO-O		12	3770	3600	3500	3300	3200	490	440	440	440	670	610	610	620	870	810	820	840
BL-1-3-NONE-H340-H380-OO-O		13	4050	3800	3700	3600	3400	490	480	480	440	670	660	670	620	870	880	890	840
BL-1-3-NONE-H370-H410-OO-O		14	4330	4100	4000	3800	3700	530	480	480	480	720	660	670	680	930	880	890	910
BL-1-3-NONE-H390-H440-OO-O		15	4620	4400	4200	4100	3900	530	530	520	480	720	720	720	680	930	930	940	910
BL-1-3-NONE-H420-H470-OO-O		16	4900	4700	4500	4300	4200	580	530	520	530	770	720	720	740	990	930	950	970
BL-1-3-NONE-H440-H490-OO-O		17	5180	4900	4800	4600	4400	580	570	570	530	770	770	780	740	990	1000	1010	970
BL-1-3-NONE-H460-H520-OO-O		18	5470	5200	5000	4900	4600	620	570	570	580	820	770	780	800	1050	1000	1010	1040
BL-1-3-NONE-H490-H550-OO-O		19	5750	5500	5300	5100	4900	620	610	610	580	820	830	840	800	1050	1060	1080	1040



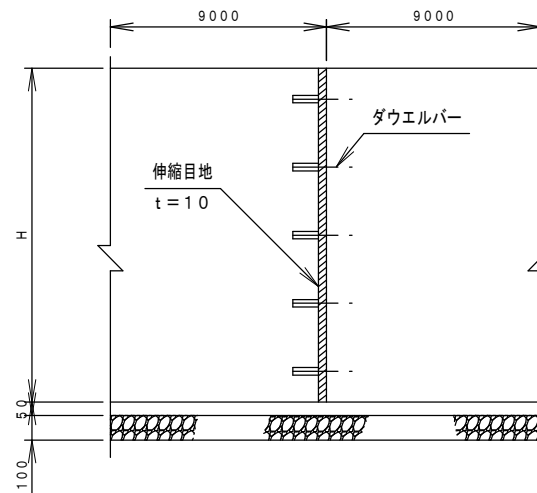
関連図番	K-21

農業農村整備事業標準設計			1995. 6
工種	擁壁工	区分	一般
K-22	積ブロック工 (寸法表) 練積		
設計番号	BL-1-N3NE-H100-00-F ~BL-3-N6NE-H550-20-N		

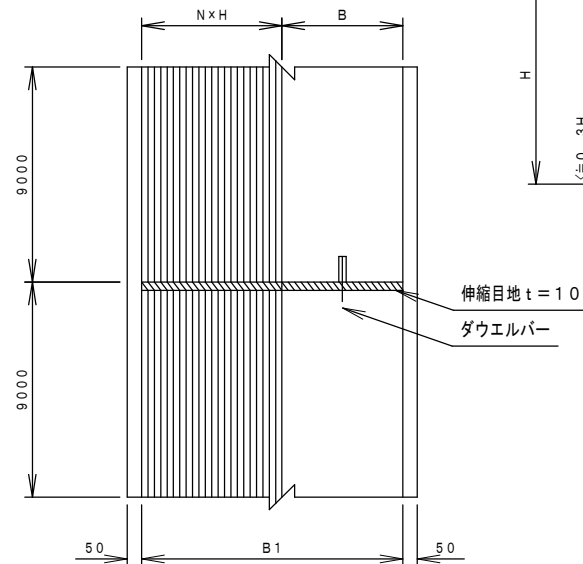
重力式擁壁工



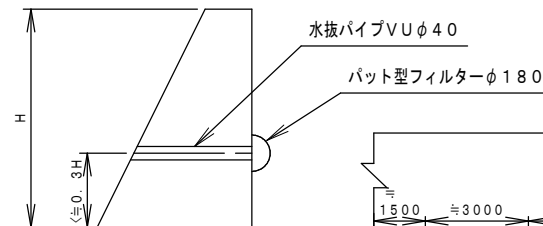
正面図



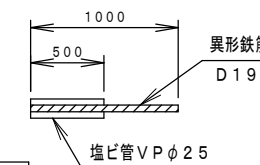
平面図



水抜孔詳細図



ダウエルバー詳細図



GYO-NOHOOB00-O

基礎砂利類の有無 有F・無N

擁壁上幅の略号

擁壁高の略号

擁壁法勾配の略号

重量式擁壁の略称

関連図番	

注意事項

- 設置位置の詳細、施工標高及び端部処理は監督職員の指示による。
- 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
- コンクリートの仕様

種別	σ_{28}	SL	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18N/mm ²	8±2.5	4.0mm	

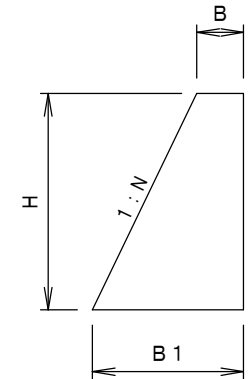
コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
- 伸縮目地は標準として、1スパンを=9.0mとし伸縮目地材はエラスチックフィラー（t=10mm）を使用する。但し、スパン割の結果9.0mに満たない端数が生ずる場合は監督職員の指示による。
- ダウエルバーの設置間隔は≒50cmピッチを標準とし、設置位置は監督職員の指示による。
- 水抜きパイプは、塩ビ管VUφ40mmを使用する。湧水のある場所等については監督職員の指示による。
- 水抜きパイプの塩ビ管は、壁面に沿って切りそろえること。
- 出来形管理は、断面と施工延長とする。
- 設計変更は、規格毎の施工延長の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計		2015. 4	
工種	擁壁工	区分	一般
K-23	重力式擁壁工		
設計番号	GYO-N5H100B15-F ~GYO-N5H300B60-N		

重力式擁壁工寸法表

壁高	タイプ	設計番号	寸法表 (mm)			
			N	H	B	B1
1.0	1	GYO-N5H100B15-O	0.5	1000	150	650
	2	GYO-N5H100B25-O	0.5	1000	250	750
	3	GYO-N5H100B35-O	0.5	1000	350	850
	4	GYO-N5H100B45-O	0.5	1000	450	950
	5	GYO-N5H100B55-O	0.5	1000	550	1050
1.2	1	GYO-N5H120B15-O	0.5	1200	150	750
	2	GYO-N5H120B25-O	0.5	1200	250	850
	3	GYO-N5H120B35-O	0.5	1200	350	950
	4	GYO-N5H120B45-O	0.5	1200	450	1050
	5	GYO-N5H120B55-O	0.5	1200	550	1150
1.4	1	GYO-N5H140B15-O	0.5	1400	150	850
	2	GYO-N5H140B25-O	0.5	1400	250	950
	3	GYO-N5H140B35-O	0.5	1400	350	1050
	4	GYO-N5H140B45-O	0.5	1400	450	1150
	5	GYO-N5H140B55-O	0.5	1400	550	1250
1.6	1	GYO-N5H160B15-O	0.5	1600	150	950
	2	GYO-N5H160B25-O	0.5	1600	250	1050
	3	GYO-N5H160B35-O	0.5	1600	350	1150
	4	GYO-N5H160B45-O	0.5	1600	450	1250
	5	GYO-N5H160B55-O	0.5	1600	550	1350
1.8	1	GYO-N5H180B15-O	0.5	1800	150	1050
	2	GYO-N5H180B25-O	0.5	1800	250	1150
	3	GYO-N5H180B35-O	0.5	1800	350	1250
	4	GYO-N5H180B45-O	0.5	1800	450	1350
	5	GYO-N5H180B55-O	0.5	1800	550	1450
2.0	1	GYO-N5H200B15-O	0.5	2000	150	1150
	2	GYO-N5H200B25-O	0.5	2000	250	1250
	3	GYO-N5H200B35-O	0.5	2000	350	1350
	4	GYO-N5H200B45-O	0.5	2000	450	1450
	5	GYO-N5H200B55-O	0.5	2000	550	1550

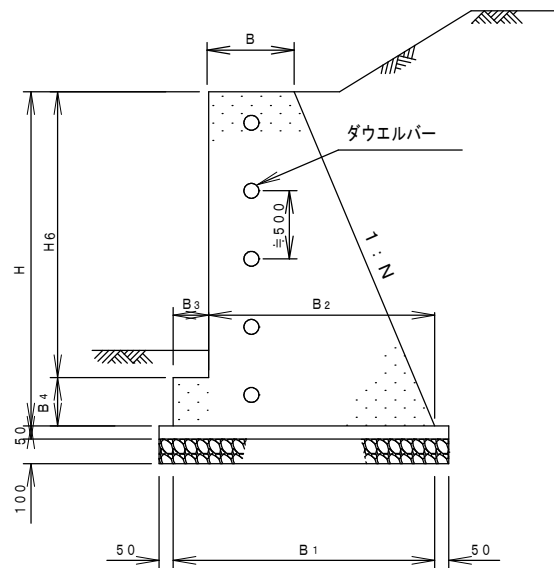
壁高	タイプ	設計番号	寸法表 (mm)			
			N	H	B	B1
2.2	1	GYO-N5H220B20-O	0.5	2200	200	1300
	2	GYO-N5H220B30-O	0.5	2200	300	1400
	3	GYO-N5H220B40-O	0.5	2200	400	1500
	4	GYO-N5H220B50-O	0.5	2200	500	1600
	5	GYO-N5H220B60-O	0.5	2200	600	1700
2.4	1	GYO-N5H240B20-O	0.5	2400	200	1400
	2	GYO-N5H240B30-O	0.5	2400	300	1500
	3	GYO-N5H240B40-O	0.5	2400	400	1600
	4	GYO-N5H240B50-O	0.5	2400	500	1700
	5	GYO-N5H240B60-O	0.5	2400	600	1800
2.6	1	GYO-N5H260B20-O	0.5	2600	200	1500
	2	GYO-N5H260B30-O	0.5	2600	300	1600
	3	GYO-N5H260B40-O	0.5	2600	400	1700
	4	GYO-N5H260B50-O	0.5	2600	500	1800
	5	GYO-N5H260B60-O	0.5	2600	600	1900
2.8	1	GYO-N5H280B20-O	0.5	2800	200	1600
	2	GYO-N5H280B30-O	0.5	2800	300	1700
	3	GYO-N5H280B40-O	0.5	2800	400	1800
	4	GYO-N5H280B50-O	0.5	2800	500	1900
	5	GYO-N5H280B60-O	0.5	2800	600	2000
3.0	1	GYO-N5H300B20-O	0.5	3000	200	1700
	2	GYO-N5H300B30-O	0.5	3000	300	1800
	3	GYO-N5H300B40-O	0.5	3000	400	1900
	4	GYO-N5H300B50-O	0.5	3000	500	2000
	5	GYO-N5H300B60-O	0.5	3000	600	2100



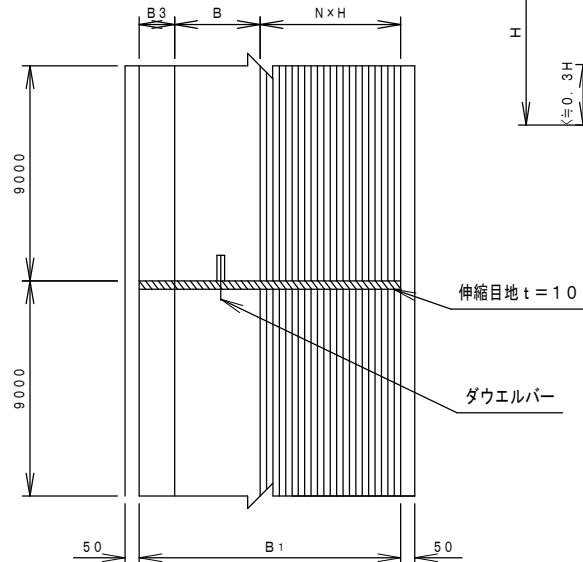
農業農村整備事業標準設計			1994. 3
工 種	擁 壁 工	区分	一 般
K-24	重 力 式 擁 壁 工		
設計番号	GYO-N5H100B15-F ~GYO-N5H300B60-N		

関連 図 番	K-23

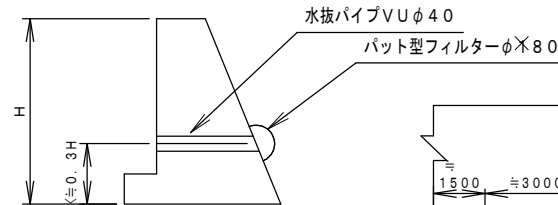
重力式擁壁工（前面直）



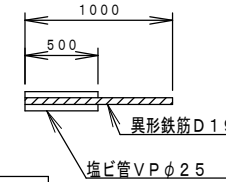
平面図



水抜き孔詳細図



ダウエルバー詳細図



VGYO-NO-HOOO-BOO-O

基礎砂利類の有無 F・無 N

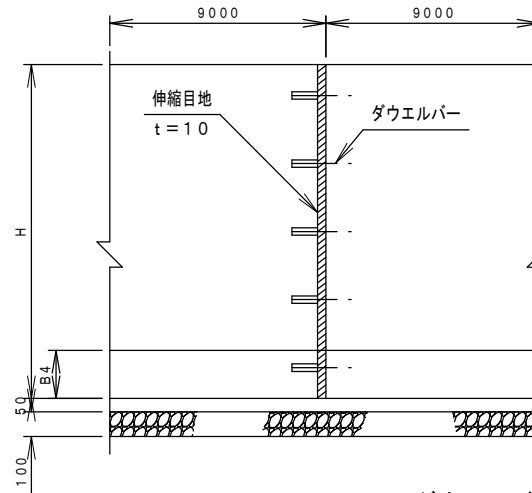
擁壁上幅の略号

擁壁高の略号

擁壁法勾配の略号

重力式擁壁の略称

正面図



注意事項

1. 設置位置の詳細、施工標高及び端部処理は監督職員の指示による。
2. 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
3. コンクリートの仕様

種別	σ28	SL	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5 cm	40 mm	

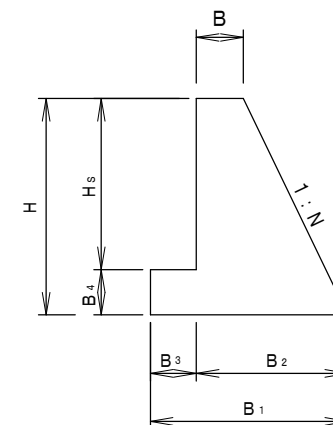
コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
4. 伸縮目地は標準として、1 スパンを 9.0 m とし伸縮目地材はエラスチックファイラー (t = 1.0 mm) を使用する。但し、スパン割の結果 9.0 m に満たない端数が生ずる場合の指示による。
5. ダウエルバーの設置間隔は 500 mm ピッチを標準とし、設置位置は監督職員の指示による。
6. 水抜きパイプは、塩ビ管 VUφ40 mm を使用する。湧水のある場所等については、監督職員の指示による。
7. 水抜きパイプの塩ビ管は、壁面に沿って切りそろえること。
8. 出来形管理は、断面と施工延長とする。
9. 設計変更は、規格毎の施工延長の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工種	擁壁工	区分	一般
K-25	重力式擁壁工（前面直）		
設計番号	VGYO-N5H100B15-F ~VGYO-N5H200B55-N		

関連図番	

重力式擁壁工（前面直）寸法表

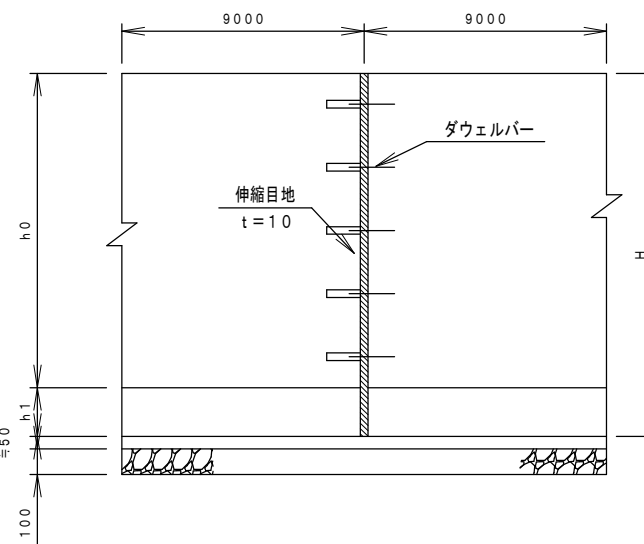
壁高	タイプ	設計番号	寸 法 表 (mm)							
			N	H	H _s	B	B ₁	B ₂	B ₃	B ₄
1. 0	1	VGYO-N5H100B15-O	0. 5	1000	850	150	750	650	100	150
	2	VGYO-N5H100B25-O	0. 5	1000	850	250	850	750	100	150
	3	VGYO-N5H100B35-O	0. 5	1000	850	350	950	850	100	150
	4	VGYO-N5H100B45-O	0. 5	1000	850	450	1050	950	100	150
	5	VGYO-N5H100B55-O	0. 5	1000	850	550	1150	1050	100	150
1. 2	1	VGYO-N5H120B15-O	0. 5	1200	1000	150	900	750	150	200
	2	VGYO-N5H120B25-O	0. 5	1200	1000	250	1000	850	150	200
	3	VGYO-N5H120B35-O	0. 5	1200	1000	350	1100	950	150	200
	4	VGYO-N5H120B45-O	0. 5	1200	1000	450	1200	1050	150	200
	5	VGYO-N5H120B55-O	0. 5	1200	1000	550	1300	1150	150	200
1. 4	1	VGYO-N5H140B15-O	0. 5	1400	1200	150	1000	850	150	200
	2	VGYO-N5H140B25-O	0. 5	1400	1200	250	1100	950	150	200
	3	VGYO-N5H140B35-O	0. 5	1400	1200	350	1200	1050	150	200
	4	VGYO-N5H140B45-O	0. 5	1400	1200	450	1300	1150	150	200
	5	VGYO-N5H140B55-O	0. 5	1400	1200	550	1400	1250	150	200
1. 6	1	VGYO-N5H160B15-O	0. 5	1600	1350	150	1150	950	200	250
	2	VGYO-N5H160B25-O	0. 5	1600	1350	250	1250	1050	200	250
	3	VGYO-N5H160B35-O	0. 5	1600	1350	350	1350	1150	200	250
	4	VGYO-N5H160B45-O	0. 5	1600	1350	450	1450	1250	200	250
	5	VGYO-N5H160B55-O	0. 5	1600	1350	550	1550	1350	200	250
1. 8	1	VGYO-N5H180B15-O	0. 5	1800	1500	150	1250	1050	200	300
	2	VGYO-N5H180B25-O	0. 5	1800	1500	250	1350	1150	200	300
	3	VGYO-N5H180B35-O	0. 5	1800	1500	350	1450	1250	200	300
	4	VGYO-N5H180B45-O	0. 5	1800	1500	450	1550	1350	200	300
	5	VGYO-N5H180B55-O	0. 5	1800	1500	550	1650	1450	200	300
2. 0	1	VGYO-N5H200B15-O	0. 5	2000	1700	150	1350	1150	200	300
	2	VGYO-N5H200B25-O	0. 5	2000	1700	250	1450	1250	200	300
	3	VGYO-N5H200B35-O	0. 5	2000	1700	350	1550	1350	200	300
	4	VGYO-N5H200B45-O	0. 5	2000	1700	450	1650	1450	200	300
	5	VGYO-N5H200B55-O	0. 5	2000	1700	550	1750	1550	200	300



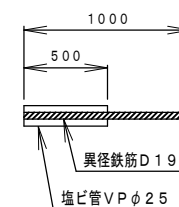
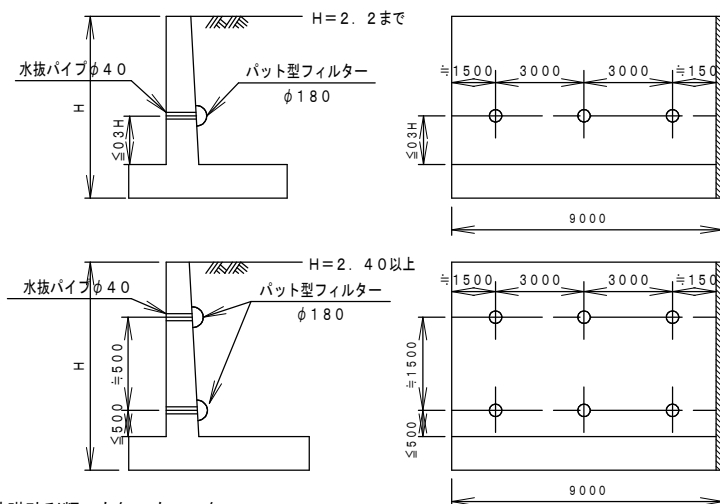
農業農村整備事業標準設計			1994. 3
工 種	擁 壁 工	区分	一 般
K-26	重力式擁壁工（前面直）		
設計番号	VGYO-N5H100B15-F ~VGYO-N5H200B55-N		

関連図番	K-25

正 面 图



ダウエルバー詳細図



逆T式擁壁の略号

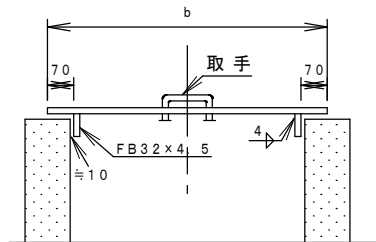
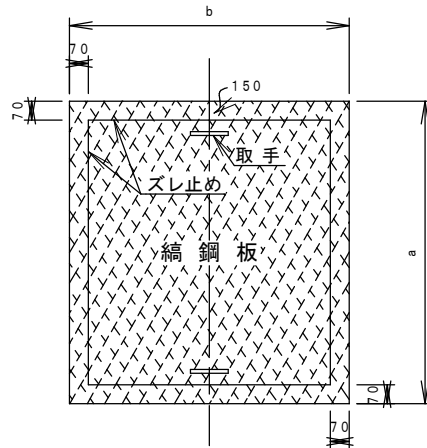
1. 設置位置の詳細、施工標高および端部処理は監督職員の指示による。
 2. 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
 3. コンクリートの仕様
- | 種 別 | σ 28 | SL | Gmax | セメントの種類 |
|----------|----------------------|------------------------|------------------|---------|
| 鉄筋コンクリート | 21 N/mm ² | 12 ± 2.5 ^{cm} | 25 ^{mm} | |
- コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
4. 伸縮継目は標準として、1 スパンを 9.0 m とし伸縮目地材はエラストックファイラー (t = 10 mm) を使用する。但し、スパン割の結果 9.0 m に満たない端数が生ずる場合は監督職員の指示による。
 5. ダウエルバーの設置間隔は ≒ 50 cm ピッチを標準とし、設置位置は監督職員の指示による。
 6. 水抜きパイプは、塩ビ管 V U φ 40 mm を使用する。但し、湧水のある場所等については監督職員の指示による。
 7. 水抜きパイプの塩ビ管は、壁面に沿って切りそろえること。
 8. 出来形管理は、断面と施工延長とする
 9. 設計変更は、規格毎の施工延長の増減により行う。

縞鋼板（角型）

角型全面

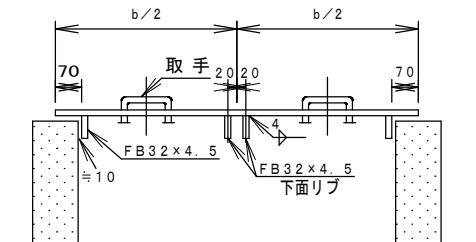
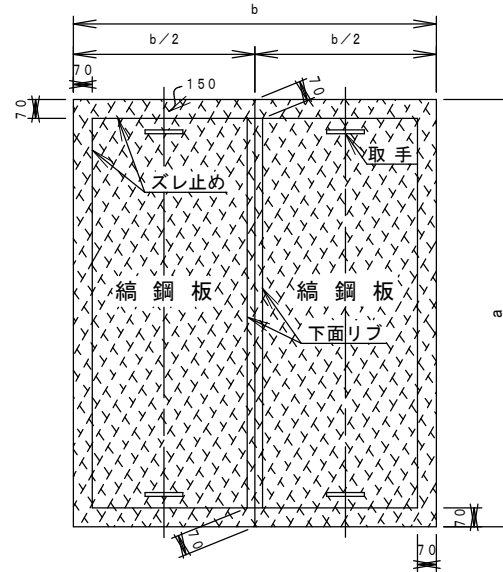
SG23-S1

SG32-S1

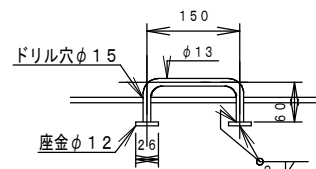


角型半面

SG45-S2



取手詳細図



関連図番

注意事項

- この標準図は、鋼製蓋板の材料と加工方法を示したもので形式、寸法は、蓋板を使用する設計図から読みとること。
- 取手の位置は図を標準とするが必要に応じて位置を変えることができる。
- 蓋板に使用する材料の規格。

材 料 名	規 格
縞 鋼 板	JISG-3101 SS400
平鋼（FB）	JISG-3194 SS400
座金	JISB-1186 摩擦接合用高力座金
取手	JISG-3112 SR235
- 素地調整区分は3種ケレンとする。
- 塗装は、亜鉛メッキ（地肌）とし、仕様は、標準設計図仕様書 4. 塗装による。
但し、鋼製蓋板（縞鋼板）の板厚 3.2mm 以下は塗装の工程で歪が出るので、3種ケレン、塗装は錆止塗料 2 回塗布とする。
- 出来形管理は、規格、寸法とする。
- 設計変更は蓋板面積の増減と規格の変更により行う。

SG00-SO

型区分 全面1・半面2

縞鋼板厚区分
t 23-23
t 32-32
t 45-45

縞鋼板の略号

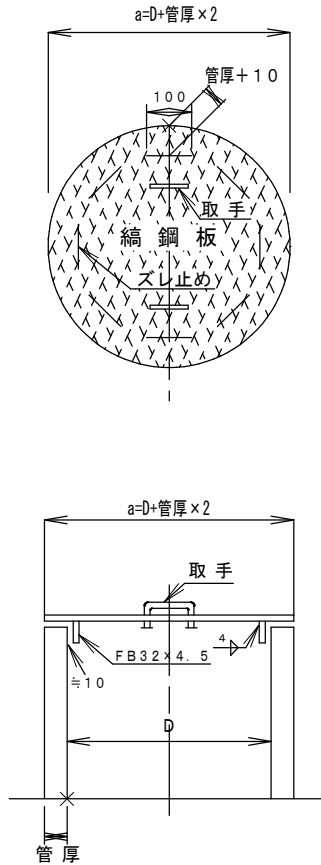
農業農村整備事業標準設計			1986. 3
工 種	鉄鋼小構造物	区分	一 般
K-40	鋼製蓋板 縞鋼板（角型）		
設計番号	SG23-S1～SG45-S2		

縞鋼板（丸型）

丸型全面

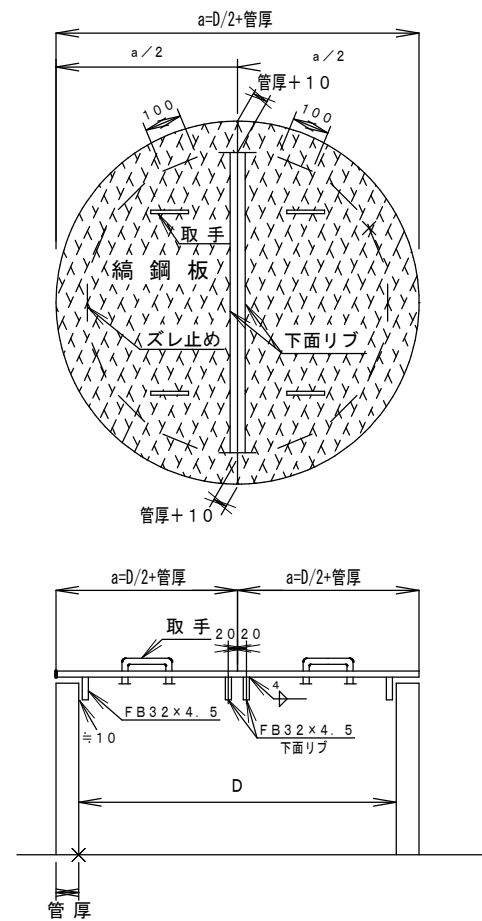
SG23-R1

SG32-R1



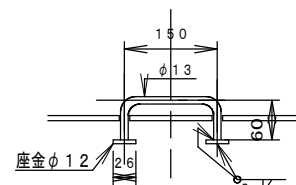
丸型半面

SG45-R2



D : 管内径
a : 管外径

取手詳細図



関連
図番

SGOO-RO

型区分 全面1・半面2

縞鋼板厚区分
t23-23
t32-32
t45-45

縞鋼板の略号

注意事項

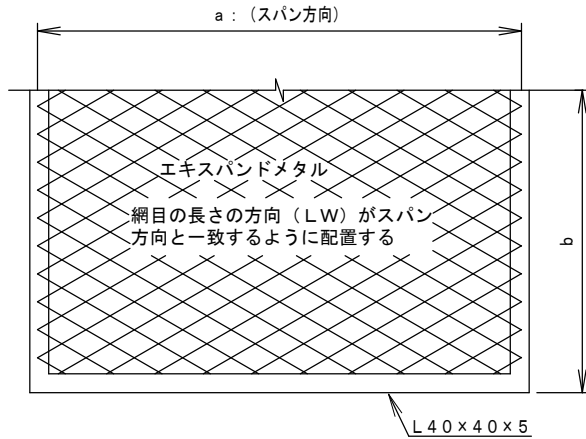
- この標準図は、鋼製蓋板の材料と加工方法を示したもので形式、寸法は、蓋板を使用する設計図から読みとること。
- 取手の位置は図を標準とするが必要に応じて位置を変えることができる。
- 蓋板に使用する材料の規格。

材 料 名	規 格
縞 鋼 板	JISG-3101 SS400
平鋼 (FB)	JISG-3194 SS400
座金	JISB-1186 摩擦接合用高力座金
取手	JISG-3112 SR235
- 素地調整区分は3種ケレンとする。
- 塗装は、亜鉛メッキ（地肌）とし、仕様は、標準設計図仕様書 4. 塗装による。
但し、鋼製蓋板（縞鋼板）の板厚3.2mm以下は塗装の工程で歪が出るので、3種ケレン、塗装は錆止塗料2回塗布とする。
- 出来形管理は、規格、寸法とする。
- 設計変更は蓋板面積の増減と規格の変更により行う。

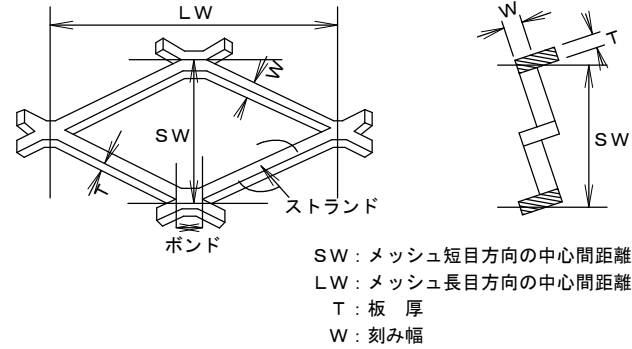
農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	鉄鋼小構造物	区分	一 般
K-41	鋼製蓋板 縞鋼板（丸型）		
設計番号	SG23-R1～SG45-R2		

エキスパンドメタル

平面図



エキスパンドメタル各部の名称

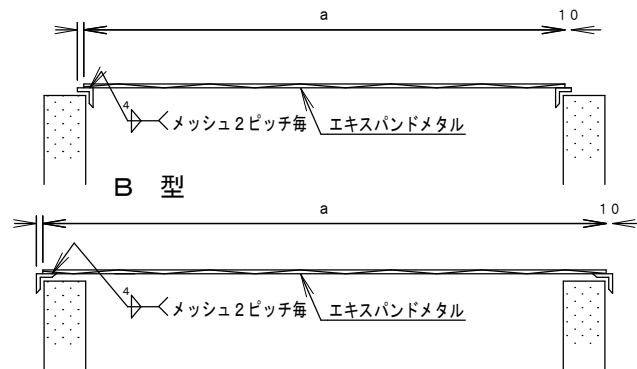


注意事項

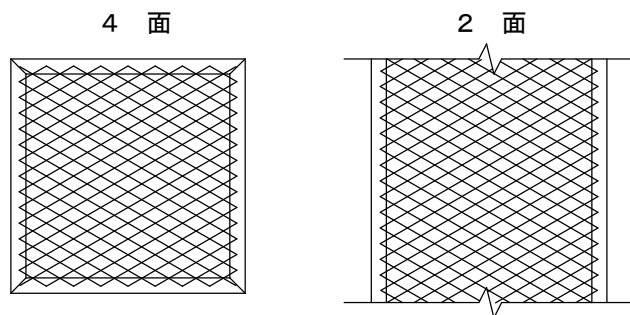
- この標準図は、鋼製蓋板の材料と加工方法を示したもので形状、寸法は、蓋板を使用する設計図から読みとること。
- 欠口が生じた場合、その周囲は同一の形鋼で補強すること。
- 蓋板に使用する材料の規格。

材 料 名	規 格
エキスパンドメタル	JISG-3351
等辺山形鋼	JISG-3192 SS400
- 素地調整区分は3種ケレンとする。
- 塗装は、亜鉛メッキ（地肌）とし、仕様は、標準設計図仕様書 4. 塗装による。
- 出来形管理は、規格、寸法とする。
- 設計変更は蓋板面積の増減と規格の変更により行う。

アングル区分

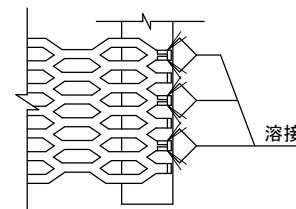


面 区 分



設計番号	メッシュ寸法 (mm)		ストランド寸法 (mm)	
	SW	LW	T	W
XG21-O-O	36	101.6	4.5	7.0
XG22-O-O	36	101.6	6.0	7.0
XG23-O-O	36	101.6	6.0	9.0
XG24-O-O	36	101.6	6.0	9.0

溶接詳細図



XG00-O-O

アングル区分

面区分4面・2面2

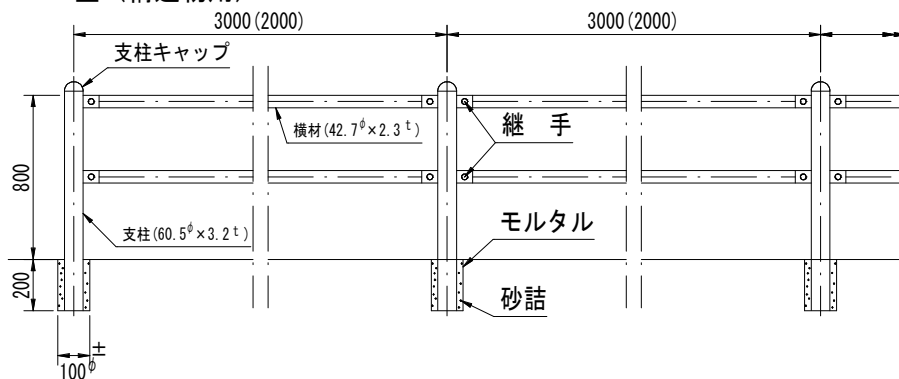
エキスパンドメタルの略称
(JIS 呼称)

関連図番	

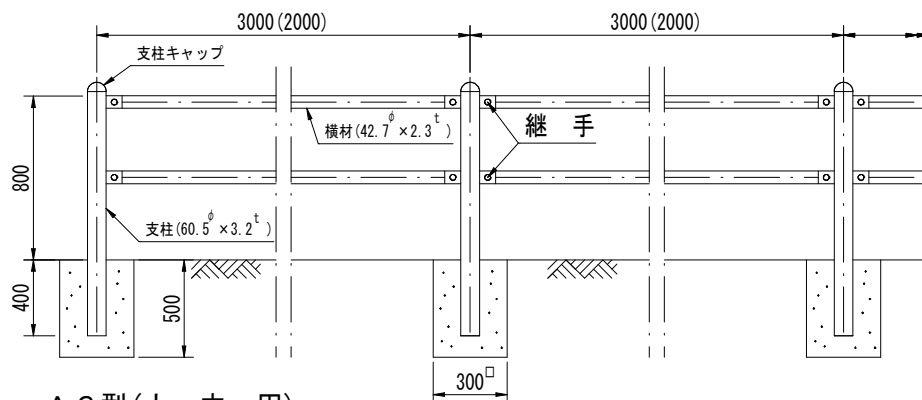
農業農村整備事業標準設計			1980. 3
工 種	鉄鋼小構造物	区分	一 般
K-42	鋼製蓋板 エキスパンドメタル		
設計番号	XG21-4-A~XG24-2-B		

手 摺 A 型

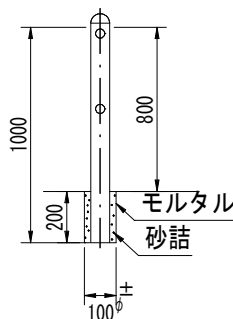
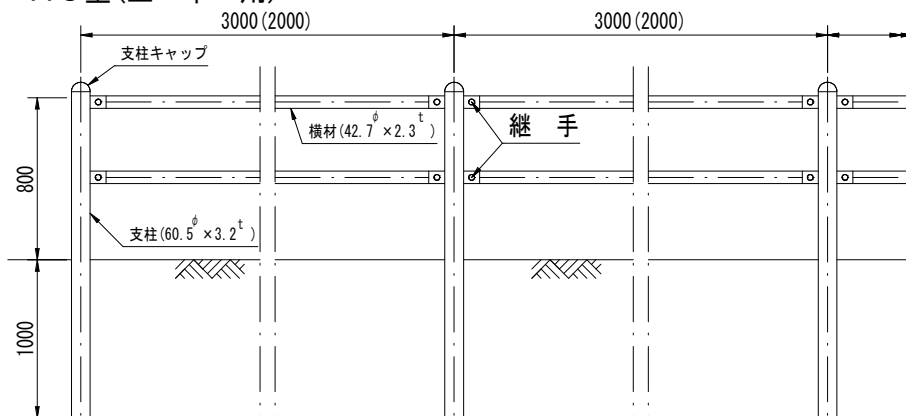
A 1 型（構造物用）



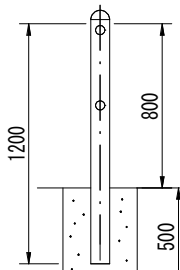
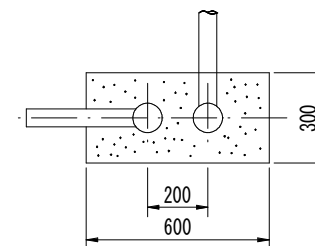
A 2 型（アンカー建込用）



A 3 型（土 中 用）



曲部の施工



テスリーAO-LOO

長さの略号 3000-30
2000-20

A 型の略号

手摺の略称

注 意 事 項

1. 手摺に使われる原管はJISG-3444「一般構造用炭素鋼管」STK400を使用する。
2. 塗装は、下地亜鉛メッキ処理＋静電粉体塗装とし、仕様は、標準設計図仕様書 4. 塗装による。
3. ビームパイプの上下間隔及び継手方式は承認を得ること。
4. コンクリート仕様

種 別	σ28	S L	Gmax	セメントの 種類
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5 cm	40 mm	

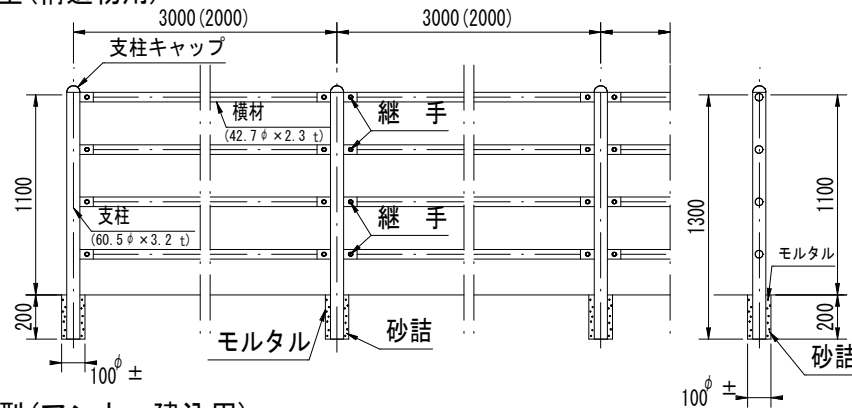
コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
5. 出来形管理は、各寸法と延長とする。
6. 設計変更は、規格毎の延長の増減により行なう。
7. A 3 型（土中用）については、必要に応じて根巻きコンクリート（D-21）の設置を検討すること。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	鉄鋼小構造物	区 分	一 般
K - 43	手 摺 A 型		
設計番号	テスリーA1-L30 ～ テスリーA3-L20		

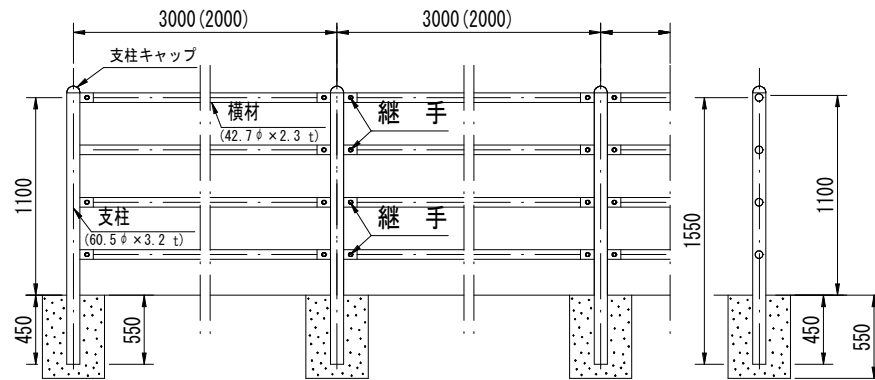
関	
連	
図	
番	

手 摺 B 型

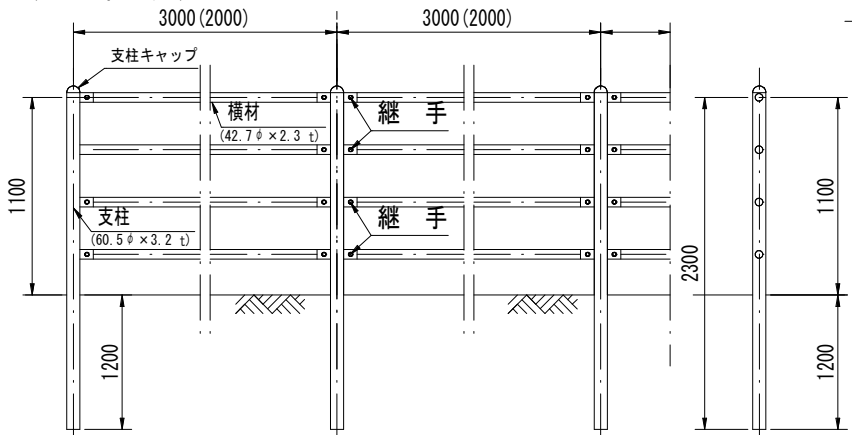
B 1 型 (構造物用)



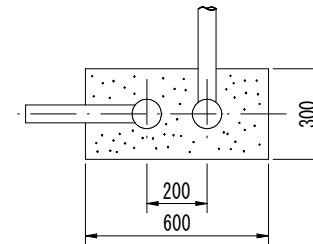
B 2 型 (アンカー建込用)



B 3 型 (土 中 用)



曲部の施工



テスリー B O - L O O

長さの略号 3000-30
2000-20

B 型の略号

手摺の略称

注 意 事 項

1. 手摺に使われる原管はJISG-3444「一般構造用炭素鋼管」STK400を使用する。
2. 塗装は、下地亜鉛メッキ処理＋静電粉体塗装とし、仕様は、標準設計図仕様書 4. 塗装による。
3. ビームパイプの上下間隔及び継手方式は承認を得ること。
4. コンクリート仕様

種 別	σ_{28}	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm^2	8 ± 2.5 cm	40 mm	

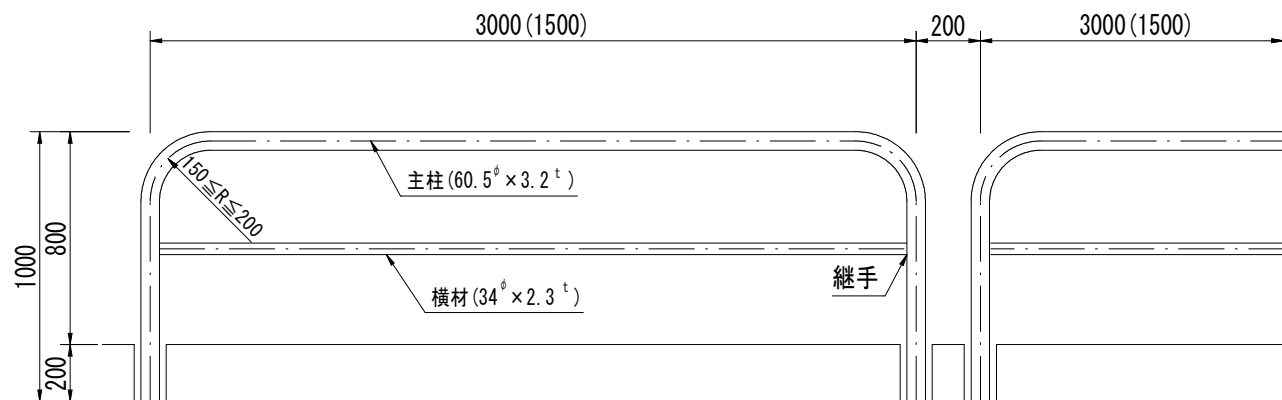
コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
5. 出来形管理は、各寸法と延長とする。
6. 設計変更は、規格毎の延長の増減により行なう。
7. B 3 型 (土中用) については、必要に応じて根巻きコンクリート (D-2 1) の設置を検討すること。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	鉄鋼小構造物	区 分	一 般
K - 44	手 摺 B 型		
設計番号	テスリー-B1-L30 ~ テスリー-B3-L20		

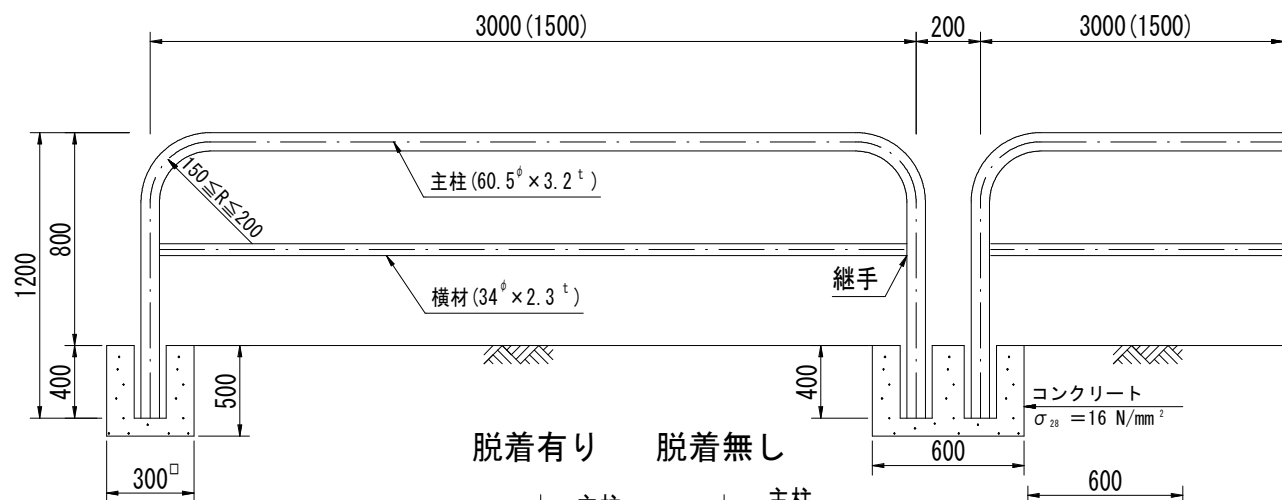
関	
連	
図	
番	

手 摺 C 型

C 1 型 (構造物用)



C 2 型 (アンカー建込用)



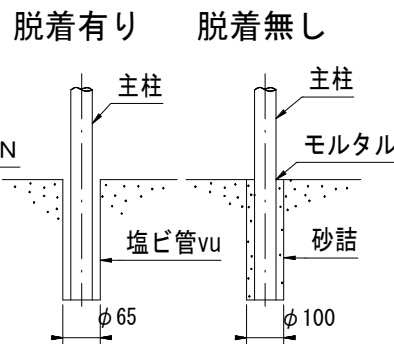
テスリー C O - L O O - O

脱着の有無 有 F 無 N

長さの略号 3000-30
1500-15

C型の略号

手摺の略称



関	
連	
図	
番	

注 意 事 項

1. 手摺に使われる原管はJISG-3444「一般構造用炭素鋼管」STK400を使用する。
2. 塗装は、下地亜鉛メッキ処理＋静電粉体塗装とし、仕様は、標準設計図仕様書 4. 塗装による。
3. ビームパイプの上下間隔及び継手方式は承認を得ること。
4. コンクリート仕様

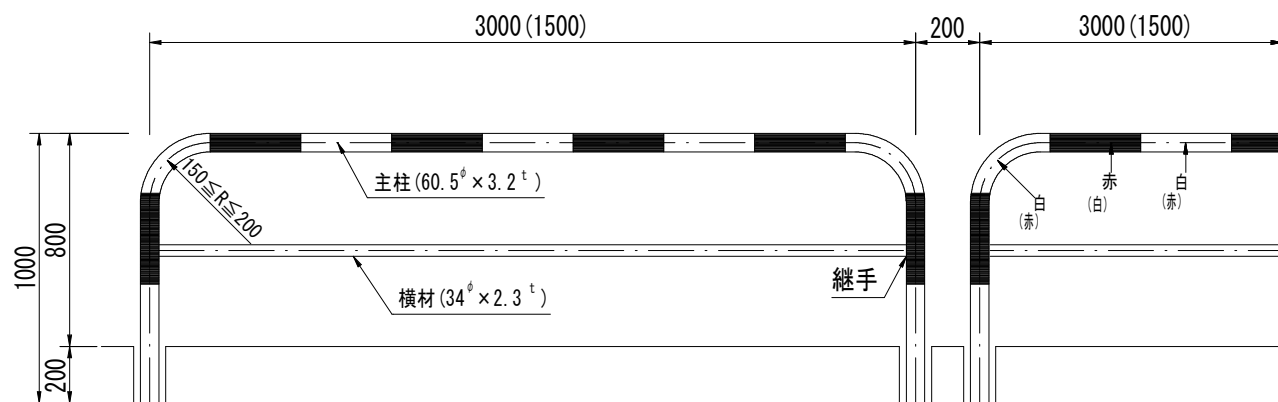
種 別	σ28	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 $\frac{N}{mm^2}$	8 ± 2.5 $\frac{cm}{mm}$	40 $\frac{mm}{mm}$	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
5. 出来形管理は、各寸法と延長とする。
6. 設計変更は、規格毎の延長の増減により行なう。

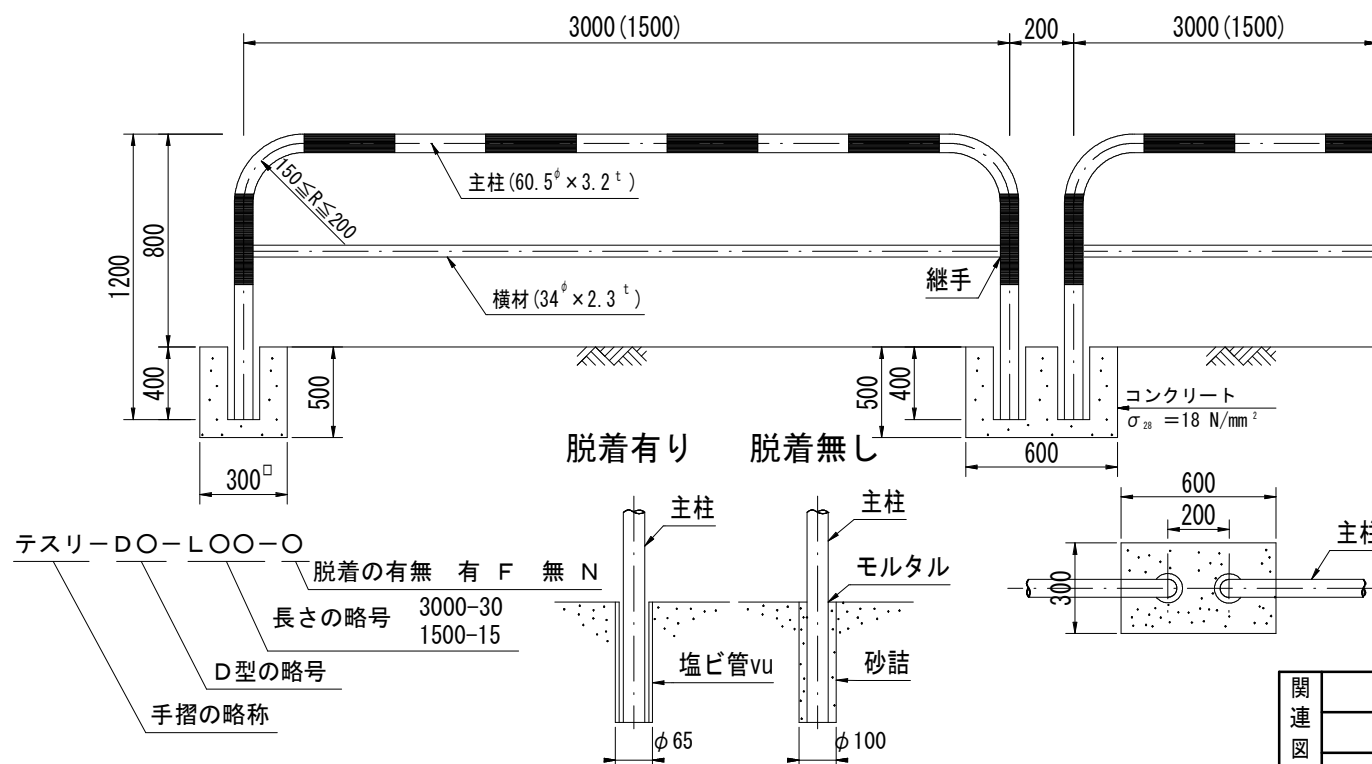
農業農村整備事業標準設計		2015. 4	
工 種	鉄鋼小構造物	区 分	一 般
K - 45	手 摺 C 型		
設計番号	テスリーC1-L30-F~ テスリーC2-L15-N		

手 摺 D 型

D 1 型 (構造物用)



D 2 型 (アンカー建込用)



注 意 事 項

1. 手摺に使われる原管はJISG-3444「一般構造物用炭素鋼管」STK400を使用する。
2. 塗装は、下地亜鉛メッキ処理＋静電粉体塗装とし、仕様は、標準設計図仕様書 4. 塗装による。
3. ビームパイプの上下間隔及び継手方式は承認を得ること。
4. コンクリート仕様

種 別	σ28	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm²	8 ± 2.5 cm	40 mm	

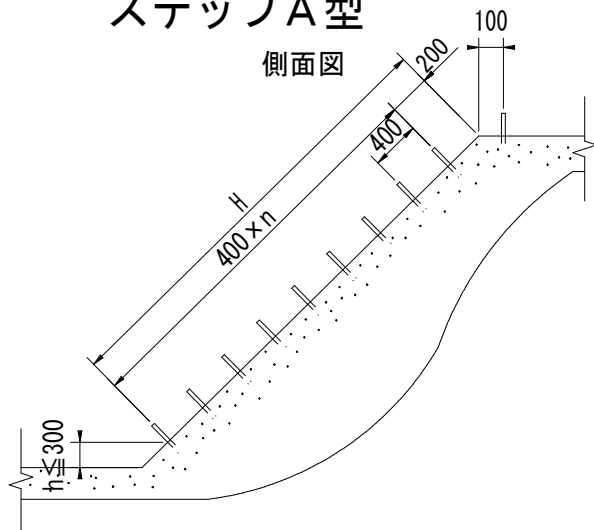
コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
5. 出来形管理は、各寸法と延長とする。
6. 設計変更は、規格毎の延長の増減により行なう。

農業農村整備事業標準設計		2015. 4	
工 種	鉄鋼小構造物	区 分	一 般
K - 46	手 摺 D 型		
設計番号	テスリーD1-L30-F～ テスリーD2-L15-N		

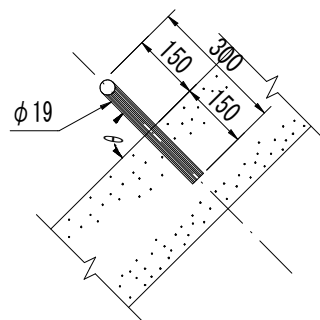
関	
連	
図	
番	

ステップA型

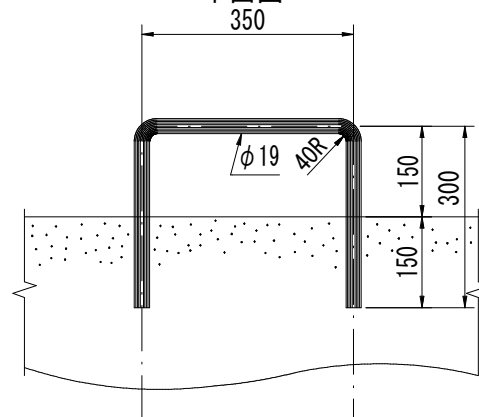
側面図



断面図

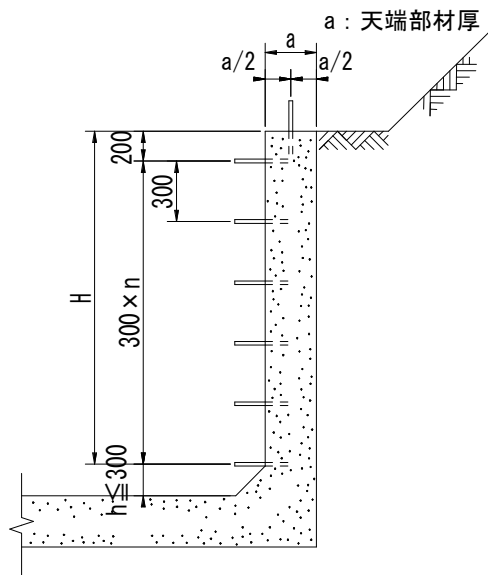


平面図

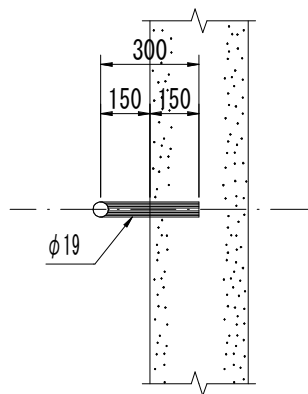


ステップB型

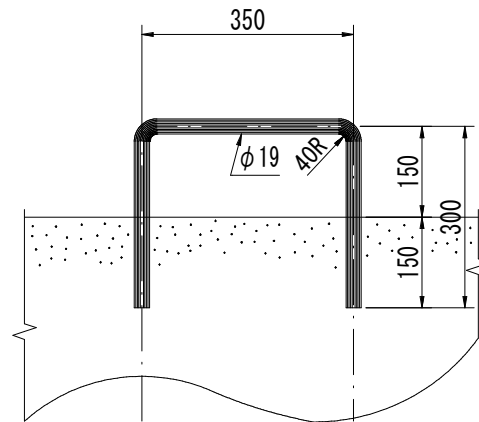
側面図



断面図



平面図



ステップO-H〇〇.〇

高さ及び長さの略号 (m)

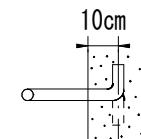
区分、A型・A、B型・B

ステップの略称

関連図番	

注意事項

1. ステップの材料はJISC-3112、SR235を使用する。
2. 塗装は、亜鉛メッキ（地肌）とし、仕様は、標準設計図仕様書 4. 塗装による。
3. ステップの取付位置は、取付をする構造物の設計図による。
4. 壁厚20cm未満の場合、ステップの差し込み部分は上（下）方向に曲げ加工する。



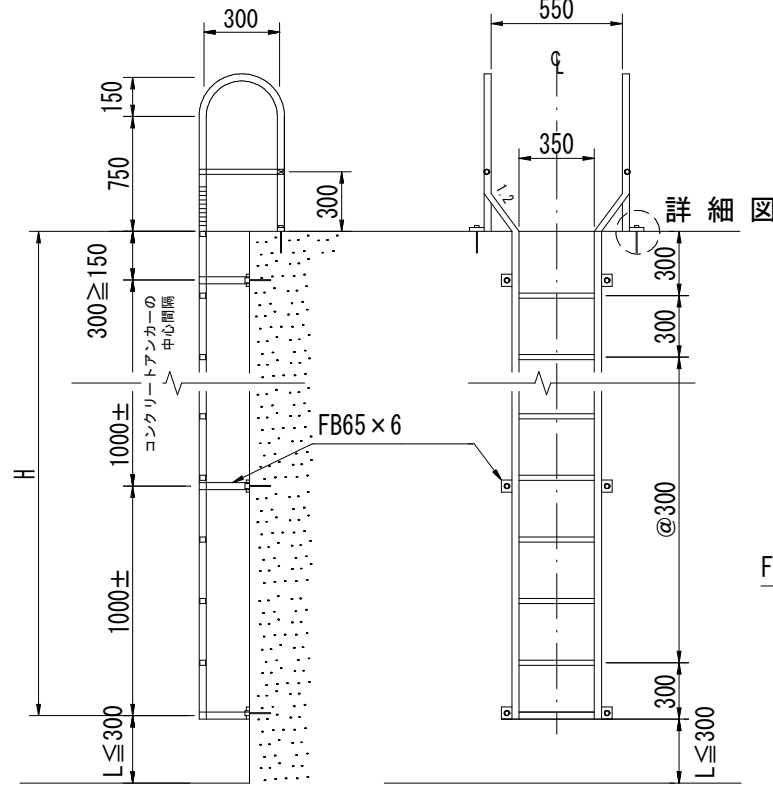
5. 取付角θは監督職員の指示による。
6. 出来形管理は、各寸法と延長とする。
7. 設計変更は、延長の増減による。

農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	鉄鋼小構造物	区 分	一 般
K - 47	ステップA型・B型		
設計番号	ステップA-H〇〇.〇～ステップB-H〇〇〇		

梯子

側面図

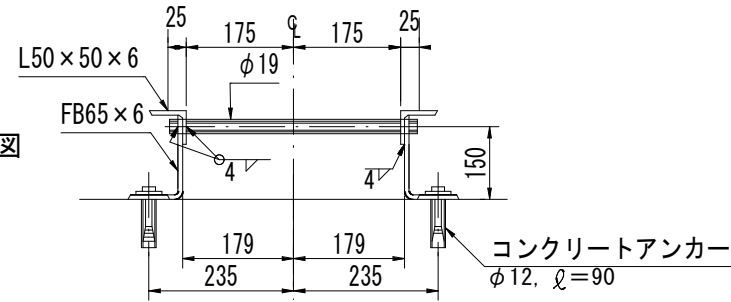
正面図



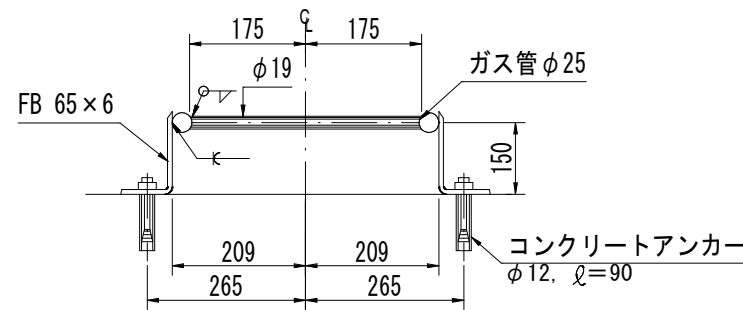
詳細図

詳細図

ハシゴA型

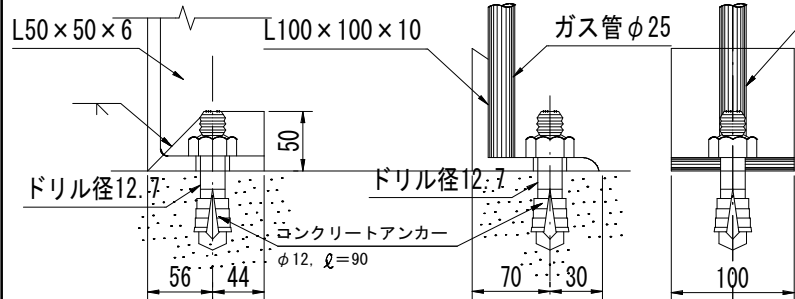


ハシゴB型



A 型

B 型



ハシゴ

〇ーH〇〇.〇

高さの略号 (m)

区分 A型A・B型B

梯子の略称

注意事項

1. 梯子の取付位置は取付をする構造物の設計図による。
2. 梯子に使用する材料の規格。
3. 素地調整区分は2種ケレンとする。
4. 塗装は、亜鉛メッキ（地肌）とし、仕様は、標準設計図仕様書 4. 塗装による。
5. コンクリートアンカーの打ち込みはコンクリートが十分硬化してから行う。
6. 出来形管理は、各寸法と延長とする。
7. 設計変更は、延長の増減により行う。

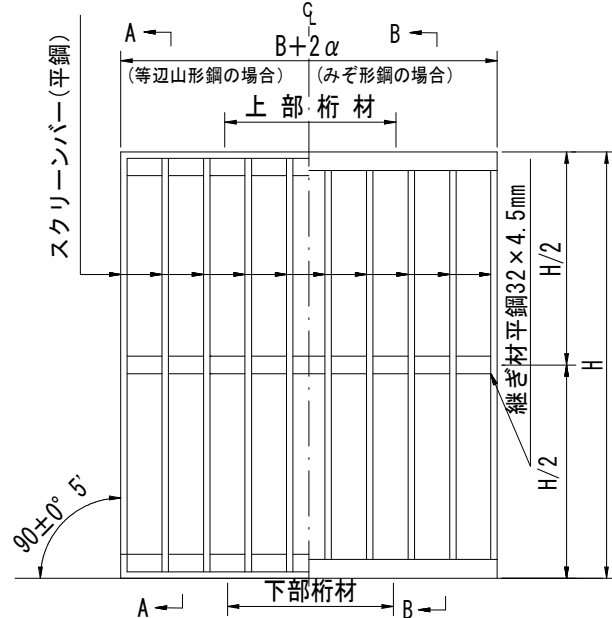
図面の表示	材 料 名	規 格
ガス管φ25	配管用炭素鋼鋼管	JISG-3452 (SGP) 34.0×3.2
L50×50×6	等 辺 山 形 鋼	JISG-3192 SS400
FB65×6	平 鋼 (FB)	JISG-3194 SS400
φ 19	普 通 丸 鋼	JISG-3112 SR235
L100×100×10	等 辺 山 形 鋼	JISG-3192 SS400
コンクリートアンカー		φ12 L=90mm

農業農村整備事業標準設計	1980. 3
工 種	鉄鋼小構造物 区 分 一 般
K - 48	梯 子 A 型 ・ B 型
設計番号	ハシゴA-H〇〇.〇 〇〇.〇

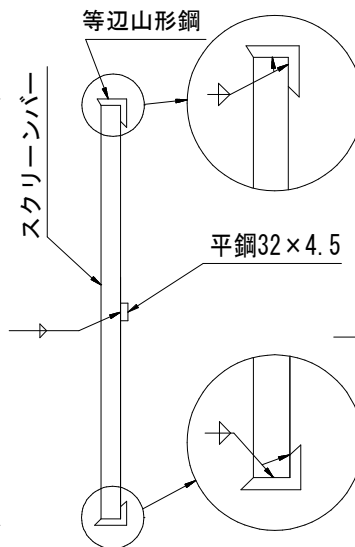
関連図番	

スクリーン

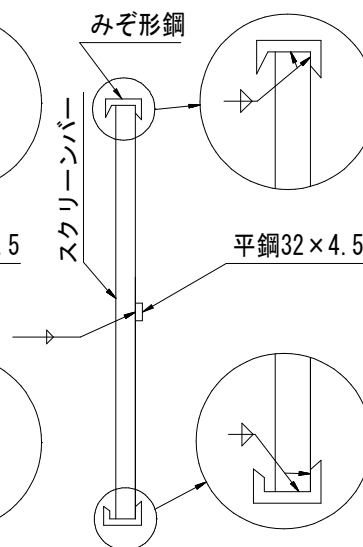
正面図



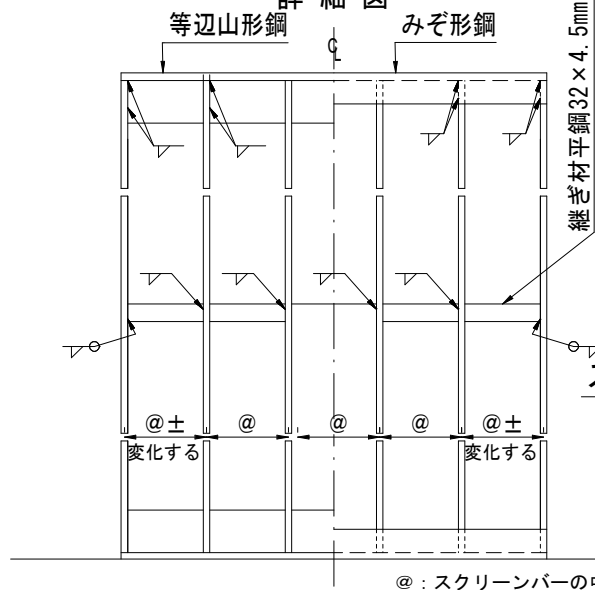
A-A断面



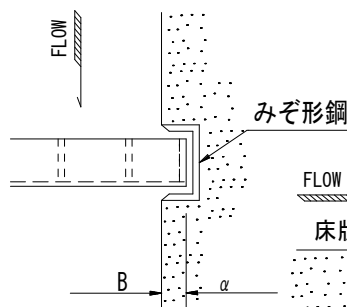
B-B断面



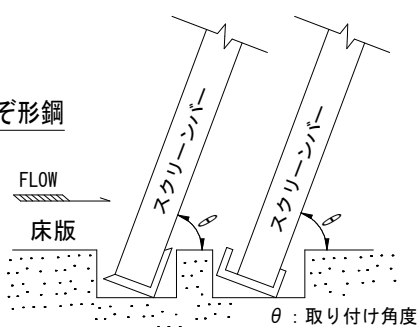
詳細図



側壁溝詳細図



取り付け図



スクリー-B0000-H0000-P000

スクリーンバーの
中心間隔の略号 (mm)

高さの略号 (mm)

幅の略号 (mm)

スクリーンの略称

関連 図 番	K - 50
--------------	--------

注意事項

- スクリーンの取付位置は取付をする構造物の設計図による。
- 取り付け角度、及び床版の箱抜き寸法については監督職員の指示を受けること。
- スクリーンに使用する材料の規格。

材 料 名	規 格
平 鋼	JISG-3194 SS400
等辺山形鋼	JISG-3192 SS400
み ぞ 形 鋼	JISG-3192 SS400
継 ぎ 材	JISG-3194 SS400

- 溶接の脚長については、板厚の薄い方を基準とする。
- 素地調整区分は2種ケレンとする。
- 塗装は、亜鉛メッキ（地肌）とし、仕様は、標準設計図仕様書 4. 塗装による。
- 出来形管理は、各寸法と幅、及び高さとする。
- 設計変更は、外寸法面積の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計	2012. 4
工 種	鉄鋼小構造物 区 分 一 般
K - 49	ス ク リ ー ン
設計番号	スクリー-B 1000-H 1000-P 030 ～ スクリー-B 3000-H 2000-P 150

スクリーン寸法・材料表

設計番号	幅B(mm)	高さH(mm)	スクリーンバー部材					上下桁部材	側壁溝部材	α
			P030	P050	P075	P0100	P0150			
スクリー-B1000-H1000-P000	≤1000	≤1000	FB50×6	FB50×6	FB50×6	FB50×6	FB65×6	L 50×50×6	□ 100×50	35
スクリー-B1000-H1250-P000		≤1250	FB50×6	FB50×6	FB50×6	FB65×6	FB65×9	L 50×50×6	□ 100×50	35
スクリー-B1000-H1500-P000		≤1500	FB50×6	FB50×6	FB65×6	FB65×9	FB65×9	L 65×65×6	□ 100×50	35
スクリー-B1000-H1750-P000		≤1750	FB50×6	FB65×6	FB65×9	FB65×9	FB90×9	L 75×75×9	□ 150×75	55
スクリー-B1000-H2000-P000		≤2000	FB50×6	FB65×6	FB65×9	FB90×9	FB90×9	L 75×75×9	□ 150×75	55
スクリー-B1500-H1000-P000	≤1500	≤1000	FB50×6	FB50×6	FB50×6	FB50×6	FB65×6	L 65×65×6	□ 100×50	35
スクリー-B1500-H1250-P000		≤1250	FB50×6	FB50×6	FB50×6	FB65×6	FB65×9	L 75×75×9	□ 100×50	35
スクリー-B1500-H1500-P000		≤1500	FB50×6	FB50×6	FB65×6	FB65×9	FB65×9	L 75×75×9	□ 100×50	35
スクリー-B1500-H1750-P000		≤1750	FB50×6	FB65×6	FB65×9	FB65×9	FB90×9	L 75×75×9	□ 150×75	55
スクリー-B1500-H2000-P000		≤2000	FB50×6	FB65×6	FB65×9	FB90×9	FB90×9	L 75×75×9	□ 150×75	55
スクリー-B2000-H1000-P000	≤2000	≤1000	FB50×6	FB50×6	FB50×6	FB50×6	FB65×6	L 75×75×9	□ 100×50	35
スクリー-B2000-H1250-P000		≤1250	FB50×6	FB50×6	FB50×6	FB65×6	FB65×9	L 75×75×9	□ 100×50	35
スクリー-B2000-H1500-P000		≤1500	FB50×6	FB50×6	FB65×6	FB65×9	FB65×9	L 90×90×10	□ 125×65	50
スクリー-B2000-H1750-P000		≤1750	FB50×6	FB65×6	FB65×9	FB65×9	FB90×9	L 90×90×10	□ 150×75	55
スクリー-B2000-H2000-P000		≤2000	FB50×6	FB65×6	FB65×9	FB90×9	FB90×9	L 90×90×10	□ 150×75	55
スクリー-B2500-H1000-P000	≤2500	≤1000	FB50×6	FB50×6	FB50×6	FB50×6	FB65×6	L 90×90×10	□ 125×65	50
スクリー-B2500-H1250-P000		≤1250	FB50×6	FB50×6	FB50×6	FB65×6	FB65×9	L 90×90×10	□ 125×65	50
スクリー-B2500-H1500-P000		≤1500	FB50×6	FB50×6	FB65×6	FB65×9	FB65×9	L 100×100×10	□ 125×65	50
スクリー-B2500-H1750-P000		≤1750	FB50×6	FB65×6	FB65×9	FB65×9	FB90×9	L 100×100×10	□ 150×75	55
スクリー-B2500-H2000-P000		≤2000	FB50×6	FB65×6	FB65×9	FB90×9	FB90×9	□ 125×65	□ 150×75	55
スクリー-B3000-H1000-P000	≤3000	≤1000	FB50×6	FB50×6	FB50×6	FB50×6	FB65×6	L 100×100×10	□ 125×65	50
スクリー-B3000-H1250-P000		≤1250	FB50×6	FB50×6	FB50×6	FB65×6	FB65×9	□ 100×50	□ 125×65	50
スクリー-B3000-H1500-P000		≤1500	FB50×6	FB50×6	FB65×6	FB65×9	FB65×9	□ 100×50	□ 125×65	50
スクリー-B3000-H1750-P000		≤1750	FB50×6	FB65×6	FB65×9	FB65×9	FB90×9	□ 125×65	□ 150×75	55
スクリー-B3000-H2000-P000		≤2000	FB50×6	FB65×6	FB65×9	FB90×9	FB90×9	□ 125×65	□ 150×75	55

FB : 平鋼 (jis G-3194)
 L : 等辺山形鋼(jis G-3192)
 □ : みぞ形鋼(jis G-3192)

スクリー-B0000-H0000-P000

スクリーンの略称

幅の略号 (mm)

高さの略号 (mm)

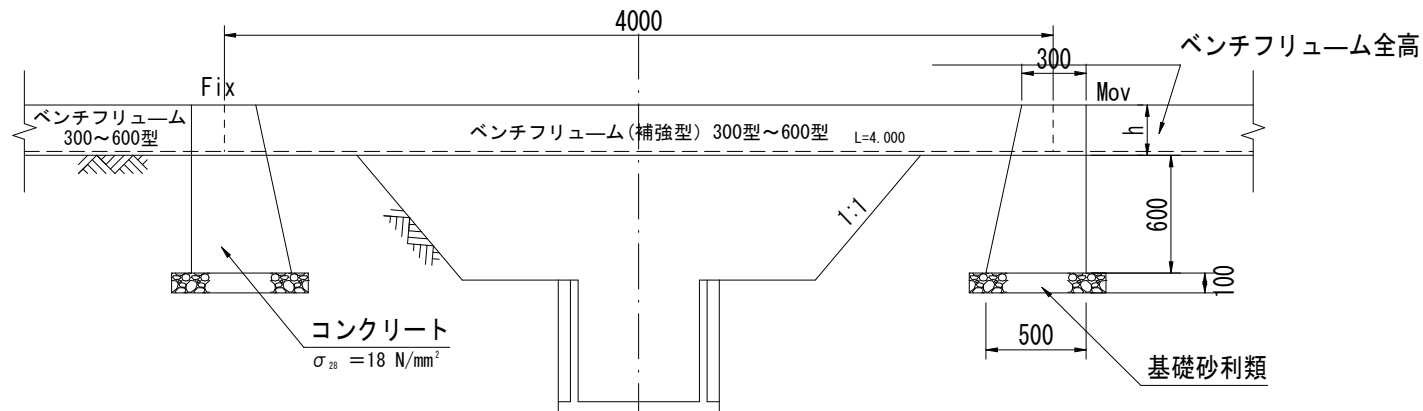
スクリーンバーの
中心間隔の略号 (mm)

関連図番	K - 49

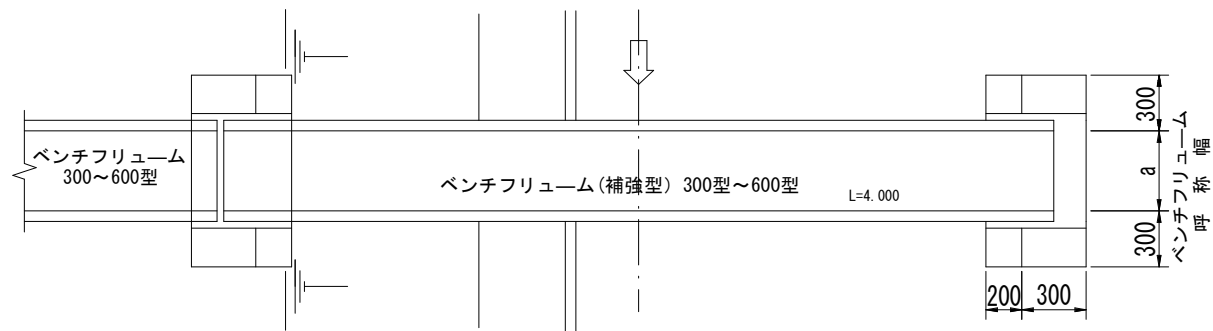
農業農村整備事業標準設計			1988. 3
工 種	鉄鋼小構造物	区 分	一 般
K - 50	スクリーン寸法・材料表		
設計番号	スクリー-B 1000-H 1000-P 0 0 ～ スクリー-B 3000-H 2000-P 150		

ベンチフリューム掛樋

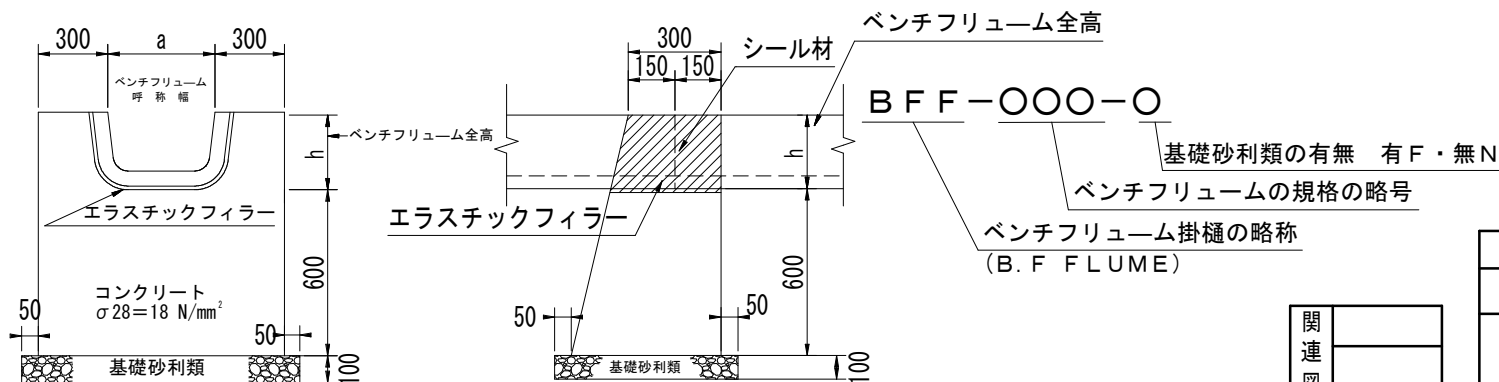
側面図



平面図



下部詳細図 (Mov)



注意事項

- 鉄筋コンクリートベンチフリュームは、JIS A-5372に準ずる品質及び性能を有するものを使用する。ただし、床版の鉄筋量については、下表のとおりのものであること。また内断面がベンチフリュームと同じか、流れに大きな障害を与えず構造的に同等以上の製品も使用できるものとする。

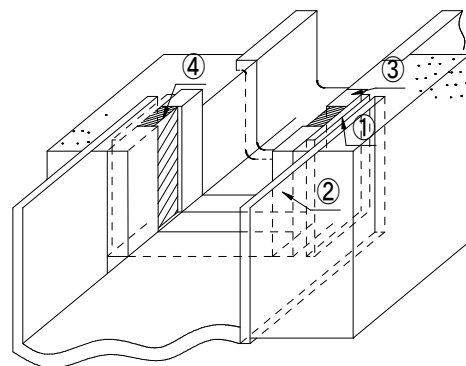
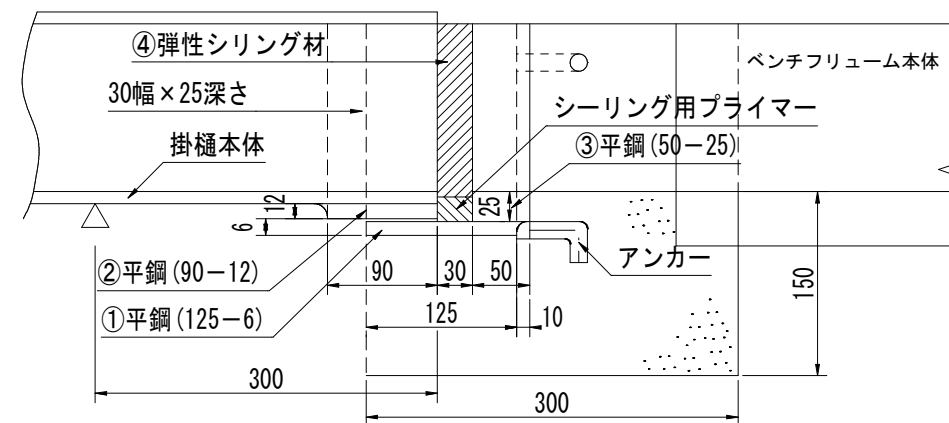
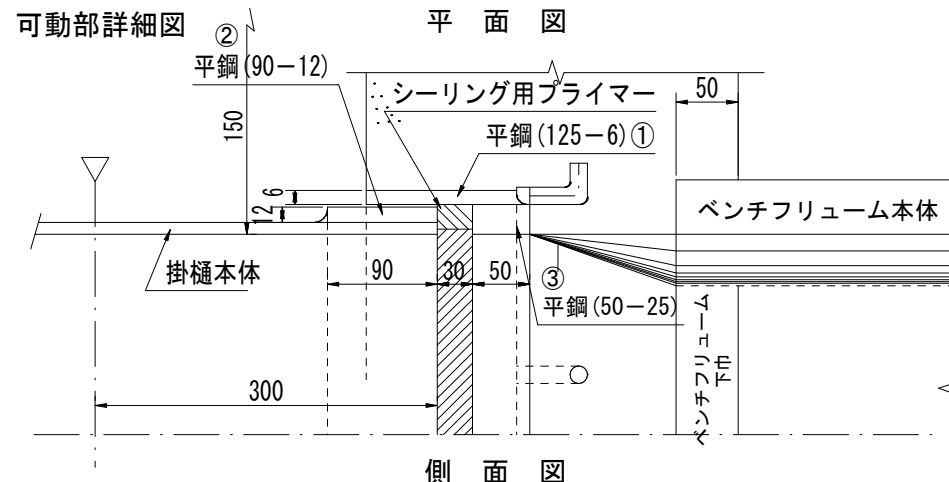
ベンチフリュームの床版鉄筋量

B F 区分	鉄筋量
300	Φ 6 — 6本
350	Φ 6 — 6本
400	Φ 6 — 7本
450	Φ 6 — 7本
500	Φ 6 — 7本
550	Φ 6 — 7本
600	Φ 6 — 7本

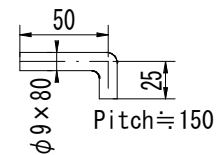
- 構造物の位置は計画平面図による。
- 下部工の位置及び高さの詳細は監督職員の指示による。
- 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
- 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
- 設計変更は、断面毎の設置力所数の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計	2012. 4
工 種	鉄鋼小構造物 区 分 一 般
K - 51	ベンチフリューム掛樋
設計番号	BFF-030-F~BFF-060-N

関連図番	



アンカー詳細図



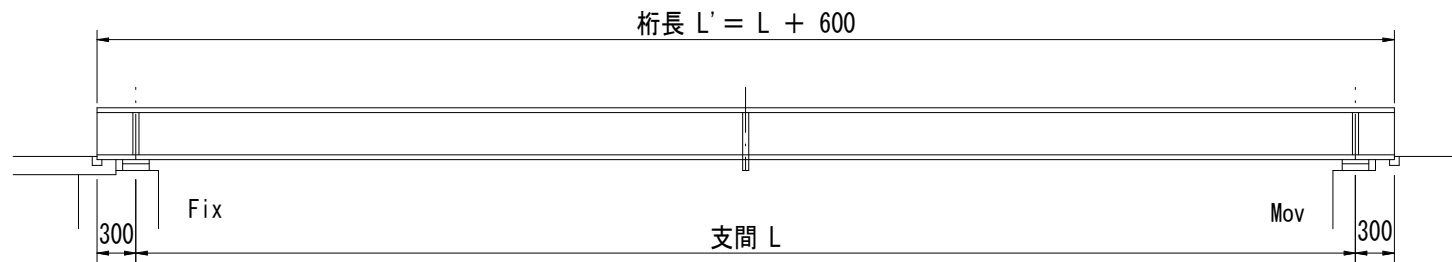
注意事項

関連図番	K-52~58
------	---------

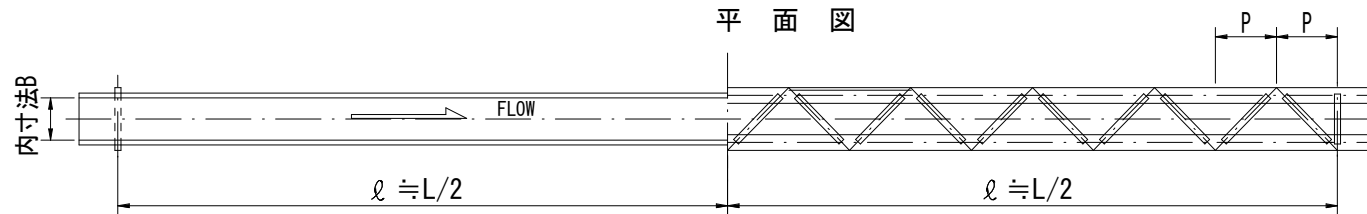
農業農村整備事業標準設計			1988. 3
工 種	鉄鋼小構造物	区 分	一 般
K - 53	鋼製掛樋受台 可動部詳細図 標準スパン L=10m		
設計番号	PFF-040-F~PFF-060-N		

鋼製掛樋 一般図 (1)

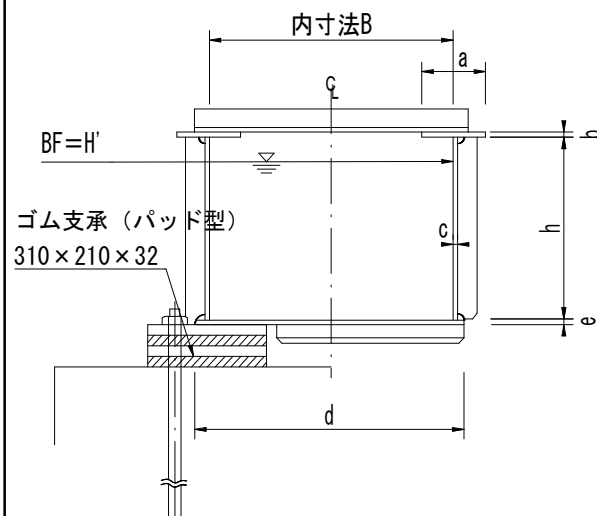
側面図



平面図



断面図



接続水路	設計番号	寸法表 (mm)						
		適用支間L	B	a×b	H×c	d×e	BF H	P
400 型	PF1-040-30-〇〇	4 <L≤11	400	100×9	300×6	430×6	260	500
450 型	PF1-045-35-〇〇	4 <L≤12	450	100×9	350×6	480×6	295	500
500 型	PF1-050-35-〇〇	4 <L≤10	500	100×9	350×6	540×9	320	500
550 型	PF1-055-40-〇〇	4 <L≤12	550	100×9	400×6	580×9	355	625
600 型	PF1-060-45-〇〇	4 <L≤12	600	100×9	450×9	630×9	380	625
650 型	PF1-065-45-〇〇	4 <L≤12	650	100×9	450×9	680×9	415	833
700 型	PF1-070-50-〇〇	4 <L≤12	700	100×9	500×9	730×9	440	833
800 型	PF1-080-55-〇〇	4 <L≤12	800	100×9	550×9	840×12	490	833
900 型	PF1-090-60-〇〇	4 <L≤12	900	100×9	600×9	940×12	550	1000
1000 型	PF1-100-65-〇〇	4 <L≤12	1000	100×9	650×10	1040×12	600	1000

P F1-〇〇〇-〇〇-〇〇

支間長の略号

掛樋高さの略号

接続水路の略号

鋼製掛樋の略称

(PLATE FLUME 1)

関連図番	K-52~58
------	---------

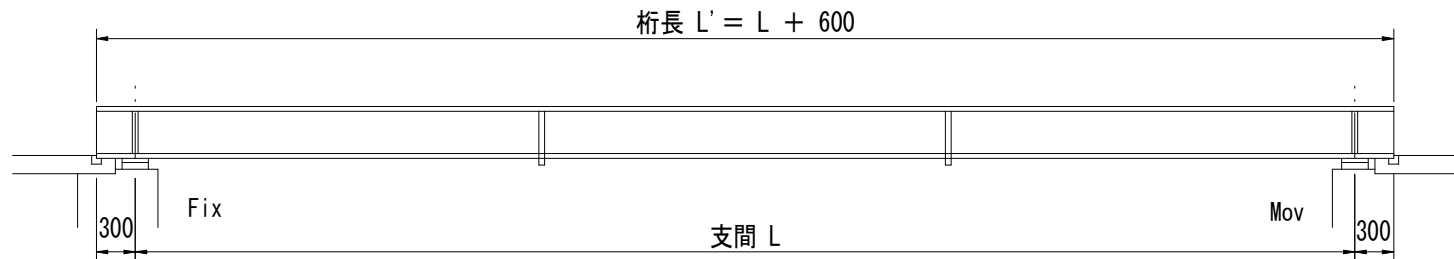
注意事項

1. 構造物の位置、接続水路の型式規格は計画平面図による。
2. 塗装仕様は、「農林水産省土地改良工事積算基準（施設機械）」による。
3. 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
4. 設計変更は、規格毎の設置力所数の増減により行う。
5. ゴム支承（パッド型）は（社）日本道路協会ゴム支承標準設計標準品とする。

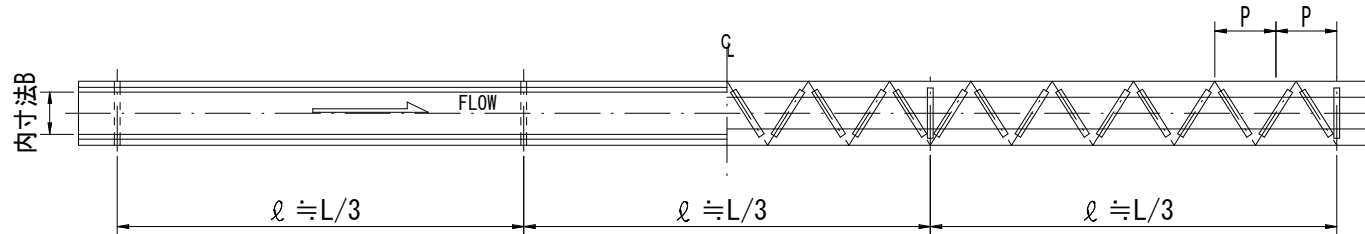
農業農村整備事業標準設計		2015. 4	
工 種	鉄鋼小構造物	区 分	一 般
K - 54	鋼製掛樋 標準支間 L=10m 一般図 (1)		
設計番号	PFI-040-30-04~PFI-100-65-12		

鋼製掛樋 一般図 (2)

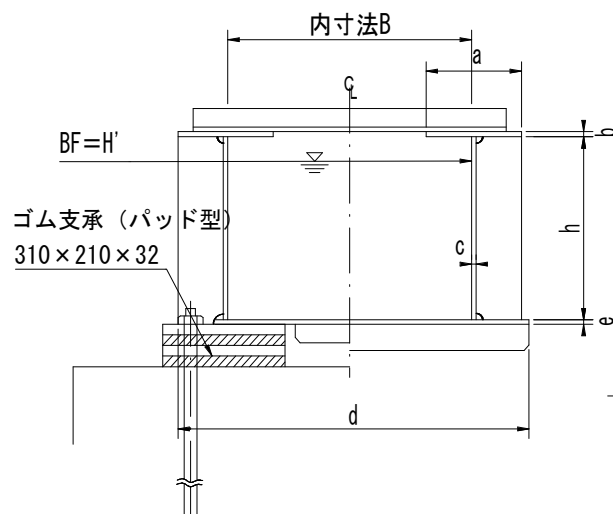
側 面 図



平 面 図



断 面 図



接 続 水 路	設 計 番 号	寸 法 表 (mm)						
		適用支間L	B	a×b	H×c	d×e	B/H	P
400 型	PF2-040-35-〇〇	11<L≤15	400	180×12	350×6	590×9	260	500
400 型	PF2-040-40-〇〇	15<L≤17	400	200×16	400×6	590×9	260	567
450 型	PF2-045-40-〇〇	12<L≤16	450	180×12	400×6	640×9	295	500
500 型	PF2-050-40-〇〇	10<L≤16	500	180×12	400×9	700×9	320	500
550 型	PF2-055-45-〇〇	12<L≤17	550	180×12	450×9	750×9	355	625
600 型	PF2-060-45-〇〇	12<L≤17	600	180×12	450×9	800×9	380	625
650 型	PF2-065-50-〇〇	12<L≤18	650	180×12	500×9	850×9	415	833
700 型	PF2-070-50-〇〇	12<L≤17	700	180×9	500×9	900×9	440	833
800 型	PF2-080-55-〇〇	12<L≤18	800	180×9	550×9	1000×12	490	833
900 型	PF2-090-60-〇〇	12<L≤17	900	180×9	600×9	1100×12	550	1000
1000 型	PF2-100-65-〇〇	12<L≤17	1000	180×9	650×10	1200×12	600	1000

P F 2 - 〇〇〇 - 〇〇 - 〇〇

支間長の略号

掛樋高さの略号

接続水路の略号

鋼製掛樋の略称

(PLATE FLUME2)

関連図番	K-52~58
------	---------

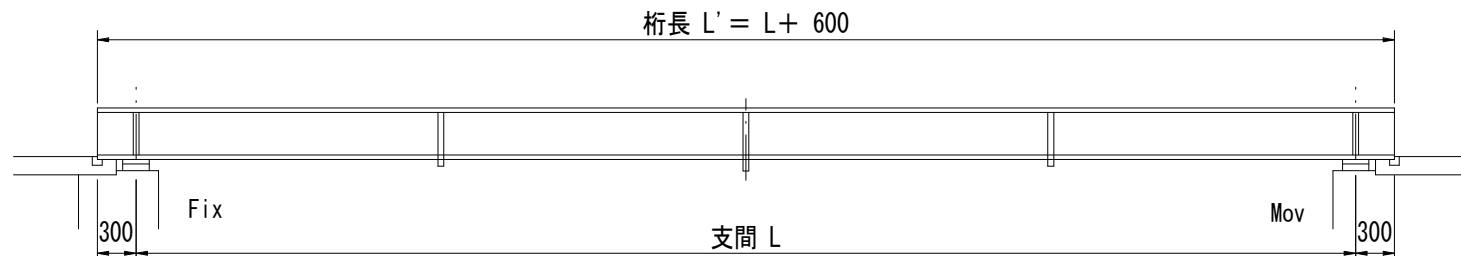
注 意 事 項

1. 構造物の位置、接続水路の型式規格は計画平面図による。
2. 塗装仕様は、「農林水産省土地改良工事積算基準（施設機械）」による。
4. 継手力所数は特記仕様書による。
5. 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
6. 設計変更は、規格毎の設置力所数の増減により行
7. ゴム支承（パッド型）は（社）日本道路協会ゴム支承標準設計標準品とする。

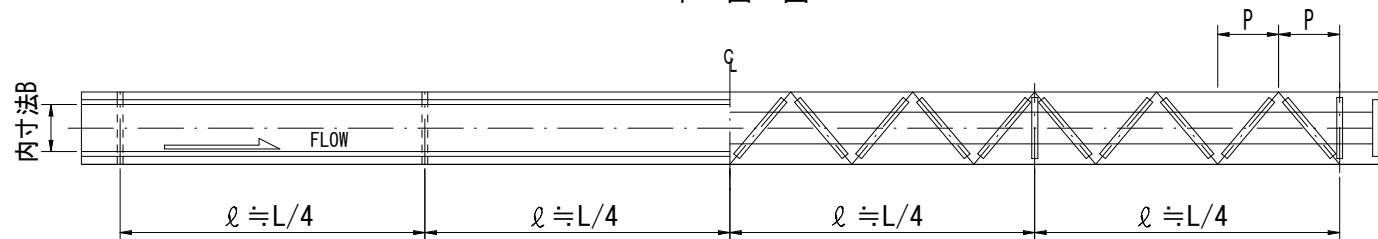
農業農村整備事業標準設計		2015. 4	
工 種	鉄鋼小構造物	区 分	一 般
K - 54	鋼製掛樋 標準支間 L=15m 一般図 (2)		
設計番号	PF2-040-35-11~PF2-100-65-17		

鋼製掛樋 一般図 (3)

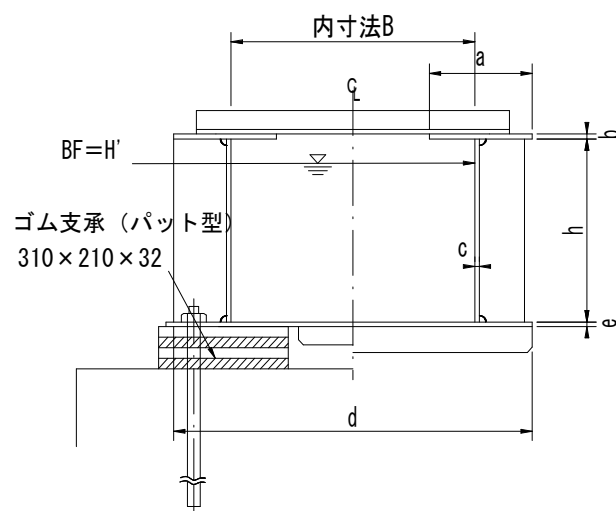
側面図



平面図



断面図



接 続 水 路	設 計 番 号	寸 法 表 (mm)						
		適用支間L	B	a×b	H×c	d×e	B/F	P
450 型	PF3-045-45-〇〇	$16 \leq L \leq 18$	450	220×16	450×9	650×9	295	500
500 型	PF3-050-45-〇〇	$16 < L \leq 18$	500	220×16	450×9	700×9	320	500
500 型	PF3-050-50-〇〇	$18 < L \leq 20$	500	220×19	500×9	700×9	320	500
550 型	PF3-055-50-〇〇	$17 < L \leq 20$	550	220×22	500×9	750×9	355	625
600 型	PF3-060-50-〇〇	$17 < L \leq 20$	600	220×22	500×9	800×9	380	625
650 型	PF3-065-50-〇〇	$18 < L \leq 20$	650	220×22	500×9	850×9	415	833
700 型	PF3-070-50-〇〇	$17 < L \leq 20$	700	220×25	500×9	900×9	440	833
800 型	PF3-080-55-〇〇	$18 < L \leq 20$	800	220×14	550×9	1000×12	490	833
900 型	PF3-090-65-〇〇	$17 < L \leq 20$	900	180×9	650×10	1100×12	550	1000
1000 型	PF3-100-70-〇〇	$17 < L \leq 20$	1000	180×9	700×12	1200×12	600	1000

P F3-000-00-00

支間長の略号

掛樋高さの略号

接続水路の略号

鋼製掛樋の略称

(PLATE FLUME 3)

関連 図 番	K-52~58

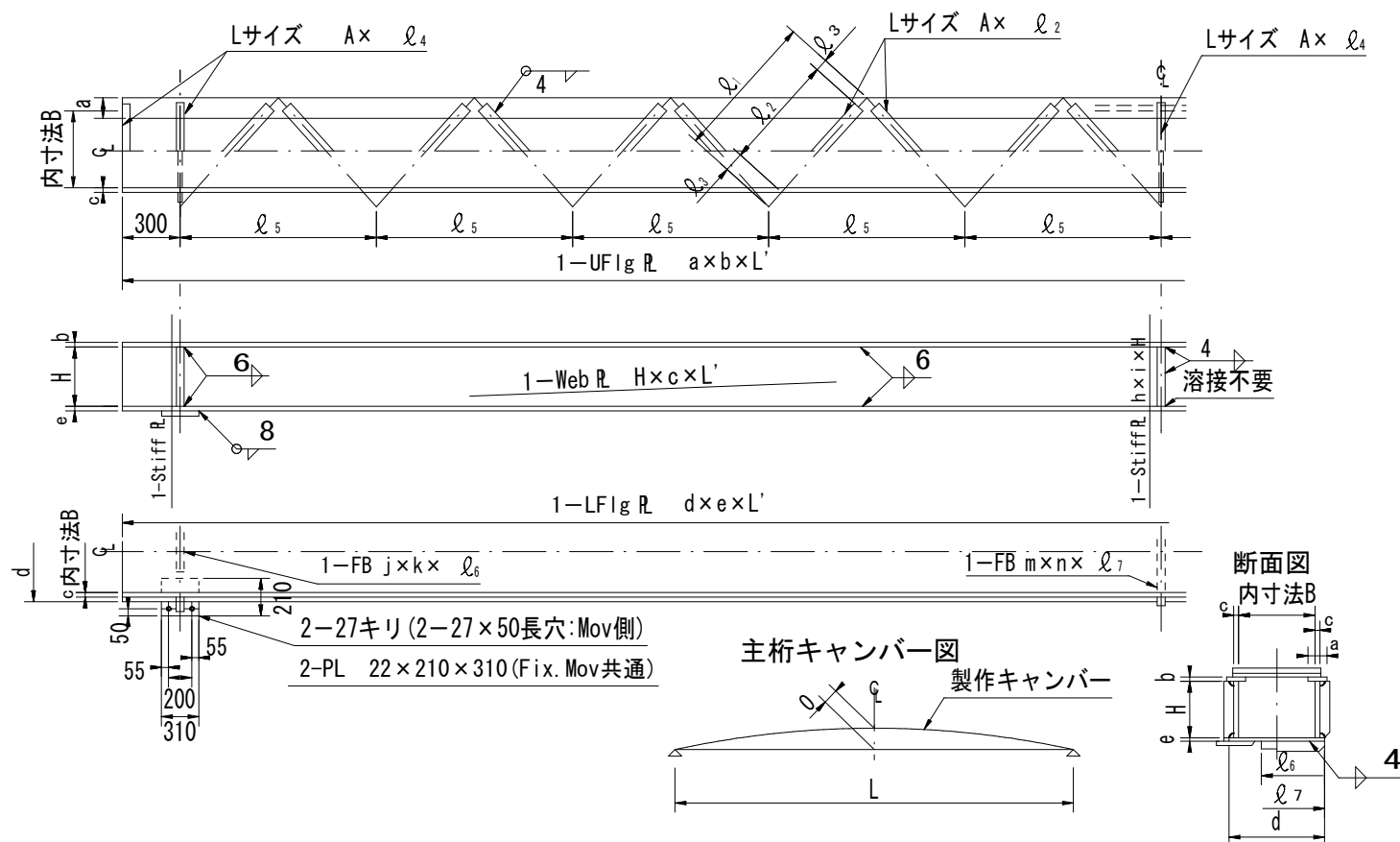
注意事項

1. 構造物の位置、接続水路の形式規格は計画平面図による。
2. 塗装仕様は、「農林水産省土地改良工事積算基準（施設機械）」による。
3. 継手力所数は特記仕様書による。
4. 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
5. 設計変更は、規格毎の設置力所数の増減により行
6. ゴム支承（パッド型）は（社）日本道路協会ゴム支承標準設計標準品とする。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	鉄鋼小構造物	区 分	一 般
K - 54	鋼製掛樋 標準空間 L=20m 一般図 (3)		
設計番号	PF3-045-45-16~PF3-100-70-20		

鋼製掛樋 製作組立図 (1)

主 桁



注 意 事 項

1. 材料の規格

材 料 名	規 格
鋼 板	JISG 3101 SS400
等辺山形鋼	JISG 3192 SS400

2. 断面寸法は、一般図の寸法表を参照する。

3. 支点部査は、可動部、固定部ともゴム支承 (パッド型) (310×210×32) を標準とする。

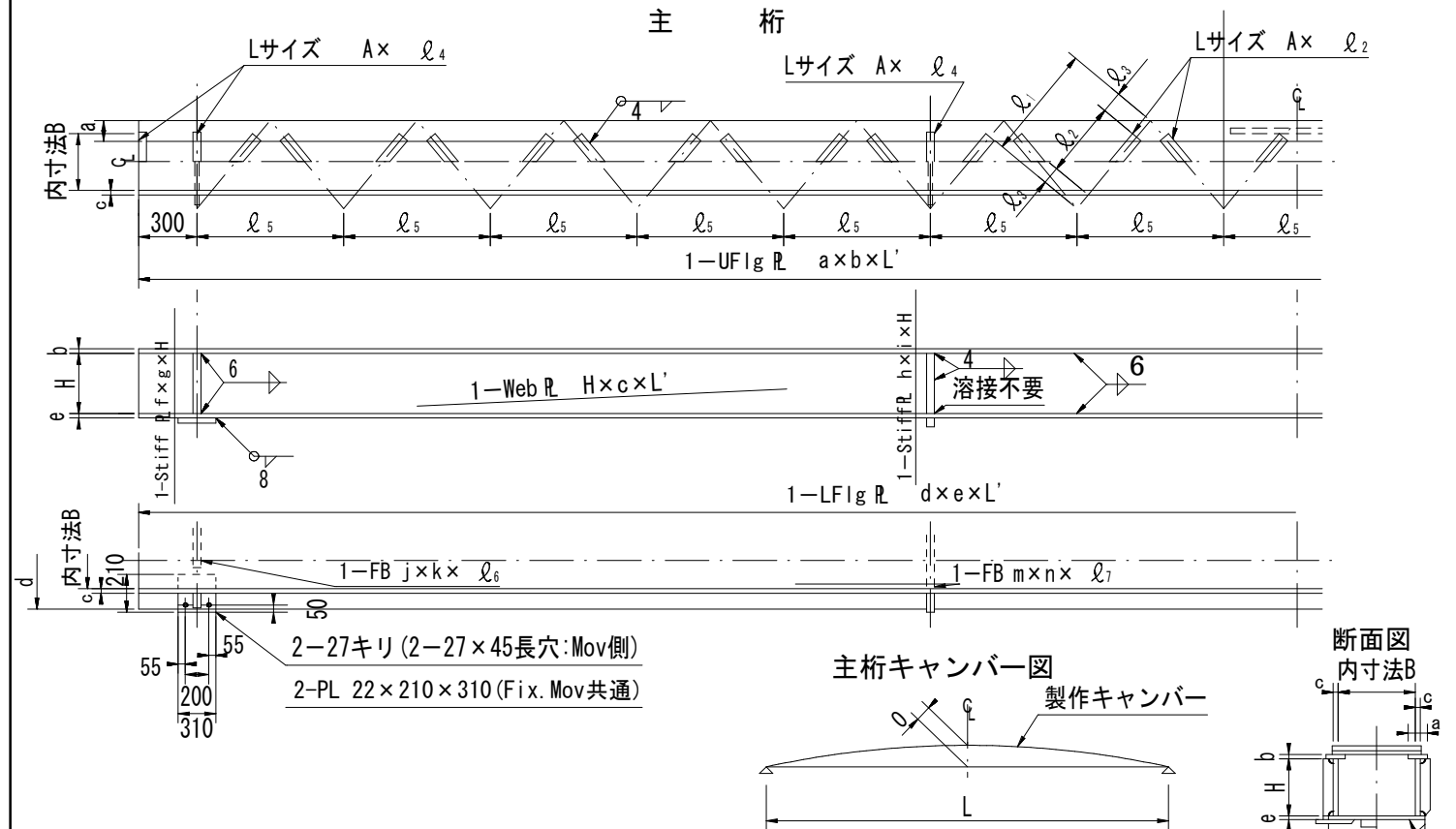
4. 製作キャンバーについては、K-58による。

接 続 路	設 計 番 号	寸 法 表 (mm)													
		適 用 支 間	LサイズA	ℓ1	ℓ2	ℓ3	ℓ4	ℓ5	ℓ6	ℓ7	f×g	H	h×i	j×k	m×n
400 型	PF1-040-30-〇〇	4" < L ≤ 11"	40×40×5	711	560	75.5	450	1000	160	430	65×6	306	65×6	32×6	32×6
450 型	PF1-045-35-〇〇	4 < L ≤ 12	40×40×5	748	590	79.0	500	1000	210	480	65×6	356	65×6	38×9	50×6
500 型	PF1-050-35-〇〇	4 < L ≤ 10	40×40×5	786	630	78.0	550	1000	260	540	65×6	359	65×6	38×9	50×9
550 型	PF1-055-40-〇〇	4 < L ≤ 12	50×50×6	906	750	78.0	600	1250	310	580	65×6	409	65×6	38×9	50×9
600 型	PF1-060-45-〇〇	4 < L ≤ 12	50×50×6	945	800	72.5	650	1250	360	630	65×6	459	65×6	38×9	50×9
650 型	PF1-065-45-〇〇	4 < L ≤ 12	65×65×6	1127	980	73.5	700	1667	410	680	65×6	459	65×6	38×9	65×9
700 型	PF1-070-50-〇〇	4 < L ≤ 12	65×65×6	1161	1020	70.5	750	1667	460	730	75×6	509	75×6	38×9	65×9
800 型	PF1-080-55-〇〇	4 < L ≤ 12	65×65×6	1233	1100	66.5	850	1667	560	840	75×6	562	75×6	38×9	75×9
900 型	PF1-090-60-〇〇	4 < L ≤ 12	65×65×6	1421	1280	70.5	950	2000	660	940	75×6	612	75×6	38×9	75×9
1000 型	PF1-100-65-〇〇	4 < L ≤ 12	65×65×6	1494	1360	67.0	1050	2000	760	1040	75×6	662	75×6	38×9	90×9

関連図番	K-52~58
------	---------

農業農村整備事業標準設計		2012. 4	
工 種	鉄鋼小構造物	区 分	一 般
K - 55	鋼製掛樋 標準支間 L=10m 製作組立図 (1)		
設計番号	PF1-040-30-04~PF1-100-65-12		

鋼製掛樋 製作組立図 (2)



主桁キャンバー図

製作キャンバー

接 続 路	設 計 番 号	寸 法 表 (mm)													
		適用支間	LサイズA	ℓ1	ℓ2	ℓ3	ℓ4	ℓ5	ℓ6	ℓ7	f×g	H	h×i	j×k	m×n
400 型	PF2-040-35-〇〇	11" < L ≤ 15"	40×40×5	770	570	100.0	450	1000	160	590	80×9	350	80×9	38×9	50×6
400 型	PF2-040-40-〇〇	15 < L ≤ 17	40×40×5	830	580	125.0	450	1134	160	590	90×9	400	90×9	38×9	50×6
450 型	PF2-045-40-〇〇	12 < L ≤ 16	40×40×5	809	610	99.5	500	1000	210	640	80×9	400	80×9	38×9	50×6
500 型	PF2-050-40-〇〇	10 < L ≤ 16	40×40×5	851	660	95.5	550	1000	260	700	80×9	400	80×9	38×9	50×6
550 型	PF2-055-45-〇〇	12 < L ≤ 17	50×50×6	968	740	114.0	600	1250	310	750	80×9	450	80×9	38×9	50×6
600 型	PF1-060-45-〇〇	12 < L ≤ 17	50×50×6	1007	790	108.5	650	1250	360	800	80×9	450	80×9	38×9	50×6
650 型	PF2-065-50-〇〇	12 < L ≤ 18	65×65×6	1183	930	126.5	700	1667	410	850	80×9	500	80×9	38×9	65×9
700 型	PF2-070-50-〇〇	12 < L ≤ 17	65×65×6	1219	980	119.5	750	1667	460	900	80×9	500	80×9	38×9	65×9
800 型	PF2-080-55-〇〇	12 < L ≤ 18	65×65×6	1293	1060	116.5	850	1667	560	1000	80×9	550	80×9	38×9	75×9
900 型	PF2-090-60-〇〇	12 < L ≤ 17	65×65×6	1478	1240	119.5	950	2000	660	1100	80×9	600	80×9	38×9	75×9
1000 型	PF2-100-65-〇〇	12 < L ≤ 17	65×65×6	1554	1320	117.0	1050	2000	760	1200	80×9	650	80×9	38×9	90×9

関連 図番	K-52~58
----------	---------

注 意 事 項

1. 材料の規格

材 料 名	規 格	備 考
鋼 板	JIS G 3101 SS400	本体、継手部
等辺山形鋼	JIS G 3192 SS400	" "
高力ボルト ナット、座金	JIS B 1186	継手部
鋼 ボ ル ト	JIS B 1180	"
鋼 ナ ッ ト	JIS B 1181	"

2. 断面寸法は、一般図の寸法表を参照する。

3. 支点部は、可動部、固定部ともゴム支承 (パッド型) (310×210×32) を標準とする。

4. 製作キャンバーについては、K-58による。

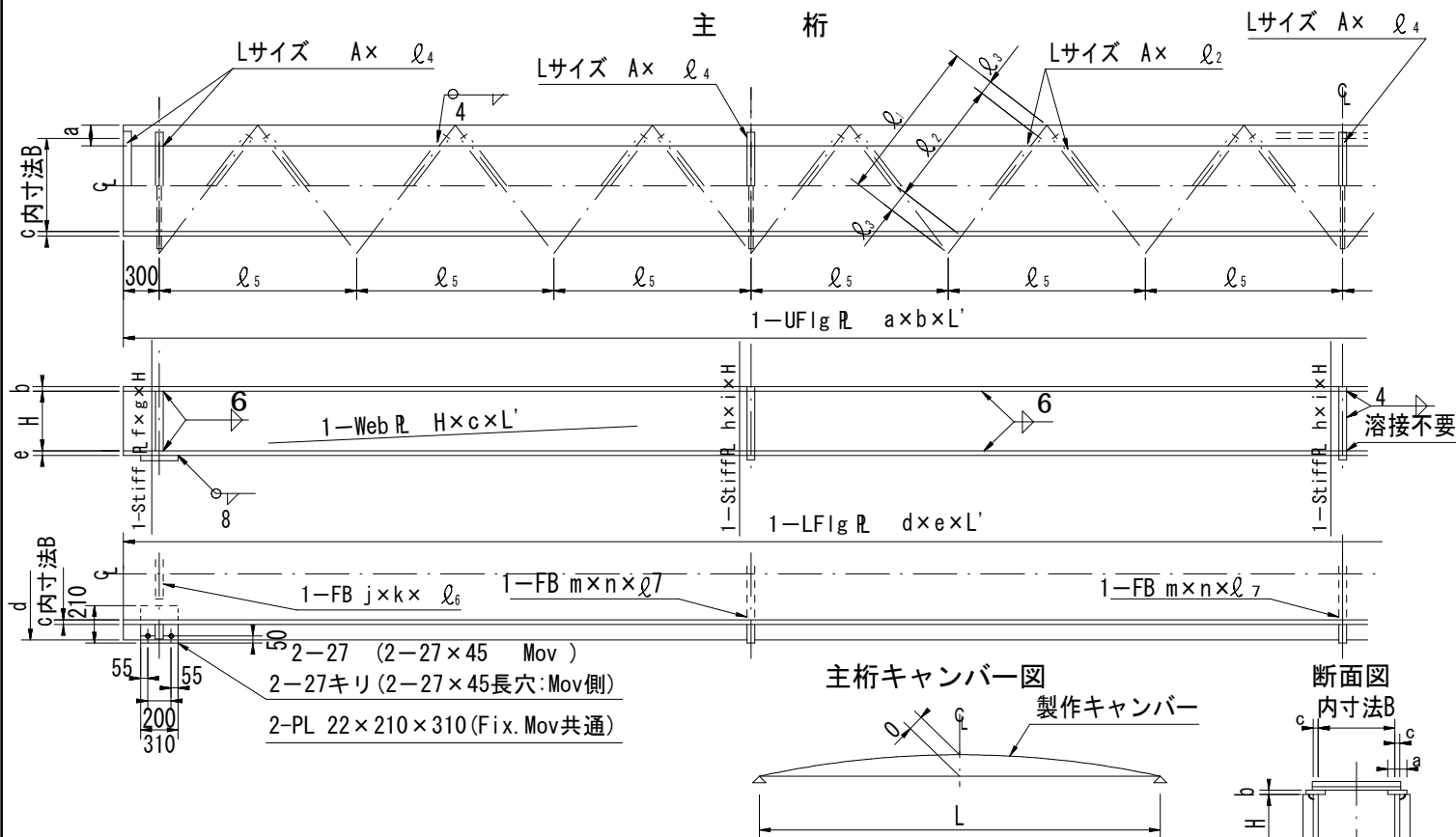
5. 継手箇所は、監督職員の指示による。

6. 継手部は、漏水及びボルトの腐蝕を防止するため 、シーリング材でコーキングを行う。

7. 継手部の高力ボルトの締め付けは、ミルシート等 のトルク係数により検査を行う。

農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	鉄鋼小構造物	区 分	一 般
K - 55	鋼製掛樋 標準支間 L=15m 製作組立図 (2)		
設計番号	PF2-040-35-11~PF2-100-65-17		

鋼製掛樋 製作組立図 (3)



接 続 路	設 計 番 号	寸 法 表 (mm)													
		適用支間	LサイズA	ℓ ₁	ℓ ₂	ℓ ₃	ℓ ₄	ℓ ₅	ℓ ₆	ℓ ₇	f×g	H	h×i	j×k	m×n
450 型	PF3-045-45-〇〇	16" < L ≤ 18"	40×40×5	843	590	126.5	500	1000	210	650	100×12	450	100×9	38×9	50×6
500 型	PF3-050-45-〇〇	16 < L ≤ 18	40×40×5	884	650	117.0	550	1000	260	700	100×12	450	100×9	38×9	50×9
500 型	PF3-050-50-〇〇	18 < L ≤ 20	40×40×5	884	650	117.0	550	1000	260	700	100×12	500	100×9	38×9	50×9
550 型	PF3-055-50-〇〇	17 < L ≤ 20	50×50×6	999	730	134.5	600	1250	310	750	100×12	500	100×9	38×9	50×9
600 型	PF3-060-50-〇〇	17 < L ≤ 20	50×50×6	1038	780	129.0	650	1250	360	800	100×12	500	100×9	38×9	50×9
650 型	PF3-065-50-〇〇	18 < L ≤ 20	65×65×6	1211	910	150.5	700	1667	410	850	100×12	500	100×9	38×9	65×9
700 型	PF3-070-50-〇〇	17 < L ≤ 20	65×65×6	1248	960	144.0	750	1667	460	900	100×12	500	100×9	38×9	65×9
800 型	PF3-080-55-〇〇	18 < L ≤ 20	65×65×6	1324	1050	137.0	850	1667	560	1000	100×12	550	100×9	38×9	75×9
900 型	PF3-090-65-〇〇	17 < L ≤ 20	65×65×6	1479	1240	119.5	950	2000	660	1100	100×12	650	100×9	38×9	75×9
1000 型	PF3-100-70-〇〇	17 < L ≤ 20	65×65×6	1556	1320	118.0	1050	2000	760	1200	100×12	700	100×9	38×9	90×9

関連図番	K-52~58
------	---------

注 意 事 項

1. 材料の規格

材 料 名	規 格	備 考
鋼 板	JIS G 3101 SS400	本体、継手部
等辺山形鋼	JIS G 3192 SS400	" "
高力ボルト ナット、座金	JIS B 1186	継手部
鋼 ボ ル ト	JIS B 1180	"
鋼 ナ ッ ト	JIS B 1181	"

2. 断面寸法は、一般図の寸法表を参照する。

3. 支点部等は、可動部、固定部ともゴム支承 (パッド型) (310×210×32) を標準とする。

4. 製作キャンバーについては、K-58による。

5. 継手箇所は、監督職員の指示による。

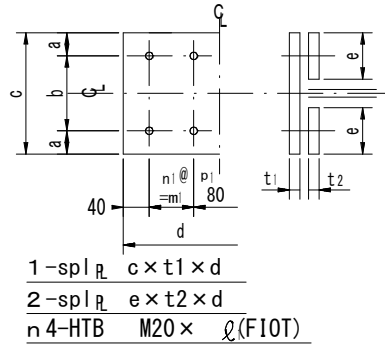
6. 継手部は、漏水及びボルトの腐蝕を防止するため、シーリング材でコーキングを行う。

7. 継手部の高力ボルトの締め付けは、ミルシート等のトルク係数により検査を行う。

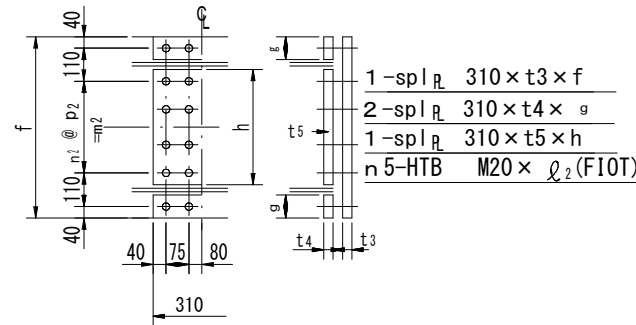
農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	鉄鋼小構造物	区 分	一 般
K - 55	鋼製掛樋 標準支間 L=20m 製作組立図 (3)		
設計番号	PF3-045-45-16~PF3-100-70-20		

鋼製掛樋 主桁継手部寸法表 (1)

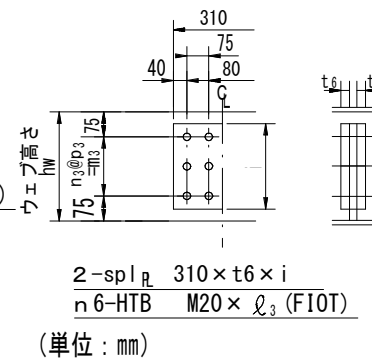
上フランチ継手



下フランジ継手



ウェブ継手



(単位: mm)

設計番号	PF2-040-35-〇〇	PF2-040-40-〇〇	PF2-045-40-〇〇	PF3-045-45-〇〇	PF2-050-40-〇〇	PF3-050-45-〇〇
h. W	350	400	400	450	400	450
a	40	40	40	45	40	45
b	100	120	100	130	100	130
c	180	200	180	220	180	220
d	310	460	310	460	310	460
e	80	80	80	90	80	90
f	590	590	640	650	700	700
g	80	80	80	80	80	80
h	380	380	430	440	490	490
i	280	330	330	380	330	380
nl	1	2	1	2	1	2
p1	75	75	75	75	75	75
m1	75	150	75	150	75	150
n2	3	3	4	4	4	4
p2	96.7	96.7	85	87.5	100	100
m2	290	290	340	350	400	400
n3	2	3	3	3	3	3
p3	100	83.3	83.3	100	83.3	100
m3	200	250	250	300	250	300
n4	8	12	8	12	8	12
n5	24	24	28	28	28	28
n6	12	16	16	16	16	16
Q1	65	75	65	75	65	75
Q2	60	60	60	60	60	60
Q3	55	55	55	65	65	65
t1	9	9	9	9	9	9
t2	9	12	9	12	9	12
t3	6	6	6	6	6	6
t4	6	6	6	6	6	6
t5	6	6	6	6	6	6
t6	6	6	6	9	9	9

注意事項

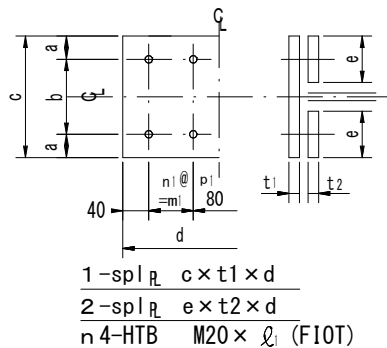
1. 継手を設ける場合に適用する。
2. 継手材料の規格
- | 材 料 名 | 規 格 |
|-----------------|------------------|
| 鋼 板 | JIS G 3101 SS400 |
| 高力ボルト
ナット、座金 | JIS B 1186 |
3. ボルトの穴径は、M20以上でボルト呼びに2.5mm加えたものである。

材 料 名	規 格
鋼 板	JIS G 3101 SS400
高力ボルト ナット、座金	JIS B 1186

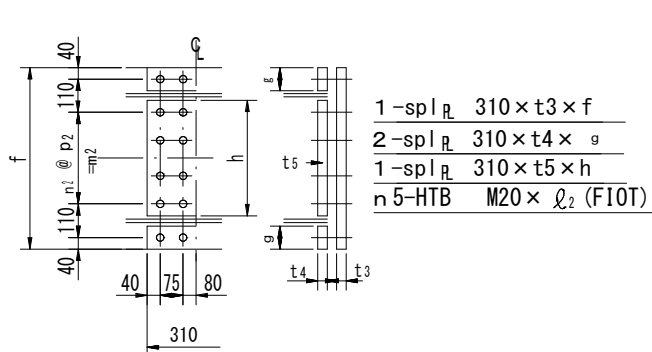
農業農村整備事業標準設計			1980. 3
工 種	鉄鋼小構造物	区 分	一 般
K - 56	鋼製掛樋 主桁継手部寸法表(1)		
設計番号	PF2-040-35-15~PF3-050-45-16		

鋼製掛樋 主桁継手部寸法表（２）

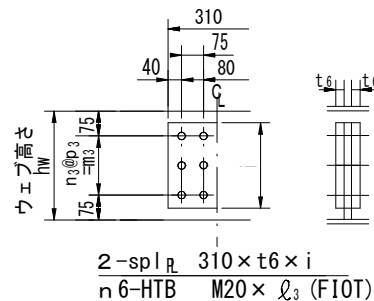
上フランジ継手



下フランジ継手



ウェブ継手



(単位：mm)

設計番号	PF3-050-50-〇〇	PF2-055-45-〇〇	PF3-055-50-〇〇	PF2-060-45-〇〇	PF3-060-50-〇〇	PF2-065-50-〇〇
h.W	500	450	500	450	500	500
a	45	40	45	40	45	40
b	130	100	130	100	130	100
c	220	180	220	180	220	180
d	460	310	610	310	610	310
e	90	80	90	80	90	80
f	700	750	750	800	800	850
g	80	80	80	80	80	80
h	490	540	540	590	590	640
i	430	380	430	380	430	430
n1	2	1	3	1	3	1
p1	75	75	75	75	75	75
m1	150	75	225	75	225	75
n2	4	5	5	5	5	6
p2	100	90	90	100	100	91.7
m2	400	450	450	500	500	550
n3	4	3	4	3	4	4
p3	87.5	100	87.5	100	87.5	87.5
m3	350	300	350	300	350	350
n4	12	8	16	8	16	8
n5	28	32	32	32	32	36
n6	20	16	20	16	20	20
φ1	80	70	85	65	85	70
φ2	60	60	60	60	60	60
φ3	65	65	65	65	65	65
t1	12	9	12	9	12	9
t2	12	9	14	9	14	9
t3	6	6	6	6	6	6
t4	6	6	6	6	6	6
t5	6	6	6	6	6	6
t6	9	9	9	9	9	9

注 意 事 項

- 継手を設ける場合に適用する。
- 継手材料の規格

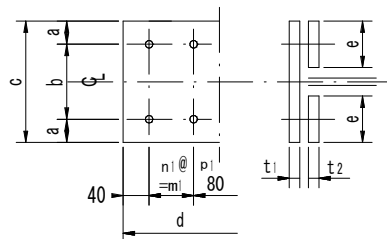
材 料 名	規 格
鋼 板	JIS G 3101 SS400
高力ボルト ナット、座金	JIS B 1186
- ボルトの穴径は、M20以上でボルト呼びに2.5mm加えたものである。

農業農村整備事業標準設計			1980. 3
工 種	鉄鋼小構造物	区 分	一 般
K - 56	鋼製掛樋 主桁継手部寸法表 (2)		
設計番号	PF3-050-50-20~PF3-065-50-18		

関連図番	K-52~58
------	---------

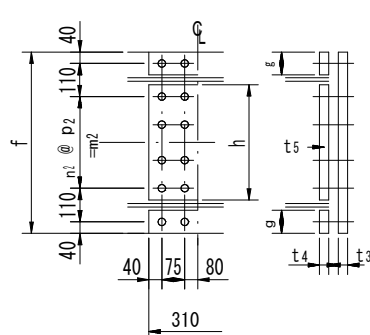
鋼製掛樋 主桁継手部寸法表（3）

上フランジ継手



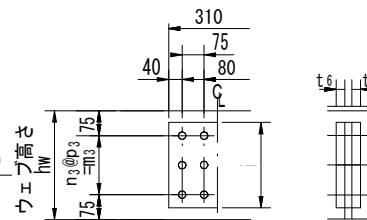
1-spl_R c×t₁×d
2-spl_R e×t₂×d
n4-HTB M20×ℓ₁ (FIOT)

下フランジ継手



1-spl_R 310×t₃×f
2-spl_R 310×t₄×g
1-spl_R 310×t₅×h
n5-HTB M20×ℓ₂ (FIOT)

ウェブ継手



2-spl_R 310×t₆×i
n6-HTB M20×ℓ₃ (FIOT)

(単位：mm)

設計番号	PF3-065-50-〇〇	PF2-070-50-〇〇	PF3-070-50-〇〇	PF2-080-55-〇〇	PF3-080-55-〇〇	PF2-090-60-〇〇
h.W	500	500	500	550	550	600
a	45	40	45	40	45	40
b	130	100	130	100	130	100
c	220	180	220	180	220	180
d	610	310	610	310	460	310
e	90	80	90	80	90	80
f	850	900	900	1000	1000	1100
g	80	80	80	80	80	80
h	640	690	690	790	790	890
i	430	430	430	480	480	530
n1	3	1	3	1	2	1
p1	75	75	75	75	75	75
m1	225	75	225	75	150	75
n2	6	6	6	7	7	8
p2	91.7	100	100	100	100	100
m2	550	600	600	700	700	800
n3	4	4	4	4	4	5
p3	87.5	87.5	87.5	100	100	90
m3	350	350	350	400	400	450
n4	16	8	16	8	12	8
n5	36	36	36	40	40	44
n6	20	20	20	20	20	24
ℓ1	85	60	95	60	65	60
ℓ2	60	60	60	65	65	65
ℓ3	65	65	65	65	65	65
t1	12	6	14	6	9	6
t2	14	6	16	6	9	6
t3	6	6	6	6	6	6
t4	6	6	6	6	6	6
t5	6	6	6	9	9	9
t6	9	9	9	9	9	9

注 意 事 項

- 継手を設ける場合に適用する。
- 継手材料の規格

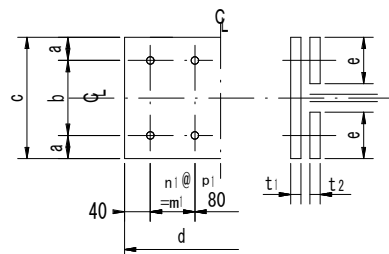
材 料 名	規 格
鋼 板	JIS G 3101 SS400
高力ボルト ナット、座金	JIS B 1186
- ボルトの穴径は、M20以上でボルト呼びに2.5mm加えたものである。

農業農村整備事業標準設計			1980. 3
工 種	鉄鋼小構造物	区 分	一 般
K - 56	鋼製掛樋 主桁継手部寸法表 (3)		
設計番号	PF3-065-50-20~PF2-090-60-12		

関連図番	K-52~58

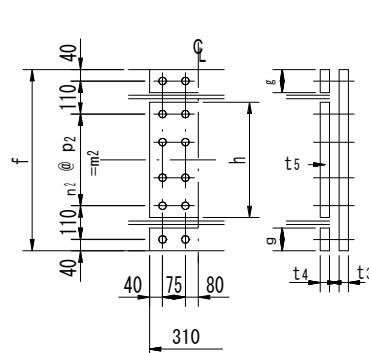
鋼製掛樋 主桁継手部寸法表（４）

上フランジ継手



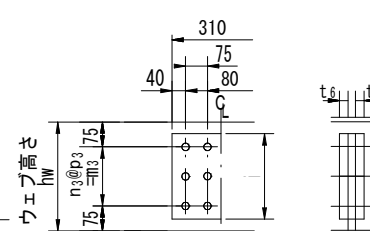
1-sp1_R c×t1×d
2-sp1_R e×t2×d
n 4-HTB M20× ϕ_1 (F10T)

下フランジ継手



1-sp1_R 310×t3×f
2-sp1_R 310×t4×g
1-sp1_R 310×t5×h
n 5-HTB M20× ϕ_2 (F10T)

ウェブ継手



2-sp1_R 310×t6×i
n 6-HTB M20× ϕ_3 (F10T)

(単位：mm)

設計番号	PF3-090-65-〇〇	PF2-100-65-〇〇	PF3-100-70-〇〇
h, W	650	650	700
a	40	40	40
b	100	100	100
c	180	180	180
d	310	310	310
e	80	80	80
f	1100	1200	1200
g	80	80	80
h	890	990	990
i	580	580	630
n1	1	1	1
p1	75	75	75
m1	75	75	75
n2	8	9	9
p2	100	100	100
m2	800	900	900
n3	5	5	6
p3	100	100	91.7
m3	500	500	550
n4	8	8	8
n5	44	48	48
n6	24	24	28
ϕ_1	60	60	60
ϕ_2	65	65	65
ϕ_3	65	65	65
t1	6	6	6
t2	6	6	6
t3	6	6	6
t4	6	6	6
t5	9	9	9
t6	9	9	9

注 意 事 項

- 継手を設ける場合に適用する。
- 継手材料の規格

材 料 名	規 格
鋼 板	JIS G 3101 SS400
高力ボルト ナット、座金	JIS B 1186
- ボルトの穴径は、M20以上でボルト呼びに2.5mm加えたものである。

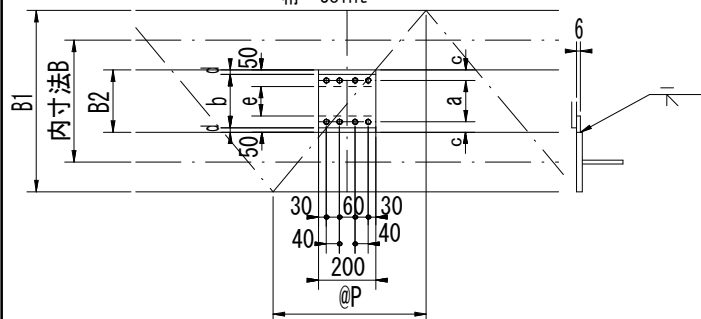
農業農村整備事業標準設計			1980. 3
工 種	鉄鋼小構造物	区 分	一 般
K - 56	鋼製掛樋 主桁継手部寸法表(4)		
設計番号	PF3-090-65-20~PF3-100-70-17		

関連図番	K-52~58

鋼製掛樋 上横構継手部寸法表

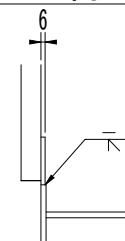
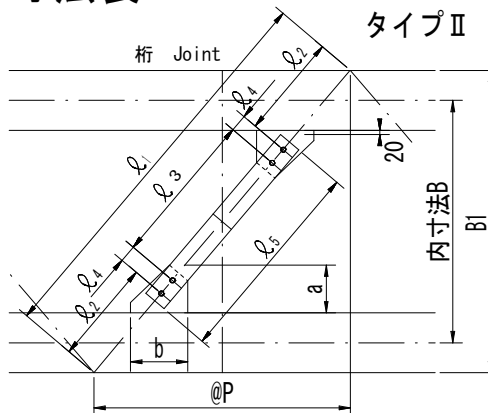
タイプⅠ

1-spl_R b×6×200
4-Guss_R 50×6×100
4-Bolt・Nut M12×30
桁 Joint



タイプⅡ

1-LサイズA× $\varnothing_5$
2-Guss_R a×6×b
4-Bolt・Nut呼びD× $\varnothing_6$



注 意 事 項

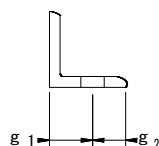
1. 継手を設ける場合に適用する。
2. 継手材料の規格

材 料 名	規 格
鋼 板	JIS G 3101 SS400
等辺山形鋼	JIS G 3192 SS400
鋼 ボ ル ト	JIS B 1180
鋼 ナ ッ ト	JIS B 1181

設計番号	B	B1	B2	P	a	b	c	d	e
PF2-040-35-〇〇	400	586	226	500	170	210	28.0	8.0	126
PF2-040-40-〇〇	400	606	206	567	150	190	28.0	8.0	106
PF2-045-40-〇〇	450	636	276	500	220	260	28.0	8.0	176
PF3-045-45-〇〇	450	679	239	500	180	220	29.5	9.5	139

設計番号	B	B1	P	$\varnothing_1$	$\varnothing_2$	$\varnothing_3$	$\varnothing_4$	$\varnothing_5$	a	b	呼びD	$\varnothing_6$	LサイズA
PF2-050-40-〇〇	500	689	500	851	280.5	210	40	350	115	145	M 12	30	40×40×5
PF3-050-45-〇〇	500	729	500	884	322	160	40	300	115	140	M 12	30	40×40×5
PF3-050-50-〇〇	500	729	500	884	322	160	40	300	115	140	M 12	30	40×40×5
PF2-055-45-〇〇	550	739	625	968	304	280	40	420	130	165	M 16	35	50×50×6
PF3-055-50-〇〇	550	779	625	999	349.5	220	40	360	130	160	M 16	35	50×50×6
PF2-060-45-〇〇	600	789	625	1007	298.5	330	40	470	130	160	M 16	35	50×50×6
PF3-060-50-〇〇	600	829	625	1038	344	270	40	410	130	160	M 16	35	50×50×6
PF2-065-50-〇〇	650	839	833	1183	341.5	400	50	570	150	195	M 16	35	65×65×6
PF3-065-50-〇〇	650	879	833	1211	385.5	340	50	510	150	190	M 16	35	65×65×6
PF2-070-50-〇〇	700	889	833	1219	329.5	460	50	630	150	190	M 16	35	65×65×6
PF3-070-50-〇〇	700	929	833	1248	379	390	50	560	150	190	M 16	35	65×65×6
PF2-080-55-〇〇	800	989	833	1293	311.5	570	50	740	150	180	M 16	35	65×65×6
PF3-080-55-〇〇	800	1029	833	1324	362	500	50	670	150	180	M 16	35	65×65×6
PF2-090-60-〇〇	900	1089	1000	1478	324	730	50	900	150	190	M 16	35	65×65×6
PF3-090-65-〇〇	900	1090	1000	1479	324.5	730	50	900	150	190	M 16	35	65×65×6
PF2-100-65-〇〇	1000	1190	1000	1554	312	830	50	1000	150	180	M 16	35	65×65×6
PF3-100-70-〇〇	1000	1192	1000	1556	313	830	50	1000	150	180	M 16	35	65×65×6

アングル材ゲージ寸法表



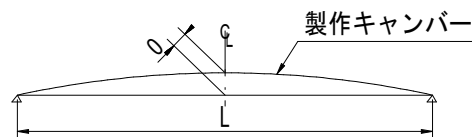
アングル寸法	g1	g2
40 × 40 × 5	22	18
50 × 50 × 6	30	20
65 × 65 × 6	35	30

関連図番	K-52~58
------	---------

農業農村整備事業標準設計			1980. 3
工 種	鉄鋼小構造物	区 分	一 般
K - 57	鋼製掛樋 上横構継手部寸法表		
設計番号	PF2-040-35-15~PF3-100-70-17		

鋼製掛樋 製作キャンバー寸法表

主桁キャンバー図



(単位 : mm)

設 計 番 号	支 間 長 L															
	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	14.0	15.0	16.0	17.0	18.0	19.0	20.0
PF1-040-30-〇〇	0	0	0	0	0	0	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
PF1-045-30-〇〇	0	0	0	0	0	0	0	6	—	—	—	—	—	—	—	—
PF1-050-35-〇〇	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
PF1-055-40-〇〇	0	0	0	0	0	0	0	5	—	—	—	—	—	—	—	—
PF1-060-45-〇〇	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
PF1-065-45-〇〇	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
PF1-070-50-〇〇	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
PF1-080-55-〇〇	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
PF1-090-60-〇〇	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
PF1-100-65-〇〇	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
PF2-040-35-〇〇	—	—	—	—	—	—	—	5	6	9	11	—	—	—	—	—
PF2-040-40-〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	14	—	—	—
PF2-045-40-〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	5	7	9	12	—	—	—	—
PF2-050-40-〇〇	—	—	—	—	—	—	0	0	5	7	9	12	—	—	—	—
PF2-055-45-〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	5	7	9	11	14	—	—	—
PF2-060-45-〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	0	6	8	10	13	—	—	—
PF2-065-50-〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	0	5	7	9	11	14	—	—
PF2-070-50-〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	0	5	7	9	12	—	—	—
PF2-080-55-〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	0	5	6	8	10	13	—	—
PF2-090-60-〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	5	7	9	—	—	—
PF2-100-65-〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	5	6	8	—	—	—
PF3-045-45-〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	16	—	—
PF3-050-45-〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	16	—	—
PF3-050-50-〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	19
PF3-055-50-〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	15	19
PF3-060-50-〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	16	19
PF3-065-50-〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	19
PF3-070-50-〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	15	19
PF3-080-55-〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	18
PF3-090-60-〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	12	15
PF3-100-70-〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	11	13

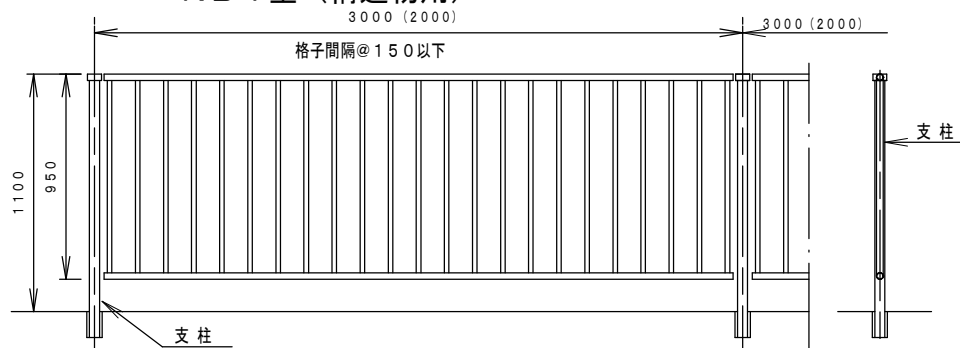
関連図番	K-52~57

注 意 事 項

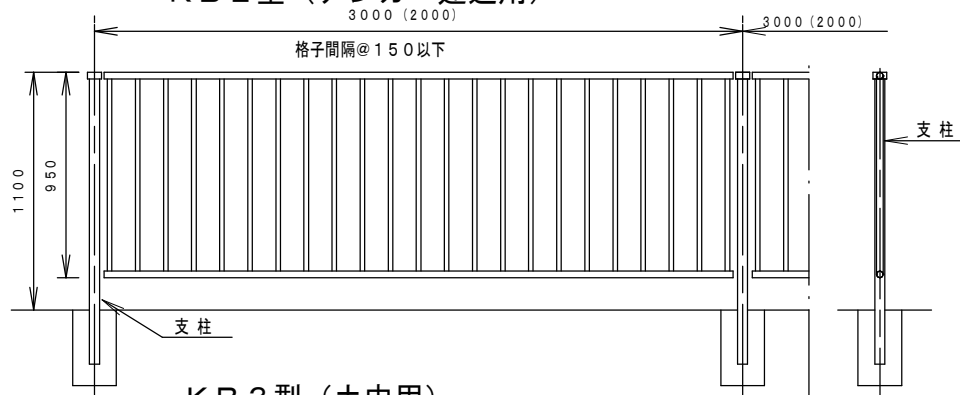
農業農村整備事業標準設計			1980. 3
工 種	鉄鋼小構造物	区 分	一 般
K - 58	鋼製掛樋 製作キャンバー寸法表		
設計番号	PF1-040-30-11~PF3-100-70-17		

格子フェンスB型

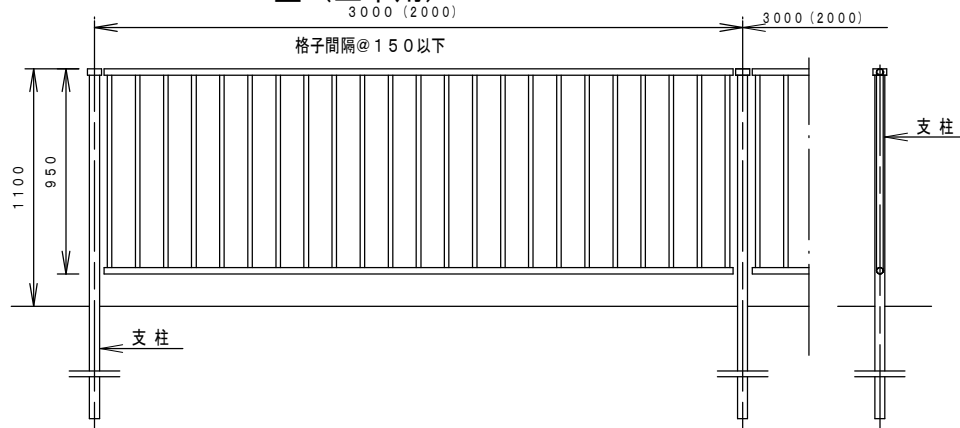
KB1型（構造物用）



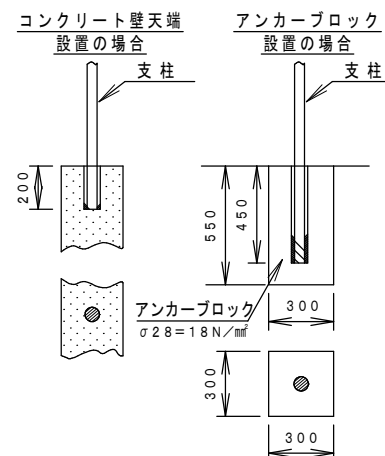
KB2型（アンカー建込用）



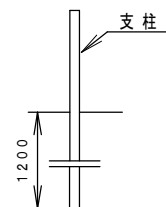
KB3型（土中用）



基礎構造図



土中設置の場合



KBO-LOO

支柱間隔2.0m→20 3.0m→30
フェンス規格の略号

注意事項

- 格子フェンスに使われる原管はJIS G-3444「一般構造用炭素鋼管」STK400を使用する。
- 塗装
塗装は、下地亜鉛メッキ処理＋静電粉体塗装とし、仕様は、標準設計図仕様書 4. 塗装による。
- コンクリートの仕様

種別	σ28	SL	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5 cm	40 mm	

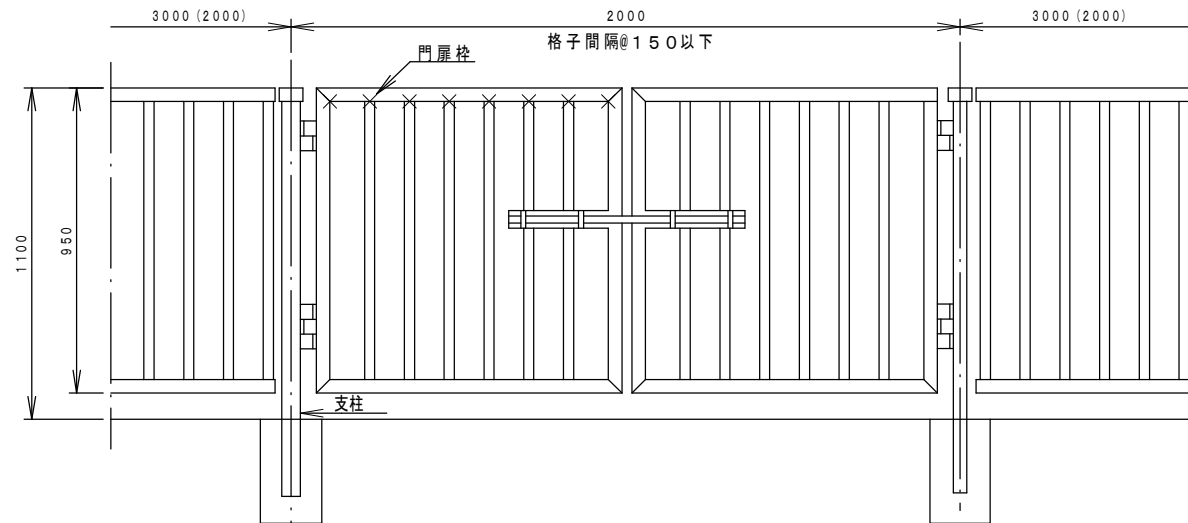
コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
- 出来形管理は、各寸法と延長とする。
- 設計変更は規格毎の延長の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工種	防護柵	区分	一般
K-60	格子フェンスB型		
設計番号	KB1-L20~KB3-L30		

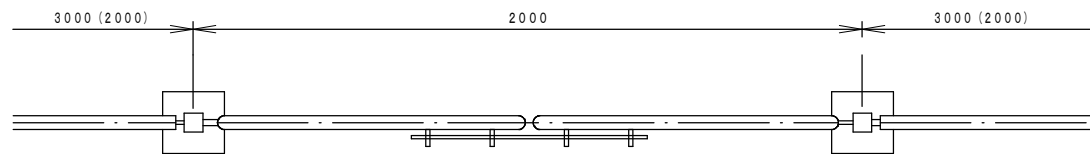
関連図番	K-61
	K-62

内扉D型

側面図

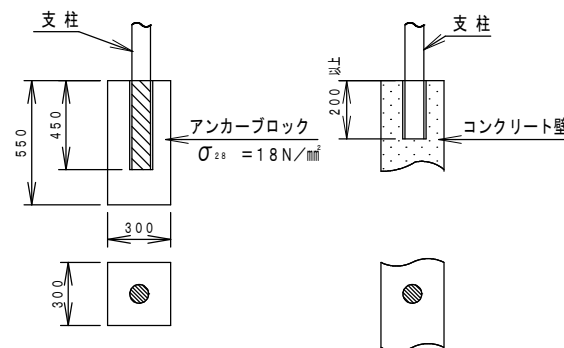


平面図

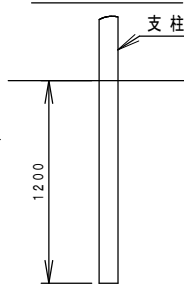


基礎構造図

アンカーブロック設置の場合 コンクリート壁天端設置の場合



土中設置の場合



KDトビラ

トビラ規格の略号

関連図番	K-60
	K-62

注意事項

- 格子フェンスに使われる原管はJIS G-3444「一般構造用炭素鋼管」STK400を使用する。
- 塗装
塗装は、下地亜鉛メッキ処理＋静電粉体塗装とし、仕様は標準設計図仕様書4. 塗装による。
- コンクリートの仕様

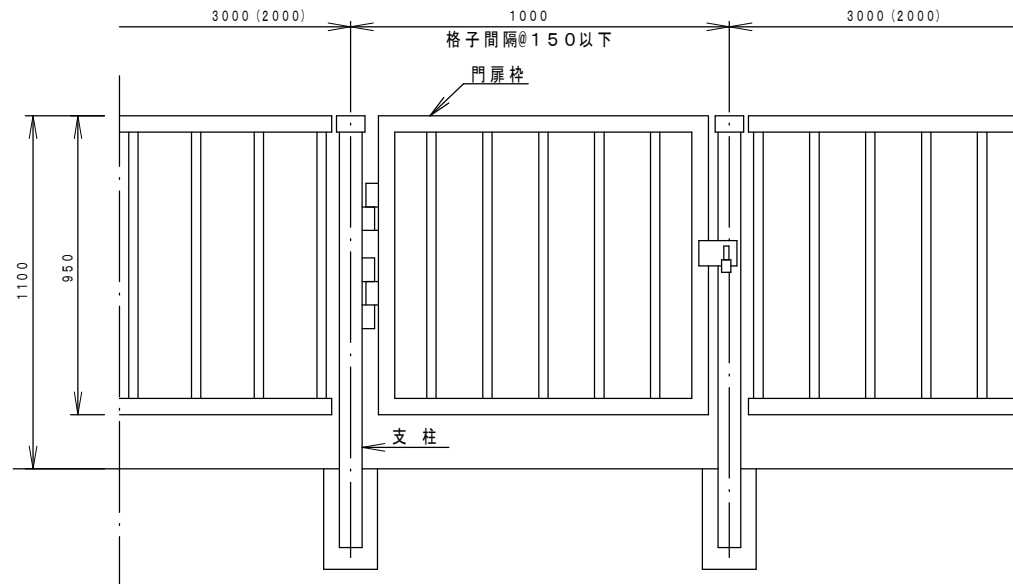
種別	σ ₂₈	SL	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5	40 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
- 出来形管理は、各寸法と延長とする。
- 設計変更は規格毎の延長の増減により行なう。

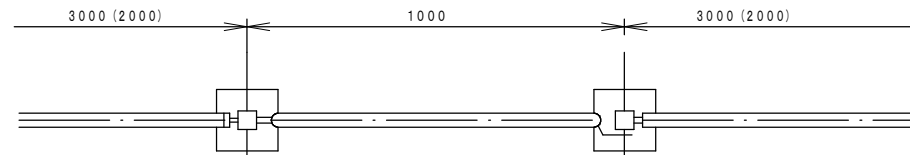
農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工種	防護柵	区分	一般
K-61	内扉D型		
設計番号	KDトビラ		

内扉 S 型

側面図



平面図

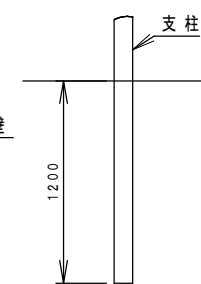
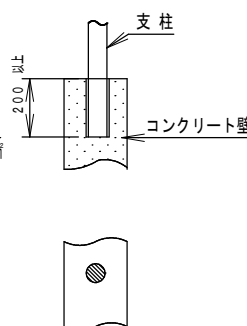
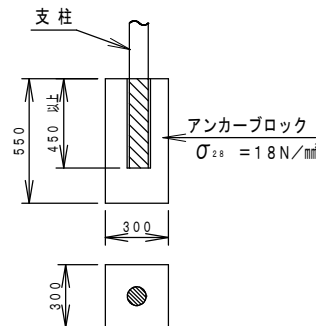


基礎構造図

アンカーブロック設置の場合

コンクリート壁天端設置の場合

土中設置の場合



K S トビラ

トビラ規格の略号

関連図番	K-60
	K-61

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	防 護 柵	区分	一 般
K-62	内 扉 S 型		
設計番号	K S ト ビ ラ		

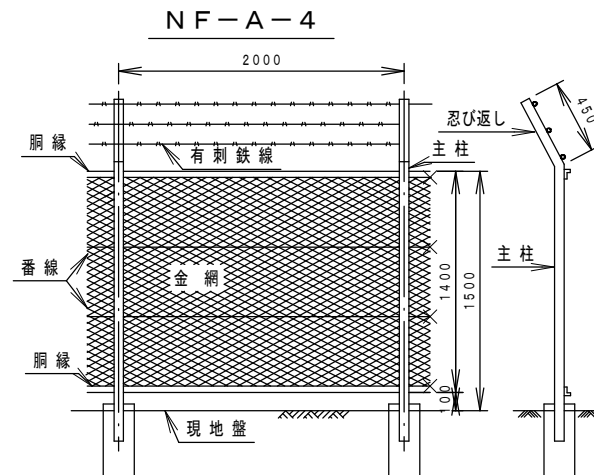
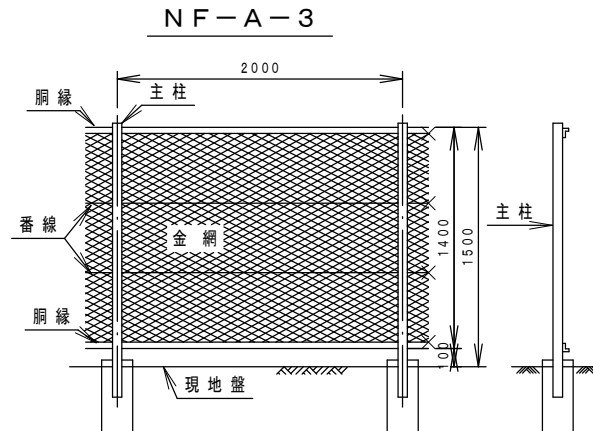
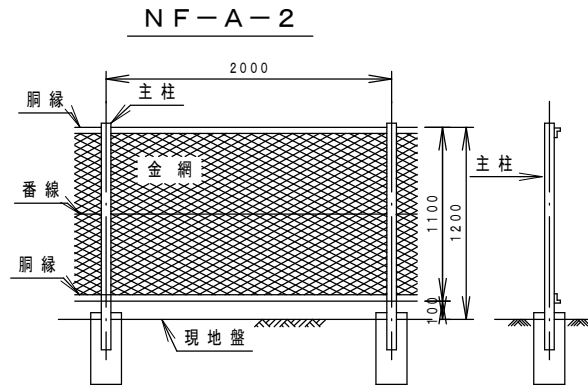
注 意 事 項

- 格子フェンスに使われる原管は J I S G-3444「一般構造用炭素鋼管」STK400を使用する。
- 塗装
塗装は、下地亜鉛メッキ処理＋静電粉体塗装とし、仕様は標準設計図仕様書 4. 塗装による。
- コンクリートの仕様

種 別	σ ₂₈	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5 mm	4.0 mm	

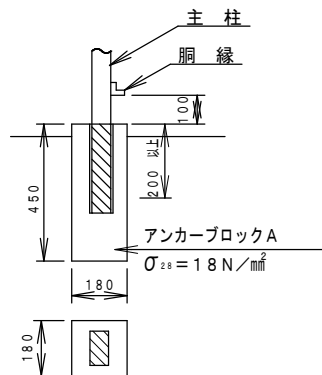
コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
- 出来形管理は、各寸法と延長とする。
- 設計変更は規格毎の延長の増減により行なう。

ネットフェンス（A型）

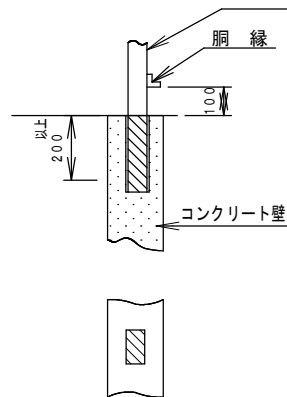


基礎構造図

アンカーブロック設置の場合



コンクリート壁天端設置の場合



NF-A-O

構造による区分
控え柱 有
ネットフェンスの略称

ネットフェンスの構造諸元表

設計番号	主柱間隔 (mm)	フェンスの高さ (mm)	忍び返し
NF-A-2	2000	1200	なし
NF-A-3	2000	1500	〃
NF-A-4	2000	1500	有

関連図番

注意事項

1. 材料の規格

- (1) 主柱、銅縁の材質
JISG3101 2種またはこれと
以上とする。

(2) 主柱断面性能

H	断面二次モーメント	断面係数
1200	4.11cm ⁴	1.71cm ³
1500	8.04〃	2.14〃

(注) 断面性能は柱断面の図心を通るフェンス方向の軸に関するものである。
主柱巾はパイプ以外のものについては
4.0cm以上とする（巾はネット延長）

(3) 銅縁断面性能

銅縁断面の図心を通る水平鉛直方向に関する断面係数を0.64cm³以上とする。

(4) 金網

ZGS6の56×56×3.2mmを標準とする。

(5) 番線

SWM-G3の3.2mmを標準とする。（JISG3532）

2. 塗装

支柱はJISH8641「溶融亜鉛メッキ」の亜鉛付着量をHDZ50（500g/m²以上）とし、銅縁その他金具類の付着量はHDZ35（350g/m²以上）

3. コンクリートの仕様

種別	σ28	SL	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18N/mm ²	8±2.5	40mm	

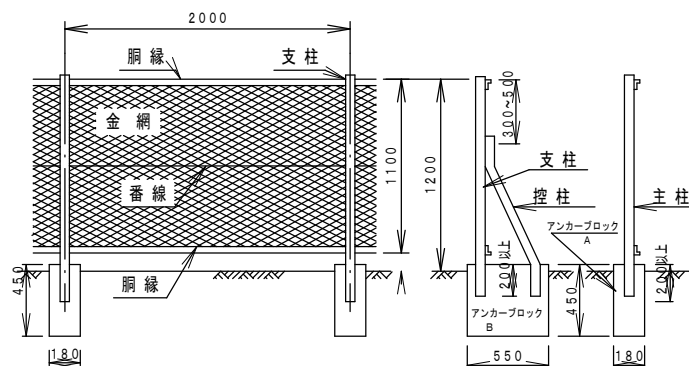
コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。

4. 出来形管理は各寸法と延長とする。

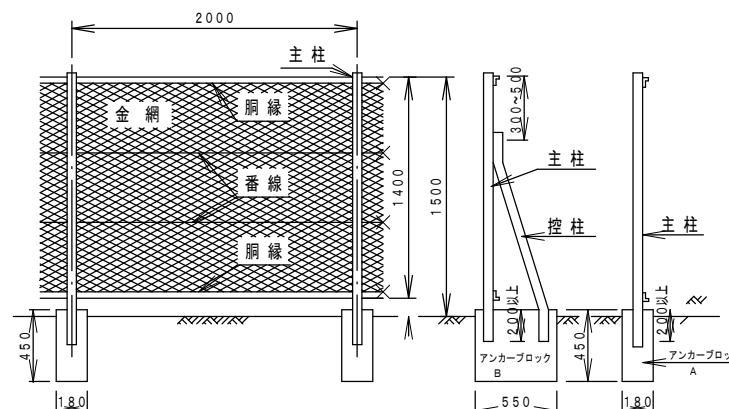
5. 設計変更は規格毎の延長の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2015.4
工種	防護柵	区分	一般
K-63	ネットフェンス（A型）		
設計番号	NF-A-2～NF-A-4		

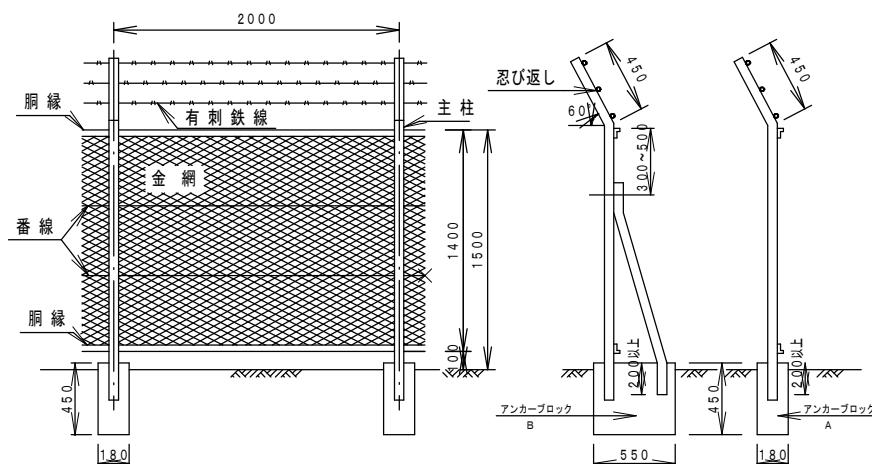
NF-B-1



NF-B-2



NF-B-3


$$\text{NF} - \text{B} - \text{O}$$

構造による区分

控え柱 有

ネットフェンスの略称

ネットフェンスの構造諸元表

設計番号	主柱間隔 (mm)	フェンスの高さ (mm)	忍び返し
NF-B-1	2000	1200	なし
NF-B-2	2000	1500	〃
NF-B-3	2000	1500	有

関連図書

1. 材料の規格

(1) JIS G 3101、2種またはこれ
と同等以上とする。

(2) 主柱、控え柱の断面性能

H	断面二次モーメント	断面係数
1200	238 cm ⁴ 以上	1.43 cm ³ 以上
1500	"	"

(注) 断面性能は柱断面の図心を通るフェンス延長方向の軸に関するものである。
巾はパイプ以外のものについては4. 0 cm以上とする。(巾はネット延長方向)
板厚は1. 6 mm以上とする。控え柱は隔本毎に布設する。

③ 胴縁の断面性能

H	断面二次モーメント	断面係数
1200	1.43 cm ⁴ 以上	0.8 cm ³ 以上
1500	1.68 cm ⁴ 以上	1.03 cm ³ 以上

(注) 断面性能は胴縁断面の図心を通る水平鉛直方向の両軸に関するものとする。

④金網

⑤ 標準
Z-GS6の56×56×3.2mmを
標準とする。

⑤ 番線

SWM-G3の3.2mmを標準とする。
(JIS G3532)

2. 涂装

支柱は J I S H 8 6 4 1 「容融亜鉛メッキ」の亜鉛付着量を H D Z 5 0 (5 0 0 g / m² 以上) とし胴縁その他金具類の付着量は H D Z 3 5 (3 5 0 g / m² 以上) とする。

3. コンクリートの仕様

種 別	σ_{28}	S L	Gmax	セメントの種別
無筋コンクリート	$18 \frac{\text{N}}{\text{mm}^2}$	$8 \pm 2.5 \frac{\text{cm}}{\text{mm}}$	40 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。

4. 出来形管理は各寸法と延長とする。

5. 設計変更は規格毎の延長の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計

2018. 10

工	種
---	---

防護柵

区分	一 般
----	-----

K-64

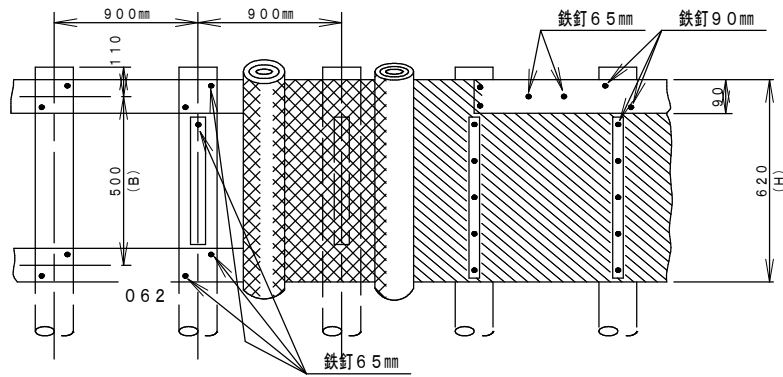
ネットフェンス（B型）

設計番号

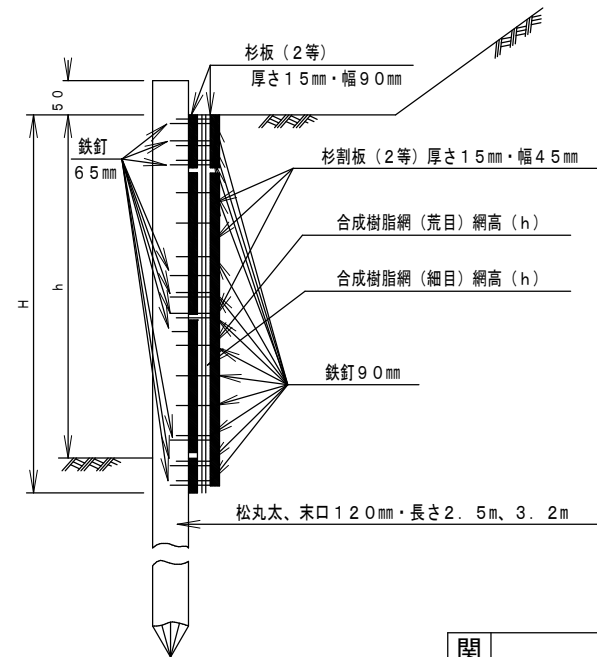
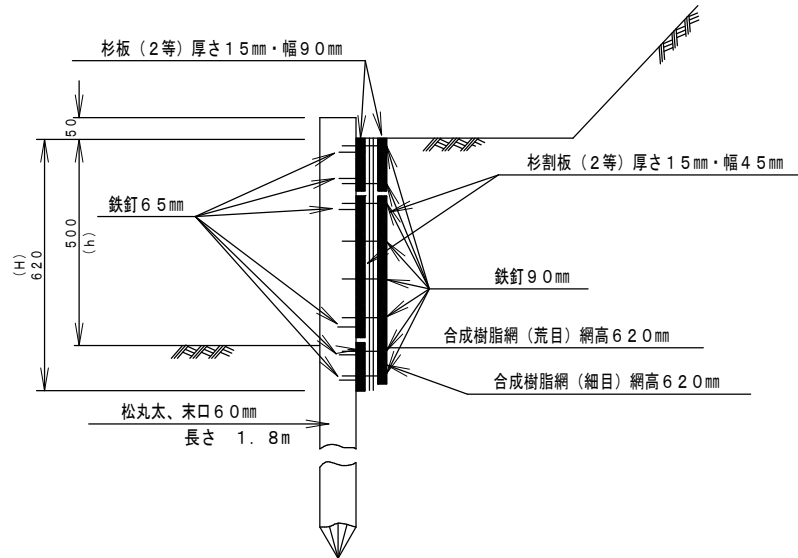
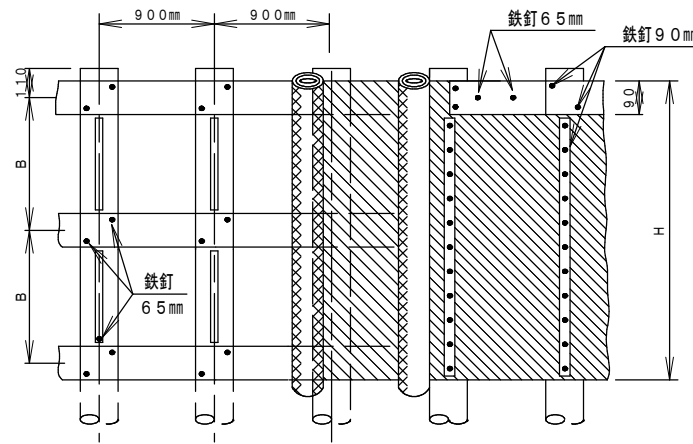
NF-B-1~NF-B-3

ネット柵工

NS-062



NS-100及びNS-124



設計番号	寸 法 表 (mm)					
	柵 高 (H)	地上高 (h)	B	網 高 (h)	杭 長 (L)	杭 末 (D) (S1)
NS-062	620	500	500	620	1800	60
NS-100	1000	800	440	1000	2500	120
NS-124	1240	1000	560	1240	3200	120

注 意 事 項

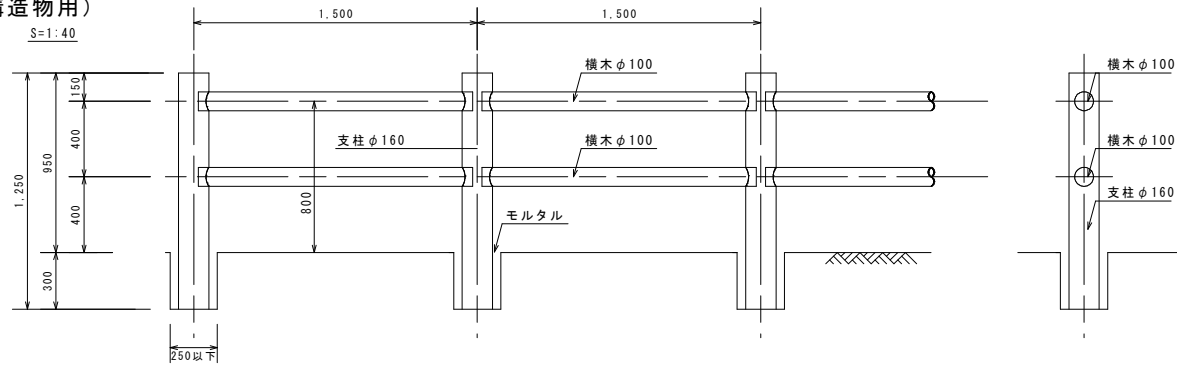
1. ネットの規格は、合成樹脂網、編柵工用を使用する。
2. 端部処理、施工位置の詳細については監督職員と打合わせのうえ施工する。
3. 出来形管理は、各寸法と施工延長とする。
4. 設計変更は、規格毎の施工延長の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	防 護 柵	区分	一 般
K-65	ネ ッ ト 柵 工		
設計番号	NS-062~NS-124		

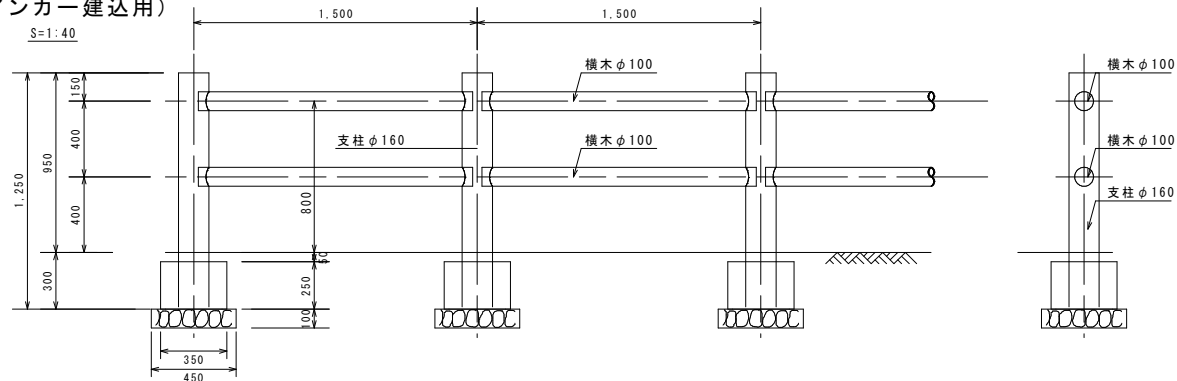
関連図番	

横断防止柵（間伐材利用）

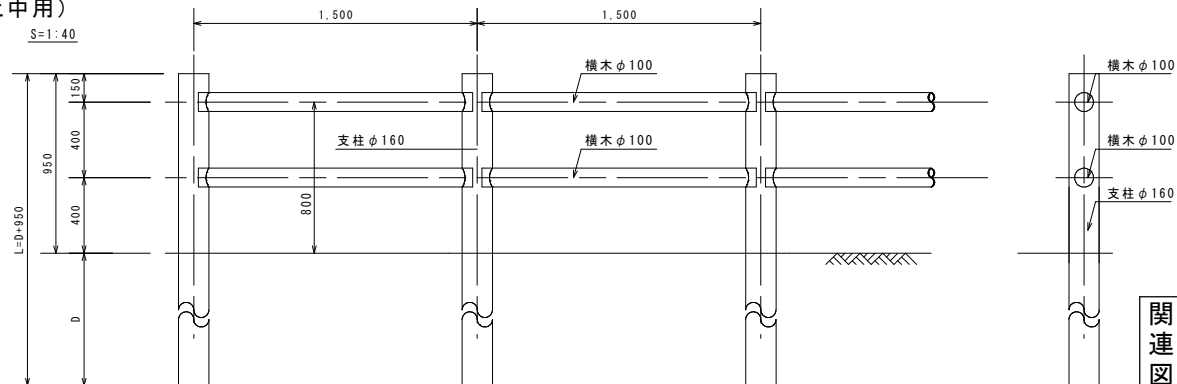
A 1 型（構造物用）



A 2 型（アンカー建込用）



A 3 型（土中用）



注 意 事 項

- 積雪深さに応じて支柱間隔を検討すること。
- 一般車両の通行に供される場所等、厳密な強度が要求される場所には使用しないこと。
- 材料の規格
 - 横木及び支柱材料
杉素材等の間伐材を使用すること。
 - 加工
ロータリー加工を行い、支柱には窄穴を行うこと。
 - 乾燥
乾燥率は30%以下とする。
- 薬剤及び防腐加工
水性薬剤ACQ、AAC等の薬剤を使用し、加工・乾燥を行った上で加圧注入法により防腐加工し、その結果が日本農林規格の性能区分K4、またはこれに相当するものであること。
- 柵高
地上から上段横木中心までの高さとする。
- 土中用の場合の根入れ深さ（D）
標準値は定めない。土質等現場条件に応じて、検討の上決定すること。

7. コンクリートの仕様

種 別	σ28	SL	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5 cm	40 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。

CGF-AO-15

支柱間隔

構造による区分

横断防止柵の略称

(Crossing Guard Fence) 2

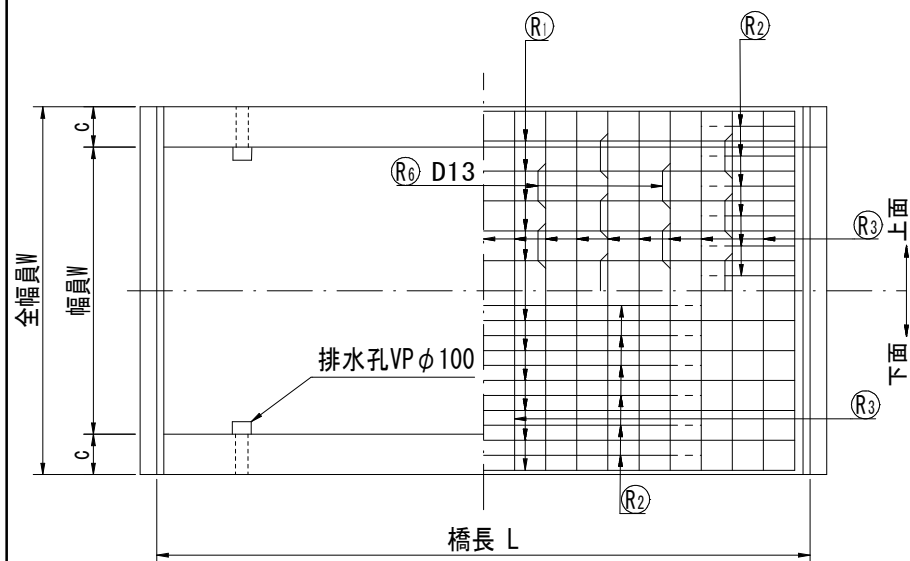
- | | |
|-----|---------|
| A 1 | 構造物用 |
| A 2 | アンカー建込用 |
| A 3 | 土中用 |

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	防 護 柵	区分	一 般
K-67	横断防止柵（間伐材利用）		
設計番号			

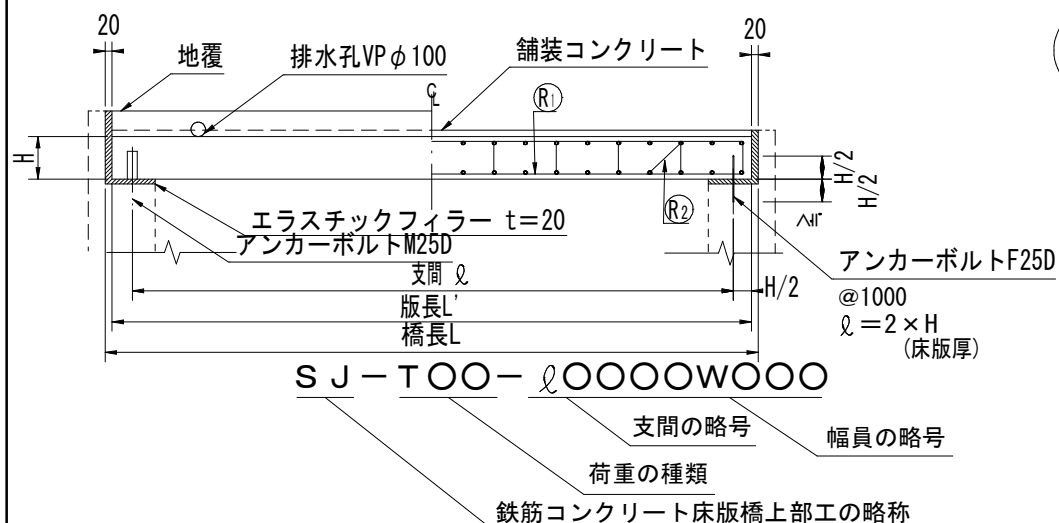
関連図番

鉄筋コンクリート床版橋上部工

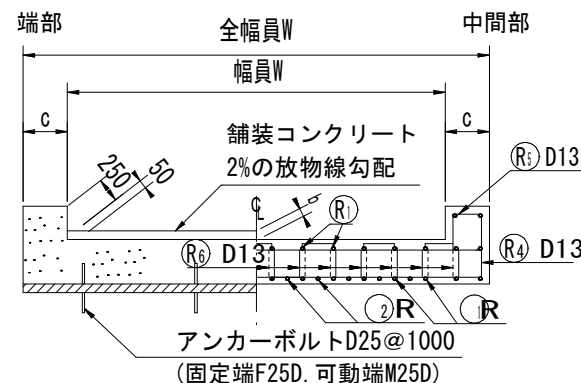
平面図



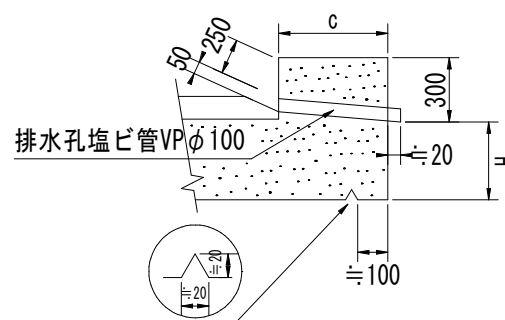
側面図



横断面図



地覆排水工の詳細図



舗装コンクリートbの寸法表(mm)

幅員 W	b
2500	75
3000	80
3500	85
4000	90
4500	95
5000	100
5500	105

地幅の幅cの寸法表(mm)

荷重の種類	c
T6	350
T10	500
T14	500

関連図番	K - 71

注意事項

- 設置位置の詳細および施工標高は監督職員の指示による。
- コンクリート仕様

種類	σ28	SL	Gmax	セメントの種類
舗装コンクリート	21 N/mm ²	12 ± 2.5	2.5 mm	
床版コンクリート				
地覆コンクリート				

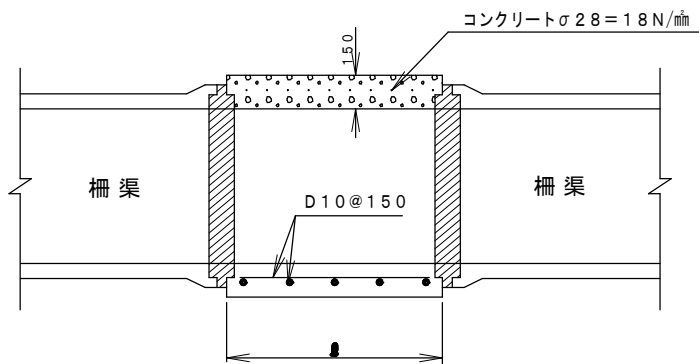
コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
- 塗装コンクリートは、床版コンクリートと同時に打設すること。
- 鉄筋は異形鉄筋(SD295)を標準とし、かぶりは5cmとする。
- 鉄筋配置は橋の中心から等間隔とし、端数が生ずる場合は、中間に1本配置する。
- 組立鉄筋の間隔は1本おきとし、千鳥に配筋することを標準とする。
- 排水工は1橋当り4か所とし、設置位置は端部から版長(L m) × 0.2を標準とする。但し、支間4.5m以下の場合は設けない。
- 可動端にも固定端と同様にアンカーボルト(可動用アンカーキャップ付)を埋設する。
- 出来形管理は、断面と施工延長とする。
- 設計変更は、規格毎の施工延長の増減により行う。
- 取付道路等のにのみ適用する。

農業農村整備事業標準設計			2021. 10
工種	橋梁	区分	一般
K - 70	鉄筋コンクリート床版橋上部工		
設計番号	SJ-T6-ℓ0200W250 ~SJ-T4-ℓ1000W550		

二次製品水路取付及び曲部現場打施工図

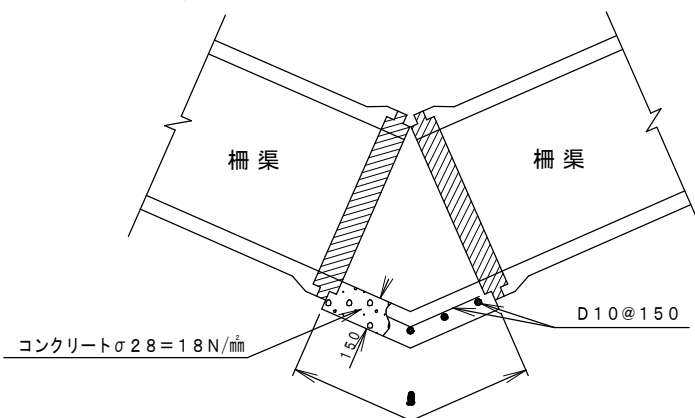
平面図

柵渠の取付

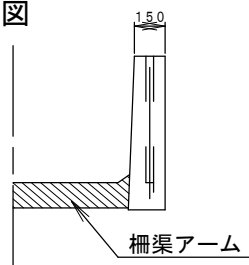


平面図

柵渠の曲部

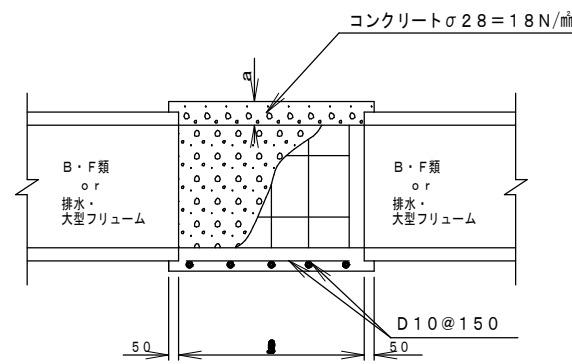


断面図



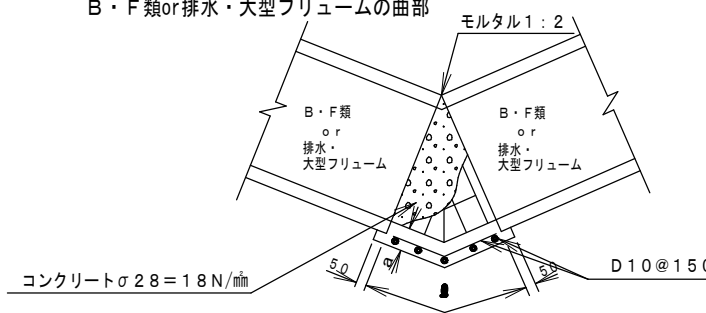
平面図

B・F類or排水・大型フリユームの取付

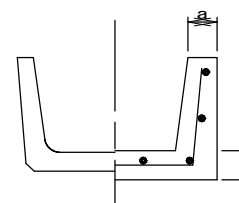


平面図

B・F類or排水・大型フリユームの曲部



断面図



寸法表 (mm)	
a	摘 要
130	ベンチフリユーム類
150	排水・大型フリユーム

- ※ 1. 現打部分 $\downarrow$ = 20cm以下の場合は無筋で良い。
2. B・F類及び排水・大型フリユームについては切断して使用しても良い。ただし接合部は入念に施工すること。

関連図番

注意事項

1. コンクリートの仕様

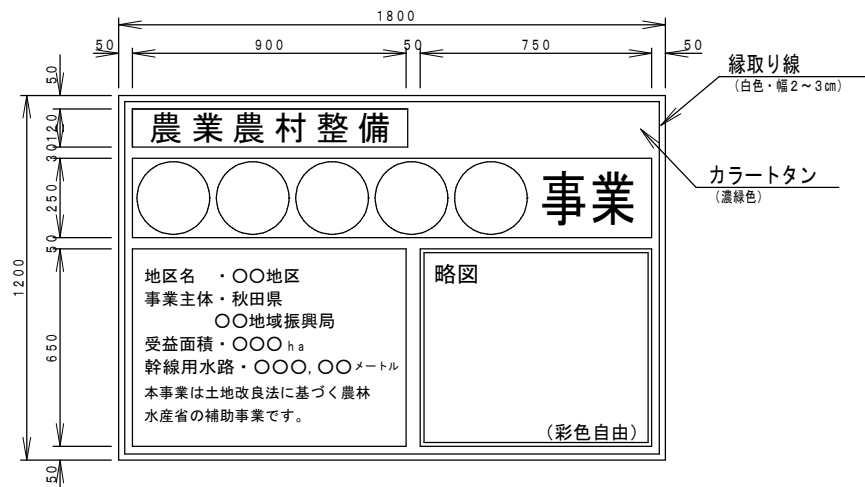
種 別	σ_{28}	SL	Gmax	セメントの種類
鉄筋コンクリート	21 N/mm^2	$12 \pm 2.5 \text{ cm}$	25mm	
無筋コンクリート	18 N/mm^2	$8 \pm 2.5 \text{ cm}$	40mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。

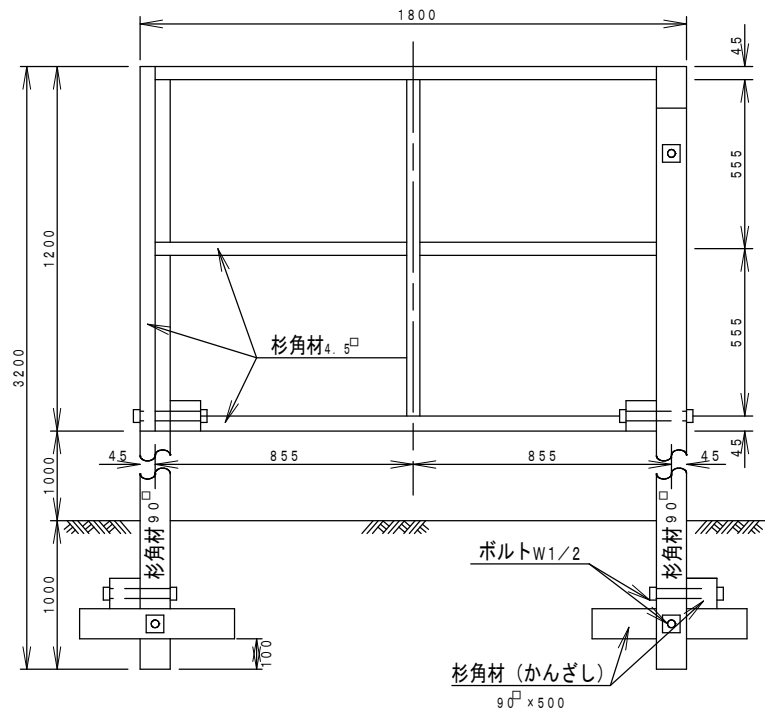
2. 鉄筋は異形鉄筋 (SD295) とし部材厚さの中央に配置すること。

農業農村整備事業標準設計		2021.10
工 種	区分	一 般
K-80	二次製品水路取付及び曲部現場打施工図	
設計番号		

標準規格（Aタイプ）



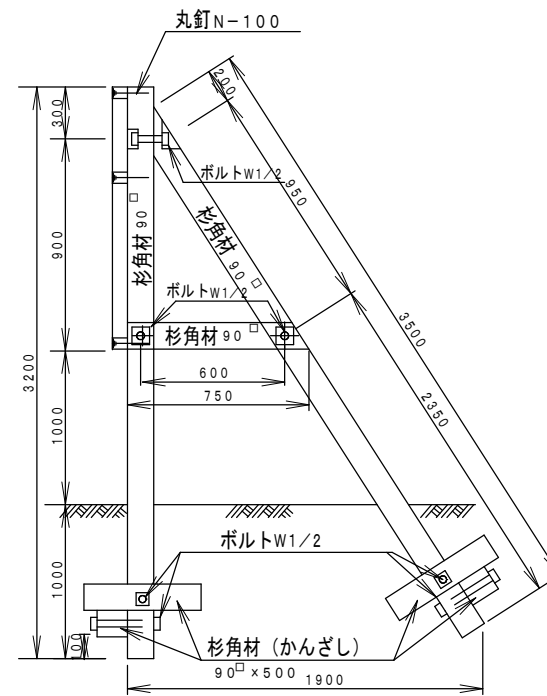
正面図 背面図



材料表

資材	規格	数量
木材	杉角材 90 [□] mm×3200mm	2 本
	杉角材 90 [□] mm×3500mm	2 本
	杉角材 90 [□] mm×750mm	2 本
	杉角材 45 [□] mm×1200mm	2 本
	杉角材 45 [□] mm×1710mm	3 本
	杉角材 45 [□] mm×1100mm	1 本
	杉角材 (かんざし) 90 [□] mm×500mm	8 本
	カラートタン29番 (濃緑色) 1300 [□] ×1900 [□]	1 枚
金物	丸釘 N-100	
	ボルトW1/2 (φ13) 210	14 本

側面図



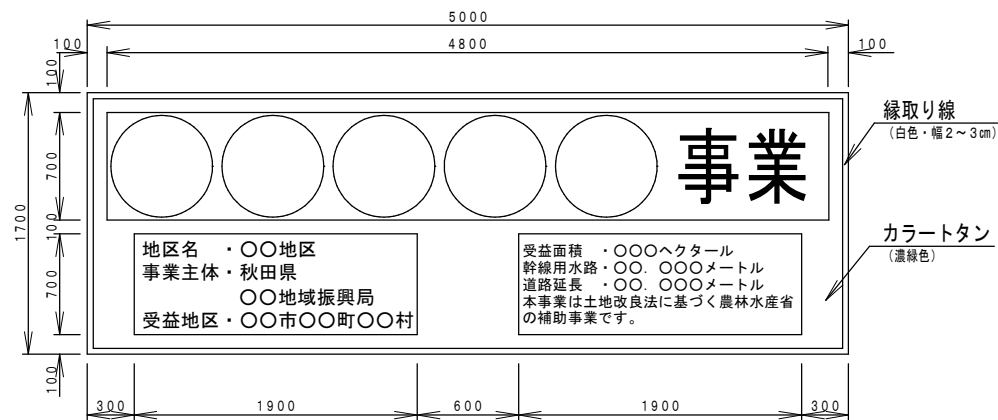
関連図番	

注意事項

1. トタンは緑色カラートタン（濃緑色、厚29番→0.35mm）
2. 文字はすべて白色。
3. 縁取り線は白色、幅2～3cm
4. 支柱・看板枠組等の角材は、かんざし、ペンキ塗装（灰色）
5. 事業名の文字幅は3～5cm
6. 事業用標識の記載内容は監督職員の指示による。

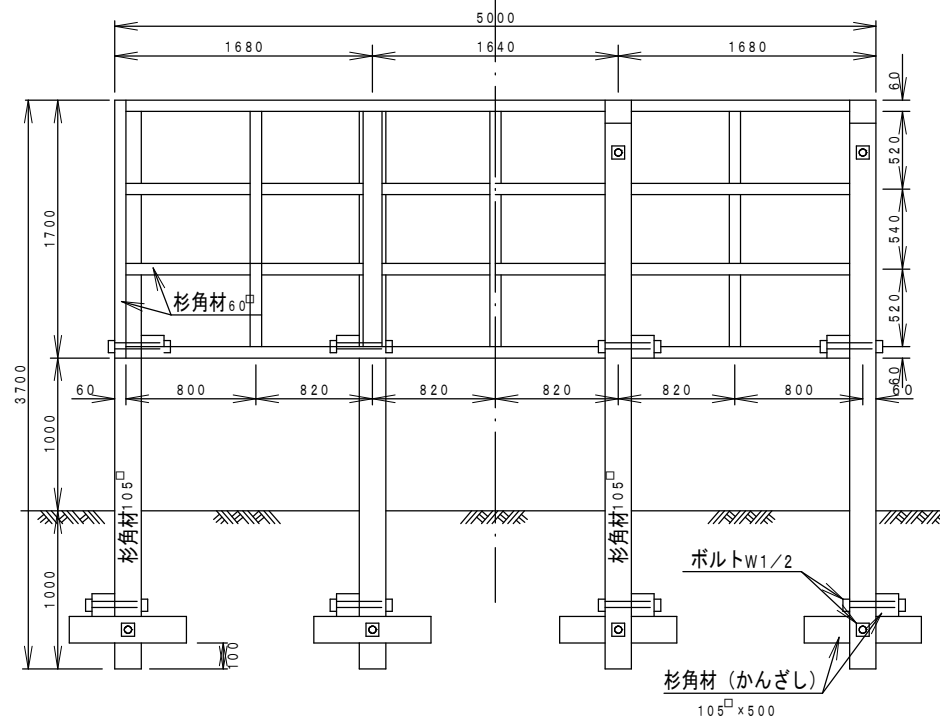
農業農村整備事業標準設計		2012. 4
工種	区分	一般
K-100	事業用標識（Aタイプ）	
設計番号		

標準規格（Bタイプ）



正面図

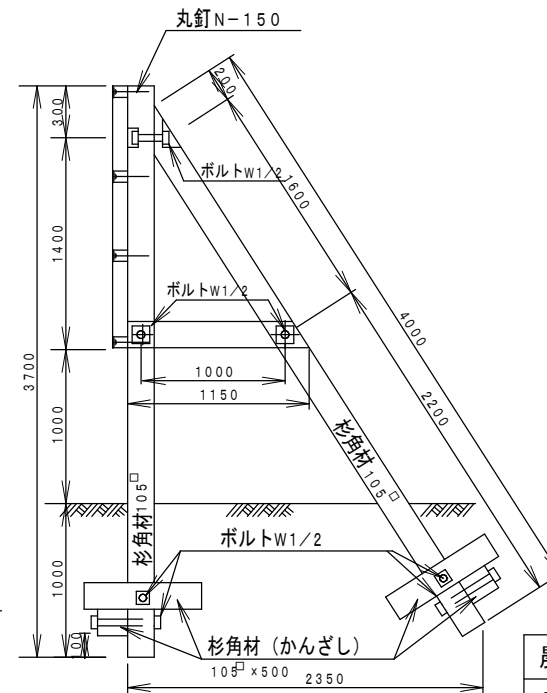
背面図



材料表

資材	規格	数量
木材	杉角材 105 [□] mm×3700mm	4 本
	杉角材 105 [□] mm×4000mm	4 本
	杉角材 105 [□] mm×1150mm	4 本
	杉角材 60 [□] mm×1700mm	2 本
	杉角材 60 [□] mm×1580mm	5 本
	杉角材 60 [□] mm×4880mm	4 本
	杉角材 105 [□] mm×500mm (かんざし)	16 本
金物	カラートタン29番(濃緑色) ⁵¹⁰⁰ ×1800	1 枚
	丸釘 N-150	
	ボルトW1/2 (φ13) L=210	28 本

側面図



注意事項

1. トタンは緑色カラートタン（濃緑色、厚29番→0.35mm）
2. 文字はすべて白色。
3. 縁取り線は白色、幅2～3cm
4. 支柱・看板枠組等の角材は、かんざし、ペンキ塗装（灰色）
5. 事業名の文字幅は5～7cm
6. 事業用標識の記載内容は監督職員の指示による。

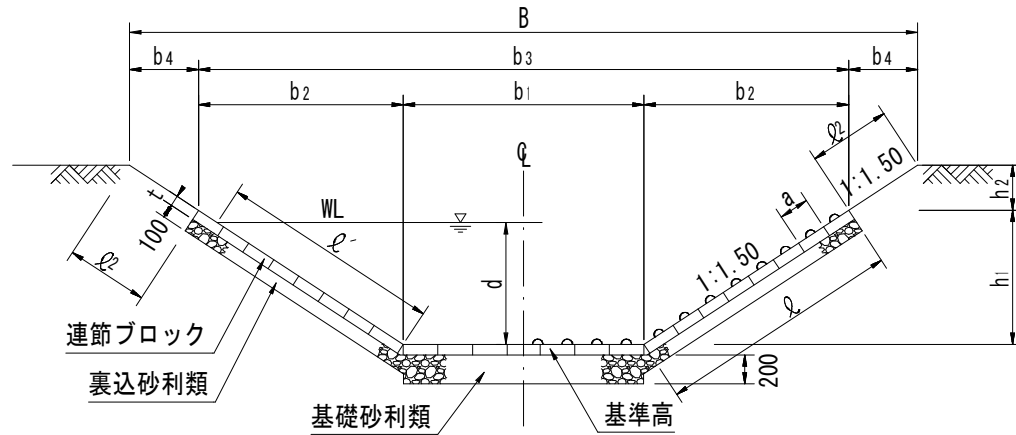
農業農村整備事業標準設計		2012. 4
工種		区分 一般
K-101	事業用標識（Bタイプ）	
設計番号		

関連図番	

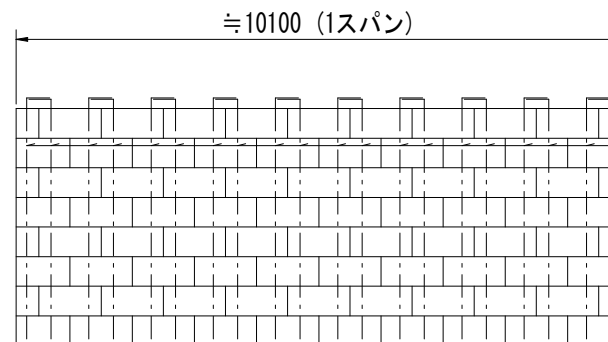
か ん が い 排 水 編

農業農村整備事業標準設計図

断面図



展開図



連結用鉄筋
(普通連節 φ9mm, 大型連節 φ13mm)

注意事項

1. 連節ブロックは特記仕様書に設計条件を示し承諾を与える。
2. 基礎砂利類、裏込砂利類は設計条件を満足し、かつ安価に入手できるものとし、種類、品質、規格は特記仕様書に規定する。
3. 連結鉄筋は普通丸鋼 (SR235) φ9mm (大型ブロックの場合、φ13mm) とし溶接長さは10cm以上とする。
4. 寸法算定式

$$l = a \times \text{枚数}$$

$$l' = \sqrt{1+m^2} \times d = 1.80277d$$

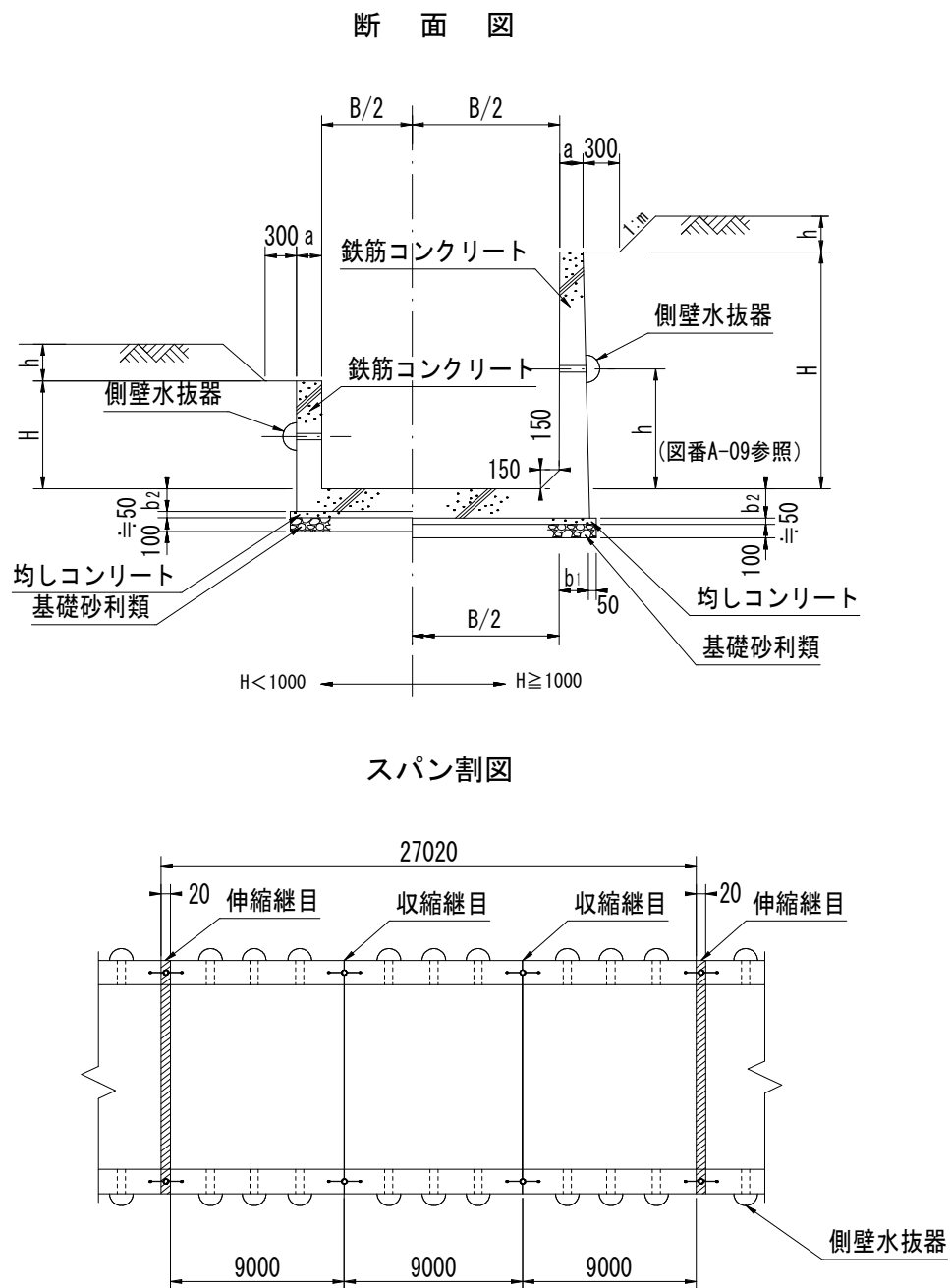
$$l_2 = \sqrt{1+m^2} \times h_2 = 1.80277h_2$$

$$h_1 = \frac{l}{\sqrt{1+m^2}} = \frac{l}{1.80277}$$

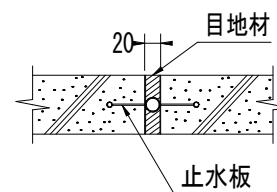
$$b_4 = 1.5h_2$$

農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	水 路	区 分	かんがい排水
A - 03	連節ブロック水路工		
設計番号			

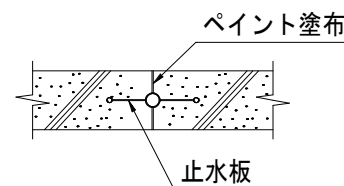
関	
連	
図	
番	



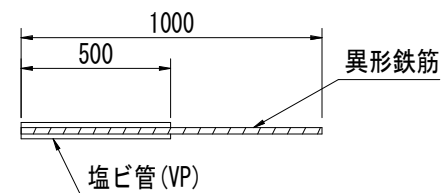
伸縮継目詳細図



収縮継目詳細図



ダウエルバー



注 意 事 項

1. コンクリートの仕様は次のとおりとする。

種 別	σ_{28}	SL	Gmax	セメントの種類
鉄筋コンクリート	21 N/mm ²	12 ± 2.5 cm	2.5 mm	

・コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
・均しコンクリートは出来形の対象としない。

2. 鉄筋は異形鉄筋 (SD295) とし、かぶり厚は 5 cm とする。

3. 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。

4. 伸縮目地材はエラストリック・フィラー (t=20) を使用する。

5. 側壁水抜き器等は図番 A-09 による。

6. ダウエルバーは伸・収縮目地の位置とし配置は床版配筋筋と同間隔に下側へ設置する。

主力筋径	塩ビ管径	ダウエルバー径
D13 mm 以下	φ 20 mm	D16 mm
D16 ~ D19 mm	φ 25 mm	D19 mm
D22 mm 以上	φ 30 mm	D25 mm

7. 側壁水抜き器の設置高

水 路 壁 高	設置高さ h	設置段数
$H \leq 900$ mm	$h \leq 300$ mm	1 段
$900 < H \leq 1,500$	$h = 300$	1 段
$1,500 < H \leq 2,000$	$h = 500$	1 段
$2,000 < H \leq 2,500$	$h = \frac{500}{1,500}$	2 段

8. コンクリート厚に対する止水板の幅

コンクリート厚 (mm)	止水板の幅 (mm)
200 以下	150 ~ 230
200 ~ 300	200 ~ 250
200 ~ 400	230 ~ 300
400 以上	300 以上

9. アンダードレーンを設置する場合は図番 A-10 による。

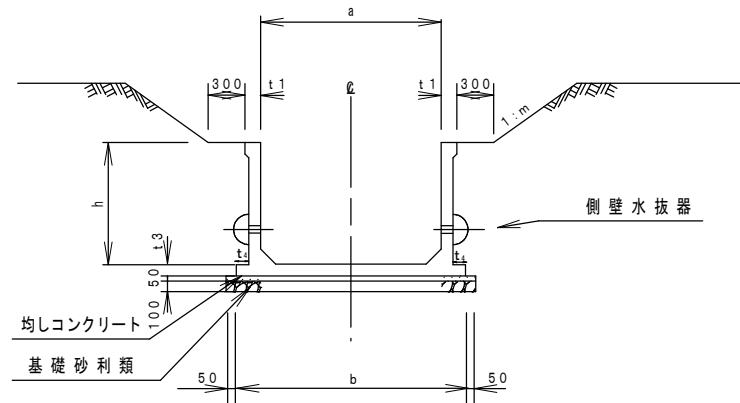
関連図番	A - 09
	A - 10

農業農村整備事業標準設計		2021. 10	
工 種	水 路	区 分	かんがい排水
A - 04	現場打ち コンクリート水路工		
設計番号			

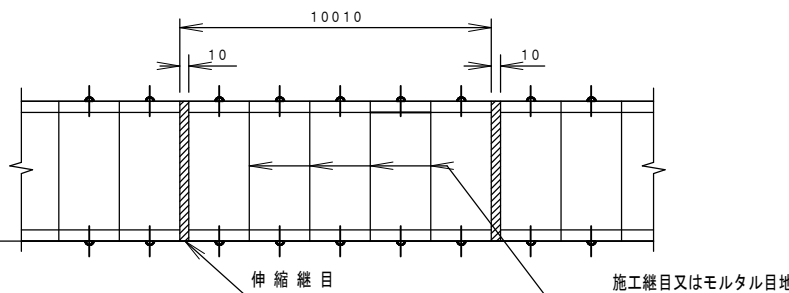
注 意 事 項

- 大型フリームの種類、規格、許容モーメントは特記仕様書による。
- 目地について
 - 目地の詳細については図番 A-07 による。
 - 1 スパンを 10.01m とし 1 スパンに 1 個所、側壁、床版とも伸縮継目を使用する。
 - モルタル目地はモルタル (mix 1:2) とする。
- 側壁水拔器は図番 A-09 による。
- アンダードレーンを設置する場合は図番 A-10 による。

断 面 図



スパン割図



※ 施工継目及び伸縮継目は用水のみ施工

OF-0000
 内幅aの略号
 内高hの略号
 大型フリームの略称
 (Oogata Flume)

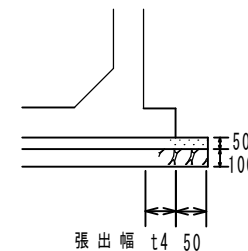
目 地 区 分

用排水区分	水路区分	目地
用水	幹線	伸縮継目+施工継目
	上記以外	伸縮継目+モルタル目地
排水	幹線	-
	上記以外	-

寸 法 表

設計番号	寸法表(mm)			
	h	a	b	t4
OF-0810	800	1,000	1,140	-
OF-0812		1,200	1,440	50
OF-0814		1,400	1,640	50
OF-0816		1,600	1,940	100
OF-0818		1,800	2,140	100
OF-0820	900	2,000	2,340	100
OF-0910		1,000	1,150	-
OF-0912		1,200	1,450	50
OF-0914		1,400	1,650	50
OF-0916		1,600	1,950	100
OF-0918	1,000	1,800	2,150	100
OF-0920		2,000	2,350	100
OF-1010		1,000	1,150	-
OF-1012		1,200	1,350	-
OF-1014		1,400	1,650	50
OF-1016		1,600	1,850	50
OF-1018		1,800	2,150	100
OF-1020	1,200	2,000	2,350	100
OF-1210		1,000	1,170	-
OF-1212		1,200	1,370	-
OF-1214		1,400	1,570	-
OF-1216		1,600	1,870	50
OF-1218		1,800	2,070	50
OF-1220		2,000	2,370	100

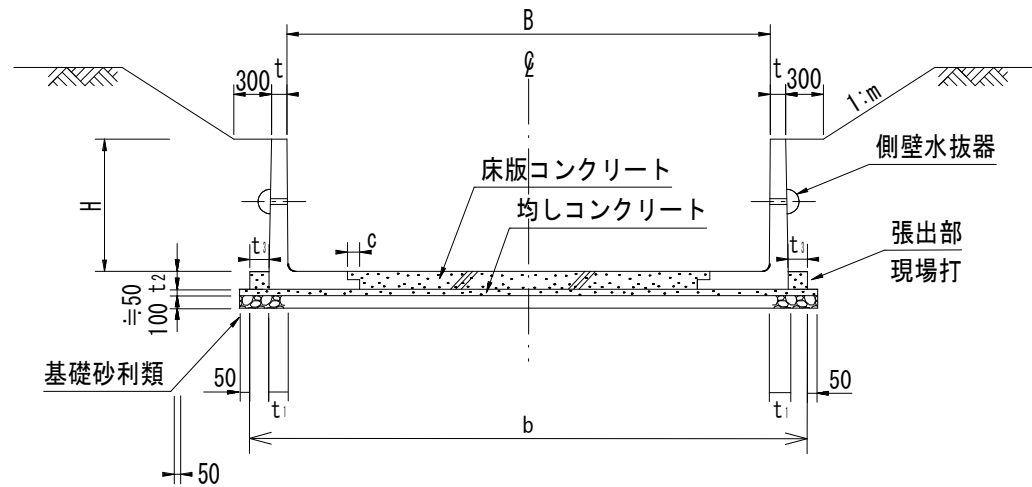
張 出 部



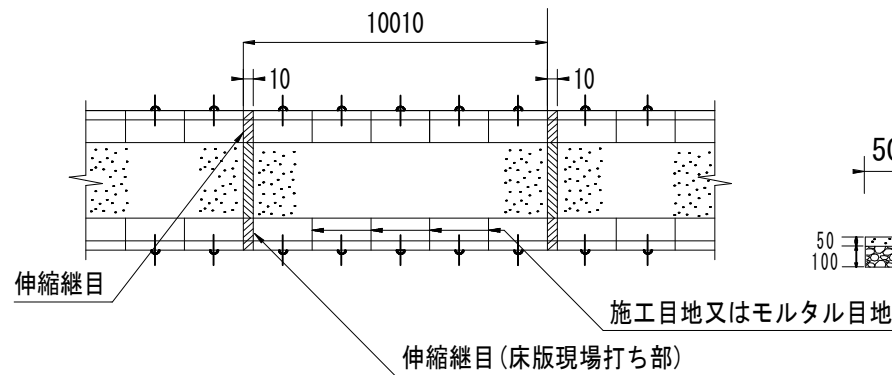
関連図番	A-07
	A-09
	A-10

農業農村整備事業標準設計			2021.10
工 種	水 路	区分	かんがい排水
A-05	大型フリーム工		
設計番号	OF-0810~OF-1220		

断面図



スパン割図



LF-〇〇〇〇-〇〇

張り出し寸法t3の略号(例 10cmの場合→10)

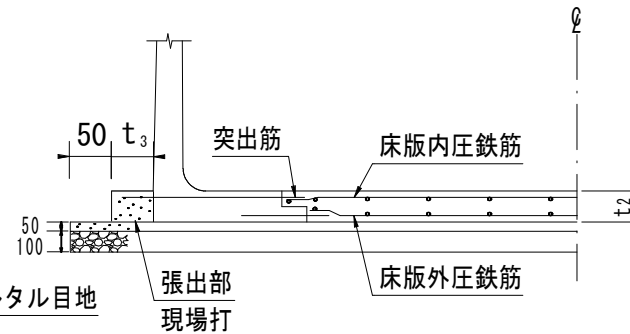
内幅Bの略号

内高Hの略号

L型フリュームの略称

(L g a t a F l u m e)

床版配筋図



注意事項

1. コンクリートの仕様は次のとおりとする。

種 別	σ 28	S L	G m a x	セメント の 種 類
鉄筋コンクリート	21 N/mm ²	12±2.5	25	

・コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
・均しコンクリートは出来形の対象としない。

2. 鉄筋は異形鉄筋 (S D 2 9 5) とし、かぶりは L 型フリューム突出筋と一致させる。

3. 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。

4. 側壁水拔器等は図番 A-09 による。

5. 目地について

(1) 目地の詳細については図番 A-07 による。

(2) 1 スパンを 10.01m とし、1 スパンに 1 箇所、伸縮継目を施工する。

6. L 型フリューム突出鉄筋と現場打床版鉄筋の結束について

(1) 結束線により施工する場合は突出長を鉄筋径の 30 倍以上とする。

(2) 溶接により施工する場合
鉄筋の突出長さは農業土木事業協会規格により片面全溶接とし溶接長は下記とする。

鉄筋径	9	13	D 10	D 13	D 16
溶接長	70 mm	90	70	90	140

○ 軟鋼被覆アーク溶接棒によるアーク溶接とする。

7. アンダードレーンを設置する場合は図番 A-10 による。

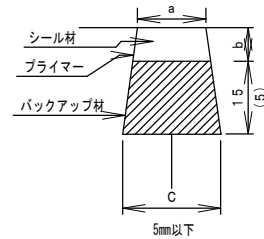
8. 床版及び張出部の配筋については、別途監督員の指示による。

関連図番	A - 07
	A - 09
	A - 10

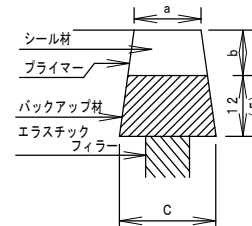
農業農村整備事業標準設計			2021. 10
工 種	水 路	区 分	かんがい排水
A - 06	L 型 フリューム エ		
設計番号	L F - 〇〇〇〇 - 〇〇		

目地詳細図

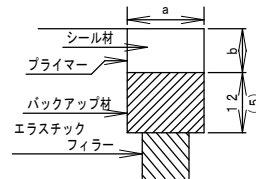
施工継目



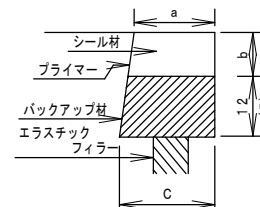
伸縮継目



伸縮継目 (底版現場打ち部)



伸縮継目 (L型ブロック・ 大型フリーム +現場打ち部)



注意事項

1. 目地について

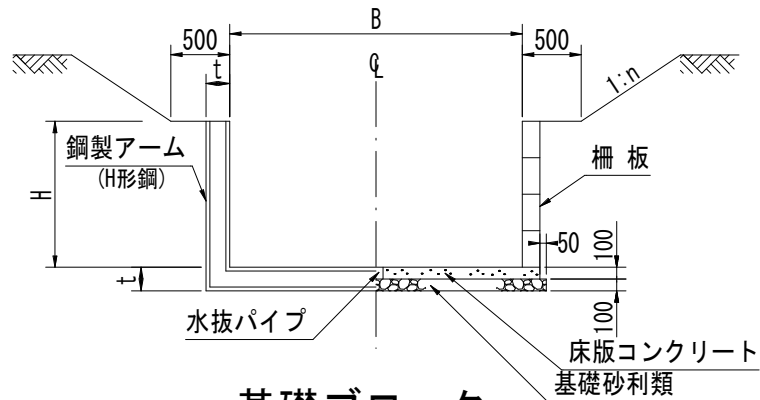
- (1) 伸縮目地剤はシリコン系を標準とする。
- (2) 伸縮目地としてエラストック・ファイラー (t=1.0)、又バックアップ材は、スポンジあるいはゴム粘土等の弾力性のあるものを使用する。
- (3) () はウレタン系の寸法とする。
- (4) 施工継目のC値は5mm以下とする。

農業農村整備事業標準設計			2021. 10
工 種	水 路	区分	かんがい排水
A-07	目地詳細図		
設計番号			

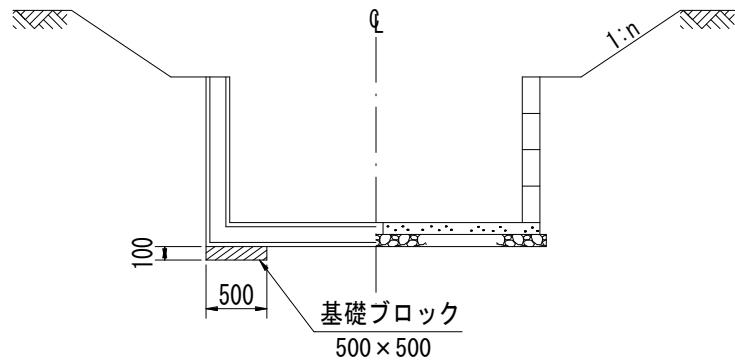
関連図番	A-04
	A-05
	A-06

断面図

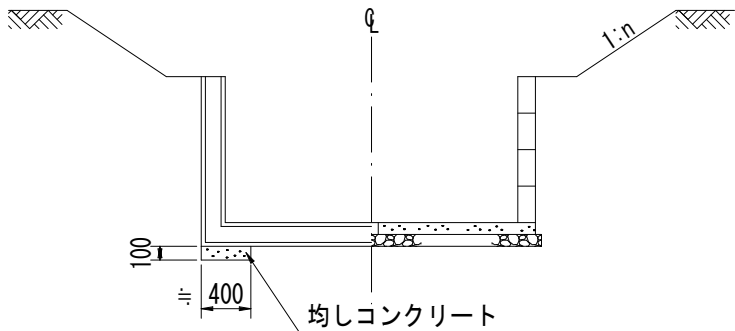
無基礎(基礎砂利類)



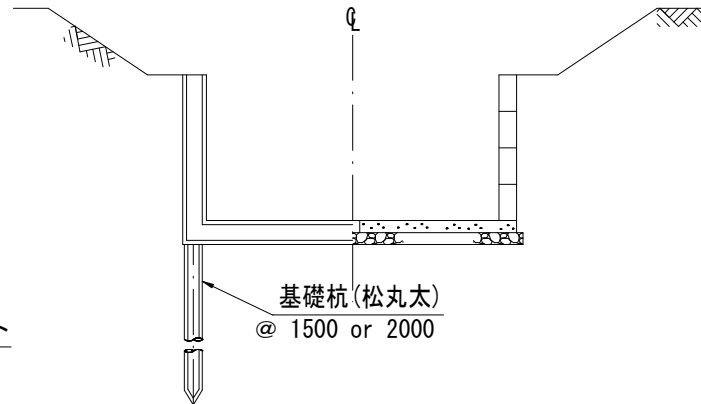
基礎ブロック



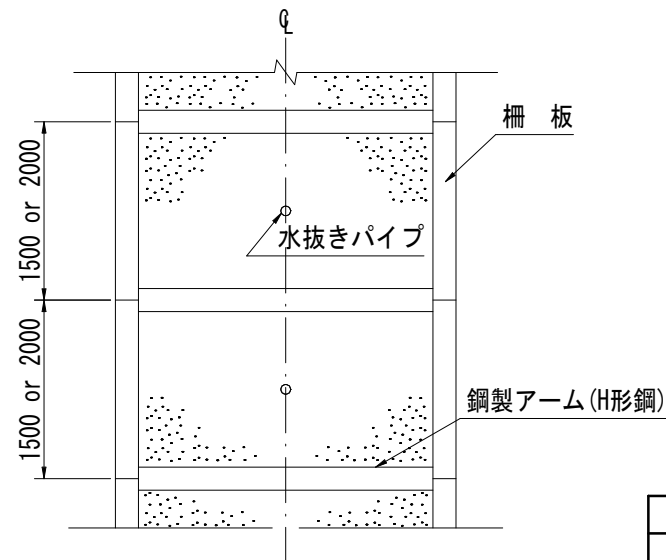
均しコンクリート



基礎杭



平面図



関連図番	

注意事項

1. 柵渠アームは鋼製(H形鋼)柵板はコンクリート製とし最下段は切欠板を使用し、双方とも特記仕様書に設計条件を示し、承諾を与える。
2. コンクリートは普通コンクリートとし、その仕様は次のとおりとする。

種別	σ28	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 $\frac{N}{mm^2}$	8±2.5 $\frac{cm}{mm}$	40 $\frac{mm}{mm}$	

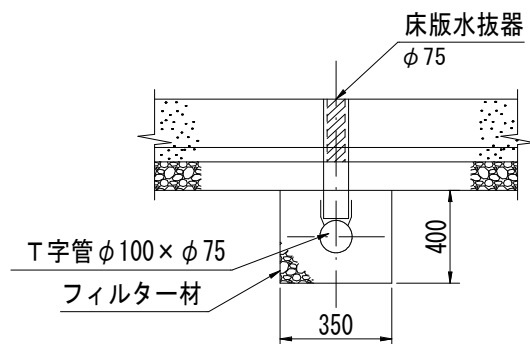
・コンクリートの仕様の詳細は、「レディミクストコンクリート標準使用基準」による。
・均しコンクリートは出来形の対象としない。

3. 基礎砂利類は設計条件を満足し、かつ安価に入手できるものとし、種類、品質、規格は特記仕様書に規定する。
4. 床版に水抜パイプを設置する場合
 - (1) $B < 3.0m$ は中央1列
 - (2) $B \geq 3.0m$ は2列 但し現場状況に応じて増やすことができる。
側壁からの位置は $B/3$
5. 基礎砂利、均しコンクリート、床版コンクリート及び水抜きパイプについては現場状況を検討の上設置すること。
6. 無基礎、基礎ブロック、均しコンクリート、基礎杭等の各工法を現場状況を検討の上、設計する。

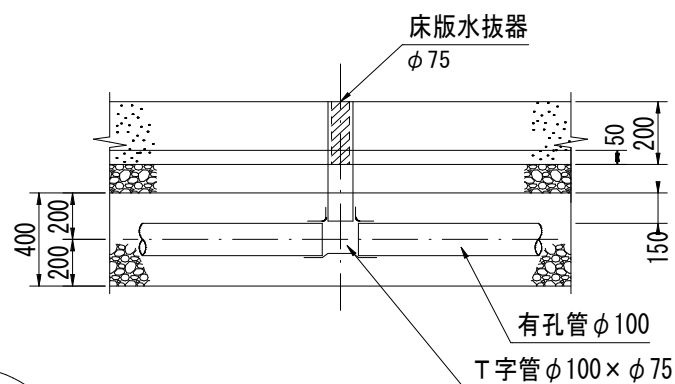
農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工種	水路	区分	かんがい排水
A - 08	鋼製柵渠工		
設計番号			

床版水抜詳細図

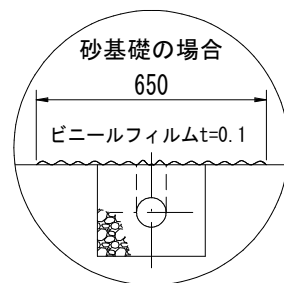
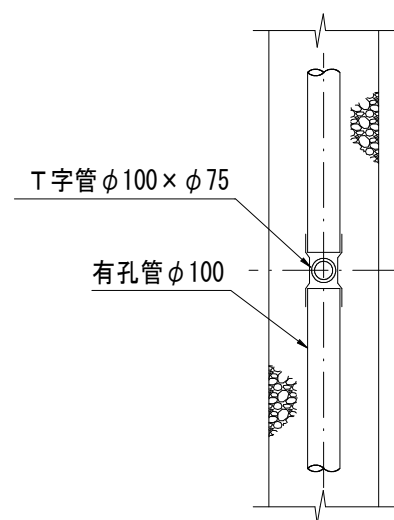
断面図



側面図



平面図



SD1-〇〇.〇〇-O-O

連数 1連 1・2連 2

ビニールフィルムの有無 有F・無N

水抜器間隔(m)

床版水抜の略称

注意事項

1. 床版水抜器

- (1) 床版水抜器は内径75mmとしアンダードレーンの有孔管と接続させる。
- (2) アンダードレーンは水路幅(B)が3m未満までは床版中央部に1列とし、3m以上の場合は側壁からの位置を $l \leq B/3$ として2列とする。
- (3) 床版水抜器の長さは200mmを標準としT字管との接続はφ100mmを使用する。但し l=200mm以上の製品を使用してT字管に直接組合せできる場合はつなぎ管は不用である。

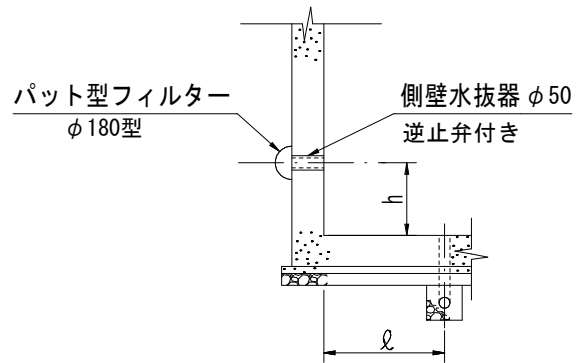
工 種	つなぎ管の長さ
現場打フリューム	300mm以上
既成品フリューム	200 "

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	水 路	区 分	かんがい排水
A - 09	床版水抜及び側壁水抜 (1)		
設計番号	SD1-〇〇.〇〇-F -1~SD1〇〇.〇〇-N-2		

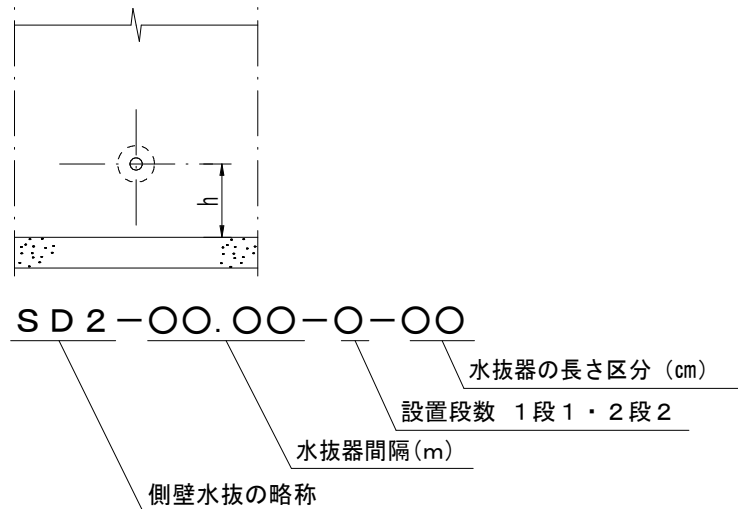
関連図番	A - 10

側壁水抜詳細図

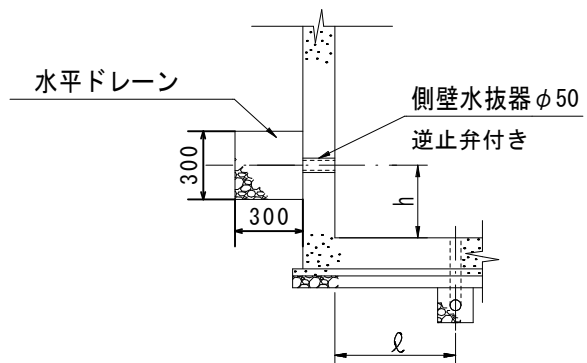
側面図



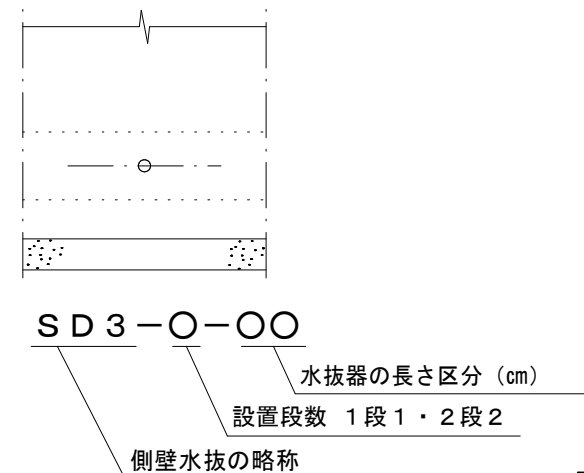
正面図



側面図



正面図



注意事項

2. 側壁水抜器

(1) 側壁水抜器は内径50mmとする。

(2) 側壁水抜器の設置高

水路壁高		設置段数
$H \leq 900_{\text{mm}}$	$h \leq 300_{\text{mm}}$	1 段
$900 < H \leq 1,500$	$h = 300$	1 段
$1,500 < H \leq 2,000$	$h = 500$	1 段
$2,000 < H \leq 2,500$	$h = \frac{500}{1,000}$	2 段

3. パット型フィルターのフィルター材はφ25～5の砂利を詰める。

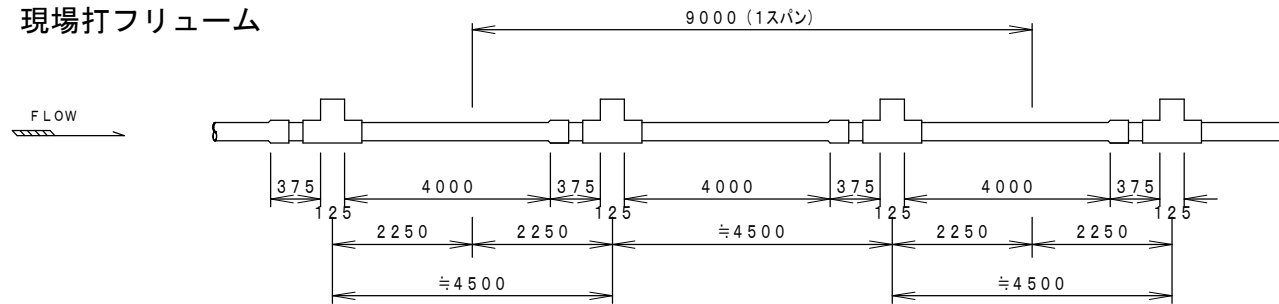
4. 水平ドレーンに使用する砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。

農業農村整備事業標準設計			2019. 10
工 種	水 路	区 分	かんがい排水
A - 09	床版水抜及び側壁水抜 (2)		
設計番号	SD2-○○.○○-1 -18-○○~SD3-2-30		

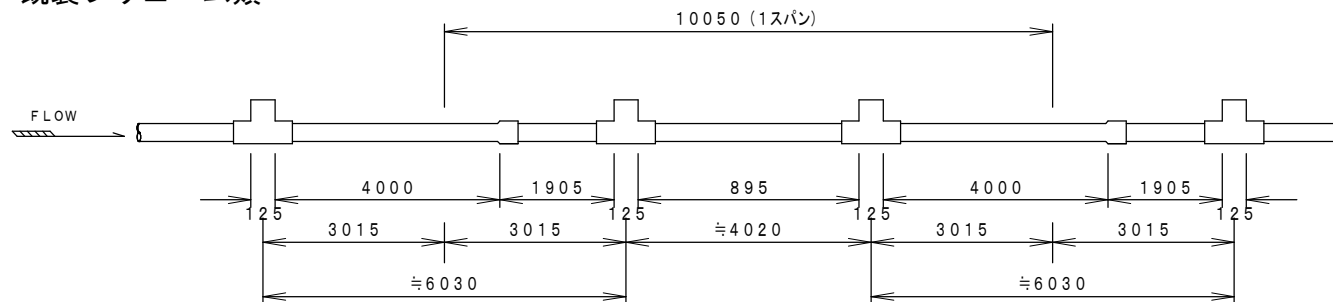
関連図番	A - 10

配置模式図

現場打フリューム



既製フリューム類



注意事項

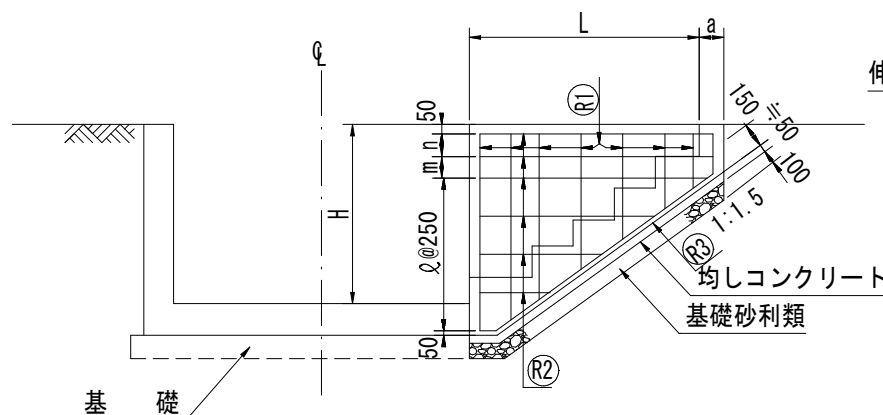
1. 現場打フリューム
1 スパン $\Phi = 9.0 \text{ m}$
(床版水抜器 1 スパン 2 ケの場合)
2. 既製フリューム
1 スパン $\Phi = 10.05 \text{ m}$
(床版水抜器 1 スパン 2 ケの場合)

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	水 路	区分	かんがい排水
A-10	アンダードレーン (2)		
設計番号			

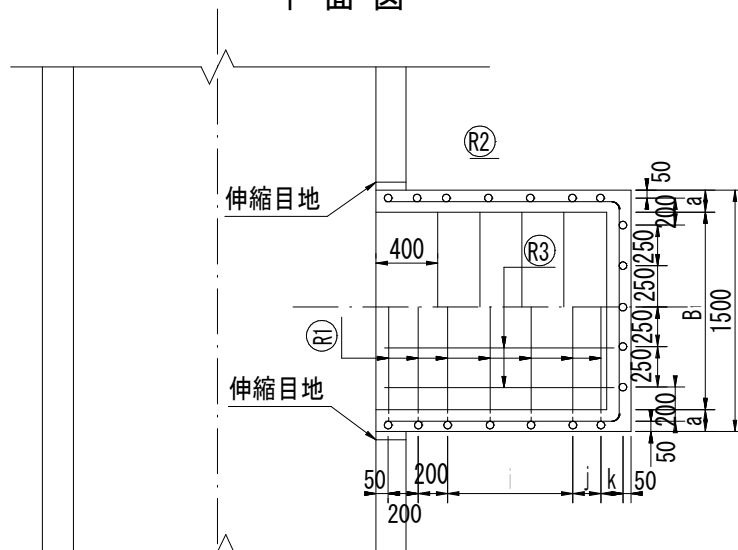
関連図番	A-09

洗場工A型

断面図



平面図



アライ-A00-T00-O

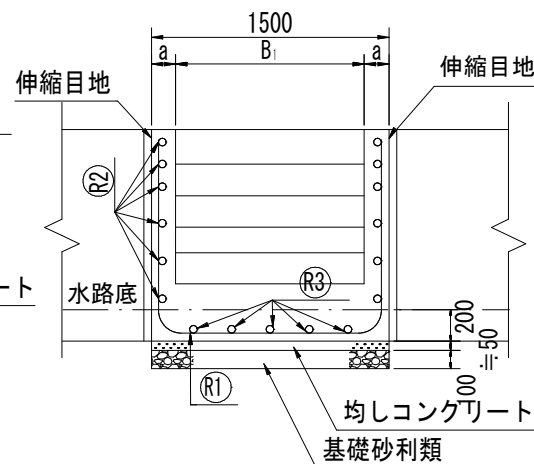
基礎砂利類の有無 有F・無N

荷重条件10t→10・14t→14・20t→20

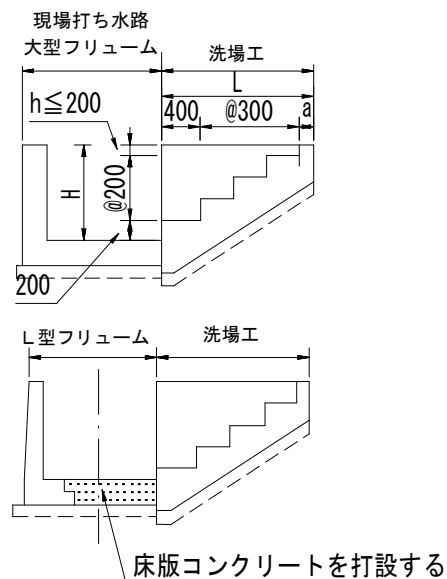
A型の略号

洗場工の略称

正面図



階段部詳細及び取付図



注意事項

1. A型洗場工は、現場打ち水路、大型フリーム水路等に適用する。
2. 洗場工の位置、接続水路の形式規格は、計画平面縦断面図による。
3. 洗場工の天端は、前後の水路になじみよく施工すること。
4. 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
5. 鉄筋は異形鉄筋（SD295）とし、かぶりは5cmとする。
6. ϕ の区間の鉄筋は250mm間隔に配置する。
7. L型フリーム水路に適用する場合は床版鉄筋を洗場工まで延長する。
8. コンクリートの仕様

種別	$\sigma 28$	SL	Gmax	セメントの種類
鉄筋コンクリート	21 N/mm ²	12±2.5	2.5 mm	

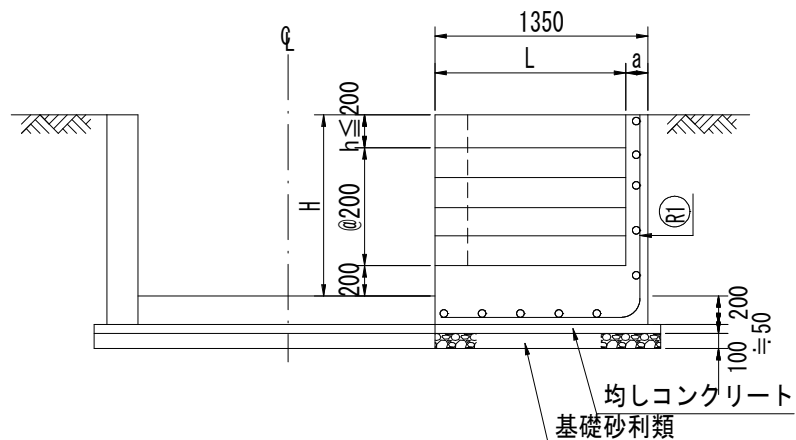
・コンクリートの仕様の詳細は、「レディミクストコンクリート標準使用基準」による。
9. 伸縮目地材はエラストックフィラー（t=10）を使用する。
10. 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
11. 設計変更は、断面毎の設置力所数の増減により行なう。

農業農村整備事業標準設計			2021. 10
工 種	洗 場 工	区 分	かんぱい
A - 15	洗 場 工 A 型		
設計番号	アライ-A06-T10-F ～アライ-A20-T20-N		

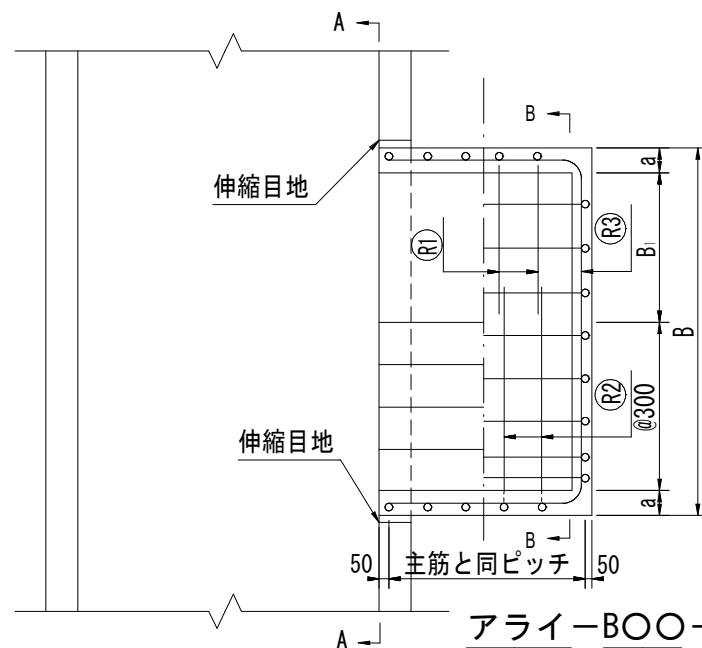
関連図番	A - 19
	A - 20

洗場工B型

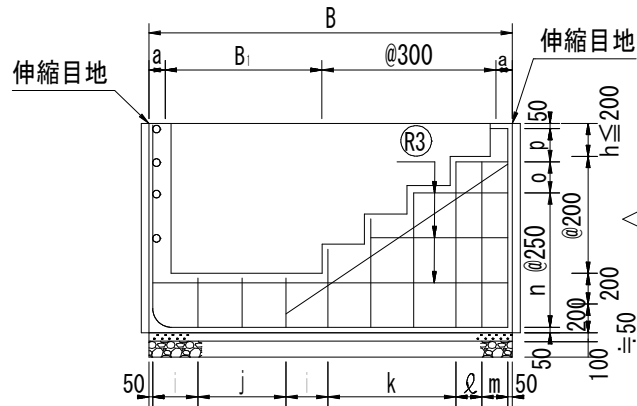
断面図



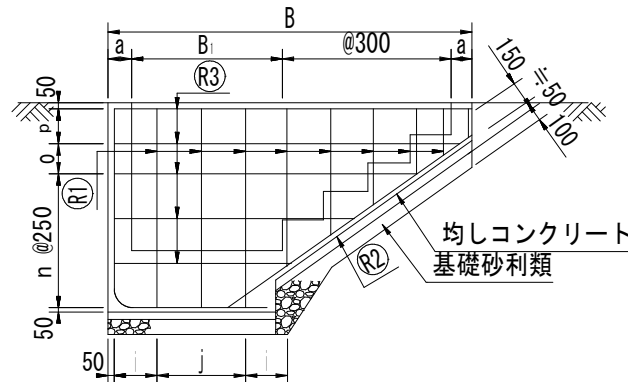
平面図



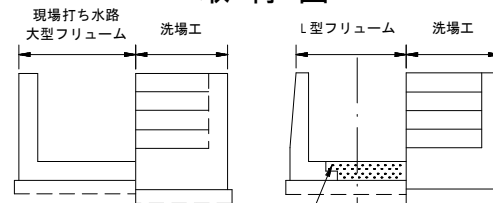
A-A断面



B-B断面



取付図



アライ-B00-T00-O

基礎砂利類の有無 有F・無N

荷重条件10t→10・14t→14・25t→25

洗場工の略称

B型の略号

床版コンクリートを打設する

注意事項

1. B型洗場工は、現場打水路、大型フリーウム水路、L型フリーウム水路等に適用する。
2. 洗場工の位置、接続水路の形式規格は、計画平面縦断面図による。
3. 洗場工の天端は、前後の水路になじみよく施工すること。
4. 進入の方向、位置により鉄筋加工等が逆になるので十分注意すること。
5. 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
6. 鉄筋は異形鉄筋（SD295）とし、かぶり厚は5cmとする。
7. nの区間の鉄筋は250mm間隔に配置する。
8. L型フリーウム水路に適用する場合は床版鉄筋を洗場工まで延長する。
9. コンクリートの仕様

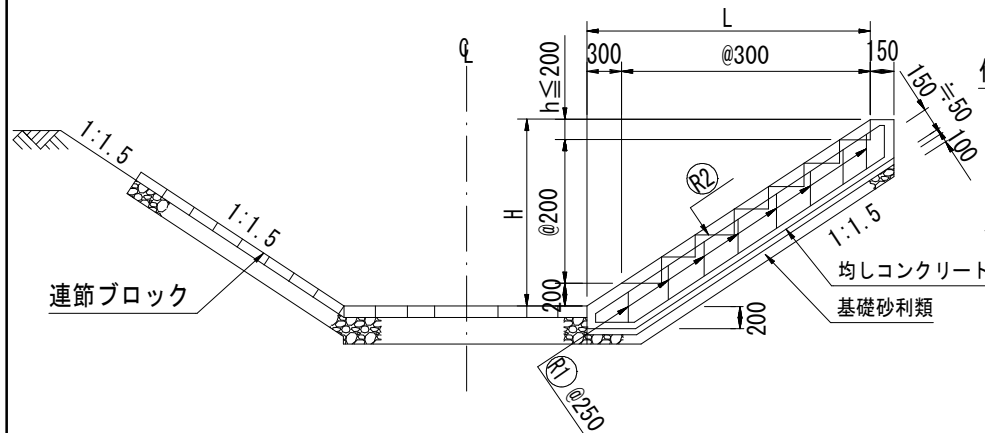
種別	σ28	SL	Gmax	セメントの種類
鉄筋コンクリート	21N/mm ²	12±2.5	2.5mm	

・コンクリートの仕様の詳細は、「レディミクストコンクリート標準使用基準」による。
10. 伸縮目地材はエラストックフィラー（t=10）を使用する。
11. 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
12. 設計変更は、断面毎の設置力所数の増減により行なう。

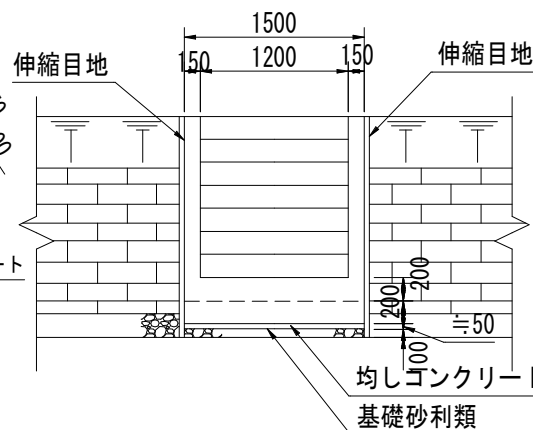
農業農村整備事業標準設計			2021. 10
工種	洗場工	区分	かんぱい
A-16	洗場工B型		
設計番号	アライ-B06-T10-F ～アライ-B20-T25-N		

洗場工D型(連節ブロック)

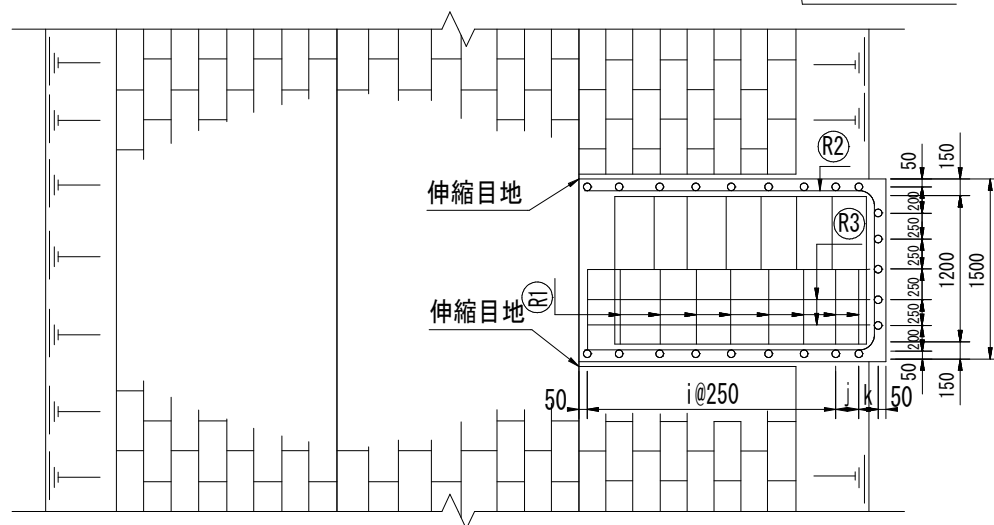
断面図



正面図



平面図



アライーD〇〇ー〇

基礎砂利類の有無 有F・無N

高さHの略号

D型の略号

洗場工の略称

注意事項

1. D型洗場工は連節ブロック水路に適用する。
2. 洗場工の位置、接続水路の形式規格は、計画平面縦断面図による。
3. 洗場工の天端は、前後の水路になじみよく施工すること。
4. 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
5. 鉄筋は異形鉄筋（SD295）とし、かぶりは5cmとする。
6. iの区間の鉄筋は250mm間隔に配置する。
7. コンクリートの仕様

種別	σ_{28}	SL	Gmax	セメントの種類
鉄筋コンクリート	21 N/mm ²	12±2.5	2.5 mm	

・コンクリートの仕様の詳細は、「レディミクストコンクリート標準使用基準」による。
8. 伸縮目地材はエラストックフィラー（t=10）を使用する。
9. 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
10. 設計変更は、断面毎の設置力所数の増減により行なう。

農業農村整備事業標準設計			2021. 10
工種	洗場工	区分	かんぱい
A - 18	洗場工D型		
設計番号	アライーD10-F～アライーD30-N		

関連図番	A - 21
------	--------

洗場工寸法表(1) T-10、T-14に適用

A型

設計番号	寸 法 表 (mm)											
	H	L	B1	a	(R1)	(R2)(R3)	i	j	k	ℓ	m	n
アライ-A06-T〇〇-〇	400<H≤ 600	700	1240	130	D13@250	D13	—	165	165	500	—	200
アライ-A08-T〇〇-〇	600<H≤ 800	1000	1240	130	D13@250	D13	500	—	130	750	—	150
アライ-A10-T〇〇-〇	800<H≤ 1000	1300	1240	130	D13@250	D13	750	—	180	1000	—	100
アライ-A12-T〇〇-〇	1000<H≤ 1200	1600	1200	150	D13@250	D13	1000	—	250	1000	150	150
アライ-A14-T〇〇-〇	1200<H≤ 1400	1900	1200	150	D13@250	D13	1250	150	150	1250	—	250
アライ-A16-T〇〇-〇	1400<H≤ 1600	2200	1200	150	D13@250	D13	1750	—	100	1500	—	200
アライ-A18-T〇〇-〇	1600<H≤ 1800	2500	1100	200	D13@250	D13	2000	—	200	1750	—	150
アライ-A20-T〇〇-〇	1800<H≤ 2000	2800	1100	200	D13@200	D13	2400	—	100	2000	—	100

アライ-A〇〇-T〇〇-〇

基礎砂利類の有無 有F・無N

荷重条件10t→10・14t→14

A型の略号

洗場工の略称

B型

設 計 番 号	寸 法 表 (mm)														
	H	L	B	B1	a	(R1)	(R2)(R3)	i	j	k	ℓ	m	n	o	p
アライ-B06-T〇〇-〇	400<H≤ 600	1220	1500	940	130	D13@250	D13	160	750	—	165	165	500	—	200
アライ-B08-T〇〇-〇	600<H≤ 800	1220	1500	640	130	D13@250	D13	135	500	500	—	130	500	200	200
アライ-B10-T〇〇-〇	800<H≤ 1000	1220	2000	840	130	D13@250	D13	235	500	750	—	180	750	150	200
アライ-B12-T〇〇-〇	1000<H≤ 1200	1200	2500	1000	150	D13@250	D13	200	750	1000	—	250	1000	100	200
アライ-B14-T〇〇-〇	1200<H≤ 1400	1200	2500	700	150	D13@250	D13	175	500	1250	150	150	1250	—	250
アライ-B16-T〇〇-〇	1400<H≤ 1600	1200	3000	900	150	D13@250	D13	150	750	1750	—	100	1500	—	200
アライ-B18-T〇〇-〇	1600<H≤ 1800	1150	3500	1000	200	D13@250	D13	225	750	2000	—	200	1750	—	150
アライ-B20-T〇〇-〇	1800<H≤ 2000	1150	3500	700	200	D13@200	D13	150	600	2400	—	100	1750	150	200

アライ-B〇〇-T〇〇-〇

基礎砂利類の有無 有F・無N

荷重条件10t→10・14t→14

洗場工の略称

B型の略号

関連図番	A - 15
	A - 16

農業農村整備事業標準設計			2002. 4
工 種	洗 場 工	区 分	かんぱい
A - 19	洗 場 工 寸 法 表 (1)		
設計番号	アライ-A06-T10-F ～アライ-B20-T14-N		

洗場工寸法表(2) T-25に適用

A型

設計番号	寸 法 表 (mm)											
	H	L	Bl	a	(R1)	(R2)(R3)	i	j	k	ℓ	m	n
アライ-A06-T〇〇-〇	400<H≤ 600	700	1240	130	D13@250	D13	—	165	165	500	—	200
アライ-A08-T〇〇-〇	600<H≤ 800	1000	1240	130	D13@250	D13	500	—	130	750	—	150
アライ-A10-T〇〇-〇	800<H≤ 1000	1300	1240	130	D13@250	D13	750	—	180	1000	—	100
アライ-A12-T〇〇-〇	1000<H≤ 1200	1600	1200	150	D13@250	D13	1000	—	250	1000	150	150
アライ-A14-T〇〇-〇	1200<H≤ 1400	1900	1200	150	D13@250	D13	1250	150	150	1250	—	250
アライ-A16-T〇〇-〇	1400<H≤ 1600	2200	1200	150	D13@200	D13	1600	125	125	1500	—	200
アライ-A18-T〇〇-〇	1600<H≤ 1800	2500	1100	200	D13@200	D13	2000	—	200	1750	—	150
アライ-A20-T〇〇-〇	1800<H≤ 2000	2800	1100	200	D13@250	D16	2250	—	250	2000	—	100

アライ-A〇〇-T〇〇-〇

基礎砂利類の有無 有F・無N

荷重条件25t→25

A型の略号

洗場工の略称

B型

設 計 番 号	寸 法 表 (mm)														
	H	L	B	B1	a	(R1)	(R2)(R3)	i	j	k	ℓ	m	n	o	p
アライ-B06-T〇〇-〇	400<H≤ 600	1220	1500	940	130	D13@250	D13	160	750	—	165	165	500	—	200
アライ-B08-T〇〇-〇	600<H≤ 800	1220	1500	640	130	D13@250	D13	135	500	500	—	130	500	200	200
アライ-B10-T〇〇-〇	800<H≤ 1000	1220	2000	840	130	D13@250	D13	235	500	750	—	180	750	150	200
アライ-B12-T〇〇-〇	1000<H≤ 1200	1200	2500	1000	150	D13@250	D13	200	750	1000	—	250	1000	100	200
アライ-B14-T〇〇-〇	1200<H≤ 1400	1200	2500	700	150	D13@250	D13	175	500	1250	150	150	1250	—	250
アライ-B16-T〇〇-〇	1400<H≤ 1600	1200	3000	900	150	D13@200	D13	125	800	1600	125	125	1500	—	200
アライ-B18-T〇〇-〇	1600<H≤ 1800	1150	3500	1000	200	D13@200	D13	200	800	2000	—	200	1750	—	150
アライ-B20-T〇〇-〇	1800<H≤ 2000	1150	3500	700	200	D13@250	D16	200	500	2250	—	250	1750	150	200

アライ-B〇〇-T〇〇-〇

基礎砂利類の有無 有F・無N

荷重条件25t→25

B型の略号

洗場工の略称

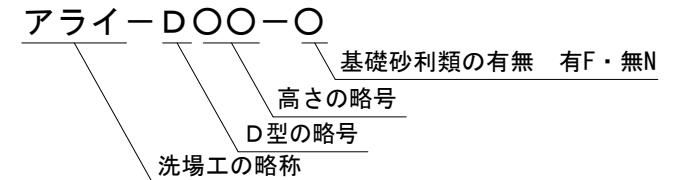
関連図番	A - 15
	A - 16

農業農村整備事業標準設計			2002. 4
工 種	洗 場 工	区 分	かんぱい
A - 20	洗 場 工 寸 法 表 (2)		
設計番号	アライ-A06-T25-F ～アライ-B20-T25-N		

洗場工寸法表(3)

D型

設計番号	寸 法 表 (mm)						
	H	L	(R1)	(R2)(R3)	i	j	k
アライ-D 10-○	800 < H ≤ 1000	1500	D13	D13	1250	150	150
アライ-D 12-○	1000 < H ≤ 1200	1800	D13	D13	1500	175	175
アライ-D 14-○	1200 < H ≤ 1400	2100	D13	D13	1750	200	200
アライ-D 16-○	1400 < H ≤ 1600	2400	D13	D13	2000	225	225
アライ-D 18-○	1600 < H ≤ 1800	2700	D13	D13	2500	125	125
アライ-D 20-○	1800 < H ≤ 2000	3000	D13	D13	2750	150	150
アライ-D 22-○	2000 < H ≤ 2200	3300	D13	D13	3000	175	175
アライ-D 24-○	2200 < H ≤ 2400	3600	D13	D13	3250	200	200
アライ-D 26-○	2400 < H ≤ 2600	3900	D13	D13	3750	100	100
アライ-D 28-○	2600 < H ≤ 2800	4200	D13	D13	4000	125	125
アライ-D 30-○	2800 < H ≤ 3000	4500	D13	D13	4250	150	150

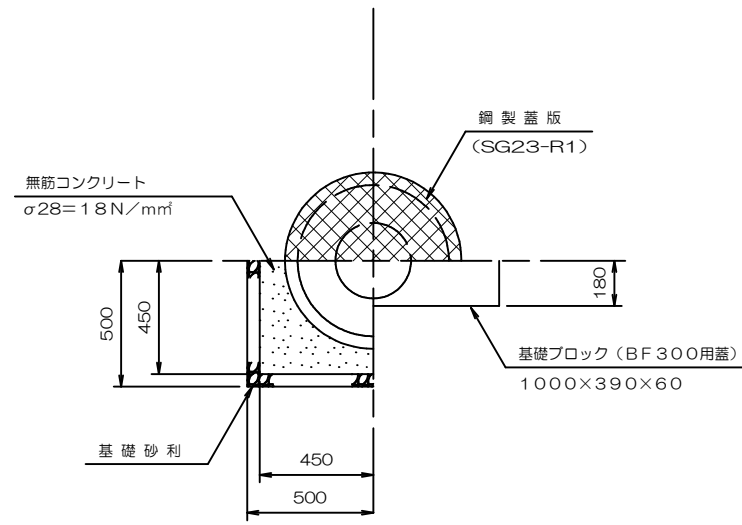


関連 図 番	A - 17
	A - 18

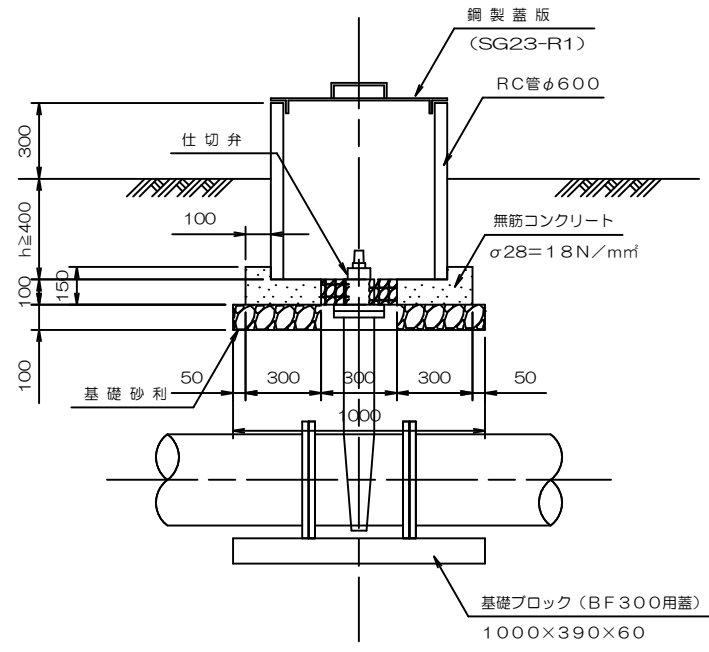
農業農村整備事業標準設計			2002. 4
工 種	洗 場 工	区 分	かんぱい
A - 21	洗 場 工 寸 法 表 (3)		
設計番号	アライーC02ー04ーF ～アライーD30ーN		

制水弁ボックス1型

平面図



断面図



CHV1-○○○-○○
制水弁ボックス1型の略称 (CHECK VALVE 1)
パイプ最大規格の略号
HP長さの略号

関連図番	K-41
------	------

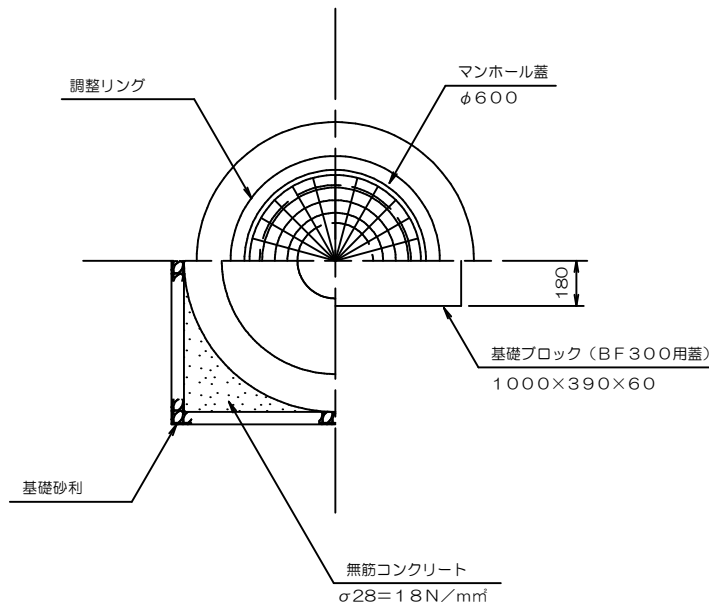
注意事項

- 1.この標準図は耕地に埋設するD400mm以下のパイプラインに適用する。
 - 2.ヒューム管はJISA5372に規定するA型外圧1種管とする。
 - 3.ヒューム管の長さは地面との高さを調整するので切管をしてもよい。
 - 4.コンクリートの仕様
- | 種別 | σ28 | SL | Gmax | セメントの種類 |
|----------|---------------------|---------------------|------------------|---------|
| 無筋コンクリート | 18 ^{N/mm²} | 8±2.5 ^{cm} | 40 ^{mm} | |
- コンクリートの仕様の詳細は「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
- 5.制水弁の規格及び制水弁鉄蓋の規格は特記仕様書による。
 - 6.制水弁との取付は配管図等による。
 - 7.砂利の種類、品質、規格は特記仕様書による。
 - 8.出来形管理は断面と設置力所数とする。
 - 9.設計変更は規格毎の設置力所数の増減による。

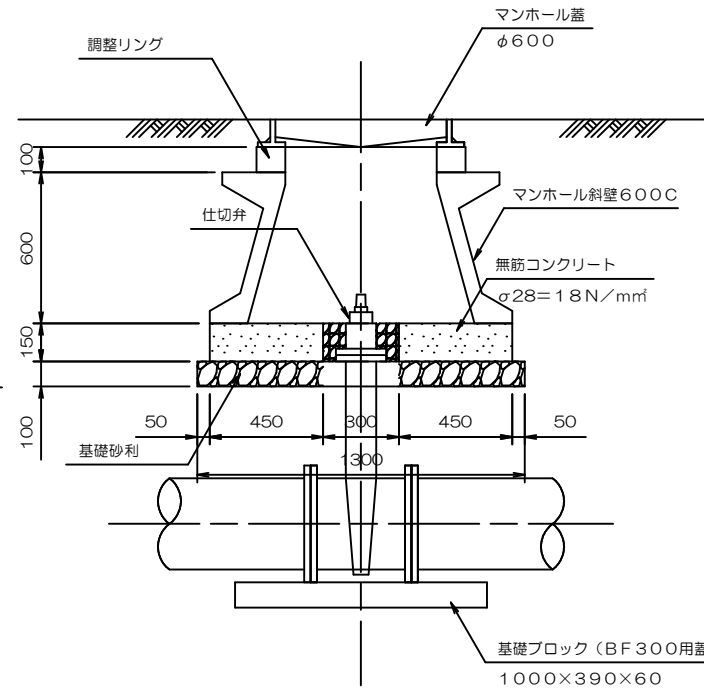
農業農村整備事業標準設計		2015.4	
工種	パイプライン工	区分	かんばい
A-40	制水弁ボックス1型		
設計番号	CHV1-75-07~CHV1-400-24		

制水弁ボックス2型

平面図



断面図



CHV2-000

パイプ最大規格の略号

制水弁ボックス2型の略称
(CHECK VALVE 2)

関	
連	
図	
番	

注意事項

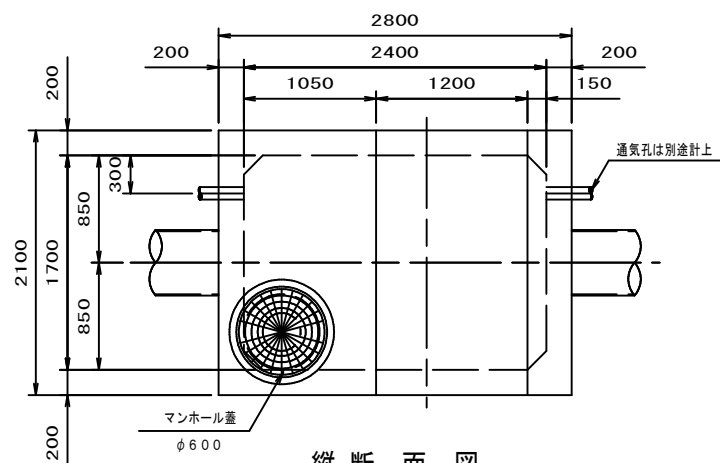
- この標準図は道路に埋設するD75~D400mmのパイプラインに適用する。
- マンホール斜壁及び直壁は JISA-5372 及びこれに準ずる品質及び性能を有するものを使用する。
- コンクリート仕様

種 別	σ28	SL	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 $\frac{N}{mm^2}$	8±2.5 $\frac{cm}{m}$	40 $\frac{mm}{mm}$	

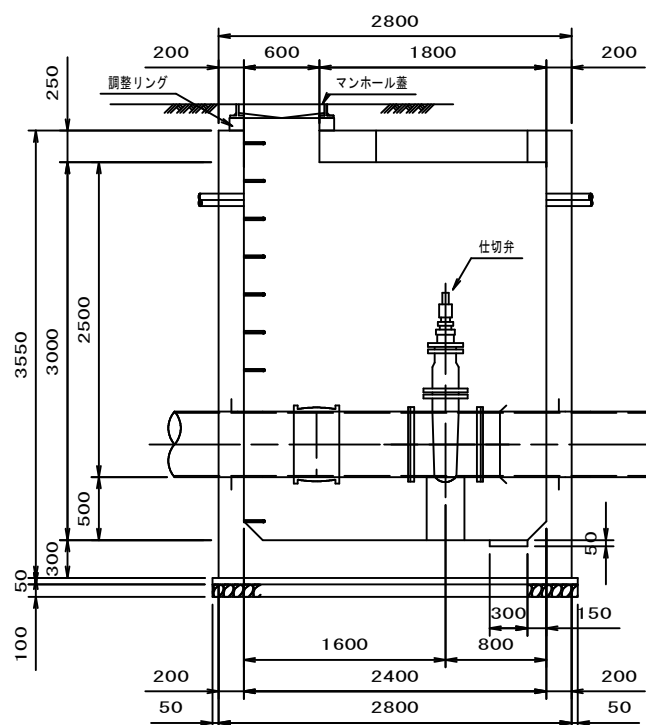
コンクリートの仕様の詳細は「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
- 制水弁の規格及び制水弁鉄蓋の規格は特記仕様書による。
- 制水弁との取付は配管図等による。
- 砂利の種類、品質、規格は特記仕様書による。
- 出来形管理は断面と設置力所数とする。
- 設計変更は規格毎の設置力所数の増減による。

農業農村整備事業標準設計		2015.4	
工 種	パイプライン工	区分	かんばい
A-42	制水弁ボックス2型		
設計番号	CHV1-75~CHV1-400		

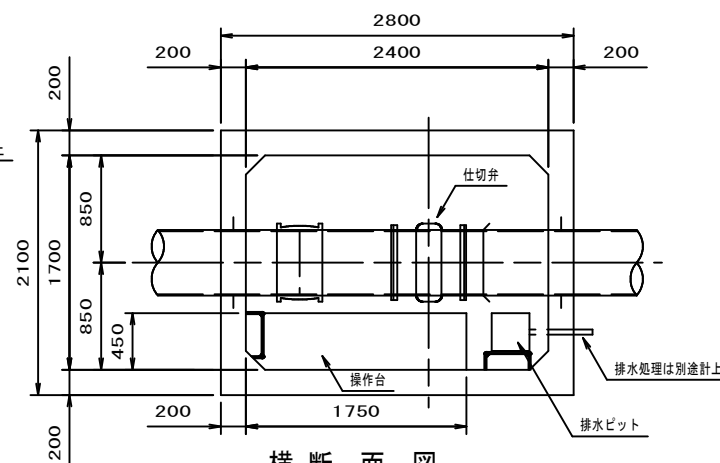
頂版平面圖



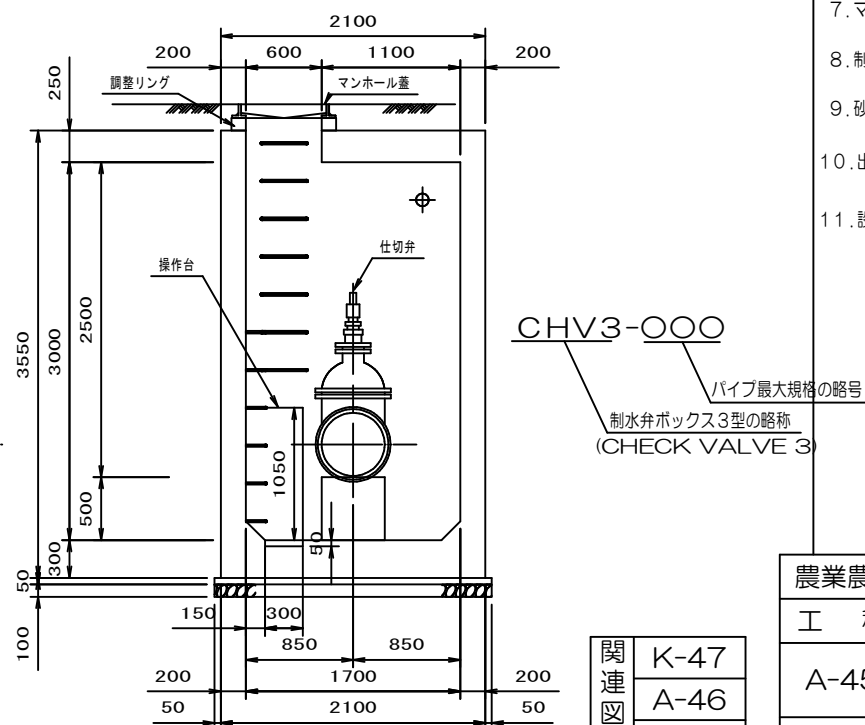
縦断面図



平 面 义



横断面図



- 1.この標準図は道路に埋設する D450~D500mm のパイプラインに適用する。
- 2.マンホール斜壁は J I S A-5317 及びこれに準ずる品質及び性能を有するものを使用する。
- 3.地面との高さを調整する為に弁台の高さについては監督員と協議すること。
- 4.コンクリートの仕様

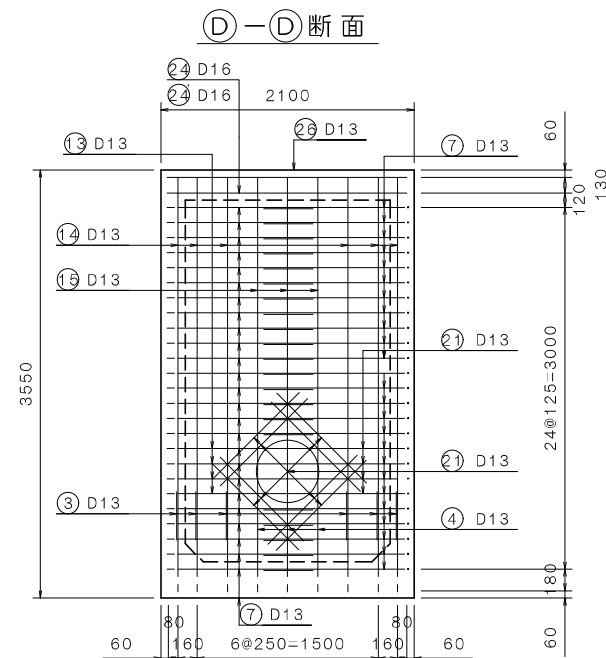
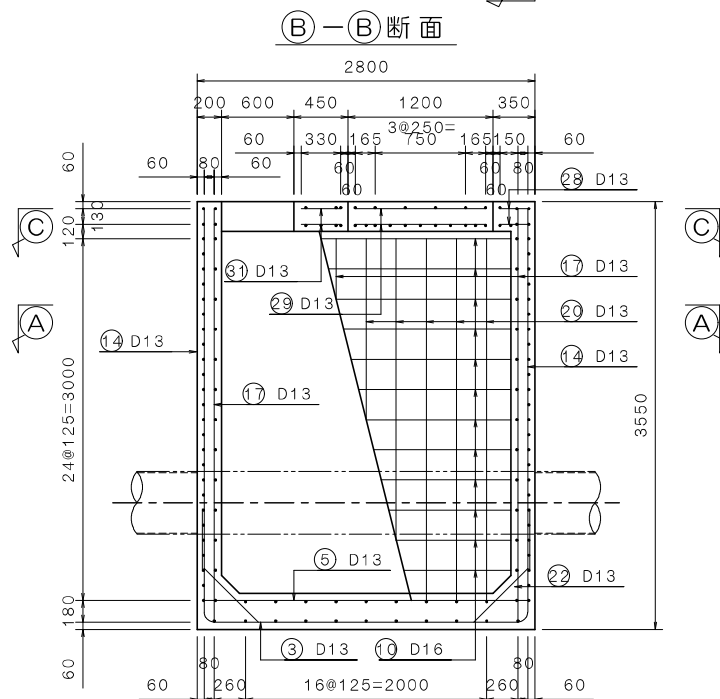
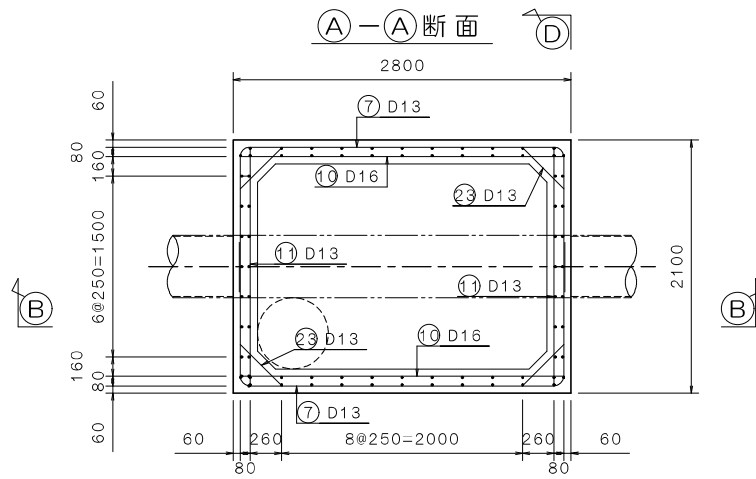
種 別	φ28	S L	Gmax	セメントの種類
鉄筋コンクリート	21 ^N / _{mm²}	12±2.5 ^{cm} / _{mm}	25 ^{mm}	
無筋コンクリート	18 ^N / _{mm²}	8±2.5 ^{cm} / _{mm}	40 ^{mm}	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
- 5.鉄筋は異形鉄筋 (SD295) とし、かぶりは 6cm とする
- 6.マンホール鉄蓋、鉄わくの品質、規格及び制水弁の規格は特記仕様書による。
- 7.マンホール斜壁及び鉄蓋はモルタルで固定する
- 8.制水弁との取付は配管図等による。
- 9.砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による
- 10.出来形管理は断面と設置力所数とする。
- 11.設計変更は規格毎の設置力所数の増減による

種 別	σ_{28}	S L	Gmax	セメントの種別
鉄筋コンクリート	21 $\frac{N}{mm^2}$	12 ± 2.5 $\frac{cm}{mm}$	25 $\frac{mm}{mm}$	
無筋コンクリート	18 $\frac{N}{mm^2}$	8 ± 2.5 $\frac{cm}{mm}$	40 $\frac{mm}{mm}$	

農業農村整備事業標準設計			2021.10
工 種	パイプライン工	区分	かんばい
A-45	制水弁ボックス3型		
設計番号	CHV3-450～CHV3-500		

制水弁ボックス3型鉄筋配置図（1）



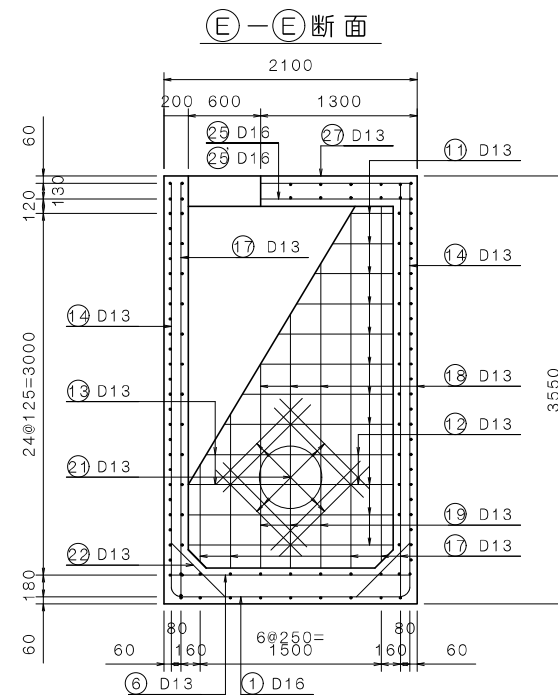
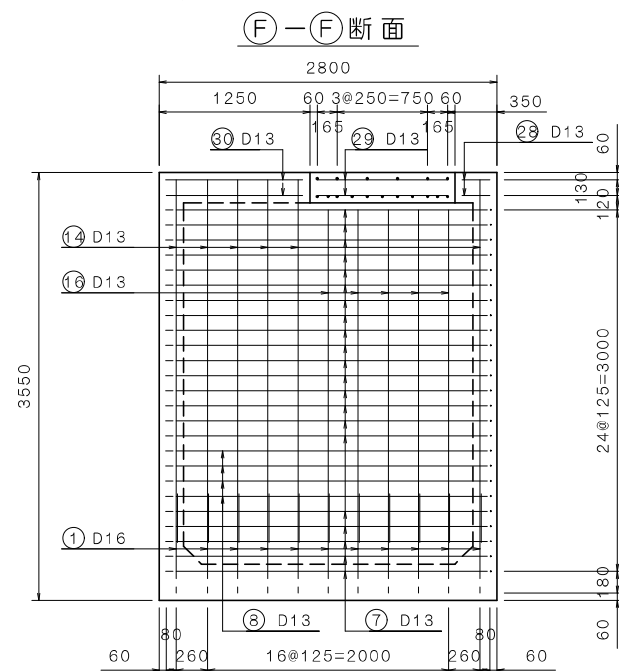
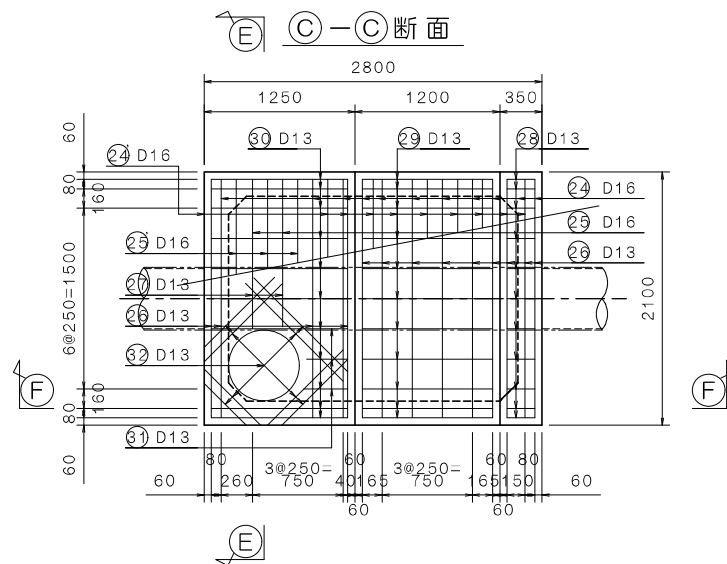
CHV3-000

パイプ最大規格の略号
制水弁ボックス3型の略称
(CHECK VALVE 3)

農業農村整備事業標準設計			2003. 3
工 種	パイプライン工	区分	かんばい
A-46	制水弁ボックス3型 鉄筋配置図（1）		
設計番号	CHV3-450~CHV3-500		

関連 図 番	A-45
	A-49

制水弁ボックス3型鉄筋配置図（2）



CHV3-000

パイプ最大規格の略号
制水弁ボックス3型の略称
(CHECK VALVE 3)

農業農村整備事業標準設計			2003. 3
工 種	パイプライン工	区分	かんばい
A-46	制水弁ボックス3型 鉄筋配置図（2）		
設計番号	CHV3-450~CHV3-500		

関連 図 番	A-45
	A-49

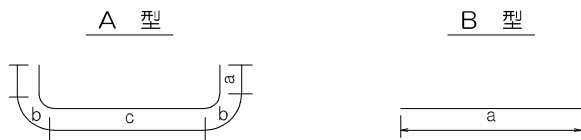
数 量 表

項 目	規 格	単位	数 量		摘 要
			φ450	φ500	
鉄筋コンクリート	$\sigma_{28} = 21 \text{ N/mm}^2$	m^3	8.45	8.43	
無筋コンクリート	$\sigma_{28} = 18 \text{ N/mm}^2$	m^3	0.86	0.86	弁台座、操作台
均しコンクリート		m^3	0.48	0.48	
基 礎 材		m^3	1.04	1.04	
型 枠	均しコンクリート	m^2	0.5	0.5	
	小 構 造 物		3.2	3.2	
	鉄 筋 構 造 物		61.9	61.7	
養 生	C	m^3	9.79	9.77	コンクリート
マンホール蓋	車適用、防水型 受枠共φ600用	枚	1	1	
調 整 リ ン グ	車適用φ600用	個	1	1	
ス テ ッ プ	合成樹脂被膜、φ19	個	13	13	
床版吊フック	異形鋼D19	本	4	4	0.009t
ス レ 止 め	異形鋼D25 L=350mm	本	4	4	0.006t
	VUφ40 L=150mm	本	4	4	0.6m
目 地 防 水	ポリウレタン系10×7mm	m	4.2	4.2	
足 場	鋼管（単管）B=0.9m	空 m^3	41.0	41.0	

※現場状況による必要長とする

※スレ止め、目地防水は付帯施設詳細図参照

※支保は、パイプサポート支保($F \leq 40 \text{ kN/m}^2$)とし、
数量は、φ450、φ500のどちらの場合も
12.0空 m^3 を計上する。



鉄 筋 表

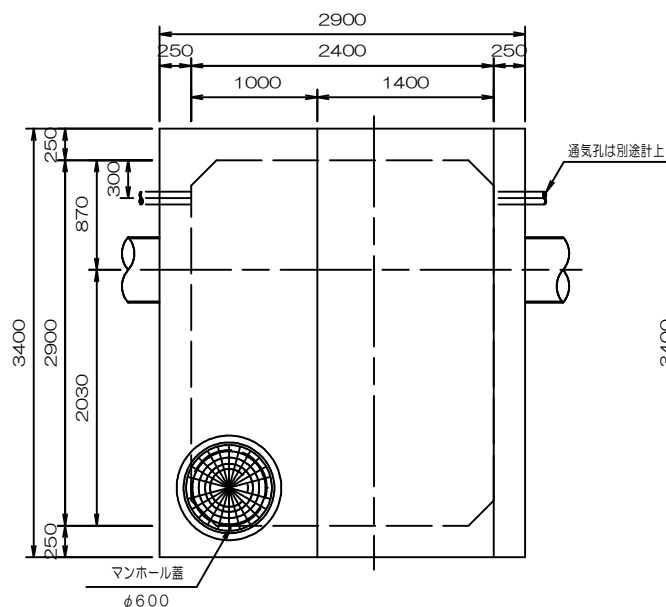
符号	径	有効長 (mm)	継手長(mm)			所要長 (mm)	本数 (本)	総長 (mm)	加工型式(mm)						備考
			1ヶ所長	個数	計				型式	a	b	C	d	e	
1	D16	3362				3362	11	36982	A	550	251	1760			
2	欠														
3	D13	4228				4228	6	25368	A	650	204	2520			
4	D13	4308				4308	3	12924	A	690	204	2520			a 520~ 860
5	D13	2680				2680	9	24120	B	2680					
6	D13	1980				1980	11	21780	A	1980					
7	D13	4938				4938	42	207396	A	1055	204	2420			
8	D13	4114				4114	4	16456	A	643	204	2420			a 575~ 710
9	D13	4114				4114	4	16456	B	643	204	2420			a 575~ 710
10	D16	2680				2680	24	64320	B	2680					
11	D13	1980				1980	20	39600	B	1980					
12	D13	748				748	4	2992	B	748					a 660~ 815
13	D13	1193				1193	4	4772	B	1193					a 730~1655
14	D13	3040				3040	24	72960	B	3040					
15	D13	2248				2248	6	13488	B	2248					a 2180~2315
16	D13	2740				2740	10	27400	B	2740					
17	D13	3430				3430	20	68600	B	3430					
18	D13	2198				2198	6	13188	B	2198					a 2180~2265
19	D13	658				658	6	3948	B	658					a 550~ 765
20	D13	3240				3240	10	32400	B	3240					
21	D13	970				970	32	31040	B	970					
22	D13	629				629	32	20128	B	629					
23	D13	488				488	48	23424	B	488					
24	D16	1980				1980	11	21780	B	1980					
24	D16	1980				1980	10	19800	B	1980					
25	D16	1380				1380	2	2760	B	1380					a 1180~1580
25	D16	1380				1380	3	4140	B	1380					a 1180~1580
26	D13	1980				1980	14	27720	B	1980					
27	D13	1180				1180	2	2360	B	1180					
28	D13	230				230	22	5060	B	230					
29	D13	1080				1080	22	23760	B	1080					
30	D13	1130				1130	16	18080	B	1130					
31	D13	330				330	6	1980	B	330					
32	D13	884				884	16	14144	B	884					a 648~1120
D16						149.782	m×1.56	kg/m=	0.234	t					
D13						771.544	m×0.995	kg/m=	0.768	t					
合 計									1.002	t					

農業農村整備事業標準設計			2014.4
工 種	パイプライン工	区分	かんばい
A-46	制水弁ボックス3型（数量表）		
設計番号	CHV3-450~CHV3-500		

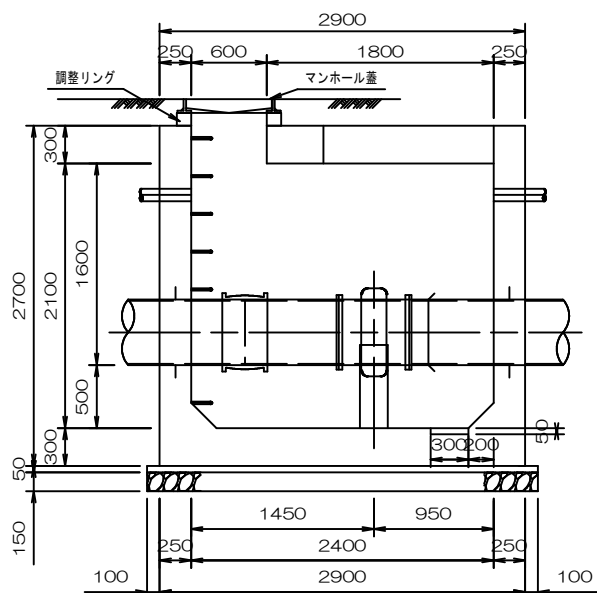
関連図番	A-45
	A-49

制水弁ボックス4型

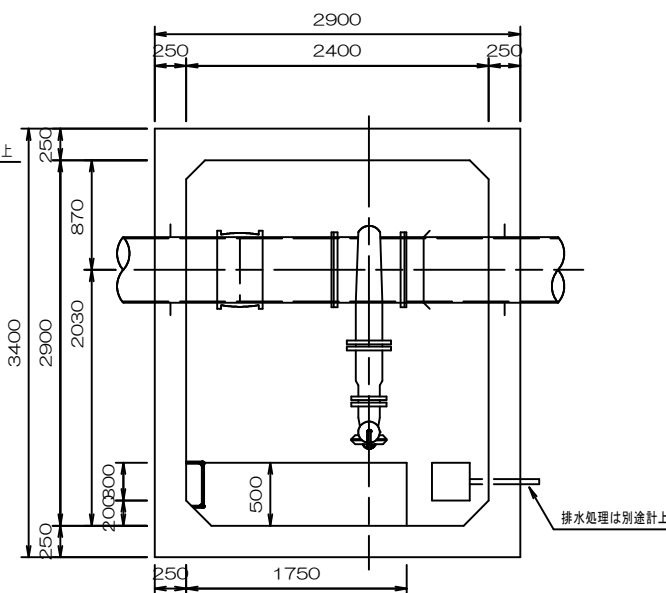
頂版平面図



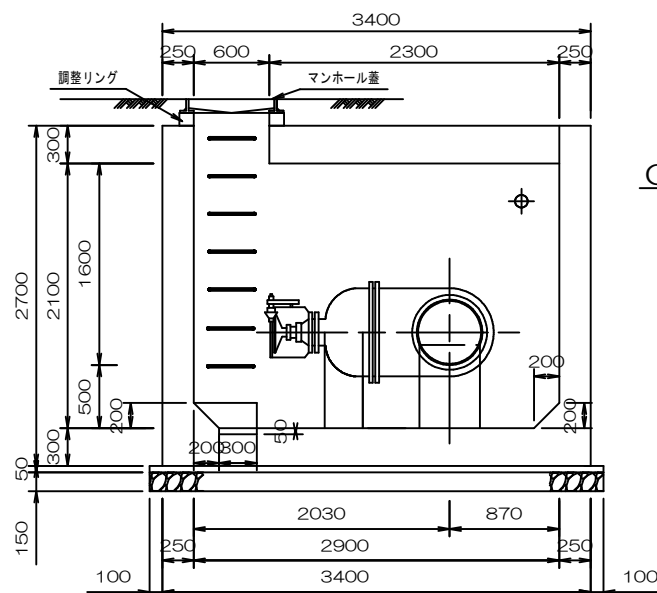
縦断面図



平面図



横断面図



CHV4-000
パイプ最大規格の略号
制水弁ボックス4型の略称
(CHECK VALVE 4)

注意事項

1. この標準図は道路に埋設する D450~D500mm パイプラインに適用する。
2. マンホール斜壁は J I S A-5317 及びこれに準ずる品質及び性能を有するものを使用する。
3. 地面との高さを調整する為に弁台の高さについては監督員と協議すること。
4. コンクリートの仕様

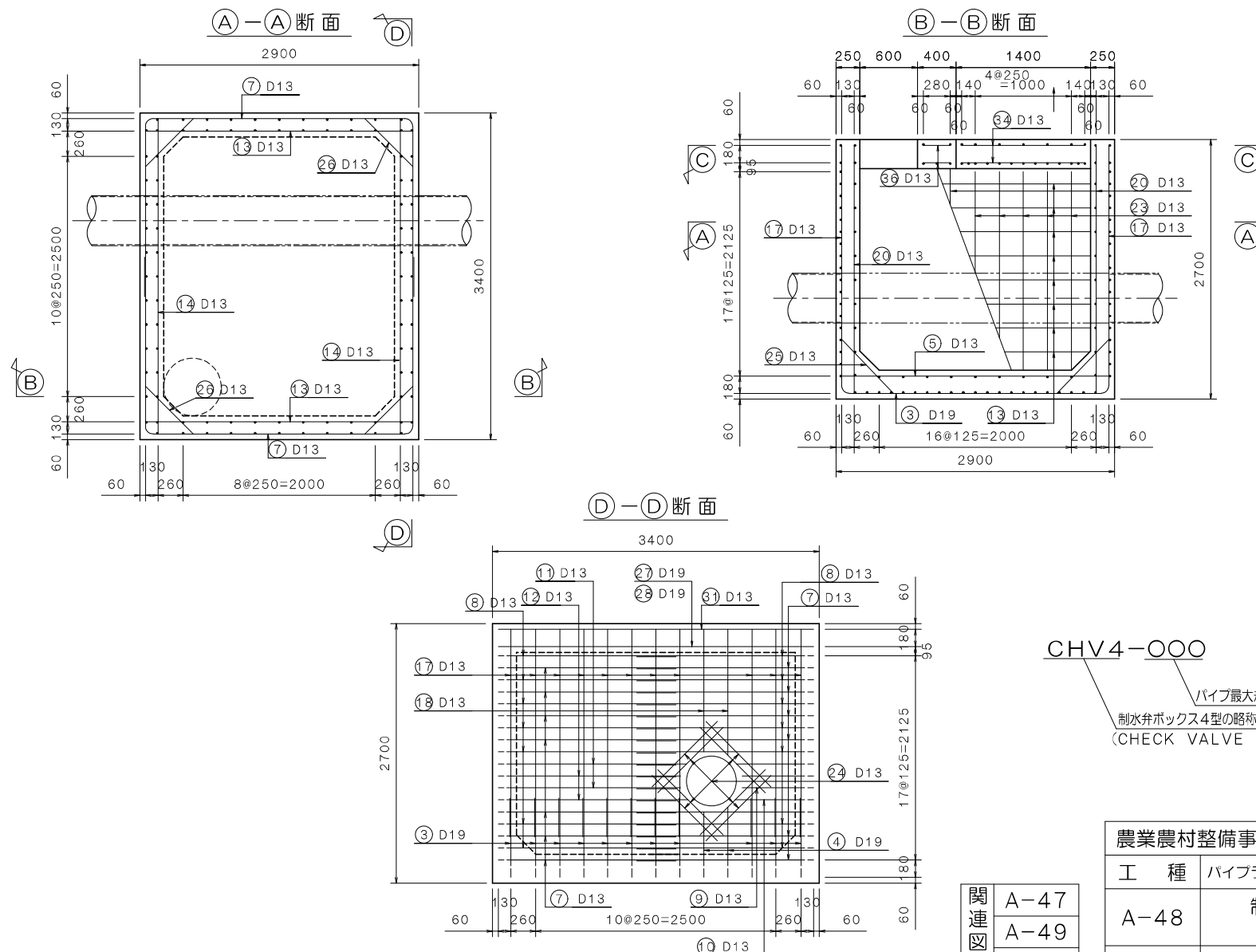
種 別	σ28	S L	Gmax	セメントの種類
鉄筋コンクリート	21 N/mm ²	12±2.5 cm	25 mm	
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5 cm	40 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
5. 鉄筋は異形鉄筋 (SD295) とし、かぶりは 6 cm とする。
6. マンホール鉄蓋、鉄わくの品質、規格及び制水弁の規格は特記仕様書による。
7. マンホール斜壁及び鉄蓋はモルタルで固定する。
8. 制水弁との取付は配管図等による。
9. 砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
10. 出来形管理は断面と設置力所数とする。
11. 設計変更は規格毎の設置力所数の増減による。

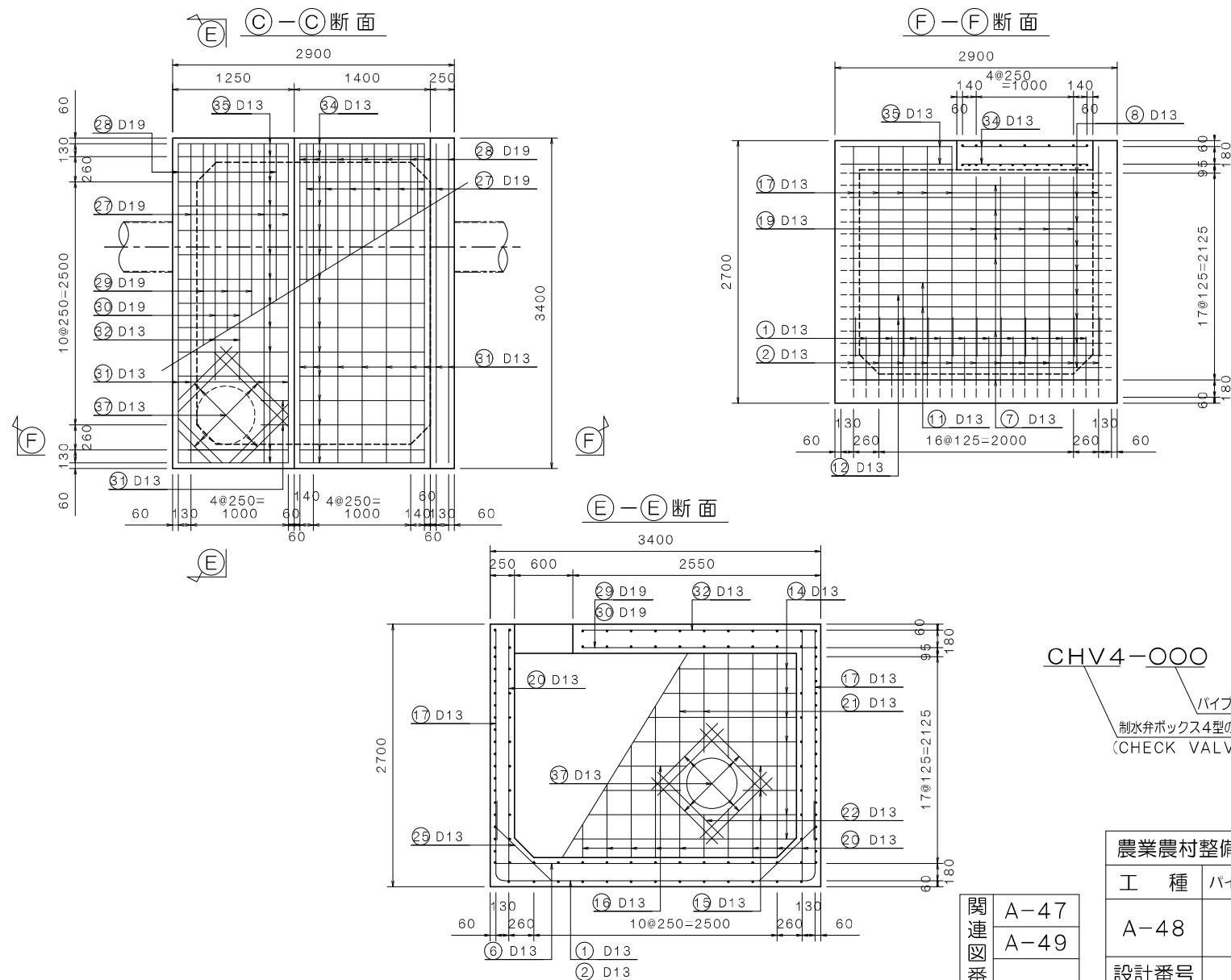
関連図番	K-47
	A-48
	A-49

農業農村整備事業標準設計			2021.10
工 種	パイプライン工	区分	かんばい
A-47	制水弁ボックス4型		
設計番号	CHV4-450～CHV4-500		

制水弁ボックス4型鉄筋配置図（1）



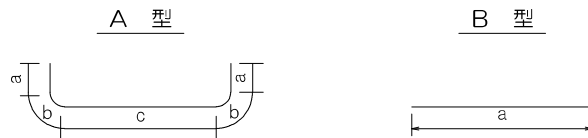
制水弁ボックス4型鉄筋配置図（2）



数 量 表

項 目	規 格	単位	数 量			摘 要
			φ400	φ450	φ500	
鉄筋コンクリート	$\sigma_{28} = 21\text{N}/\text{mm}^2$	m^3	12.17	12.16	12.14	
無筋コンクリート	$\sigma_{28} = 18\text{N}/\text{mm}^2$	m^3	0.22	0.22	0.22	弁台座、操作台
均しコンクリート		m^3	0.78	0.78	0.78	
基 礎 材		m^3	1.67	1.67	1.67	
型 枠	均しコンクリート	m^3	0.7	0.7	0.7	
	小 構 造 物		1.3	1.3	1.3	弁台座、操作台
	鉄 筋 構 造 物		62.9	62.7	62.6	
養 生	C	m^3	13.17	13.16	13.14	コンクリート
マンホール蓋	車道用、簡易防水型 受枠共φ600用	枚	1	1	1	
調 整 リ ン グ	車道用φ600用	個	1	1	1	
ス テ ッ プ	合成樹脂被膜、φ19	個	8	8	8	
床版吊フック	異形鋼D19	本	4	4	4	0.009t
ズ レ 止 め	異形鋼D25 L=350mm	本	4	4	4	0.006t
	VUφ40 L=150mm	本	4	4	4	0.6m
目 地 防 水	ポリウレタン系10×7mm	m	6.8	6.8	6.8	3.6kg
足 場	钢管(単管)B=0.9m	空 m^3	38.6	38.6	38.6	

※現場状況による必要長とする
 ※ズレ止め、目地防水は付帯施設詳細図参照
 ※支保は、パイプサポート支保($F \leq 40\text{kN}/\text{m}^2$)とし、
 数量は、φ400～φ500のいずれの場合も
 14.0空 m^3 を計上する。



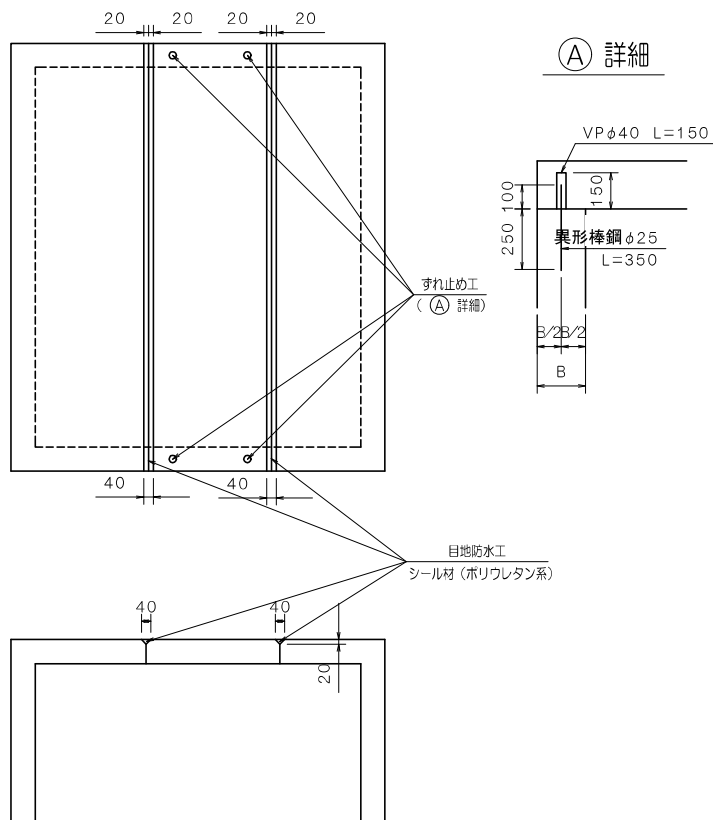
鉄 筋 表

符号	径	有効長 (mm)	継手長(mm)			所要長 (mm)	本数 (本)	総 長 (mm)	加 工 型 式 (mm)						備 考
			1ヶ所長	個数	計				型式	a	b	C	d	e	
1	D13	4428				4428	10	44280	A	500	204	3020			
2	D13	4828				4828	11	53108	A	700	204	3020			
3	D19	4636				4636	11	50996	A	820	298	2400			
4	D19	4106				4106	2	8212	A	555	298	2400			a 490~ 620
5	D13	2780				2780	13	36140	B	2780					
6	D13	3280				3280	11	36080	B	3280					
7	D13	6338				6338	14	88372	A	1705	204	2520			
8	D13	6338				6338	14	88732	A	1705	204	2520			
9	D13	4388				4388	2	8776	A	730	204	2520			a 670~ 790
10	D13	4388				4388	2	8776	A	730	204	2520			a 670~ 790
11	D13	6788				6788	2	13576	A	1930	204	2520			a 1630~2030
12	D13	6788				6788	2	13576	A	1930	204	2520			a 1630~2030
13	D13	2780				2780	16	44480	B	2780					
14	D13	3280				3280	12	39360	B	3280					
15	D13	790				790	4	3160	B	790					a 730~ 850
16	D13	2130				2130	4	8520	B	2130					a 2030~2230
17	D13	2140				2140	34	72760	B	2140					
18	D13	1440				1440	4	5760	B	1440					a 1380~1500
19	D13	1840				1840	10	18400	B	1840					
20	D13	2530				2530	30	75900	B	2530					
21	D13	1440				1440	4	5760	B	1440					a 1380~1500
22	D13	690				690	4	2760	B	690					a 630~ 750
23	D13	2230				2230	10	22300	B	2230					
24	D13	920				920	32	29440	B	920					
25	D13	770				770	40	30800	B	770					
26	D13	700				700	32	22400	B	700					
27	D19	3280				3280	10	32800	B	3280					
28	D19	3280				3280	10	32800	B	3280					
29	D19	2630				2630	3	7890	B	2630					a 2430~2830
30	D19	2630				2630	2	5260	B	2630					a 2430~2830
31	D13	3280				3280	13	42640	B	3280					
32	D13	2430				2430	2	4860	B	2430					
33	欠														
34	D13	1280				1280	30	38400	B	1280					
35	D13	1330				1330	26	34580	B	1330					
36	D13	330				330	4	1320	B	330					
37	D13	990				990	16	15840	B	990					a 860~1120
D19						137.958	m×2.25	kg/m=	0.310	t					
D16						0.000	m×1.56	kg/m=	0.000	t					
D13						911.216	m×0.995	kg/m=	0.907	t					
合 計						1.217 t									

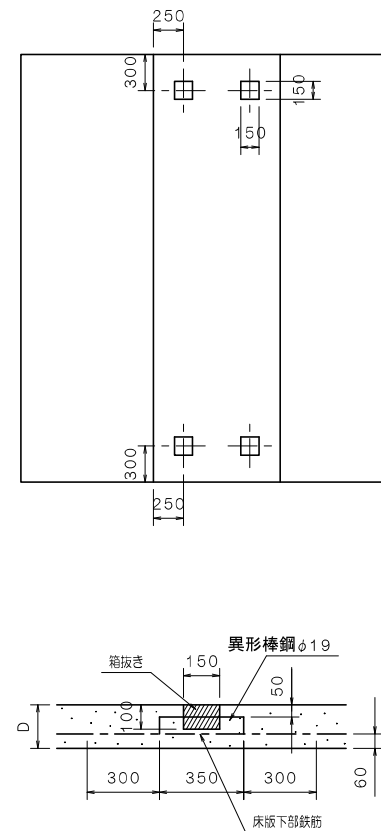
農業農村整備事業標準設計			2014.4
工 種	パイプライン工	区分	かんばい
A-48	制水弁ボックス4型(数量表)		
設計番号	CHV4-450~CHV4-500		

関連図番	A-47
	A-49

防水工及びすれ止め工詳細図



床版吊りフック詳細図



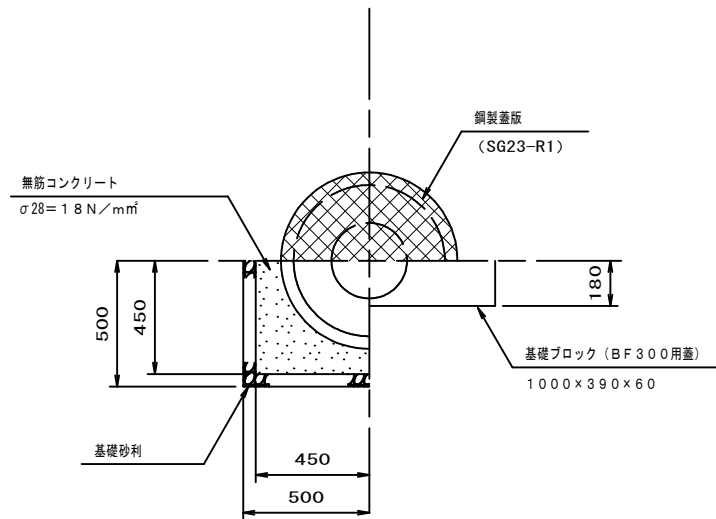
※吊りフックは床版下部鉄筋に結束させるものとする。

関連図番	A-46
	A-48

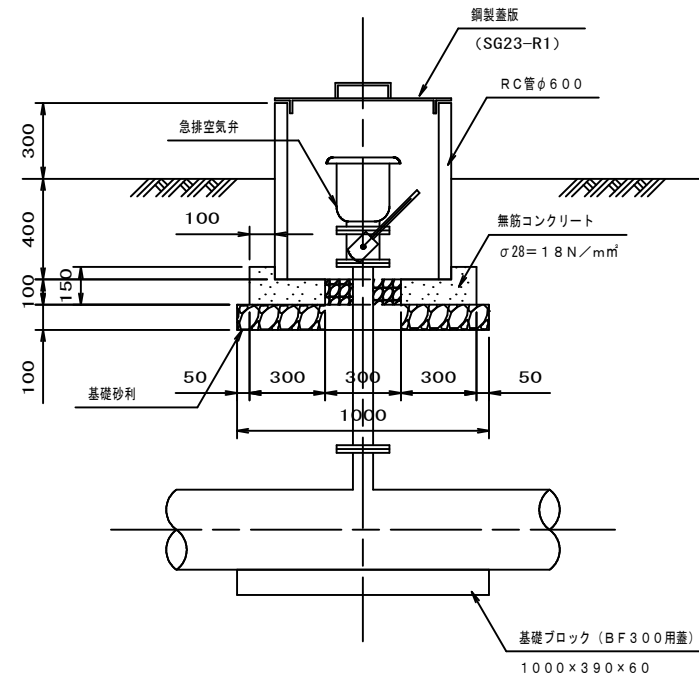
農業農村整備事業標準設計			2012.4
工種	パイプライン工	区分	かんばい
A-49	制水弁ボックス付帯施設詳細図		
設計番号			

空気弁ボックス1型

平面図



断面図



ARV1-000

パイプ最大規格の略号
空気弁ボックス1型の略称
(AIR VALVE 1)

関連図番	K-41
------	------

注意事項

- この標準図は耕地に埋設するD75～D500mmのパイプラインに適用する。
- ヒューム管はJIS-A5372に規定するA型外圧1種管とする。
- ヒューム管の長さは、現場状況により切管をして施行してもよい。
- コンクリート仕様

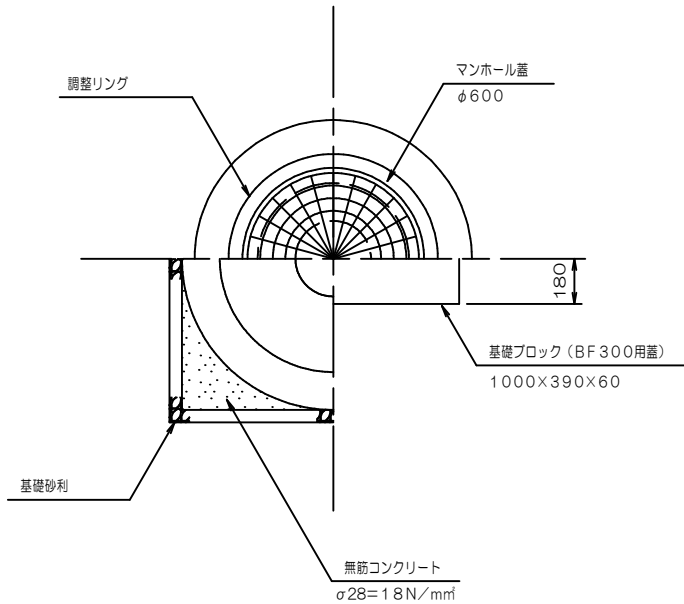
種別	σ28	SL	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm²	8±2.5 cm	40 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
- 空気弁の規格及びT字管の規格は特記仕様書による。
- 本管とT字管の取り付けは配管図等による。
- マンホールの鉄蓋、鉄わくの品質、規格は特記仕様書による。
- 砂利の種類、品質、規格は特記仕様書による。
- 出来形管理は断面と設置力所数とする。
- 設計変更は規格毎の設置力所数の増減による。

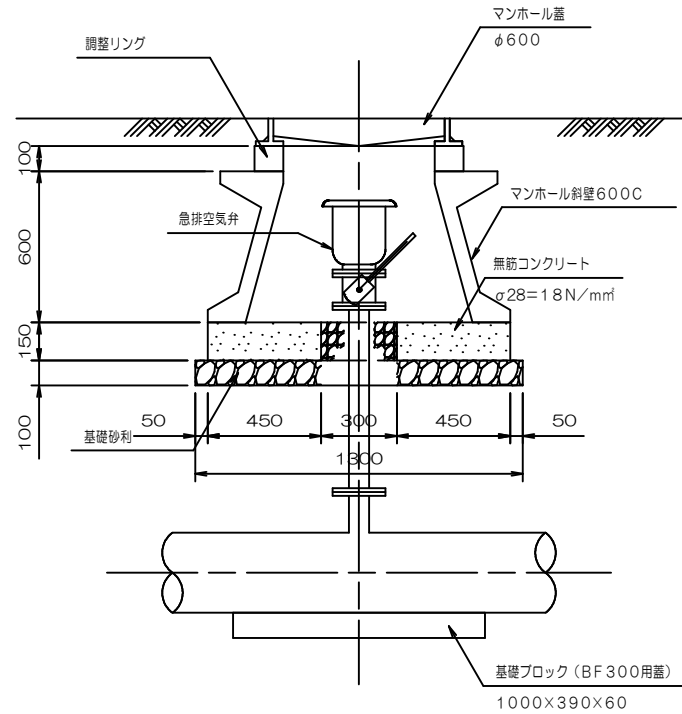
農業農村整備事業標準設計		2015.4	
工種	パイプライン工	区分	かんばい
A-50	空気弁ボックス1型		
設計番号	ARV1-75～ARV1-500		

空気弁ボックス2型

平 面 図



断面図



ARV2-000

パイプ最大規格の略号

空気弁ボックス2型の略称
(AIR VALVE 2)

関連図書

注意事項

1. この標準図は道路に埋設する D75~D500mm のパイプラインに適用する。
2. マンホール斜壁及び直壁は JISA-5372 及びこれに準ずる品質及び性能を有するものを使用する。
3. コンクリート仕様
- | 種 別 | σ_{28} | SL | Gmax | セメントの種類 |
|----------|------------------------------------|-------------------------|----------------------|---------|
| 無筋コンクリート | 18 <small>N/mm²</small> | 8±2.5 <small>cm</small> | 40 <small>mm</small> | |
- コンクリートの使用の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による
4. 空気弁の規格及び T 字管の規格は特記仕様書による。
5. 本管と T 字管の取り付けは配管図等による。
6. マンホールの鉄蓋、鉄わくの品質、規格は特記仕様書による。
7. 砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
8. 出来形管理は断面と設置力所数とする。
9. 設計変更は規格毎の設置力所数の増減による。

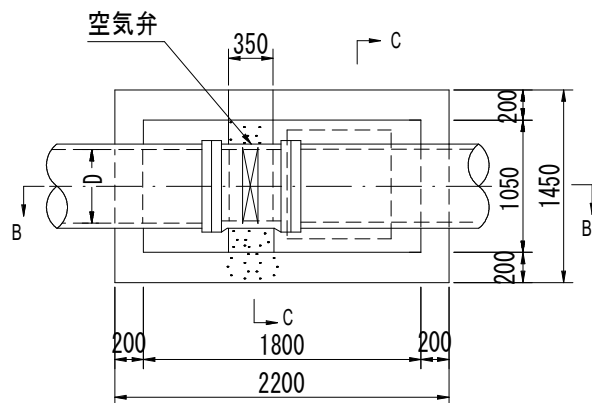
種 別	σ_{28}	SL	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	$18 \frac{\text{N}}{\text{mm}^2}$	$8 \pm 2.5 \text{ cm}$	40 mm	

コンクリートの使用の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による

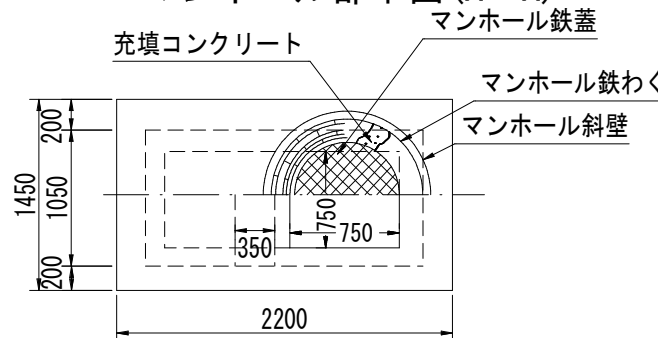
農業農村整備事業標準設計			2015.4
工 種	パイプライン工	区分	かんぱい
A-51	空 気 弁 ボ ッ ク ス 2 型		
設計番号	ARV2-75～ARV2-500		

空気弁ボックス 3 型

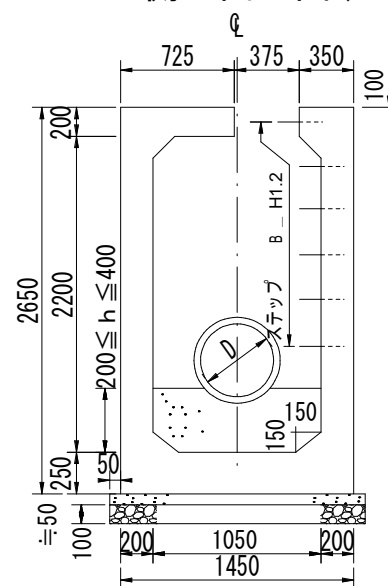
平 面 図



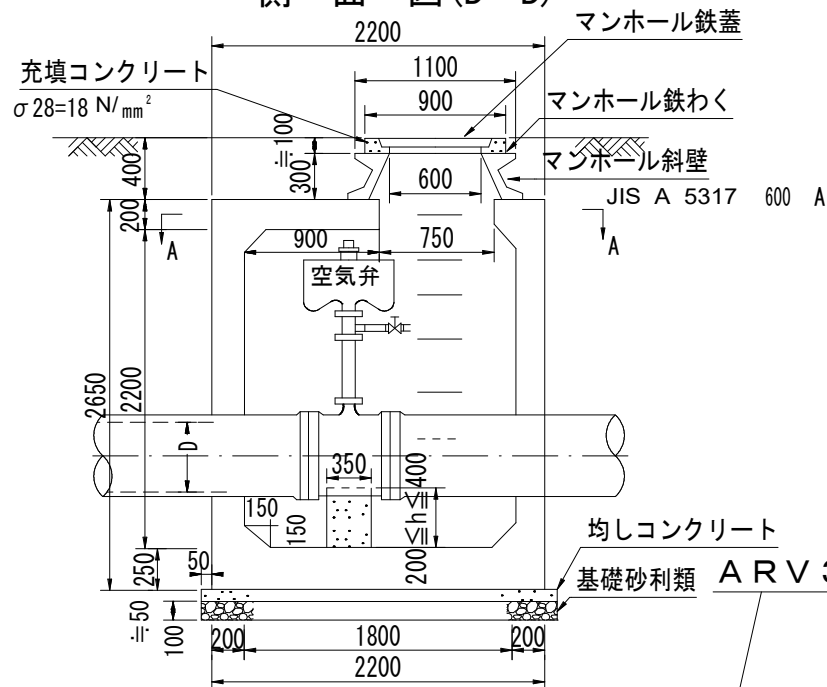
マンホール部平面 (A-A)



側 面 図 (C-C)



側 面 図 (B-B)



ARV3-000-T00-O

基礎砂利類の有無 有 F・無 N

自動車荷重 10t→10 14t→14

パイプ最大規格の略号 (mm)

空気弁ボックス 3 型の略称

(AIR VALVE 3)

関連図番	A - 53
	A - 55

注 意 事 項

1. この標準図は道路に埋設するD400～D600mmのパイプラインに適用する。
2. マンホール斜壁はJISA-5372及びこれに準ずる品質及び性能を有するものを使用する。
3. 地面との高さを調整する為に弁台の高さについては、監督職員と協議すること。
4. コンクリートの仕様

種 別	σ28	S L	Gmax	セメントの種類
鉄筋コンクリート	21 $\frac{N}{mm^2}$	12±2.5 $\frac{cm}{mm}$	25 $\frac{mm}{mm}$	
無筋コンクリート	18 $\frac{N}{mm^2}$	8±2.5 $\frac{cm}{mm}$	40 $\frac{mm}{mm}$	

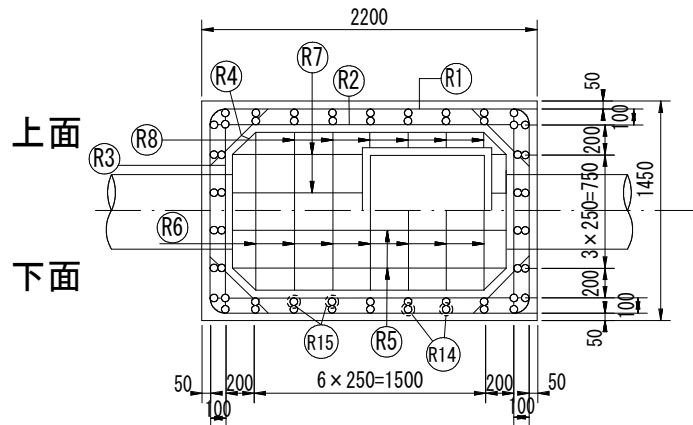
コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。

5. 鉄筋は異形鉄筋 (SD295) とし、かぶり5cmとする。
6. 空気弁の規格及びT字管の規格は特記仕様書による。
7. 空気弁の配管は図面番号A-55によることを原則とする。
本管とT字管の取付は配管図等による。
8. マンホール鉄蓋、鉄わくの品質、規格は特記仕様書による。
9. マンホール斜壁及び鉄蓋はモルタルで固定する。
10. 砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
11. 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
12. 設計変更は、規格毎の設置力所数の増減による。

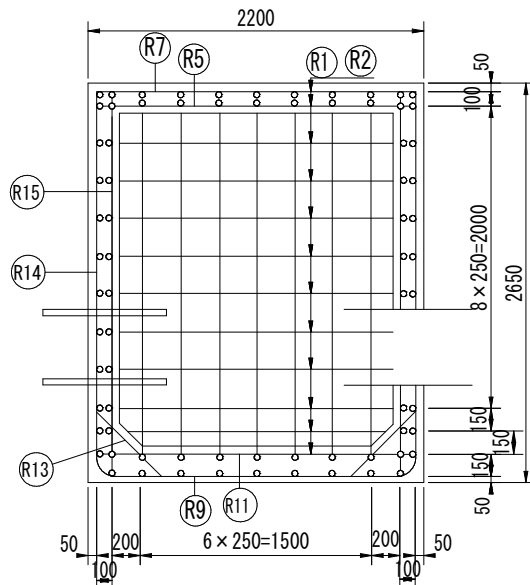
農業農村整備事業標準設計			2021.10
工 種	パイプライン工	区 分	かんぱい
A - 52	空 気 弁 ボ ッ ク ス 3 型		
設計番号	ARV3-600-T10-F ～ARV3-600-T14-N		

空気弁ボックス3型鉄筋配置図

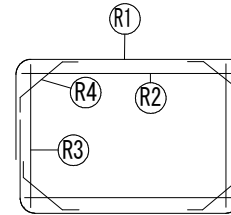
A-A配筋図



B-B配筋図

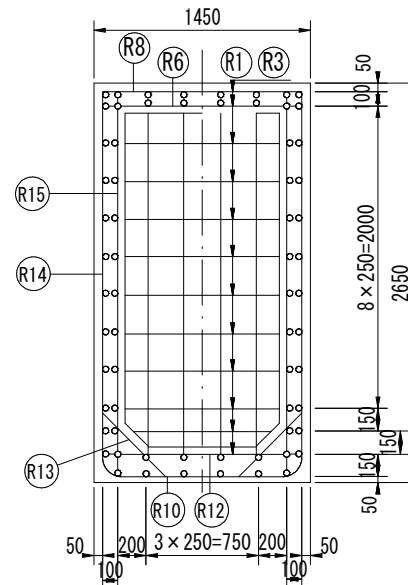


主鉄筋組立図



径 荷重	D 13	D 16	D 19	D 22
T-10	R3, 4, 5, 6, 7, 8 R11, 12, 13, 14, 15	R1, 2, 10	R9	
T-14	R3, 4, 7, 8 R11, 12, 13, 14, 15	R1, 2, 10	R5, 6	R9

C-C配筋図



ARV3-000-T00-O

基礎砂利類の有無 有F・無N

自動車荷重 10t→10 14t→14

パイプ最大規格の略号(mm)

空気弁ボックス3型の略称(AIR VALVE 3)

関連図番	A-52
------	------

注意事項

- この標準図は道路に埋設するD400～D600mmのパイプラインに適用する。
- マンホール斜壁はJISA-5372及びこれに準ずる品質及び性能を有するものを使用する。
- 地面との高さを調整する為に弁台の高さについては、監督職員と協議すること。
- コンクリートの仕様

種別	σ28	S L	Gmax	セメントの種類
鉄筋コンクリート	21 N/mm ²	12±2.5 cm	25 mm	
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5 cm	40 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。

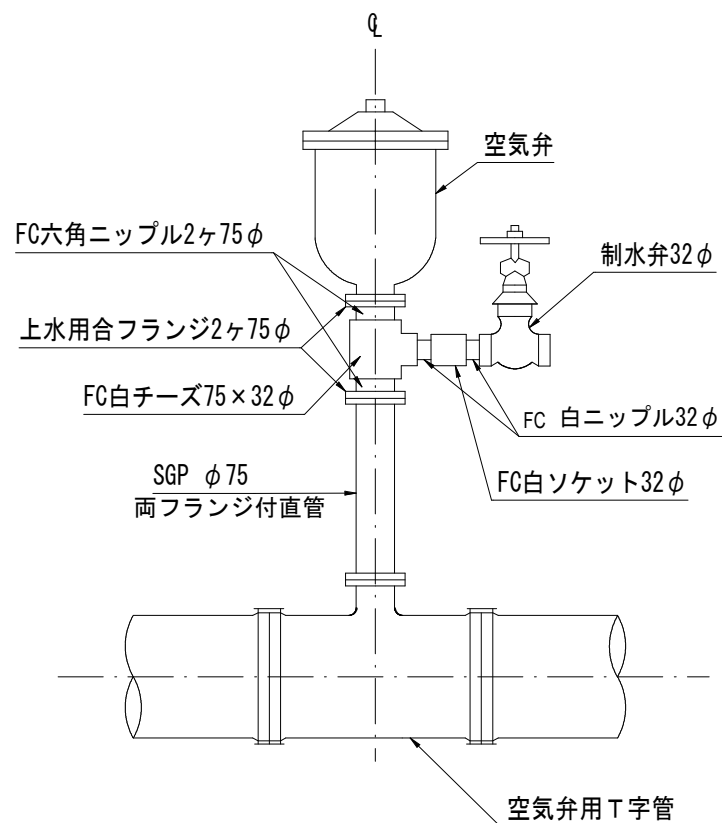
- 鉄筋は異形鉄筋 (SD295) とし、かぶりは5cmとする。
- 空気弁の規格及びT字管の規格は特記仕様書による。
- 空気弁の配管は図面番号A-55によることを原則とする。
本管とT字管の取付は配管図等による。
- マンホール鉄蓋、鉄わくの品質、規格は特記仕様書による。
- マンホール斜壁及び鉄蓋はモルタルで固定する。
- 砂利類の品質、規格は特記仕様書による。
- 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
- 設計変更は、規格毎の設置力所数の増減による。

農業農村整備事業標準設計	2021.10
工種	パイプライン工 区分
A-53	空気弁ボックス3型鉄筋配置図
設計番号	ARV3-600-T10-F ~ ARV3-600-T14-N

注 意 事 項

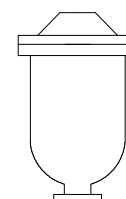
1. この標準図は空気弁の標準的な配管を示すものである。
2. パイプライン径のD350mm以下は単口空気弁、D400mm以上は、双口空気弁又は急排気弁を使用するが、仕様の詳細については特記仕様書による。
3. 配管材料は標準であるのでこれと異なる場合は承認を得ること。

空気弁設置標準図



空 気 弁

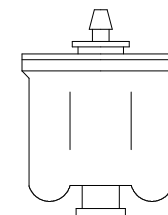
単 口



規 格

13φ
20φ
25φ

双 口



規 格

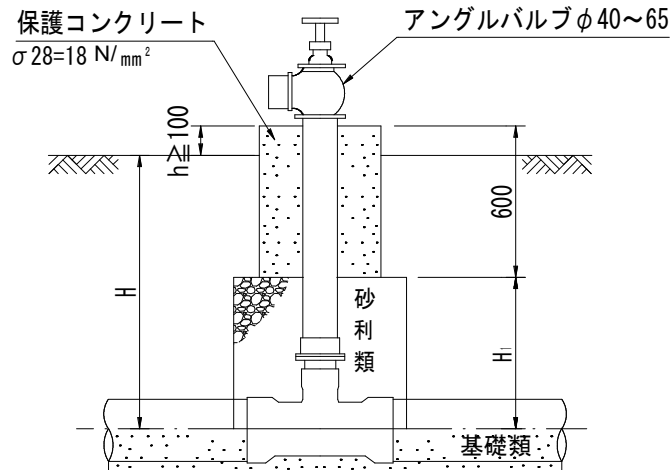
50φ
75φ

関連図番	A - 50
	A - 51
	A - 52

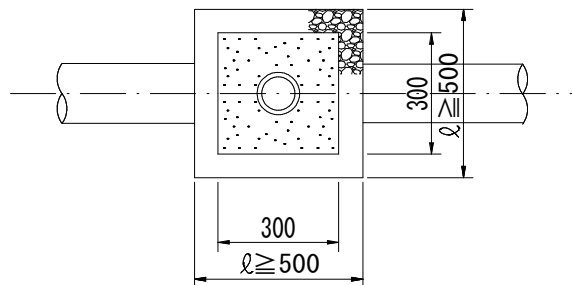
農業農村整備事業標準設計			1980. 3
工 種	パイプライン工	区 分	かんぱい
A - 55	空気弁設置標準図		
設計番号			

アングルバルブ

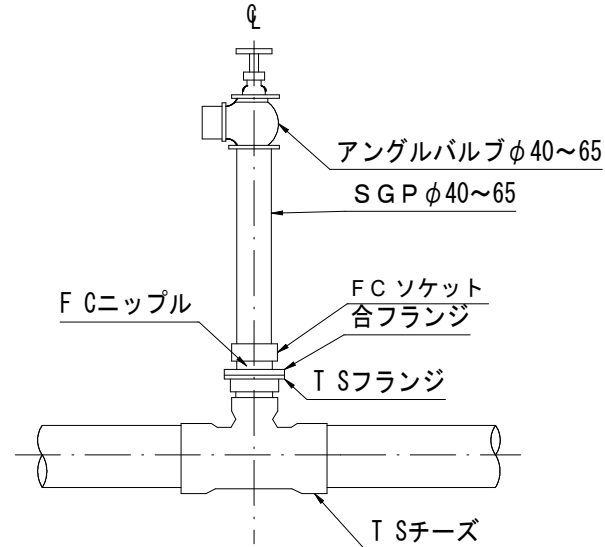
側面図



平面図



取付標準図



寸 法 表 (mm)			
アングルバルブ規格	H	設 計 番 号	H I
φ40～65	H ≤ 800	AGV-〇〇-08	300
	H ≤ 1000	AGV-〇〇-10	500
	H ≤ 1200	AGV-〇〇-12	700

AGV-〇〇-〇〇

深さの略号

バルブ最大規格の略号

アングルバルブの略称
(ANGLE VALVE)

関連図番	

注 意 事 項

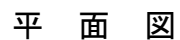
1. アングルバルブの規格及びT字管の規格は特記仕様書による。
2. 本管とT字管の取り付けは配管図等による。
3. 立上り管は配管用炭素鋼鋼管（JISG-3452）SGPを使用する。
4. T字管と立上り管との接続は標準でありこれと異なる場合は承認を得ること。
5. コンクリートの仕様

種 別	σ28	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm²	8±2.5 cm	40 mm	

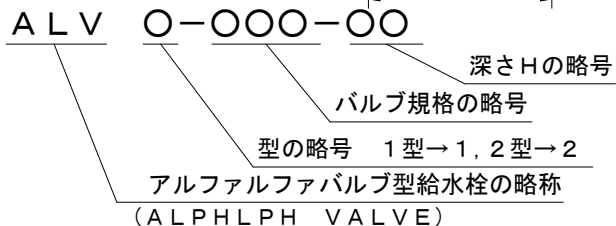
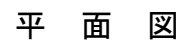
コンクリートの仕様の詳細は、「レディミクストコンクリート標準使用基準」による。
6. 砂利の種類、品質、規格は特記仕様書による。
7. 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
8. 設計変更は、規格毎の設置力所数の増減による。

農業農村整備事業標準設計		2015. 4	
工 種	パイプライン工	区 分	かんぱい
A - 60	ア ン グ ル バ ル ブ		
設計番号	AGV-40-08～AGV-65-12		

1 型
側 面 図



2 型
側 面 図



関連 図番	

1. パルプ及びT字管の品質、規格は特記仕様書による。
2. 本管とT字管の取付は配管図等による。
3. 立上り管とT字管の接続は標準であり、これと異なる場合は承認を得ること。
4. 鉄筋コンクリート製樹は、図の寸法を満足するか同等以上の性能を有するものを使用する。
(円形でよい)
5. ヒューム管は JISA-5372に規定するA型外圧1種管とし、切管して使用する。
6. コンクリートの仕様

種 別	σ_{28}	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 $\frac{\text{N}}{\text{mm}^2}$	8 $\pm$ 2.5 $\frac{\text{cm}}{\text{mm}}$	40 $\frac{\text{mm}}{\text{mm}}$	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディミクストコンクリート標準使用基準」による。

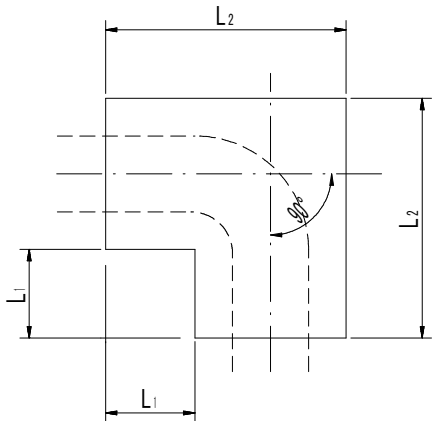
7. 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
8. 設計変更は、規格毎の設置力所数の増減による。

種 別	σ_{28}	S L	Gmax	セメン の 種 類
無筋コンクリート	$18 \frac{\text{N}}{\text{mm}^2}$	$8 \pm 2.5^{\text{cm}}$	40^{mm}	

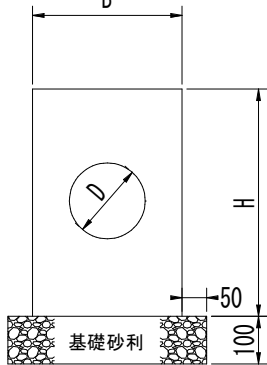
コンクリートの仕様の詳細は、「レディミクストコンクリート標準使用基準」による。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	パイプライン工	区 分	かんぱい
A - 61	アルファルファバルブ型給水栓		
設計番号	ALVI-050-08~ALV2-100-12		

水平スラストブロック A型 平面図



断面図



水平90度

寸法表(1)

(mm)

設計番号	管径 D mm	設計水圧 MPa	土 被 り																							
			0.6m				1.0m				1.2m				1.5m				2.0m				2.5m			
			B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2
SLB-A-050-1-0-0	50	0.10	300	300	0	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-A-050-1.5-0-0		0.15	300	300	0	300	300	300	0	300	300	300	0	300	300	300	0	300	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-A-050-2-0-0		0.20	300	300	0	300	300	300	0	300	300	300	0	300	300	300	0	300	300	300	0	300	—	—	—	—
SLB-A-050-4-0-0		0.40	300	300	0	300	300	300	0	300	300	300	0	300	300	300	0	300	300	300	0	300	300	300	0	300
SLB-A-075-1-0-0	75	0.10	300	300	0	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-A-075-1.5-0-0		0.15	300	300	0	300	300	300	0	300	300	300	0	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-A-075-2-0-0		0.20	300	300	0	300	300	300	0	300	300	300	0	300	300	300	0	300	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-A-075-4-0-0		0.40	300	300	0	300	300	300	0	300	300	300	0	300	300	300	0	300	300	300	0	300	300	300	0	300
SLB-A-100-1-0-0	100	0.10	400	400	0	400	400	400	0	400	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-A-100-1.5-0-0		0.15	400	400	0	400	400	400	0	400	400	400	0	400	400	400	0	400	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-A-100-2-0-0		0.20	400	400	0	400	400	400	0	400	400	400	0	400	400	400	0	400	400	400	0	400	—	—	—	—
SLB-A-100-4-0-0		0.40	400	400	0	400	400	400	0	400	400	400	0	400	400	400	0	400	400	400	0	400	400	400	0	400
SLB-A-125-1-0-0	125	0.10	400	400	0	400	400	400	0	400	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-A-125-1.5-0-0		0.15	400	400	0	400	400	400	0	400	400	400	0	400	400	400	0	400	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-A-125-2-0-0		0.20	400	400	0	400	400	400	0	400	400	400	0	400	400	400	0	400	400	400	0	400	—	—	—	—
SLB-A-125-4-0-0		0.40	400	500	50	450	400	400	0	400	400	400	0	400	400	400	0	400	400	400	0	400	400	400	0	400

SLB-○-○○○-○-○-○

基礎砂利の有無 有F・無N

土被り(0, 6, 10, …25)

設計水圧

パイプの径

型式の略号(A)

スラストブロックの略号

関連図番	

注 意 事 項

1. 平面的に曲管とスラストブロックは、曲管の曲りの中心から左右に対称となるような位置に施工すること。
2. 管とスラストブロックのかぶりは、管頂と管側が同程度になるように施工すること。
3. コンクリートの仕様

種 別	φ28	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 $\frac{1}{mm^2}$	8±2.5 $\frac{cm}{mm^2}$	40 $\frac{mm}{mm^2}$	

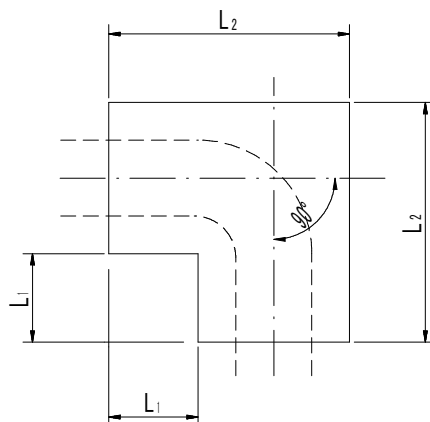
コンクリートの仕様の詳細は、「レディミクストコンクリート標準使用基準」による。

4. 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
5. 出来形管理は規格毎の設置力所数の増減による。

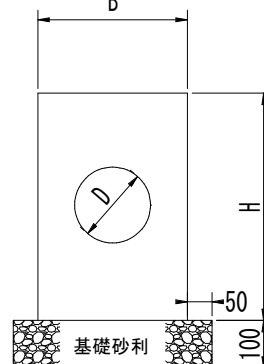
農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	パイプライン	区 分	かんぱい
A - 65	水平スラストブロックA型		
設計番号	SLB-A-050-1-06-F～SLB-A-125-4-25-N		

水平スラストブロック A型

平面図



断面図



寸法表(2)

(mm)

設 計 番 号	管 径 D m m	設計水圧 M P a	土 被 り																							
			0.6m				1.0m				1.2m				1.5m				2.0m				2.5m			
			B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2
SLB-A-150-1-0-0	150	0.10	500	500	0	500	500	500	0	500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-A-150-1.5-0-0		0.15	500	500	0	500	500	500	0	500	500	500	0	500	500	500	0	500	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-A-150-2-0-0		0.20	500	500	0	500	500	500	0	500	500	500	0	500	500	500	0	500	500	500	0	500	—	—	—	—
SLB-A-150-4-0-0		0.40	500	600	0	500	500	500	0	500	500	500	0	500	500	500	0	500	500	500	0	500	500	500	0	500
SLB-A-200-1-0-0	200	0.10	500	500	0	500	500	500	0	500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-A-200-1.5-0-0		0.15	500	500	0	500	500	500	0	500	500	500	0	500	500	500	0	500	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-A-200-2-0-0		0.20	500	600	0	500	500	500	0	500	500	500	0	500	500	500	0	500	500	500	0	500	—	—	—	—
SLB-A-200-4-0-0		0.40	500	700	250	750	500	700	0	500	500	600	0	500	500	500	0	500	500	500	0	500	500	500	0	500
SLB-A-250-1-0-0	250	0.10	600	600	0	600	600	600	0	600	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-A-250-1.5-0-0		0.15	600	600	0	600	600	600	0	600	600	600	0	600	600	600	0	600	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-A-250-2-0-0		0.20	600	700	0	600	600	600	0	600	600	600	0	600	600	600	0	600	600	600	0	600	—	—	—	—
SLB-A-250-4-0-0		0.40	600	900	300	900	600	900	0	600	600	800	0	600	600	600	0	600	600	600	0	600	600	600	0	600
SLB-A-300-1-0-0	300	0.10	600	600	0	600	600	600	0	600	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-A-300-1.5-0-0		0.15	600	700	0	600	600	600	0	600	600	600	0	600	600	600	0	600	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-A-300-2-0-0		0.20	600	900	50	650	600	600	0	600	600	600	0	600	600	600	0	600	600	600	0	600	—	—	—	—
SLB-A-300-4-0-0		0.40	600	900	550	1150	600	900	200	800	600	900	100	700	600	900	0	600	600	700	0	600	600	600	0	600

SLB-○-○○○-○-○-○

基礎砂利の有無 有F・無N

土被り(0, 6, 10, …25)

設計水圧

パイプの径

型式の略号(A)

スラストブロックの略号

関連図番	

注意事項

1. 平面的に曲管とスラストブロックは、曲管の曲りの中心から左右に対称となるような位置に施工すること。
2. 管とスラストブロックのかぶりは、管頂と管側が同程度になるように施工すること。
3. コンクリートの仕様

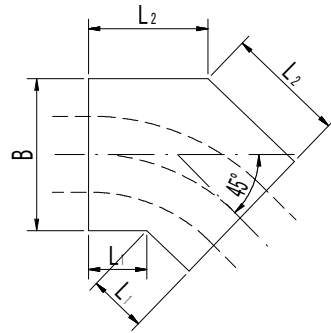
種 別	φ28	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 $\frac{1}{mm^2}$	8±2.5 $\frac{cm}{mm^2}$	40 $\frac{mm}{mm^2}$	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディミクストコンクリート標準使用基準」による。
4. 基礎砂利の種類、品質、規格は特記仕様書による。
5. 出来形管理は規格毎の設置力所数の増減による。

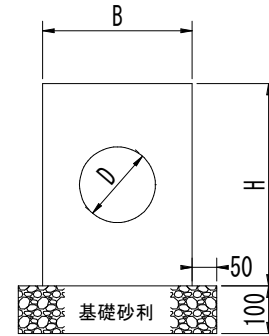
農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	パイプライン	区 分	かんぱい
A - 66	水平スラストブロックA型		
設計番号	SLB-A-050-1-06-F~SLB-A-300-4-25-N		

水平スラストブロック B型

側 面 図



断 面 図



水平45度

寸 法 表 (1)

(mm)

設 計 番 号	管 径 D mm	設計水圧 M P a	土 被 り																							
			0.6m				1.0m				1.2m				1.5m				2.0m				2.5m			
			B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2
SLB-B-050-1-0-0	50	0.10	300	300	90	210	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-B-050-1.5-0-0		0.15	300	300	90	210	300	300	90	210	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-B-050-2-0-0		0.20	300	300	90	210	300	300	90	210	300	300	90	210	300	300	90	210	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-B-050-4-0-0		0.40	300	300	90	210	300	300	90	210	300	300	90	210	300	300	90	210	300	300	90	210	300	300	90	210
SLB-B-075-1-0-0	75	0.10	300	300	90	210	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-B-075-1.5-0-0		0.15	300	300	90	210	300	300	90	210	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-B-075-2-0-0		0.20	300	300	90	210	300	300	90	210	300	300	90	210	300	300	90	210	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-B-075-4-0-0		0.40	300	300	90	210	300	300	90	210	300	300	90	210	300	300	90	210	300	300	90	210	300	300	90	210
SLB-B-100-1-0-0	100	0.10	400	400	120	280	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-B-100-1.5-0-0		0.15	400	400	120	280	400	400	120	280	400	400	120	280	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-B-100-2-0-0		0.20	400	400	120	280	400	400	120	280	400	400	120	280	400	400	120	280	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-B-100-4-0-0		0.40	400	400	120	280	400	400	120	280	400	400	120	280	400	400	120	280	400	400	120	280	400	400	120	280
SLB-B-125-1-0-0	125	0.10	400	400	120	280	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-B-125-1.5-0-0		0.15	400	400	120	280	400	400	120	280	400	400	120	280	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-B-125-2-0-0		0.20	400	400	120	280	400	400	120	280	400	400	120	280	400	400	120	280	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-B-125-4-0-0		0.40	400	400	120	280	400	400	120	280	400	400	120	280	400	400	120	280	400	400	120	280	400	400	120	280

SLB-○-○○○-○-○-○

基礎砂利の有無 有 F ・ 無 N

土被り (0, 6, 10, …25)

設計水圧

パイプの径

型式の略号 (B)

スラストブロックの略号

関	
連	
図	
番	

注 意 事 項

1. 管路とスラストブロックのかぶりは、管頂と管側が同程度になるように、施工すること。
2. コンクリートの仕様

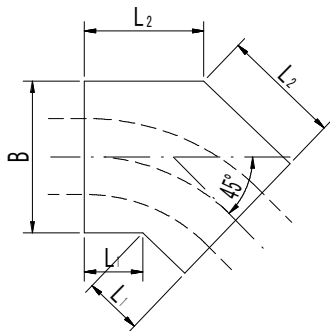
種 別	σ28	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 $\frac{N}{mm^2}$	8±2.5 $\frac{cm}{mm}$	40 $\frac{mm}{mm}$	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディミクストコンクリート標準使用基準」による。
3. 基礎砂利の種類、品質、規格は特記仕様書による。
4. 出来形管理は規格毎の設置力所数の増減による。

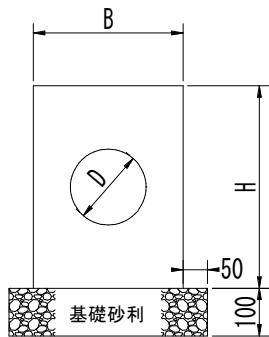
農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	パイプライン	区 分	かんぱい
A - 67	水平スラストブロックB型		
設計番号	SLB-B-050-1-06-F~SLB-B-125-4-25-N		

水平スラストブロック B型

平面図



断面図



注 意 事 項

- 1. 管路とスラストブロックのかぶりは、管頂と管側が同程度になるように、施工すること。
- 2. コンクリートの仕様

種 別	σ28	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5 cm	40 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディミクストコンクリート標準使用基準」による。
- 3. 基礎砂利の種類、品質、規格は特記仕様書による。
- 4. 出来形管理は規格毎の設置力所数の増減による。

水平 4 5 度

寸 法 表 (2)

(mm)

設 計 番 号	管 径 D m m	設計水圧 M P a	土 被 り																							
			0. 6m				1. 0m				1. 2m				1. 5m				2. 0m				2. 5m			
			B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2
SLB-B-150-1-0-0	150	0. 10	500	500	150	350	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
SLB-B-150-1. 5-0-0		0. 15	500	500	150	350	500	500	150	350	500	500	150	350	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
SLB-B-150-2-0-0		0. 20	500	500	150	350	500	500	150	350	500	500	150	350	500	500	150	350	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-B-150-4-0-0		0. 40	500	500	150	350	500	500	150	350	500	500	150	350	500	500	150	350	500	500	150	350	500	500	150	350
SLB-B-200-1-0-0	200	0. 10	500	500	150	350	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
SLB-B-200-1. 5-0-0		0. 15	500	500	150	350	500	500	150	350	500	500	150	350	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
SLB-B-200-2-0-0		0. 20	500	500	150	350	500	500	150	350	500	500	150	350	500	500	150	350	—	—	—	—	—	—	—	
SLB-B-200-4-0-0		0. 40	500	700	200	400	500	500	150	350	500	500	150	350	500	500	150	350	500	500	150	350	500	500	150	350
SLB-B-250-1-0-0	250	0. 10	600	600	180	420	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
SLB-B-250-1. 5-0-0		0. 15	600	600	180	420	600	600	180	420	600	600	180	420	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
SLB-B-250-2-0-0		0. 20	600	600	180	420	600	600	180	420	600	600	180	420	600	600	180	420	600	600	180	420	—	—	—	—
SLB-B-250-4-0-0		0. 40	600	800	280	520	600	600	180	420	600	600	180	420	600	600	180	420	600	600	180	420	600	600	180	420
SLB-B-300-1-0-0	300	0. 10	600	600	180	420	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
SLB-B-300-1. 5-0-0		0. 15	600	600	180	420	600	600	180	420	600	600	180	420	600	600	180	420	—	—	—	—	—	—	—	
SLB-B-300-2-0-0		0. 20	600	600	180	420	600	600	180	420	600	600	180	420	600	600	180	420	600	600	180	420	—	—	—	—
SLB-B-300-4-0-0		0. 40	600	900	280	520	600	700	180	420	600	600	180	420	600	600	180	420	600	600	180	420	600	600	180	420

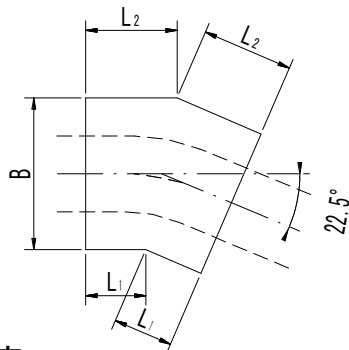
SLB-○-○○○-○-○-○
基礎砂利の有無 有F・無N
土被り(0, 6, 10, …25)
設計水圧
パイプの径
型式の略号(B)
スラストブロックの略号

関	
連	
図	
番	

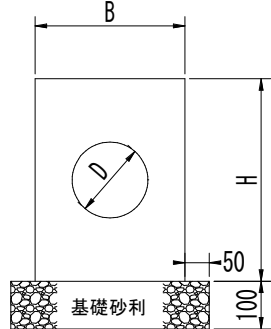
農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	パイプライン	区 分	かんぱい
A - 68	水平スラストブロックB型		
設計番号	SLB-B-050-1-06-F~SLB-B-300-4-25-N		

水平スラストブロック C型

平面図



断面図



水平 22.5度

寸法表(1)

(mm)

設計番号	管径 D mm	設計水圧 MPa	土 被 り																							
			0.6m				1.0m				1.2m				1.5m				2.0m				2.5m			
			B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2
SLB-C-050-1.5-0-0	50	0.15	300	300	120	180	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-050-2-0-0		0.20	300	300	120	180	300	300	120	180	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-050-4-0-0		0.40	300	300	120	180	300	300	120	180	300	300	120	180	300	300	120	180	300	300	120	180	—	—	—	—
SLB-B-075-1.5-0-0	75	0.15	300	300	120	180	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-075-2-0-0		0.20	300	300	120	180	300	300	120	180	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-075-4-0-0		0.40	300	300	120	180	300	300	120	180	300	300	120	180	300	300	120	180	300	300	120	180	—	—	—	—
SLB-C-100-1-0-0	100	0.10	400	400	160	240	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-100-1.5-0-0		0.15	400	400	160	240	400	400	160	240	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-100-2-0-0		0.20	400	400	160	240	400	400	160	240	400	400	160	240	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-100-4-0-0		0.40	400	400	160	240	400	400	160	240	400	400	160	240	400	400	160	240	400	400	160	240	400	400	160	240
SLB-C-125-1-0-0	125	0.10	400	400	160	240	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-125-1.5-0-0		0.15	400	400	160	240	400	400	160	240	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-125-2-0-0		0.20	400	400	160	240	400	400	160	240	400	400	160	240	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-125-4-0-0		0.40	400	400	160	240	400	400	160	240	400	400	160	240	400	400	160	240	400	400	160	240	400	400	160	240

SLB-○-○○○-○-○-○
基礎砂利の有無 有F・無N
土被り(0, 6, 10, …25)
設計水圧
パイプの径
型式の略号(C)
スラストブロックの略号

関連図番	

注意事項

- 1. 管とスラストブロックのかぶり、管頂と管側が同程度になるように、施工すること。
- 2. コンクリートの仕様

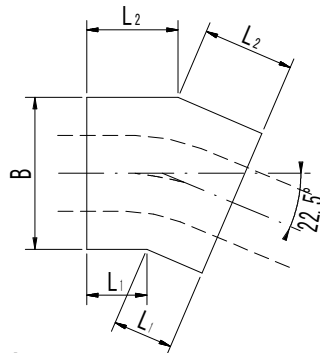
種別	σ28	SL	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 ¹ / _{mm²}	8±2.5 ^{cm}	40 ^{mm}	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディミクストコンクリート標準使用基準」による。
- 3. 基礎砂利の種類、品質、規格は特記仕様書による。
- 4. 出来形管理は規格毎の設置力所数の増減による。

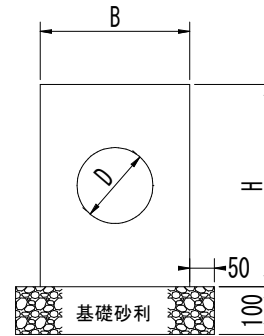
農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工種	パイプライン	区分	かんぱい
A - 69	水平スラストブロックC型		
設計番号	SLB-C-050-1.5-06-F~SLB-C-12-4-25-N		

水平スラストブロック C型

平面図



断面図



注意事項

1. 管とスラストブロックのかぶり厚は、管頂と管側が同程度になるように、施工すること。
2. コンクリートの仕様

種別	σ28	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5 cm	40 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディミクストコンクリート標準使用基準」による。
3. 基礎砂利の種類、品質、規格は特記仕様書による。
4. 出来形管理は規格毎の設置力所数の増減による。

水平 22.5 度

寸法表 (2)

(mm)

設 計 番 号	管 径 D m m	設計水圧 M P a	土 被 り																							
			0.6m				1.0m				1.2m				1.5m				2.0m				2.5m			
			B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2
SLB-C-150-1-0-0	150	0.10	500	500	200	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-150-1.5-0-0		0.15	500	500	200	300	500	500	200	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-150-2-0-0		0.20	500	500	200	300	500	500	200	300	500	500	200	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-150-4-0-0		0.40	500	500	200	300	500	500	200	300	500	500	200	300	500	500	200	300	500	500	200	300	500	500	200	300
SLB-C-200-1-0-0	200	0.10	500	500	200	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-200-1.5-0-0		0.15	500	500	200	300	500	500	200	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-200-2-0-0		0.20	500	500	200	300	500	500	200	300	500	500	200	300	500	500	200	300	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-200-4-0-0		0.40	500	500	200	300	500	500	200	300	500	500	200	300	500	500	200	300	500	500	200	300	500	500	200	300
SLB-C-250-1-0-0	250	0.10	600	600	240	360	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-250-1.5-0-0		0.15	600	600	240	360	600	600	240	360	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-250-2-0-0		0.20	600	600	240	360	600	600	240	360	600	600	240	360	600	600	240	360	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-250-4-0-0		0.40	600	600	240	360	600	600	240	360	600	600	240	360	600	600	240	360	600	600	240	360	600	600	240	360
SLB-C-300-1-0-0	300	0.10	600	600	240	360	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-300-1.5-0-0		0.15	600	600	240	360	600	600	240	360	600	600	240	360	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-300-2-0-0		0.20	600	600	240	360	600	600	240	360	600	600	240	360	600	600	240	360	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-C-300-4-0-0		0.40	600	600	240	360	600	600	240	360	600	600	240	360	600	600	240	360	600	600	240	360	600	600	240	360

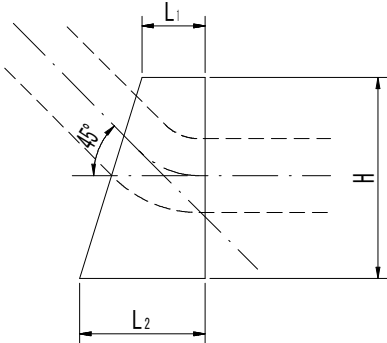
SLB-○-○○○-○-○-○
 基礎砂利の有無 有 F・無 N
 土被り (0, 6, 10, …25)
 設計水圧
 パイプの径
 型式の略号 (C)
 スラストブロックの略号

関連図番	

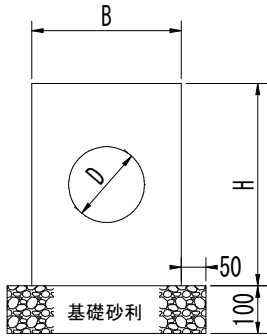
農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	パイプライン	区 分	かんぱい
A - 70	水平スラストブロックC型		
設計番号	SLB-C-050-1-06-F～SLB-C-300-4-25-N		

鉛直下向きスラストブロック D型

側 面 図



断 面 図



鉛直 4 5 度

寸 法 表

(mm)

設 計 番 号	管 径 D m m	設計水圧 M P a	土 被 り																							
			0. 6m				1. 0m				1. 2m				1. 5m				2. 0m				2. 5m			
			B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2
SLB-D-050-4-0-0	50	0. 40	300	300	150	300	300	300	150	300	300	300	150	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-D-075-4-0-0	75	0. 40	300	300	150	300	300	300	150	300	300	300	150	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-D-100-4-0-0	100	0. 40	400	400	150	300	400	400	150	300	400	400	150	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-D-125-4-0-0	125	0. 40	400	400	150	300	400	400	150	300	400	400	150	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-D-150-4-0-0	150	0. 40	500	500	150	300	500	500	150	300	500	500	150	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-D-200-4-0-0	200	0. 40	500	500	150	300	500	500	150	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-D-250-4-0-0	250	0. 40	600	600	150	300	600	600	150	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-D-300-4-0-0	300	0. 40	600	600	150	300	600	600	150	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

SLB-○-○○○-○-○-○
基礎砂利の有無 有 F・無 N
土被り (0, 6, 10, ...25)
設計水圧
パイプの径
型式の略号 (D)
スラストブロックの略号

関	
連	
図	
番	

注 意 事 項

- 管とスラストブロックのかぶり厚は、管頂と管側が同程度になるように、施工すること。
- コンクリートの仕様

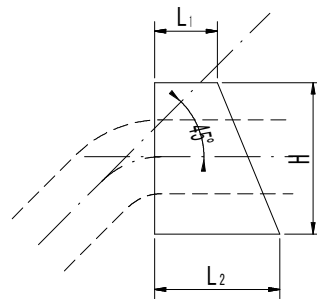
種 別	σ28	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 $\frac{N}{mm^2}$	8±2.5 $\frac{cm}{mm}$	40 $\frac{mm}{mm}$	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディミクストコンクリート標準使用基準」による。
- 基礎砂利の種類、品質、規格は特記仕様書による。
- 出来形管理は規格毎の設置力所数の増減による。

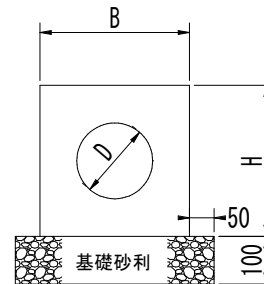
農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	パイプライン	区 分	かんぱい
A - 71	鉛直スラストブロック D型		
設計番号	SLB-D-050-4-06-F~SLB-D-300-4-10-N		

鉛直上向きスラストブロック E型

側 面 図



断 面 図



鉛直45度

寸 法 表

(mm)

設 計 番 号	管 径 D mm	設計水圧 M P a	土 被 り																							
			0.6m				1.0m				1.2m				1.5m				2.0m				2.5m			
			B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2	B	H	L1	L2
SLB-E-050-1.5-0-0	50	0.15	300	300	150	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-E-050-2-0-0		0.20	300	300	150	300	300	300	150	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-E-050-4-0-0		0.40	300	300	150	300	300	300	150	300	300	300	150	300	300	300	150	300	300	300	150	300	—	—	—	—
SLB-E-075-1.5-0-0	75	0.15	300	300	150	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-E-075-2-0-0		0.20	300	300	150	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
SLB-E-075-4-0-0		0.40	300	300	150	300	300	300	150	300	300	300	150	300	300	300	150	300	300	300	150	300	—	—	—	—
SLB-E-100-1.5-0-0	100	0.15	400	400	150	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-E-100-2-0-0		0.20	400	400	150	300	400	400	150	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-E-100-4-0-0		0.40	400	400	150	300	400	400	150	300	400	400	150	300	400	400	150	300	400	400	150	300	400	400	150	300
SLB-E-125-1.5-0-0	125	0.15	400	400	150	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-E-125-2-0-0		0.20	400	400	150	300	400	400	150	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-E-125-4-0-0		0.40	400	400	200	400	400	400	150	300	400	400	150	300	400	400	150	300	400	400	150	300	—	—	—	—
SLB-E-150-1.5-0-0	150	0.15	500	500	150	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-E-150-2-0-0		0.20	500	500	150	300	500	500	150	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-E-150-4-0-0		0.40	500	500	250	500	500	500	200	400	500	500	150	300	500	500	150	300	500	500	150	300	500	500	150	300
SLB-E-200-1.5-0-0	200	0.15	500	500	150	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-E-200-2-0-0		0.20	500	500	200	400	500	500	150	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-E-200-4-0-0		0.40	500	500	400	800	500	500	300	600	500	500	250	500	500	500	250	500	500	500	200	400	500	500	150	300
SLB-E-250-1.5-0-0	250	0.15	600	600	200	400	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-E-250-2-0-0		0.20	600	600	250	500	600	600	200	400	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-E-250-4-0-0		0.40	600	600	500	1000	600	600	400	800	600	600	350	700	600	600	300	600	600	600	250	500	600	600	200	400
SLB-E-300-2-0-0	300	0.20	600	600	400	800	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SLB-E-300-4-0-0		0.40	600	600	750	1500	600	600	550	1100	600	600	500	1000	600	600	450	900	600	600	350	700	600	600	300	600

SLB-○-○○○-○-○-○
 基礎砂利の有無 有 F・無 N
 土被り (0, 6, 10, …25)
 設計水圧
 パイプの径
 型式の略号 (E)
 スラストブロックの略号

関	
連	
図	
番	

注 意 事 項

- 管とスラストブロックのかぶり、管頂と管側が同程度になるように、施工すること。
- コンクリートの仕様

種 別	σ28	S L	Gmax	セメントの 種 類
無筋コンクリート	18 $\frac{N}{mm^2}$	8±2.5 $\frac{cm}{mm}$	40 $\frac{mm}{mm}$	

 コンクリートの仕様の詳細は、「レディミクストコンクリート標準使用基準」による。
- 基礎砂利の種類、品質、規格は特記仕様書による。
- 出来形管理は規格毎の設置力所数の増減による。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	パイプライン	区 分	かんぱい
A - 72	鉛直スラストブロックE型		
設計番号	SLB-E-050-1.5-06-F~SLB-E-300-4-25-N		

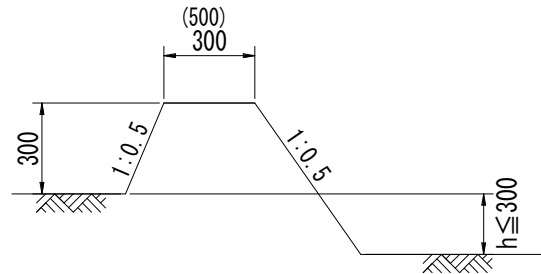
農業農村整備事業標準設計図

編 備 整 場 ほ

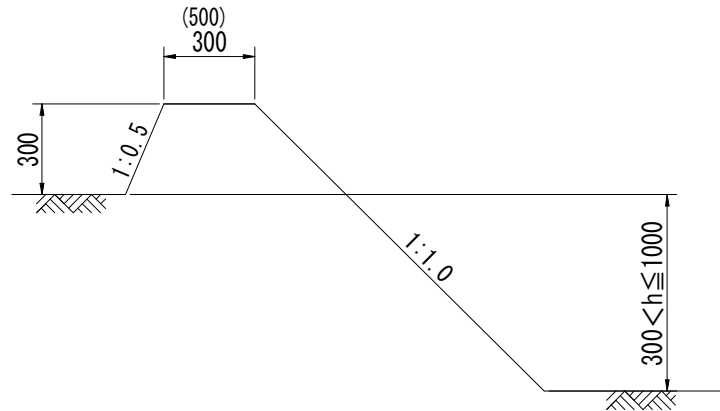
農業農村整備事業標準設計図

畦畔工

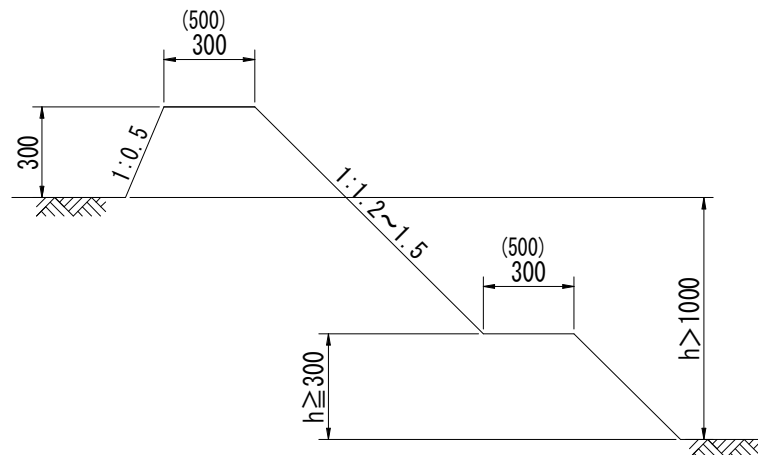
畦畔 A 型



畦畔 B 型



畦畔 C 型

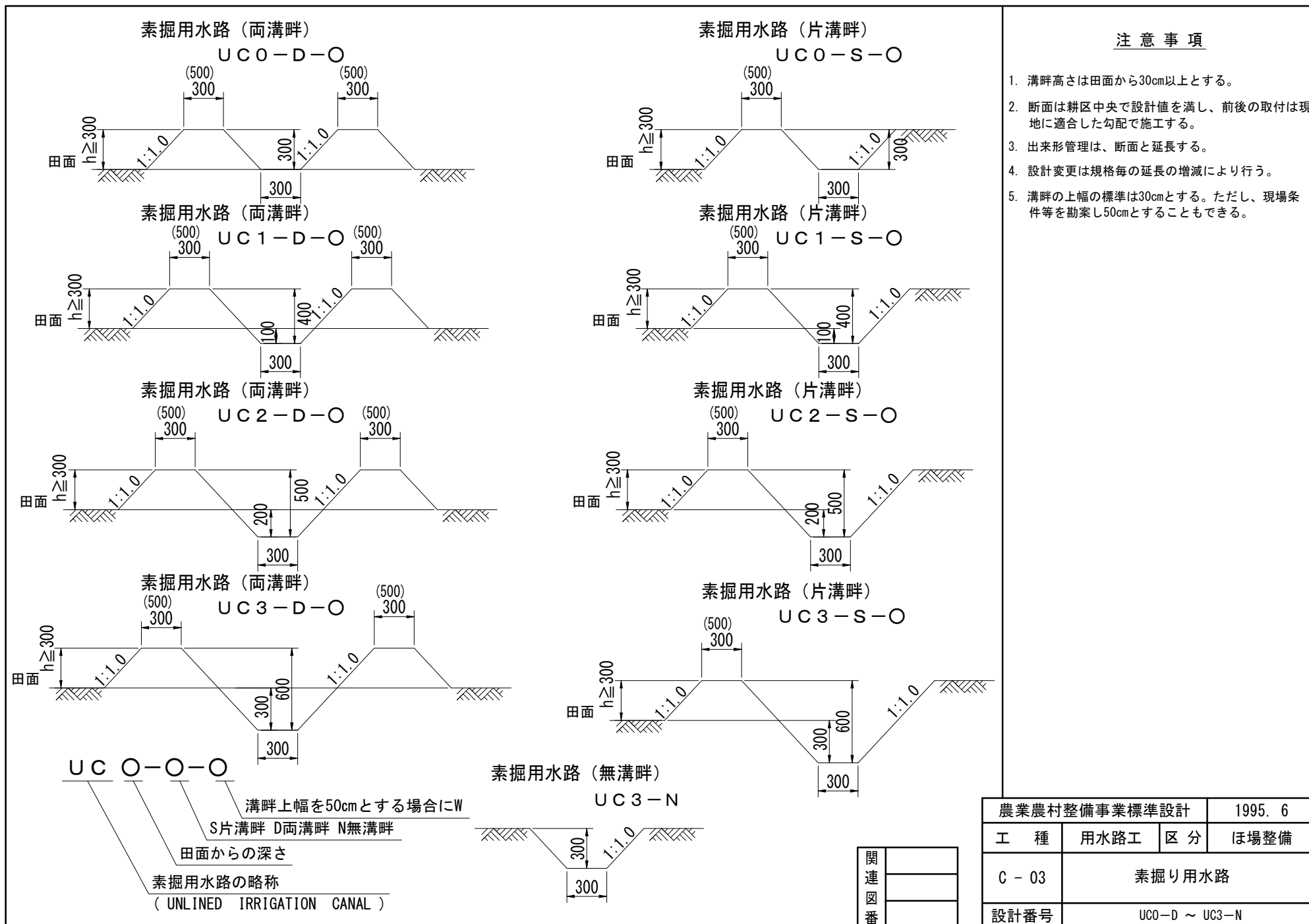


注 意 事 項

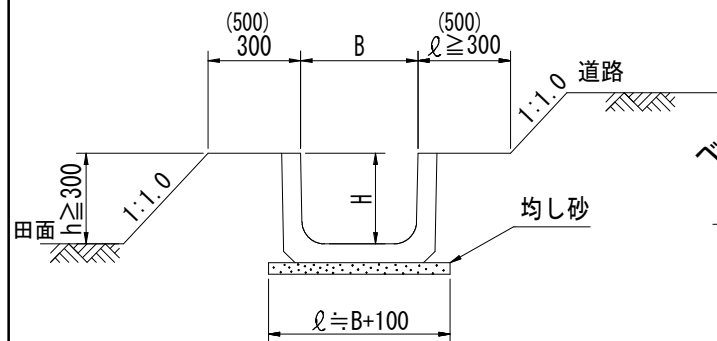
1. 畦畔の高さは高位部田面高より30cmとする。
2. 外法勾配は田差により決定し施工する。
3. 畦畔C型施工の場合、外法勾配及び h' の選定にあたっては、監督員の指示による。
4. 出来形管理は、断面について行う。
5. 変更は整地面積の増減により行う。
6. 畦畔の上幅の標準は30cmとする。ただし、現場条件等を勘案し50cmとすることもできるが、その場合には、特記仕様書に明示すること。

農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	畦 畔 工	区 分	ほ場整備
C - 01	畦 畔 工		
設計番号			

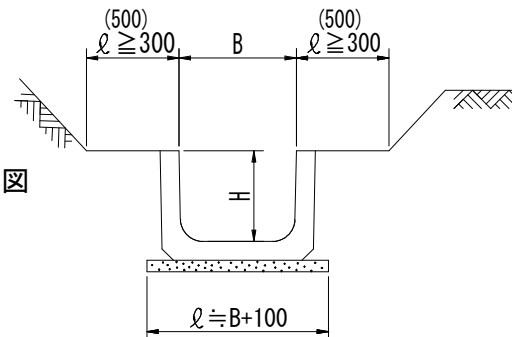
関	
連	
図	
番	



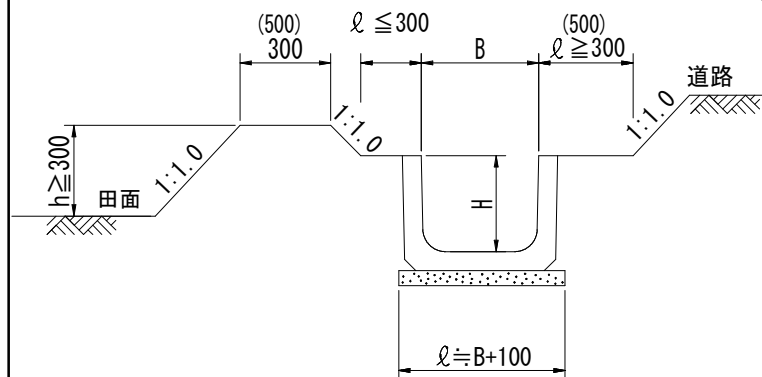
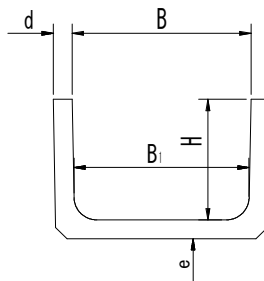
鉄筋コンクリートベンチフリューム水路（片溝畔）
BF-〇〇〇-S-〇



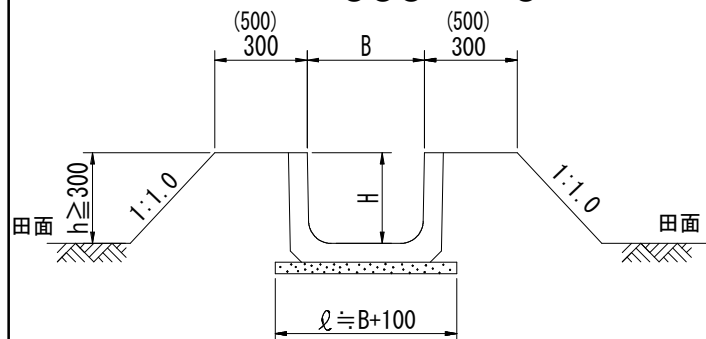
鉄筋コンクリートベンチフリューム水路（無溝畔）
BF-〇〇〇-N-〇



鉄筋コンクリート
ベンチフリューム寸法図



鉄筋コンクリートベンチフリューム水路（両溝畔）
BF-〇〇〇-D-〇



設計番号	断面寸法 (mm)				
	B	H	B1	d	e
BF-030-〇	300	200	260	30	40
BF-035-〇	350	235	300	35	45
BF-040-〇	400	260	345	40	50
BF-045-〇	450	295	390	40	50
BF-050-〇	500	320	435	45	55
BF-055-〇	550	355	475	45	60
BF-060-〇	600	380	520	45	60
BF-065-〇	650	415	565	45	65
BF-070-〇	700	440	610	50	70
BF-080-〇	800	490	695	50	75
BF-090-〇	900	550	785	55	85
BF-100-〇	1000	600	875	55	90

側壁頂部に縁をつけてもよい。その形状寸法は規定しない。

BF-〇〇〇-〇-〇

溝畔上幅を50cmにする場合にW

S片溝畔

D両溝畔 N無溝畔

ベンチフリューム規格の略号

ベンチフリューム水路の略称
(CONCRETE BENCH FLUME)

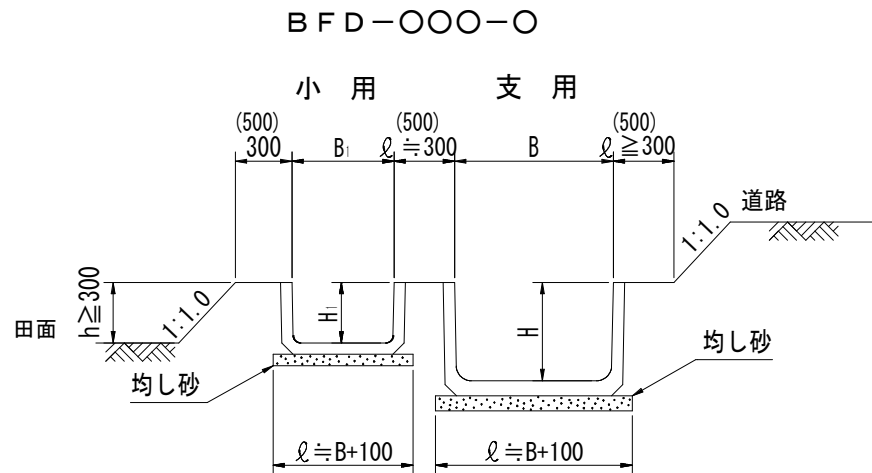
関連図番	

注 意 事 項

- 鉄筋コンクリートベンチフリュームは JISA-5372 及びこれに準ずる品質及び性能を有するものを使用する。
- ベンチフリュームを布設する掘削面は均し砂を使用して、不陸整正を行うこと。
- 小用水路については、所定の溝畔を確保し現地に適合した施工をする。
- 構造物との接続により製品延長に微数を生じた場合又は、曲線部施工によって間隔を生じた場合は監督職員の指示による。
- 出来形管理は、断面と延長する。
- 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。
- 溝畔の上幅の標準は30cmとする。ただし、現場条件等を勘案し50cmとすることもできる。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	用水路工	区 分	ほ場整備
C-04	鉄筋コンクリート ベンチフリューム水路		
設計番号	BF-030-S ~ BF-100-N-W		

複水路型鉄筋コンクリートベンチフリューム水路



BFD-000-00-0

溝畔上幅を50cmにする場合にW

小用ベンチフリューム規格の略号

支用ベンチフリューム規格の略号

複水路型ベンチフリューム水路の略称
(CONCRETE BENCH FLUME DOUBLE)

寸 法 表 (mm)				設 計 番 号
支用BF規格		小用BF規格		
B	H	B1	H1	
500	320	300	200	BFD-050-30
		350	235	BFD-050-35
		400	260	BFD-050-40
		450	295	BFD-050-45
		500	320	BFD-050-50
550	355	300	200	BFD-055-30
		350	235	BFD-055-35
		400	260	BFD-055-40
		450	295	BFD-055-45
		500	320	BFD-055-50
600	380	300	200	BFD-060-30
		350	235	BFD-060-35
		400	260	BFD-060-40
		450	295	BFD-060-45
		500	320	BFD-060-50
650	415	300	200	BFD-065-30
		350	235	BFD-065-35
		400	260	BFD-065-40
		450	295	BFD-065-45
		500	320	BFD-065-50
700	440	300	200	BFD-070-30
		350	235	BFD-070-35
		400	260	BFD-070-40
		450	295	BFD-070-45
		500	320	BFD-070-50
800	490	300	200	BFD-080-30
		350	235	BFD-080-35
		400	260	BFD-080-40
		450	295	BFD-080-45
		500	320	BFD-080-50
900	550	300	200	BFD-090-30
		350	235	BFD-090-35
		400	260	BFD-090-40
		450	295	BFD-090-45
		500	320	BFD-090-50
1000	600	300	200	BFD-100-30
		350	235	BFD-100-35
		400	260	BFD-100-40
		450	295	BFD-100-45
		500	320	BFD-100-50

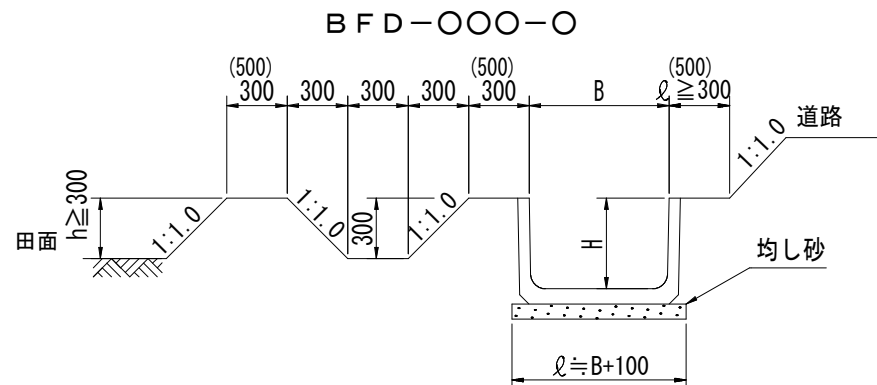
注 意 事 項

- 鉄筋コンクリートベンチフリュームは JISA-5372 及びこれに準ずる品質及び性能を有するものを使用する。
- ベンチフリュームを布設する掘削面は均し砂を使用して、不陸整正を行うこと。
- 縦断規定のない水路については耕区中央で設計値を満し、前後の取付は、現地に適合した勾配で施工する。
- 構造物との接続により製品延長に端数を生じた場合又は、曲線部施工によって間隔を生じた場合は、監督職員の指示による。
- 出来形管理は、断面と延長とする。
- 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。
- 溝畔の上幅の標準は30cmとする。ただし、現場条件等を勘案し50cmとすることもできる。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	用水路工	区 分	ほ場整備
C - 05	複水路型鉄筋コンクリート ベンチフリューム水路		
設計番号	BFD-050-30 ~ BFD-100-50-W		

関	
連	
図	
番	

複水路型鉄筋コンクリートベンチフリューム水路



B F D - 〇〇〇 - 〇

溝畔上幅を50cmとする場合にW

ベンチフリューム規格の略号

複水路型ベンチフリューム水路の略称
(CONCRETE BENCH FLUME DOUBLE)

BF規格 (mm)		設 計 番 号
B	H	
300	200	BFD-030
350	235	BFD-035
400	260	BFD-040
450	295	BFD-045
500	320	BFD-050
550	355	BFD-055
600	380	BFD-060
650	415	BFD-065
700	440	BFD-070
800	490	BFD-080
900	550	BFD-090
1000	600	BFD-100

注 意 事 項

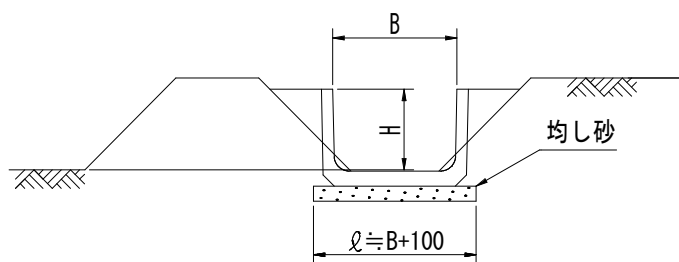
- 鉄筋コンクリートベンチフリュームは JISA-5372 及びこれに準ずる品質及び性能を有するものを使用する。
- ベンチフリュームを布設する掘削面は均し砂を使用して、不陸整正を行うこと。
- 縦断規定のない水路については耕区中央で設計値を満し、前後の取付は、現地に適合した勾配で施工する。
- 構造物との接続により製品延長に端数を生じた場合又は、曲線部施工によって間隔を生じた場合は、監督職員の指示による。
- 出来形管理は、断面と延長とする。
- 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。
- 溝畔の上幅の標準は30cmとする。ただし、現場条件等を勘案し50cmとすることもできる。

関	
連	
図	
番	

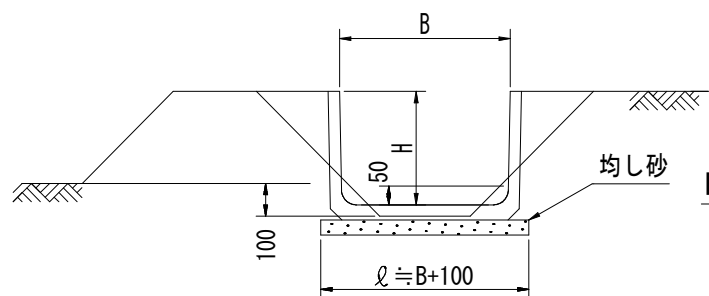
農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	付 帯 工	区 分	ほ場整備
C - 05	複水路型鉄筋コンクリート ベンチフリューム水路		
設計番号	BFD-030 ~ BFD-100-W		

既設素掘用水路鉄筋コンクリートベンチフリューム

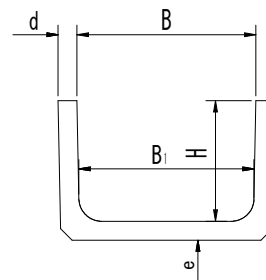
BFK00-000-0



BFK05-000-0



鉄筋コンクリート
ベンチフリューム寸法図



田面からの 深さ (cm)	設 計 番 号	断 面 寸 法 (mm)				
		B	H	B1	d	e
0	BFK00 - 030	300	200	260	30	40
	BFK00 - 035	350	235	300	35	45
	BFK00 - 040	400	260	345	40	50
	BFK00 - 045	450	295	390	40	50
	BFK05 - 030	300	200	260	30	40
05	BFK05 - 035	350	235	300	35	45
	BFK05 - 040	400	260	345	40	50
	BFK05 - 045	450	295	390	40	50
	BFK05 - 050	500	320	435	45	55
	BFK05 - 055	550	355	475	45	60
	BFK05 - 060	600	380	520	45	60

BFK 00-000

布設するベンチフリューム規格の略号

田面からの深さの略号

素掘用水路にベンチフリュームを布設する水路の略称
(CONCRETE BENCH FLUME KISETSU)

関	
連	
図	
番	

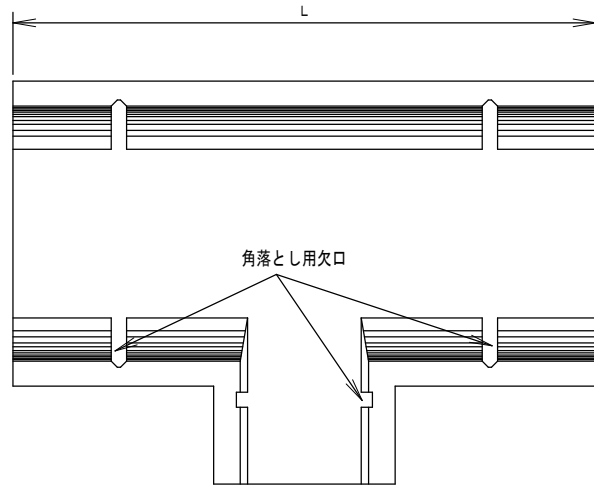
注 意 事 項

- 鉄筋コンクリートベンチフリュームは JISA-5372 及びこれに準ずる品質及び性能を有するものを使用する。
- ベンチフリュームを布設する掘消面は均し砂を使用して、不陸整正を行うこと。
- 縦断規定のない水路については耕区中央で設計値を満し、前後の取付は、現地に適合した勾配で施工する。
- 構造物との接続により製品延長に端数を生じた場合又は、曲線部施工によって間隔を生じた場合は、監督職員の指示による。
- 出来形管理は、断面と延長とする。
- 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。

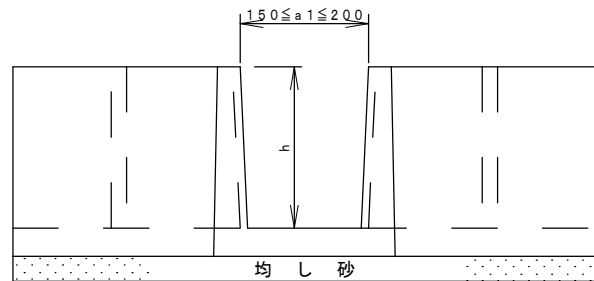
農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	用水路工	区 分	ほ場整備
C - 06	既設素掘用水路鉄筋 コンクリートベンチフリューム水路		
設計番号	BFK00-030 ~ BFK05-060		

ベンチフリューム水口工

平面図



正面図



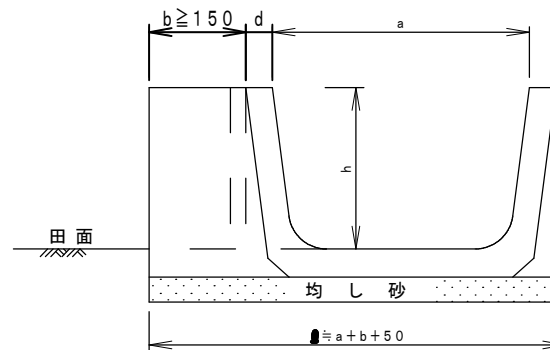
BFW-000

ベンチフリュームの略号

ベンチフリューム分水路の略称
(BENCH FLUME DIVISION WORK)

設計番号	呼び名	寸法表 (mm)			
		a	h	L	d
BFW-030	300	300	200	1000	30
BFW-035	350	350	235	1000	35
BFW-040	400	400	260	1000	40
BFW-045	450	450	295	1000	40
BFW-050	500	500	320	1000	45
BFW-055	550	550	355	1000	45
BFW-060	600	600	380	1000	45

側面図

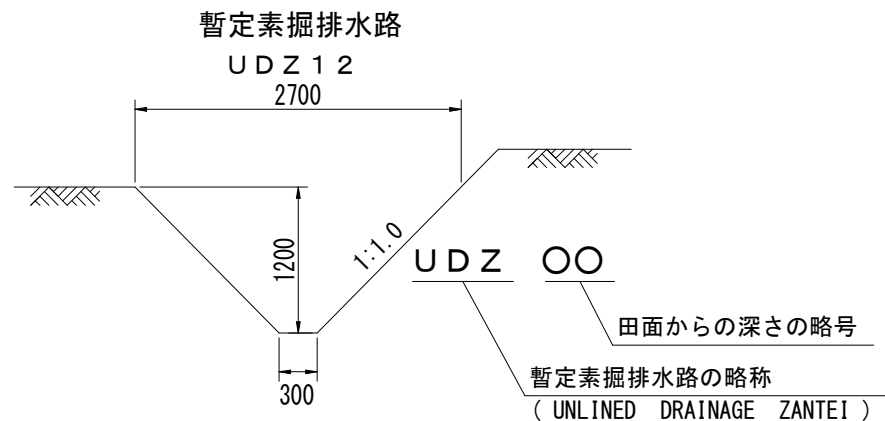
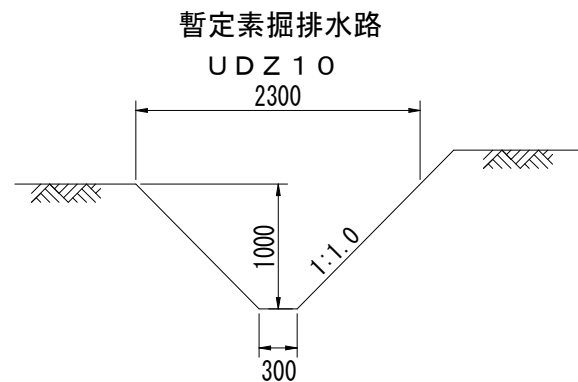
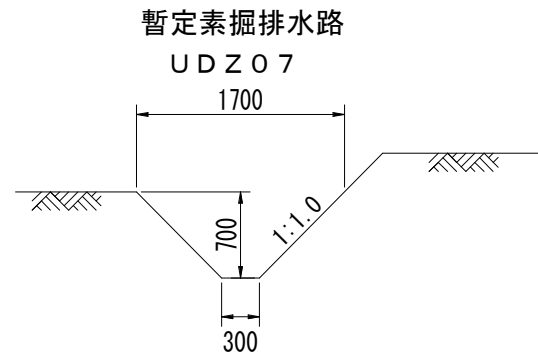


関連図番	

注意事項

1. J I S A 5 3 7 2 及びこれに準ずる品質及び性能を有する鉄筋コンクリートベンチフリュームに分水部を設けた製品とする。
2. 分水部も鉄筋が挿入された製品であること。
3. ベンチフリューム水口工を布設する掘削面は、均し砂を使用して不陸整正を行うこと。
4. 縦断規定のない水路についても、十分水田にかんがいできる高さをもつよう設置すること。
5. 標準位置図に示す設置位置の変更は、監督職員の指示による。
6. 出来形管理は、規格毎の箇所数とする。
7. 設計変更は、規格毎の箇所数の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	用水路工	区分	ほ場整備
C-07	ベンチフリューム水口工		
設計番号	BFW-030~BFW-060		



注 意 事 項

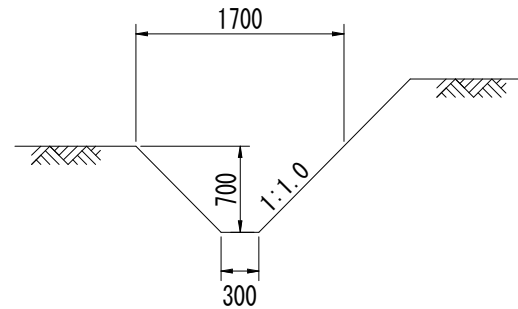
1. この標準図は、鉄筋コンクリート排水フリュームによる装工が必要かどうか判定困難な為、暫定断面で発注するものであり、掘削中監督職員の指示により施工断面に変更することもある。
2. 溝畔盛土用土を必要とする場合は、近くに集積しておくものとする。
3. この断面には、法面の仕上げは含まない。
4. 出来形管理は、断面と延長とする。
5. 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。

関	
連	
図	
番	

農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	排水路工	区 分	ほ場整備
C - 10	暫定素掘排水路		
設計番号	UDZ07 ~ UDZ12		

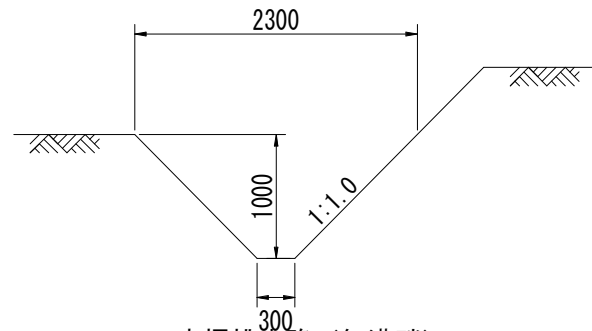
素掘排水路（無溝畔）

UD 07-N



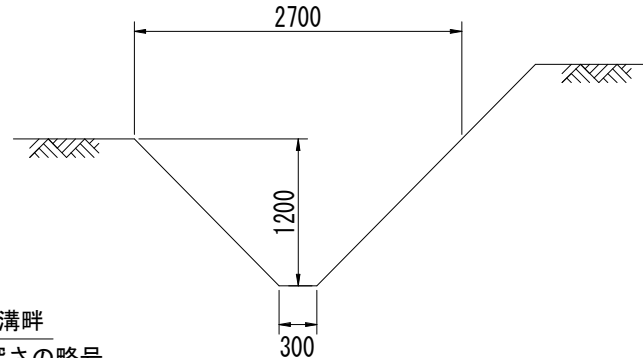
素掘排水路（無溝畔）

UD 10-N



素掘排水路（無溝畔）

UD 12-N



UD OO-N

無溝畔

排水路深さの略号

素掘排水路の略称
(UNLINED DRAINAGE)

注 意 事 項

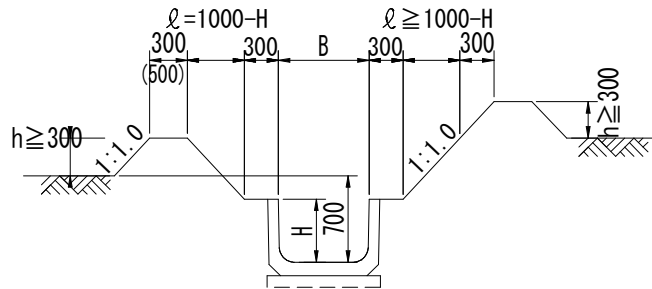
1. 断面は耕区中央で設計値を満し、前後の取付けは現地に適合した勾配で施工すること。
2. 出来形管理は、断面と延長とする。
3. 設計変更は規格毎の延長の増減により行う。

関	
連	
図	
番	

農業農村整備事業標準設計			1979. 3
工 種	排水路工	区 分	ほ場整備
C - 11	素掘り排水路 (2)		
設計番号	UD07-N ~ UD12-N		

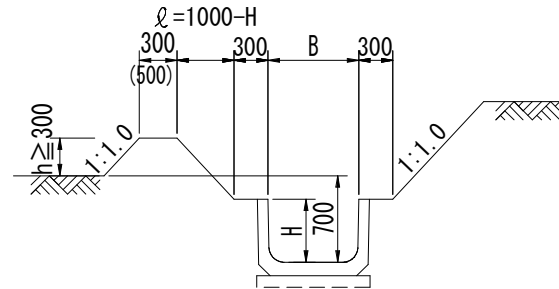
鉄筋コンクリート排水フリウム（両溝畔）

DF07-000-D-O-O



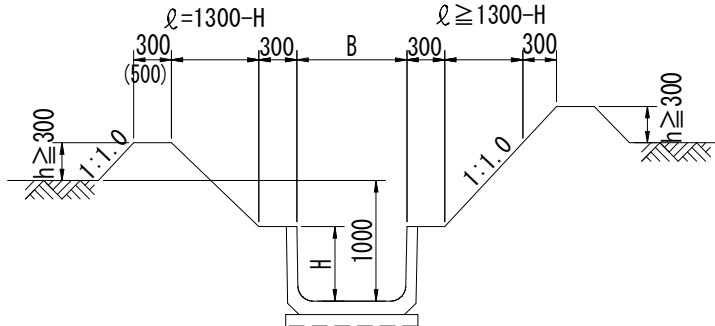
鉄筋コンクリート排水フリウム（片溝畔）

DF07-000-S-O-O



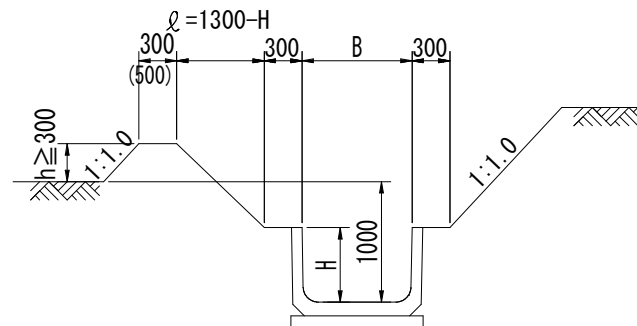
鉄筋コンクリート排水フリウム（両溝畔）

DF10-000-D-O-O



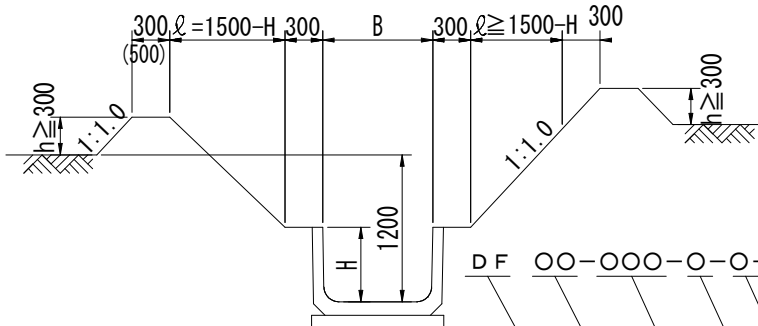
鉄筋コンクリート排水フリウム（片溝畔）

DF10-000-S-O-O



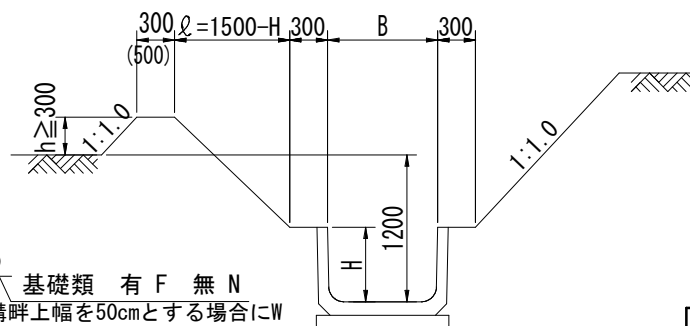
鉄筋コンクリート排水フリウム（両溝畔）

DF12-000-D-O-O



鉄筋コンクリート排水フリウム（片溝畔）

DF12-000-S-O-O



DF 00-000-O-O-O

基礎類 有 F 無 N
溝畔上幅を50cmとする場合にW
S: 片溝畔 D: 両溝畔 N: 無溝畔

排水フリウム規格の略号

田面からの深さの略号

鉄筋コンクリート排水フリウムの略称
(DRAINAGE FLUME)

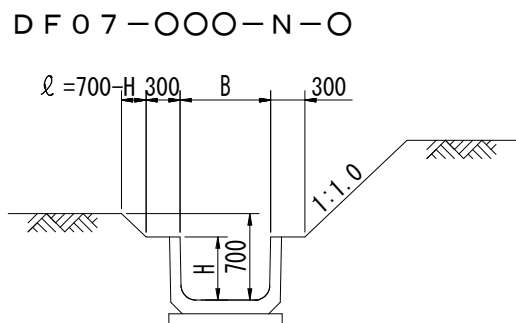
注 意 事 項

- 排水フリウムの種類、規格、許容モーメントは特記仕様書による。
- 溝畔高さは、田面から30cm以上とする。
- 小排水路については、耕区の中央で所定の断面を満たし、現地に適合した施工をする。
- 構造物との接続により製品延長に端数を生じた場合又は、曲線部施工によって間隔を生じた場合は、監督職員の指示による。
- 出来形管理は、断面と延長とする。
- 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。
- 溝畔の上幅の標準は30cmとする。ただし、現場条件等を勘案し50cmとすることもできる。

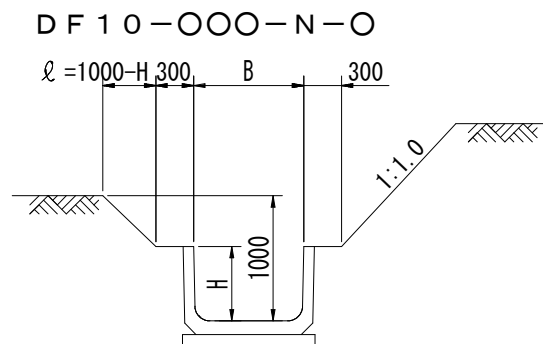
農業農村整備事業標準設計			2021.10
工 種	排水路工	区 分	ほ場整備
C - 12	鉄筋コンクリート排水フリウム水路 (1)		
設計番号	DF07-504-D-F ~ DF12-910-S-W-N		

関連図番	C - 14

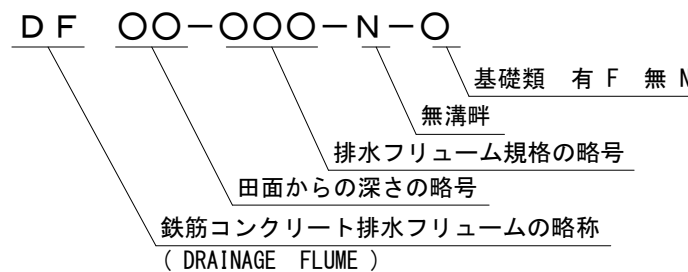
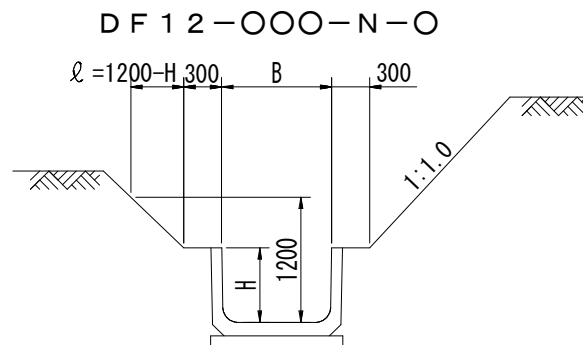
鉄筋コンクリート排水フリウム（無溝畔）



鉄筋コンクリート排水フリウム（無溝畔）



鉄筋コンクリート排水フリウム（無溝畔）



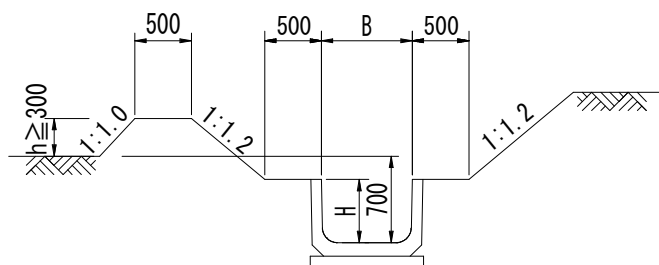
関連 図 番	C - 14

注 意 事 項

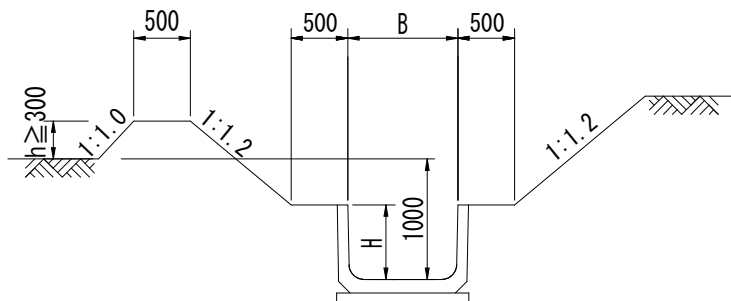
1. 排水フリウムの種類、規格、許容モーメントは特記仕様書による。
2. 小排水路については、耕区の中央で所定の断面を満たし、現地に適合した施工をする。
3. 構造物との接続により製品延長に端数を生じた場合又は、曲線部施工によって間隔を生じた場合は、監督職員の指示による。
4. 出来形管理は、断面と延長とする。
5. 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2021.10
工 種	排水路工	区 分	ほ場整備
C - 12	鉄筋コンクリート排水フリウム排水路 (2)		
設計番号	DF07-504-N-F ~ DF12-910-N-N		

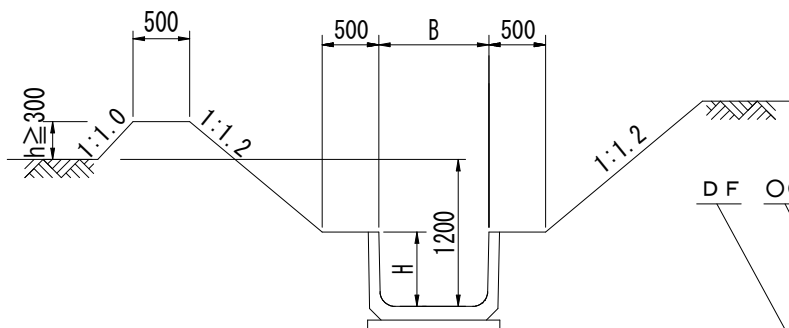
鉄筋コンクリート排水フリウム（片溝畔）
D F 0 7 - O O O - S - M - O



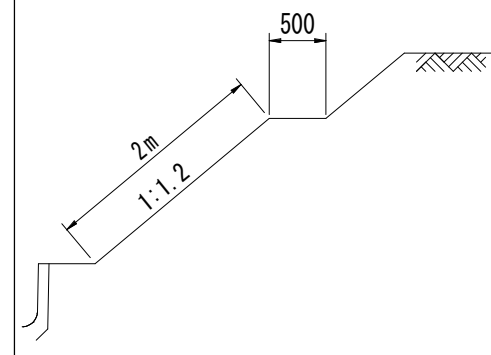
鉄筋コンクリート排水フリウム（片溝畔）
D F 1 0 - O O O - S - M - O



鉄筋コンクリート排水フリウム（片溝畔）
D F 1 2 - O O O - S - M - O



※法長が2mを超える場合は小段を設ける



D F O O - O O O - S - M - O

基礎類 有 F 無 N

溝畔上幅、水路ステップ幅 50cm

法勾配（水路側）1:1.2

片溝畔

排水フリウム規格の略号

田面からの深さの略号

鉄筋コンクリート排水フリウムの略称
（ DRAINAGE FLUME ）

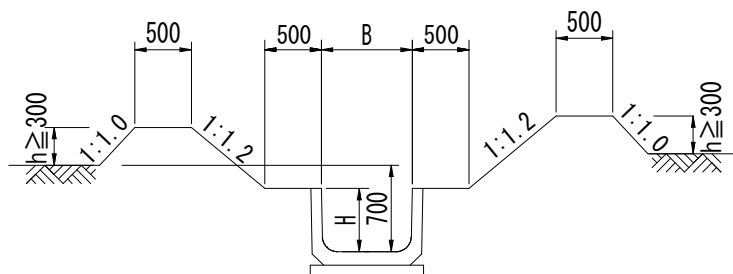
関連図番	C - 14
------	--------

注 意 事 項

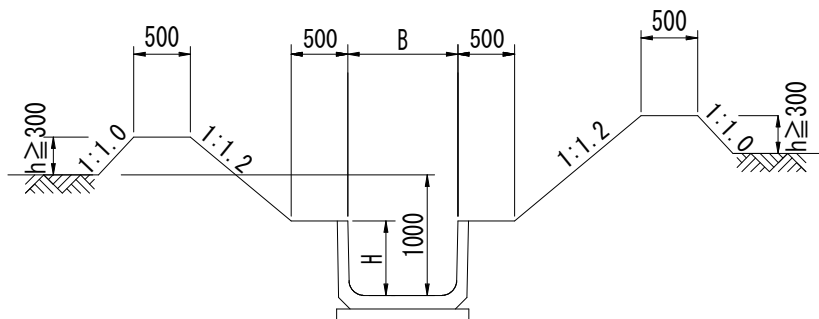
1. 排水フリウムの種類、規格、許容モーメントは特記仕様書による。
2. 溝畔高さは、田面から30cm以上とする。
3. 水路の深さについては、耕区の平均的な位置で所定の断面を満たすこととする。
4. 構造物との接続により製品延長に端数を生じた場合又は、曲線部施工によって間隔を生じた場合は、監督職員の指示による。
5. 出来形管理は、断面と延長とする。
6. 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。
7. 溝畔上幅、水路ステップ幅、小段幅の標準は50cmとする。
8. 法長が2mを超える場合を基準に小段を設けることとする。
9. 本標準図は、H29以降採択地区に適用する。

農業農村整備事業標準設計			2021.10
工 種	排水路工	区 分	ほ場整備
C - 12	鉄筋コンクリート排水フリウム水路（3）		
設計番号	DF07-504-S-M-F ~ DF12-920-S-M-N		

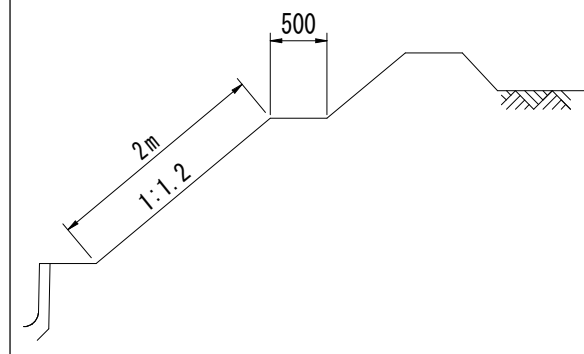
DF07-0000-D-M-O



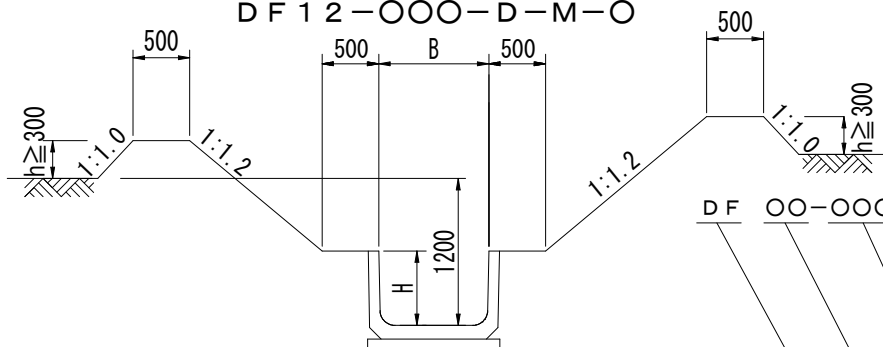
DF 10-000-D-M-O



※法長が2 mを超える場合は小段を設ける



DF 12-000-D-M-O



DF OO—OOO—D—M—O

溝畔上幅、水路ステップ幅 50cm

法勾配（水路側） 1:1.2

兩溝畔

排水フリーム規格の略号

田面からの深さの略号

鉄筋コンクリート排水フリームの略称

(DRAINAGE FLUME)

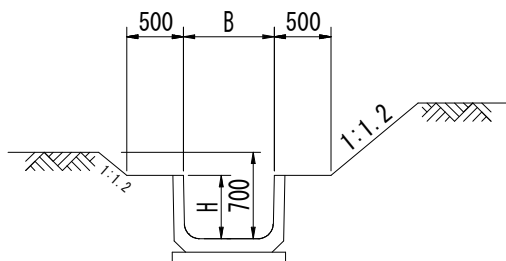
注意事項

1. 排水フリームの種類、規格、許容モーメントは特記仕様書による。
2. 溝畔高さは、田面から30cm以上とする。
3. 水路の深さについては、耕区の平均的な位置で所定の断面を満たすこととする。
4. 構造物との接続により製品延長に端数を生じた場合又は、曲線部施工によって間隔を生じた場合は、監督職員の指示による。
5. 出来形管理は、断面と延長とする。
6. 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。
7. 溝畔上幅、水路ステップ幅、小段幅の標準は50cmとする。
8. 法長が2mを超える場合を基準に小段を設けることとする。
9. 本標準図は、H29以降採択地区に適用する。

農業農村整備事業標準設計			2021.10
工 種	排水路工	区 分	ほ場整備
C - 12	鉄筋コンクリート 排水フリーム水路（４）		
設計番号	DF07-504-D-M-F ～ DF12-920-D-M-N		

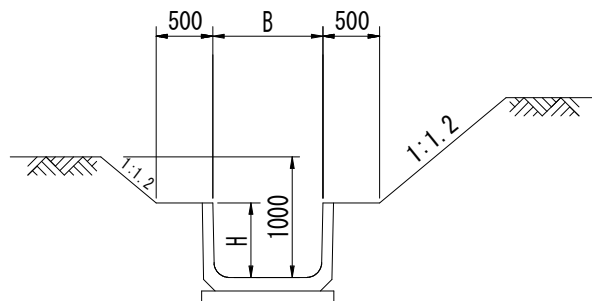
鉄筋コンクリート排水フリウム（無溝畔）

DF07-000-N-M-O



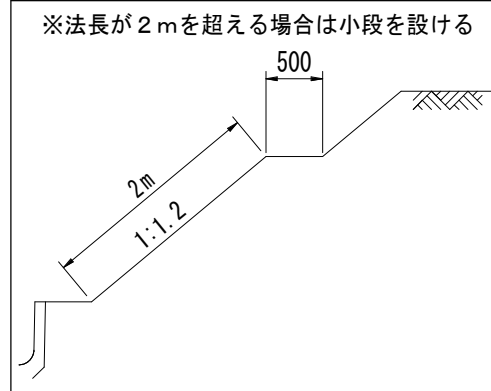
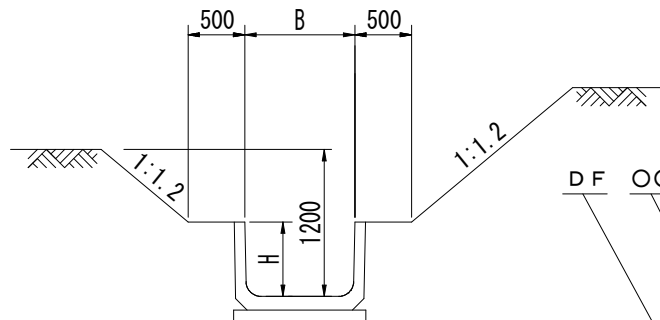
鉄筋コンクリート排水フリウム（無溝畔）

DF10-000-N-M-O



鉄筋コンクリート排水フリウム（無溝畔）

DF12-000-N-M-O



DF 00-000-N-M-O

基礎類 有 F 無 N

溝畔上幅、水路ステップ幅 50cm

法勾配（水路側）1:1.2

無溝畔

排水フリウム規格の略号

田面からの深さの略号

鉄筋コンクリート排水フリウムの略称
(DRAINAGE FLUME)

関連図番	C-14
------	------

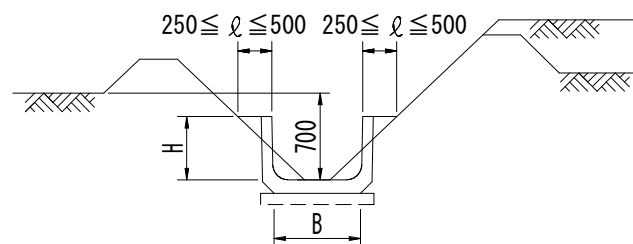
注 意 事 項

- 排水フリウムの種類、規格、許容モーメントは特記仕様書による。
- 溝畔高さは、田面から30cm以上とする。
- 水路の深さについては、耕区の平均的な位置で所定の断面を満たすこととする。
- 構造物との接続により製品延長に端数を生じた場合又は、曲線部施工によって間隔を生じた場合は、監督職員の指示による。
- 出来形管理は、断面と延長とする。
- 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。
- 水路ステップ幅、小段幅の標準は50cmとする。
- 法長が2mを超える場合を基準に小段を設けることとする。
- 本標準図は、H29以降採択地区に適用する。

農業農村整備事業標準設計			2021.10
工 種	排水路工	区 分	ほ場整備
C-12	鉄筋コンクリート排水フリウム水路（5）		
設計番号	DF07-504-N-M-F ~ DF12-920-N-M-N		

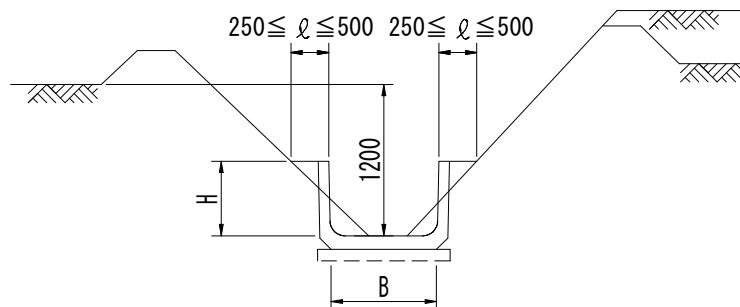
既設素堀排水路コンクリート排水フリューム

DFK07-000-O



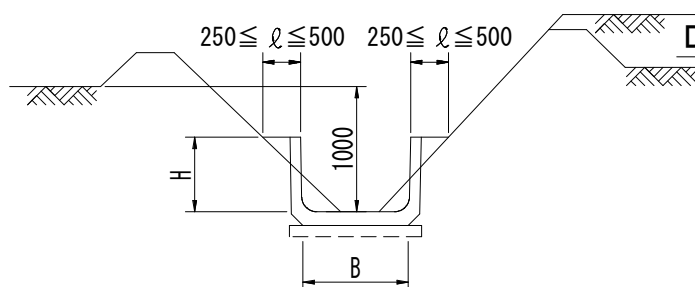
既設素堀排水路コンクリート排水フリューム

DFK12-000-O



既設素堀排水路コンクリート排水フリューム

DFK10-000-O



DFK 00-000-O

基礎類 有 F 無 N
布設する排水フリューム規格の略号
田面からの深さの略号

素堀排水路に排水フリュームを布設する水路の略称
(DRAINAGE FLUME KISETSU)

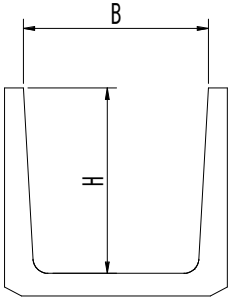
注 意 事 項

1. この標準図は、素堀水路として完成した後、次年度以降必要に応じて施工を行う場合適用する。
2. 排水フリュームの種類、規格、許容モーメントは特記仕様書による。
3. 構造物との接続により製品延長に微数を生じた場合又は、曲線部施工によって間隔を生じた場合は、監督職員の指示による。
4. 出来形管理は、断面と延長とする。
5. 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2021.10
工 種	排水路工	区 分	ほ場整備
C - 13	既設素堀排水路コンクリート排水フリューム		
設計番号	DFK07-504-F ~ DFK12-910-N		

関連図番	C - 11
	C - 14

鉄筋コンクリート排水フリューム寸法図



寸 法 (mm)		設 計 番 号
H	B	
500	400	DF 〇〇-504-〇-〇
600	400	DF 〇〇-604-〇-〇
600	600	DF 〇〇-606-〇-〇
600	800	DF 〇〇-608-〇-〇
600	1000	DF 〇〇-610-〇-〇
700	400	DF 〇〇-704-〇-〇
700	600	DF 〇〇-706-〇-〇
700	800	DF 〇〇-708-〇-〇
700	1000	DF 〇〇-710-〇-〇
900	500	DF 〇〇-905-〇-〇
900	600	DF 〇〇-906-〇-〇
900	800	DF 〇〇-908-〇-〇

DF

〇〇-〇〇〇-〇-〇

基礎類 有 F 無 N

S:片溝畔 D:両溝畔 N:無溝畔

排水フリューム規格の略号

田面からの深さの略号

鉄筋コンクリート排水フリュームの略称
(DRAINAGE FLUME)

注 意 事 項

- 鉄筋コンクリート排水フリュームの規格は特記仕様書による。

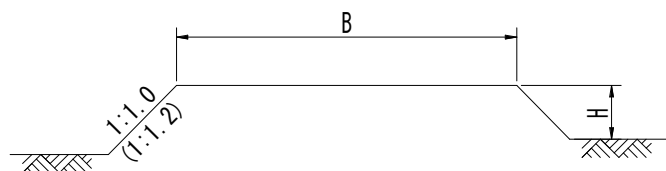
農業農村整備事業標準設計			2021.10
工 種	排水路工	区 分	ほ場整備
C - 14	鉄筋コンクリート排水フリューム寸法図		
設計番号	DF07-504-D-F ~ DF12-920-N-N		

関連図番	C - 12
	C - 13

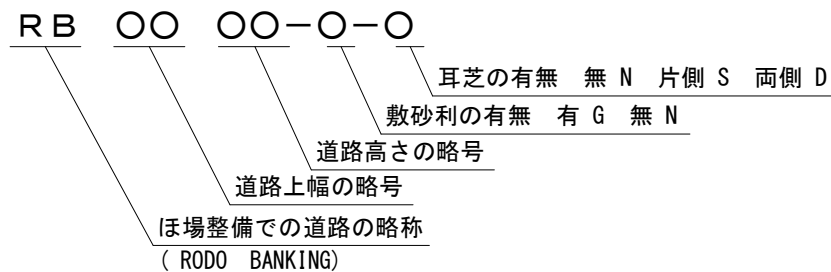
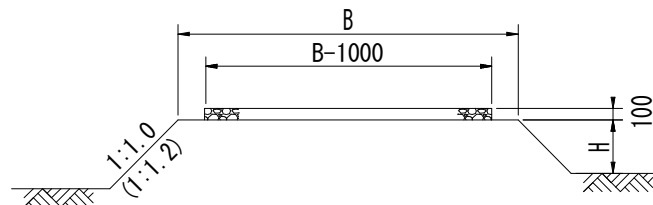
注 意 事 項

1. 路面高さは、左右田面の高位部からとする。
2. 道路延長方向の田差が大きく標準図によりがたい場合は現地の状況に合わせて施工する。
3. 横断形状は路面排水が良好となるよう施工する。
4. 耳芝は人工芝とし幅7cmを使用する。
5. 敷砂利の種類、品質、規格は特記仕様書による。
6. 出来形管理は、断面と延長とする。
7. 設計変更は、幅員毎の延長の増減により行う。

道路工（敷砂利無）
R B O O O O - N - O



道路工（敷砂利有）
R B O O O O - G - O

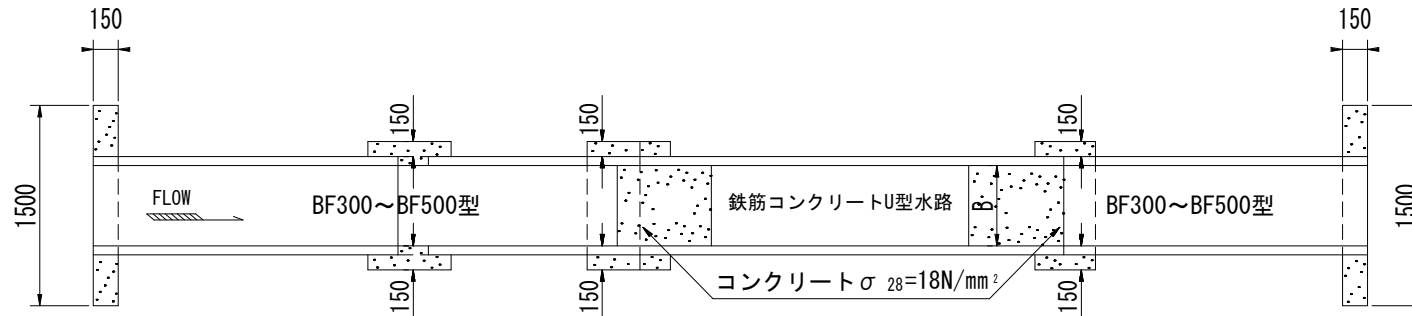


関	
連	
図	
番	

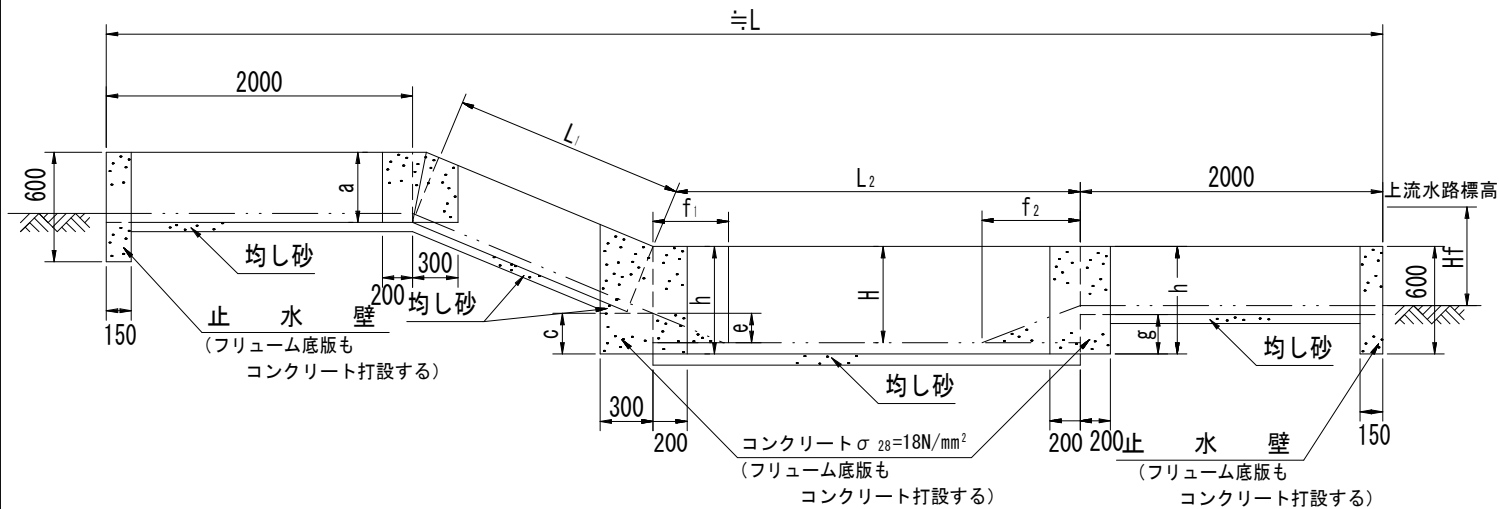
農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	道 路 工	区 分	ほ場整備
C - 20	道 路		
設計番号	R B O O O O		

素掘用水路落差工（跳水型）

平面図



側面図



DIS-〇〇〇-〇〇-〇

S:片溝畔 D:両溝畔 N:無溝畔

適用最大落差の略号

取付ベンチフリュームの規格の略号

素掘り用水落差工の略称

関連図番	C-26
------	------

注意事項

1. 構造物の位置、規格、落差は計画平面図による。
2. 水路計画高さは、監督職員の指示によること。
3. 鉄筋コンクリートベンチフリュームは JISA-5372及びこれに準ずる品質及び性能を有するものを使用する。
4. 鉄筋コンクリート水路は図示した断面と同等程度とし、種類、規格は監督職員の承認を得ること。
5. コンクリートの仕様

種別	σ28	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5 mm	40 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
6. ベンチフリュームを布設する掘削面は均し砂を使用して、不陸整正を行うこと。使用量は100m²当り3m³程度とする。
7. 均し砂の材質は特記仕様書による。
8. 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
9. 設計変更は、断面毎の設置力所数の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工種	付帯工	区分	ほ場整備
C-25	素掘り用水路落差工（跳水型）		
設計番号	DIS-030-05-S~DIS-050-10-N		

素掘用水路落差工（跳水型）寸法表

ベンチフ リューム規格	設 計 番 号	寸 法 表 (mm)												
		落差 (H f)	鉄筋コンクリート U 型 水 路 規 格		L	L1	L2	a	c	e	f1	f2	g	h
			幅 (B)	高 (H)										
BF 300型	DIS-030-05-○	Hf ≤ 500	300	300	7000	1000	2000	240	150	100	150	300	115	355
	DIS-030-10-○	500<Hf ≤ 1000	360	360	8900	2000	3000	240	220	160	240	480	185	425
BF 350型	DIS-035-05-○	Hf ≤ 500			7000	1000	2000	280	190	125	190	380	145	425
	DIS-035-10-○	500<Hf ≤ 1000	400	400	8900	2000	3000	280	230	165	250	500	190	470
BF 400型	DIS-040-05-○	Hf ≤ 500			8000	1000	3000	310	210	140	220	420	160	470
	DIS-040-10-○	500<Hf ≤ 1000	450	450	8900	2000	3000	310	260	190	290	570	215	525
BF 450型	DIS-045-05-○	Hf ≤ 500			8100	1000	3000	345	230	155	260	470	180	525
	DIS-045-10-○	500<Hf ≤ 1000	600	500	8900	2000	3000	345	300	205	340	620	255	600
BF 500型	DIS-050-05-○	Hf ≤ 500			7100	1000	3000	375	280	180	290	540	225	600
	DIS-050-10-○	500<Hf ≤ 1000	600	600	9000	2000	4000	375	380	280	460	840	325	700

DIS-000-00-O

S: 片溝畔 D: 両溝畔 N: 無溝畔

適用最大落差の略号

取付ベンチフリュームの規格の略号

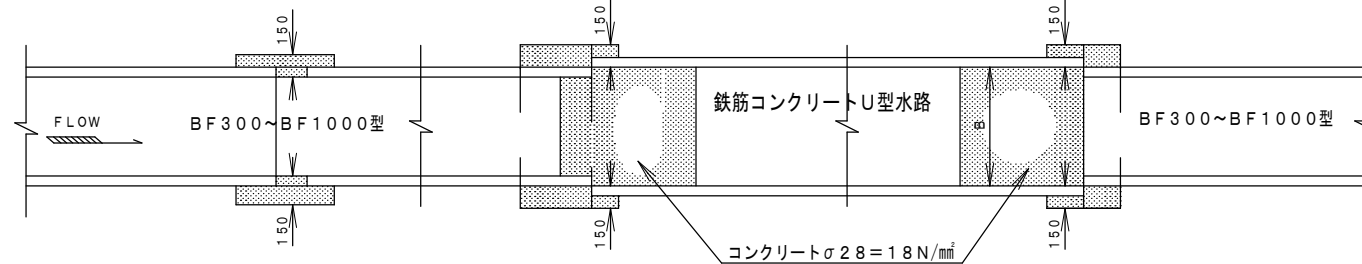
素掘用水落差工の略称

関連図番	C - 25

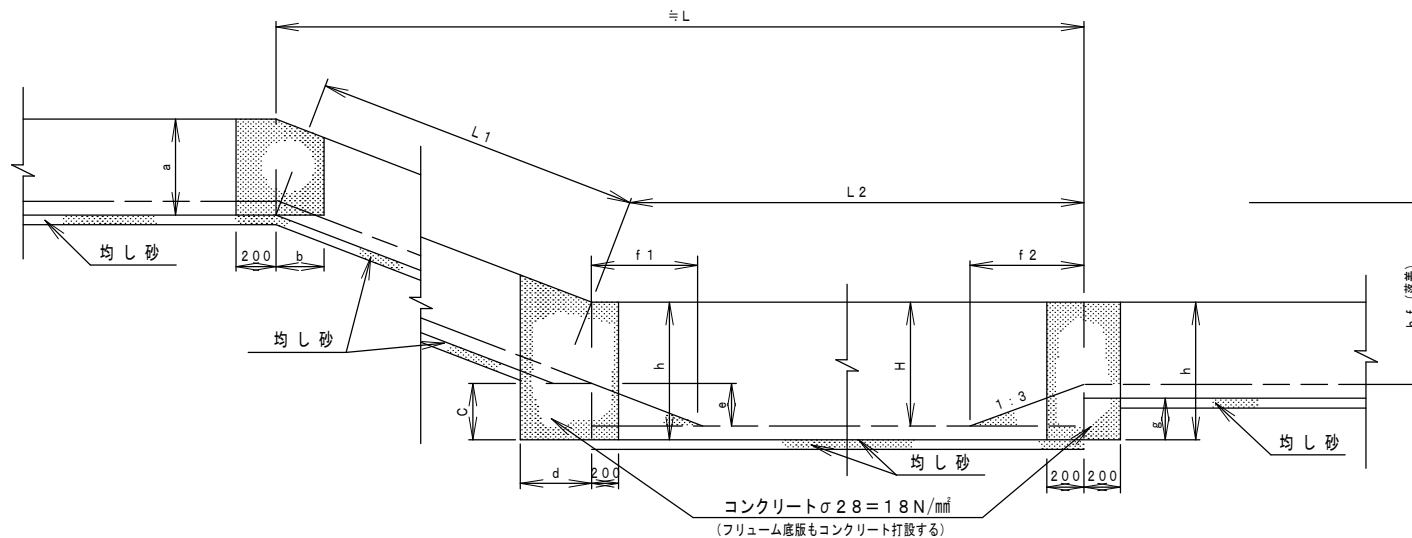
農業農村整備事業標準設計			1988. 3
工 種	付 帯 工	区 分	ほ場整備
C - 26	素掘用水路落差工 (跳水型) 寸法表		
設計番号	DIS-030-05-S~DIS-050-10-N		

用水落差工（跳水型）

平面図



側面図



DI-〇〇〇-〇〇-〇
 S: 片溝畔 D: 両溝畔 N: 無溝畔
 適用最大落差の略号
 取付ベンチフリュームの規格の略号
 用水落差工の略称

注意事項

1. 構造物の位置、規格、落差は計画平面図による。
2. 水路計画高さは、監督職員の指示によること。
3. 鉄筋コンクリートベンチフリュームは J I S A 5 3 7 2 及びこれに準ずる品質及び性能を有するものを使用する。
4. 鉄筋コンクリート水路は図示した断面と同等程度とし、種類、規格は監督職員の承認を得ること。
5. コンクリートの仕様

種 別	σ 2 8	S L	G m a x	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8 ± 2. 5	40 mm	

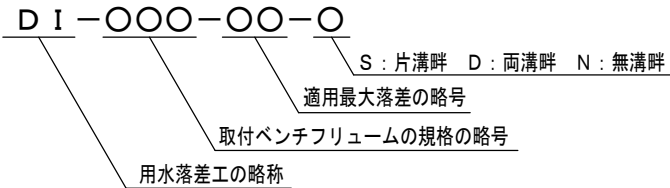
 コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
6. ベンチフリュームを布設する掘削面は均し砂を使用して、不陸整正を行うこと。
7. 出来形管理は断面と設置ヶ所数とする。
8. 設計変更は規格毎の設置ヶ所数の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	付 帯 工	区分	ほ場整備
C-27	用水落差工（跳水型） 落差 0. 5m・2. 0m		
設計番号	DI-030-05-S~DI-0100-10-N		

関連図番	C-28

用水落差工（跳水型）寸法表（１）

ベンチ フリウム 規 格	設 計 番 号	寸 法 表 (mm)														
		落 差 (Hf)	鉄筋コンクリート U型水路規格		L	L1	L2	a	b	C	d	e	f1	f2	g	h
			幅 (B)	高さ (H)												
BF 300型	Di-030-05-O	Hf ≦ 500	300	300	3000	1000	2000	240	300	150	300	100	150	300	115	355
	Di-030-10-O	500<Hf ≦ 1000	360	360	5000	2000	3000	240	300	220	300	160	240	480	185	425
	Di-030-15-O	1000<Hf ≦ 1500			5700	3000	3000	240	300	220	300	160	240	480	185	425
	Di-030-20-O	1500<Hf ≦ 2000			6600	4000	3000	240	300	220	300	160	240	480	185	425
BF 350型	Di-035-05-O	Hf ≦ 500			400	400	3000	1000	2000	280	300	190	300	125	190	380
	Di-035-10-O	500<Hf ≦ 1000	5000	2000			3000	280	300	230	300	165	250	500	190	470
	Di-035-15-O	1000<Hf ≦ 1500	5800	3000			3000	280	300	230	300	165	250	500	190	470
	Di-035-20-O	1500<Hf ≦ 2000	6600	4000			3000	280	300	230	300	165	250	500	190	470
BF 400型	Di-040-05-O	Hf ≦ 500	450	450	4000	1000	3000	310	300	210	300	140	220	420	160	470
	Di-040-10-O	500<Hf ≦ 1000			5000	2000	3000	310	300	260	300	190	290	570	215	525
	Di-040-15-O	1000<Hf ≦ 1500			5800	3000	3000	310	300	260	300	190	290	570	215	525
	Di-040-20-O	1500<Hf ≦ 2000			6800	4000	3000	310	300	260	300	190	290	570	215	525
BF 450型	Di-045-05-O	Hf ≦ 500	600	500	4100	1000	3000	345	300	230	300	155	260	470	180	525
	Di-045-10-O	500<Hf ≦ 1000			5000	2000	3000	345	300	300	300	205	340	620	255	600
	Di-045-15-O	1000<Hf ≦ 1500			6800	3000	4000	345	300	300	300	205	340	620	255	600
	Di-045-20-O	1500<Hf ≦ 2000			7700	4000	4000	345	300	300	300	205	340	620	255	600
BF 500型	Di-050-05-O	Hf ≦ 500	500	450	4100	1000	3000	375	300	210	300	130	210	390	160	535
	Di-050-10-O	500<Hf ≦ 1000	600	500	6000	2000	4000	375	300	280	300	180	290	540	225	600
	Di-050-15-O	1000<Hf ≦ 1500	600	600	6800	3000	4000	375	300	380	300	280	460	840	325	700
	Di-050-20-O	1500<Hf ≦ 2000			7700	4000	4000	375	300	380	300	280	460	840	325	700
BF 550型	Di-055-05-O	Hf ≦ 500	600	500	4100	1000	3000	415	300	240	300	145	240	440	185	600
	Di-055-10-O	500<Hf ≦ 1000	600	600	6000	2000	4000	415	300	340	300	245	400	740	285	700
	Di-055-15-O	1000<Hf ≦ 1500			6800	3000	4000	415	300	340	300	245	400	740	285	700
	Di-055-20-O	1500<Hf ≦ 2000			8700	4000	5000	415	300	340	300	245	400	740	285	700

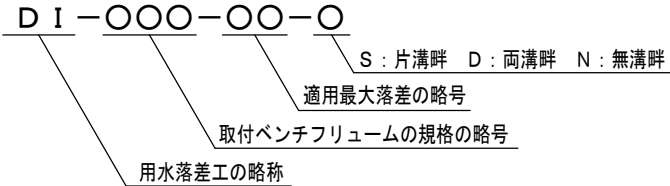


関連 図 番	C-27

農業農村整備事業標準設計			1988. 3
工 種	付 帯 工	区分	ほ場整備
C-28	用水落差工（跳水型）寸法表 1		
設計番号	DI-030-05-S~DI-055-20-N		

用水落差工（跳水型）寸法表（２）

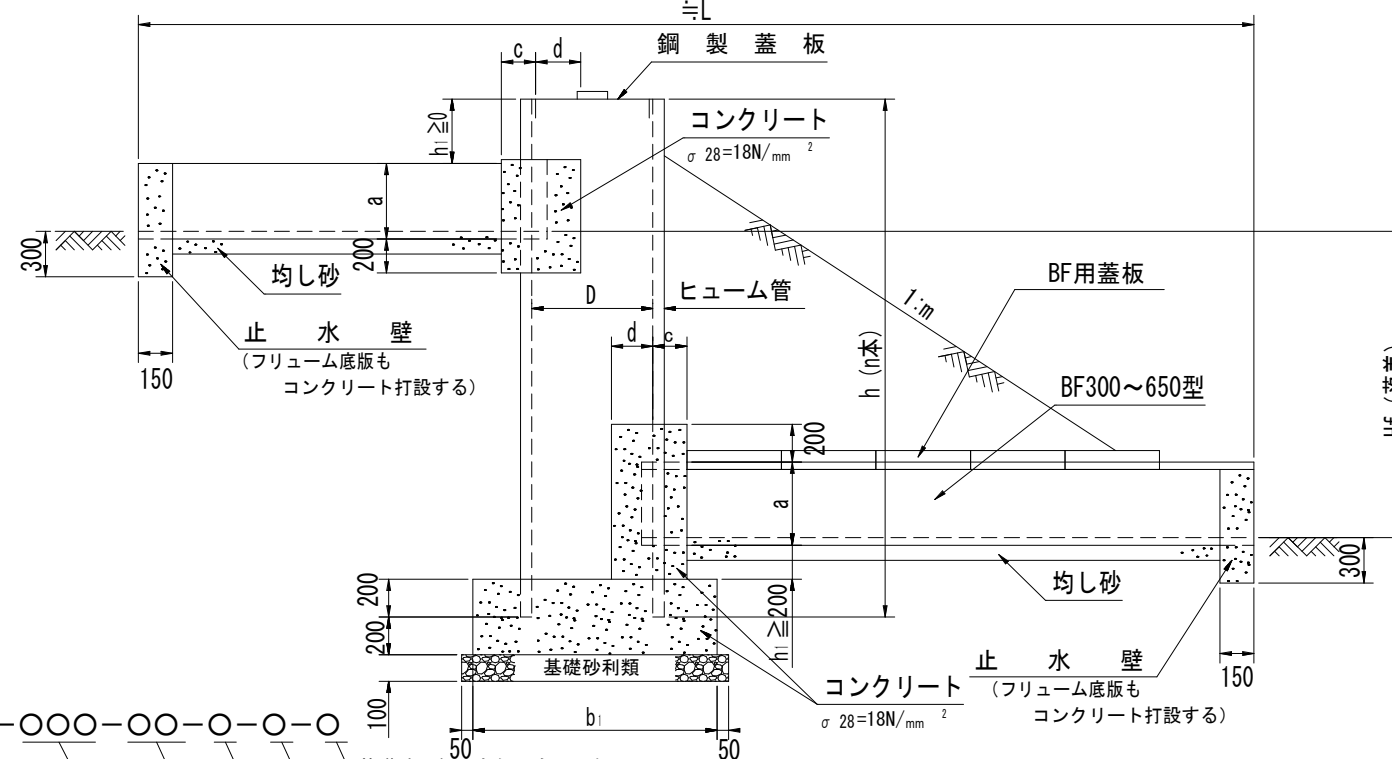
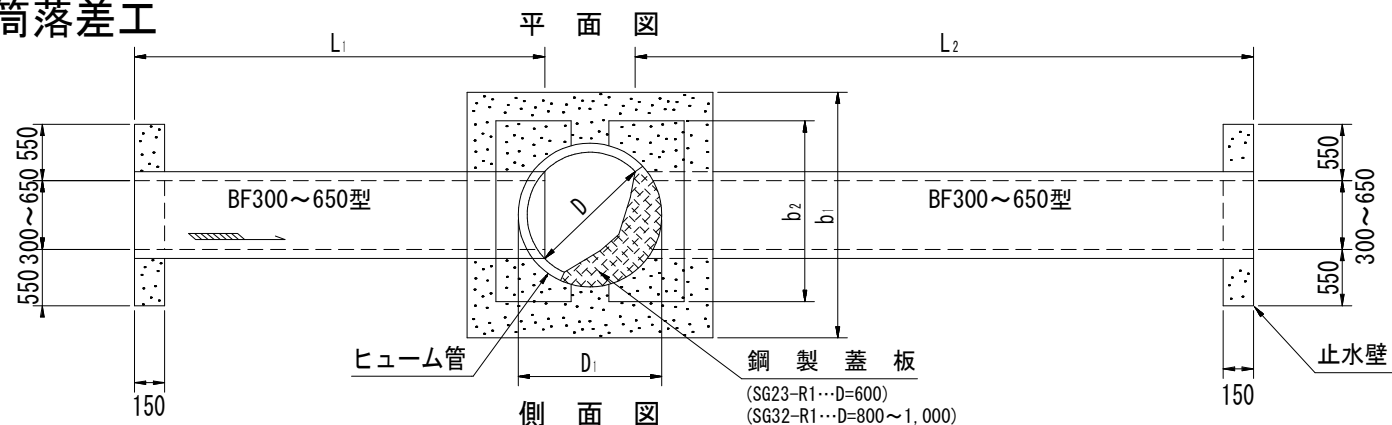
ベンチ フリューム 規格	設計番号	寸 法 表 (mm)														
		落差 (Hf)	鉄筋コンクリート U型水路規格		L	L1	L2	a	b	C	d	e	f1	f2	g	h
			幅 (B)	高さ (H)												
BF 600型	Di-060-05-O	Hf ≤ 500	600	600	5100	1000	4000	440	300	300	350	220	380	660	260	700
	Di-060-10-O	500<Hf ≤ 1000			6000	2000	4000	440	300	300	350	220	380	660	260	700
	Di-060-15-O	1000<Hf ≤ 1500	700	700	7800	3000	5000	440	300	430	350	320	550	960	370	810
	Di-060-20-O	1500<Hf ≤ 2000			8700	4000	5000	440	300	430	350	320	550	960	370	810
BF 650型	Di-065-05-O	Hf ≤ 500			5100	1000	4000	480	400	390	350	285	490	860	330	810
	Di-065-10-O	500<Hf ≤ 1000			6900	2000	5000	480	400	390	350	285	490	860	330	810
	Di-065-15-O	1000<Hf ≤ 1500			7900	3000	5000	480	400	390	350	285	490	860	330	810
	Di-065-20-O	1500<Hf ≤ 2000			8700	4000	5000	480	400	390	350	285	490	860	330	810
BF 700型	Di-070-05-O	Hf ≤ 500	800	800	5100	1000	4000	510	400	370	400	260	440	780	300	810
	Di-070-10-O	500<Hf ≤ 1000			6900	2000	5000	510	400	370	400	260	440	780	300	810
	Di-070-15-O	1000<Hf ≤ 1500			8900	3000	6000	510	400	470	400	360	610	1080	405	915
	Di-070-20-O	1500<Hf ≤ 2000			9700	4000	6000	510	400	470	400	360	610	1080	405	915
BF 800型	Di-080-05-O	Hf ≤ 500			7200	2000	5000	565	400	420	400	310	540	930	405	915
	Di-080-10-O	500<Hf ≤ 1000			7900	2000	6000	565	400	420	400	310	540	930	350	915
BF 900型	Di-090-05-O	Hf ≤ 500	900	900	7200	2000	5000	635	400	470	400	350	570	1050	385	1020
	Di-090-10-O	500<Hf ≤ 1000			7900	2000	6000	635	400	470	400	350	570	1050	385	1020
BF1000型	Di-100-05-O	Hf ≤ 500	1000	1000	8200	2000	6000	690	400	520	400	400	700	1200	435	1125
	Di-100-10-O	500<Hf ≤ 1000			8900	2000	7000	690	400	520	400	400	700	1200	435	1125



関連図番	C-27

農業農村整備事業標準設計			1988. 3
工 種	付 帯 工	区分	ほ場整備
C-28	用水落差工（跳水型）寸法表 2		
設計番号	DI-060-05-S~DI-100-10-N		

円筒落差工



DP-○○○-○○-○-○-○

基礎砂利類の有無 有 F 無 N

S:片溝畔 D:両溝畔 N:無溝畔

止水壁の有無 有 F 無 N

適用落差の略号

取付ベンチフリュームの規格の略号

円筒落差工の略称
(DROP OF PIPE)

注意事項

1. 構造物の位置、接続水路の形式規格は計画平面図による。
2. 水路計画高さは、監督職員の指示によること。
3. 上流取付水路の鉄筋コンクリートベンチフリュームはJISA-5372及びこれに準ずる品質及び性能を有するものを使用する。
4. 下流取付水路の鉄筋コンクリートベンチフリュームはJISA-5372及びこれに準ずる品質及び性能を有するものを使用する。
5. ヒューム管はJISA-5372を使用する。1.5本使用の場合のヒューム管はB形とする。
6. コンクリートの仕様

種別	σ_{28}	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm^2	8±2.5 cm	40 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
7. フリューム類を布設する掘削面は均し砂を使用して、不陸整正を行うこと。
8. 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
9. 設計変更は、規格毎の設置力所数の増減により行う。

関連図番	C - 30
	K - 41

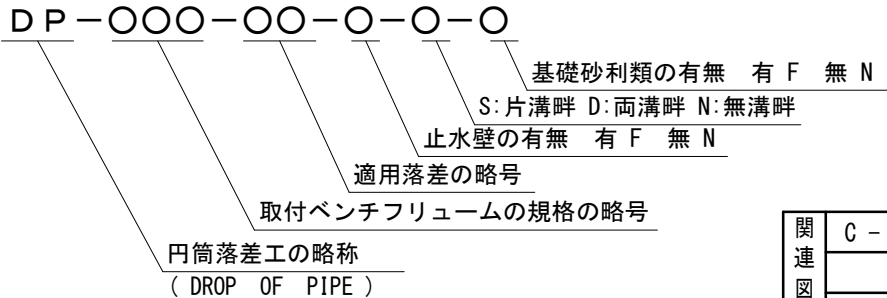
農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工種	付帯工	区分	ほ場整備
C - 29	円筒落差工		
設計番号	DP-030-15-F-S-F~DP-065-20-N-N-N		

円筒落差工寸法表

注 意 事 項

B F 規 格	設 計 番 号	寸 法 表 (mm)											
		落 差	L1	L2	L	h (n本)	D	D1	a	b1	b2	c	d
BF 型 300	DP-030-15-○-○-○	1000<Hf≤1780	2000	2000	4500	2430 (1.0)	600	700	240	1200	900	200	250
	DP-030-20-○-○-○	1780<Hf≤2990	2000	3000	5500	3640 (1.5)	600	700	240	1200	900	200	250
350	DP-035-15-○-○-○	1000<Hf≤1730	2000	2000	4500	2430 (1.0)	600	700	280	1200	900	200	250
	DP-035-20-○-○-○	1730<Hf≤2940	2000	3000	5500	3640 (1.5)	600	700	280	1200	900	200	250
400	DP-040-15-○-○-○	1000<Hf≤1700	2000	2000	4400	2430 (1.0)	600	700	310	1200	900	200	250
	DP-040-20-○-○-○	1700<Hf≤2910	2000	3000	5400	3640 (1.5)	600	700	310	1200	900	200	250
450	DP-045-15-○-○-○	1000<Hf≤1660	2000	2000	4700	2430 (1.0)	800	930	345	1400	1100	250	300
	DP-045-20-○-○-○	1660<Hf≤2870	2000	3000	5700	3640 (1.5)	800	930	345	1400	1100	250	300
500	DP-050-15-○-○-○	1000<Hf≤1630	2000	2000	4600	2430 (1.0)	800	930	375	1400	1100	250	300
	DP-050-20-○-○-○	1630<Hf≤2840	2000	3000	5600	3640 (1.5)	800	930	375	1400	1100	250	300
550	DP-055-15-○-○-○	1000<Hf≤1580	2000	2000	4600	2430 (1.0)	800	930	415	1400	1100	250	300
	DP-055-20-○-○-○	1580<Hf≤2790	2000	3000	5600	3640 (1.5)	800	930	415	1400	1100	250	300
600	DP-060-15-○-○-○	1000<Hf≤1550	2000	2000	4800	2430 (1.0)	1000	1160	440	1600	1300	300	350
	DP-060-20-○-○-○	1550<Hf≤2760	2000	3000	5800	3640 (1.5)	1000	1160	440	1600	1300	300	350
650	DP-065-15-○-○-○	1000<Hf≤1510	2000	2000	4800	2430 (1.0)	1000	1160	480	1600	1300	300	350
	DP-065-20-○-○-○	1510<Hf≤2720	2000	3000	5800	3640 (1.5)	1000	1160	480	1600	1300	300	350

(注) L2, Lの長さは、参考に記載しているものであり、施工延長は落差工数量調書による。

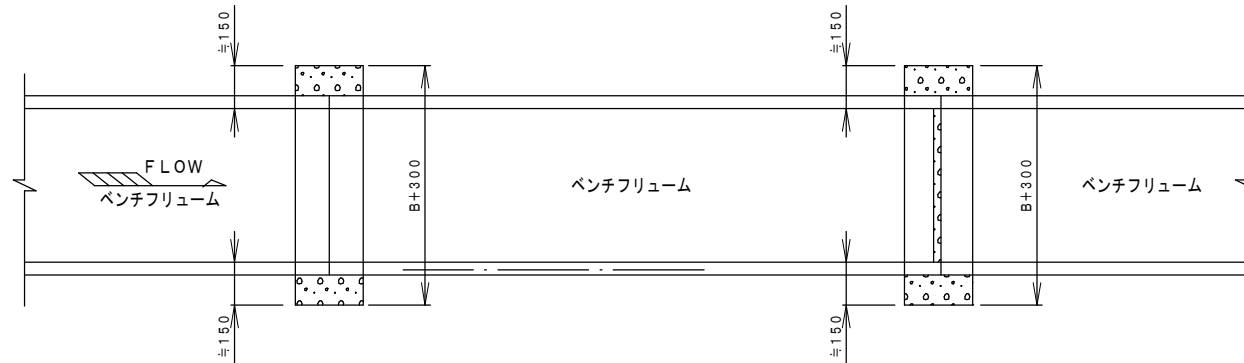


関連図番	C - 29

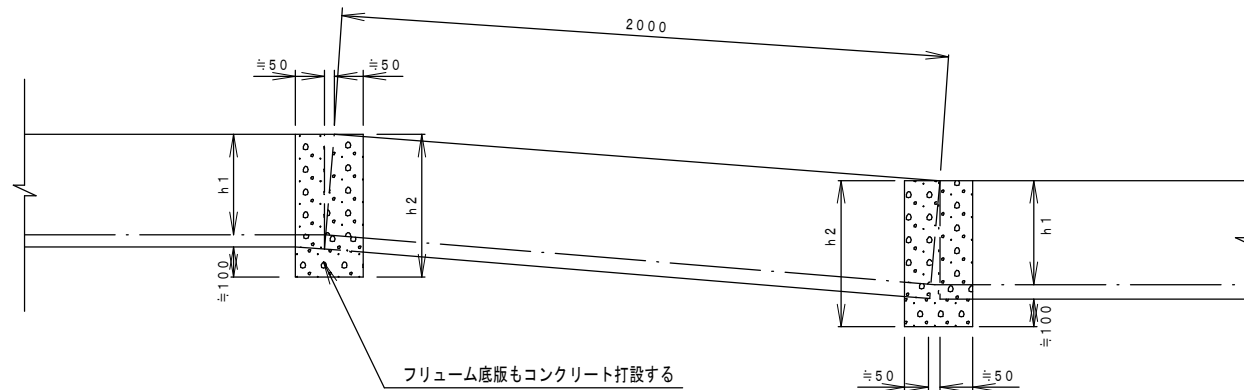
農業農村整備事業標準設計			1986. 3
工 種	付 帯 工	区 分	ほ場整備
C - 30	円 筒 落 差 工 寸 法 表		
設計番号	DP-030-15-F-S-F~DP-065-20-N-N-N		

用水路斜流工

平面図



側面図



BF規格	設計番号	寸法表 (mm)			BF規格	設計番号	寸法表 (mm)		
		B	h1	h2			B	h1	h2
BF 300	BF-SL-030	300	200	340	BF 600	BF-SL-060	600	380	540
BF 350	BF-SL-035	350	235	380	BF 650	BF-SL-065	650	415	580
BF 400	BF-SL-040	400	260	410	BF 700	BF-SL-070	700	440	610
BF 450	BF-SL-045	450	295	445	BF 800	BF-SL-080	800	490	665
BF 500	BF-SL-050	500	320	475	BF 900	BF-SL-090	900	550	735
BF 550	BF-SL-055	550	355	515	BF1000	BF-SL-100	1000	600	790

BF-SL-000

ベンチフリューム規格
用水路斜流工の略称

関連図番	

注意事項

- 付帯工としての延長控除は行わず、装工延長に含める。
- 落差は、監督職員との打合わせによる。
- コンクリートの仕様

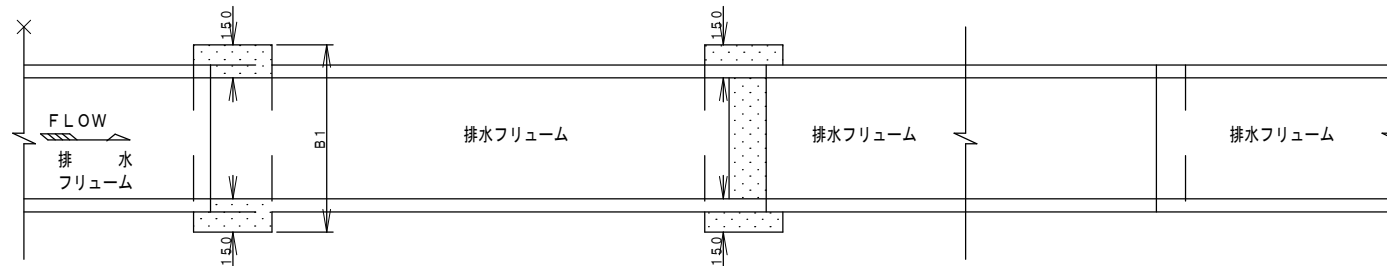
種別	$\sigma 28$	SL	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 $\frac{N}{mm^2}$	8 ± 2.5	40 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
- 落差が10cm以下については、フリュームのスキをモルタル (mix 1 : 2) で施工してもよい。

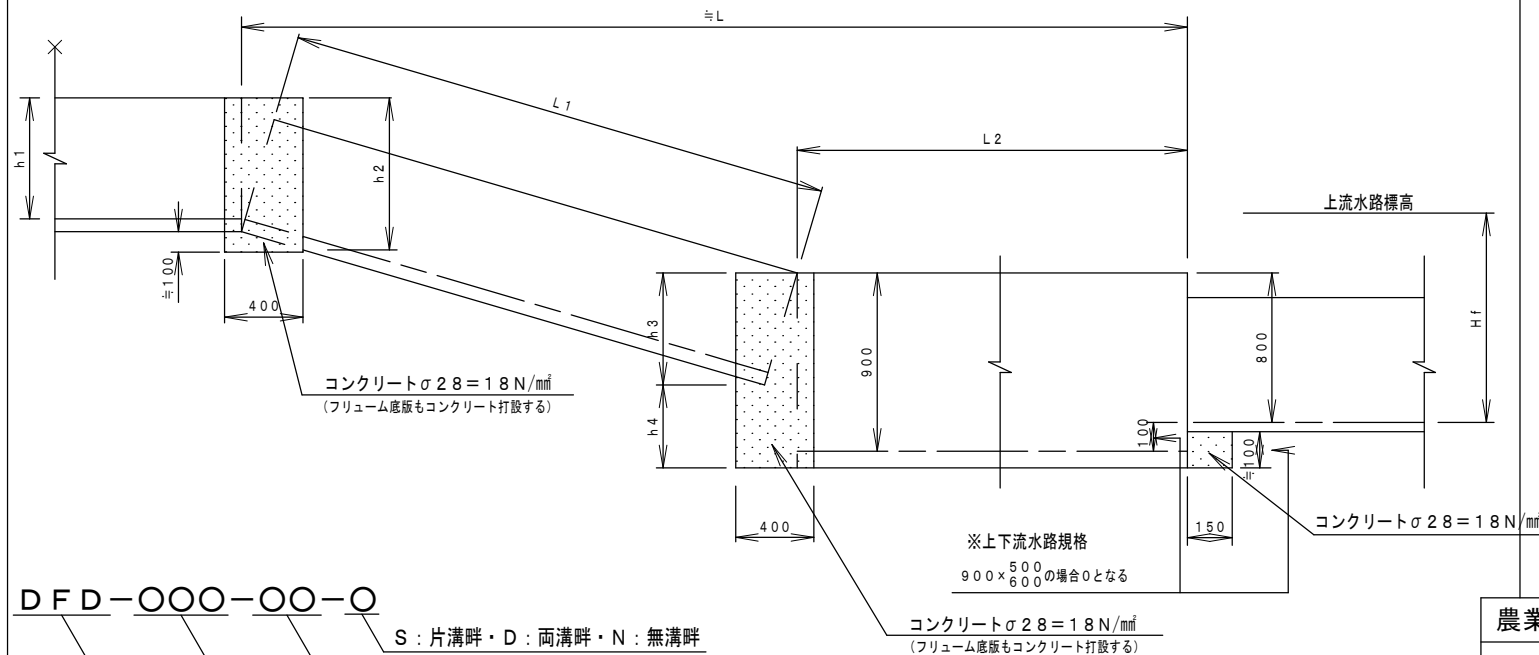
農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工種	付帯工	区分	ほ場整備
C-31	用水路斜流工		
設計番号	BF-SL-030~BF-SL-100		

小排水路組立落差工（１）

平面図



側面図



DFD-〇〇〇-〇〇-〇

S：片溝畔・D：両溝畔・N：無溝畔

落差の略号

排水フリーム規格の略号

小排水路組立落差工の略称
(排水フリーム)

※上下流水路規格
900×500
600の場合0となる

コンクリートσ28=18N/mm²
(フリーム底板もコンクリート打設する)

注意事項

1. 構造物の位置、接続水路の形式規格は計画平面図による。
2. 水路計画高さは監督職員の指示による。
3. 排水フリームの種類、規格、許容モーメントは特記仕様書による。
4. コンクリートの仕様

種別	σ28	SL	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm²	8±2.5	40 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
5. 出来形管理は、断面と設置カ所数とする。
6. 設計変更は、断面毎の設置カ所数の増減により行う。

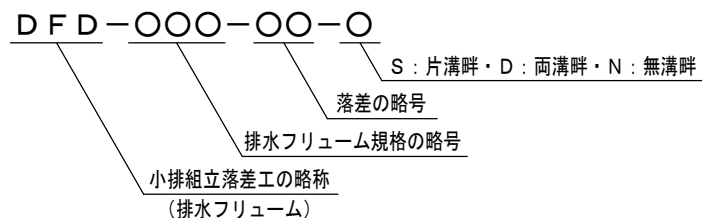
農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工種	付帯工	区分	ほ場整備
C-34	小排水路組立落差工（１） （排水フリーム）		
設計番号	DFD-504-07-S~DFD-906-10-N		

関連図番	C-35

小排水路組立落差工（１）（排水フリーム）寸法表

注 意 事 項

排水フリーム規格			設 計 番 号	寸 法 表 (mm)								
上下流部	斜 流 部	静 水 池		落差 (Hf)	L	L 1	L 2	B 1	h 1	h 2	h 3	h 4
H×B	H×B	H×B	DFD-504-07-O	Hf≤ 700	8000	2000	6000	700	500	650	600	400
500×400	500×400	900×500	DFD-504-10-O	Hf≤1000	9000	3000	6000	700	500	650	600	400
			DFD-604-07-O	Hf≤ 700	8000	2000	6000	700	600	750	600	400
600×400	600×400	900×500	DFD-604-10-O	Hf≤1000	10000	3000	7000	700	600	750	600	400
			DFD-606-07-O	Hf≤ 700	10000	3000	7000	900	600	750	700	300
600×600	600×600	900×600	DFD-606-10-O	Hf≤1000	10000	3000	7000	900	600	750	700	300
			DFD-704-07-O	Hf≤ 700	10000	3000	7000	700	700	850	700	300
700×400	700×400	900×500	DFD-704-10-O	Hf≤1000	10000	3000	7000	700	700	850	700	300
			DFD-706-07-O	Hf≤ 700	10000	3000	7000	900	700	850	800	200
700×600	700×600	900×600	DFD-706-10-O	Hf≤1000	12000	4000	8000	900	700	850	800	200
			DFD-905-07-O	Hf≤ 700	10000	3000	7000	800	900	1050	800	200
900×500	900×500	900×500	DFD-905-10-O	Hf≤1000	11000	3000	8000	800	900	1050	800	200
			DFD-906-07-O	Hf≤ 700	10000	3000	7000	900	900	1050	800	200
900×600	900×600	900×600	DFD-906-10-O	Hf≤1000	11000	3000	8000	900	900	1050	800	200



農業農村整備事業標準設計				2018. 1
工 種	付 帯 工	区分	ほ場整備	
C-35	小排水路組立落差工（１） （排水フリーム）寸法表			
設計番号	DFD-504-07-S~DFD-906-10-N			

関連図番	C-34

注意事項

[illegible]

1. 構造物の位置、接続水路の形式規格は計画平面図による。
2. 水路計画高さは監督職員の指示による。
3. 排水フリュームの種類、規格、許容モーメントは特記仕様書による。
4. コンクリートの仕様

種 別	$\sigma 28$	SL	Gmax	セメントの 種類
無筋コンクリート	18 $\frac{N}{mm^2}$	8 ± 2.5 $\frac{cm}{mm}$	40 mm	N

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
5. 出来形管理は、断面と設置カ所数とする。
6. 設計変更は、断面毎の設置カ所数の増減により行う。

種 別	σ_{28}	SL	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	$18 \frac{\text{N}}{\text{mm}^2}$	$8 \pm 2.5^{\text{cm}}$	40^{mm}	N

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。

農業農村整備事業標準設計	2015. 4
--------------	---------

工 種	付 帯 工	区 分	ほ場整備
-----	-------	-----	------

C-36	小排水路組立落差工(2) (排水フリーム)
------	--------------------------

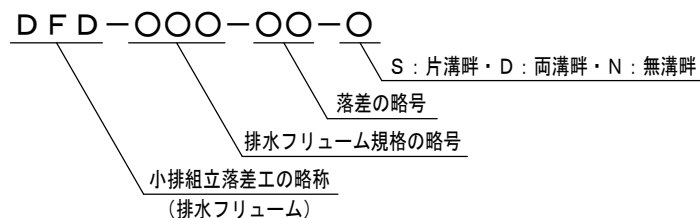
設計番号	DFD-504-15-S~DFD-906-20-M
------	---------------------------

関連図番	C-37

小排水路組立落差工（２）（排水フリーム）寸法表

注 意 事 項

排水フリーム規格の略号			設 計 番 号	寸 法 表 (mm)								
上下流部	斜 流 部	静 水 池		落差 (Hf)	L	L 1	L 2	B 1	h 1	h 2	h 3	h 4
H×B	H×B	H×B	DFD-504-15-O	Hf≤1500	9000	3000	6000	700	500	650	600	400
500×400	500×400	900×500	DFD-504-20-O	Hf≤2000	11000	4000	7000	700	500	650	600	400
			DFD-604-15-O	Hf≤1500	10000	3000	7000	700	600	750	600	400
600×400	600×400	900×500	DFD-604-20-O	Hf≤2000	11000	4000	7000	700	600	750	600	400
			DFD-606-15-O	Hf≤1500	12000	4000	8000	900	600	750	700	300
600×600	600×600	900×600	DFD-606-20-O	Hf≤2000	12000	4000	8000	900	600	750	700	300
			DFD-704-15-O	Hf≤1500	12000	4000	8000	700	700	850	700	300
700×400	700×400	900×500	DFD-704-20-O	Hf≤2000	12000	4000	8000	700	700	850	700	300
			DFD-706-15-O	Hf≤1500	12000	4000	8000	900	700	850	800	200
700×600	700×600	900×600	DFD-706-20-O	Hf≤2000	13000	4000	9000	900	700	850	800	200
			DFD-905-15-O	Hf≤1500	12000	4000	8000	800	900	1050	800	200
900×500	900×500	900×500	DFD-905-20-O	Hf≤2000	13000	4000	9000	800	900	1050	800	200
			DFD-906-15-O	Hf≤1500	12000	4000	8000	900	900	1050	800	200
900×600	900×600	900×600	DFD-906-20-O	Hf≤2000	13000	4000	9000	900	900	1050	800	200

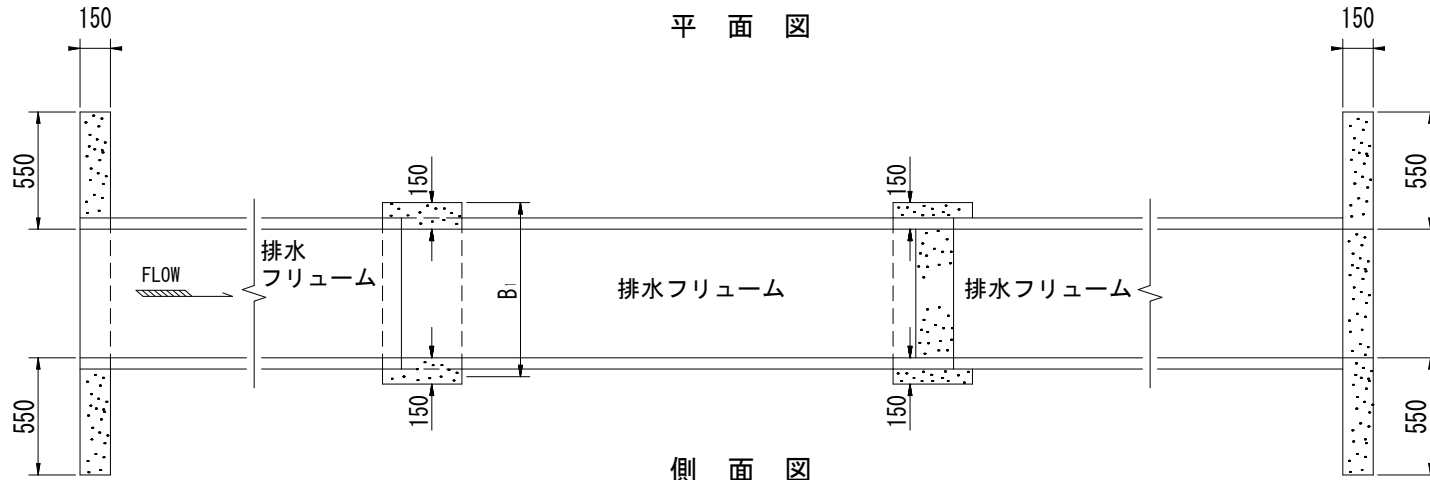


農業農村整備事業標準設計				2018. 1
工 種	付 帯 工	区分	ほ場整備	
C-37	小排水路組立落差工（2） （排水フリーム）寸法表			
設計番号	DFD-504-15-S~DFD-906-20-N			

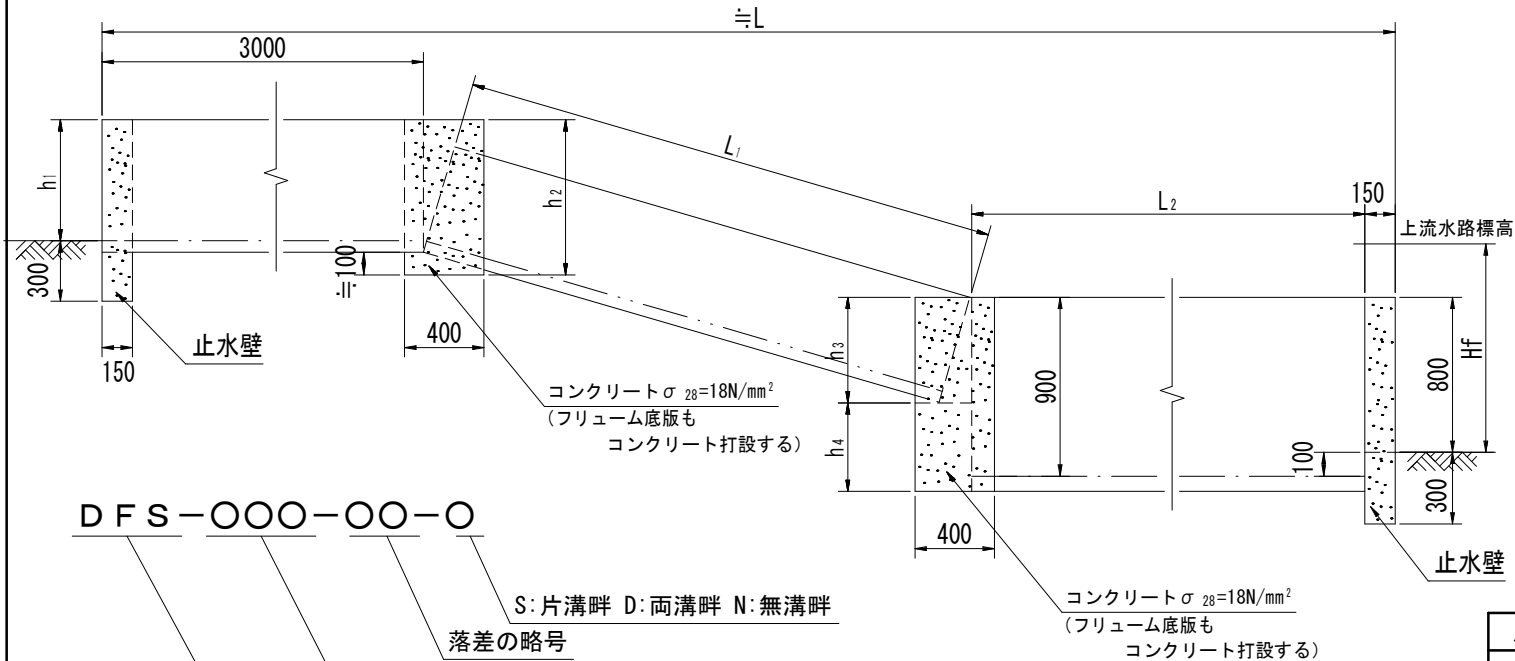
関連図番	C-36

素掘小排水路組立落差工（１）

平面図



側面図



注意事項

1. 構造物の位置、接続水路の形式規格は計画平面図による。
2. 水路計画高さは、監督職員の指示によること。
3. 排水フリュームの種類、規格、許容モーメントは特記仕様書による。
4. コンクリートの仕様

種別	σ_{28}	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	$18 \frac{\text{N}}{\text{mm}^2}$	8 ± 2.5	40 mm	N

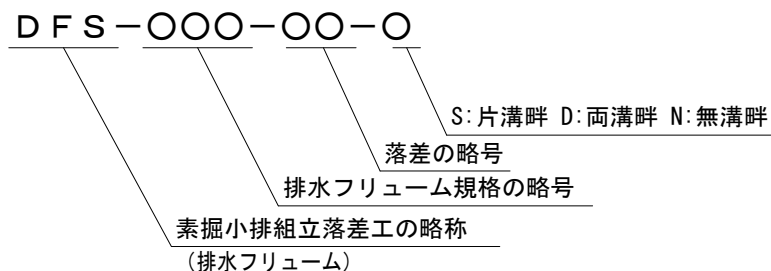
コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
5. 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
6. 設計変更は、断面毎の設置力所数の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工種	付帯工	区分	ほ場整備
C-38	素掘小排水路組立落差工 (排水フリューム) (1)		
設計番号	DFS-504-07-S~DFS-704-10-N		

関連図番	C-39
------	------

素掘小排水路組立落差工（１）（排水フリューム）寸法表

排水フリューム規格			設 計 番 号	寸 法 表 (mm)								
上流部	斜流部	静水池		落差 (Hf)	L	L1	L2	B1	h1	h2	h3	h4
H × B 500 × 400	H × B 500 × 400	H × B 900 × 500	DFS-504-07-○	Hf ≤ 700	11000	2000	6000	700	500	650	600	400
			DFS-504-10-○	Hf ≤ 1000	12000	3000	6000	700	500	650	600	400
600 × 400	600 × 400	900 × 500	DFS-604-07-○	Hf ≤ 700	11000	2000	6000	700	600	750	600	400
			DFS-604-10-○	Hf ≤ 1000	13000	3000	7000	700	600	750	600	400
600 × 600	600 × 600	900 × 600	DFS-606-07-○	Hf ≤ 700	13000	3000	7000	900	600	750	700	300
			DFS-606-10-○	Hf ≤ 1000	13000	3000	7000	900	600	750	700	300
700 × 400	700 × 400	900 × 500	DFS-704-07-○	Hf ≤ 700	13000	3000	7000	700	700	850	700	300
			DFS-704-10-○	Hf ≤ 1000	13000	3000	7000	700	700	850	700	300

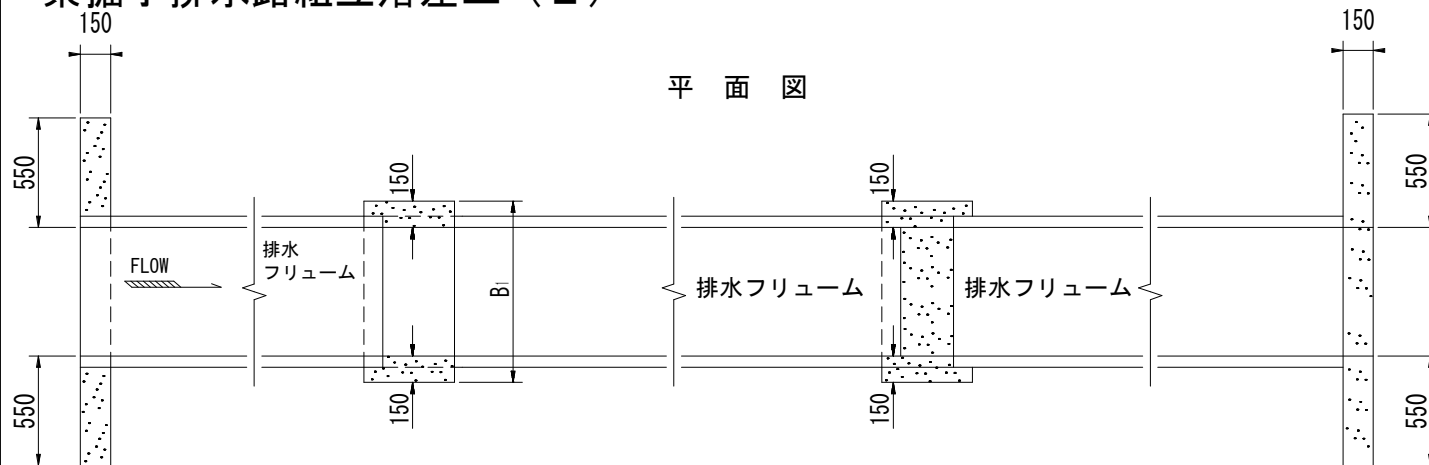


関連図番	C - 38

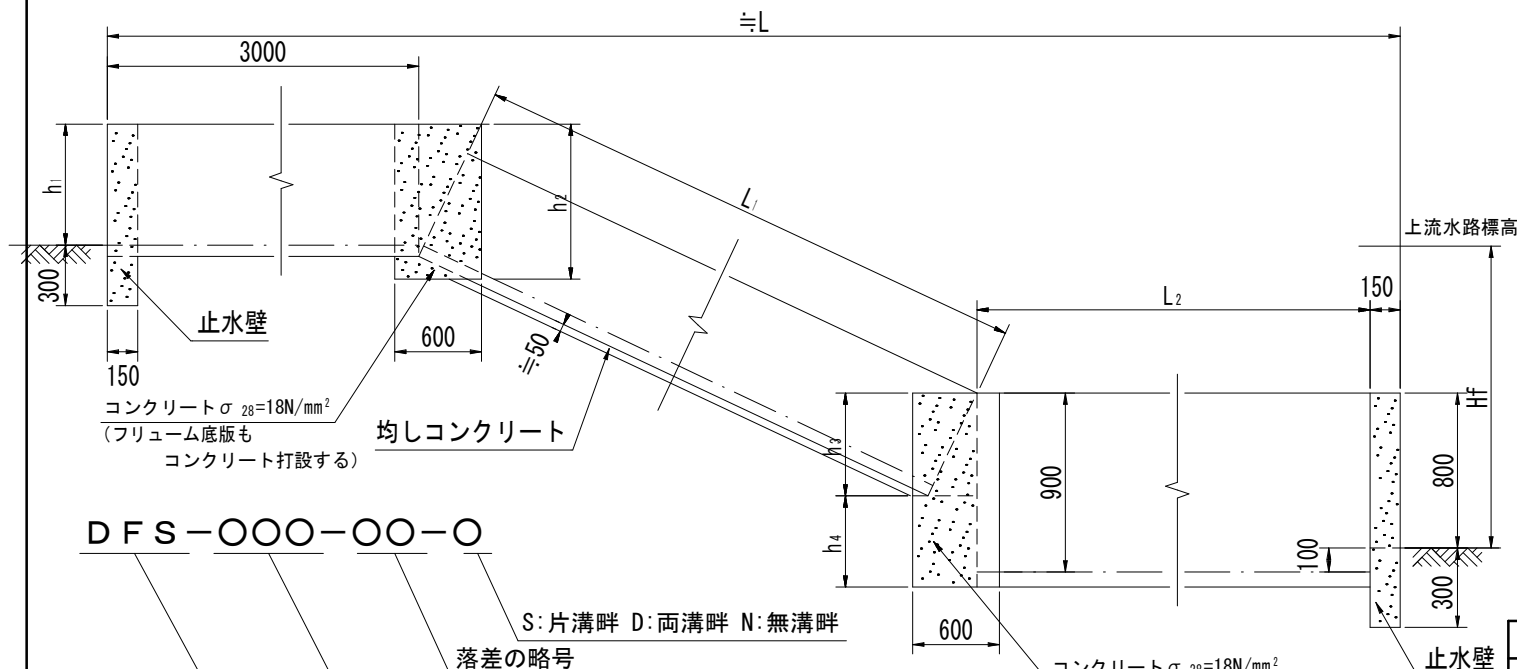
農業農村整備事業標準設計			2018. 1
工 種	付 帯 工	区 分	ほ場整備
C - 39	素掘小排水路組立落差工 (排水フリューム) 寸法表 ⁽¹⁾		
設計番号	DFS-504-07-S~DFS-704-10-N		

素掘小排水路組立落差工（２）

平面図



側面図



DFS-〇〇〇-〇〇-〇

S:片溝畔 D:両溝畔 N:無溝畔

落差の略号

排水フリューム規格の略号

素掘小排水路組立落差工の略称
(排水フリューム)

コンクリート $\sigma_{28}=18\text{N/mm}^2$
(フリューム底版も
コンクリート打設する)

関連図番	C-41
------	------

注意事項

1. 構造物の位置、接続水路の形式規格は計画平面図による。
2. 水路計画高さは、監督職員の指示による。
3. 排水フリュームの種類、規格、許容モーメントは特記仕様書による。
4. コンクリートの仕様

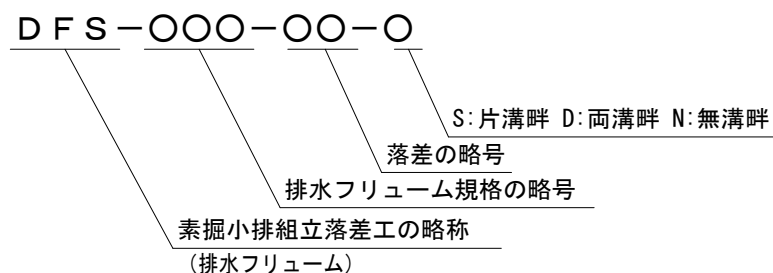
種別	σ_{28}	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm^2	8±2.5 cm	40 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディミクストコンクリート標準使用基準」による。
5. 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
6. 設計変更は、断面毎の設置力所数の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工種	付帯工	区分	ほ場整備
C-40	素掘小排水路組立落差工 (排水フリューム) (2)		
設計番号	DFS-504-15-S~DFS-704-20-N		

素掘小排水路組立落差工（２）（排水フリーム）寸法表

排水フリーム規格			設 計 番 号	寸 法 表 (mm)								
上流部	斜流部	静水池		落差(Hf)	L	L1	L2	B1	h1	h2	h3	h4
H × B 500 × 400	H × B 500 × 400	H × B 900 × 500	DFS-504-15-○	Hf ≤ 1500	12000	3000	6000	700	500	650	600	400
			DFS-504-20-○	Hf ≤ 2000	14000	4000	7000	700	500	650	600	400
600 × 400	600 × 400	900 × 500	DFS-604-15-○	Hf ≤ 1500	13000	3000	7000	700	600	750	600	400
			DFS-604-20-○	Hf ≤ 2000	14000	4000	7000	700	600	750	600	400
600 × 600	600 × 600	900 × 600	DFS-606-15-○	Hf ≤ 1500	15000	4000	8000	900	600	750	700	300
			DFS-606-20-○	Hf ≤ 2000	15000	4000	8000	900	600	750	700	300
700 × 400	700 × 400	900 × 500	DFS-704-15-○	Hf ≤ 1500	15000	4000	8000	700	700	850	700	300
			DFS-704-20-○	Hf ≤ 2000	15000	4000	8000	700	700	850	700	300

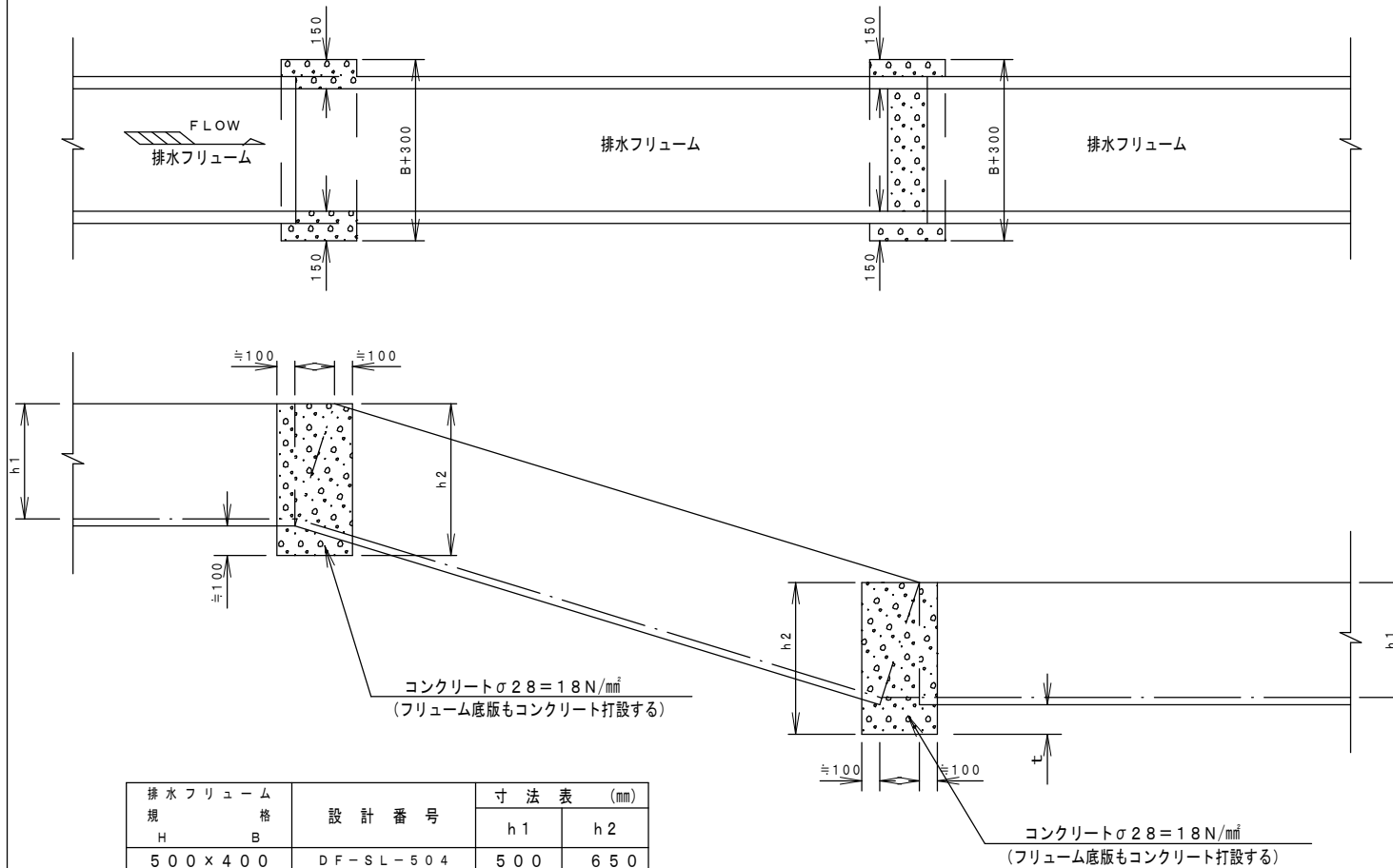


関連図番	C - 40

農業農村整備事業標準設計			2018. 1
工 種	付 帯 工	区 分	ほ場整備
C - 41	素掘小排水路組立落差工 (排水フリーム) 寸法表 ⁽²⁾		
設計番号	DFS-504-15-S~DFS-704-20-N		

排水路斜流工

平面図



排水フリウム規格 H B	設計番号	寸法表 (mm)	
		h1	h2
500×400	DF-SL-504	500	650
600×400	DF-SL-604	600	750
700×400	DF-SL-704	700	850
900×500	DF-SL-905	900	1100
600×600	DF-SL-606	600	750
700×600	DF-SL-706	700	850
900×600	DF-SL-906	900	1100

DF-SL-000

排水フリウム規格

排水路斜流工の略称

関連図番	

注意事項

- 付帯工としての延長控除は行わず、装工延長に含める。
- 落差及び斜流部の長さは、監督職員との打合わせによる。

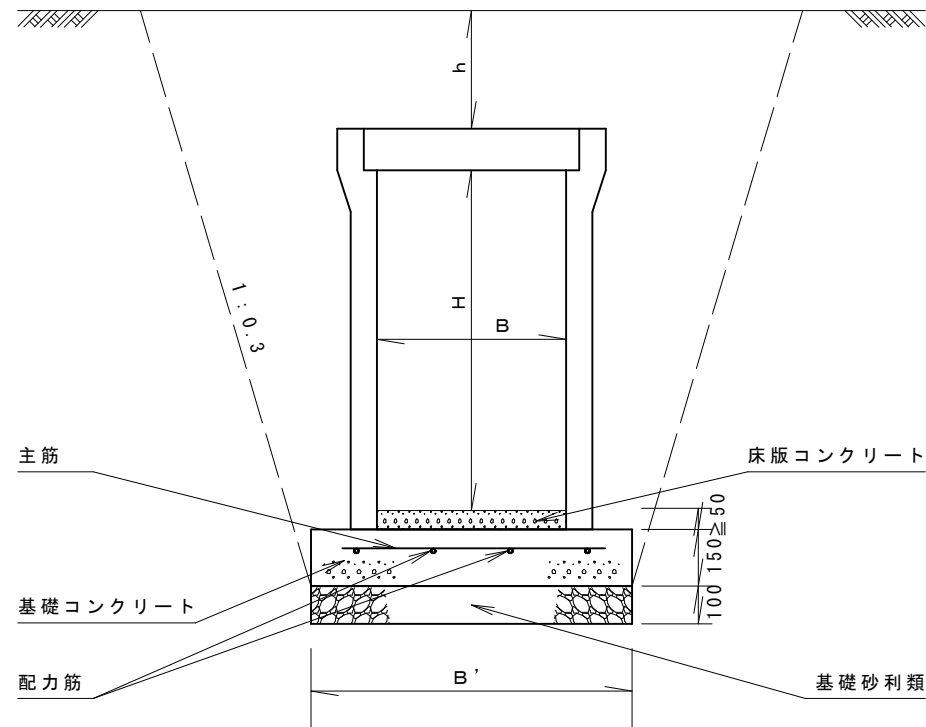
種別	σ28	SL	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5	4.0 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。

- 底版厚 t については次による。
 $h1 < 900$ の場合 $t \approx 100$
 $h1 = 900$ の場合 $t \approx 150$

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工種	付帯工	区分	ほ場整備
C-42	排水路斜流工		
設計番号	DF-SL-504~DF-SL-905		

勾配可変側溝型暗渠工



内 高 (H)	内 幅 (B)	基 礎 幅 (B´)	土 か ぶり (h)	主 筋	配 力 筋
500	400	700	表 記	D13@250	D13@250
600			0 < H ≤ 300 → 03		
700			300 < H ≤ 600 → 06		
900	600 < H ≤ 900 → 09	500	850	D13@200	
900	900 < H ≤ 1200 → 12				
900	600	900	1200 < H ≤ 1500 → 15		

KKC-OOOO-OO-O

基礎砂利の有無 有F・無N

土かぶり: h (03, 06, 09, 12, 15)

勾配可変側溝規格の略号

勾配可変側溝型進入路の略称

(KOBAI KAHEN CULVERT)

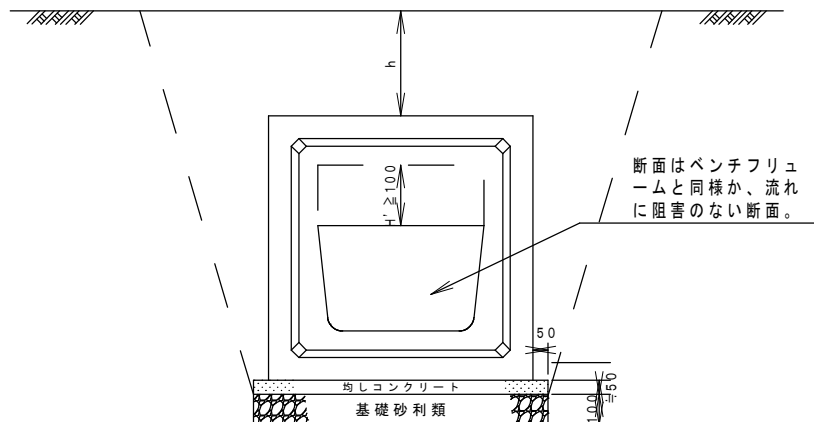
注 意 事 項

1. 勾配可変側溝は、農道横断用である。土かぶり0.1～1.5mを標準としており、土かぶりが標準と異なる場合は、監督職員と協議すること。
2. 自動車荷重はT-10、T-14とする。
3. コンクリート及び基礎碎石の種類品質、規格等については特記仕様書による。
4. 蓋は製品長1.0mを標準とする。
5. 出来形管理は、断面と延長とする。
6. 設計変更は、断面毎の延長増減により行なう。

農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	暗渠工	区分	ほ場整備
C-44	勾配可変側溝型暗渠工		
設計番号	KKC-0504-01~KKC-0906-15		

関連図番	

ベンチフリューム型ボックス暗渠工



BFB-000-00-T20-O

基礎砂利類の有無 有F・無N

荷重条件 20t

土かぶり (m)

ベンチフリューム型の規格の略号

ベンチフリューム型ボックス暗渠の略称
(BENCH FLUME BOX)

設計番号	寸法表	
	ベンチフリューム規格	土かぶり h (m)
BFB-030-00-T00-O	300	0.0
BFB-030-03-T00-O		0.0<h≤0.3
BFB-030-06-T00-O		0.3<h≤0.6
BFB-030-09-T00-O		0.6<h≤0.9
BFB-035-00-T00-O	350	0.0
BFB-035-03-T00-O		0.0<h≤0.3
BFB-035-06-T00-O		0.3<h≤0.6
BFB-035-09-T00-O		0.6<h≤0.9
BFB-040-00-T00-O	400	0.0
BFB-040-03-T00-O		0.0<h≤0.3
BFB-040-06-T00-O		0.3<h≤0.6
BFB-040-09-T00-O		0.6<h≤0.9
BFB-045-00-T00-O	450	0.0
BFB-045-03-T00-O		0.0<h≤0.3
BFB-045-06-T00-O		0.3<h≤0.6
BFB-045-09-T00-O		0.6<h≤0.9
BFB-050-00-T00-O	500	0.0
BFB-050-03-T00-O		0.0<h≤0.3
BFB-050-06-T00-O		0.3<h≤0.6
BFB-050-09-T00-O		0.6<h≤0.9
BFB-055-00-T00-O	550	0.0
BFB-055-03-T00-O		0.0<h≤0.3
BFB-055-06-T00-O		0.3<h≤0.6
BFB-055-09-T00-O		0.6<h≤0.9
BFB-060-00-T00-O	600	0.0
BFB-060-03-T00-O		0.0<h≤0.3
BFB-060-06-T00-O		0.3<h≤0.6
BFB-060-09-T00-O		0.6<h≤0.9
BFB-065-00-T00-O	650	0.0
BFB-065-03-T00-O		0.0<h≤0.3
BFB-065-06-T00-O		0.3<h≤0.6
BFB-065-09-T00-O		0.6<h≤0.9
BFB-070-00-T00-O	700	0.0
BFB-070-03-T00-O		0.0<h≤0.3
BFB-070-06-T00-O		0.3<h≤0.6
BFB-070-09-T00-O		0.6<h≤0.9
BFB-080-00-T00-O	800	0.0
BFB-080-03-T00-O		0.0<h≤0.3
BFB-080-06-T00-O		0.3<h≤0.6
BFB-080-09-T00-O		0.6<h≤0.9
BFB-090-00-T00-O	900	0.0
BFB-090-03-T00-O		0.0<h≤0.3
BFB-090-06-T00-O		0.3<h≤0.6
BFB-090-09-T00-O		0.6<h≤0.9
BFB-100-00-T00-O	1000	0.0
BFB-100-03-T00-O		0.0<h≤0.3
BFB-100-06-T00-O		0.3<h≤0.6
BFB-100-09-T00-O		0.6<h≤0.9

関連図番	

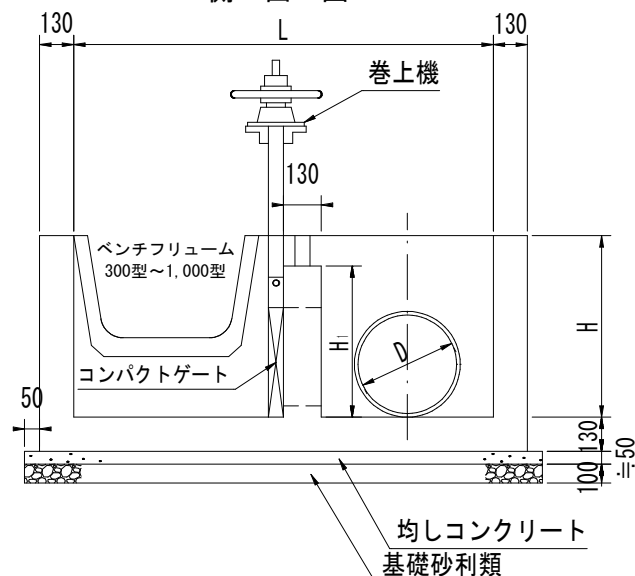
注意事項

- 規格
 - 内断面はベンチフリュームの寸法と同じか流れに大きな阻害を与えない断面とする。
 - 暗渠としての余裕はベンチフリュームの高さに100mm以上をもうける。
- 部材厚さ鉄筋量は土かぶりなしで所定の荷重に対応できるようなものとする。
- 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
- 出来形管理は断面と延長とする。
- 設計変更は断面毎の延長の増減により行う。

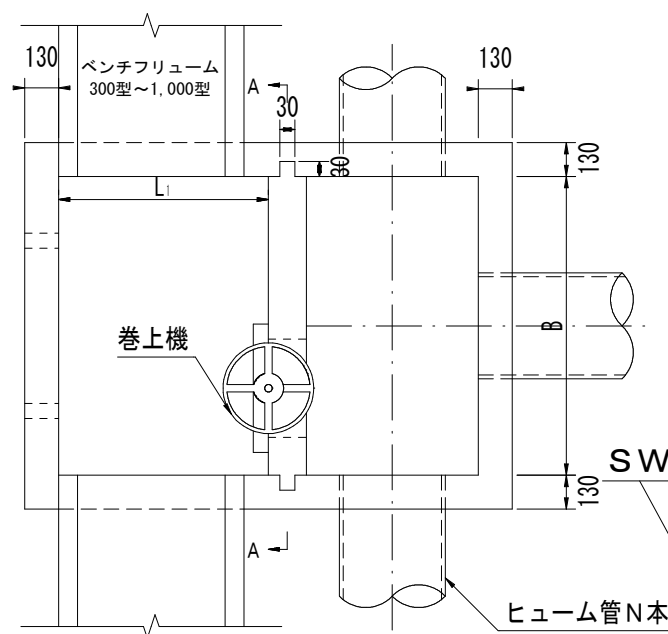
農業農村整備事業標準設計		2015. 10
工種付帯工	区分	ほ場整備
C-45	ベンチフリューム型ボックス暗渠工	
設計番号	BFB-030-00-T14-F ~BFB-100-09-T20-N	

余水吐工

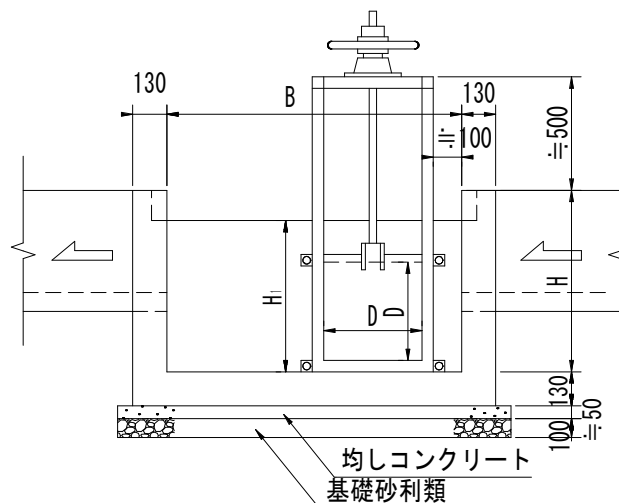
側面図



平面図

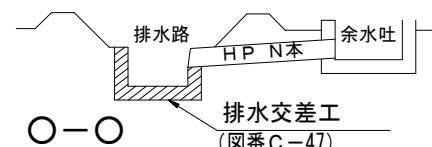


A - A 断面



上流ベンチフリューム規格	設計番号	寸法表 (mm)					
		B	H	L	L1	H1	D
BF 300型	SW-030-○.○-○	800	600	1200	400	550	300
BF 350型	SW-035-○.○-○	800	600	1200	500	540	300
BF 400型	SW-040-○.○-○	800	600	1200	550	540	300
BF 450型	SW-045-○.○-○	1000	600	1400	600	530	300
BF 500型	SW-050-○.○-○	1000	600	1400	650	530	300
BF 550型	SW-055-○.○-○	1000	600	1400	700	520	300
BF 600型	SW-060-○.○-○	1000	600	1400	750	520	300
BF 650型	SW-065-○.○-○	1200	700	1600	800	610	300
BF 700型	SW-070-○.○-○	1200	700	1600	850	610	350
BF 800型	SW-080-○.○-○	1200	700	1600	950	610	400
BF 900型	SW-090-○.○-○	1500	800	1900	1050	700	450
BF1000型	SW-100-○.○-○	1500	800	1900	1150	700	500

排水路取付図



SW-○○○-○.○-○

基礎砂利類の有無 有 F 無 N

ヒューム管の本数

取付ベンチフリューム規格の略号

余水吐工の略称 (SPILLWAY)

ヒューム管N本

注意事項

1. 構造物の位置は計画平面図による。
2. 施工の詳細（水路計画高、流水方向、ゲートの位置、ヒューム管取付け位置）は監督職員の指示による。
3. コンパクトゲートの材質、規格は次のとおりとする。
 - 角型
 - 四方水密
 - 材質SS400以上 スピンドルS45C又はS45C-D
 - ボルト ステンレス製
 - 最小部材厚 6mm以上
 - スピンドル径 30mm程度 ステンレス製
 - 巻き上げ力 10kg
 - 塗装 農林水産省土地改良工事積算基準（施設機械）による。
4. 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
5. 鉄筋は異形鉄筋（SD295）とし、かぶりは5cmとする。
6. コンクリートの仕様

種別	σ_{28}	S L	Gmax	セメントの種類
鉄筋コンクリート	21 N/mm^2	12 ± 2.5 cm	25 mm	

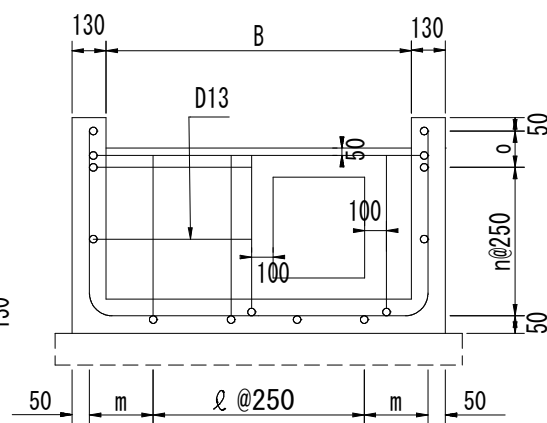
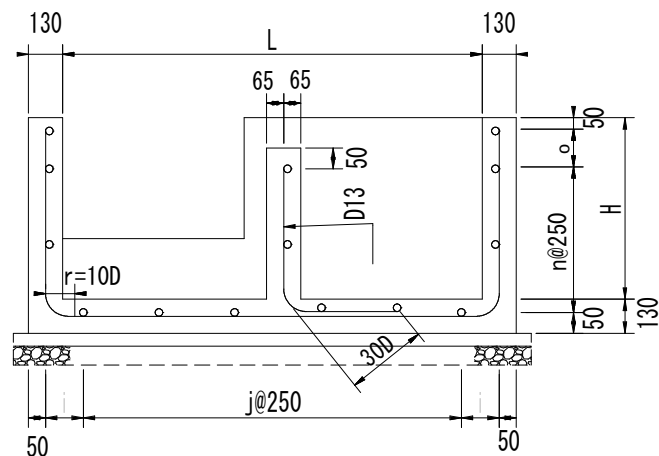
 コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
7. 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
8. 設計変更は、断面毎の設置力所数の増減により行う。
9. 越流壁の頂高（H1）は、ベンチフリュームの許容設計水深が最小となる水深より決定する。

農業農村整備事業標準設計			2021.10
工種	付帯工	区分	ほ場整備
C-46	余水吐工		
設計番号	SW-030-3.0-F~SW-100-1.0-N		

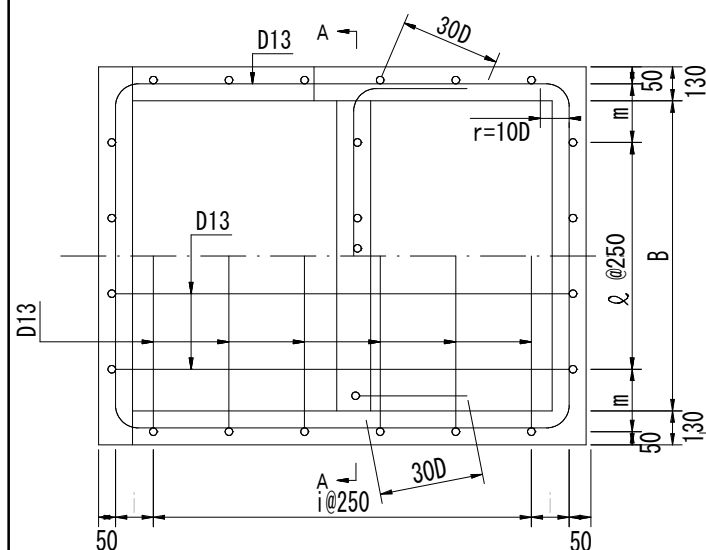
関連図番	C-47
------	------

余水吐工鉄筋配置図

側 面 図



平 面 図



設計番号	寸 法 表 (mm)					
	i	j	ℓ	m	n	o
SW-030-〇〇-〇	180	1000	500	230	500	130
SW-035-〇〇-〇	180	1000	500	230	500	130
SW-040-〇〇-〇	180	1000	500	230	500	130
SW-045-〇〇-〇	155	1250	750	205	500	130
SW-050-〇〇-〇	155	1250	750	205	500	130
SW-055-〇〇-〇	155	1250	750	205	500	130
SW-065-〇〇-〇	155	1250	750	205	500	130
SW-065-〇〇-〇	130	1500	1000	180	500	230
SW-070-〇〇-〇	130	1500	1000	180	500	230
SW-080-〇〇-〇	130	1500	1000	180	500	230
SW-090-〇〇-〇	155	1750	1250	205	750	80
SW-100-〇〇-〇	155	1750	1250	205	750	80

SW-〇〇〇-〇. 〇-〇

基礎砂利類の有無
有 F 無 N

ヒューム管の本数

取付ベンチフリューム規格の略号

余水吐工の略称

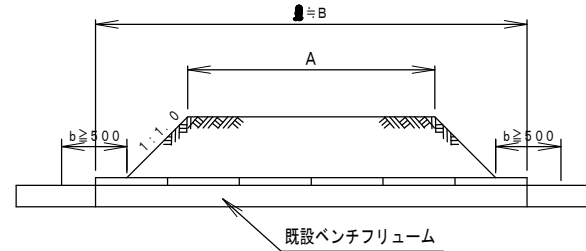
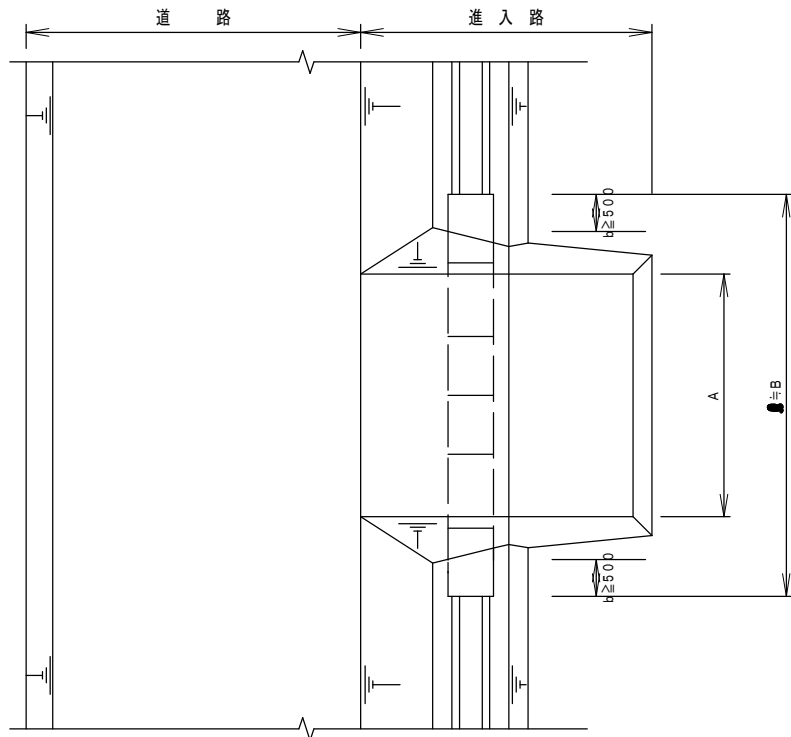
関連図番	C - 46

農業農村整備事業標準設計			2002. 4
工 種	付 帯 工	区 分	ほ場整備
C - 47	余水吐工鉄筋配置図		
設計番号	SW-030-3.0-F~SW-100-1.0-N		

ベンチフリューム型進入路

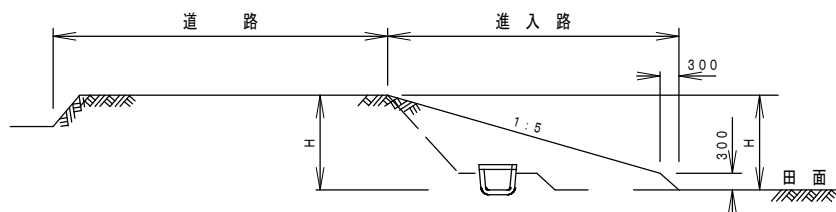
注 意 事 項

- この標準図は、既に水路が鉄筋コンクリートベンチフリュームに計画されるか布設が終了している場合に適用する。
- 蓋は幅Bまで施工する。但し寸法表に示した長さは標準寸法であり現場条件により監督職員の指示により長さを変更するものとする。
- 基盤整地と同時に施工する場合は、心土を設置力所付近に集積しておくものとする。
- 盛土材を搬入して設置する場合の材質は、特記仕様書による。
- 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
- 設計変更は、断面毎の設置力所数と蓋の枚数の変更により行う。



寸 法 表 (mm)			
A	H	設計番号	H
2000	H ≤ 300	BFA2-000-03	2000 (2)
	H ≤ 600	BFA2-000-06	3000 (3)
	H ≤ 900	BFA2-000-09	4000 (4)
	H ≤ 1200	BFA2-000-12	4000 (4)
	H ≤ 1500	BFA2-000-15	5000 (5)
	H ≤ 1800	BFA2-000-18	5000 (5)
3000	H ≤ 300	BFA3-000-03	3000 (3)
	H ≤ 600	BFA3-000-06	4000 (4)
	H ≤ 900	BFA3-000-09	5000 (5)
	H ≤ 1200	BFA3-000-12	5000 (5)
	H ≤ 1500	BFA3-000-15	6000 (6)
	H ≤ 1800	BFA3-000-18	6000 (6)
4000	H ≤ 300	BFA4-000-03	4000 (4)
	H ≤ 600	BFA4-000-06	5000 (5)
	H ≤ 900	BFA4-000-09	6000 (6)
	H ≤ 1200	BFA4-000-12	6000 (6)
	H ≤ 1500	BFA4-000-15	7000 (7)
	H ≤ 1800	BFA4-000-18	7000 (7)
6000	H ≤ 300	BFA5-000-03	6000 (6)
	H ≤ 600	BFA6-000-06	7000 (7)
	H ≤ 900	BFA6-000-09	8000 (8)
	H ≤ 1200	BFA6-000-12	8000 (8)
	H ≤ 1500	BFA6-000-15	9000 (9)
	H ≤ 1800	BFA6-000-18	9000 (9)

※()内はフタ 1枚 = 1mの枚数



BFA0-000-00

進入路高さの略号

既設ベンチフリューム規格の略号

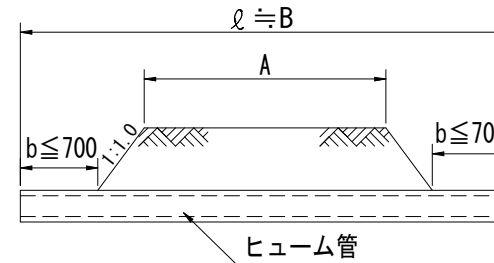
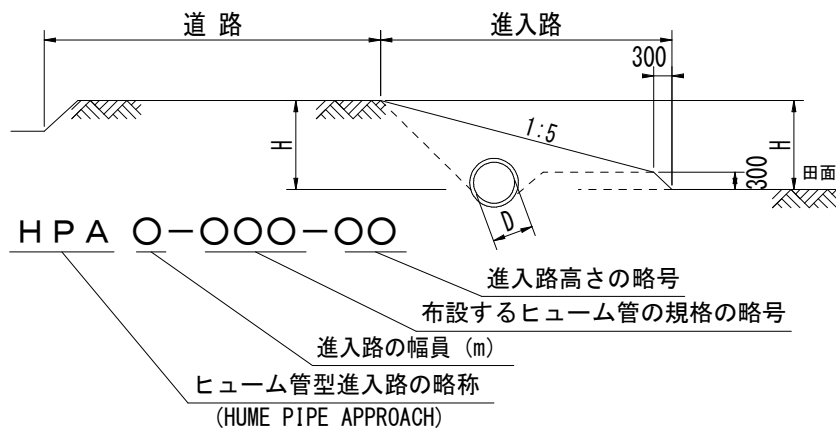
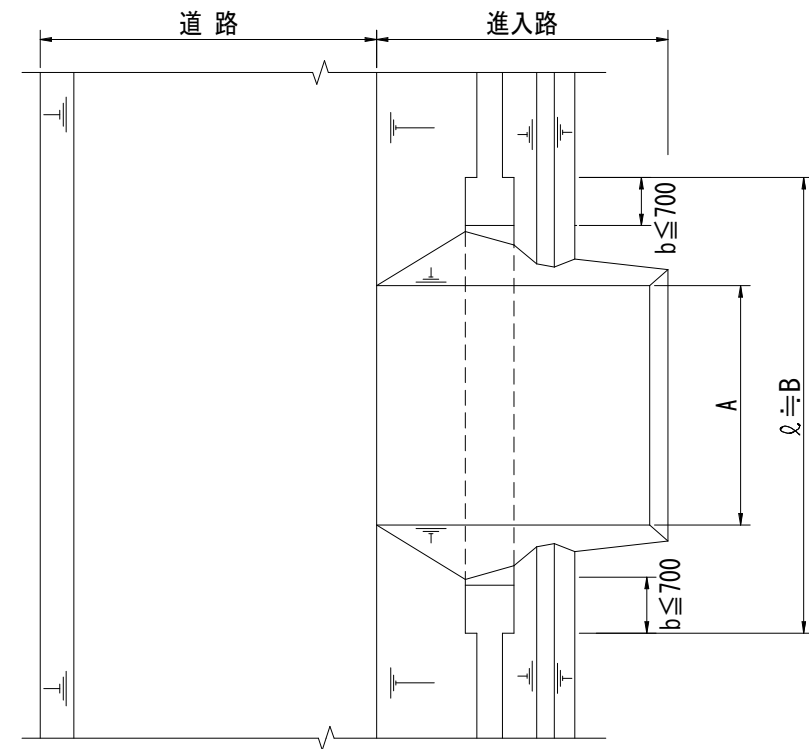
進入路の幅員 (m)

ベンチフリューム型進入路の略称
(BENCH FLUME APPROACH)

関連図番	

農業農村整備事業標準設計		2012. 4	
工 種	進入路工	区分	ほ場整備
C-50	ベンチフリューム型進入路		
設計番号	BFA2-030-03~BFA6-100-18		

ヒューム管型進入路



寸 法 表 (mm)				
A	H	設計番号	B	
			243 m/本	20 m/本
2000	H = 300	HPA2-000-03	2430 (1.0)	3000 (1.5)
	H ≦ 600	HPA2-000-06	3645 (1.5)	3000 (1.5)
	H ≦ 900	HPA2-000-09	3645 (1.5)	4000 (2.0)
	H ≦ 1200	HPA2-000-12	4860 (2.0)	4000 (2.0)
	H ≦ 1500	HPA2-000-15	4860 (2.0)	5000 (2.5)
	H ≦ 1800	HPA2-000-18	4860 (2.0)	5000 (2.5)
3000	H = 300	HPA3-000-03	3645 (1.5)	4000 (2.0)
	H ≦ 600	HPA3-000-06	4860 (2.0)	4000 (2.0)
	H ≦ 900	HPA3-000-09	4860 (2.0)	5000 (2.5)
	H ≦ 1200	HPA3-000-12	4860 (2.0)	5000 (2.5)
	H ≦ 1500	HPA3-000-15	6075 (2.5)	6000 (3.0)
	H ≦ 1800	HPA3-000-18	6075 (2.5)	6000 (3.0)
4000	H = 300	HPA4-000-03	4860 (2.0)	5000 (2.5)
	H ≦ 600	HPA4-000-06	4860 (2.0)	5000 (2.5)
	H ≦ 900	HPA4-000-09	6075 (2.5)	6000 (3.0)
	H ≦ 1200	HPA4-000-12	6075 (2.5)	6000 (3.0)
	H ≦ 1500	HPA4-000-15	7290 (3.0)	7000 (3.5)
	H ≦ 1800	HPA4-000-18	7290 (3.0)	7000 (3.5)
6000	H = 300	HPA5-000-03	7290 (3.0)	7000 (3.5)
	H ≦ 600	HPA6-000-06	7290 (3.0)	7000 (3.5)
	H ≦ 900	HPA6-000-09	7290 (3.0)	8000 (4.0)
	H ≦ 1200	HPA6-000-12	8505 (3.5)	8000 (4.0)
	H ≦ 1500	HPA6-000-15	8505 (3.5)	9000 (4.5)
	H ≦ 1800	HPA6-000-18	9720 (4.0)	9000 (4.5)

※()内はHPの本数

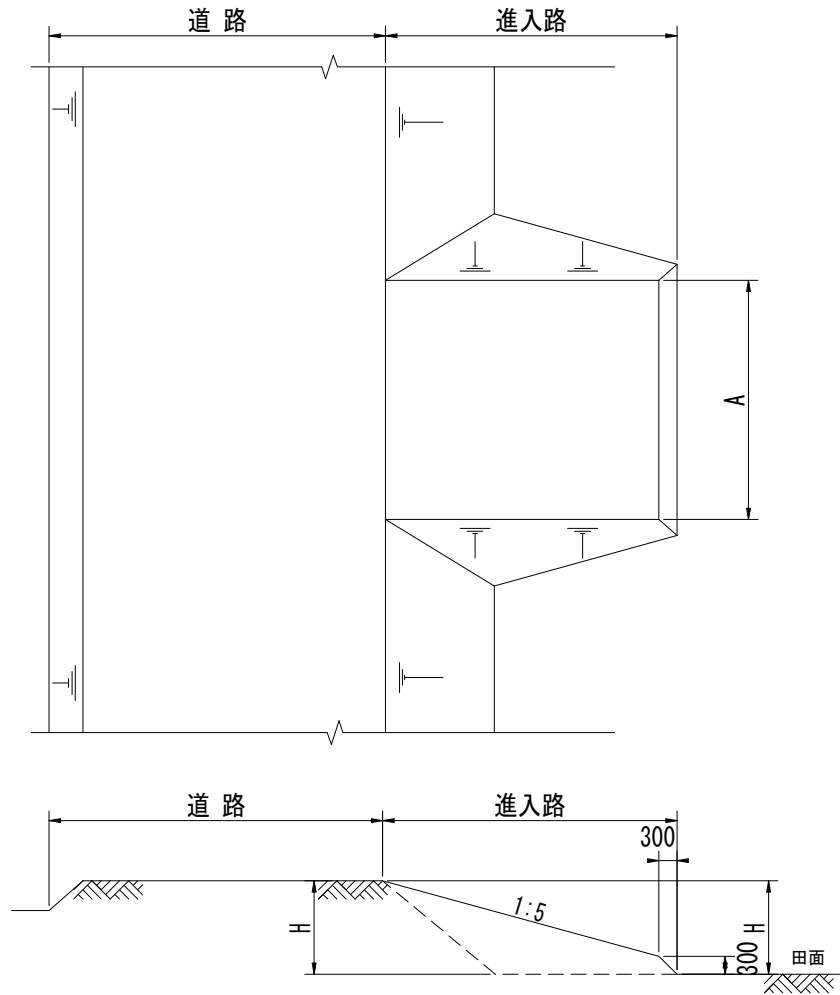
関	
連	
図	
番	

注 意 事 項

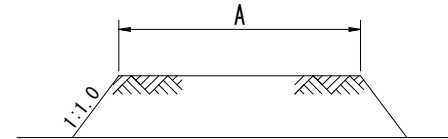
- この標準図は、水路が素掘りの場合適用する。
- 使用するヒューム管はJIS-5372の規格でB型1種管を使用する。
- ヒューム管は、幅Bまで施工する。
但し、寸法表に示した長さは、標準寸法であり、現場条件により監督職員の指示により長さを変更するものとする。
- 基盤整地と同時に施工する場合は、心土を設置力所付近に集積しておくものとする。
- 盛土材を搬入土とする場合の材質は特記仕様書による。
- 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
- 設計変更は、断面毎の設置力所数と、フューム管の本数の変更により行う。

農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	進入路工	区 分	ほ場整備
C - 51	ヒューム管型進入路		
設計番号	HPA2-030-03~HPA6-100-18		

盛土型進入路



BA ○—○○
 進入路高さの略号
 進入路の幅員 (m)
 盛土型進入路の略称
 (BANKING APPROACH)



寸 法 表 (mm)		
A	H	設 計 番 号
2000	H = 300	BA 2 - 03
	H ≤ 600	BA 2 - 06
	H ≤ 900	BA 2 - 09
	H ≤ 1200	BA 2 - 12
	H ≤ 1500	BA 2 - 15
	H ≤ 1800	BA 2 - 18
3000	H = 300	BA 3 - 03
	H ≤ 600	BA 3 - 06
	H ≤ 900	BA 3 - 09
	H ≤ 1200	BA 3 - 12
	H ≤ 1500	BA 3 - 15
	H ≤ 1800	BA 3 - 18
4000	H = 300	BA 4 - 03
	H ≤ 600	BA 4 - 06
	H ≤ 900	BA 4 - 09
	H ≤ 1200	BA 4 - 12
	H ≤ 1500	BA 4 - 15
	H ≤ 1800	BA 4 - 18
6000	H = 300	BA 6 - 03
	H ≤ 600	BA 6 - 06
	H ≤ 900	BA 6 - 09
	H ≤ 1200	BA 6 - 12
	H ≤ 1500	BA 6 - 15
	H ≤ 1800	BA 6 - 18

注 意 事 項

1. 基盤整地と同時に施工する場合は、心土を設置力所に集積盛土するものとする。
2. 盛土材を搬入して設置する場合の材質は、特記仕様書による。
3. 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
4. 設計変更は、断面毎の設置力所数の変更により行う。

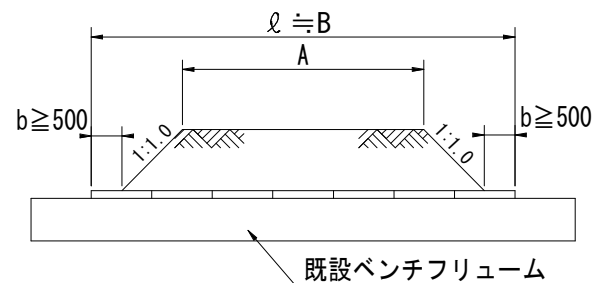
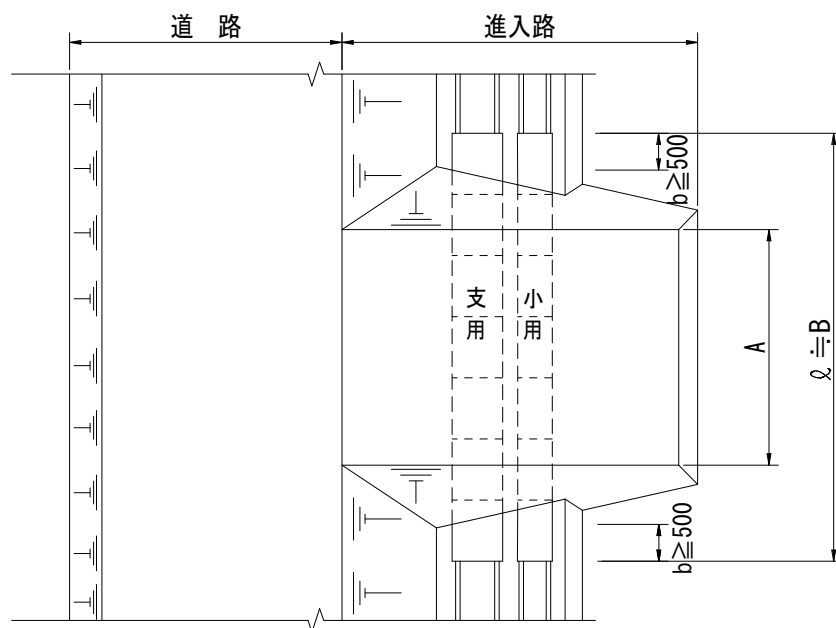
農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	進入路工	区 分	ほ場整備
C - 52	盛土型進入路		
設計番号	BA2-03~BA6-18		

関	
連	
図	
番	

複水路型(1型)進入路

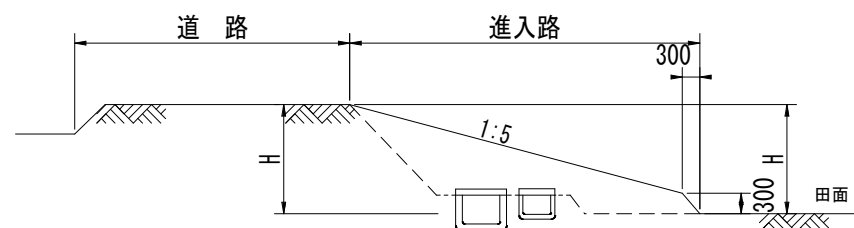
注 意 事 項

1. この標準図は、支用、小用とも既に鉄筋コンクリートベンチフリュームに計画されるか布設が終了している場合に適用する。
2. 蓋は幅Bまで施工する。但し寸法表に示した長さは標準寸法であり現場条件により監督職員の指示により長さを変更するものとする。
3. 基盤整地と同時に施工する場合は、心土を設置力所付近に集積しておくものとする。
4. 盛土材を搬入して設置する場合の材質は、特記仕様書による。
5. 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
6. 設計変更は、断面毎の設置力所数と蓋の枚数の変更により行う。



寸 法 表 (mm)			
A	H	設 計 番 号	B
2000	H = 300	BFDA1-2-000-000-03	2000 (2)
	H ≤ 600	BFDA1-2-000-000-06	3000 (3)
	H ≤ 900	BFDA1-2-000-000-09	4000 (4)
	H ≤ 1200	BFDA1-2-000-000-12	4000 (4)
	H ≤ 1500	BFDA1-2-000-000-15	5000 (5)
	H ≤ 1800	BFDA1-2-000-000-18	5000 (5)
3000	H = 300	BFDA1-3-000-000-03	3000 (3)
	H ≤ 600	BFDA1-3-000-000-06	4000 (4)
	H ≤ 900	BFDA1-3-000-000-09	5000 (5)
	H ≤ 1200	BFDA1-3-000-000-12	5000 (5)
	H ≤ 1500	BFDA1-3-000-000-15	6000 (6)
	H ≤ 1800	BFDA1-3-000-000-18	6000 (6)
4000	H = 300	BFDA1-4-000-000-03	4000 (4)
	H ≤ 600	BFDA1-4-000-000-06	5000 (5)
	H ≤ 900	BFDA1-4-000-000-09	6000 (6)
	H ≤ 1200	BFDA1-4-000-000-12	6000 (6)
	H ≤ 1500	BFDA1-4-000-000-15	7000 (7)
	H ≤ 1800	BFDA1-4-000-000-18	7000 (7)
6000	H = 300	BFDA1-6-000-000-03	6000 (6)
	H ≤ 600	BFDA1-6-000-000-06	7000 (7)
	H ≤ 900	BFDA1-6-000-000-09	8000 (8)
	H ≤ 1200	BFDA1-6-000-000-12	8000 (8)
	H ≤ 1500	BFDA1-6-000-000-15	9000 (9)
	H ≤ 1800	BFDA1-6-000-000-18	9000 (9)

※()内はフタ ℓ=1mの枚数。



BFDA1-0-000-000-00

進入路高さの略号

小用既設ベンチフリューム規格の略号

支用既設ベンチフリューム規格の略号

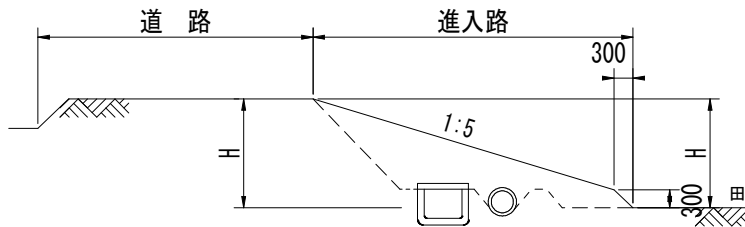
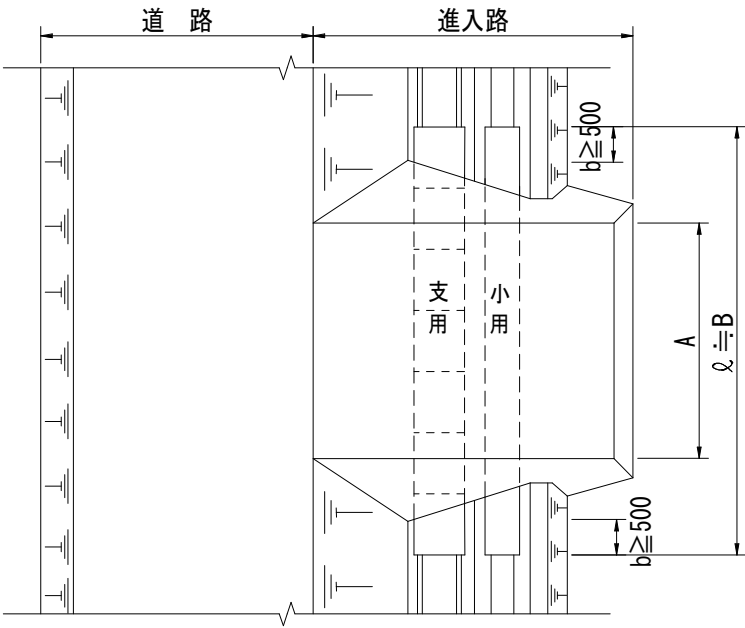
進入路の幅員 (m)

複水路型(1型)進入路の略称
(CONCRETE BENCH FLUME DOUBLE APPROACH)

関	
連	
図	
番	

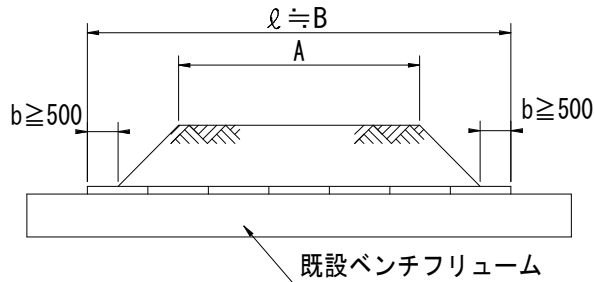
農業農村整備事業標準設計		2012. 4	
工 種	進入路工	区 分	ほ場整備
C - 53	複水路型(1型)進入路		
設計番号	BFDA1-2-030-030-03 ~BFDA1-6-100-100-18		

複水路型(2型)進入路



B F D A 2 - ○ - ○ ○ ○ - ○ ○ ○ - ○ ○

進入路高さの略号
布設するヒューム管規格の略号
支用既設ベンチフリューム規格の略号
進入路の幅員 (m)
複水路型(2型)進入路の略称
(CONCRETE BENCH FLUME DOUBLE APPROACH)



寸 法 表 (mm)				
A	H	設 計 番 号	B (B.F)	B (H.P)
2000	H = 300	BFDA2-2-○○○-○○○-03	2000 (2)	3000 (1.5)
	H ≦ 600	BFDA2-2-○○○-○○○-06	3000 (3)	3000 (1.5)
	H ≦ 900	BFDA2-2-○○○-○○○-09	4000 (4)	4000 (2.0)
	H ≦ 1200	BFDA2-2-○○○-○○○-12	4000 (4)	4000 (2.0)
	H ≦ 1500	BFDA2-2-○○○-○○○-15	5000 (5)	5000 (2.5)
	H ≦ 1800	BFDA2-2-○○○-○○○-18	5000 (5)	5000 (2.5)
3000	H = 300	BFDA2-3-○○○-○○○-03	3000 (3)	4000 (2.0)
	H ≦ 600	BFDA2-3-○○○-○○○-06	4000 (4)	4000 (2.0)
	H ≦ 900	BFDA2-3-○○○-○○○-09	5000 (5)	5000 (2.5)
	H ≦ 1200	BFDA2-3-○○○-○○○-12	5000 (5)	5000 (2.5)
	H ≦ 1500	BFDA2-3-○○○-○○○-15	6000 (6)	6000 (3.0)
	H ≦ 1800	BFDA2-3-○○○-○○○-18	6000 (6)	6000 (3.0)
4000	H = 300	BFDA2-4-○○○-○○○-03	4000 (4)	5000 (2.5)
	H ≦ 600	BFDA2-4-○○○-○○○-06	5000 (5)	5000 (2.5)
	H ≦ 900	BFDA2-4-○○○-○○○-09	6000 (6)	6000 (3.0)
	H ≦ 1200	BFDA2-4-○○○-○○○-12	6000 (6)	6000 (3.0)
	H ≦ 1500	BFDA2-4-○○○-○○○-15	7000 (7)	7000 (3.5)
	H ≦ 1800	BFDA2-4-○○○-○○○-18	7000 (7)	7000 (3.5)
6000	H = 300	BFDA2-6-○○○-○○○-03	6000 (6)	7000 (3.5)
	H ≦ 600	BFDA2-6-○○○-○○○-06	7000 (7)	7000 (3.5)
	H ≦ 900	BFDA2-6-○○○-○○○-09	8000 (8)	8000 (4.0)
	H ≦ 1200	BFDA2-6-○○○-○○○-12	8000 (8)	8000 (4.0)
	H ≦ 1500	BFDA2-6-○○○-○○○-15	9000 (9)	9000 (4.5)
	H ≦ 1800	BFDA2-6-○○○-○○○-18	9000 (9)	9000 (4.5)

※()内は
● BFフタ $q=1\text{m}$ の枚数。
● HP $q=2\text{m}$ の本数。

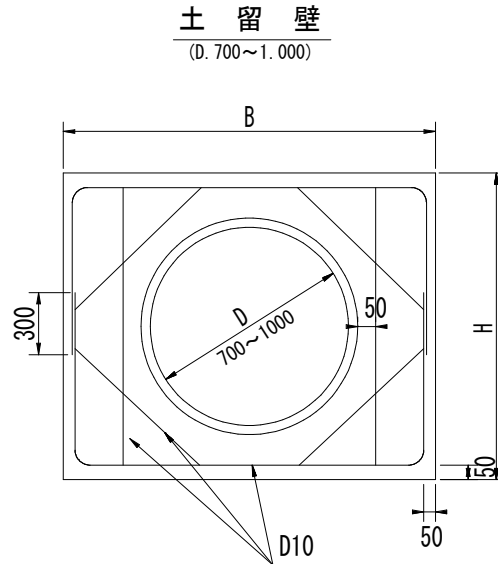
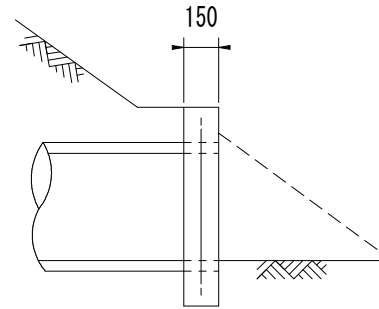
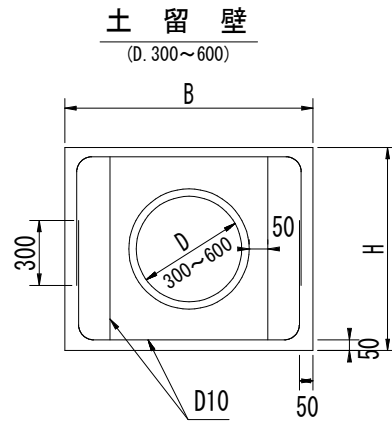
関	
連	
図	
番	

注 意 事 項

- この標準図は支用が鉄筋コンクリートベンチフリュームに計画されるか布設が終了していて、小用が素掘りの場合に適用する。
- 使用するヒューム管はJIS-5372の規格でB型1種管を使用する。
- ヒューム管及び蓋は、幅Bまで施工する。但し、寸法表に示した長さは、標準寸法であり、現場条件により監督職員の指示により長さを変更するものとする。
- 基盤整地と同時に施工する場合は、心土を設置力所付近に集積しておくものとする。
- 盛土材を搬入土とする場合の材質は特記仕様書による。
- 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
- 設計変更は、断面毎の設置力所数と、フリューム管の本数の変更により行う。

農業農村整備事業標準設計		2012. 4	
工 種	進入路工	区 分	ほ場整備
C - 53	複水路型(2型)進入路		
設計番号	BFDA2-2-030-030-03 ~BFDA2-6-100-100-18		

土 留 壁



寸 法 表 (mm)			
ヒューム管径 (D)	設 計 番 号	B	H
300	HPD - 030 - O	900	800
350	HPD - 035 - O	900	800
400	HPD - 040 - O	900	800
450	HPD - 045 - O	1200	1000
500	HPD - 050 - O	1200	1000
600	HPD - 060 - O	1200	1000
700	HPD - 070 - O	1500	1200
800	HPD - 080 - O	1500	1200
900	HPD - 090 - O	1800	1500
1000	HPD - 100 - O	1800	1500

HPD - 000 - O

1片側, 2両側
ヒューム管径 (D) の略号
ヒューム管土留壁の略称

関	
連	
図	
番	

注 意 事 項

- 管型横断暗渠と組み合わせて使用する。
- コンクリートの仕様

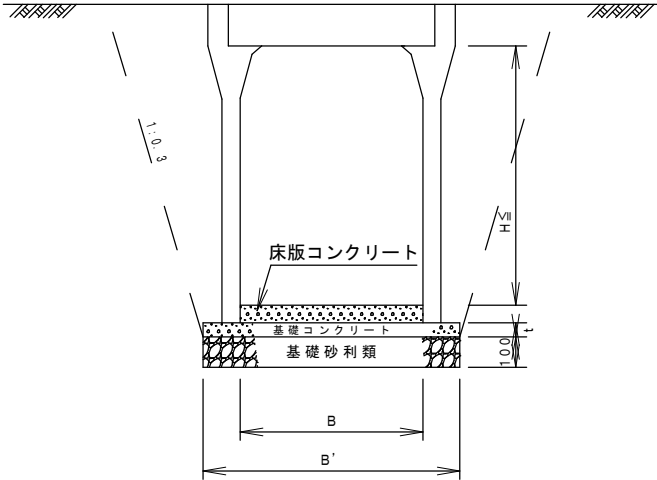
種 別	σ_{28}	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 $\frac{N}{mm^2}$	8 $\pm$ 2.5 $\frac{cm}{mm}$	40 $\frac{mm}{mm}$	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。

- 鉄筋は異形鉄筋 (SD295) とし、断面の中央に配置する。
- 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
- 設計変更は、断面毎の設置力所数の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2021.10
工 種	付 帯 工	区 分	ほ場整備
C - 54	土 留 壁		
設計番号	HPD-030-1~HPD-100-2		

勾配可変側溝水路



KKS-〇〇〇〇-〇〇-〇

基礎砂利類の有無 有F・無N

土かぶり (00)

内幅 (10cm単位)

内高 (10cm単位)

勾配可変側溝の略称
(KOBAI KAHEN SOKKOU)

設計番号	寸 法 表 (mm)			
	内高 (H≦)	内幅 (B)	基礎幅(B')	土かぶり
KKS-0303-〇〇-〇	H≦ 300	300	550	(m)
KKS-0403-〇〇-〇	300<H≦ 400			
KKS-0503-〇〇-〇	400<H≦ 500			
KKS-0603-〇〇-〇	500<H≦ 600			
KKS-0703-〇〇-〇	600<H≦ 700			
KKS-0803-〇〇-〇	700<H≦ 800			
KKS-0903-〇〇-〇	800<H≦ 900			
KKS-0404-〇〇-〇	H≦ 400	400	650	0
KKS-0504-〇〇-〇	400<H≦ 500			
KKS-0604-〇〇-〇	500<H≦ 600			
KKS-0704-〇〇-〇	600<H≦ 700			
KKS-0804-〇〇-〇	700<H≦ 800			
KKS-0904-〇〇-〇	800<H≦ 900			
KKS-1004-〇〇-〇	900<H≦1000		700	
KKS-1104-〇〇-〇	1000<H≦1100			
KKS-1204-〇〇-〇	1100<H≦1200			
KKS-0605-〇〇-〇	H≦ 600	500	750	
KKS-0705-〇〇-〇	600<H≦ 700			
KKS-0805-〇〇-〇	700<H≦ 800			
KKS-0905-〇〇-〇	800<H≦ 900			
KKS-1005-〇〇-〇	900<H≦1000		800	
KKS-1105-〇〇-〇	1000<H≦1100			
KKS-1205-〇〇-〇	1100<H≦1200			
KKS-1305-〇〇-〇	1200<H≦1300			
KKS-1405-〇〇-〇	1300<H≦1400	600	850	
KKS-0706-〇〇-〇	H≦ 700			
KKS-0806-〇〇-〇	700<H≦ 800			
KKS-0906-〇〇-〇	800<H≦ 900			
KKS-1006-〇〇-〇	900<H≦1000		900	
KKS-1106-〇〇-〇	1000<H≦1100			
KKS-1206-〇〇-〇	1100<H≦1200			
KKS-1506-〇〇-〇	1200<H≦1500			
KKS-0707-〇〇-〇	H≦ 700	700	1000	
KKS-0808-〇〇-〇	H≦ 800	800	1200	
KKS-0909-〇〇-〇	H≦ 900	900	1300	
KKS-1010-〇〇-〇	H≦1000	1000	1400	

関連図番	C-44
	C-58

注 意 事 項

1. 勾配可変側溝の規格は標準品であり、土被りのある場合や、道路横断用及び進入路用については、別途適用する。
2. 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
3. コンクリートは普通コンクリートとし、その仕様は次のとおりとする。

種 別	σ28	SL	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18N/mm ²	8±2.5	40mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。

4. 基礎コンクリートの標準厚 (t)

タイプ (幅)	300~400	500~800	900~1000
t	50	100	150

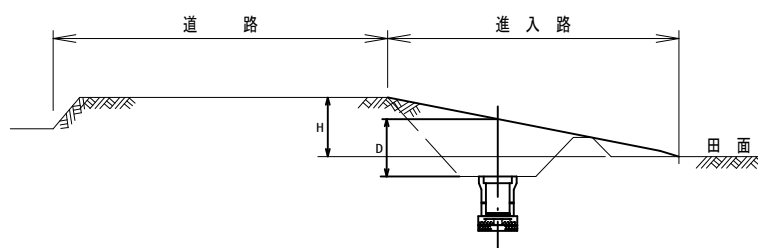
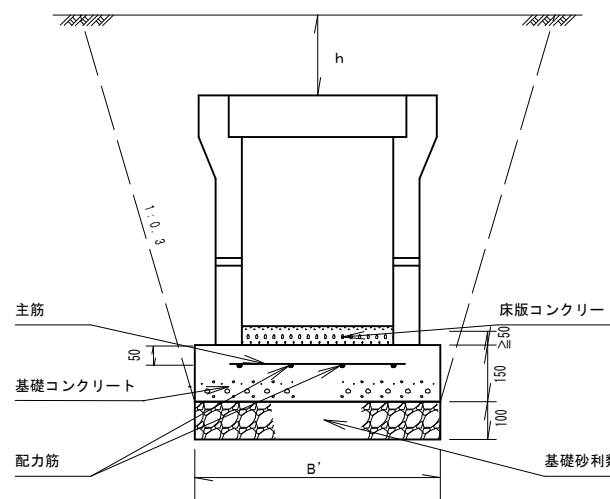
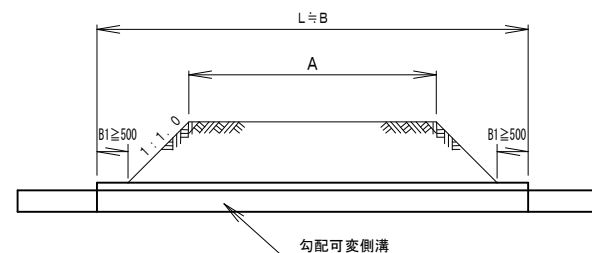
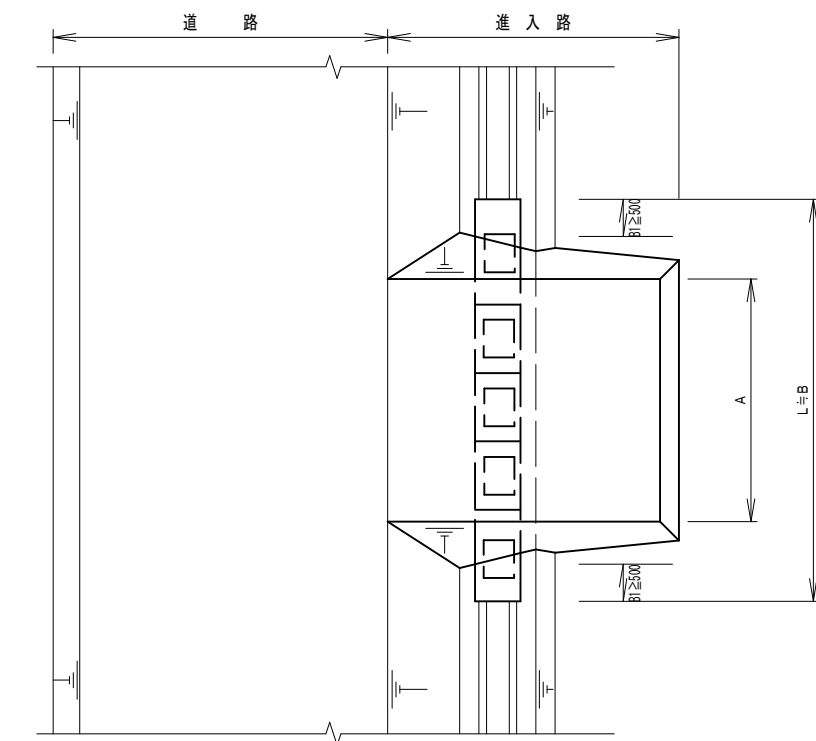
5. 設計変更は断面毎の延長の増減によりおこなう。
6. 出来形管理は断面と延長とする。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	付 帯 工	区分	ほ場整備
C-55	勾 配 可 変 側 溝 水 路		
設計番号	KKS-0303-00-F~KKS-1010-00-N		

勾配可変側溝型進入路

注 意 事 項

1. 勾配可変側溝は、進入路用であり、土かぶり0.3～1.5mを標準とする。土かぶりが標準と異なる場合は、監督職員と協議すること。
2. 自動車荷重はT-4とし、雪荷重と比較して大きい方を設計荷重とする。
3. コンクリート及び基礎砕石の種類、品質、規格等については特記仕様書による。
4. 盛土材を搬入して設置する場合の材質は、特記仕様書による。
5. 進入路幅員(A)は2.0m、3.0m、4.0m、6.0mを標準とする。
6. 製品長(2.0m/本)を考慮し、暗渠部は偶数延長を標準とする。
7. 出来形管理は、断面と設置箇所数とする。
8. 設計変更は、断面毎の設置箇所数と、蓋の枚数の変更により行う。



KKAO-OOOO-OO-O

基礎砂利の有無 有F・無N

進入路高さ: H (03, 06, 09, 12, 15)

勾配可変側溝規格の略号

進入路の幅員 (m)

勾配可変側溝型進入路の略称
(KOBAI KAHEN APPROACH)

内高	内幅	基礎幅 (B')	進入路高さ	主筋	配力筋
500	400	650	表記	D13 @250	D13 @250
600			H ≤ 300 → 03		
700			300 < H ≤ 600 → 06		
			600 < H ≤ 900 → 09		
			900 < H ≤ 1200 → 12		
900	500	800	1200 < H ≤ 1500 → 15		
900	600	850			

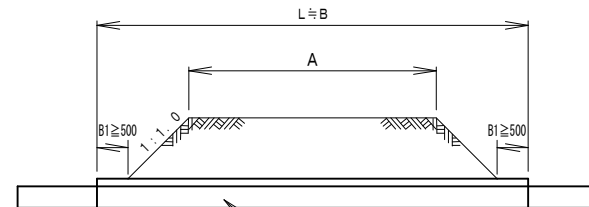
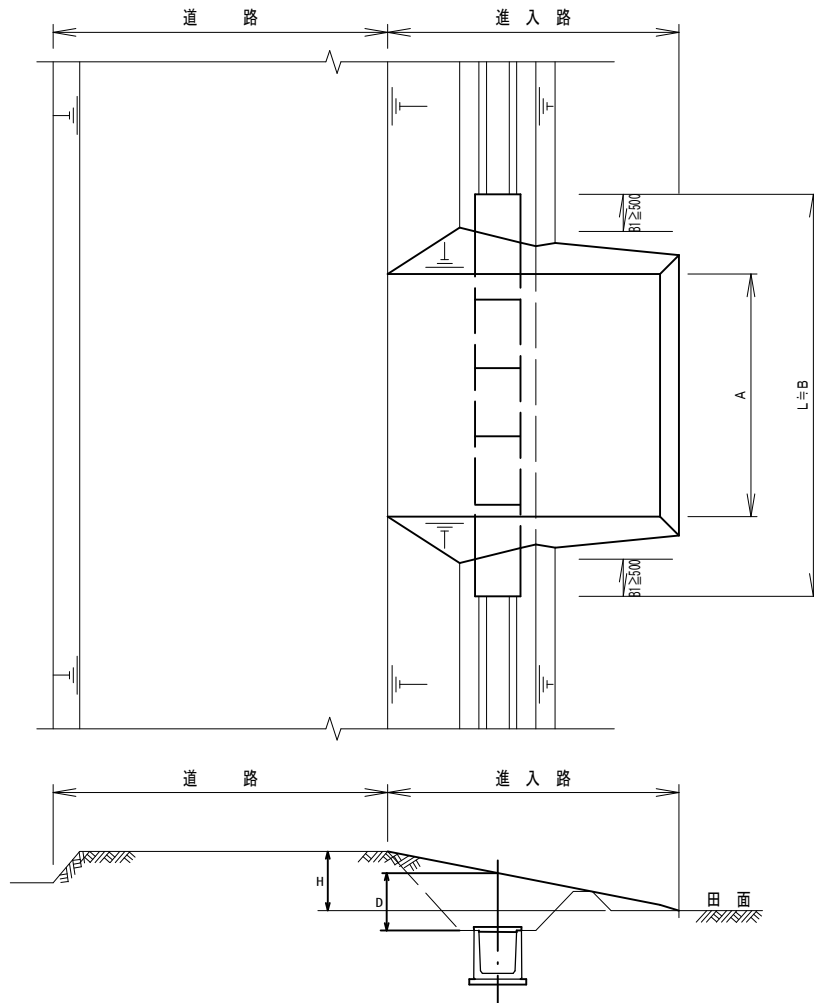
関連図番	C-44
	C-55

農業農村整備事業標準設計		2012. 4	
工 種	進入路工	区分	ほ場整備
C-58	勾配可変側溝型進入路		
設計番号	KKA2-0504-03~KKA6-0906-15		

蓋掛け補強型進入路

注 意 事 項

- 鉄筋コンクリート排水フリュームは、現場条件（土被り、上載荷重等）に応じて補強（通常の排水フリュームを増厚又は鉄筋を追加したもの）を適用すること。
- 蓋は幅Bまで施工する。但し寸法表に示した長さは標準寸法であり現場条件により監督職員の指示により長さを変更するものとする。
- 使用する蓋板の規格については、特記仕様書による。
- 盛土材を搬入して設置する場合の材質は、特記仕様書による。
- 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
- 設計変更は、断面毎の設置力所数と蓋の枚数の変更により行う。



寸 法 表 (mm)

A	H	設計番号	H
2000	H ≤ 300	DFA2-000-03	2000 (2)
	H ≤ 600	DFA2-000-06	3000 (3)
	H ≤ 900	DFA2-000-09	4000 (4)
	H ≤ 1200	DFA2-000-12	4000 (4)
	H ≤ 1500	DFA2-000-15	5000 (5)
3000	H ≤ 300	DFA3-000-03	3000 (3)
	H ≤ 600	DFA3-000-06	4000 (4)
	H ≤ 900	DFA3-000-09	5000 (5)
	H ≤ 1200	DFA3-000-12	5000 (5)
	H ≤ 1500	DFA3-000-15	6000 (6)
4000	H ≤ 300	DFA4-000-03	4000 (4)
	H ≤ 600	DFA4-000-06	5000 (5)
	H ≤ 900	DFA4-000-09	6000 (6)
	H ≤ 1200	DFA4-000-12	6000 (6)
	H ≤ 1500	DFA4-000-15	7000 (7)
6000	H ≤ 300	DFA5-000-03	6000 (6)
	H ≤ 600	DFA6-000-06	7000 (7)
	H ≤ 900	DFA6-000-09	8000 (8)
	H ≤ 1200	DFA6-000-12	8000 (8)
	H ≤ 1500	DFA6-000-15	9000 (9)

※ () 内はフタ 1 = 1 m の枚数

DFA0-000-00-0

基礎砂利有の場合に F

進入路高さ: H (03, 06, 09, 12, 15)

排水フリューム補強型規格の略号

進入路の幅員 (m)

蓋掛け補強型進入路の略称

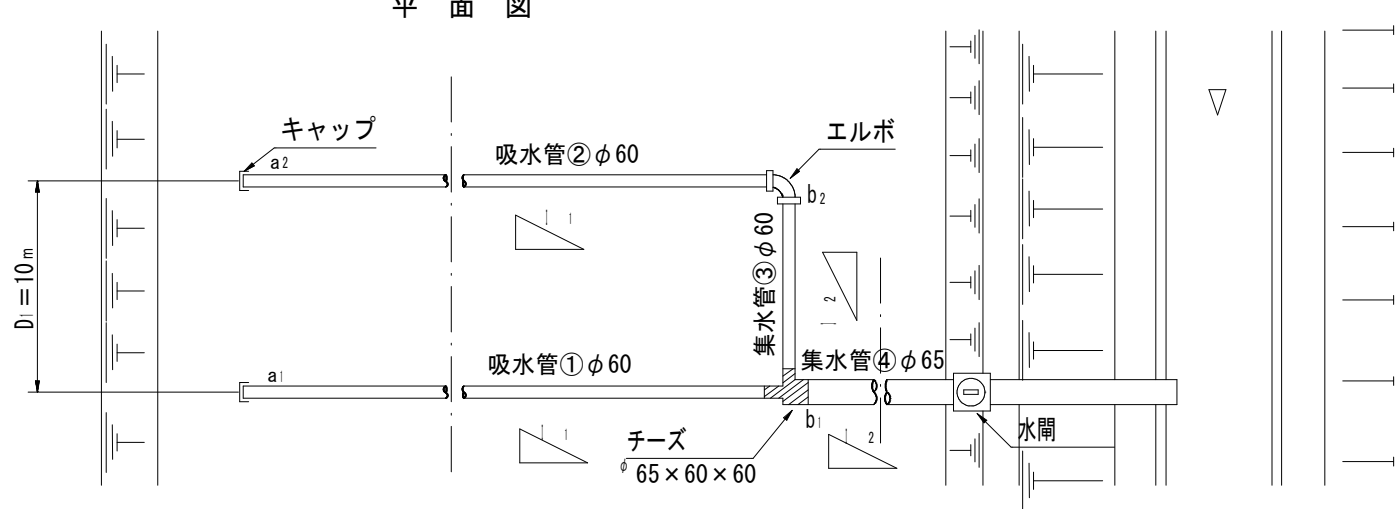
(DRAINAGE FLUME APPROACH)

関
連
図
番

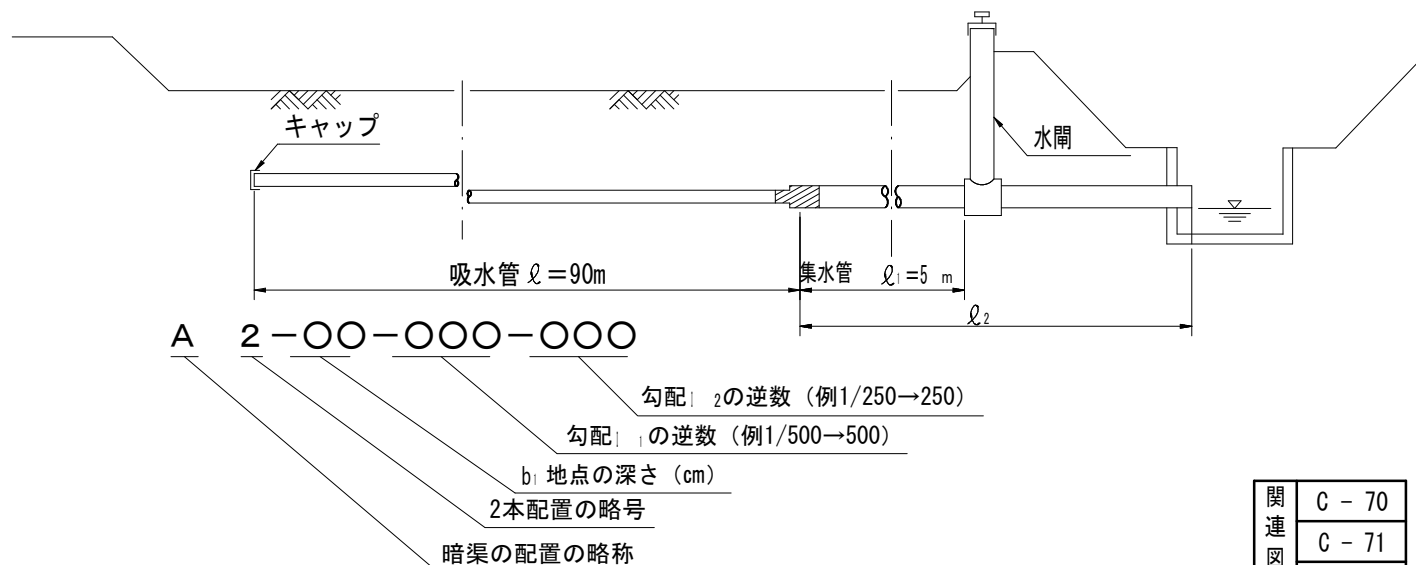
農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	進入路工	区分	ほ場整備
C-59	蓋掛け補強型進入路		
設計番号	DFA2-504-03~DFA6-905-15		

暗渠排水 2 本配置

平面図



側面図



注意事項

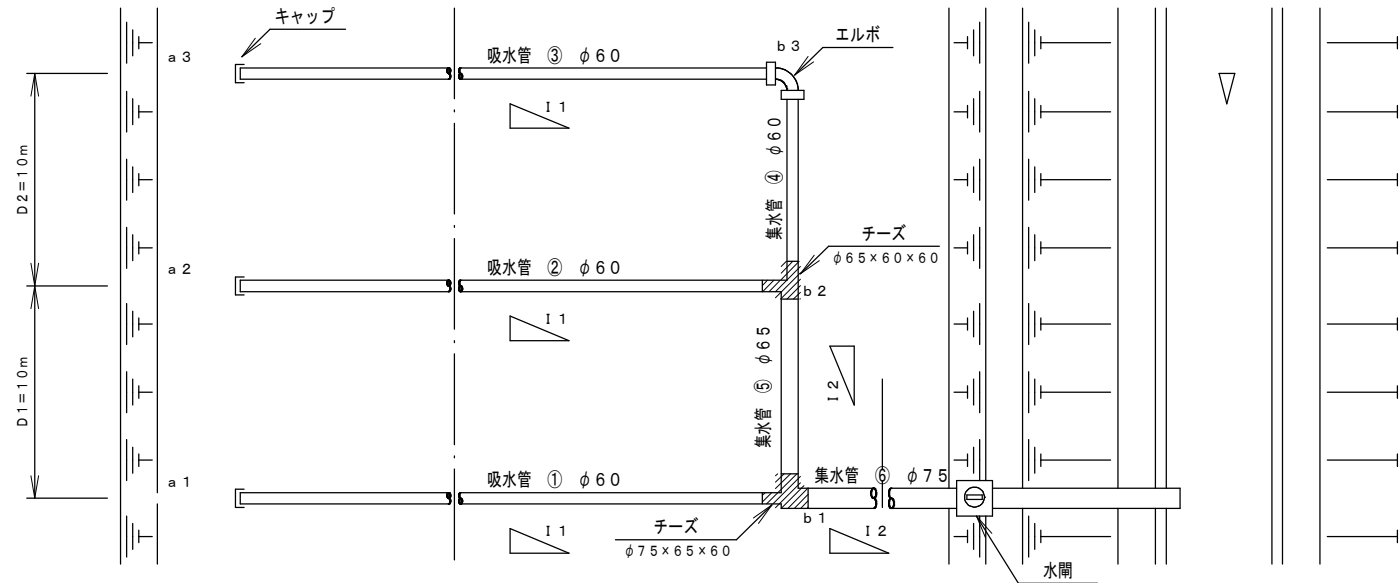
1. 材料の種類、規格については、特記仕様書による。
2. 計画平面図等に寸法が表示されている場合は、それにより施行する。
3. 渠線の位置は監督職員の指示による。
4. 出来形管理は、断面、埋設深、管延長、間隔とする。
5. 設計変更は、埋設深、管延長、間隔、配列方法、掘削工法により行う。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	暗渠排水	区 分	ほ場整備
C - 60	暗 渠 排 水 2 本 配 置		
設計番号	A2-		

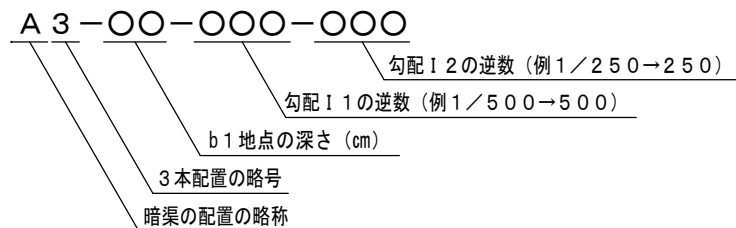
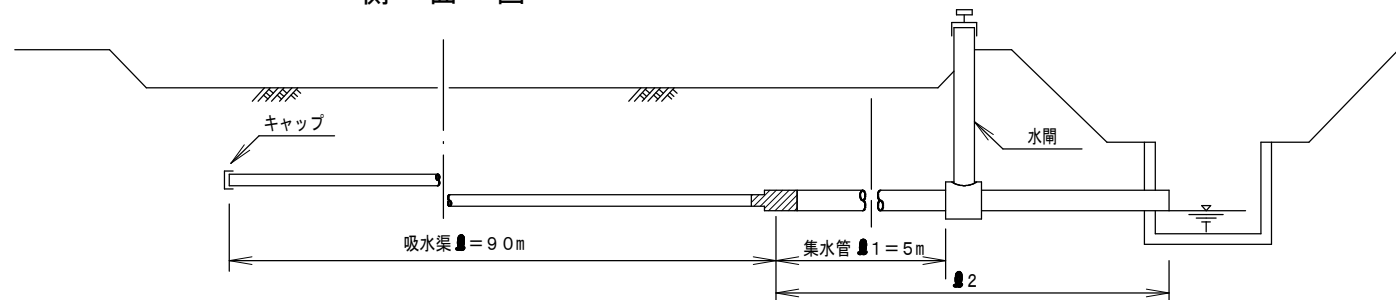
関連図番	C - 70
	C - 71

暗渠排水 3 本配置

平面図



側面図



注意事項

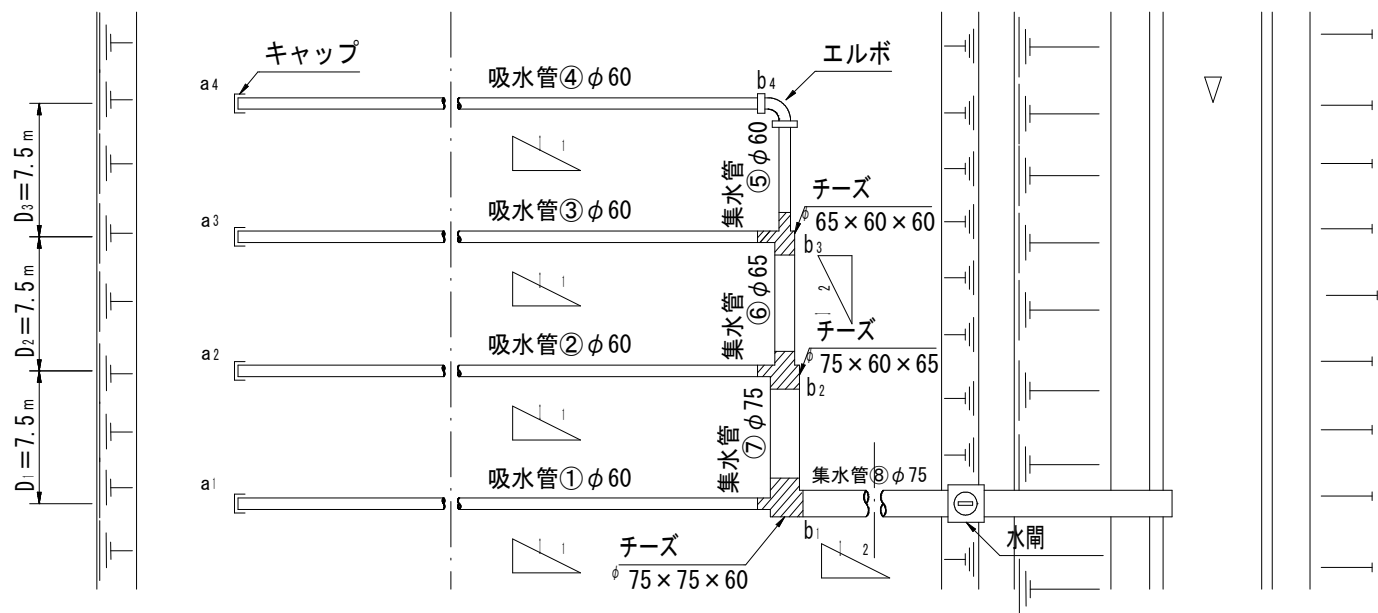
1. 材料の種類、規格については、特記仕様書による。
2. 計画平面図等に寸法が表示されている場合は、それにより施行する。
3. 渠線の位置は監督職員の指示による。
4. 出来形管理は、断面、埋設深、管延長、間隔とする。
5. 設計変更は、埋設深、管延長、間隔、配列方法、掘削工法により行う。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	暗 渠 排 水	区 分	ほ 場 整 備
C-61	暗 渠 排 水 3 本 配 置		
設計番号	A3-		

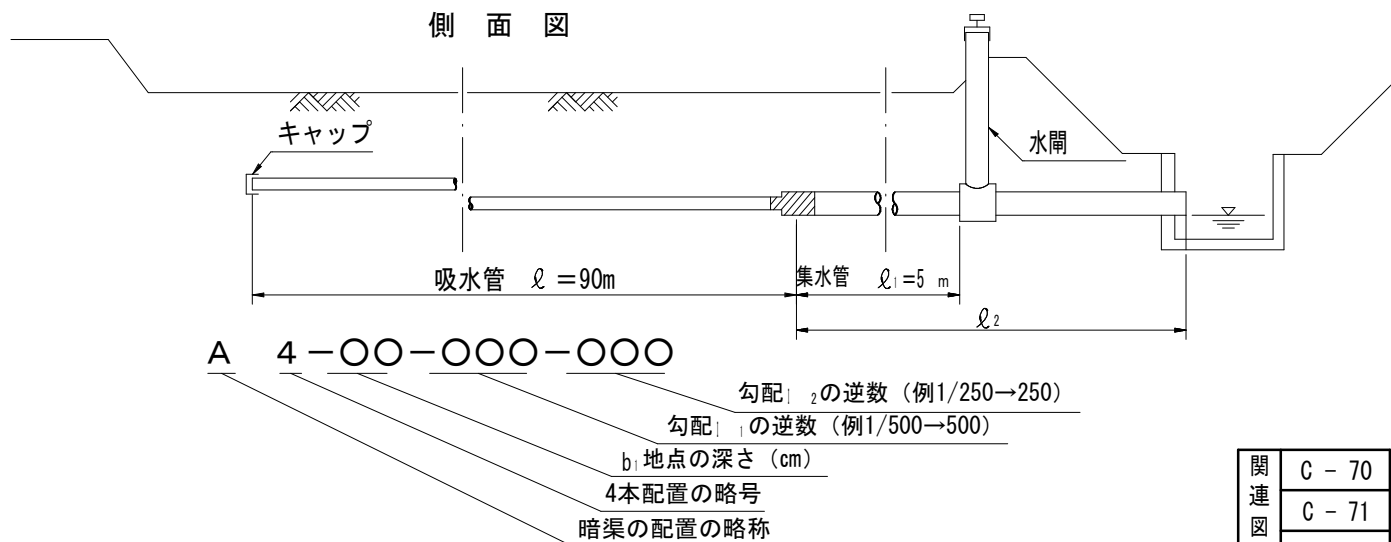
関連図番	C-70
	C-71

暗渠排水 4 本配置

平面図



側面図



注意事項

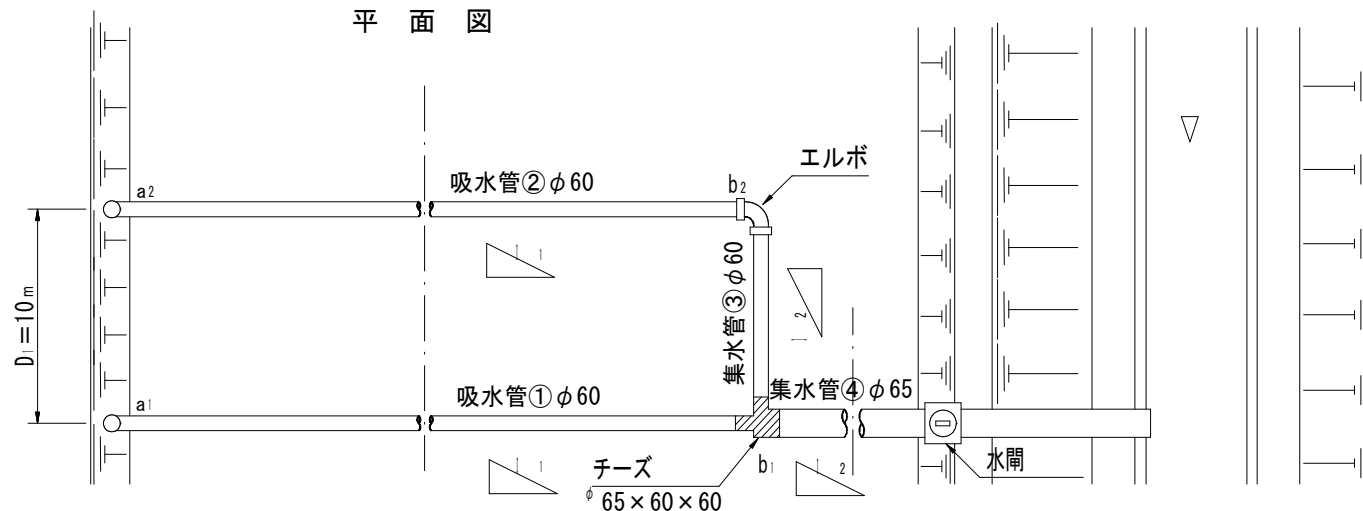
1. 材料の種類、規格については、特記仕様書による。
2. 計画平面図等に寸法が表示されている場合は、それにより施行する。
3. 渠線の位置は監督職員の指示による。
4. 出来形管理は、断面、埋設深、管延長、間隔とする。
5. 設計変更は、埋設深、管延長、間隔、配列方法、掘削工法により行う。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	暗渠排水	区 分	ほ場整備
C - 62	暗 渠 排 水 4 本 配 置		
設計番号	A4-		

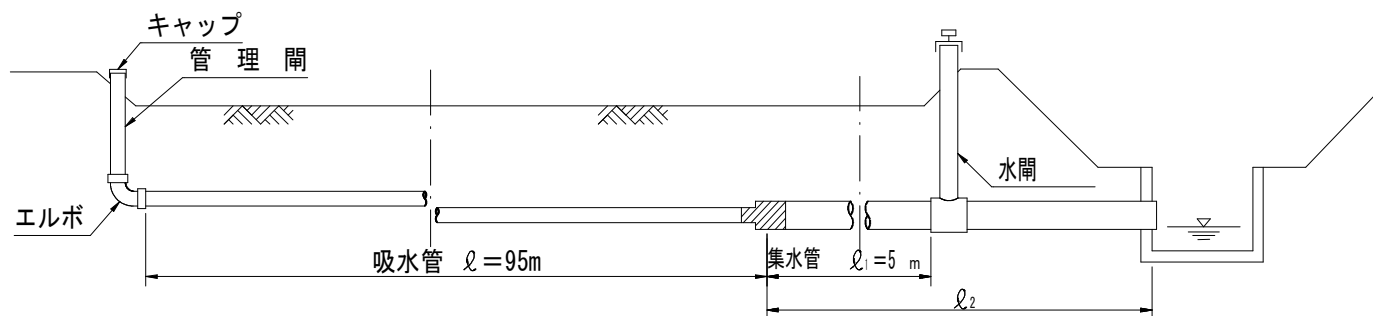
関連図番	C - 70
	C - 71

管理閘付暗渠排水 2 本配置

平面図



側面図



AK2-〇〇-〇〇〇-〇〇〇

勾配₂の逆数 (例1/250→250)

勾配₁の逆数 (例1/500→500)

b₁ 地点の深さ (cm)

2本配置の略号

暗渠の配置の略称

関連図番	C - 70
	C - 71

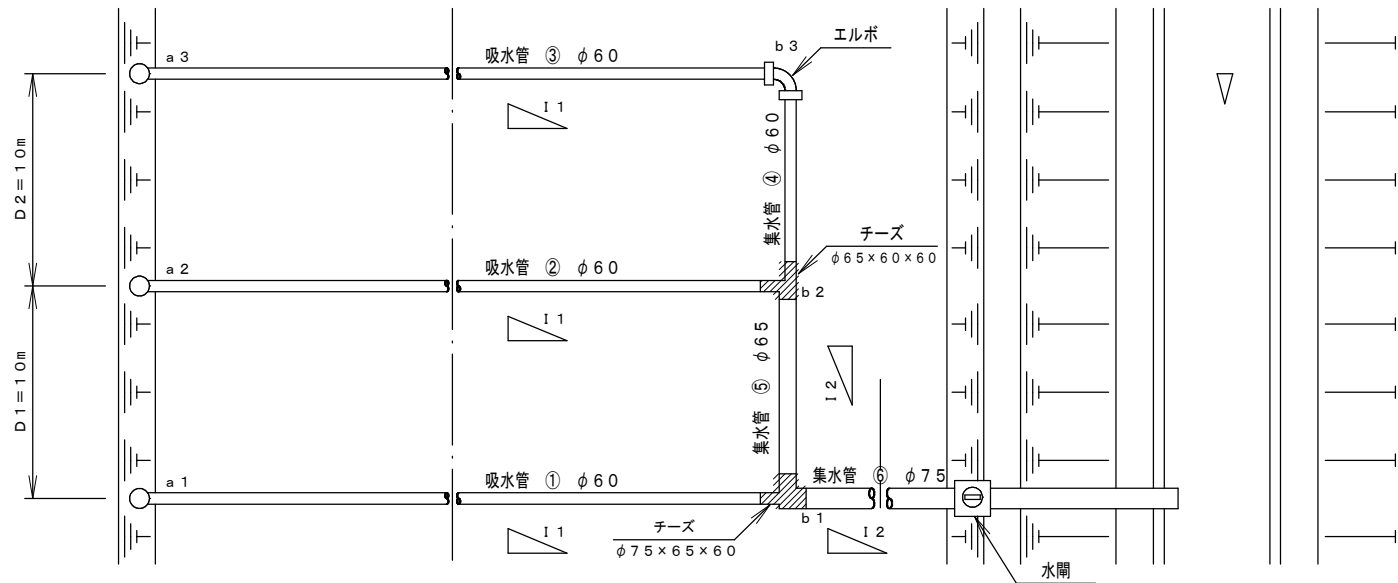
注意事項

1. 材料の種類、規格については、特記仕様書による。
2. 計画平面図等に寸法が表示されている場合は、それにより施行する。
3. 渠線の位置は監督職員の指示による。
4. 出来形管理は、断面、埋設深、管延長、間隔とする。
5. 設計変更は、埋設深、管延長、間隔、配列方法、掘削工法により行う。

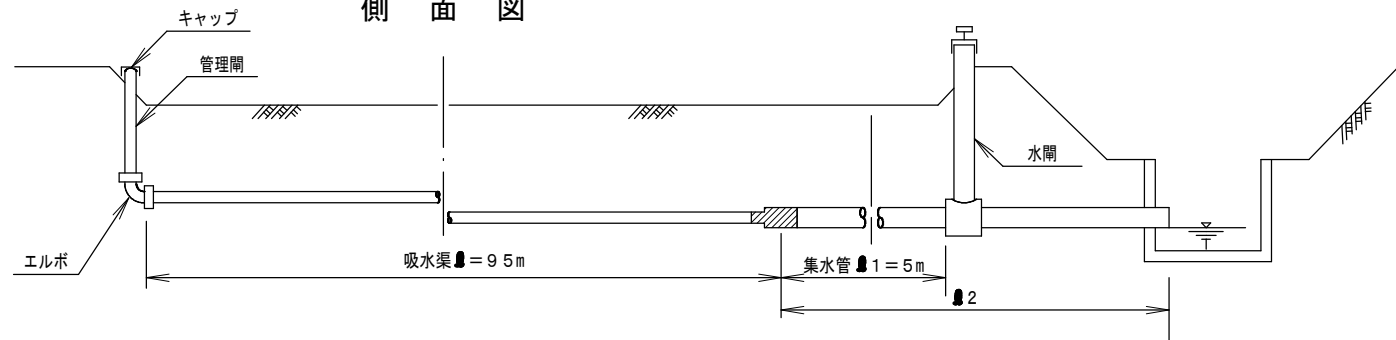
農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	暗渠排水	区 分	ほ場整備
C - 63	管理閘付暗渠排水2本配置		
設計番号	AK2-		

管理閘付暗渠排水 3 本配置

平面図



側面図



AK3-〇〇-〇〇〇-〇〇〇
 勾配 1:2 の逆数 (例 1/250 → 250)
 勾配 1:1 の逆数 (例 1/500 → 500)
 b 1 地点の深さ (cm)
 3 本配置の略号
 暗渠の配置の略称

注意事項

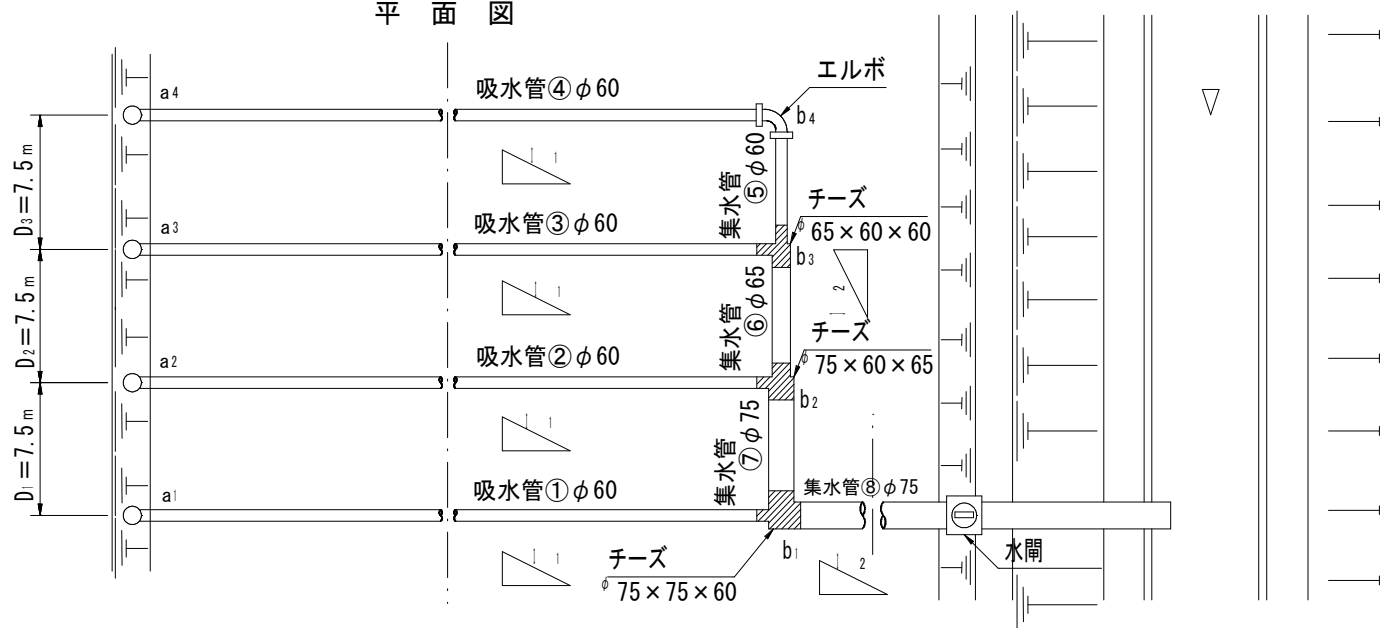
1. 材料の種類、規格については、特記仕様書による。
2. 計画平面図等に寸法が表示されている場合は、それにより施行する。
3. 渠線の位置は監督職員の指示による。
4. 出来形管理は、断面、埋設深、管延長、間隔とする。
5. 設計変更は、埋設深、管延長、間隔、配列方法、掘削工法により行う。

農業農村整備事業標準設計		2015. 4	
工 種	暗渠排水	区分	ほ場整備
C-64	管理閘付暗渠排水 3 本配置		
設計番号	AK3-		

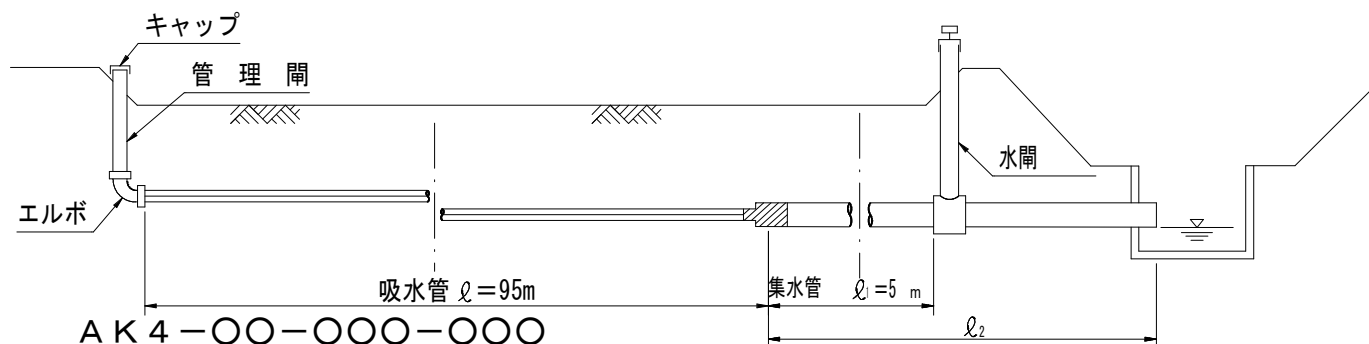
関連図番	C-70
	C-71

管理閘付暗渠排水4本配置

平面図



側面図



AK4-○○-○○○-○○○

勾配₂の逆数 (例1/250→250)

勾配₁の逆数 (例1/500→500)

b₁ 地点の深さ (cm)

4本配置の略号

暗渠の配置の略称

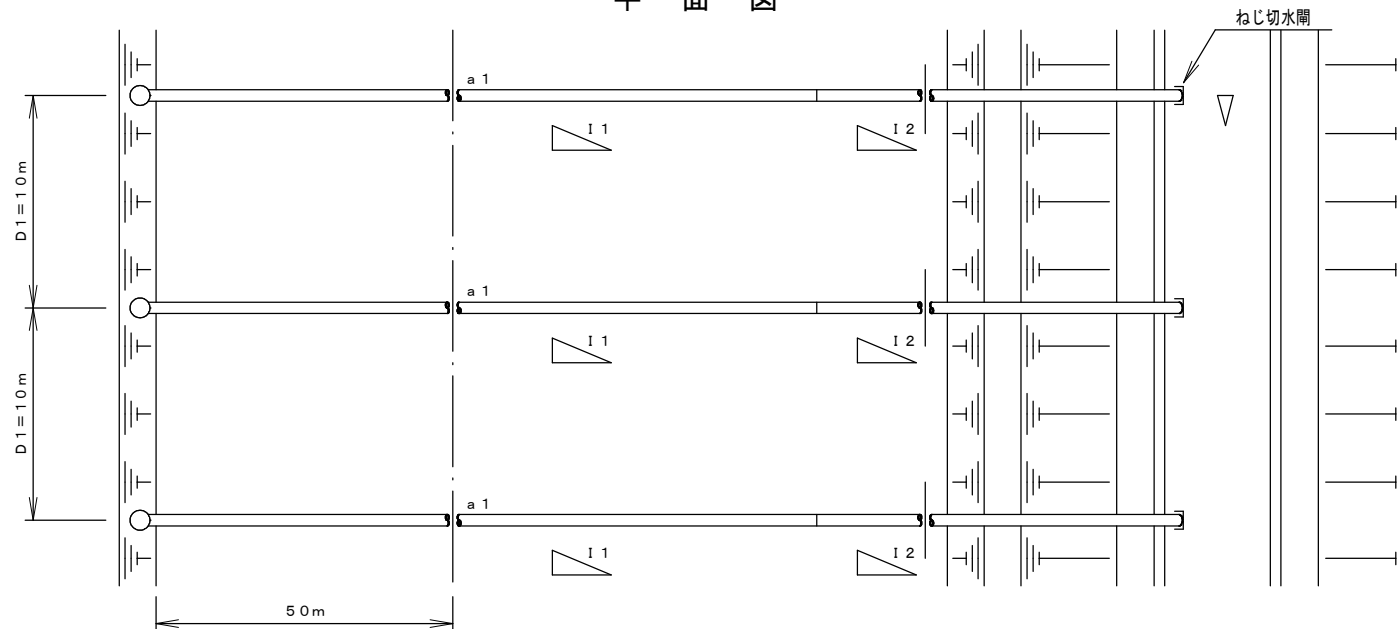
関連図番	C - 70
	C - 71

注意事項

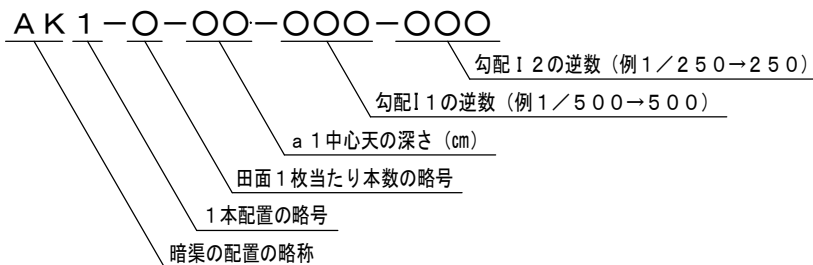
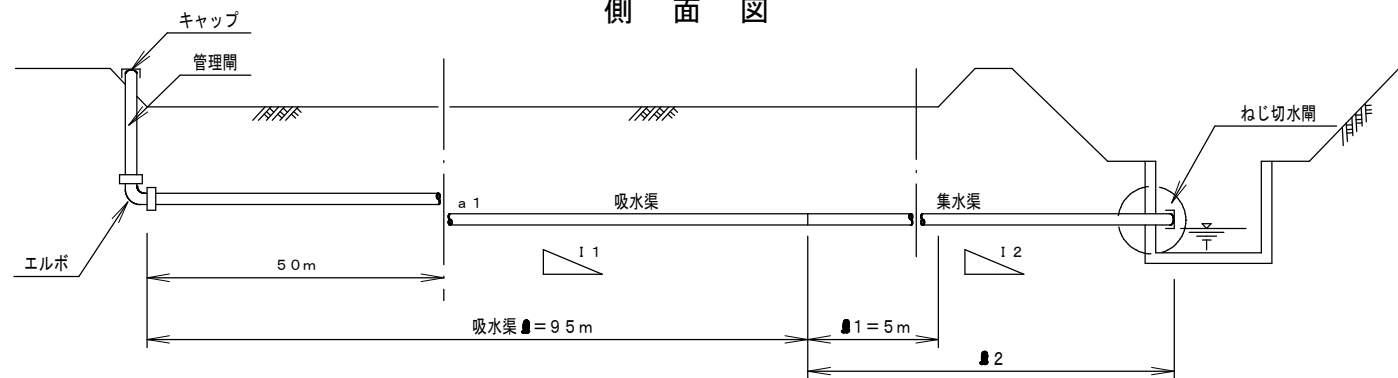
1. 材料の種類、規格については、特記仕様書による。
2. 計画平面図等に寸法が表示されている場合は、それにより施行する。
3. 渠線の位置は監督職員の指示による。
4. 出来形管理は、断面、埋設深、管延長、間隔とする。
5. 設計変更は、埋設深、管延長、間隔、配列方法、掘削工法により行う。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	暗渠排水	区 分	ほ場整備
C - 65	管理閘付暗渠排水4本配置		
設計番号	AK4-		

平面図



側面図



注意事項

1. 材料の種類、規格については、特記仕様書による。
2. 計画平面図等に寸法が表示されている場合は、それにより施行する。
3. 渠線の位置は監督職員の指示による。
4. 出来形管理は、断面、埋設深、管延長、間隔とする。
5. 設計変更は、埋設深、管延長、間隔、配列方法、掘削工法により行う。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4	
工 種	付 帯 工	区分	ほ場整備	
C-66	暗渠排水 単線排水方式			
設計番号	AK1			

関連図番	C-70
	C-71

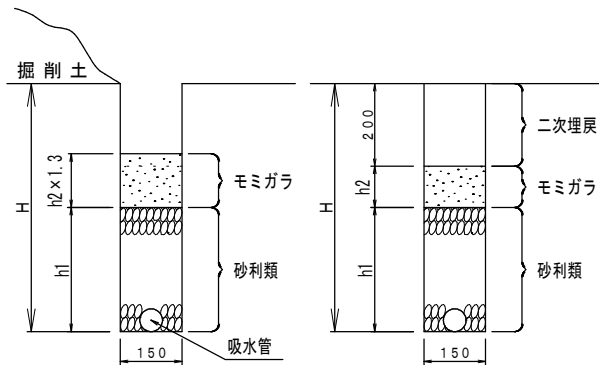
暗渠排水 吸水渠標準断面図（１）

注 意 事 項

- バックホウ掘削の掘削勾配は、1:0.1を標準とする。
- 材料の種類、規格については、特記仕様書による。

トレンチャ掘削

K1-〇〇-〇-〇〇〇〇

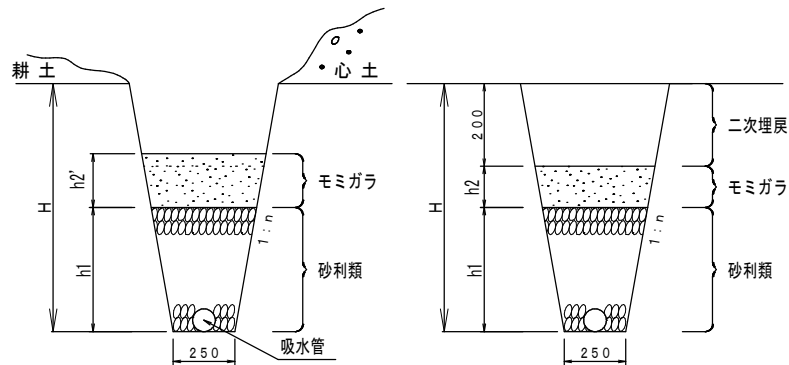


一次施工時
(一次埋戻まで)

二次施工時
(二次埋戻)

バックホウ掘削

K2-〇〇-〇-〇〇〇〇-〇

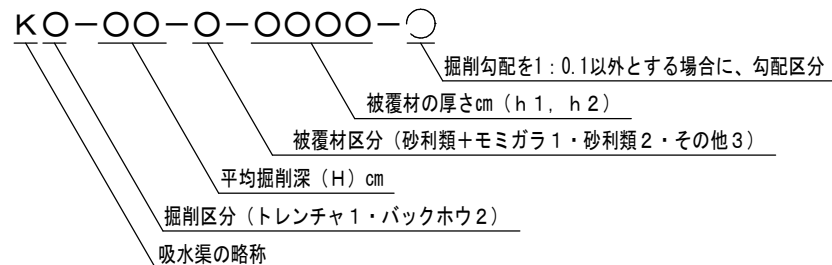


一次施工時
(一次埋戻まで)

二次施工時
(二次埋戻)

掘削勾配区分

掘削勾配 n	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5
勾配区分	02	03	04	05	



関連図番	C-60~66
	C-71

農業農村整備事業標準設計			2019.10
工 種	暗渠排水	区分	ほ場整備
C-70	暗渠排水 吸水渠標準断面図（１）		
設計番号	K1- ~ K2-		

暗渠排水 吸水渠標準断面図（２）

バックホウ掘削 被覆材厚

寸 法 表 (mm)

砂利類厚h1：200mm												砂利類厚h1：300mm											
モミガラ厚h2 (二次施工時)	モミガラ厚h2'（一次施工時）					モミガラ厚h2 (二次施工時)	モミガラ厚h2'（一次施工時）					モミガラ厚h2 (二次施工時)	モミガラ厚h2'（一次施工時）					モミガラ厚h2 (二次施工時)	モミガラ厚h2'（一次施工時）				
	掘削勾配 n						掘削勾配 n						掘削勾配 n						掘削勾配 n				
	0. 1	0. 2	0. 3	0. 4	0. 5		0. 1	0. 2	0. 3	0. 4	0. 5		0. 1	0. 2	0. 3	0. 4	0. 5		0. 1	0. 2	0. 3	0. 4	0. 5
50	70	70	60	60	60	310	360	350	330	330	320	50	70	70	60	60	60	310	370	350	340	330	330
60	80	80	80	80	80	320	380	360	340	340	330	60	80	80	80	80	80	320	380	360	350	340	340
70	90	90	90	90	90	330	390	370	350	340	340	70	90	90	90	90	90	330	390	370	360	350	350
80	100	100	100	100	100	340	400	370	360	350	350	80	100	100	100	100	100	340	400	380	370	360	360
90	120	110	110	110	110	350	410	380	370	360	360	90	120	110	110	110	110	350	410	390	380	370	370
100	130	120	120	120	120	360	420	390	380	370	370	100	130	120	120	120	120	360	420	400	390	380	380
110	140	140	130	130	130	370	430	400	390	380	370	110	140	140	130	130	130	370	430	410	400	390	380
120	150	150	140	140	140	380	440	410	400	390	380	120	150	150	150	140	140	380	440	420	410	400	390
130	160	160	150	150	150	390	450	420	410	400	390	130	160	160	160	150	150	390	450	430	420	410	400
140	170	170	170	160	160	400	460	430	420	410	400	140	180	170	170	170	160	400	460	440	430	420	410
150	190	180	180	170	170	410	470	440	430	420	410	150	190	180	180	180	170	410	470	450	430	430	420
160	200	190	190	180	180	420	480	450	440	420	420	160	200	190	190	190	180	420	480	460	440	430	430
170	210	200	200	190	190	430	490	460	440	430	430	170	210	200	200	200	190	430	490	470	450	440	440
180	220	210	210	200	200	440	500	470	450	440	430	180	220	210	210	210	200	440	500	480	460	450	450
190	230	220	220	210	210	450	510	480	460	450	440	190	230	230	220	220	210	450	510	490	470	460	460
200	240	230	230	220	220							200	240	240	230	230	220						
210	250	240	240	230	230							210	260	250	240	240	230						
220	270	250	250	240	240							220	270	260	250	250	240						
230	280	260	260	250	250							230	280	270	260	260	250						
240	290	280	270	260	260							240	290	280	270	270	260						
250	300	290	280	270	270							250	300	290	280	280	270						
260	310	300	290	280	280							260	310	300	290	290	280						
270	320	310	300	290	290							270	320	310	300	300	290						
280	330	320	310	300	290							280	330	320	310	310	300						
290	340	330	320	310	300							290	340	330	320	320	310						
300	350	340	320	320	310							300	360	340	330	320	320						

関連
図番

C-60~66
C-71

農業農村整備事業標準設計			2019.10
工 種	暗渠排水	区分	ほ場整備
C-70	暗渠排水 吸水渠標準断面図（２）		
設計番号	K1- ~ K2-		

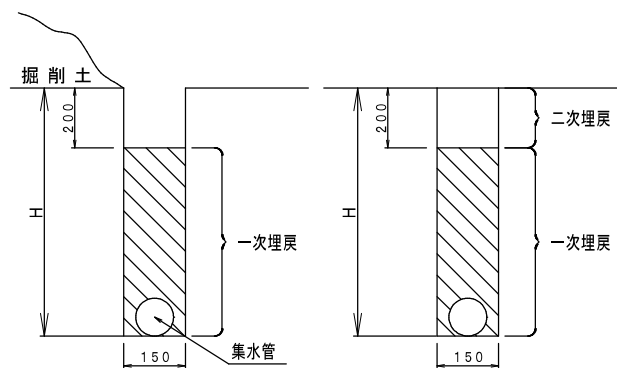
暗渠排水 集水渠標準断面図

注 意 事 項

1. バックホウ掘削の掘削勾配は、1:0.1を標準とする。
2. 材料の種類、規格については、特記仕様書による。
3. 一次埋戻は、突き棒等で丁寧に行なう。
4. 畦・溝畔等の法面の埋戻しは、漏水及び崩壊のないように行なう。

トレンチャ掘削

S 1 - 〇〇

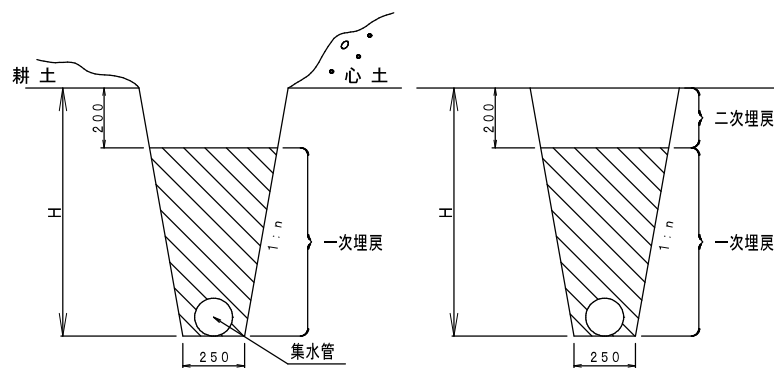


一次施工時
(一次埋戻まで)

二次施工時
(二次埋戻)

バックホウ掘削

S 2 - 〇〇 - 〇

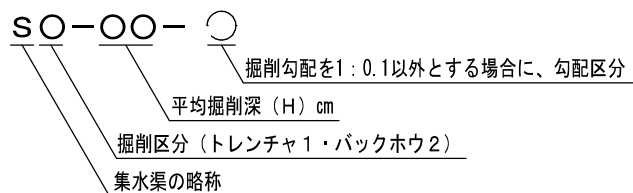


一次施工時
(一次埋戻まで)

二次施工時
(二次埋戻)

掘削勾配区分

掘削勾配 n	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5
勾配区分	01	02	03	04	05

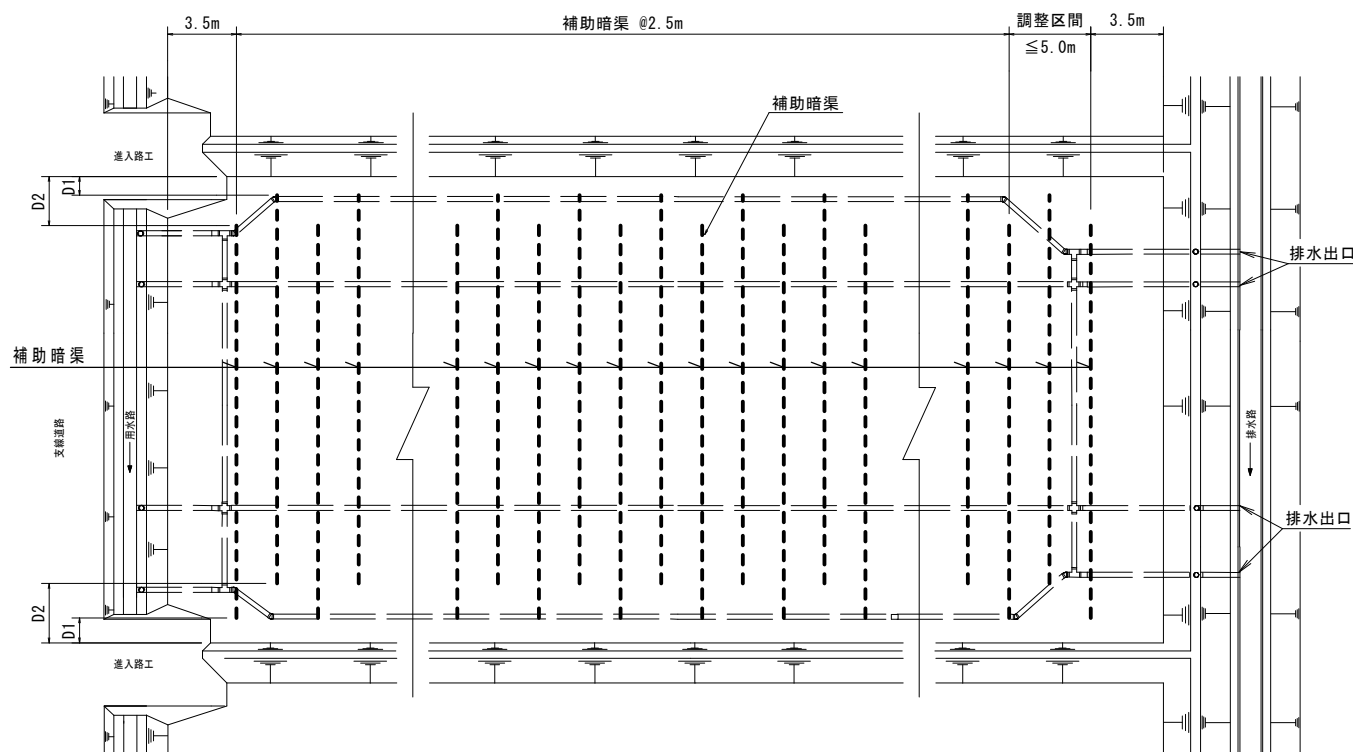


関連図番	C-60~66
	C-70

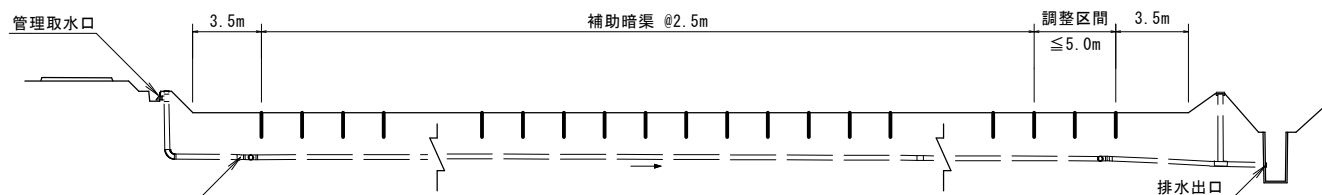
農業農村整備事業標準設計			2019. 8
工 種	暗渠排水	区分	ほ場整備
C-71	暗渠排水 集水渠標準断面図		
設計番号	S1- ~ S2-		

補助暗渠排水工（片側排水・額縁無し）

平面図



側面図



TSD1-OO-O

額縁暗渠区分（0：無 2：③④設置 4：①～④設置）

掘削深（40：40cm 45：45cm）

本暗渠排水区分（1：片側排水 2：両側排水）

補助暗渠排水工の略称
(TRENCHLESS SUBSURFACE DRAIN)

関連図番	C-73～75
	C-76
	C-77

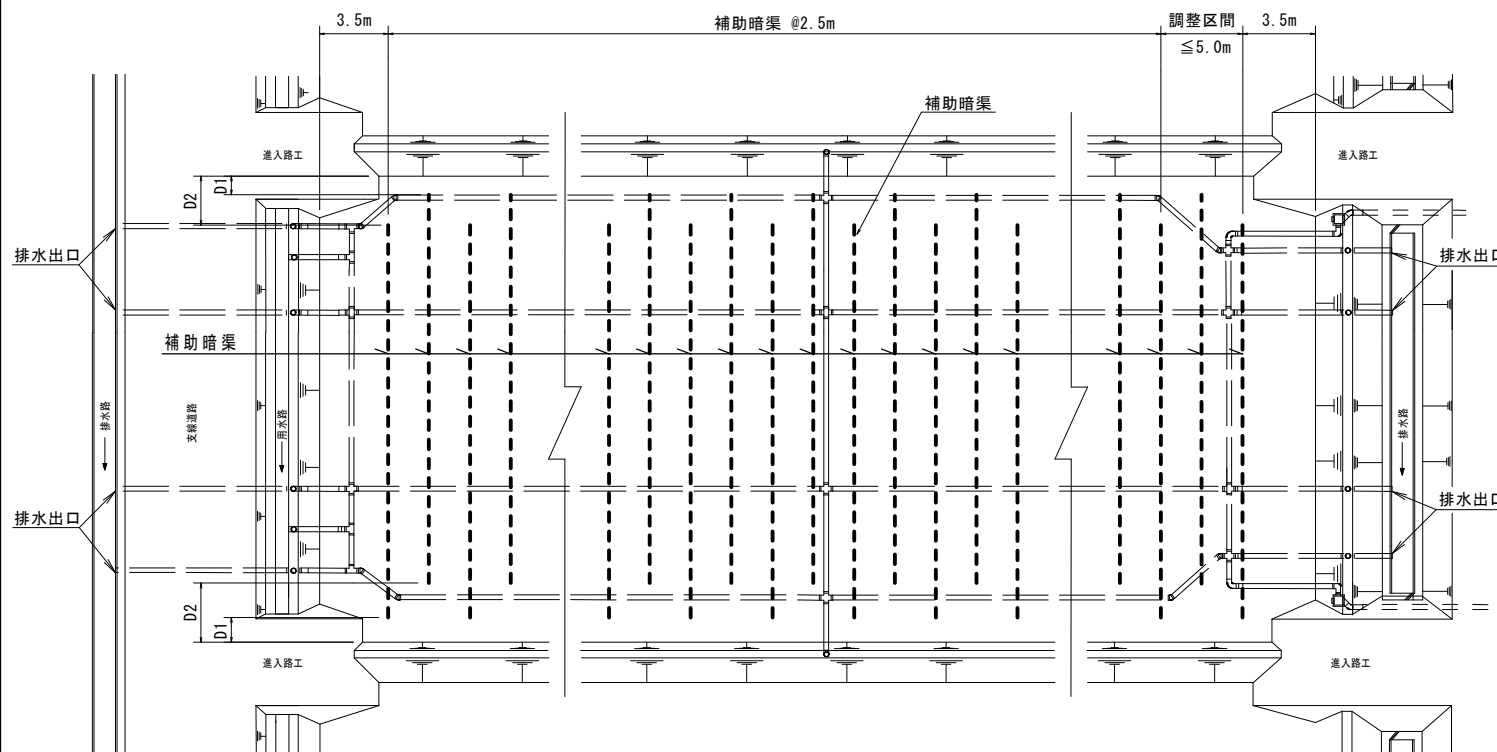
注意事項

1. 引込み長(D1)は1.0m、引上げ長(D2)は5.0mとする。
2. 調整区間の渠線間隔は、監督職員の指示による。
3. 設計変更は面積の増減と掘削深の変更による。

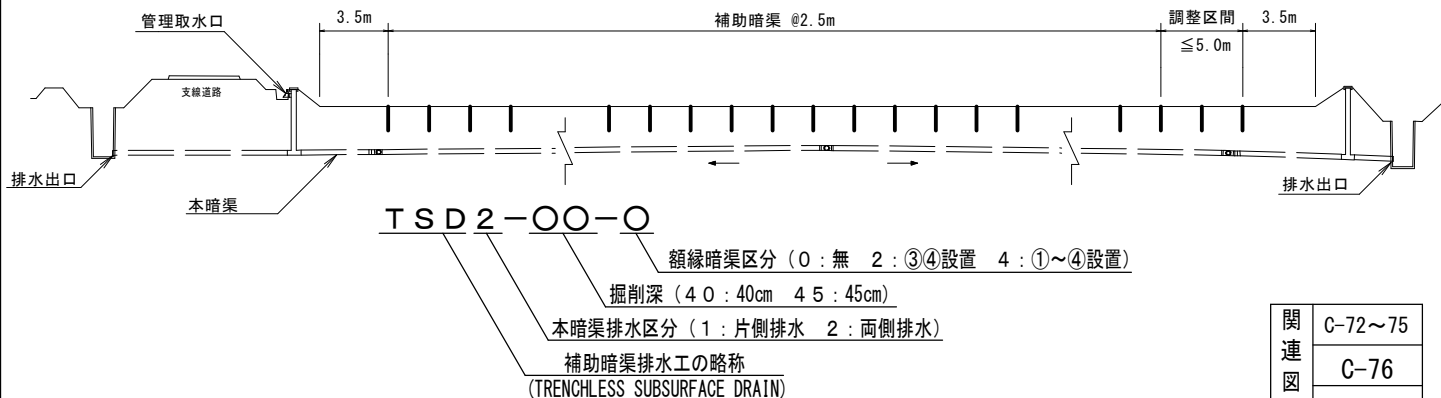
農業農村整備事業標準設計			2021.10
工種	暗渠排水	区分	ほ場整備
C-72	補助暗渠排水工 (片側排水・額縁無し)		
設計番号	TSD1-40-0 ～ TSD1-45-0		

補助暗渠排水工（両側排水・額縁無し）

平面図



側面図



注意事項

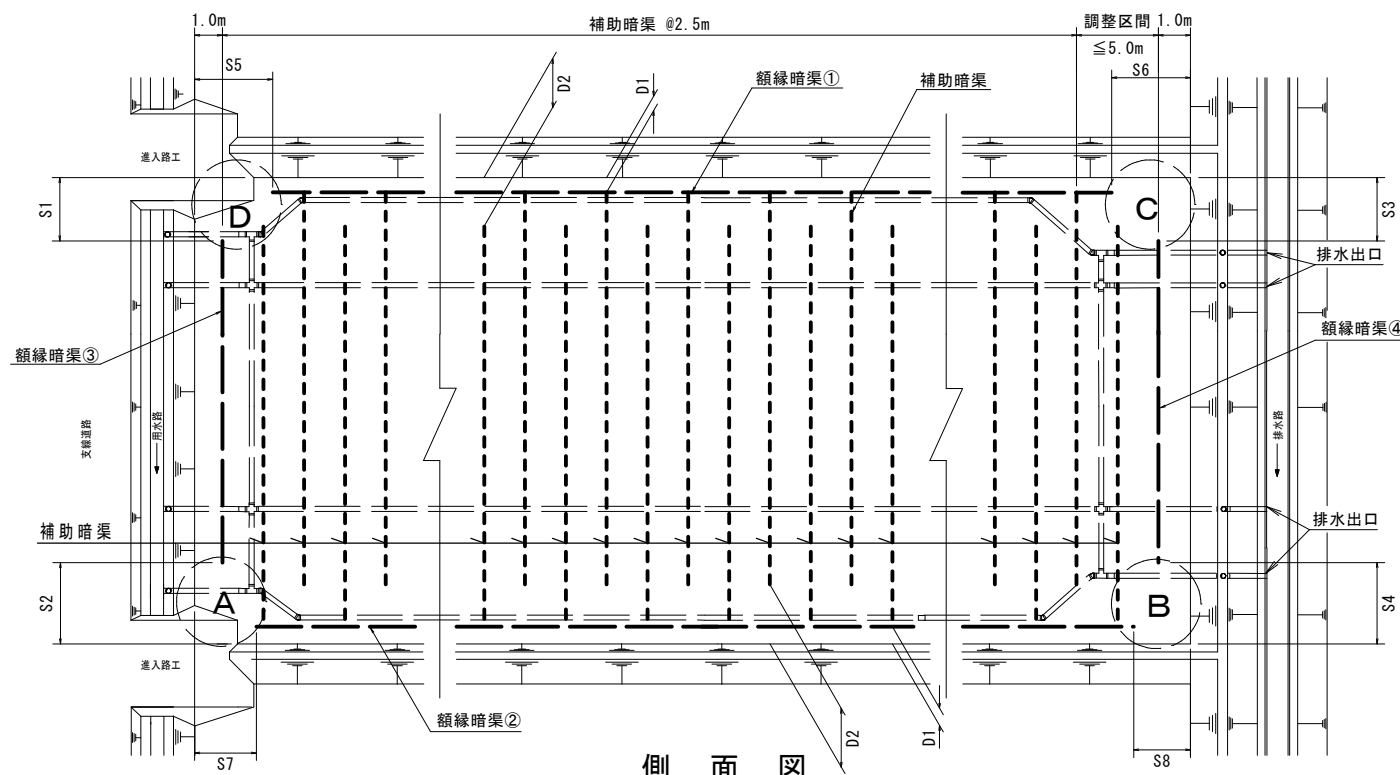
1. 引込み長(D1)は1.0m、引上げ長(D2)は5.0mとする。
2. 調整区間の渠線間隔は、監督職員の指示による。
3. 設計変更は面積の増減と掘削深の変更による。

農業農村整備事業標準設計			2021.10
工 種	暗渠排水	区分	ほ場整備
C-73	補助暗渠排水工 (両側排水・額縁無し)		
設計番号	TSD2-40-0 ～ TSD2-45-0		

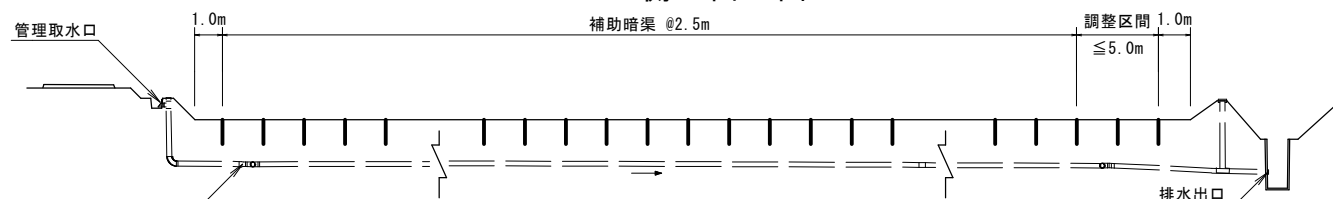
関連図番	C-72～75
	C-76
	C-77

補助暗渠排水工（片側排水・額縁有り）

平面図



側面図



TSD1-〇〇-〇

額縁暗渠区分（0：無 2：③④設置 4：①～④設置）

掘削深（40：40cm 45：45cm）

本暗渠排水区分（1：片側排水 2：両側排水）

補助暗渠排水工の略称
(TRENCHLESS SUBSURFACE DRAIN)

関連図番	C-72～75
	C-76
	C-77

注意事項

1. 引込み長(D1)は1.0m、引上げ長(D2)は5.0mとする。
2. 調整区間の渠線間隔は、監督職員の指示による。
3. 額縁暗渠は耕区外縁部に配置する。
4. 額縁暗渠①及び②と補助暗渠引込み部は接続させること。
5. 額縁暗渠の畦・溝畔からの離れについては次のとおりとする。

・TSD1-〇〇-2

		引上げ位置			
		B	C	D	A
引込み位置	A	—	—	S2= 1.0 S1= 8.0	—
	B	—	S4= 1.0 S3= 5.0	—	—
	C	S3= 1.0 S4= 5.0	—	—	—
	D	—	—	—	S1= 4.0 S2= 5.0

・TSD1-〇〇-4

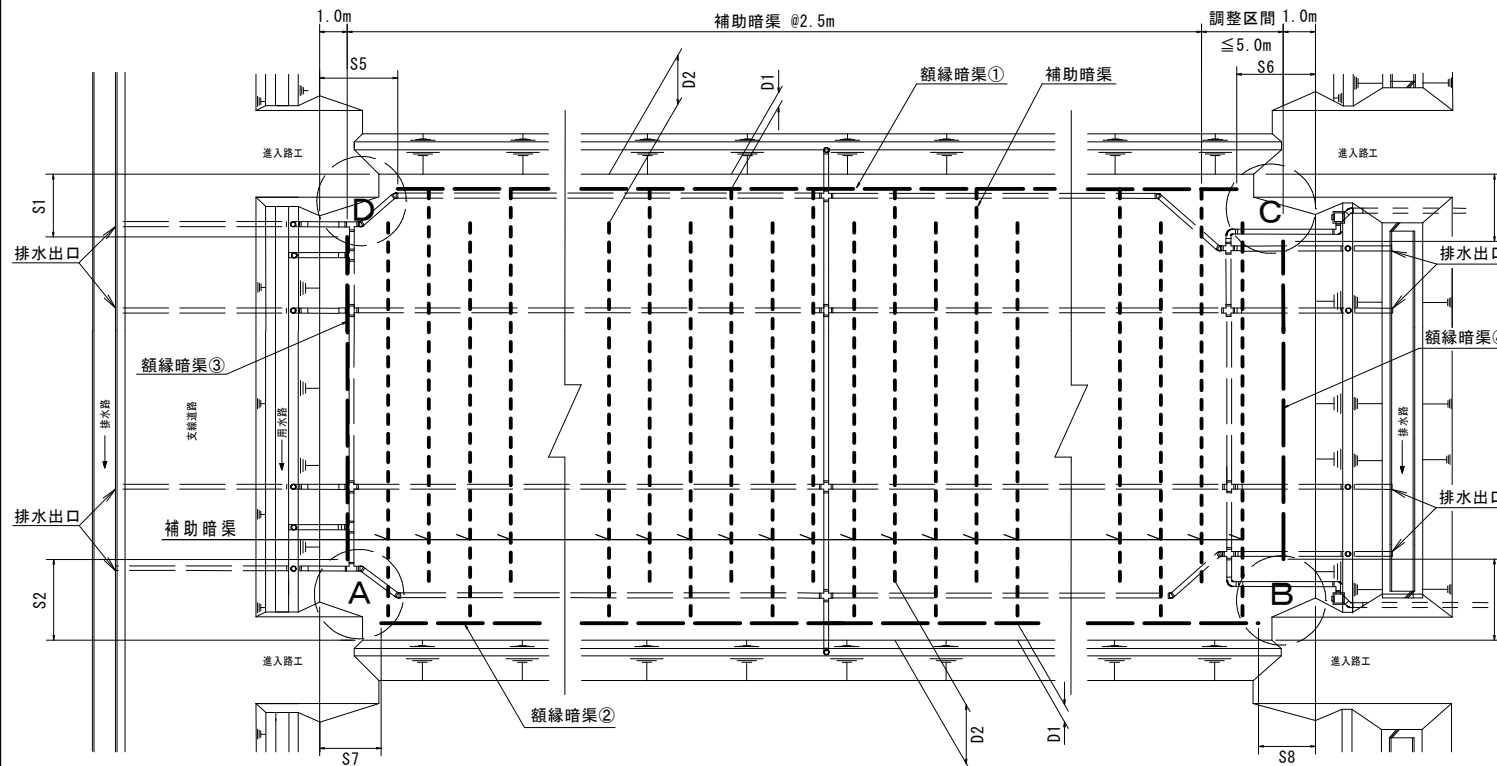
		引上げ位置			
		B	C	D	A
引込み位置	A	S7= 2.0 S8= 5.0	—	S2= 1.0 S1= 8.0	—
	B	—	S4= 1.0 S3= 5.0	—	S8= 1.0 S7= 6.0
	C	S3= 1.0 S4= 5.0	—	S6= 1.0 S5= 7.0	—
	D	—	S5= 3.0 S6= 5.0	—	S1= 4.0 S2= 5.0

6. 設計変更は面積の増減と掘削深の変更による。
7. 現場状況により、S1～S8の寸法が確保できない場合には、当該部分を設計面積から除外する。

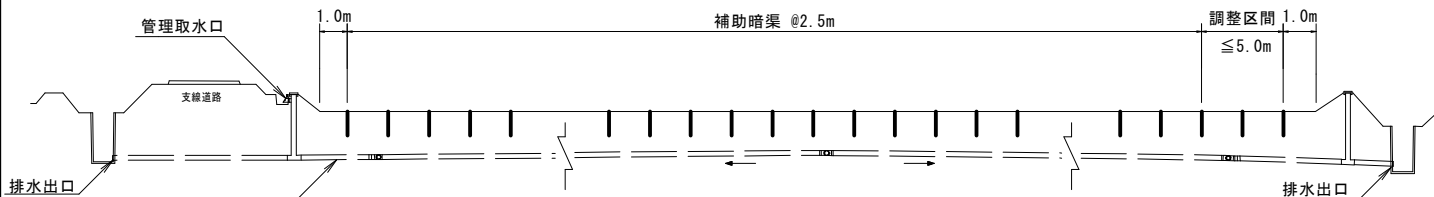
農業農村整備事業標準設計		2019.4	
工種	暗渠排水	区分	ほ場整備
C-74	補助暗渠排水工 (片側排水・額縁有り)		
設計番号	TSD1-40-2 ～ TSD1-45-4		

補助暗渠排水工（両側排水・額縁有り）

平面図



側面図



TSD2-00-0

額縁暗渠区分（0：無 2：③④設置 4：①～④設置）

掘削深（40：40cm 45：45cm）

本暗渠排水区分（1：片側排水 2：両側排水）

補助暗渠排水工の略称
(TRENCHLESS SUBSURFACE DRAIN)

関連図番	C-72～74
	C-76
	C-77

注意事項

1. 引込み長(D1)は1.0m、引上げ長(D2)は5.0mとする。
2. 調整区間の渠線間隔は、監督職員の指示による。
3. 額縁暗渠は耕区外縁部に配置する。
4. 額縁暗渠①及び②と補助暗渠引込み部は接続させること。
5. 額縁暗渠の畦・溝畔からの離れについては次のとおりとする。

・TSD2-00-2

		引上げ位置			
		B	C	D	A
引込み位置	A	—	—	S2= 2.0 S1= 8.0	—
	B	—	S4= 4.0 S3= 8.0	—	—
	C	S3= 4.0 S4= 8.0	—	—	—
	D	—	—	—	S1= 4.0 S2= 6.0

・TSD2-00-4

		引上げ位置			
		B	C	D	A
引込み位置	A	S7= 2.0 S8= 7.0	—	S2= 2.0 S1= 8.0	—
	B	—	S4= 4.0 S3= 8.0	—	S8= 3.0 S7= 6.0
	C	S3= 4.0 S4= 8.0	—	S6= 4.0 S5= 7.0	—
	D	—	S5= 3.0 S6= 8.0	—	S1= 4.0 S2= 6.0

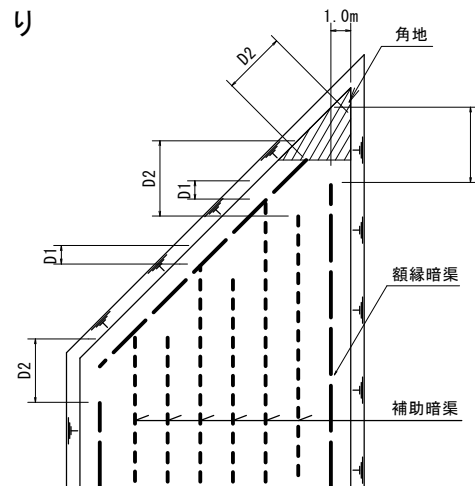
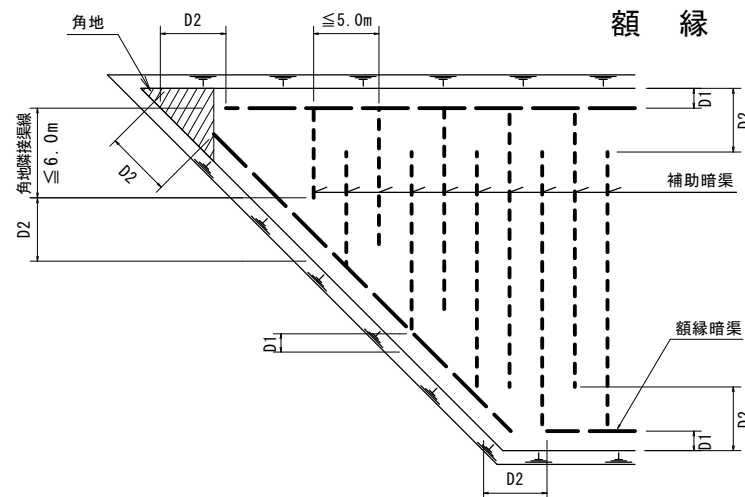
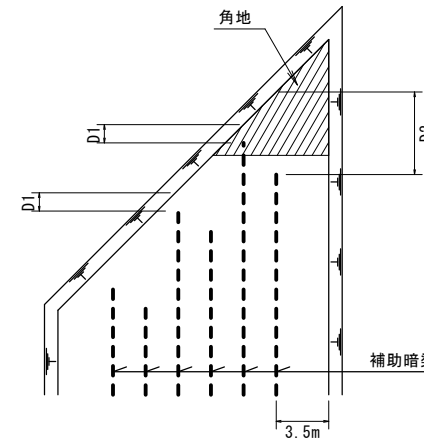
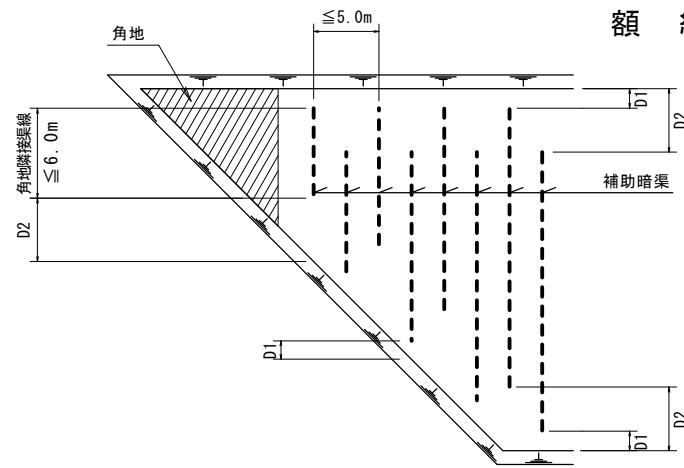
6. 設計変更は面積の増減と掘削深の変更による。
7. 現場状況により、S1～S8の寸法が確保できない場合には、当該部分を設計面積から除外する。

農業農村整備事業標準設計		2019.4	
工種	暗渠排水	区分	ほ場整備
C-75	補助暗渠排水工 (両側排水・額縁有り)		
設計番号	TSD2-40-2 ～ TSD2-45-4		

補助暗渠排水工 狭小部詳細図

注 意 事 項

1. 引込み長(D1)は1.0m、引上げ長(D2)は5.0mとする。
2. 引上げ長(D2)は5.0mを標準とするが、現場条件により確保できない場合には、監督職員の指示による。
3. 機械施工が困難な範囲(角地)についても、設計面積の対象とする。
4. 角地隣接渠線については、6.0m以下とする。
5. 角地付近の補助暗渠の間隔に端数が生じた場合の施工は、監督職員の指示による。



T S D O - O O - O

額縁暗渠区分 (0 : 無 2 : ③④設置 4 : ①~④設置)

掘削深 (4 0 : 40cm 4 5 : 45cm)

本暗渠排水区分 (1 : 片側排水 2 : 両側排水)

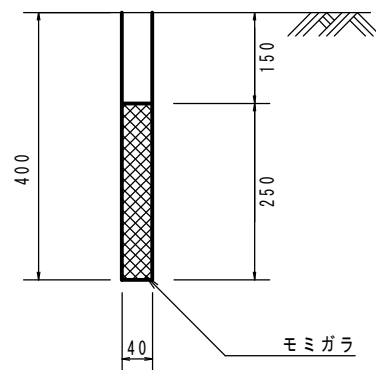
補助暗渠排水工の略称
(TRENCHLESS SUBSURFACE DRAIN)

関連図番	C-72~75
	C-77

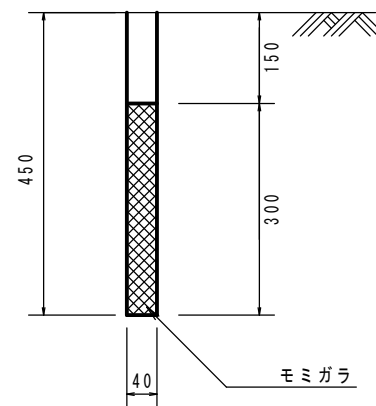
農業農村整備事業標準設計			2019.4
工 種	暗渠排水	区分	ほ場整備
C-76	補助暗渠排水工 狭小部詳細図		
設計番号	TSD1-40-0 ~ TSD2-45-4		

補助暗渠排水工 渠線標準断面図

TSDO-40-O



TSDO-45-O



TSDO-OO-O

額縁暗渠区分 (0 : 無 2 : ③④設置 4 : ①~④設置)
掘削深 (40 : 40cm 45 : 45cm)
本暗渠排水区分 (1 : 片側排水 2 : 両側排水)
補助暗渠排水工の略称
(TRENCHLESS SUBSURFACE DRAIN)

注 意 事 項

1. 施工については、疎水材心土充填機により行う。
2. 額縁暗渠を施工する場合については同じ断面とする。

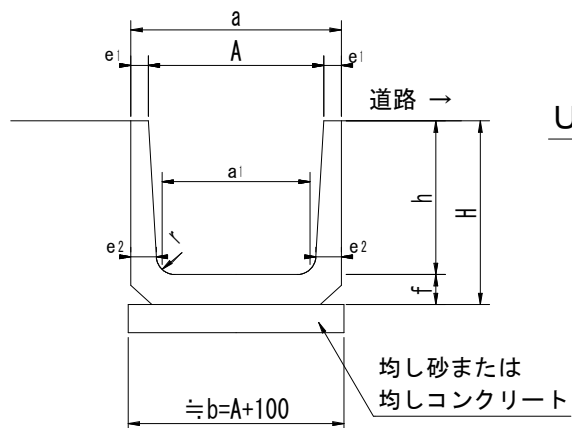
関連図番	C-72~75
	C-76

農業農村整備事業標準設計			2019.4
工 種	暗渠排水	区分	ほ場整備
C-77	補助暗渠排水工 渠線標準断面図		
設計番号	TSD1-40-0 ~ TSD2-45-4		

農 道 編

農業農村整備事業標準設計図

鉄筋コンクリートU型側溝



鉄筋コンクリートU型側溝寸法表

設計番号	寸法表 (mm)									
	A	h	a	a ₁	b	e ₁	e ₂	H	f	r
UF-30B-○	300	300	400	260	400	50	60	360	60	50
UF-36B-○	360	360	460	310	460	50	65	425	65	50
UF-45-○	450	450	560	400	550	55	70	520	70	70
UF-60-○	600	600	740	540	700	70	80	680	80	70

UF-○○(B)-○

基礎の区分 均し砂 S 均しコンクリート C

鉄筋コンクリートU型側溝の規格(Bは30, 36のみ)

鉄筋コンクリートU型側溝の略称

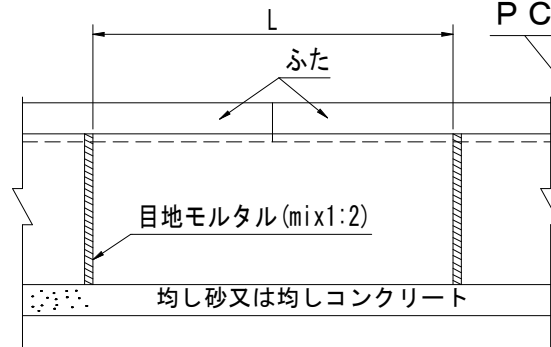
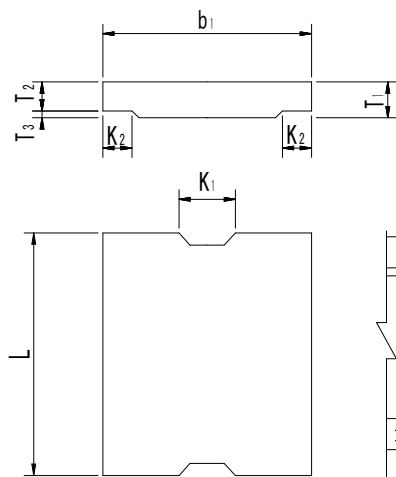
PC1型(プレキャスト鉄筋コンクリートU型側溝ふた)寸法表

設計番号	寸法表 (mm)						
	b ₁	K ₁	K ₂	T ₁	T ₂	T ₃	L
PC1-30B	400	100	55	60	50	10	600
PC1-36B	460	120	55	65	55	10	600
PC1-45	560	120	60	70	60	10	600
PC1-60	740	150	75	75	65	10	600

PC3型(プレキャスト鉄筋コンクリートU型側溝ふた)寸法表

設計番号	寸法表 (mm)						
	b	K ₁	K ₂	T ₁	T ₂	T ₃	L
PC2-30B	400	100	55	100	85	15	600
PC2-36B	460	120	55	100	85	15	600
PC2-45	560	120	60	120	100	20	600
PC2-60	740	150	75	150	130	20	600

鉄筋コンクリートU型側溝ふた



PC ○-○○(B)

鉄筋コンクリートU型

荷重による略号

鉄筋コンクリートU型側溝のふたの略称

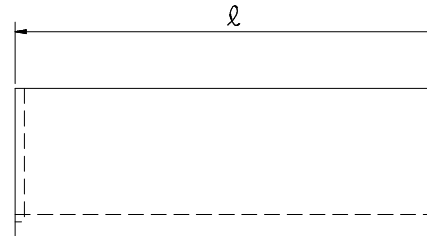
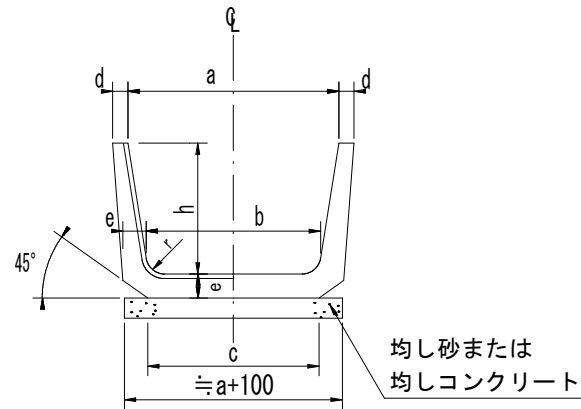
注意事項

- 鉄筋コンクリート側溝はJISA5372又はこれに準ずる品質及び性能を有するものを使用する。
- 鉄筋コンクリートU型側溝用ふたはJISA5372を使用する。
- 側溝用ふた1種JISA5372は輪荷重をうけないもの、3種は輪荷重を受けてよいものとする。
- 鉄筋コンクリートU型側溝を布設する掘削面は均し砂を使用して、不陸整正を行うこと。
- 目地材はモルタルMix1:2を使用する。
- 上下流水路の取付高は監督職員の指示を受けなければならない。
- 出来形管理は、断面と延長とする。
- 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2015.4
工種	道路側溝	区分	道路工
D-01	鉄筋コンクリートU型側溝 鉄筋コンクリートU型側溝ふた		
設計番号	UF-30B-S~PC2-60-C		

関連図番	

鉄筋コンクリートベンチフリューム側溝



側壁頂部に縁を付けてもよい。その形状寸法は規定しない。

設計番号	呼び名	寸 法 表 (mm)								
		a	b	c	d	e	h	r	ℓ	
BFR - 030 - ○	300	300	260	300	30	40	200	40	2000	1000
BFR - 035 - ○	350	350	300	345	35	45	235	50	2000	1000
BFR - 040 - ○	400	400	345	395	40	50	260	50	2000	1000
BFR - 045 - ○	450	450	390	440	40	50	295	50	2000	1000
BFR - 050 - ○	500	500	435	490	45	55	320	60	2000	1000
BFR - 055 - ○	550	550	475	535	45	60	355	60	2000	1000
BFR - 060 - ○	600	600	520	580	45	60	380	60	2000	1000
BFR - 065 - ○	650	650	565	630	45	65	415	70	2000	1000
BFR - 070 - ○	700	700	610	680	50	70	440	70	2000	1000
BFR - 080 - ○	800	800	695	770	50	75	490	70	2000	1000
BFR - 090 - ○	900	900	785	870	55	85	550	80	2000	1000
BFR - 100 - ○	1000	1000	875	965	55	90	600	80	2000	1000

B F R - ○ ○ ○ - ○

基礎の区分 均し砂 S 均しコンクリート C

ベンチフリューム規格の略号

ベンチフリューム側溝の略称

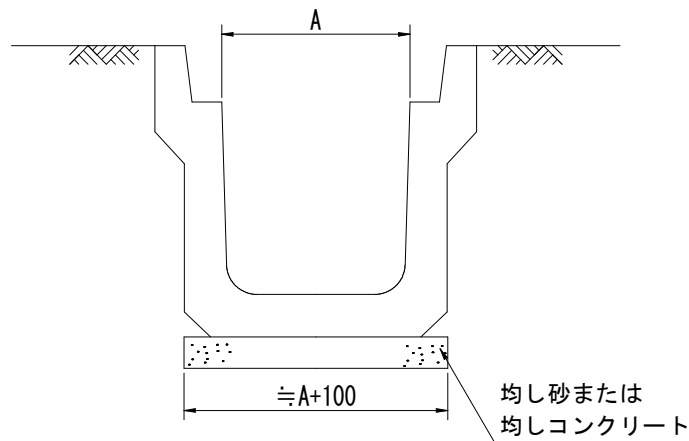
注 意 事 項

- 鉄筋コンクリートベンチフリュームはJISA5372-1型又はこれに準ずる品質及び性能を有するものを使用する。
- ベンチフリュームを布設する掘削面は、均し砂を使用して、不陸整正を行うこと。
- 上下流水路の取付高は監督職員の指示を受けなければならない。
- 出来形管理は、断面と延長する。
- 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	道路側溝	区 分	道 路 工
D - 02	鉄筋コンクリート ベンチフリューム側溝		
設計番号	BFR-030-S~BFR-100-C		

関	
連	
図	
番	

道路用鉄筋コンクリート側溝 (落ふた式側溝)



設計番号	参考規格	L (mm)
UFD - 30A - ○	300A	1000
UFD - 30B - ○	300B	1000
UFD - 30C - ○	300C	1000
UFD - 40A - ○	400A	1000
UFD - 40B - ○	400B	1000
UFD - 50A - ○	500A	1000
UFD - 50B - ○	500B	1000

UFD-○○○-○

基礎の区分 均し砂 S 均しコンクリート C

側溝の規格区分

道路用鉄筋コンクリート側溝 (蓋は含まない)

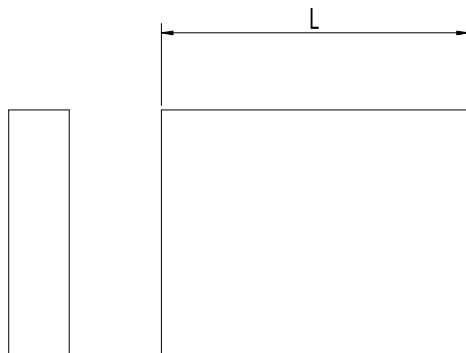
注 意 事 項

1. 道路用鉄筋コンクリート側溝は、JISA5372又はこれに準ずる品質及び性能を有するものを使用する。
2. 道路用鉄筋コンクリート側溝を布設する掘削面は均し砂を使用して不陸整正を行うこと。
3. 上下流水路の取付高は監督職員の指示を受けなければならない。
4. 出来形管理は、断面と延長する。
5. 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	道路側溝	区 分	道 路 工
D - 03	道路用鉄筋コンクリート側溝 (落ちふた式側溝)		
設計番号	UFD-30A-S~UFD-50B-C		

関連図番	D - 04

道路用鉄筋コンクリート側溝用ふた



設 計 番 号	参考規格	L (mm)
UFD F - 30A	300A	500
UFD F - 30B	300B	500
UFD F - 30C	300C	500
UFD F - 40A	400A	500
UFD F - 40B	400B	500
UFD F - 50A	500A	500
UFD F - 50B	500B	500

U F D F - ○ ○ ○

ふたの規格

落ちふた式側溝用ふたの略称

注 意 事 項

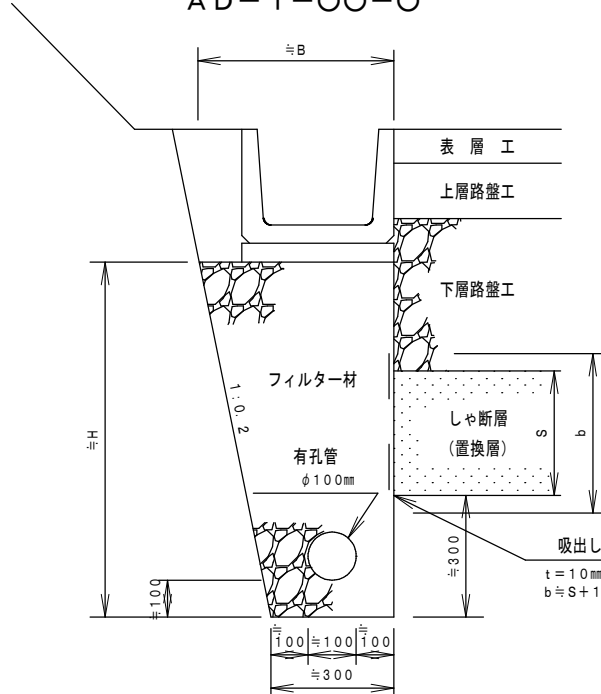
1. 道路用鉄筋コンクリート側溝用ふたは、JISA-5372又はこれに準ずる品質及び性能を有するものを使用する。
2. 出来形管理は、規格と枚数とする。
3. 設計変更は、規格毎の枚数の増減により行う。

関	D - 03
連	
図	
番	

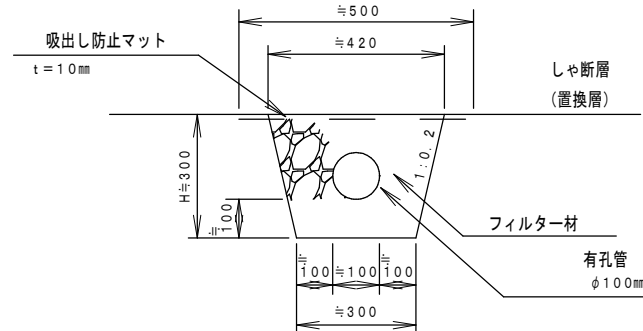
農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	道路側溝	区 分	道 路 工
D - 04	道路用鉄筋コンクリート 側溝用ふた		
設計番号	UFD F - 30A ~ UFD F - 50B		

アンダードレーン

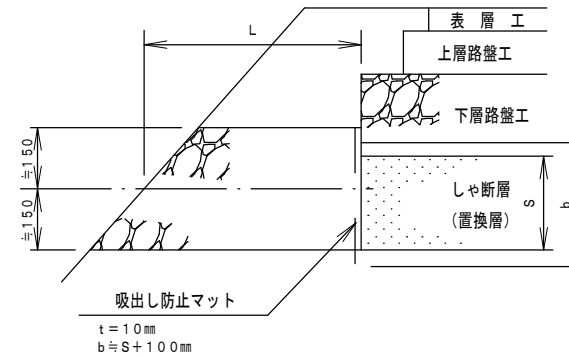
縦断アンダードレーン
AD-1-00-O



横断アンダードレーン
AD-2-03-O



簡易ドレーン
AD-3-03-O



設計番号	参考規格 (mm)	
	H	B
AD-1-04-O	400	380
AD-1-05-O	500	400
AD-1-06-O	600	420
AD-1-07-O	700	440
AD-1-08-O	800	460
AD-1-09-O	900	480
AD-1-10-O	1000	500
AD-1-11-O	1100	520
AD-1-12-O	1200	540
AD-1-13-O	1300	560
AD-1-14-O	1400	580

AD-O-00-O

吸出し防止マットの有無 有F・無N
ドレーンの高さ(H)の略号
ドレーン区分 1縦断・2横断・3簡易
アンダードレーンの略称

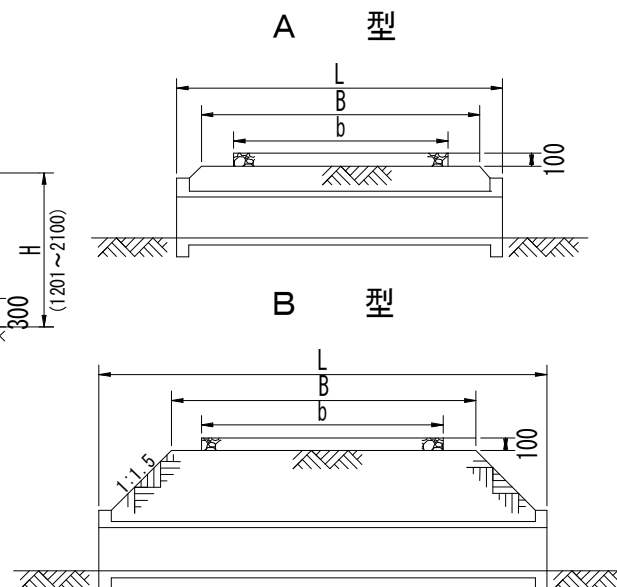
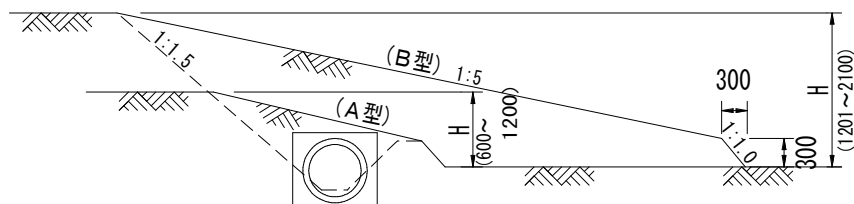
関連図番	

注意事項

1. 設置位置及び端部処理は監督職員の指示による。
2. フィルター材及び吸出し防止マットの種類、品質、規格は特記仕様書による。
3. 排水管には有孔管φ100mmを使用する。
4. 排水管は流水に支障を生じないように布設すること。
5. 横断アンダードレーンの縦断アンダードレーンへの接続角度及び接続部詳細については監督職員の指示による。
6. 出来形管理は断面寸法と施工延長とする。
7. 設計変更は、規格毎の施工延長の増減により行う。

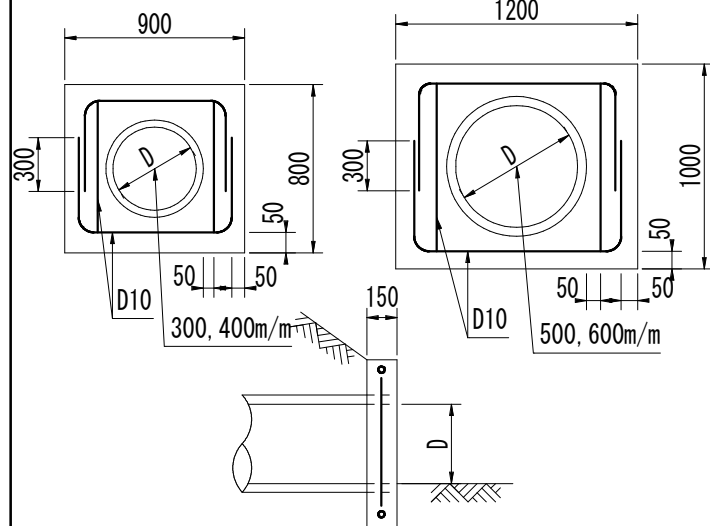
農業農村整備事業標準設計		2012. 4	
工種	地下排水工	区分	道路工
D-06	アンダードレーン		
設計番号	AD-1-04-F~AD-3-03-N		

進入路（HP型）



1 型土留壁

2 型土留壁



HPR ○-○○○-○○

進入路の高さ

ヒューム管の規格

進入路の幅員

ヒューム管進入路の略称

設 計 番 号	寸 法 表 (mm)					敷砂利幅 b
	進入路幅B	高さH	型式	長 さ L		
				φ 400以上	φ 300, 350	
HPR3-〇〇〇-06	3000	H ≤ 600	A	(1.5) 3645	(2.0) 4000	2500
HPR3-〇〇〇-09	3000	H ≤ 900	A	(2.0) 4860	(2.0) 4000	
HPR3-〇〇〇-12	3000	H ≤ 1200	A	(2.0) 4860	(2.5) 5000	
HPR3-〇〇〇-15	3000	H ≤ 1500	B	(2.5) 6075	(3.0) 6000	
HPR3-〇〇〇-18	3000	H ≤ 1800	B	(2.5) 6075	(3.0) 6000	
HPR3-〇〇〇-21	3000	H ≤ 2100	B	(3.0) 7290	(3.5) 7000	
HPR4-〇〇〇-06	4000	H ≤ 600	A	(2.0) 4860	(2.5) 5000	3000
HPR4-〇〇〇-09	4000	H ≤ 900	A	(2.5) 6075	(2.5) 5000	
HPR4-〇〇〇-12	4000	H ≤ 1200	A	(2.5) 6075	(3.0) 6000	
HPR4-〇〇〇-15	4000	H ≤ 1500	B	(3.0) 7290	(3.5) 7000	
HPR4-〇〇〇-18	4000	H ≤ 1800	B	(3.0) 7290	(3.5) 7000	
HPR4-〇〇〇-21	4000	H ≤ 2100	B	(3.5) 8505	(4.0) 8000	

※ () 内はHP本数

関連図番	

注意事項

- この標準図は側溝が素掘りの場合適用する。
- ヒューム管はJISA-5372の規格でB型1種管を使用する。
- コンクリートの仕様

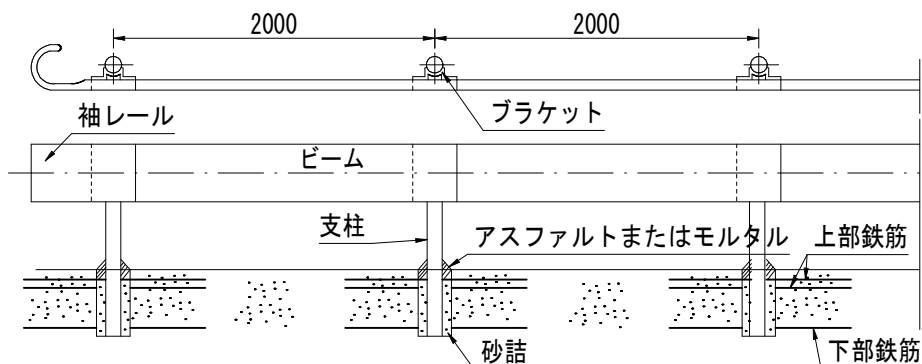
種別	σ28	SL	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5 cm	40 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
- 鉄筋は異形鉄筋（SD295）とし、断面の中央に配置する。
- 盛土材は、監督職員の指示による。
- 出来形管理は、断面と設置力所数とする。
- 設計変更は、断面毎の設置力所数の増減及びヒューム管の伏設本数により行う。

農業農村整備事業標準設計			2021.10
工種	取付道路	区分	道路工
D-07	進入路（HP型）		
設計番号	HPR3-030-06～HPR4-060-21		

ガードレール(標準型・構造物用)

組立図



ガードレールの構造諸元表

設 計 番 号	ビ ャ ム				支 柱				ブラケット			路面から レール中心 までの高さ (mm)	支柱の 形 状 区 分
	幅 b (mm)	断面積 (cm ²)	コルゲーション c (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	標準埋込 長さ a (mm)	間隔 (mm)	幅 (mm)	コルゲーション (mm)	厚さ (mm)		
Gr-B-2B	350	13.1	50	3.2	114.3	4.5	但しアン カーをつ ける場合 は0.2	2.0	70	31	4.5	60	直 柱
Gr-B-2BS													曲 柱
Gr-C-2B													直 柱
Gr-B-2BS		9.4		2.3									曲 柱

塗装の仕様

ビーム： 溶融亜鉛メッキ法により亜鉛メッキを施し、仕上塗装は工場にて磷酸塩処理等を行った後、熱硬化性アクリル樹脂塗料またはこれと同等以上の塗料を使用し塗装を行なう。この場合、亜鉛付着量は、JIS G 3302「溶融亜鉛めっき鋼板および鋼帯」に規定されるZ27(両面3点法平均付着量275g/m²以上)とする。また塗装厚みは最少20μ以上とする。

支柱： 地上部分はビームに準じ、地中部分は亜鉛メッキ酸JIS K 411「油ワニス」黒ワニス1種が同等以上のもので内外面とも塗装する。

ボルト： 溶融亜鉛めっき法により亜鉛めッキを施すものとし、亜鉛の付着量はJIS H 8641「溶融亜鉛めっき」HDZ35に規定される片面350g/m²以上とする。

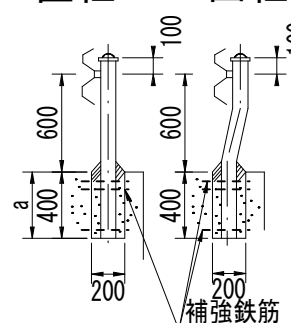
材料の規格

ビーム： JIS G 3101「一般構造物用圧延鋼材」(SS400)または、これと同等以上とする。
支柱： JIS G 3444「一般構造物用炭素鋼鋼管」(STK400)または、これと同等以上とする。
ブラケット： 材質はビームに準ずる。
ボルト： 材質および寸法は、JIS B 1180「六角ボルト」JIS B 1181「六角ナット」
ナット
座金 JIS B 1256「平座金」並丸の規定によるものとする。

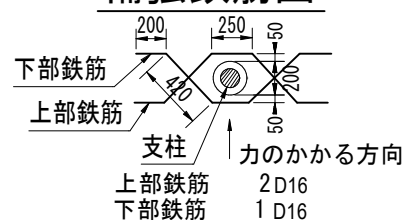
Gr-O-2B-O 直柱・曲柱の区分
直柱「空白」・曲柱S
コンクリート埋込み
支柱間隔
道路の規模・構造による区分
ガードレールの略称

支柱

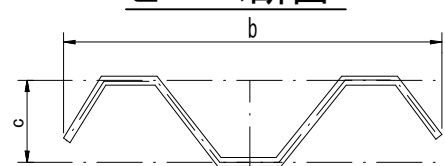
直柱 曲柱



補強鉄筋図

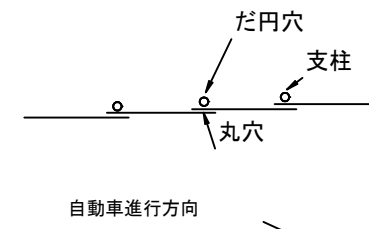


ビーム断面



注意事項

1. 支柱のタイプ(直立型・傾斜型)は監督職員の指示による。
2. 鉄筋は異形鉄筋(SD295)とする。
3. モルタルはMix1:2とする。
4. 施工細目
ビーム組立ては、だ円形のボルト穴をかくすようにして、下図に示すように重ね合せ、ボルト・ナットで十分締め付けなければならない。

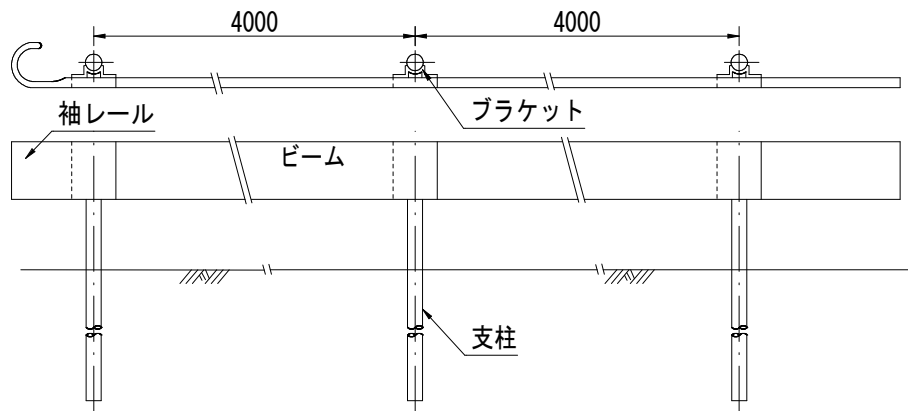


5. 出来形管理は、各寸法と延長とする。
6. 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。
7. 延長20m当りデリネーター1個設置する。

農業農村整備事業標準設計			2021.10
工種	安全施設	区分	道路工
D-20	ガードレール (標準型) 構造物用		
設計番号	Gr-B-2B~Gr-C-2BS		

関連図番	

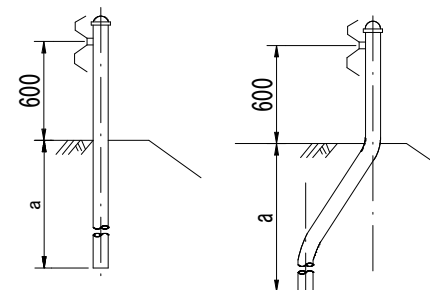
ガードレール(標準型・土中用) 組立図



支柱

直柱

曲柱



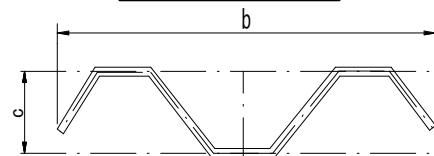
(注) 曲り管は特別の場合にのみ使用することとする。

ガードレールの構造諸元表

設計 番号	ビーム				支柱				ブラケット				路面から ビーム中心 までの高さ (mm)	支柱の 形状 区分								
	幅 b (mm)	断面積 (cm^2)	コルゲ ーション c (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	標準埋込 深さ (mm)	間隔 (mm)	幅 (mm)	コルゲ ーション (mm)	厚さ (mm)											
Gr-B-4E	350	13.1	50	3.2	114.3	4.5	1.50	4.0	70	31	4.5	60	直柱									
Gr-B-4ES													曲柱									
Gr-C-4E		9.4		2.3			1.40							直柱								
Gr-B-4ES														曲柱								

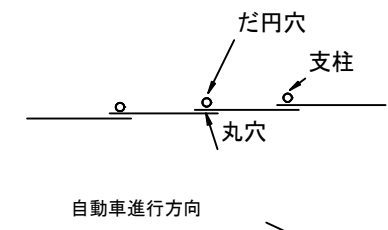
設計番号は道路協会制定の記号と同様にした。

ビーム断面



注意事項

- 支柱のタイプ(直立型、傾斜型)は監督職員の指示による。
- 施工細目
 - 支柱の設置は打込み、開掘施工の別を問わない。
 - ビーム組立ては、だ円形のボルト穴をかくすように重ね合せ、ボルト・ナットで十分締め付けなければならない。



- 出来形管理は、各寸法と延長とする。
- 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。
- 延長20m当りデリネーター1個設置する。

材料の規格

ビーム: JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」(SS400)または、これと同等以上とする。

支柱: JIS G 3444「一般構造用炭素鋼管」(STK400)または、これと同等以上とする。

ブラケット: 材質はビームに準ずる。

ボルト: 材質および寸法は、JIS B 1180「六角ボルト」JIS B 1181「六角ナット」

座金: JIS B 1256「平座金」並丸の規定によるものとする。

塗装の仕様

ビーム: 溶融亜鉛メッキ法により亜鉛メッキを施し、仕上塗装は工場にて磷酸塩処理等を行った後、熱硬化性アクリル樹脂塗料またはこれと同等以上の塗料を使用し塗装を行なう。この場合、亜鉛付着量は、JIS G 3302「溶融亜鉛めっき鋼板および鋼帯」に規定されるZ27(両面3点法平均付着量275g/m²以上)とする。また塗装厚みは最少20μ以上とする。

支柱: 地上部分はビームに準じ、地中部分は亜鉛メッキ酸JIS KS 411「油ワニス」黒ワニス1種が同等以上のもので内外面とも塗装する。

ボルト: 溶融亜鉛めっき法により亜鉛めっきを施すものとし、亜鉛の付着量はJIS H 8641「溶融亜鉛めっき」HDZ 35に規定される片面350g/m²以上とする。

Gr-O-4E O

直柱・曲柱の区分
直柱「空白」・曲柱S

土中埋込
支柱間隔
道路の規模・構造による区分
ガードレールの略称

関連 図 番	

農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	安全施設	区 分	道 路 工
D - 20	ガードレール (標準型) (土中用)		
設計番号	Gr-B-4E~Gr-C-4ES		

耐雪型ガードレールの構造諸元表

区 分	設 計 番 号	ビーム				支柱				ブラケット			
		幅 b (mm)	断面積 (cm^2)	コルゲーション c (mm)	厚さ (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	標準埋込深さ a (mm)	間 隔 (mm)	根巻きの有無	幅 (mm)	コルゲーション c (mm)	厚さ (mm)
土 中 用	Gr - B2 - 4E	350	13.1	50	3.2	114.3	4.5	1.5	4.0	有り	120	31	6
	Gr - B3 - 3E								3.0				
	Gr - B4 - 2E								2.0				
	Gr - C2 - 3E		9.4		2.3			1.4	3.0				
	Gr - C3 - 2E								2.0				
構 造 物 用	Gr - B2 - 2B	350	13.1	50	3.2	114.3	4.5	0.4 但しアン カーを 付け る場 合 0.2	2.0	無し	120	31	6
	Gr - B3 - 2B												
	Gr - B4 - 2B												
	Gr - C2 - 2B		9.4		2.3								
	Gr - C3 - 2B												

材料の規格

耐雪型ブラケット：材質はビームに準ずる
 ビーム補強金具
 金具本体：材質はビームに準ずる
 U字ボルト：材質及び寸法は、JIS B 1180「六角ナット」JIS B 1181「六角ナット」JIS B 1256「平座金」並丸の規定によるものとする。

塗装の仕様

ビーム補強金具
 金具本体：溶融亜鉛めっき法により亜鉛めっきを施すものとし、亜鉛の付着量はJIS H 8
 ナット：641「溶融亜鉛めっき」HDZ35に
 座金：規定される片面350g/m²以上とする。

注意事項

1. 耐雪型ガードレールのビーム及び支柱は、標準型と共通であるため、組立、材料の規格及び塗装仕様はD-20による。

2. 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。

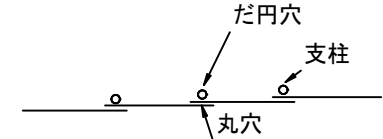
3. コンクリートの仕様

種別	σ28	SL	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5 cm	40 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。

4. 施工細目

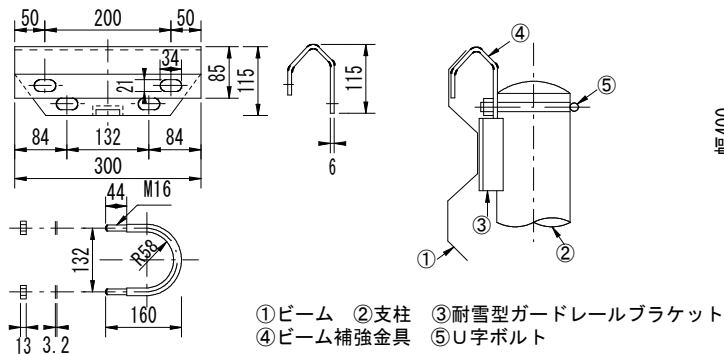
ビーム組立ては、楕円のボルト穴を隠すようにして、下図に示すように重ね合せ、ボルト・ナットで十分締付けなければならない。



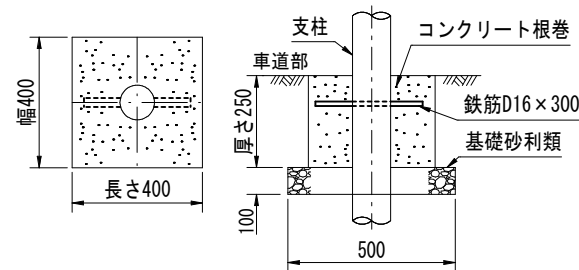
自動車進行方向

- 出来高管理は、各寸法と延長する。
- 設計変更は、規格毎の延長の増減による。
- 延長20m当りデリネータ1個設置する。
- 切工斜面等でビームに作用する斜面電圧力（グライド力）が大きくビームがねじられる可能性が高い場合には図に示すビーム補強金具の使用も検討する必要がある。

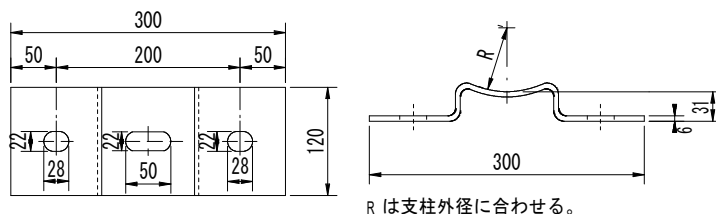
ビーム補強金具および設置図



支柱根巻形状



耐雪型ガードレールのブラケット



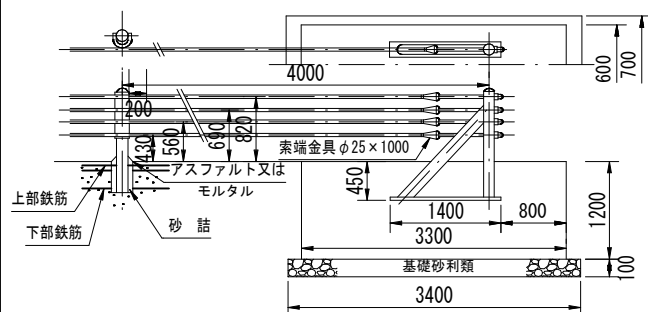
Gr-C 2-3 E 設置区分 土中E
 コンクリートB
 支柱間隔
 積雪ランク
 道路の規模・構造による区分
 ガードレールの略称

関連図番	D-20
------	------

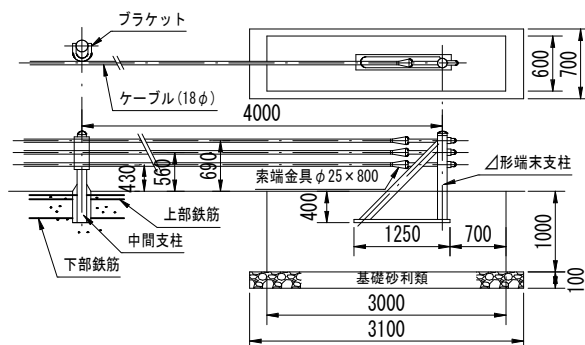
農業農村整備事業標準設計			2015.4
工種	安全施設	区分	一般
D-21	ガードレール（耐雪型）		
設計番号	Gr-B2-4E~Gr-C3-2B		

ガードケーブル(構造物用)

Gc-B-4B



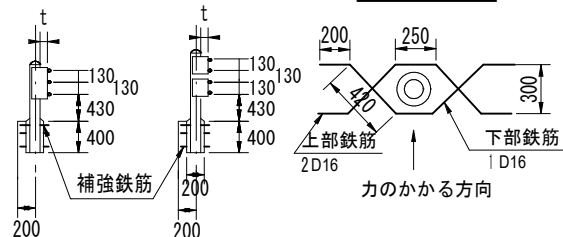
Gc-C-4B



B 種

C 種

補強鉄筋



Gc-O-4B

コンクリート埋込み
支柱間隔
道路の規模・構造による区分
ガードケーブルの略称

ガードケーブルの構造諸元表

設 計 番 号	ケーブル			中 間 支 柱			ブラケット		端末支柱			支柱 柵面 と t (mm)	
	本数 (本)	ケーブ ル 間 隔 (mm)	初張力 (t)	外径 (mm)	厚さ (mm)	標 準 埋込 深 (mm)	間隔 (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	△ 形			
										外径 (mm)	厚さ (mm)		埋込 深さ (mm)
Gc-B-4B	4	13	1	114.3	4.5	0.4 以上	4.0	210 290	3.2	114.3	4.5	45	11
Gc-C-4B	3		1					420		114.3		40	

設計番号は道路協会制定の記号と同様にした。

材料の規格

ケーブル

JIS G 3525「ワイヤロープ」の規格に準じ、径18mm構造3×7G/Dとする。
なおケーブル1本当り破断強度は16t以上とする。

支柱

JIS G 3444「一般構造用炭素鋼鋼管」(STK400)または、これと同等以上とする。

ブラケット

JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」(SS400)または、これと同等以上とする。

索端金具ソケット

ケーブルと調整ネジを取付けた状態においてケーブル1本当りの破断強度以上の強さをもつものとする。

調整ネジ

材質はブラケットに準じ、強度はケーブルの破断強度以上であること。
材質および寸法はJIS B 1180「六角ボルト」およびJIS B 1181「六角ナット」による。

ボルトナット

塗装の仕様

ブラケット

溶融亜鉛メッキ法により亜鉛メッキを施し、仕上げ塗装は工場にて、磷酸塩処理等を行った後に熱硬化性アクリル樹脂塗料またはこれと同等以上の塗料を使用して行う。
この場合、亜鉛付着量は、JIS G 3302「溶融亜鉛めっき鋼板および鋼帯」に規定されるZ27(両面3点法平均付着量275g/m²以上)とする。また塗装厚みは最少20μ以上とする。

支柱

地上部分はブラケットに準じ、地中部分は亜鉛メッキ後JIS 5411「油ワニス」黒ワニス1種が同等以上のもので内外面とも塗装する。
ブラケットに準じて溶融亜鉛メッキを施すものとする。

ボルトナット

注意事項

1. コンクリートの仕様

種別	σ28	SL	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5 cm	40 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。

2. 鉄筋は異形鉄筋 (SD295A) とする。

3. 基礎砂利の種類、品質、規格は特記仕様書による。

4. モルタルは (mix1:2) とする。

5. 出来形管理は、各寸法と延長とする。

6. 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2015.4
工種	安全施設	区分	道路工
D-22	ガードケーブル(構造物用)		
設計番号	GC-B-4B~GC-C-4B		

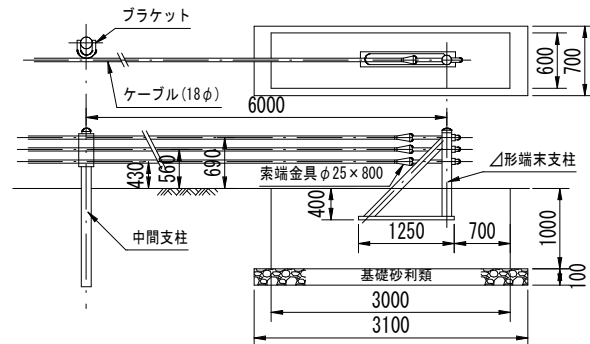
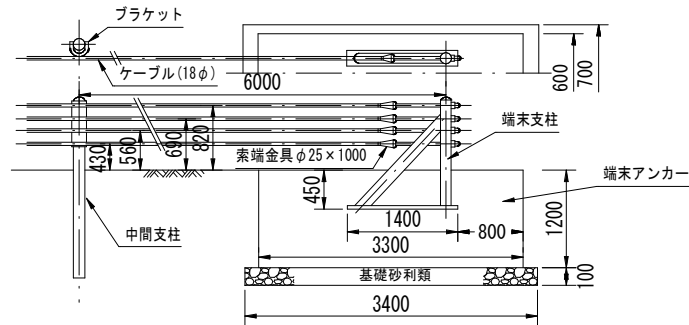
関連図番	

ガードケーブル(土中用)

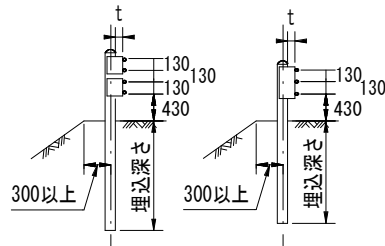
ガードケーブルの構造諸元表

設 計 番 号	ケーブル		中 間 支 柱				ブラケット		端末支柱			支柱 柵面 距離 t (mm)	
	本数 (本)	ケーブル 間 隔 (mm)	初張力 (t)	外径 (mm)	厚さ (mm)	標 準 埋 込 深 (mm)	間隔 (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	△ 形			
										外径 (mm)	厚さ (mm)		埋込 深さ (mm)
Gc-B-6E	4	13	1	114.3	4.5	1.50	6.0	210 290	3.2	114.3	4.5	45	11
Gc-C-6E	3		1			1.40		420		114.3		40	

設計番号は道路協会制定の記号と同様にした。



支柱 B 種 C 種



材 料 の 規 格

ケーブル

JIS G 3525 「ワイヤロープ」の規格に準じ、径18mm構造3×7G/Oとする。
なおケーブル1本当たり破断強度は16t以上とする。

支柱

JIS G 3444 「一般構造用炭素鋼管」(STK400)または、これと同等以上とする。

ブラケット

JIS G 3101 「一般構造用圧延鋼材」(SS400)または、これと同等以上とする。

索端金具

ソケット

ケーブルと調整ネジを取付けた状態においてケーブル1本当たりの破断強度以上の強さをもつものとする。

調整ネジ

ボルト

ナット

材質はブラケットに準じ、強度はケーブルの破断強度以上であること。
材質および寸法はJIS B 1180 「六角ボルト」およびJIS B 1181 「六角ナット」による。

塗 装 の 仕 様

ブラケット

溶融亜鉛メッキ法により亜鉛メッキを施し、仕上げ塗装は工場にて、磷酸塩処理等を行った後に熱硬化性アクリル樹脂塗料またはこれと同等以上の塗料を使用して行う。
この場合、亜鉛付着量は、JIS G 3302 「溶融亜鉛めっき鋼板および鋼帯」に規定されるZ27 (両面3点法平均付着量275g/m²以上)とする。また塗装厚みは最少20μ以上とする。

支柱

地上部分はブラケットに準じ、地中部分は亜鉛メッキ後JIS 5411 「油ワニス」黒ワニス1種が同等以上のもので内外面とも塗装する。

ボルト

ナット

ブラケットに準じて溶融亜鉛メッキを施すものとする。

Gc-O-6E

土中埋込

支柱間隔

道路の規模・構造による区分

ガードケーブルの略称

関	
連	
図	
番	

注 意 事 項

1. コンクリートの仕様

種 別	σ28	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5 cm	40 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。

2. 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。

3. 出来形管理は、各寸法と延長とする。

4. 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。

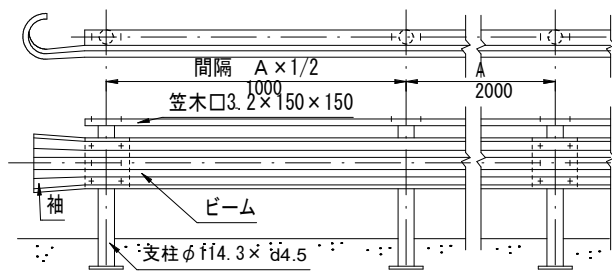
農業農村整備事業標準設計			2015.4
工 種	安全施設	区 分	道 路 工
D - 23	ガードケーブル (土中用)		
設計番号	GC-B-6E~GC-C-6E		

Gr-CK-〇〇〇

橋梁高欄

部材の寸法表

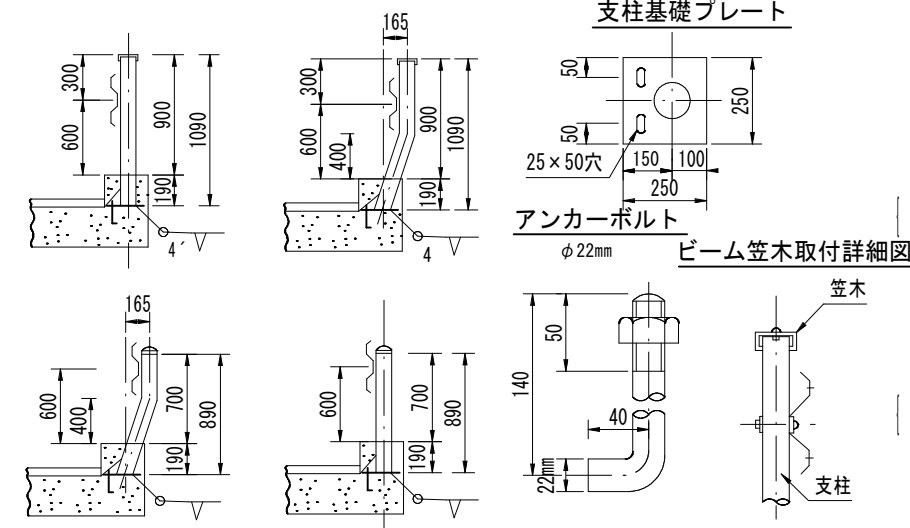
注 意 事 項



設計番号	ビーム				支 柱				ブラケット		
	幅	断面積	コルゲーション	厚さ	外径	厚さ	標準埋込深さ	間隔	幅	コルゲーション	厚さ
	(mm)	(cm ²)	(mm)		(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)
Gr-BK-	350	94	50	3.2	114.3	4.5	0.2	2.0	70	31	4.5
Gr-CK-				2.3							

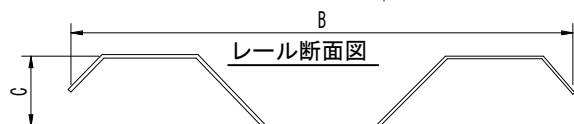
- アンカーボルトが設置できない場合は支柱基礎プレートを地覆鉄筋と溶接固定してもよい。
- 支柱のタイプ（直立型、傾斜型）は監督職員の指示による。
- 出来形管理は、各寸法と延長とする。
- 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。
- ガードレール規格
2: 2m支柱間隔
P: ベースプレートあり
H: 笠木あり
L: 曲柱
(例)
-2PHL-
ベースプレート笠木ありの曲柱
- 端部の支柱間隔は一般部の支柱間隔の1/2以下とする。

支柱基礎プレート



材料の規格

- ビーム: JISG3101「一般構造用圧延鋼材」(SS400)または、これと同等以上とする。
支柱: JISG3444「一般構造用炭素鋼管」(STK400)または、これと同等以上とする。
ブラケット: 材質はビームに準ずる。
ボルトナット金座: 材質および寸法は、JISB1180「六角ボルト」JISB1181「六角ナット」JISB1256「平座金」並丸の規定によるものとする。
ブラケット取付用ボルト（ねじの呼びM20）は4Tとし、ビーム継手用およびビーム取付用ボルト（ねじの呼びM16）は6Tとする。
- ビーム: 溶融亜鉛メッキ法により亜鉛メッキを施し、仕上げ塗装は工場にて焼酸塩処理等を行なった後熱硬化性アクリル樹脂塗料またはこれと同等以上の塗料を使用し塗装を行なう。
この場合、亜鉛付着量は、JISG3302「溶融亜鉛めっき鋼板および鋼帯」に規定されるZ27（両面3点法平均付着量275g/m²以上）とする。
また塗装厚みは最少20μ以上とする。
- 支柱: 地上部分はビームに準じ地中部分は亜鉛メッキ後JISK5411「油ワニス」黒ワニス1種の同等以上のもので内外とも塗装する。
- ボルトナット金座: 溶融亜鉛メッキ法により亜鉛めっきを施すものとし、亜鉛の付着量はJISH8641「溶融亜鉛めっき」HDZ35に規定される片面350g/m²以上とする。



Gr-BK-〇〇〇

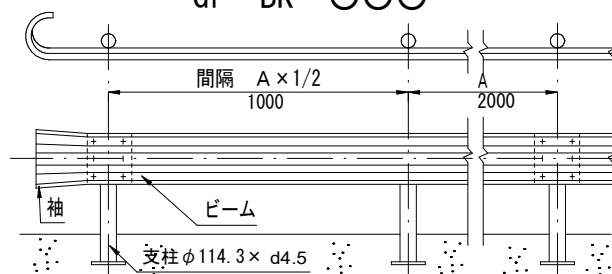
Gr-OK-〇〇〇〇-〇〇〇

支柱高区分 900は090・1100は110

ガードレール規格

道路の規模・構造による区分

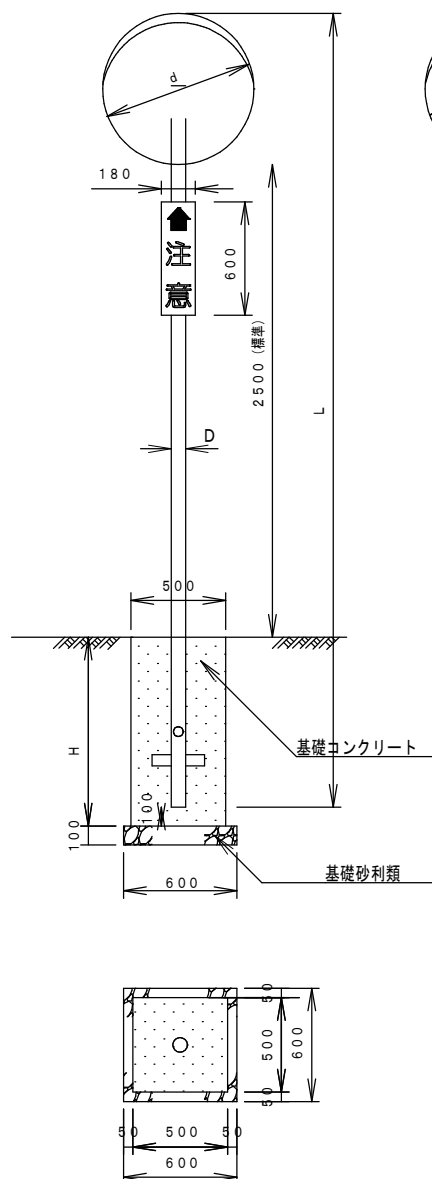
橋梁高欄略称



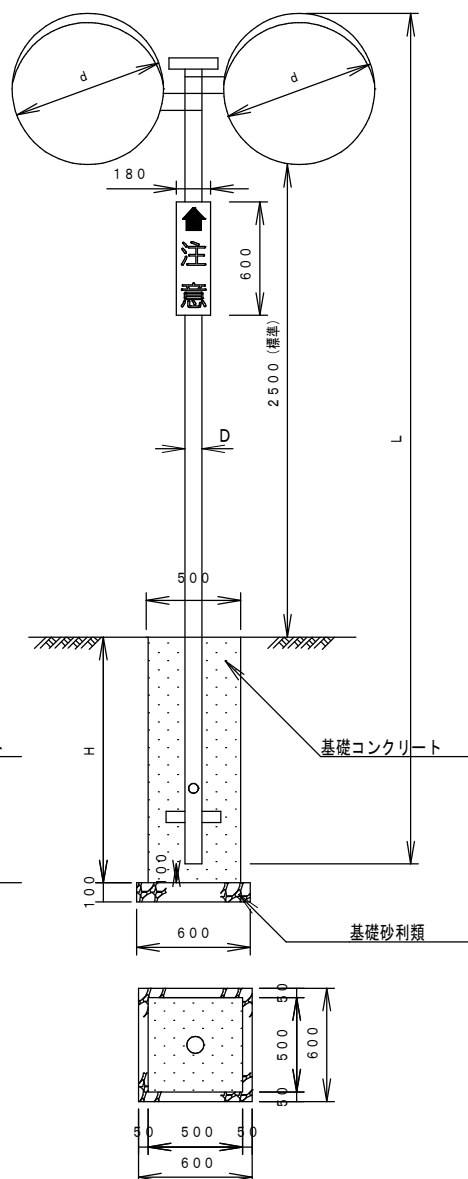
関連図番	

農業農村整備事業標準設計			2012.4
工 種	安全施設	区 分	道 路 工
D-24	橋 梁 高 欄		
設計番号	Gr-Bk-09~Gr-Ck-11S		

安全反射鏡（R 1 型）



安全反射鏡（R 2 型）



安全反射鏡（R 1 型・R 2 型）寸法表

設計番号	寸 法 表 (mm)				パイプ 径 D	肉 厚
	鏡面数	鏡面サ イズ (d)	根入れ 深さ (h)	支 柱 長さ (L)		
RCM-R108-O	1 面	800φ	1000	4000	76.3	3.2
RCM-R110-O		1000φ	1300	4400	89.1	3.2
RCM-R208-O	2 面	800φ	1300	4400	89.1	3.2
RCM-R210-O		1000φ	1600	4800	89.1	4.0

RCM-R000-O

基礎砂利の有無 有 F・無 N

鏡面サイズ区分

丸型反射鏡の鏡面数

安全反射鏡の略称

(ROAD CURVE MIRROR)

注 意 事 項

1. 反射鏡は丸型ステンレス製とする。
2. 反射鏡サイズはφ800mm/m及びφ1000mm/mの2種類とする。
3. 塗装は、下地亜鉛メッキ処理+静電粉体塗装とし、仕様は標準設計図仕様書4. 塗装による。
4. コンクリートの仕様

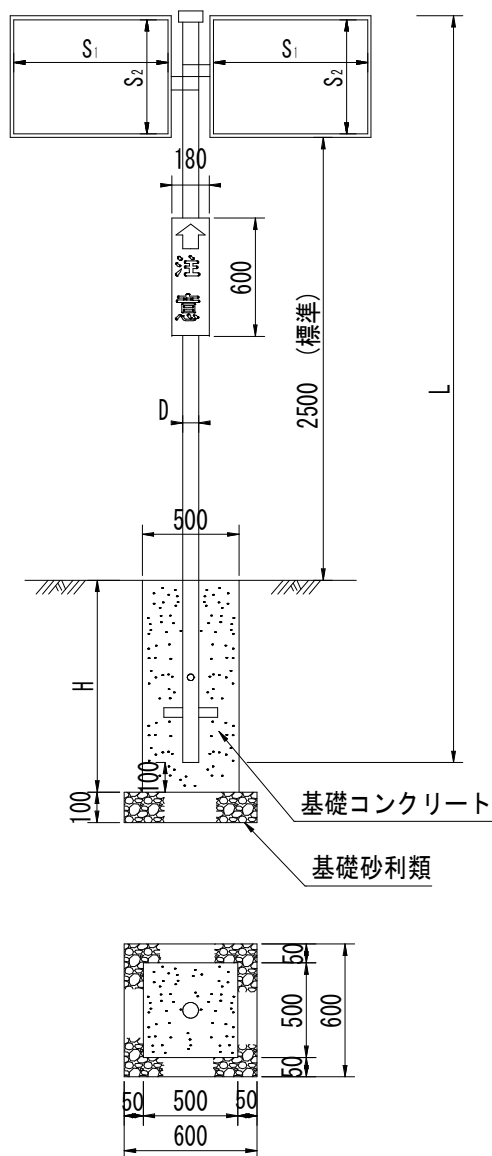
種 別	σ28	SL	Gmax	セメント の 種 類
無筋コンクリート	18N/mm ²	8±2.5cm	4.0mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミストコンクリート標準使用基準」による。
5. 基礎材料砂利類の種類、品質、規格は、特記仕様書によること。
6. 反射鏡の設置場所については監督職員の指示を受けなければならない。
7. 反射鏡支柱には、注意板を設置する。
8. 反射鏡支柱には管理者名の入ったステッカーをはり付けなければならない。
9. 鏡面下端から基礎天端までの高さは2.5mを標準とする。
10. 出来高管理は各寸法とカ所数とする。
11. 設計変更は設置カ所数の増減により行う。
12. 注意板は、厚 t = 2.0mm (原板) アルミ板 (全面反射) とする。
13. パイプ径 D と肉厚は、原管寸法を表示している。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	安全施設	区分	道 路 工
D-25	安全反射鏡（丸型）		
設計番号	RCM-R108-F~RCM-R210-N		

関連図番	

安全反射鏡 (A型)



安全反射鏡 (A型) 寸法表

設計番号	寸 法 表 (mm)					パイプ 径 D	肉 厚
	鏡面数	鏡面サイズ		根入れ 深さH	支 柱 長さL		
		S ₁	S ₂				
RCM-A206-○	2 面	600	450	1000	4000	76.3	3.2
RCM-A208-○		800	600	1300	4400	89.1	3.2

RCM-A2-○○-○

安全反射鏡の略称 (ROAD CURVE MIRROR)

角型反射鏡の鏡面数 (ANGLE)

鏡面サイズ区分

基礎砂利類の有無 有 F・無 N

注意事項

1. 反射鏡は角型ステンレス製とする。
2. 反射鏡サイズは600mm×450mm及び300mm×600mmの2種類とする。
3. 塗装は、下地亜鉛メッキ処理+静電粉体塗装とし仕様は標準設計図仕様書 4. 塗装による。
4. コンクリートの仕様

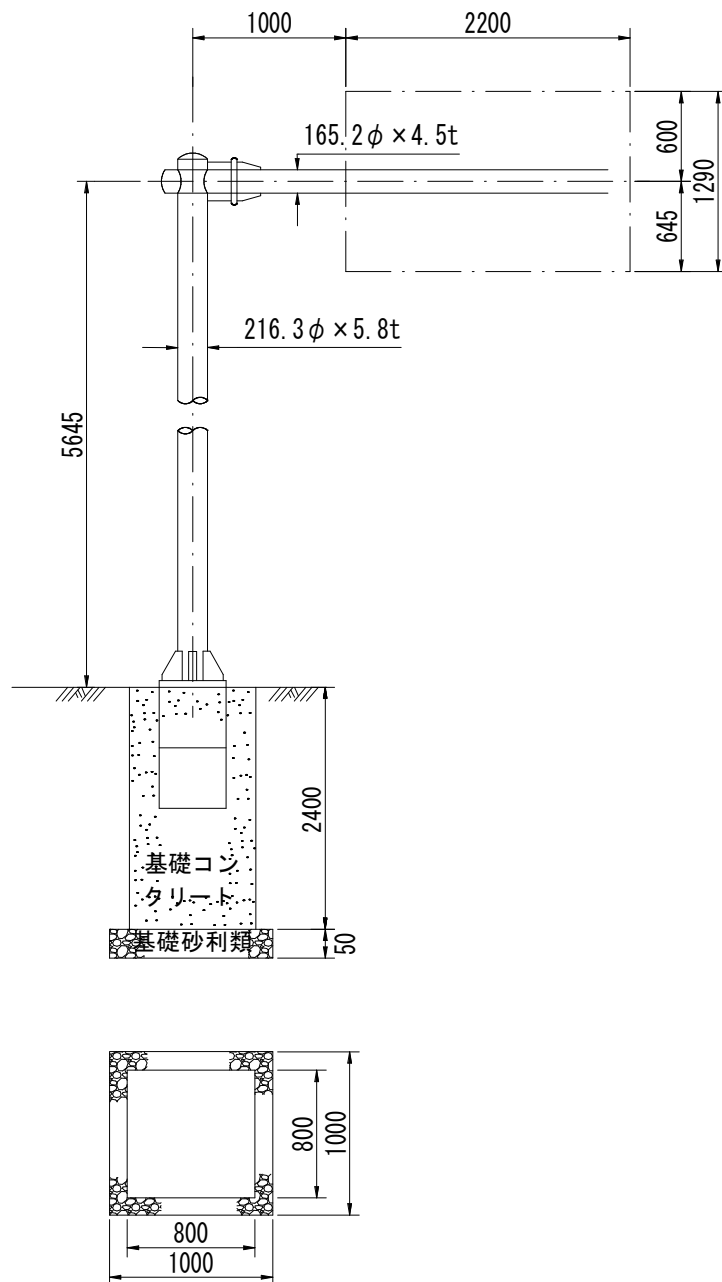
種別	σ28	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5 cm	40 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
5. 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書によること。
6. 反射鏡の設置場所については監督職員の指示を受けなければならない。
7. 反射鏡支柱には、注意板を設置するものとする。
8. 反射鏡支柱には管理者名の入ったステッカーをはり付けなければならない。
9. 鏡面下端から基礎天端までの高さは1.8m以上とする。
10. 出来形管理は、各寸法と力所数とする。
11. 設計変更は、設置力所数の増減により行う。
12. 注意板は厚t=2.0mm (原板) アルミ板 (全面反射) とする。
13. パイプ径と肉厚は、原管寸法である。

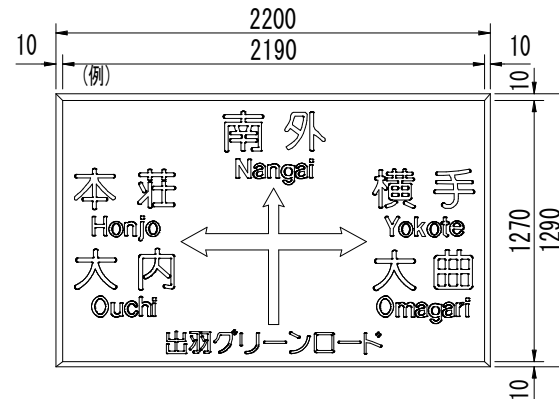
農業農村整備事業標準設計			2014. 4
工種	安全施設	区分	道路工
D - 26	安全反射鏡 (角型)		
設計番号	RCM-A206-F~RCM-A208-N		

関連図番	

案内標識(1型)



案内標識板



RM1-O

基礎砂利類の有無 有 F・無 N

案内標識 (1型) の略称
(ROAD MARK 1)

注意事項

1. 標識板は厚さ2.0mmとし耐食アルミ板とする。
2. 反射種別は高輝度反射シート(カプセルレンズ型)
3. 標識柱(主柱及びアーム)の材質はSTK-400とし、取付金具はSS-400とする。
4. 標識板の色彩は地を青色、文字及び外枠を白色とする。
5. コンクリートの仕様

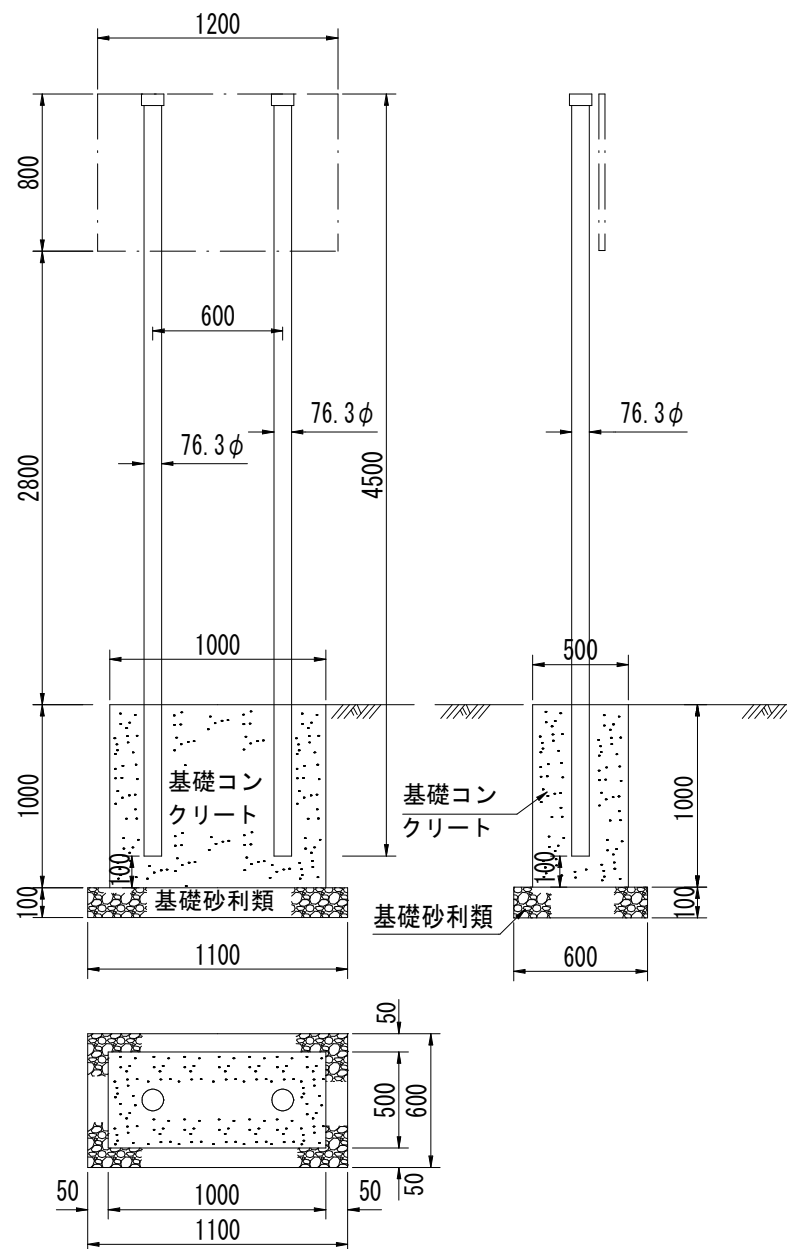
種別	σ_{28}	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 $\frac{N}{mm^2}$	8 ± 2.5 $\frac{cm}{mm}$	40 $\frac{mm}{mm}$	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
6. 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
7. 標識柱の設置場所及び案内標識板の文字の大きさについては監督職員の指示を受けなければならない。
8. 標識柱には管理者名の入ったステッカーをはり付けなければならない。
9. 標識板下端から基礎天端までの高さは5.0m以上とする。
10. 出来形管理は、各寸法と力所数とする。
11. 設計変更は、設置力所数の増減により行う。
12. 標識柱(主柱、アーム)の塗装は、JISH8641溶隔亜鉛メッキ2種HDZ55(550kg/m²)とする。

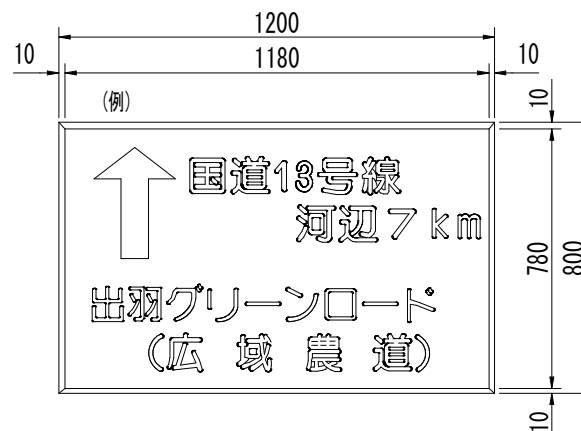
農業農村整備事業標準設計			2015.4
工種	道路標識	区分	道路工
D-30	案内標識 (1型)		
設計番号	RM1-F, RM1-N		

関連図番	

案内標識(2型)



案内標識板



注意事項

1. 標識板は厚さ2.0mmとし耐食アルミ板とする。
2. 反射種別は高輝度反射シート。
3. 標識柱はφ76.3mm 肉厚2.8mmとし塗装は、下地亜鉛メッキ処理+静電粉体塗装とし仕様は標準設計図仕様書 4. 塗装による。
4. 標識板の色彩は地を青色、文字及び外枠線を白色とする。
5. コンクリートの仕様

種別	σ28	SL	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5 cm	40 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
6. 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
7. 標識柱の設置場所及び案内標識板の文字の大きさについては監督職員の指示を受けなければならない。
8. 標識柱には管理者名の入ったステッカーをはり付けなければならない。
9. 標識板下端から基礎天端までの高さは1.8～2.5mとする。
10. 出来形管理は、各寸法と力所数とする。
11. 設計変更は、設置力所数の増減により行う。
12. 管径、肉厚、原管寸法である。

RM2-O

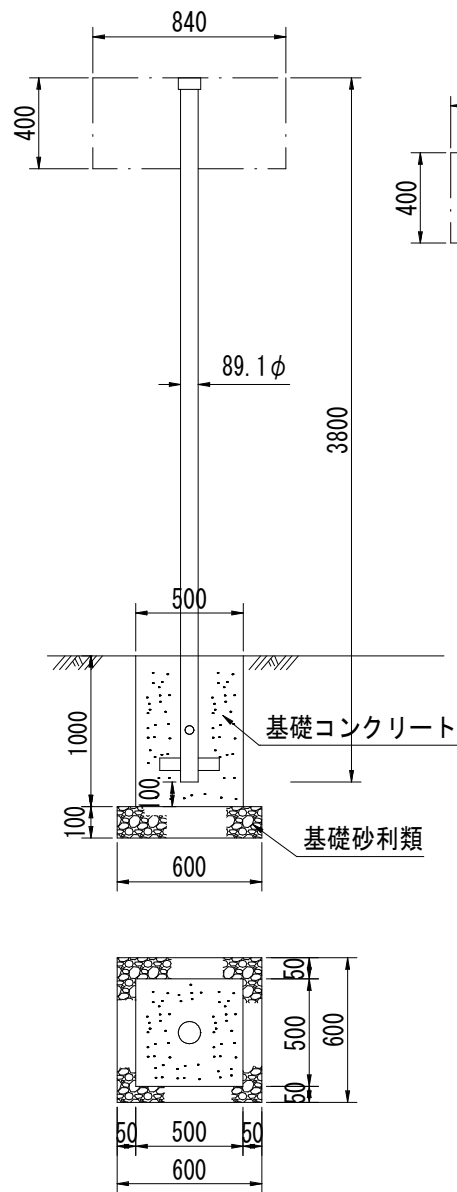
基礎砂利類の有無 有F・無N

案内標識 (2型) の略称
(ROAD MARK 2)

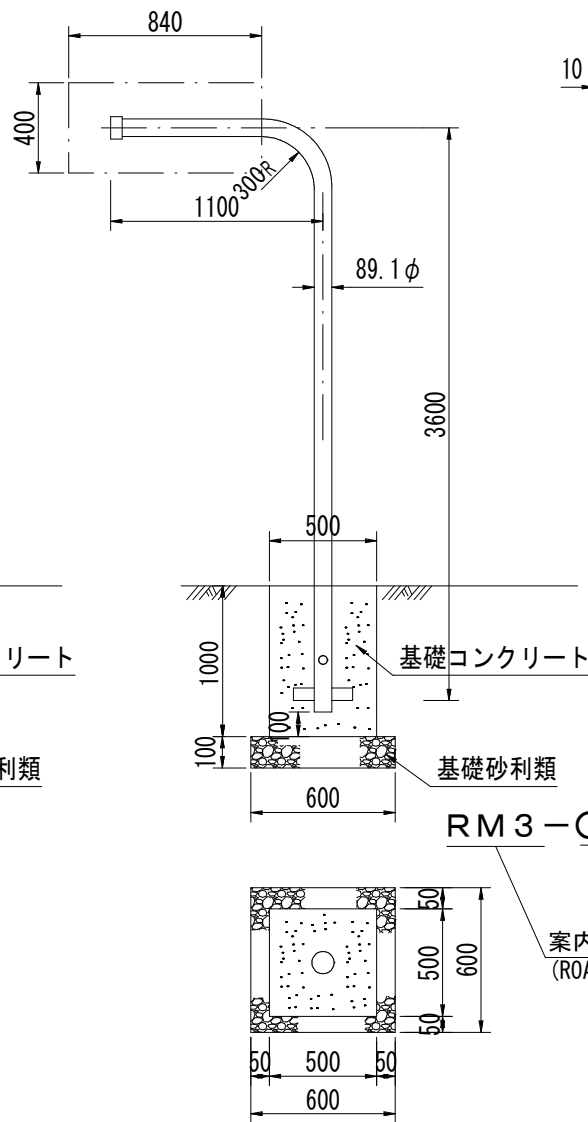
関連図番	

農業農村整備事業標準設計			2015.4
工種	道路標識	区分	道路工
D-31	案内標識 (2型)		
設計番号	RM2-F ~ RM2-N		

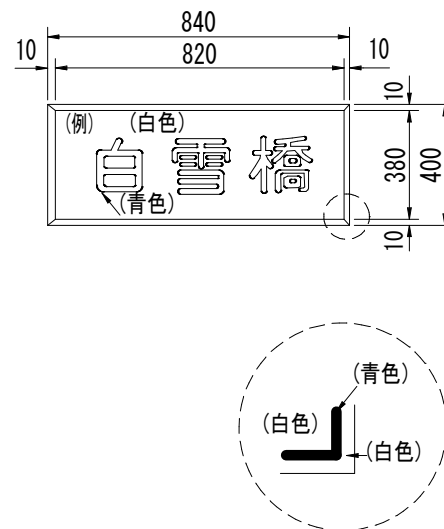
案内標識(3-S型)



案内標識(3-C型)



案内標識板



RM 3 - ○ - ○

基礎砂利類の有無 有 F ・ 無 N

直柱・曲柱の区分 直 S ・ 曲 C

案内標識 (3型) の略称
(ROAD MARK 3)

注 意 事 項

- 案内標識板は厚さ2.0mmとし耐食アルミ板とする。
- 反射種別は高輝度反射とする。
- 標識柱はφ89.1mm 肉厚3.2mmとし塗装は、下地亜鉛メッキ処理+静電粉体塗装とし仕様は標準設計図仕様書 4. 塗装による。
- 案内標識板の色彩は地を白色、文字及び外枠線を青色とする。
- コンクリートの仕様

種 別	σ28	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5 cm	40 mm	

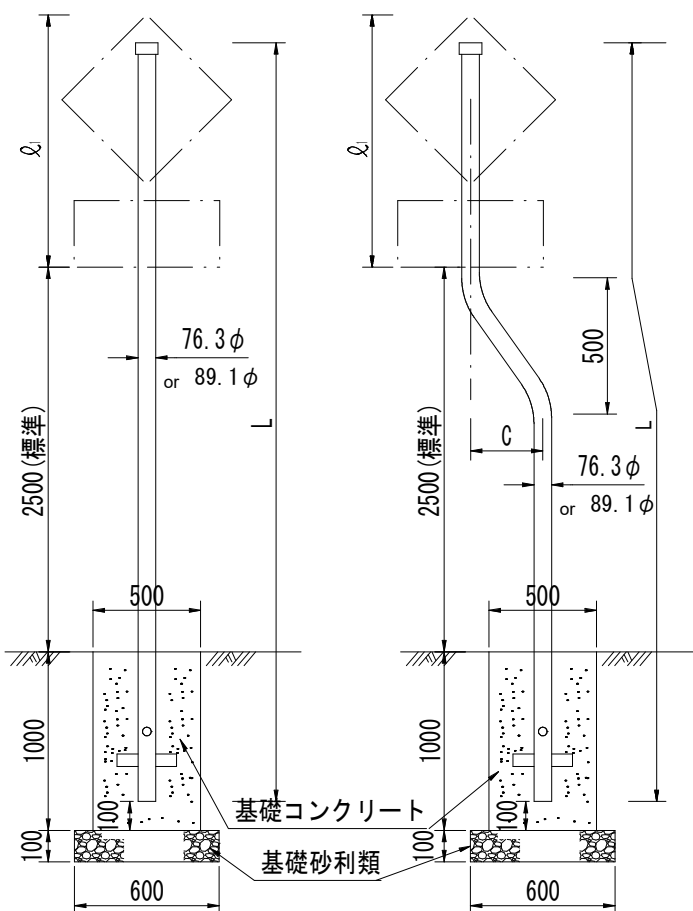
コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
- 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
- 標識柱の設置場所及び案内標識板の文字の大きさについては監督職員の指示を受けなければならない。
- 標識柱には管理者名の入ったステッカーをはり付けなければならない。
- 出来形管理は、各寸法とカ所数とする。
- 設計変更は、設置カ所数の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	道路標識	区 分	道 路 工
D - 32	案内標識 (3型)		
設計番号	RM3-S-F ~ RM3-C-N		

関	
連	
図	
番	

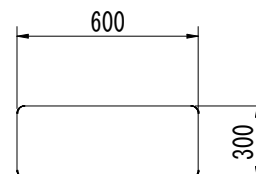
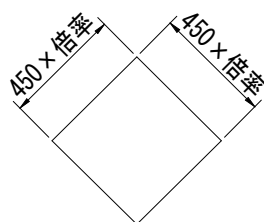
警戒標識(S型)

警戒標識(C型)



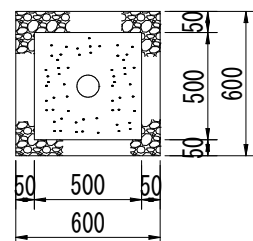
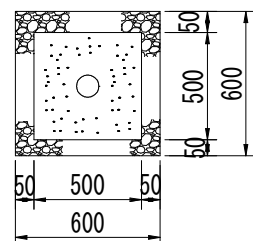
警戒標識板

補助板 (案内標識板)



警戒標識寸法表

設計番号	寸 法 表 (mm)					
	警戒標識		補助板 寸 法	標準 柱		曲柱細部長さ
	倍率	寸 法		長さ(L)	種別	
RM4-10-S-F	1.0	450 □	300 × 600	4400	直柱	1000
RM4-10-C-F				4500	曲柱	300
RM4-10-S-N				4100	直柱	700
RM4-10-C-N				4200	曲柱	300
RM4-13-S-F	1.3	585 □	300 × 600	4600	直柱	1200
RM4-13-C-F				4700	曲柱	400
RM4-13-S-N				4300	直柱	900
RM4-13-C-N				4400	曲柱	400
RM4-16-S-F	1.6	720 □	300 × 600	4700	直柱	1300
RM4-16-C-F				4900	曲柱	500
RM4-16-S-N				4400	直柱	1000
RM4-16-C-N				4600	曲柱	500



RM4-〇〇-〇-〇-〇

基礎砂利類の有無 有 F・無 N

補助標識類の有無 有 F・無 N

標識柱の区分 直 S・曲 C

一連番号

警戒標識の略称
(ROAD MARK 4)

関	
連	
図	
番	

注 意 事 項

- 警戒標識板及び補助板は耐食アルミ板とする。
- 警戒標識板の厚さは2.0m/mとする。補助板は300×600mm厚さは2.0m/mとする。
- 反射種別は高輝度反射とする。
- 標識柱は、倍率1.0と1.3は、φ76.3肉厚2.8㎜とする。倍率1.6は、φ89.1㎜肉厚3.2㎜とする。
舗装は、下地亜鉛メッキ処理+静電粉体塗装とし仕様は標準設計図仕様書 4. 塗装による。
- コンクリートの仕様

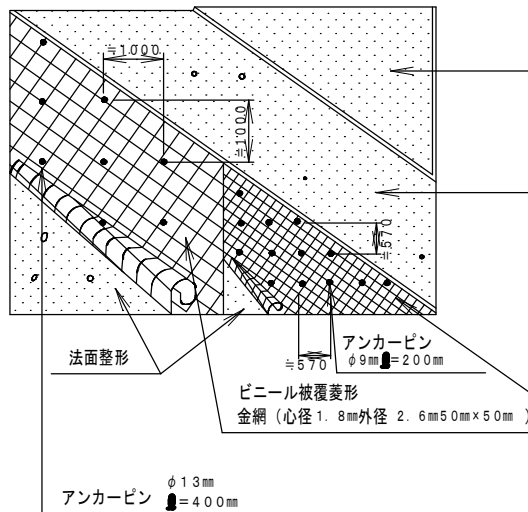
種 別	σ28	S L	Gmax	セメントの種類
無筋コンクリート	18 N/mm ²	8±2.5 cm	40 mm	

コンクリートの仕様の詳細は、「レディーミクストコンクリート標準使用基準」による。
- 基礎砂利類の種類、品質、規格は特記仕様書による。
- 標識柱の設置場所については監督職員の指示を受けなければならない。
- 標識柱には管理者名の入ったステッカーをはり付けなければならない。
- 補助板(案内標識) 下端から基礎天端までの高さは1.8m~2.5mとする。
- 出来形管理は、各寸法と力所数とする。
- 設計変更は、設置力所数の増減により行う。

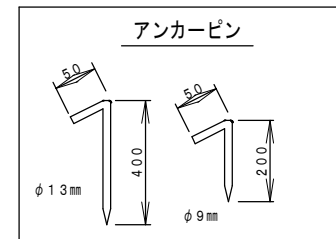
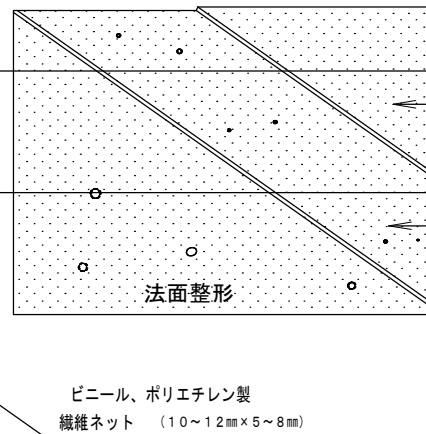
農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	道路標識	区 分	道 路 工
D - 33	警 戒 標 識		
設計番号	RM4-10-S-F-F~RM4-16-C-N-N		

種子吹付工及びネット併用種子吹付工

ネット併用種子吹付工

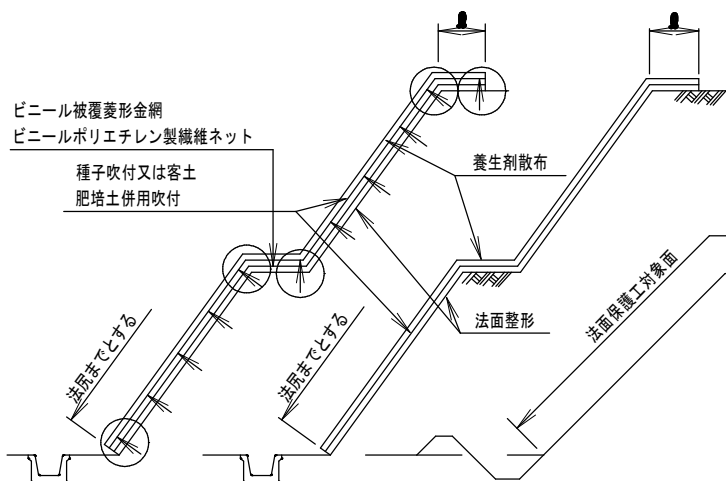


種子吹付工

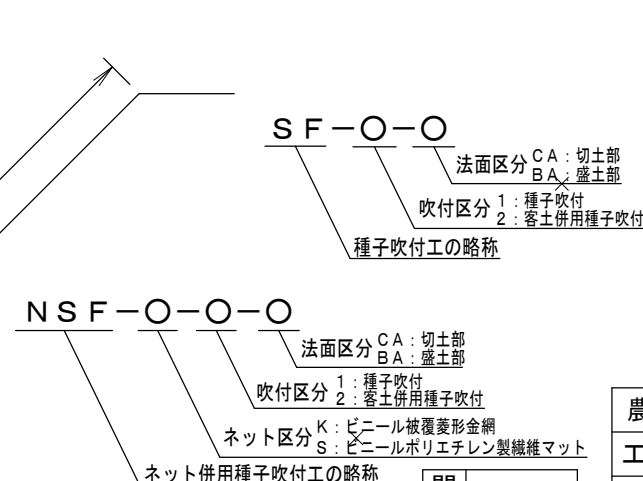


切土部の場合

※：特別仕様書による



盛土部の場合



○印の部分はアンカーピン打設間隔
に関係なく必ず打設すること。

注意事項

1. 材料の仕様

- a. 吹付種子の種類、品質、配合が特別仕様書に示されていない場合は、下表の3種混播方式とする。

種別	量	有効率
白クローバー	2kg/1000㎡	純度×発芽率
ケンタッキー 31フェスク	1.4kg/1000㎡	80%を標準とし、60%を下らないものとする。
クリーピング レッドフェスク	4kg/1000㎡	

- b. 土壌改良材、ファイバー類、肥料、寄定材養分剤の規格及び使用量は特記仕様書による。

- c. 客土材は、肥沃な黒ぼく土等で、植物の生育に有害なものを含まないものとする。

- d. ネット及びアンカーピンの規格、使用量は下表のとおりとする。

ネット規格	アンカーピン規格	アンカーピン本数
ビニール被覆菱形金網 (心径1.8mm外径2.6、50×50)	JISG3101 φ13mm 長さ400mm	100本 100㎡
ビニール・ポリエチレン製 繊維ネット 10～12mm×5～8mm	JISG3101 φ9mm 長さ200mm	300本 100㎡

2. ネットの重ね合わせは、金網は2目以上、繊維ネットは10cm以上とする。

3. 端部処理等の細部は、監督職員と打ち合わせの上施工する。

4. 出来形管理は、施工面積、客土厚さとする。

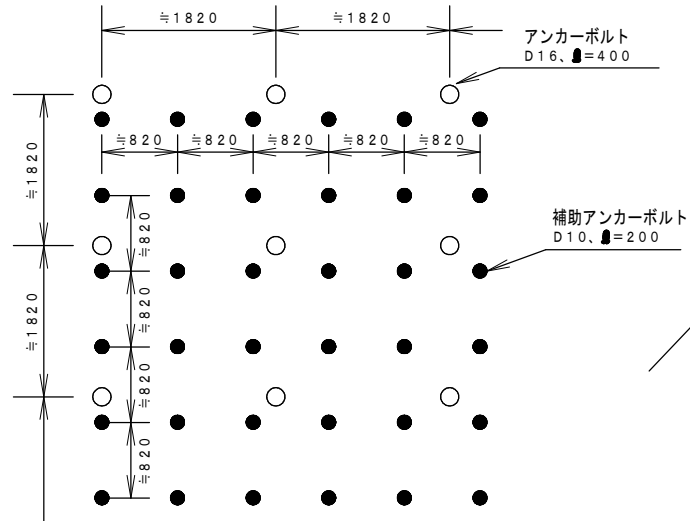
5. 設計変更は、規格毎の施工面積の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工種	法面保護工	区分	道路工
D-40	種子吹付工及び ネット併用種子吹付工		
設計番号	SF-1-CA~SF-2-BA NSF-K-1-CA~NSF-S-2-BA		

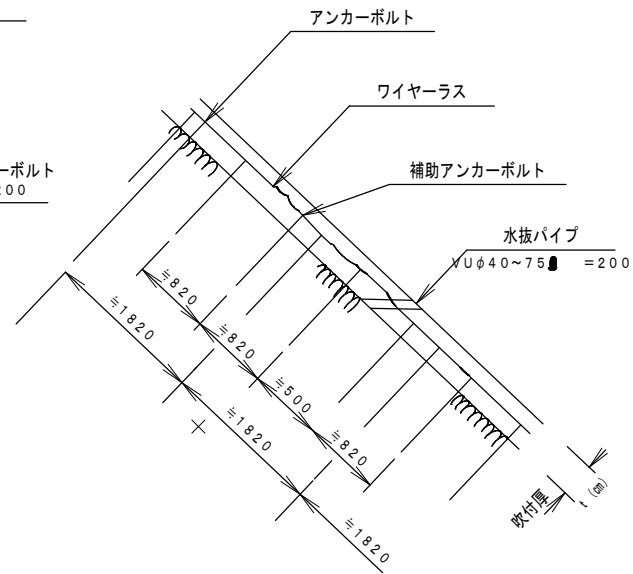
関連図番	

アンカーボルト配置図

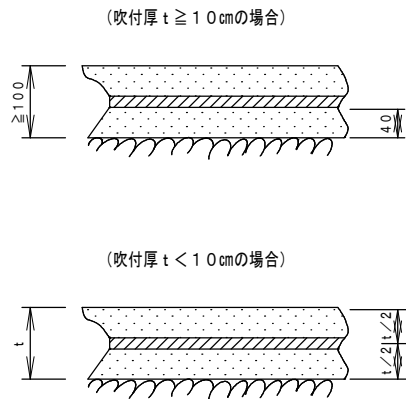
平面図



側面図



縦断面図



MF-T-〇〇
吹付厚 t (cm)
(注: 標準厚は 10 cm)
吹付厚の略号
モルタル吹付の略称

注意事項

- モルタル吹付を施工する前に必ず法面清掃を行うものとする。
- ラス張工に使用する材料の規格はワイヤラス #14 50×50 とする。
- ラス張工の重ね合わせは、特記仕様書による。
- 砂、セメント使用量及び標準配合は、特別仕様書による。
- 水抜きパイプは、2～4 m に 1 本を標準とし、湧水のある場所等については、監督職員の指示による。
- 伸縮目地は、標準として横断方向 10 m 間隔に、エラスチックフィラー ($t = 10$ mm) を施工する。
- アンカーボルトの仕様

名 称	規 格	本数 (100 m 当り)
アンカーボルト	JIS G3112 D16 mm/ $\Phi=400$ mm	30
補助アンカーボルト	JIS G3112 D10 mm/ $\Phi=200$ mm	150

- 端部処理及び施工位置の詳細については、監督職員の指示による。
- 出来形管理は、断面と施工面積とする。
- 設計変更は、施工面積の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	法面保護工	区分	道 路 工
D-41	モルタル吹付工		
設計番号	MF-T10～		

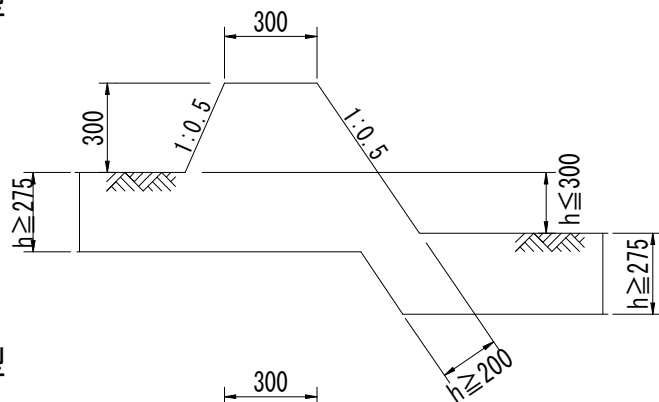
関連図番	

公害防除特別土地改良編

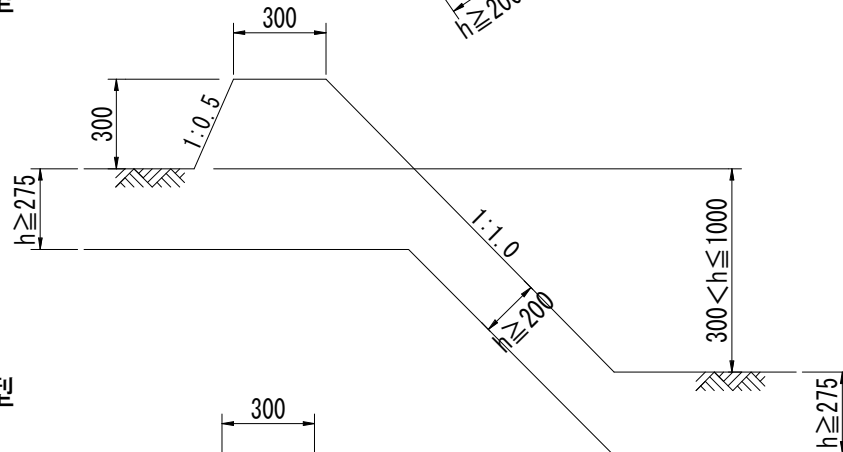
農業農村整備事業標準設計図

畦畔工

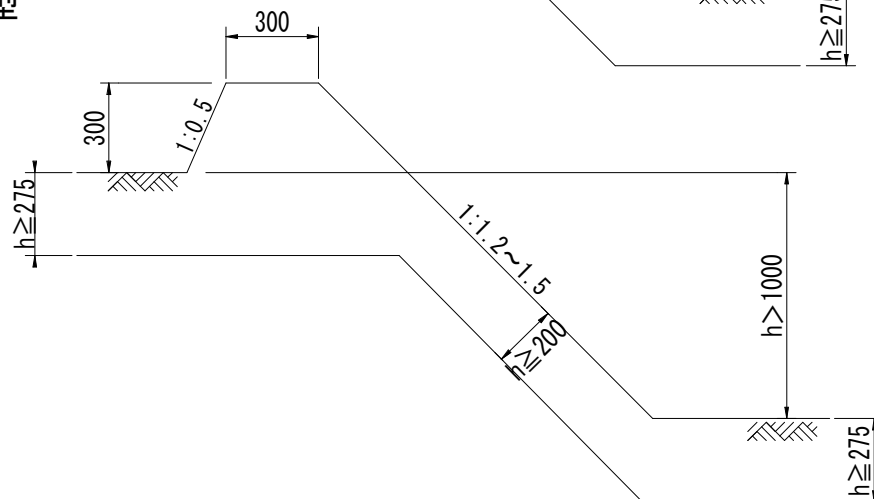
畦畔A型



畦畔B型



畦畔C型



客土材

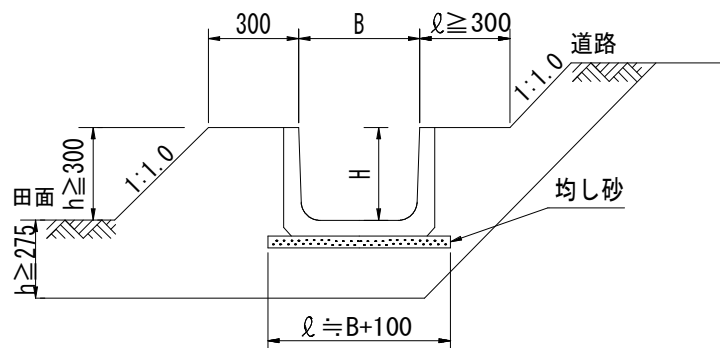
注意事項

1. 畦畔の高さは高位部田面高より30cmとする。
2. 外法勾配は田差により決定し施工する。
3. 畦畔は客土材により施工する。
4. 畦畔C型施工の場合、外法勾配選定にあたっては、監督職員の指示による。
5. 出来形管理は、断面延長について行なう。

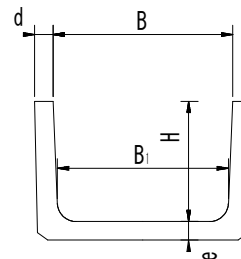
関連図番	

農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	畦畔工	区 分	公 特
I - 01	畦 畔 工		
設計番号			

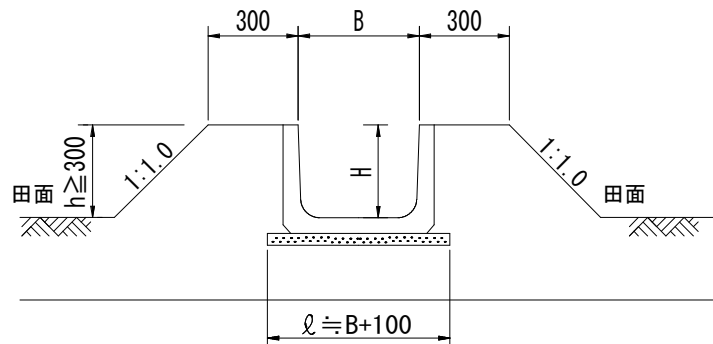
鉄筋コンクリートベンチフリューム水路（片溝畔） K B F - O O O - S



鉄筋コンクリート ベンチフリューム寸法図



鉄筋コンクリートベンチフリューム水路（両溝畔） K B F - O O O - D



K B F - O O O - O

D両溝畔 S片溝畔
ベンチフリューム規格の略号
ベンチフリューム水路の略称
(CONCRETE BENCH FLUME)

設計番号	断面寸法 (mm)				
	B	H	B _i	d	e
KBF - 030 - O	300	200	260	30	40
KBF - 035 - O	350	235	300	35	45
KBF - 040 - O	400	260	345	40	50
KBF - 045 - O	450	295	390	40	50
KBF - 050 - O	500	320	435	45	55
KBF - 055 - O	550	355	475	45	60
KBF - 060 - O	600	380	520	45	60
KBF - 065 - O	650	415	565	45	65
KBF - 070 - O	700	440	610	50	70
KBF - 080 - O	800	490	695	50	75
KBF - 090 - O	900	550	785	55	85
KBF - 100 - O	1000	600	875	55	90

側壁頂部に縁をつけてもよい。その形状寸法は規定しない。

注 意 事 項

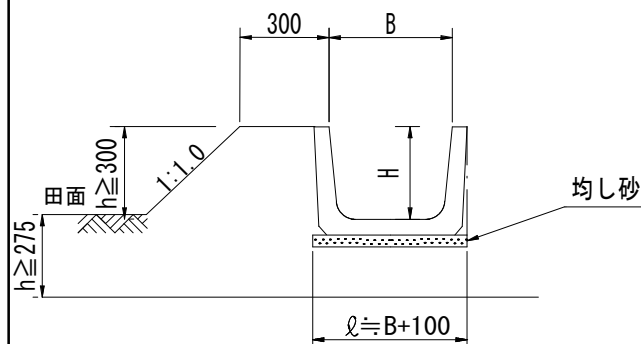
- 鉄筋コンクリートベンチフリュームは JISA-5372 及びこれに準ずる品質及び性能を有するものを使用する。
- 溝畔盛土は客土材により行う。
- ベンチフリュームを布設する掘削面は均し砂を使用して、不陸整正を行うこと。
- 小用水路については、所定の溝畔を確保し現地に適合した施工をする。
- 構造物との接続により製品延長に端数を生じた場合又は、曲線部施工によって間隔を生じた場合は監督職員の指示による。
- 出来形管理は、断面と延長とする。
- 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	用水路工	区 分	公 特
1 - 06	鉄筋コンクリート ベンチフリューム水路		
設計番号	KBF-030-D ~ KBF-100-N		

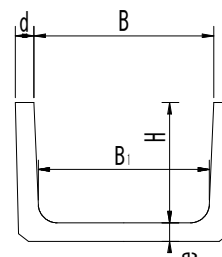
関連図番	C - 04

客土材

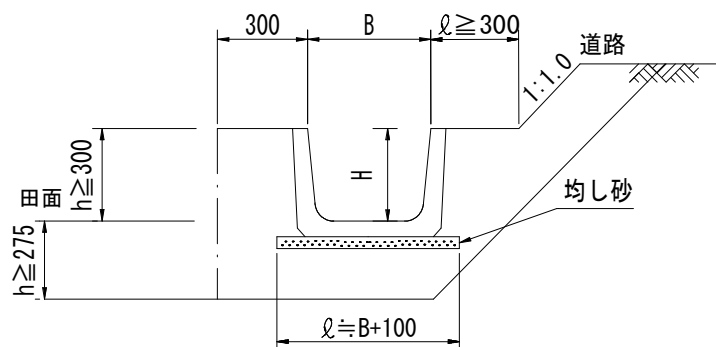
複水路型鉄筋コンクリートベンチフリューム水路（左側）
KBFD-000-L



鉄筋コンクリート
ベンチフリューム寸法図



複水路型鉄筋コンクリートベンチフリューム水路（右側）
KBFD-000-R



KBFD-000-O

L 左側 R 右側

ベンチフリューム規格の略号

ベンチフリューム水路の略称
(CONCRETE BENCH FLUME)

設計番号	断面寸法 (mm)				
	B	H	B ₁	d	e
KBFD - 030 - O	300	200	260	30	40
KBFD - 035 - O	350	235	300	35	45
KBFD - 040 - O	400	260	345	40	50
KBFD - 045 - O	450	295	390	40	50
KBFD - 050 - O	500	320	435	45	55
KBFD - 055 - O	550	355	475	45	60
KBFD - 060 - O	600	380	520	45	60
KBFD - 065 - O	650	415	565	45	65
KBFD - 070 - O	700	440	610	50	70
KBFD - 080 - O	800	490	695	50	75
KBFD - 090 - O	900	550	785	55	85
KBFD - 100 - O	1000	600	875	55	90

側壁頂部に縁をつけてもよい。その形状寸法は規定しない。

客土材

関連図番	I - 06
------	--------

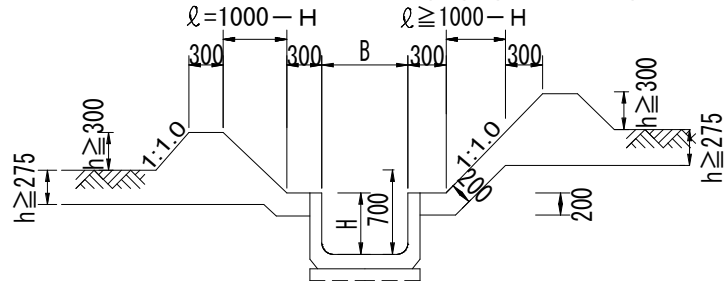
注 意 事 項

- 鉄筋コンクリートベンチフリュームは JISA-5372 及びこれに準ずる品質及び性能を有するものを使用する。
- 溝畔盛土は客土材により行う。
- ベンチフリュームを布設する掘削面は均し砂を使用して、不陸整正を行うこと。
- 小用水路については、所定の溝畔を確保し現地に適合した施工をする。
- 構造物との接続により製品延長に端数を生じた場合又は、曲線部施工によって間隔を生じた場合は監督職員の指示による。
- 出来形管理は、断面と延長とする。
- 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2015. 4
工 種	用水路工	区 分	公 特
I - 07	複水路型鉄筋コンクリート ベンチフリューム水路		
設計番号	KBFD-030-L ~ KBFD-100-R		

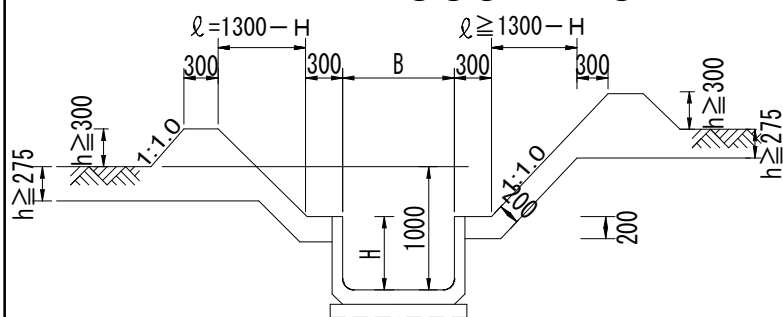
鉄筋コンクリート排水フリーム（両溝畔）

K D F 0 7 - 0 0 0 0 - D - 0



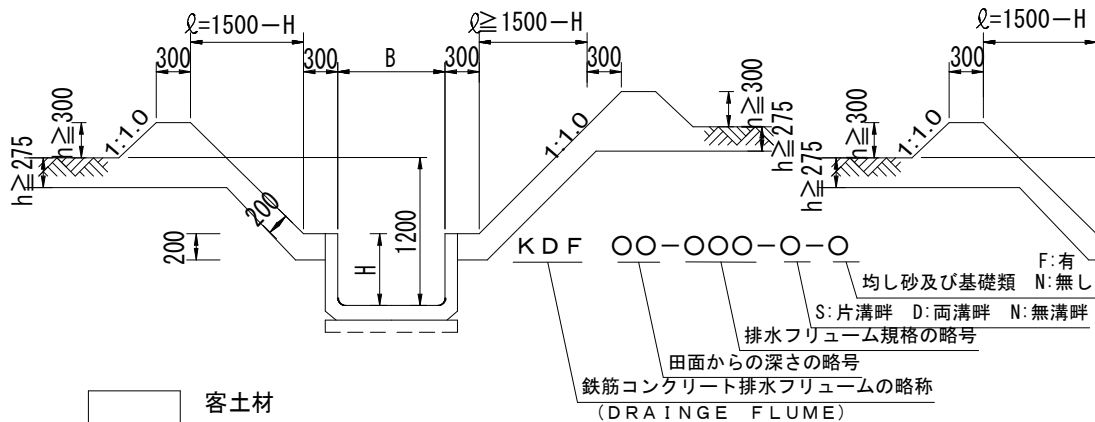
鉄筋コンクリート排水フリーム（両溝畔）

K D F 1 0 - 0 0 0 - D - 0



鉄筋コンクリート排水フリーム（両溝畔）

K D F 1 2 - 0 0 0 - D - 0

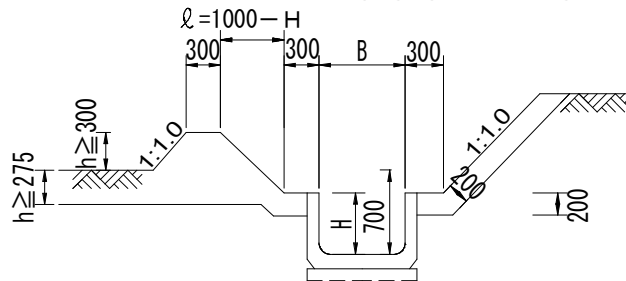


客土材

鉄筋コンクリート排水フリュームの略称
(DRAINAGE FLUME)

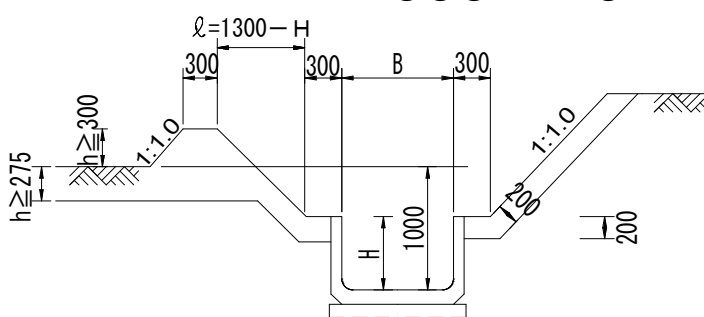
鉄筋コンクリート排水フリーム（片溝畔）

K D F 07-000-S-0



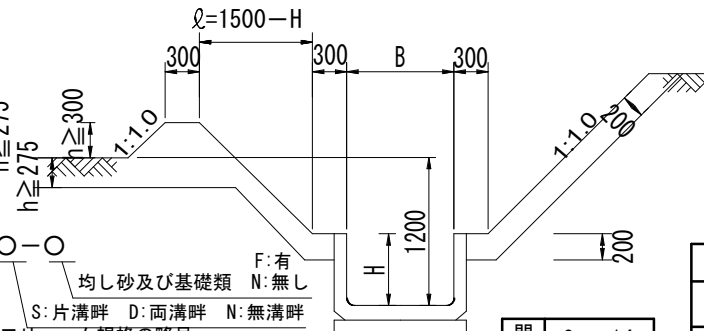
鉄筋コンクリート排水フリーム（片溝畔）

K D F 1 0 - 0 0 0 - S - 0



鉄筋コンクリート排水フリーム（片溝畔）

K D F 1 2 - 0 0 0 - S - 0



均し砂及び基礎類 N:無し
溝畔 D:両溝畔 N:無溝畔
—ム規格の略号

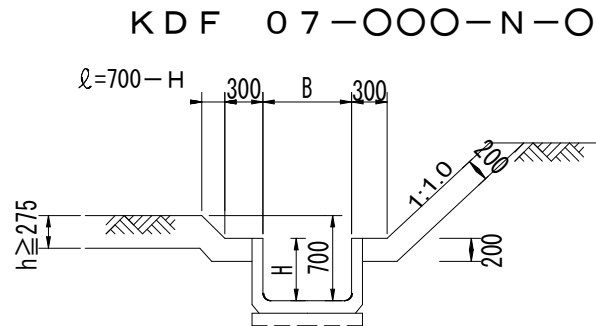
関連図番	C - 14

注意事項

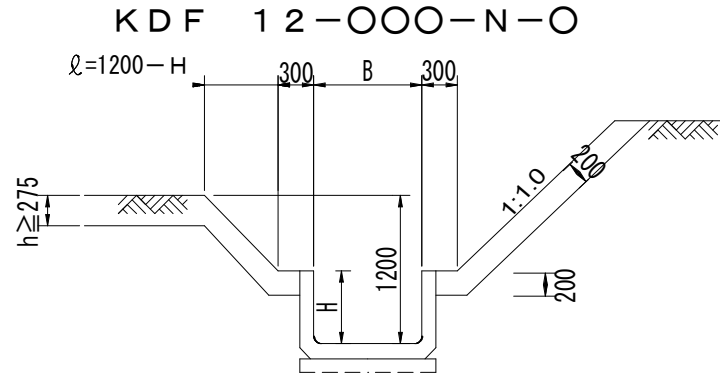
1. 排水フリームの種類、規格、許容モーメントは特記仕様書による。
2. 溝畔及び法面は客土材により施工する。
3. 小排水路については、耕区の中央で所定の断面を満たし、現地に適合した施工をする。
4. 構造物との接続により製品延長に端数を生じた場合又は、曲線部施工によって間隔を生じた場合は、監督職員の指示による。
5. 出来形管理は、断面と延長とする。
6. 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。
7. 製品幅B=1000mm未満を排水フリームと呼び、B=1000mmを超える場合は大型フリーム（排水タイプ）と呼ぶ。

農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	排水路工	区 分	公. 特
I - 14	鉄筋コンクリート 排水フリューム排水路 (1)		
設計番号	KDF07-504-D-F ~ KDF12-910-S-N		

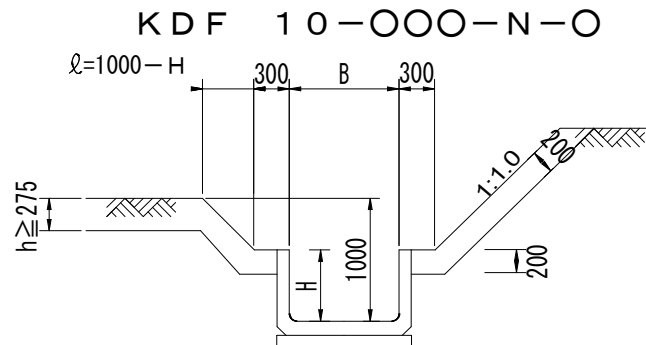
鉄筋コンクリート排水フリューム（無溝畔）



鉄筋コンクリート排水フリューム（無溝畔）



鉄筋コンクリート排水フリューム（無溝畔）



客土材

K D F 〇〇-〇〇〇-N-O
 均し砂及び基礎類 F:有 N:無し
 無 溝 畔
 排水フリューム規格の略号
 田面からの深さの略号
 鉄筋コンクリート排水フリュームの略称
 (DRAINAGE FLUME)

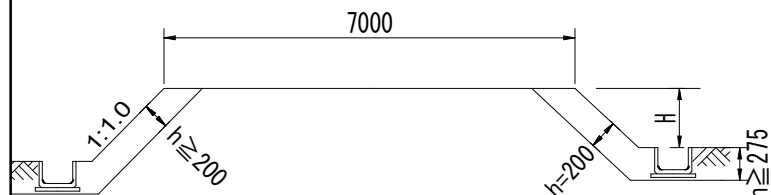
注 意 事 項

1. 排水フリュームの種類、規格、許容モーメントは特記仕様書による。
2. 溝畔及び法面は客土材により施工する。
3. 小排水路については、耕区の中央で所定の断面を満たし、現地に適合した施工をする。
4. 構造物との接続により製品延長に端数を生じた場合又は、曲線部施工によって間隔を生じた場合は監督職員の指示による。
5. 出来形管理は、断面と延長とする。
6. 設計変更は、規格毎の延長の増減により行う。
7. 製品幅B=1000mm未満を排水フリュームと呼び、B=1000mmを超える場合は大型フリューム（排水タイプ）と呼ぶ。

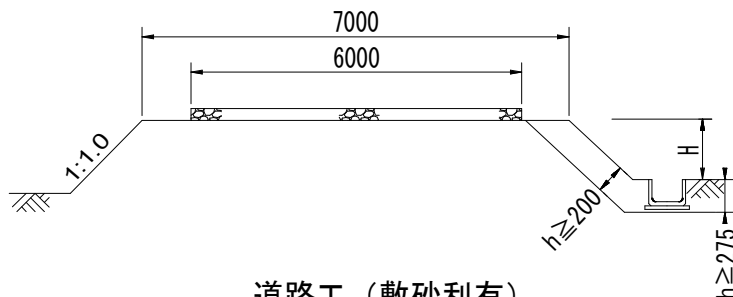
農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	排水路工	区 分	公 特
I - 15	鉄筋コンクリート排水フリューム排水路 (2)		
設計番号	KDF07-504-N-F ~ KDF12-910-N-N		

関連図番	C - 14

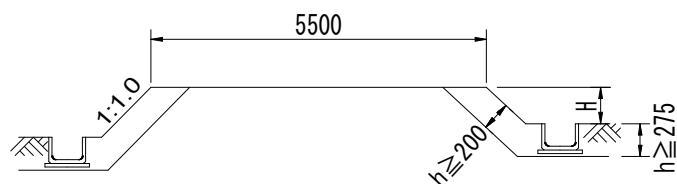
道路工（敷砂利無）
KRB 70-N-W-〇〇-〇



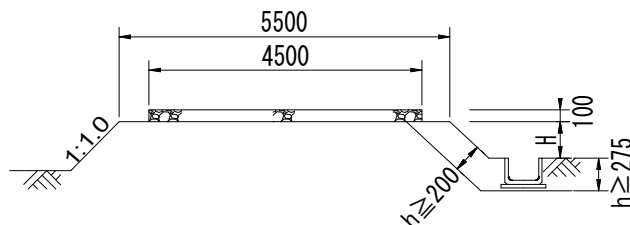
道路工（敷砂利有）
KRB 70-G-S-〇〇-〇



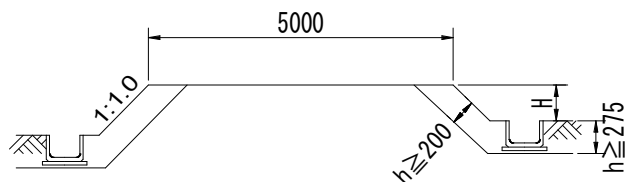
道路工（敷砂利無）
KRB 55-N-W-〇〇-〇



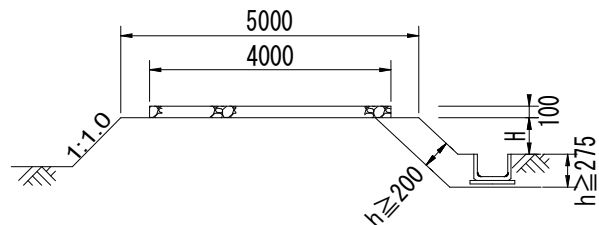
道路工（敷砂利有）
KRB 55-G-S-〇〇-〇



道路工（敷砂利無）
KRB 50-N-W-〇〇-〇



道路工（敷砂利有）
KRB 50-G-S-〇〇-〇



客土材

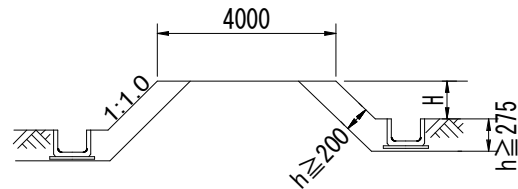
関連図番	I - 21

注 意 事 項

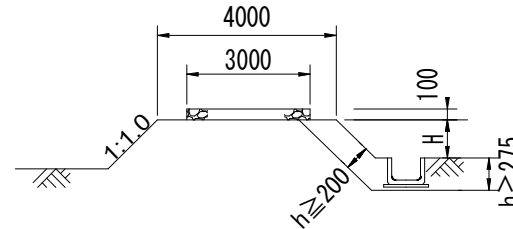
1. 路面高さは、左右田面の高位部からとする。
2. 道路延長方向の田差が大きく標準図によりがたい場合は現地の状況に合わせて施工する。
3. 横断形状は路面排水が良好となるよう施工する。
4. 覆土は客土材により施工する。
5. 耳芝は人口芝とし幅7cmを使用する。
6. 敷砂利の種類、品質、規格は特記仕様書による。
7. 出来形管理は、断面と延長とする。
8. 設計変更は、幅員毎の延長の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	道 路 工	区 分	公 特
I - 20	道 路 覆 土 (1)		
設計番号	KRB70-N-W-09-D ~ KRB50-G-S-00-N		

道路工（敷砂利無）
KRB40-N-W-〇〇-〇



道路工（敷砂利有）
KRB40-G-S-〇〇-〇



記 号	高 さ 範 囲
0 0	0 cm
0 3	0 < H ≤ 30 cm
0 6	30 < H ≤ 60 cm
0 9	60 < H ≤ 90 cm

KRB 〇〇-〇-〇-〇〇-〇

耳芝の有無 無N 片側S 両側D
高さ範囲
客土材による覆土 両側W 片側S
敷砂利の有無 有G 無N
道路上幅の略号
公、特での道路の略称
(ROAD BANKING)

客土材

関連図番	I - 20

注 意 事 項

1. 路面高さは、左右田面の高位部からとする。
2. 道路延長方向の田差が大きく標準図によりがたい場合は現地の状況に合わせて施工する。
3. 横断形状は路面排水が良好となるよう施工する。
4. 覆土は客土材により施工する。
5. 耳芝は人口芝とし幅7cmを使用する。
6. 敷砂利の種類、品質、規格は特記仕様書による。
7. 出来形管理は、断面と延長とする。
8. 設計変更は、幅員毎の延長の増減により行う。

農業農村整備事業標準設計			2012. 4
工 種	道 路 工	区 分	公. 特
I - 21	道 路 覆 土 (2)		
設計番号	KRB40-N-W-09-D ~ KRB40-G-S-00-N		

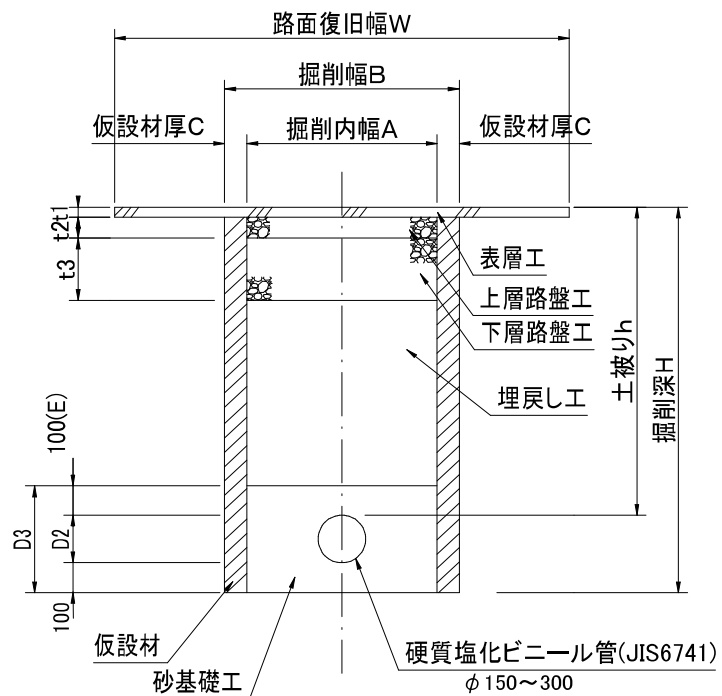
農業農村整備事業標準設計図

農 業 集 落 排 水 編

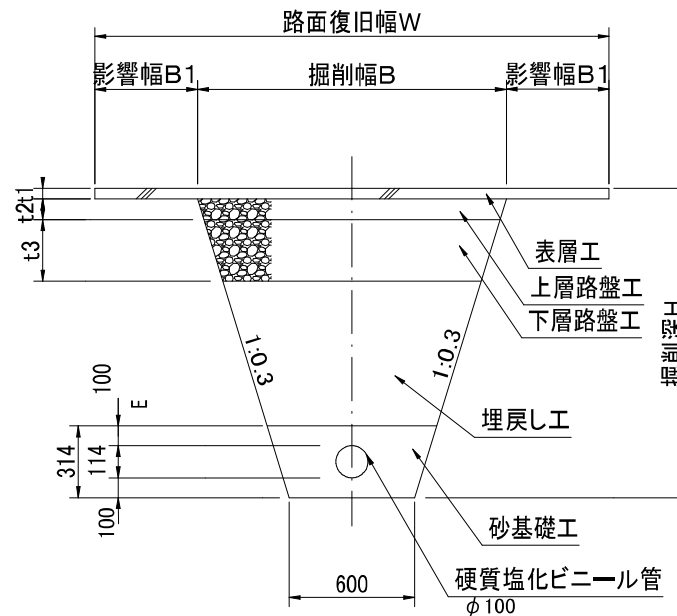
農業農村整備事業標準設計図

管路掘削断面標準図

舗装道 本管



舗装道 取付管



注意事項

1. 表層工、路盤工、埋戻し工について材質、厚さ (t1, t2, t3) は特記仕様書による。
2. 路面復旧幅Wについては、特記仕様書による。
3. 仮復旧の場合は、掘削幅Bのみの施工とし、路盤等の厚さ (t1, t2, t3) は特記仕様による。
4. 砂基礎工の管上の高さ (E) については、道路区分により変わる場合がある。

管路掘削諸元

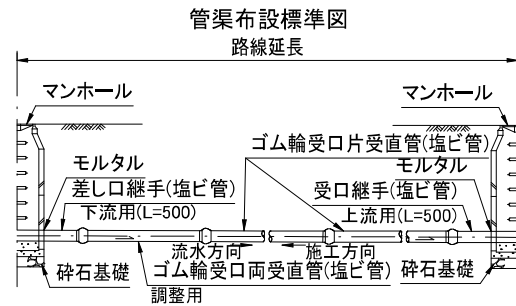
内径D1	外径D2	D3
150	165	365
200	216	416
250	267	467
300	318	518

管 径	掘 削 深	内 幅 (A)	掘削幅 (B)
150~250	~ 3.5m	900	900+C×2
	3.51m ~	〃	900+C×2
300	~ 3.5m	950	950+C×2
	3.51m ~	〃	950+C×2

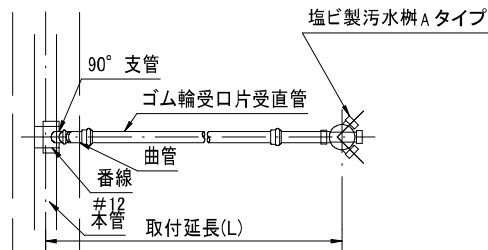
関連 図 番	S - 02
	S - 04

農業農村整備事業			1998. 4
工 種	管 路 工	区 分	農 集 排
S - 01	掘削断面 (塩ビ管)		
設計番号			

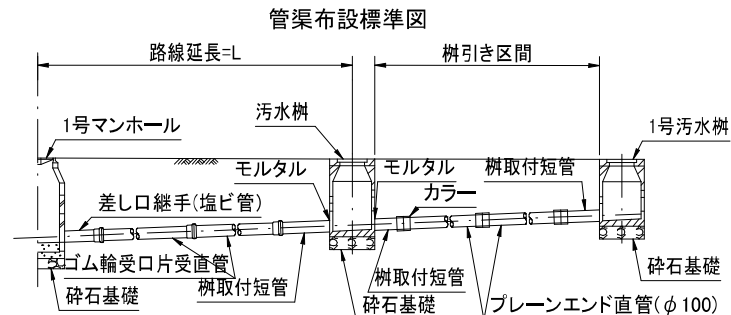
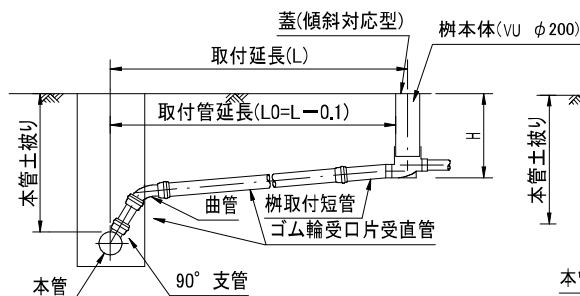
管布設標準図



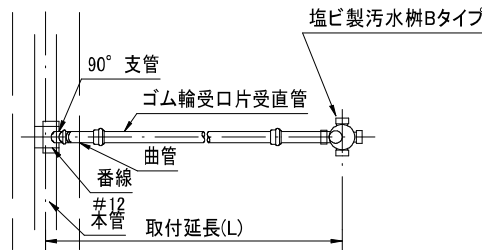
取付管布設標準図 Aタイプ
平面図



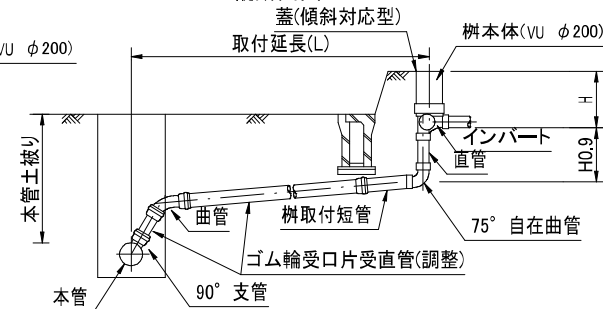
縦断面図



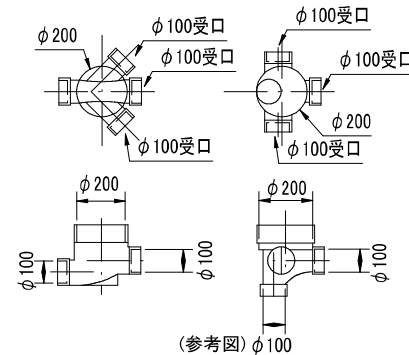
取付管布設標準図 Bタイプ
平面図



縦断面図



塩ビ製汚水樹インバート詳細図



(参考図) φ100

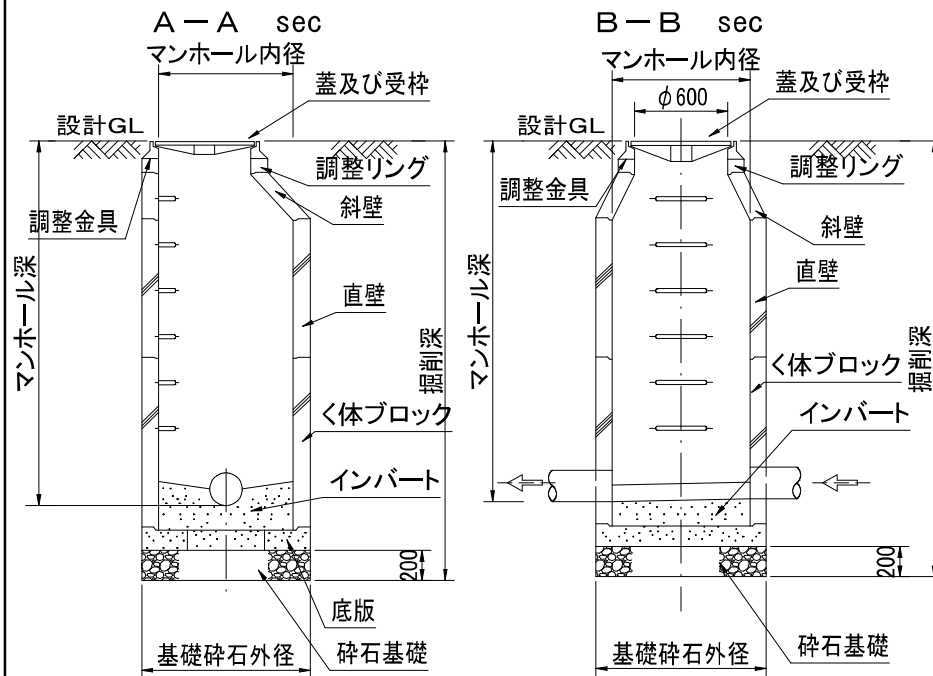
注 意 事 項

1. 塩ビ製汚水樹については、2t以上の車両が、通行する可能性のある場所では、インバートに直接輪荷重がかからないように保護鉄蓋を、設置すること。
2. 合流方向については、任意とし現場対応とする。

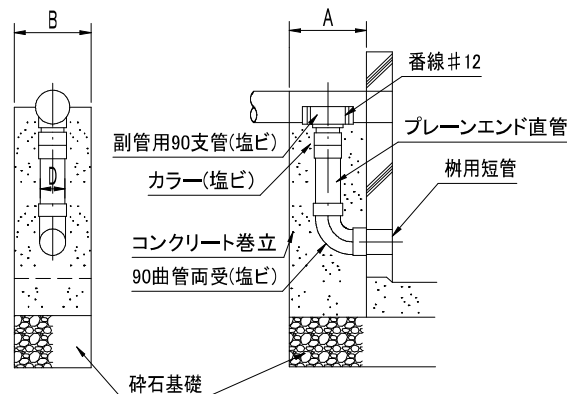
関連図番	S - 01

農業農村整備事業			1997. 4
工 種	管路工	区分	農集排
S - 02	管布設 (塩ビ管)		
設計番号			

マンホール標準図



副管構造図



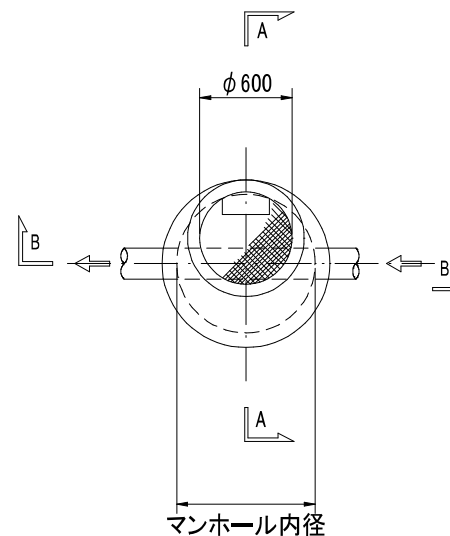
寸法表

副管径 D	本管径	A	B
150	150	500	500
150	200	500	500
200	250	500	500

マンホール寸法表

マンホールタイプ	マンホール内径	基礎碎石外径
1号	900	マンホール外径
2号	1200	マンホール外径
3号	1500	マンホール外径

平面図



注意事項

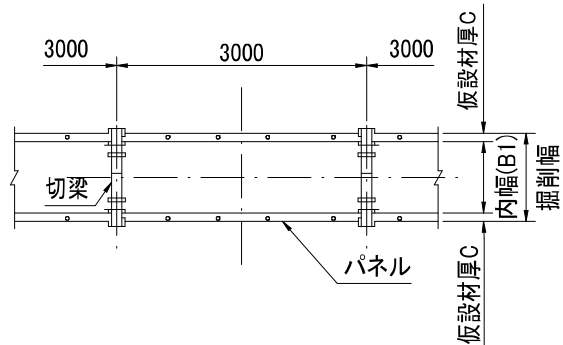
1. 流入、流出管の方向及びインバートの方向は任意とする。
2. 蓋板の材質は、FCD-C 球状黒鉛蓋とし形状については除雪対策型とする。

農業農村整備事業			1997. 4
工種	管路工	区分	農集排
S-03	マンホール		
設計番号			

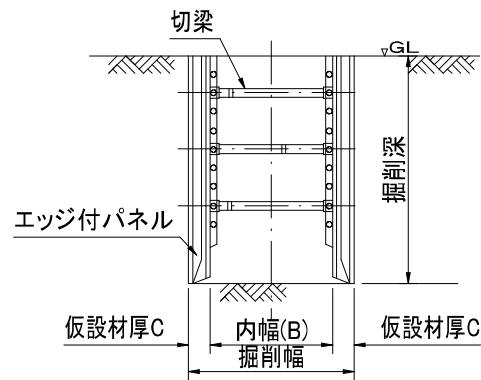
関連図番	S-04

管路建込簡易土留工法

平面図



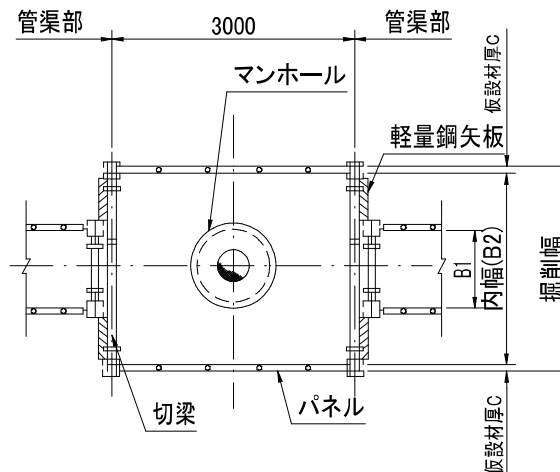
断面図



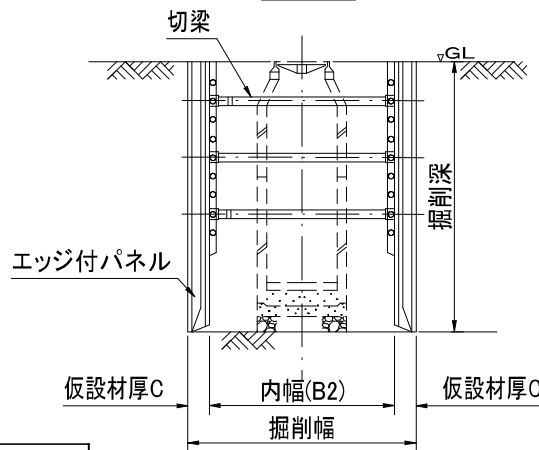
管路掘削諸元

管 径	掘 削 深	内 幅 (A)	掘削幅 (B)
150~250	~ 3.5m	900	$900 + C \times 2$
	3.51m ~	"	$900 + C \times 2$
300	~ 3.5m	950	$950 + C \times 2$
	3.51m ~	"	$950 + C \times 2$

平面図



断面図



建込仮設工諸元 (1号マンホール)

掘 削 深	内 幅 (B2)	掘削幅
~ 3.5m	2300	$2300 + C \times 2$
3.51m ~	"	$2300 + C \times 2$

建込仮設工諸元 (2号マンホール)

掘 削 深	内 幅 (B2)	掘削幅
~ 3.5m	2650	$2650 + C \times 2$
3.51m ~	"	$2650 + C \times 2$

建込仮設工諸元 (3号マンホール)

掘 削 深	内 幅 (B2)	掘削幅
~ 3.5m	3000	$3000 + C \times 2$
3.51m ~	"	$3000 + C \times 2$

注 意 事 項

1. 建込工法は、スライドレール方式または縦梁プレート方式とする。
2. 使用にあたっては、監督員の承認を得ること。

農業農村整備事業標準設計			2002. 4
工 種	管 路 工	区 分	農 集 排
S - 04	仮 設 土 留 工		
設計番号			

関 連 図 番	S - 01
	S - 03

農業農村整備事業標準設計図